第３回　江別市介護保険事業等運営委員会

日時：令和５年３月２８日（火）
午後６時～
場所：市民会館　２１号

議　事　次　第

１．開　　会

２．議　　事
（１）協議事項
①江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査報告書（案）
について

３．そ　の　他

４．閉　　会

（案）

江別市
高齢者総合計画の策定に関する実態調査
報告書

令和５年３月

江　別　市

目　次

第１章　調査の概要 1
１．調査の目的 3
２．調査方法と回収状況 3
３．調査の種類 4
４．調査項目 5
５．報告書利用上の留意点 7
第２章　調査結果の概要 9
１.市民向け調査 11
（１）回答者の状況 11
（２）暮らしの状況 11
（３）介護者の状況 12
（４）各種リスクの状況 12
（５）地域での活動・つながりの状況 13
（６）手助けの状況 14
（７）健康づくり 15
（８）医療機関との関係 16
（９）認知症の意識や支援等 17
(10) 相談支援体制 18
(11) 成年後見制度 18
(12) 介護保険サービス等の利用状況 19
(13) 入所施設サービスの状況 21
(14) 介護保険制度について 21
２.事業系調査 22
（１）介護保険サービス事業所 22
（２）高齢者向け住宅事業者 25
（３）ケアマネジャー 25
第３章　市民向け調査結果の詳細 29
１.回答者の属性 31
（１）記入者、本人との関係【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】 31
（２）性別・年齢別 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 32
（３）要介護度 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】 34
（４）居住地区【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 37
（５）家族構成【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 38

２.暮らしの状況..... 42
（１）住まいの形態 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 42
（２）介護を必要とする高齢者等との同居【第２号被保険者】..... 45
（３）親子の同居に対する考え【第２号被保険者】..... 45
（４）介護・介助の状況【第１号被保険者】..... 46
（５）育児や介護の状況【第２号被保険者】..... 47
（６）暮らしの状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】..... 48
（７）今後の生活意向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 50
（８）自身の介護が必要となった場合の生活意向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】..... 53
３.介護者の状況..... 54
（１）週の介護頻度【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 54
（２）介護者の続柄【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 56
（３）介護者の性別【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 58
（４）介護者との同居・別居【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 60
（５）介護者の年齢【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 62
（６）介護者の就労状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 64
（７）今後働きながらの介護継続の可能性【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 65
４.各種リスクの状況..... 67
（１）運動器の機能低下【第１号被保険者】..... 67
（２）転倒リスク【第１号被保険者】..... 70
（３）閉じこもり傾向【第１号被保険者】【第２号被保険者】..... 72
（４）昨年と比べた外出回数の増減【第１号被保険者】【第２号被保険者】..... 74
（５）低栄養の傾向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 76
（６）急激な体重の増減 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 80
（７）咀嚼機能の低下 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 83
（８）歯の数と入れ歯の利用状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 86
（９）誰かと食事をする機会 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】..... 89
(10) 認知機能の低下 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】..... 92
(11) ＩＡＤＬ（手段的日常生活動作）の評価【第１号被保険者】..... 95
５.地域での活動・つながりの状況..... 99
（１）ボランティアのグループの参加頻度【第１号被保険者】..... 99

（２）スポーツ関係の参加頻度【第１号被保険者】.....100
（３）趣味関係の参加頻度【第１号被保険者】.....101
（４）学習・教養サークルの参加頻度【第１号被保険者】.....102
（５）通いの場の参加頻度【第１号被保険者】.....103
（６）高齢者クラブの参加頻度【第１号被保険者】.....104
（７）自治会の参加頻度【第１号被保険者】.....105
（８）収入のある仕事の参加頻度【第１号被保険者】.....106
（９）地域活動への参加の有無【第１号被保険者】.....107
(10) 地域づくりへの「参加者」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】108
(11) 地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....110
(12) 参加したくない理由【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....112
(13) 参加・活動しやすい条件【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....113
(14) 心配事や愚痴を聞いてくれる人 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....114
(15) 心配事や愚痴を聞いてあげる人 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....117
(16) 看病や世話をしてくれる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】.....120
(17) 看病や世話をしてあげる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】.....122
(18) 家族や友人・知人以外の相談相手 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....124
(19) １か月間に会った友人・知人の数【第１号被保険者】【サービス未利用者】.....127
６.手助けの状況.....129
（１）受けている手助け【第１号被保険者】.....129
（２）それぞれの手助けをしてくれる人【第１号被保険者】.....131
（３）必要なのに受けていない手助け【第１号被保険者】.....140
（４）ちょっとした手助けの近所への依頼【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....141
（５）近所からのちょっとした手助けの引き受け状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....143
（６）地域の支え合いとしてできること【第１号被保険者】【第２号被保険者】.....145
７.健康づくり.....147
（１）主観的健康感 【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】.....147
（２）健康づくりへの興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】.....150
（３）幸福度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】.....153
（４）うつ傾向【第１号被保険者】.....156
（５）睡眠による休養【第１号被保険者】.....158
（６）喫煙状況【第１号被保険者】.....159

（７）健康維持のために心がけていること【第１号被保険者】【第２号被保険者】 160
（８）健康について知りたいこと【第２号被保険者】【サービス未利用者】 162
８.医療機関との関係..... 163
（１）現在治療中、後遺症のある病気【第１号被保険者】 163
（２）介護予防への興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 164
（３）通院による医師の診療頻度【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 167
（４）通院している原因【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】 168
（５）自力で通院できなくなった場合の対処 【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 169
（６）訪問診療の受診状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 170
（７）訪問診療の利用先【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 172
（８）１か月間の訪問診療頻度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 174
（９）健診の受診状況 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 175
(10) 健診を受けていない理由 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 178
(11) かかりつけ医の有無 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 182
(12) かかりつけ医の必要性 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 183
９.認知症の意識や支援等..... 184
（１）自身または家族に認知症の症状がある人の有無 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 184
（２）認知症に関する相談窓口の認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 187
（３）認知症に対するイメージ 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 190
（４）家族が認知症であることを打ち明ける範囲 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 191
（５）認知症に対する不安 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 195
（６）認知症に関する相談先 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 198
（７）認知症サポーターの認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 201
（８）認知症サポーター養成講座の受講意向 【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 203

（９）受講したくない理由【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】205
10. 相談支援体制 208
（１）地域包括支援センターの認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】 208
（２）地域包括支援センターに期待すること 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】 210
11. 成年後見制度 212
（１）成年後見制度の認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 212
（２）成年後見制度の利用意向 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 215
（３）利用しない理由 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 218
（４）成年後見人ができると思うこと 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 222
（５）自身が将来不安に思うこと 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 225
（６）江別市成年後見支援センターの認知度 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 229
（７）成年後見制度に関する相談先 【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】 【サービス未利用者】 232
12. 介護保険サービス等の利用状況 236
（１）事業者を選ぶポイント【居宅サービス利用者】 236
（２）制度上で利用できる上限までの利用【居宅サービス利用者】 237
（３）上限まで利用していない理由【居宅サービス利用者】 238
（４）サービス利用の満足度【居宅サービス利用者】 239
（５）不満な理由【居宅サービス利用者】 240
（６）利用しているサービスの満足・不満【居宅サービス利用者】 241
（７）認定を受けるために申請した理由【サービス未利用者】 242
（８）現在の生活状況【サービス未利用者】 244
（９）介護サービスを利用していない理由【サービス未利用者】 246
(10) 今後のサービス利用意向【居宅サービス利用者】 248
(11) 利用を減らしたり、止めたい理由【居宅サービス利用者】 249
(12) 施設に入所したい理由【居宅サービス利用者】 250
(13) 特別養護老人ホームの入所検討状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 251
(14) 入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地 【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 253
(15) 申込み先から連絡が来た場合の対応【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 254
(16) 在宅生活継続で受けたい支援内容【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】 .. 255
13. 入所施設サービスの状況 257

（１）現在の施設に入所する前の場所【施設サービス利用者】.....257
（２）施設に入所した理由【施設サービス利用者】.....258
（３）現在入所している施設の種類【施設サービス利用者】.....259
（４）申込から入所までの期間【施設サービス利用者】.....260
（５）現在の施設の入所期間【施設サービス利用者】.....261
（６）施設のサービス満足度【施設サービス利用者】.....262
（７）不満な理由【施設サービス利用者】.....263
（８）不満があるときの相談先【施設サービス利用者】.....264
（９）施設サービスを受けてよかったと思うこと【施設サービス利用者】.....265
14.介護保険制度について.....266
（１）介護保険制度の在り方での力点【第２号被保険者】.....266
（２）支援事業の在り方での力点【第２号被保険者】.....267
（３）介護サービスと保険料の在り方　【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】　【サービス未利用者】.....268
（４）介護保険サービスの利用条件の認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】....270
（５）今後特に力を入れてほしい高齢者施策　【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】　【サービス未利用者】【サービス事業所】【住宅事業者】【ケアマネジャー】.....271
第４章　事業系調査結果の詳細.....273
１.介護保険サービス事業所.....275
（１）円滑な事業を進めて行くうえで、特に困難と感じること.....275
（２）連携が必要だと思う関係機関.....276
（３）ケアマネジャーとの連携.....276
（４）江別市内の在宅医療・介護連携.....277
（５）在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること.....277
（６）関係機関との連携で特に困難と感じること（自由回答）.....278
（７）患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用.....278
（８）看取りの実施.....279
（９）看取りをする場合に欠かせないと思うこと.....280
(10) 介護サービスの質を向上させるために取り組んでいること（自由回答）.....280
(11) ボランティアの受け入れ可否.....280
(12) ボランティアに任せられると思う業務の内容.....281
(13) ボランティアの受け入れができない理由.....281
(14) この１年間における人材の確保状況.....282
(15) 昨年１年間（令和４年１月１日～令和４年 12 月 31 日）の離職者.....282
(16) 離職の理由.....283
(17) 不足している職種.....283
(18) 人員の不足数.....284
(19) 新規人材の確保のための取り組み.....285
(20) 人材の定着・育成（離職防止）のための取り組み.....286

(21) 介護人材の確保・定着のために力を入れること.....287
(22) 介護助手への元気高齢者等の活用について.....288
(23) 元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制...288
(24) 職員について.....289
(25) 無資格者の初任者研修等の資格取得検討.....290
(26) 自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと.....291
(27) 提供しているサービス種別.....292
(28) 成年後見制度の認知度.....294
(29) 成年後見人ができると思うこと.....294
(30) 支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無.....295
(31) 成年後見制度の利用が必要と思う理由.....296
(32) 江別市成年後見支援センターの認知度.....296
(33) 成年後見制度に関する相談先.....297
(34) 成年後見制度に関する課題（自由回答）.....297
２.高齢者向け住宅事業者.....298
（１）所在地区.....298
（２）経営主体.....298
（３）施設種類.....298
（４）入居定員.....299
（５）入居状況及び待機状況（令和５年１月１日現在）.....299
（６）入居者の内訳.....299
（７）入居者の年齢.....300
（８）入居者の入居年数.....300
（９）施設が実施しているサービス内容.....300
(10) 併設しているサービス施設の有無.....300
(11) 併設しているサービス施設の内容.....301
(12) 連携病院及び連携介護事業所.....301
(13) 入居者の介護サービス利用状況.....302
(14) 入居者の医療サービス利用状況.....302
(15) 看取りの実施.....302
(16) 看取りをする場合に欠かせないと思うこと.....303
(17) その他のサービスの実施意向.....303
(18) 今後展開予定の事業.....303
(19) この１年間における人材の確保状況.....304
(20) 新規人材の確保のための取り組み.....304
(21) 人材の定着・育成（離職防止）のための取り組み.....304
(22) 今後、高齢者施策として力を入れて欲しいもの.....305
(23) 成年後見制度の認知度.....305
(24) 成年後見人ができると思うこと.....305
(25) 支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無.....306

(26) 成年後見制度の利用が必要と思う理由.....306
(27) 江別市成年後見支援センターの認知度.....306
(28) 成年後見制度に関する相談先.....307
(29) 成年後見制度に関する課題（自由回答）.....307
3.ケアマネジャー.....308
（1）性別.....308
（2）年齢.....308
（3）勤務形態.....309
（4）事業所の法人格.....309
（5）他の介護保険サービスの実施状況.....310
（6）ケアマネジャーの経験年数.....310
（7）介護支援専門員以外の資格の取得状況.....311
（8）担当している利用者数.....312
（9）負担になっている業務.....313
(10) 要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なこと.....314
(11) 担当医との連携状況.....315
(12) 担当医との連携方法.....315
(13) 利用者入院時の病院への情報提供.....316
(14) 病院への情報提供方法.....316
(15) 退院後の医療継続のための対応.....317
(16)「カンファレンス」への参加要請の有無.....317
(17)「カンファレンス」への参加状況.....318
(18) 参加していない理由.....318
(19) 医療機関との情報伝達の望ましい手段.....318
(20) 医療機関と連携が図りにくいと感じた経験.....319
(21) 医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況.....319
(22) 認知症に関して相談できる医療機関の有無.....320
(23) 認知症に関して相談している医療機関の種類.....320
(24) 看取りの立ち会いの有無.....321
(25) 看取りをサポートする場合に欠かせないと思うこと.....322
(26) ケアマネジャーのスキルアップで望むこと.....322
(27) ケアマネジャーの仕事についての考え.....323
(28) 江別市内の在宅医療・介護連携.....324
(29) 江別市内の在宅医療・介護連携の状況についての意見（自由回答）.....324
(30) 在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること.....325
(31) 江別市内の在宅医療・介護連携を進めるための意見（自由回答）.....325
(32) 患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用.....326
(33) 自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと.....326
(34) ケアマネジャーの立場から江別市に望むこと.....327
(35) 成年後見制度の認知度.....328

(36) 成年後見人ができると思うこと.....328
(37) 支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無.....329
(38) 成年後見制度の利用が必要と思う理由.....330
(39) 江別市成年後見支援センターの認知度.....330
(40) 成年後見制度に関する相談先.....331
(41) 成年後見制度に関する課題（自由回答）.....331
第５章　自由記入意見.....
第６章　資料編　調査票.....

第１章　調査の概要

１．調査の目的

本調査は、江別市の高齢者等の生活実態を把握し、令和５年度に策定を予定している「江別市高齢者総合計画（第 10 期江別市高齢者保健福祉計画・第９期江別市介護保険事業計画）＜計画期間：令和６年度～令和８年度＞」の基礎資料を得ることを目的として実施しました。

２．調査方法と回収状況

調査基準日：令和５年１月１日
抽 出 方 法：日常生活圏域・性別・年齢区分で偏りがないように配慮し、住民基本台帳から無作為抽出しました。
調 査 方 法：郵送による調査（ハガキによる勧奨を１回実施）
調 査 期 間：令和５年１月６日（金）～令和５年１月２３日（月）

調査対象	調査対象数	有効回収数	回収率
第１号被保険者	1,200	894	74.5%
第２号被保険者	1,000	503	50.3%
居宅サービス利用者	2,000	1,105	55.3%
施設サービス利用者	470	267	56.8%
サービス未利用者	600	354	59.0%
介護保険サービス事業所	188	130	69.1%
高齢者向け住宅事業者	28	13	46.4%
ケアマネジャー	115	95	82.6%
合　計	5,601	3,361	60.0%

３．調査の種類

調査にあたっては、次の８種類の調査を実施しました。

	調査対象	調査対象要件
市民向け調査	第１号被保険者	介護保険第１号被保険者（65 歳以上） ※要介護１～５の認定者は除く
	第２号被保険者	介護保険第２号被保険者（40～64 歳） ※要介護（支援）認定者は除く
	居宅サービス利用者	要支援・要介護認定を受けている居宅サービス利用者
	施設サービス利用者	要介護認定を受けている施設サービス利用者
	サービス未利用者	要支援･要介護認定を受けている介護保険被保険者のうち、サービスを利用していない方
事業系調査	介護保険サービス事業所	市内の介護保険サービス事業所
	高齢者向け住宅事業者	市内で高齢者向け住宅などを運営している事業者
	ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所等に勤務するケアマネジャー

４．調査項目

アンケート調査の設問は、現状における高齢者の方々などの生活実態や健康状態、日常生活圏域の課題のほか、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり、介護予防の推進等のために必要な社会資源を把握するために国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目と地域包括ケア推進のための判断材料として選定した市独自の調査項目を併せて設定しました。

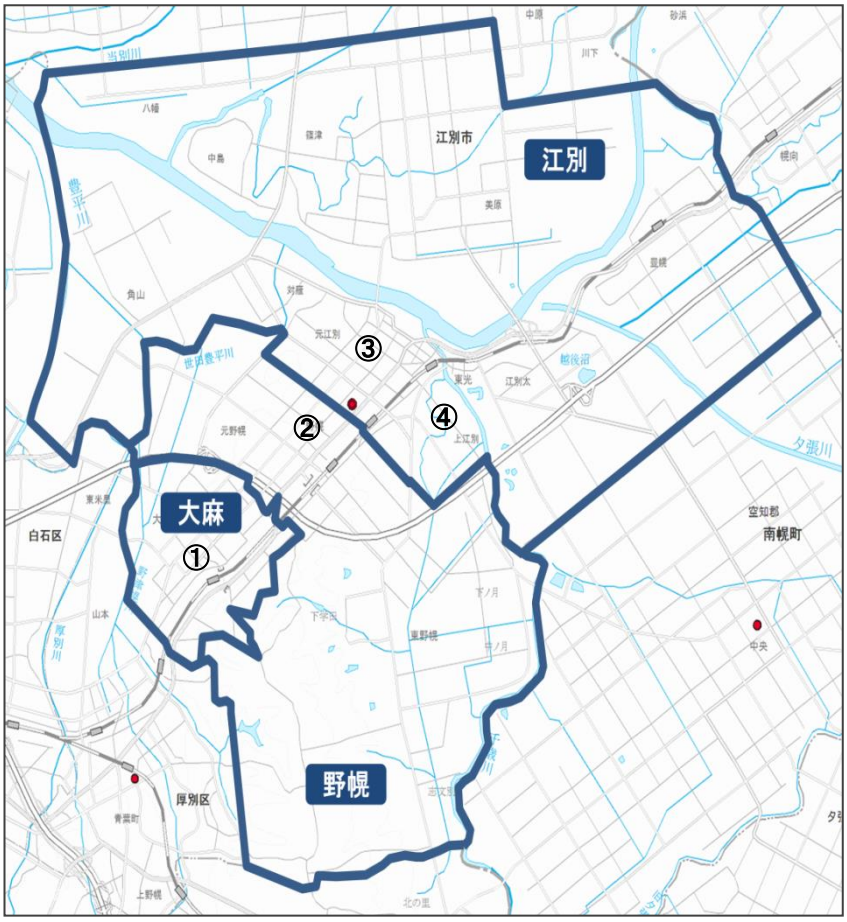
調査対象	調査項目
第１号被保険者	○ご家族や生活状況について ○からだを動かすことについて ○食べることについて ○毎日の生活について ○地域での活動について ○たすけあいについて ○健康について ○認知症について ○受けている手助けについて ○高齢者の健康と福祉へ望むこと ○成年後見制度について ○介護保険制度について
第２号被保険者	○ご家族や生活状況について ○からだを動かすことについて ○食べることについて ○健康について ○高齢期の健康と福祉へ望むこと ○成年後見制度について ○地域での活動や手助けについて ○認知症について ○介護保険制度について
居宅サービス利用者	○ご家族や生活状況について ○食べることについて ○毎日の生活について ○たすけあいについて ○健康について ○成年後見制度について ○認知症について ○主に介護している方について ○介護保険サービス等の利用について ○介護保険制度について
施設サービス利用者	○ご家族や生活状況について ○毎日の生活について ○健康について ○認知症について ○成年後見制度について ○入所施設サービスについて ○介護保険制度について

調査対象	調査項目
サービス未利用者	○ご家族や生活状況について ○食べることについて ○毎日の生活について ○たすけあいについて ○健康について ○認知症について ○主に介護している方について ○介護保険サービスの利用について ○高齢者の健康と福祉へ望むこと ○成年後見制度について ○介護保険制度について
介護保険サービス事業所	○事業所概要 ○在宅医療・介護連携について ○看取りについて ○ボランティアの受け入れについて ○介護人材の確保・離職防止について ○今後の高齢者施策について ○成年後見制度について
高齢者向け住宅事業者	○施設概要 ○入居者について ○実施サービスについて ○看取りについて ○介護人材の確保・離職防止について ○今後の高齢者施策について ○成年後見制度について
ケアマネジャー	○基本情報 ○負担になっている業務について ○医療機関等との連携について ○看取りについて ○ケアマネジャーの仕事について ○今後の高齢者施策について ○成年後見制度について

５．報告書利用上の留意点

・基数となるべき実数（ｎ）は、設問に対する回答者数（調査数）です。
・各設問の集計にあたっては、各設問とも「有効回答数」から無回答の件数を差し引いた件数を「回答者数（調査数)」とし、これを基数として構成比（%）を算出しました。従って、各設問とも「回答者数（調査数)」は異なります。
・百分率（%）の計算は、少数第２位を四捨五入し、少数第１位まで表示しました。従って、単数回答（１つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、%の合計が 100%にならない場合があります。
・複数回答（２つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が 100%を超える場合があります。
・本文、表、グラフは表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
・分析軸の項目に「無回答」があるため、全体のｎと合計が合わない場合があります。
・原則、回答者数（調査数）が 30 未満の場合、参考として値を記載するにとどめ、本文中では触れない場合があります。
・報告書上の地区は、次ページのように３地区とします。

【３地区の区分】



［地域包括支援センター］
①大麻第一地域包括支援センター
②野幌第一地域包括支援センター
③江別第一地域包括支援センター
④江別第二地域包括支援センター

江別地区	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東、萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘、上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町、ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町、いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西、萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌、豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
野幌地区	錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台、野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町、野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌、緑ヶ丘、あさひが丘
大麻地区	文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町、大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町、大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町、大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

第２章　調査結果の概要

１.市民向け調査

（１）回答者の状況

○年齢について、第１号被保険者では「70～74 歳」が 30.3％で、第２号被保険者では「60 歳以上」が 27.1％で最も多く、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「85 歳以上」がそれぞれ 52.1％、69.0％、42.3％で最も多くなっています。（13 頁参照）

○要介護度について、第１号被保険者では「介護認定なし」が 94.9％で、居宅サービス利用者では「要支援２」が 29.5％で、サービス未利用者では「要支援１」が 41.7％で、施設サービス利用者では「要介護４」が 31.0％で最も多くなっています。（34 頁参照）

○家族構成について、第１号被保険者とサービス未利用者では「夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上)」がそれぞれ 50.1％、36.3％で、居宅サービス利用者では「息子・娘との２世帯」が 34.5％で、第２号被保険者では「子と同居」が 46.8％で最も多くなっています。（38 頁参照）

（２）暮らしの状況

【調査結果の概要】

○住まいの形態について、全ての調査において「持家（一戸建て)」が最も多く、第１号被保険者で 78.5％、第２号被保険者で 74.7％、居宅サービス利用者で 68.4％、サービス未利用者で 74.3％となっています。（42 頁参照）

○第１号被保険者の介護・介助の状況について、「介護・介助は必要ない」が 90.7％で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（6.0％）となっています。（46 頁参照）

○第２号被保険者の育児や介護の状況について、「介護のみをしている」（9.0％）と「育児と介護の両方をしている」（1.6％）を合わせると、介護をしている人は 10.6％となっています。（47 頁参照）

○今後の生活意向について、「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が最も多く、第１号被保険者で 91.1％、第２号被保険者で 87.2％、居宅サービス利用者で 84.8％、サービス未利用者で 83.3％となっています。なお、自身の介護が必要となった場合の生活意向については、第２号被保険者では「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が第１号被保険者、居宅サービス利用者よりも割合が少なくなり、「ケア付きの高齢者専用の住居に入居したい」が 29.5％、「介護保険施設へ入所したい」が 17.1％となっています。（50～53 頁参照）

【調査結果からの考察】

●第１号被保険者において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した人の割合が 6.0％となっていることを考慮すると、今後必要な介護・介助が受けられるよう、各種制度やサービス内容の情報提供を更に充実する必要性がうかがえます。

●第２号被保険者において、介護をしている人の割合が 10.6％となっていることを考慮すると、家族・親族等の介護者を支援するための各種制度やサービス内容の情報提供を更に充実する

必要性がうかがえます。

（３）介護者の状況

【調査結果の概要】

○週の介護頻度について、「ほぼ毎日ある」は、居宅サービス利用者で 44.9%、サービス未利用者で 23.6%となっています。一方、サービス未利用者では「ない」が 57.3%となっています。（54 頁参照）

○介護者の続柄について、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「娘」が最も多く、それぞれ 38.4%、45.8%となっています。（56 頁参照）

○介護者との同居・別居について、「同居」は、居宅サービス利用者で 70.8%、サービス未利用者で 63.1%となっています。（60 頁参照）

○介護者の年齢について、居宅サービス利用者では「60 歳代」が 34.2%で、サービス未利用者では「50 歳代」が 29.0%で最も多くなっています。また、「60 歳代」「70 歳代」「80 歳以上」を合わせると、それぞれ 71.9%、61.3%となっています。（62 頁参照）

○介護者の就労状況について、「フルタイムで働いている」は居宅サービス利用者では 22.1%、サービス未利用者では 19.4%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「フルタイムで働いている」は要介護度が上がるほど少なくなっています。さらに、働いていると回答した人に、今後働きながらの介護継続の可能性を聞いたところ、「問題なく続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせると、居宅サービス利用者で 86.4%、サービス未利用者で 68.1%となっています。（64～65 頁参照）

【調査結果からの考察】

●週の介護頻度について、「ほぼ毎日ある」は居宅サービス利用者では４割以上、サービス未利用者でも２割以上となっているとともに、60 歳以上の介護者が多いことから、介護者の高齢化を見据えた支援を検討する必要性がうかがえます。

●介護者の就労状況について、「フルタイムで働いている」は居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに３割に達していません。また、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「フルタイムで働いている」は要介護度が上がるほど少なくなっています。介護者に対する支援や、職場の理解を深める必要性がうかがえます。

（４）各種リスクの状況

【調査結果の概要】

○運動器の機能低下について、「運動器の機能低下」している割合は 10.3%となっています。性・年代別でみると、「運動器の機能低下」している割合は女性・75 歳以上で 17.1%と最も高くなっています。（第１号被保険者）（67 頁参照）

○転倒リスクについて、「転倒リスクあり」の割合は 36.5%となっています。性・年代別でみると、「転倒リスクあり」の割合は男性・75 歳以上で 41.4%と最も高くなっています。（第１号被保険者）（70 頁参照）

○閉じこもり傾向について、「閉じこもり傾向あり」の割合は、第１号被保険者で 23.4%、第２号被保険者で 12.1%となっています。性・年代別でみると、「閉じこもり傾向あり」の割合は、第１号被保険者は女性・75 歳以上で 35.0%、第２号被保険者は男性・40 代で 24.4%と最も高くなっています。(72 頁参照)

○低栄養の傾向について、「低栄養の疑いあり」の割合は、第１号被保険者では 1.0%、第２号被保険者では 1.0%、居宅サービス利用者では 3.1%、サービス未利用者では 2.1%となっています。(76 頁参照)

○咀嚼機能の低下について、「咀嚼機能の低下が疑われる」の割合は、第１号被保険者では 23.7%、第２号被保険者では 9.3%、居宅サービス利用者では 40.8%、サービス未利用者では 43.6%となっています。また、いずれも要介護度が上がるほど「咀嚼機能の低下が疑われる」の割合が高くなる傾向があります。(83～84 頁参照)

○誰かと食事をする機会について、「毎日ある」が最も多く、第１号被保険者で 57.5%、第２号被保険者で 76.1%、居宅サービス利用者で 58.3%、サービス未利用者で 45.3%となっています。一人暮らしの場合、「ほとんどない」が２人以上の世帯に比べて多くなっており、第１号被保険者では 17.6%となっています。(89～90 頁参照)

○認知機能の低下について、「認知機能の低下がみられる」の割合は、第１号被保険者では 43.2%、居宅サービス利用者では 61.6%、施設サービス利用者では 74.7%、サービス未利用者では 60.3%となっています。性・年代別でみると、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「認知機能の低下がみられる」割合はいずれも女性・75 歳以上で最も高くなっています。(92～93 頁参照)

【調査結果からの考察】

●第１号被保険者において、「運動器の機能低下」「閉じこもり傾向あり」「認知機能低下がみられる」の割合は、女性・75 歳以上で比較的高い傾向がみられることから、これらのリスクを下げるための取り組みを進める際は、それを念頭に置いて効果的な内容・手法を検討する必要性がうかがえます。

（５）地域での活動・つながりの状況

【調査結果の概要】

○各活動の参加頻度について、「参加していない」がそれぞれボランティアのグループ(89.1%)、スポーツ関係(73.6%)、趣味関係(73.4%)、学習・教養サークル(91.0%)、通いの場(91.2%)、高齢者クラブ (92.2%)、自治会 (77.0%)、収入のある仕事 (70.6%) となっています。また、どの地域活動にも参加していない人は 44.2%となっており、性・年代別でみると、その割合は女性・75 歳以上で 56.2%と最も高くなっています。(第１号被保険者) (99～107 頁参照)

○地域づくりへの「参加者」としての参加意向について、「既に参加している」「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 63.8%、第２号被保険者で 65.1%となっています。(108 頁参照)

○地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向について、「既に参加している」「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 41.1%、第２号被保険

者で 41.0％となっています。（110 頁参照）

○参加・活動しやすい条件について、第１号被保険者では「気軽に参加できそうな活動があること」が 50.7％、第２号被保険者では「時間や期間にあまりしばられないこと」が 59.9％で、最も多くなっています。（113 頁参照）

○心配事や愚痴を聞いてくれる人について、第１号被保険者とサービス未利用者では「配偶者」がそれぞれ 60.0％、42.0％で最も多く、居宅サービス利用者では「別居の子ども」が 38.7％で最も多くなっています。（114 頁参照）

○心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が最も多く、第１号被保険者で 58.6％、居宅サービス利用者で 27.1％、サービス未利用者で 40.1％となっています。（117 頁参照）

○看病や世話をしてくれる人について、第１号被保険者とサービス未利用者では「配偶者」がそれぞれ 66.5％、45.3％で最も多くなっています。（120 頁参照）

○看病や世話をしてあげる人について、第１号被保険者とサービス未利用者では「配偶者」がそれぞれ 69.5％、44.2％で最も多くなっています。（122 頁参照）

○家族や友人・知人以外の相談相手について、第１号被保険者、第２号被保険者では「そのような人はいない」が最も多く、それぞれ 52.3％、54.2％となっています。居宅サービス利用者では「ケアマネジャー」が 69.5％、サービス未利用者では「医師・歯科医師・看護師」が 41.3％で最も多くなっています（124 頁参照）

【調査結果からの考察】

●地域活動に全く参加していない人が４割以上で、特に女性・75 歳以上では５割以上となっています。地域活動に関する情報提供や参加しやすい環境づくりを進める必要性がうかがえます。

●地域づくりへの「参加者」としての参加意向は６割以上、地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向は約４割となっており、いずれも第１号被保険者と第２号被保険者の参加意向の割合は同程度となっています。それぞれの生活実態や多様性を理解した上で、誰もが参加・活動しやすい地域づくりを目指す必要性がうかがえます。

（６）手助けの状況

【調査結果の概要】

○受けている手助けについて、「いずれも受けていない」が 64.3％で最も多く、次いで「冬期間の除雪」（26.2％）、「話し相手や相談相手」（21.4％）となっています。（第１号被保険者）（129 頁参照）

○必要なのに受けていない手助けについて、「特にない」が 86.7％で最も多く、次いで「冬期間の除雪」（7.6％）、「災害時の手助け」（3.5％）となっています。（第１号被保険者）（140 頁参照）

○ちょっとした手助けの近所への依頼について、「お願いできない」が、第１号被保険者では 42.0％、第２号被保険者では 59.9％となっています。（141 頁参照）

○近所からのちょっとした手助けの引き受け状況について、第１号被保険者、第２号被保険者とも「引き受ける」が最も多く、それぞれ 56.0％、60.9％となっています。（143 頁参照）

○地域の支え合いとしてできることについて、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「安否確認の声かけ」が最も多く、それぞれ 52.8%、59.9%となっています。次いで、第１号被保険者では「ちょっとした買い物やゴミ出し」が 33.9%、第２号被保険者では「災害時の手助け」が 37.6%となっています。（145 頁参照）

【調査結果からの考察】

●近所からのちょっとした手助けについて、「お願いできない」が第１号被保険者で４割以上、第２号被保険者で約６割となっている一方、「引き受ける」は第１号被保険者で５割以上、第２号被保険者で約６割となっています。手助けを頼みたいときに気軽に頼める関係づくりをサポートする必要性がうかがえます。

（７）健康づくり

【調査結果の概要】

○主観的健康感について、全ての調査において「まあよい」が最も多く、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた≪よい≫は第１号被保険者で 79.3%、居宅サービス利用者で 63.3%、施設サービス利用者で 56.0%、サービス未利用者で 55.2%となっています。（147 頁参照）

○健康づくりへの興味・関心について、第１号被保険者と居宅サービス利用者では「興味・関心があり、取り組んでいる」が最も多く、それぞれ 49.6%、44.9%となっています。サービス未利用者では「興味・関心はあるが、取り組んでいない」が 44.3%で最も多くなっています。（150 頁参照）

○幸福度（10 点満点）について、平均点は、第１号被保険者で 7.09 点、居宅サービス利用者で 6.94 点、施設サービス利用者で 5.46 点、サービス未利用者で 6.58 点となっています。主観的健康感別にみると、全ての調査において、平均点は主観的健康感がよいほど高い傾向となっています。（153～154 頁参照）

○うつ傾向について、「うつ傾向あり」は 41.5%となっています。主観的健康感別にみると、「うつ傾向あり」の割合は主観的健康感がよいほど低くなっています。（第１号被保険者）（156 頁参照）

○健康維持のために心がけていることについて、第１号被保険者では「食事の栄養バランスに気をつける」が 61.3%で最も多く、第２号被保険者では「休息や睡眠をとるようにする」が 59.9%で最も多くなっています。主観的健康感別にみると、第１号被保険者では「ウォーキングなどの運動・体操をする」「趣味を持つ」「食事の栄養バランスに気をつける」「休息や睡眠をとるようにする」「外出」は主観的健康感がよいほど多くなっています。（160～161 頁参照）

○健康について知りたいこととして、第２号被保険者、サービス未利用者ともに「認知症の予防について」が最も多く、それぞれ 49.3%、48.5%となっています。（162 頁参照）

【調査結果からの考察】

●幸福度と主観的健康感は、第１号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者のいずれにおいても相関関係がみられます。また、第１号被保険者において、うつ傾向と主観的健康感にも相関関係がみられます。したがって、主観的健康感を高める取り組

みが市民の幸福度を向上させることにつながると考えられます。

●第２号被保険者、サービス未利用者ともに、認知症の予防について、それぞれ約５割が関心を持っていることから、認知症に対する理解促進が求められています。

（８）医療機関との関係

【調査結果の概要】

○現在治療中、後遺症のある病気について、「高血圧」が 45.0%で最も多く、次いで「目の病気」（18.1%）、「ない」（15.9%）となっています。（第１号被保険者）（163 頁参照）

○介護予防への興味・関心について、第１号被保険者とサービス未利用者では「興味・関心はあるが、取り組んでいない」がそれぞれ 64.5%、60.8%で最も多くなっています。居宅サービス利用者では「興味・関心があり、取り組んでいる」が 41.3%で最も多くなっています。（164 頁参照）

○通院による医師の診療頻度について、第２号被保険者では「通院していない」が 55.2%で最も多く、居宅サービス利用者とサービス未利用者では「月に１回」がそれぞれ 73.2%、61.2%で最も多くなっています。さらに、通院している人に、その原因を聞いたところ、第２号被保険者、居宅サービス利用者とも「高血圧」が最も多く、それぞれ 37.3%、57.8%となっています。（167～168 頁参照）

○訪問診療の受診状況について、第１号被保険者では「受けている」が 10.4%、居宅サービス利用者では 25.9%、サービス未利用者では 10.8%となっています。要介護度別にみると、要介護度が上がるほど訪問診療を受けている割合が高い傾向となっています。（170～171 頁参照）

○健診の受診状況について、全ての調査において「定期的に受けている」が最も多く、第１号被保険者で 56.5%、第２号被保険者で 71.2%、居宅サービス利用者で 60.8%、施設サービス利用者で 61.0%、サービス未利用者で 52.8%となっています。さらに、健診を受けていない人に、その理由を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「既に医療機関で治療中である」が最も多く、それぞれ 47.7%、67.1%、51.0%、69.7%となっています。第２号被保険者では「健康なので必要性を感じない」「面倒だから」がそれぞれ 24.2%で最も多くなっています。（175～178 頁参照）

○かかりつけ医の有無について、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「いる」が多く、それぞれ 76.4%、92.4%、86.0%となっています。第２号被保険者では「いない」が 54.0%となっています。（182 頁参照）

○かかりつけ医の必要性について、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「常に必要である」が最も多く、それぞれ 50.3%、70.7%、57.8%となっています。第２号被保険者では「継続して治療を要する病気になったら必要とする」が 62.9%で最も多くなっています。（183 頁参照）

【調査結果からの考察】

●第１号被保険者とサービス未利用者では、介護予防について「興味・関心はあるが、取り組んでいない」と回答した人が６割以上となっています。取り組む人を増やす取り組みを進める必要性がうかがえます。

●要介護度が上がるほど訪問診療を受けている割合が高い傾向があることから、在宅医療を更に充実させていく必要性がうかがえます。

●検診を受けていない理由を聞いたところ、第２号被保険者では、「健康なので必要性を感じない」「面倒だから」がそれぞれ２割を超えており、健診を定期的に受けることの重要性の理解を更に進めていく必要性がうかがえます。

（９）認知症の意識や支援等

【調査結果の概要】

○自身または家族に認知症の症状がある人の有無について、「はい（いる）」が第１号被保険者で10.1%、第２号被保険者で15.0%、居宅サービス利用者で31.9%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で20.0%、施設サービス利用者（代理人）で56.4%、サービス未利用者で27.5%となっています。（184頁参照）

○認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい（知っている）」が第１号被保険者で26.7%、第２号被保険者で23.5%、居宅サービス利用者で27.0%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で60.0%、施設サービス利用者（代理人）で57.8%、サービス未利用者で28.6%となっています。（187頁参照）

○認知症に対するイメージについて、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」「認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」「認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう」を合わせると、第１号被保険者で57.1%、第２号被保険者で70.0%、居宅サービス利用者で55.7%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で100.0%、施設サービス利用者（代理人）で72.9%、サービス未利用者で52.7%となっています。（190頁参照）

○家族が認知症であることを打ち明ける範囲について、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で82.2%、第２号被保険者で86.8%、居宅サービス利用者で72.7%、施設サービス利用者（代理人）で84.3%（本人は57.1%）、サービス未利用者で79.7%となっています。（191頁参照）

○認知症に対する不安について、「不安に思う」と「今は大丈夫だが将来不安」を合わせると、第１号被保険者で94.5%、第２号被保険者で94.1%、居宅サービス利用者で92.3%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で100.0%、施設サービス利用者（代理人）で92.8%、サービス未利用者で92.2%となっています。（195頁参照）

○認知症に関する相談先について、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で62.9%、第２号被保険者で60.6%、居宅サービス利用者で62.5%、サービス未利用者で65.4%となっています。また、居宅サービス利用者では「ケアマネジャー・介護サービス事業所」も多く、59.4%となっています。（198頁参照）

○認知症サポーターの認知度について、全ての調査において「知らない」が最も多く、第１号被保険者で67.5%、第２号被保険者で77.1%、居宅サービス利用者で71.3%、サービス未利用者で66.2%となっています。また、認知症サポーター養成講座の受講意向については、全ての調査において「受講したくない」が最も多く、第２号被保険者で66.9%、居宅サービス利

用者で 74.8%、サービス未利用者で 65.7%となっています。(201～203 頁参照)

【調査結果からの考察】

●自身または家族に認知症の症状がある人は、第１号被保険者と第２号被保険者では１割以上、居宅サービス利用者では３割以上、施設サービス利用者では５割以上、サービス未利用者では２割以上となっていますが、認知症に関する相談窓口の認知度は施設サービス利用者以外では３割に達していません。また、認知症サポーターの認知度は、いずれの調査においても４割に達していません。一方、認知症サポーター養成講座については、「受講したくない」が６割を超えています。認知症に対する周囲の理解、サポート体制によって認知症の方の暮らしやすさも向上するため、認知症に関する正しい知識等の普及啓発の取り組みを更に進めていく必要性がうかがえます。

(10) 相談支援体制

【調査結果の概要】

○地域包括支援センターの認知度について、「知らない」が第１号被保険者で 30.7%、第２号被保険者で 33.1%、サービス未利用者で 15.5%となっています。(208 頁参照)

○地域包括支援センターに期待することについて、すべての調査において「様々な困りごとの相談窓口」が最も多く、第１号被保険者で 47.4%、第２号被保険者で 55.6%、サービス未利用者で 49.4%となっています。(210 頁参照)

【調査結果からの考察】

●地域包括支援センターを「知らない」はサービス未利用者では１割以上、第１号被保険者と第２号被保険者では３割を超えています。一方、地域包括支援センターの役割として、第１号被保険者、第２号被保険者、サービス未利用者では「様々な困りごとの相談窓口」を、いずれも約５割の方が期待しています。地域の様々なニーズに対応するため、まずは地域包括支援センターの認知度の向上を図ることが必要と考えられます。

(11) 成年後見制度

【調査結果の概要】

○成年後見制度の認知度について、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、第１号被保険者で 35.0%、第２号被保険者で 43.5%、居宅サービス利用者で 26.4%、施設サービス利用者で 46.5%、サービス未利用者で 26.9%となっています。(212 頁参照)

○成年後見制度の利用意向について、施設サービス利用者を除いて「わからない」が最も多く、「利用は考えていない」が第１号被保険者で 35.5%、第２号被保険者で 24.2%、居宅サービス利用者で 38.6%、施設サービス利用者で 42.7%、サービス未利用者で 35.9%となっています。(215 頁参照)

○成年後見人ができると思うことについて、全ての調査において「金銭の管理や医療費・利用料

等の支払い等､財産の管理」が最も多く､第１号被保険者で 61.7%､第２号被保険者で 69.2%、居宅サービス利用者で 53.4%、施設サービス利用者で 78.4%、サービス未利用者で 59.1%となっています。(222 頁参照)

○自身が将来不安に思うことについて、第１号被保険者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「身体的（病気等）なこと」が最も多く、それぞれ 46.2%、51.3%、55.3%、となっています。第２号被保険者では「自分自身の将来」が 41.6%、居宅サービス利用者では「身の回りのことができなくなってきたこと」が 54.7%と、それぞれ最も多くなっています。(225 頁参照)

○江別市成年後見支援センターの認知度について､全ての調査において「知らない」が最も多く、第１号被保険者で 62.9%、第２号被保険者で 82.0%、居宅サービス利用者で 72.1%、施設サービス利用者で 67.2%、サービス未利用者で 58.1%となっています。(229 頁参照)

【調査結果からの考察】

●いずれの調査においても、成年後見制度の内容について、大まかにでも知っている人は２～５割にとどまるとともに、江別市成年後見支援センターについて知らない人が５～８割となっています。一方、自身が将来不安に思うこととして、第１号被保険者、施設サービス利用者、サービス未利用者は「身体的（病気等）なこと」を４～５割の方が、第２号被保険者は「自分自身の将来」を４割以上の方が、居宅サービス利用者では「身の回りのことができなくなってきたこと」を５割以上の方があげています。これらから、成年後見制度と江別市成年後見支援センターの認知度を高めていく必要性がうかがえます。

(12) 介護保険サービス等の利用状況

【調査結果の概要】

○制度上で利用できる上限までの利用について、「上限まで利用していない」が 39.3%で最も多く、次いで「わからない」(28.3%)、「上限まで利用している」(27.8%) となっています。上限まで利用していない人に、その理由を聞いたところ、「現在のサービスメニューで十分だから」が 67.1%で最も多く、次いで「家族等が介護してくれるから」(37.2%)、「利用に要する費用が高いから」(10.9%) となっています。(居宅サービス利用者) (237～238 頁参照)

○サービス利用の満足度について、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫は 80.6%となっていますが、要介護度別にみると、要介護度が上がるほど≪満足≫の割合は低くなっています。不満な理由を聞いたところ、「利用料金が思っていたより高い」が 41.5%、「希望する回数が利用できない」が 29.3%となっています。(居宅サービス利用者) (239～240 頁参照)

○利用しているサービスの満足なところについて、「職員・スタッフに関すること」「施設・設備・サービス内容全般」「健康・介護予防に関すること」が多くあげられました。一方、不満なところとしては、「施設・設備・サービス内容全般」「サービスの利用回数・時間等に関すること」「職員・スタッフに関すること」が多くあげられました。(居宅サービス利用者) (241 頁参照)

○サービス未利用者が認定を受けるために申請した理由について、「すぐには使わないが、将来的に介護サービスを利用したい」が 50.5%で最も多く、次いで「何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」（46.5%）、「医師や看護師などから申請するよう勧められた」（28.8%）となっています。要介護度別でみると、「何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」の割合は要介護度が下がるほど高い一方、「病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい」の割合は要介護度が上がるほど高くなっています。（242 頁参照）

○サービス未利用者の現在の生活状況について、「自宅」が 86.2%で最も多く、次いで「病院（診療所）」（9.2%）、サービス付き高齢者向け住宅（1.8%）となっています。さらに、「自宅」と回答した人に、介護サービスを利用していない理由を聞いたところ、「認定はされたが、まだ自分で何とかできるため」が 58.6%で最も多く、次いで「これからは介護サービスを利用しようと思っている」（32.6%）、「家族などに介護してもらうため」（19.9%）となっています。（244～246 頁参照）

○居宅サービス利用者の今後のサービス利用意向について、「これまでと同様に、居宅サービスを利用する」が 72.3%で最も多く、次いで「わからない」（16.5%）、「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」（4.7%）となっています。また、「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」と回答した人に、施設に入所したい理由を聞いたところ、「入所（入院）したほうが家族の負担が軽減されるから」が 63.3%で最も多く、次いで「状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから」（53.3%）、「その他」（10.0%）となっています。（248～250 頁参照）

○特別養護老人ホームの入所検討状況について、居宅サービス利用者、サービス未利用者とも「検討していない」が最も多く、それぞれ 83.0%、86.7%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者では「検討している」と「既に入所申込をしている」を合わせると、要介護３～５で約３割となっています。（251 頁参照）

○在宅生活継続で受けたい支援内容について、居宅サービス利用者では「冬期間の除雪」が 32.9%で最も多く、次いで「特にない」（32.5%）となっています。サービス未利用者では「冬期間の除雪」が 48.4%で最も多く、次いで「災害時の手助け」（41.1%）となっています。（255 頁参照）

【調査結果からの考察】

●居宅サービス利用者では、制度上で利用できる上限まで利用していない人が約４割となっています。上限まで利用していない理由として、約７割の方が「現在のサービスメニューで十分だから」と評価していますが、生活の質の更なる向上を目指し、状況に応じてサービス内容を随時検討する必要性が生じる場合もあると考えられます。

●居宅サービス利用者のサービスに対する満足度は、要介護度が上がるほど低くなっています。不満な理由は、利用料金や、希望する回数が利用できないなど様々ですが、利用者の状況に応じてサービスを再考するなど、利用者の不満を少しずつでも解消していくよう努める必要があると考えられます。

●サービス未利用者で、介護サービスを利用していない理由として「認定はされたが、まだ自分で何とかできるため」と回答した人が約６割となっている一方で、「家族などに介護しても

らうため」と回答した人が約２割となっていることから、認定に対する理解を深めていくとともに、在宅介護を支える家族等の介護者への支援の必要性がうかがえます。

（13）入所施設サービスの状況

【調査結果の概要】

○施設に入所した理由について、「体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから」が 76.9％で最も多く、次いで「入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから」（19.4％）、「介護してくれる家族も高齢だから」（19.0％）となっています。（施設サービス利用者）（258 頁参照）

○現在入所している施設の種類について、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 50.4％で最も多く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」（38.4％）、「介護医療院・介護療養型医療施設」（11.2％）となっています。（施設サービス利用者）（259 頁参照）

○申込から入所までの期間を聞いたところ、「１年未満」が 79.2％で最も多く、次いで「１年から３年未満」（15.0％）、「３年から５年未満」（4.2％）となっています。また、現在の施設の入所期間については、「１年から３年未満」が 51.0％で最も多く、次いで「３年から５年未満」（18.8％）、「１年未満」（16.3％）となっています。（施設サービス利用者）（260～261 頁参照）

○施設のサービス満足度について、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫の割合は 84.9％となっています。（施設サービス利用者）（262 頁参照）

○施設サービスを受けてよかったと思うことについて、「家族の負担が減った」が 73.7％で最も多く、次いで「必要な時にすぐに介護が受けられる」（54.7％）、「精神的に楽になった」（50.0％）となっています。（施設サービス利用者）（265 頁参照）

【調査結果からの考察】

●施設サービスを受けてよかったと思うこととして、７割以上の人が「家族の負担が減った」、５割の人が「精神的に楽になった」と回答していることから、在宅介護の負担の大きさが推しはかれます。

（14）介護保険制度について

【調査結果の概要】

○介護保険制度の在り方での力点について、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」が 49.1％で最も多く、次いで「入所施設の確保」（39.0％）、「訪問サービス（ホームヘルプや訪問看護など）の量や質の充実」（33.4％）となっています。（第２号被保険者）（266 頁参照）

○介護サービスと保険料の在り方について、第２号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない」がそれぞれ 36.6％、35.6％、54.4％、30.9％で最も多く、第１号被保険者では「わからない」が 27.4％で最も多くなっています。（268 頁参照）

○介護保険サービスの利用条件の認知度について、「知っている」が第１号被保険者では 77.4％、

第２号被保険者では 79.6%となっています。(270 頁参照)

○今後特に力を入れてほしい高齢者施策について、第１号被保険者、第２号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「一人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」がそれぞれ 43.0%、42.6%、36.6%、47.6%、44.2%で最も多くなっています。(271 頁参照)

【調査結果からの考察】

●介護サービスと保険料の在り方として、第２号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない」と考える人の割合が最も高くなっていますが、３～５割程度にとどまっています。今後も、介護サービスの質及び量と保険料のバランスが取れるように努める必要があります。

●すべての調査において、今後特に力を入れてほしい高齢者施策として、３～４割の人が「一人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」をあげており、高齢者が一人でも安心して暮らすことができるような取り組みを進めていく必要性がうかがえます。

２.事業系調査

（１）介護保険サービス事業所

【調査結果の概要】

■事業運営

○円滑に事業運営を進めて行くうえで、特に困難と感じることについて、「従事者の確保が難しい」が 74.2%で最も多く、次いで「事務作業が多い」(58.6%)、「利用者の確保が難しい」(38.3%)となっています。(275 頁参照)

■各種連携の状況

○連携が必要だと思う関係機関について、「医療機関」が 86.9%で最も多く、次いで「他の介護事業者」(59.2%)、「地域包括支援センター」(49.2%) となっています。(276 頁参照)

○ケアマネジャーとの連携について、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 96.2%となっています。(276 頁参照)

○江別市内の在宅医療・介護連携について、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 66.4%となっています。在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があることについては、「医療・介護関係者の情報共有の支援」が 58.5%で最も多く、次いで「地域の医療・介護サービス資源の把握」と「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」がともに 44.6%、「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」(40.8%) となっています。(277 頁参照)

○患者情報共有のためのＩＣＴ(情報通信技術)の活用について、「活用したいと思う」が 76.2%で最も多く、次いで「わからない」(13.8%)、「活用したいとは思わない」(6.2%) となっています。(278 頁参照)

■看取りの実施

○施設系サービスを運営する事業所に、看取りの実施の有無を聞いたところ、「はい（実施している）」が 51.1%、「いいえ（実施していない）」が 48.9%となっています。（279 頁参照）

○看取りをする場合に欠かせないと思うことについて、「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」が 42.9%で最も多く、次いで「施設として明確な方針を有していること」（21.4%）、「職員の理解と協力があること」（17.9%）となっています。（280 頁参照）

■ボランティア

○ボランティアの受け入れについて、「できる」が 67.5%、「できない」が 32.5%となっています。ボランティアの受け入れができない理由については、「介護に携わったことのない人では業務に対応できないから」が 29.4%で最も多く、次いで「人員は足りているから」（26.5%）、「ボランティアの教育で時間がとられるから」（23.5%）となっています。（280～281 頁参照）

○ボランティアに任せられると思う業務について、「利用者の話し相手」が 77.5%で最も多く、次いで「楽器の演奏などの慰問」（75.0%）「レクリエーションやゲームの手伝い」（56.3%）となっています。（281 頁参照）

■人材確保・育成・定着

○この１年間における人材の確保状況について、「確保できている」と「おおむね確保できている」を合わせた≪確保できている≫は 61.0%となっています。不足している職種については、「介護職員」が 42.7%で最も多く、次いで「特にない」（25.0%）、「看護職員」（20.2%）となっています。また、人員の不足数については、「１人」が 33.7%で最も多く、次いで「２人」（28.1%）、「３人」（22.5%）となっています。（282～284 頁参照）

○昨年１年間の離職者について、「いない」が 28.2%、「いる」が 71.8%となっています。また、離職の理由については、「給与が安い」が 25.0%、「職場の人間関係」と「他に条件のいい職場がある（介護関係）」がともに 23.9%、「仕事がきつい」が 22.7%となっています。（282～283 頁参照）

○新規人材の確保のための取り組みについて、最も効果が高いと考える取り組みは、「ハローワークとの連携を図っている」が 27.1%で最も多く、次いで「定期的に求人誌への掲載などを行っている」（22.0%）、「人材派遣会社との連携を図っている」（12.7%）となっています。（285 頁参照）

○人材の定着・育成（離職防止）のための取り組みについて、最も効果が高いと考える取り組みは、「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている」が 20.0%で最も多く、次いで「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」（16.7%）、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」（15.8%）となっています。（286 頁参照）

■介護助手への元気高齢者等の活用

○介護助手への元気高齢者等の活用について、「現時点では考えていない」が 44.2%で最も多く、次いで「今後活用したい」（32.5%）、「すでに活用している」（18.3%）となっています。（288

頁参照）

○元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制について、「将来的に整備したいが、現時点においては整備の予定はない」が 56.3％で最も多く、次いで「整っている」（28.1％）、「将来的に整備する予定」（15.6％）となっています。（288 頁参照）

■成年後見制度

○成年後見制度の認知度について、「制度の内容や手続方法を知っている」（21.9％）と「制度の内容を大まかに知っている」（63.3％）を合わせると、85.2％となっています。（294 頁参照）

○成年後見人ができると思うことについて、「金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理」が 96.9％で最も多く、次いで「入院・入所時等の契約行為」（81.4％）となっています。（294 頁参照）

○支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無について、「いる」が 32.3％、「いない」が 67.7％となっています。いると回答した事業所に、必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 87.8％で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」（73.2％）、「預貯金の管理・解約等の手続きのため」（41.5％）となっています。（295～296 頁参照）

○江別市成年後見支援センターの認知度について、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」が 33.6％で最も多く、次いで「知らない」（24.2％）、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」（22.7％）となっています。（296 頁参照）

【調査結果からの考察】

●事業運営において、従業員の確保と事務作業の多さが大きな課題となっています。過去１年間に離職者が１人以上いる事業所は約７割となっており、主な離職理由は「給与が安い」「職場の人間関係」「他に条件のいい職場がある（介護関係）」「仕事がきつい」となっていることから、従業員の離職を減らすためには、待遇や職場環境を改善する必要性がうかがえます。

●各種連携において、ケアマネジャーとの連携は９割以上が取れていると評価していますが、江別市内の在宅医療と介護との連携が取れているとの評価は７割に達していません。在宅医療・介護連携を更に進めるため、積極的な情報共有の必要性がうかがえます。

●従業員の確保が事業運営上の課題となっている状況において、３割以上の事業所がボランティアの受け入れができないと回答しています。その理由として「介護に携わったことのない人では業務に対応できないから」が最も多くなっていることから、ボランティアへの研修の必要性がうかがえます。

●成年後見制度については、「制度の内容や手続方法を知っている」は約２割にとどまっており、十分な理解とは言えない状況となっています。また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方が「いる」と回答した事業所は３割以上となっています。一方、江別市成年後見支援センターについて「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」「知らない」と回答した事業所が約６割となっていることから、成年後見制度の理解向上とともに、江別市成年後見支援センターの認知度向上に向けた取り組みの必要性がうかがえます。

（２）高齢者向け住宅事業者

【調査結果の概要】

■提供しているサービス・利用者の状況

○住宅型有料老人ホーム５事業所、サービス付高齢者向け住宅５事業所、その他３事業所からの回答がありました。入居者のほとんどが独居となっており、年齢層としては 85 歳以上が６割以上、入居年数は３年未満が約７割を占めています。提供しているサービスについて回答した 13 事業所のうち、「安否確認」は全ての事業所で、「生活相談」は 11 事業所で、「食事」は 12 事業所で実施しています。（298～300 頁参照）

■人材確保の状況

○この１年間における人材の確保状況について、13 事業所の回答内訳は「確保できている」３事業所、「おおむね確保できている」８事業所、「あまり確保できていない」１事業所、「確保できていない」１事業所となっています。（304 頁参照）

■成年後見制度

○成年後見制度の認知度について、13 事業所の回答内訳は「制度の内容や手続方法を知っている」２事業所、「制度の内容を大まかに知っている」９事業所、「名前だけ知っている」２事業所となっています。（305 頁参照）

○江別市成年後見支援センターの認知度について、回答した 13 事業所のうち「知っていて、利用したことがある」１事業所、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」４事業所、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」４事業所、「知らない」４事業所となっています。（306 頁参照）

【調査結果からの考察】

●高齢者向け住宅の入居者の状況をみると、高齢で独居の方が多くなっています。今後、住まいニーズの多様化に対応したサービスの提供を考える必要性がうかがえます。

●成年後見制度については制度の認知度は高いものの、江別市成年後見支援センターについては、13 事業所中８事業所が「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」「知らない」と回答しています。江別市成年後見支援センターの認知度向上に向けた取り組みを進める必要性がうかがえます。

（３）ケアマネジャー

【調査結果の概要】

■就労状況

○勤務形態について、「常勤」が 95.7%、「非常勤」が 4.3%となっています。経験年数は「10 年以上」が 50.5%で最も多く、次いで「５年以上 10 年未満」（29.5%）、「３年以上５年未満」（10.5%）となっています。（309～310 頁参照）

○担当している利用者数について、「35 人以上」が 50.5%で最も多く、次いで「30 人以上 35 人未満」（18.3%）、「25 人以上 30 人未満」（16.1%）となっています。（312 頁参照）

○負担になっている業務について、「主治医との連携」が 39.1％で最も多く、次いで「居宅介護支援経過の記録」（37.0％）、「入所・入院先の相談・手配」（31.5％）となっています。（313 頁参照）

○ケアマネジャーの仕事について、「業務量が過大な仕事だと思う」「精神的ストレスの大きい仕事だと思う」がともに 94.7％となっており、仕事をする上で大きな負担感を感じているケアマネジャーが非常に多くなっています。（323 頁参照）

■各種連携の状況

○担当医との連携について、「十分に連携が図られている」と「おおむね連携が図られている」を合わせた≪連携が図られている≫は 81.5％となっています。担当医との連携方法は、「利用者・家族を通じて話を聞いている」が 56.4％で最も多く、次いで「電話・ＦＡＸ等で連絡を取り、面談はしていない」（45.7％）、「ほとんどの場合、質問内容をＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している」（39.4％）となっています。（315 頁参照）

○退院後の医療継続のための対応について、「病院の地域連携室等と連携している」が 98.9％で最も多く、次いで「協力関係にある診療所・訪問看護ステーションと連携している」（51.1％）となっています。（317 頁参照）

○医療機関と連携が図りにくいと感じた経験について、「ある」が 86.3％、「ない」が 13.7％となっています。医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況としては、「個人情報を理由に答えてくれないことがある（利用者の同意書を求められた。患者、利用者・家族を通じてしか答えない。担当の介護支援専門員である証明を求められた）」が 39.5％で最も多く、次いで「担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある（担当医等が総合病院の医師であるため会うことが困難）」（37.0％）、「連絡の方法がわからない（いつ、どういうふうに連絡していいのか。また、病院側の担当窓口が分からず誰に連絡すればよいかわからない）」（35.8％）となっています。（319 頁参照）

○江別市内の在宅医療・介護連携について、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 79.1％となっています。連携を進めるために力を入れる必要があることについては、「医療・介護関係者の情報共有の支援」が 61.3％で最も多く、次いで「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」（47.3％）、「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」（44.1％）、「地域の医療・介護サービス資源の把握」（41.9％）となっています。（324～325 頁参照）

○医療機関との情報伝達の望ましい手段について、「ＦＡＸ」が 76.6％で最も多く、次いで「直接の面談」（64.9％）、「固定電話」（62.8％）となっています。（318 頁参照）

○患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用について、「活用したいと思う」が 62.2％で最も多く、次いで「わからない」（28.9％）、「活用したいとは思わない」（5.6％）となっています。（326 頁参照）

■看取り

○看取りの立ち会いの有無について、「はい（立ち会っている）」が 45.7％、「いいえ（立ち会っていない）」が 54.3％となっています。（321 頁参照）

○看取りをサポートする場合に欠かせないと思うことについて、「医療機関との連携がとれてい

ること」が 94.6%で最も多く、次いで「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」（89.2%）となっています。(322 頁参照)

■質の向上

○ケアマネジャーのスキルアップで望むことについて、「医療に関する知識」が 62.0%で最も多く、次いで「困難事例の検討」と「成年後見制度などの知識」がともに 57.6%、「認知症の方への対応」(55.4%）となっています。(322 頁参照)

■江別市に望むこと

○ケアマネジャーの立場から江別市に望むことについて、「介護保険に関する情報提供」が 44.2%で最も多く、次いで「医療機関・訪問看護ステーションとの連携への支援」(43.0%）となっています。(327 頁参照)

■成年後見制度

○成年後見制度の認知度について、「制度の内容や手続方法を知っている」(24.7%）と「制度の内容を大まかに知っている」(74.2%）を合わせると、98.9%となっています。(328 頁参照)

○成年後見人ができると思うことについて、「金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理」が 96.6%で最も多く、次いで「入院・入所時等の契約行為」(78.4%）となっています。(328 頁参照)

○支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無について、「いる」が 45.5%、「いない」が 54.5%となっています。いると回答したケアマネジャーに、成年後見制度の利用が必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 80.0%で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」(50.0%)、「預貯金の管理・解約等の手続きのため」と「契約（施設入所等）のため」がともに 40.0%となっています。(329～330 頁参照)

○江別市成年後見支援センターの認知度について、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」が 44.1%で最も多く、次いで「知っていて、利用したことがある」(43.0%)、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」(11.8%）となっています。(330 頁参照)

【調査結果からの考察】

●ほぼ全てのケアマネジャーが仕事上で大きな負担感を感じています。介護サービスの利用者にとってケアマネジャーの存在意義は大きく、ケアマネジャーが持てる力を充分に発揮できるように、業務負担を軽減する必要性がうかがえます。

●８割以上のケアマネジャーが担当医との連携が取れていると回答する一方で、８割以上のケアマネジャーが医療機関と連携が図りにくいと感じた経験が「ある」と回答しています。その要因として「個人情報を理由に答えてくれないことがある」「担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある」が上位にあがっています。ＩＣＴ（情報通信技術）の活用等も含め、個人情報の取扱いに留意しつつ、医療機関や担当医と情報共有ができる関係づくりを更に進めていく必要性がうかがえます。

●成年後見制度については、「制度の内容や手続方法を知っている」と答えたケアマネジャーは３割に達しておらず、十分な理解とは言えない状況となっています。また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方が「いる」と回答したケアマネジャーは４割以上となっています。成年後見制度の理解向上とともに、制度利用が必要な人を適切な支援につなげる取り組みの必要性がうかがえます。

第３章　市民向け調査結果の詳細

１.回答者の属性

（１）記入者、本人との関係【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

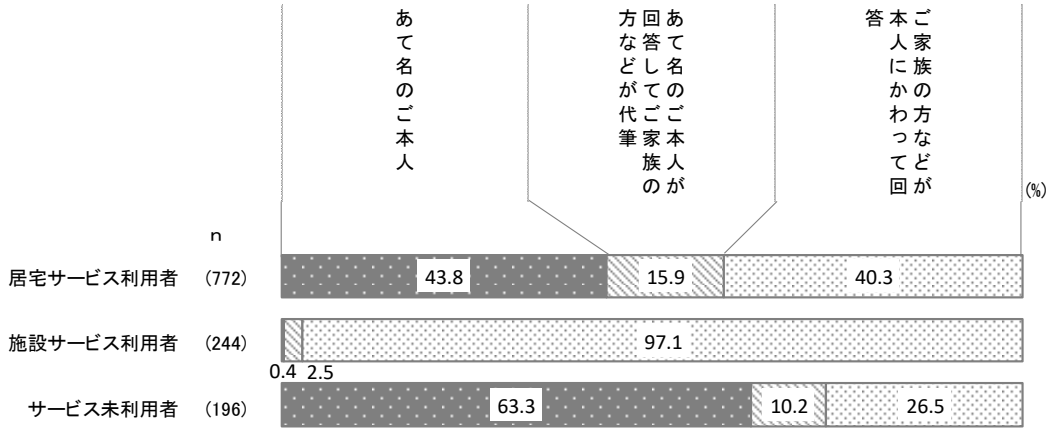
市民向け調査票のうち、第１号被保険者調査と第２号被保険者調査では、本人にご記入をお願いしていますが、居宅サービス利用者及び施設サービス利用者、サービス未利用者は、ご家族などの代筆や回答も想定しています。アンケート調査票の記入者を聞いたところ、「あて名のご本人」は居宅サービス利用者では 43.8%、施設サービス利用者では 0.4%、サービス未利用者では 63.3%となっています。

また、記入者で「ご家族の方などが本人にかわって回答」と回答した人に、ご本人との関係を聞いたところ、「子ども」との回答は、居宅サービス利用者では 56.5%、施設サービス利用者では 74.3%、サービス未利用者では 48.1%となっています。

＜図表 001＞　記入者

【居宅サービス利用者　第１問１】【施設サービス利用者　第１問１】

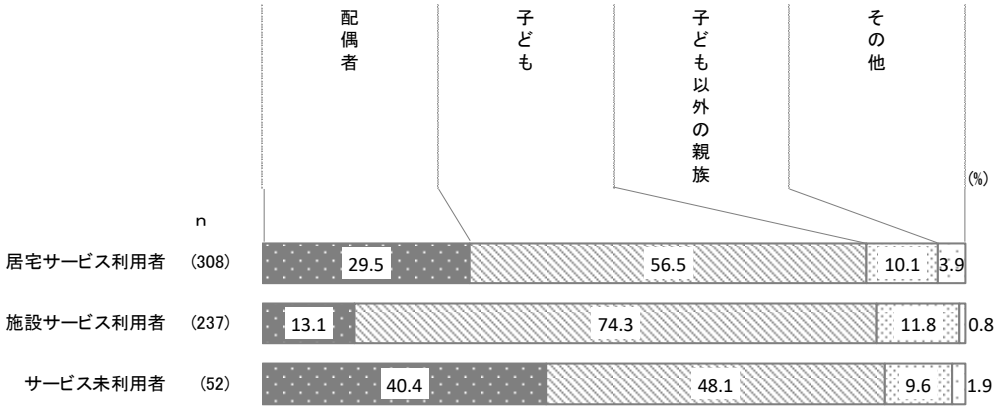
【サービス未利用者　第１問１】



＜図表 002＞　本人との関係

【居宅サービス利用者　第１問１－１】【施設サービス利用者　第１問１－１】

【サービス未利用者　第１問１－１】



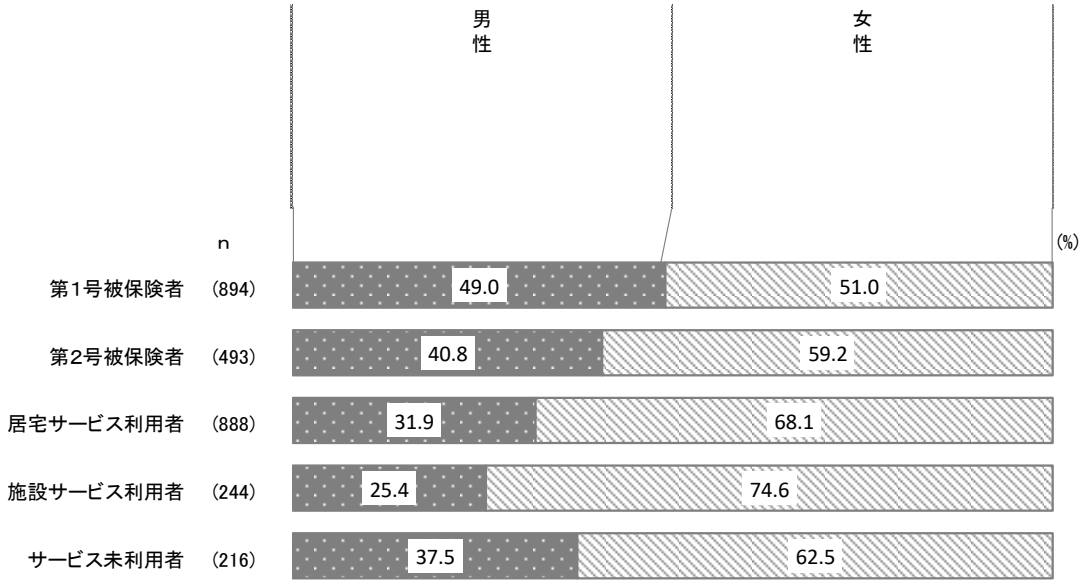
（２）性別・年齢別

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

性別を聞いたところ、全ての調査において「女性」のほうが「男性」を上回っており、中でも施設サービス利用者では、「男性」が 25.4%、「女性」が 74.6%と顕著になっています。

＜図表 003＞　本人の性別

【第１号被保険者　第１問１】【第２号被保険者　第１問１】
【居宅サービス利用者　第１問２】【施設サービス利用者　第１問２】
【サービス未利用者　第１問２】



年齢を聞いたところ、第１号被保険者では「70～74 歳」が 30.3％で、第２号被保険者では「60 歳以上」が 27.1％で最も多く、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「85 歳以上」がそれぞれ 52.1％、69.0％、42.3％で最も多くなっています。

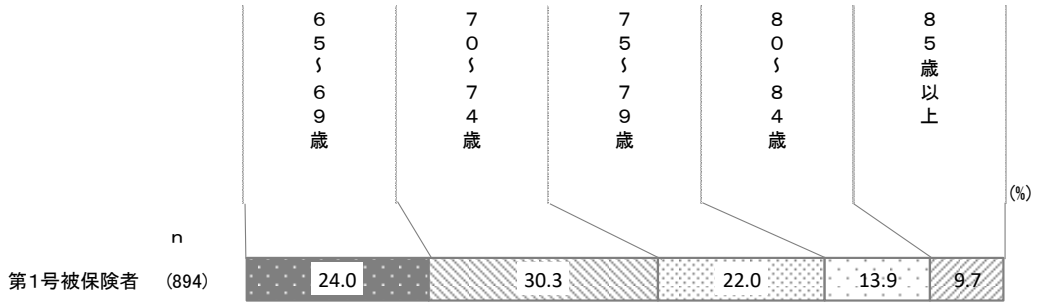
＜図表 004＞　本人の年齢

【第１号被保険者　第１問２】【第２号被保険者　第１問２】

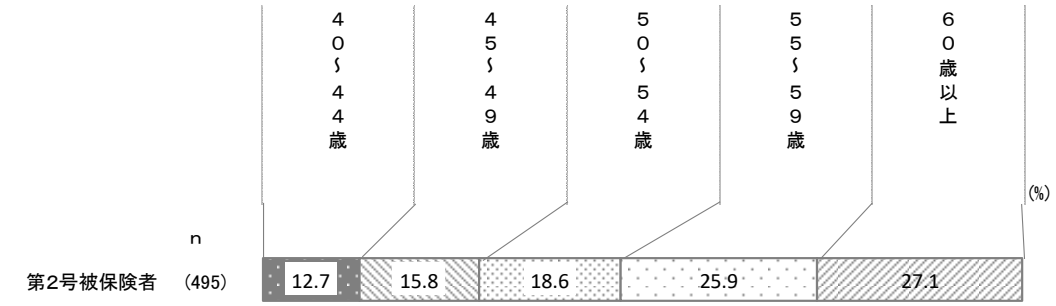
【居宅サービス利用者　第１問３】【施設サービス利用者　第１問３】

【サービス未利用者　第１問３】

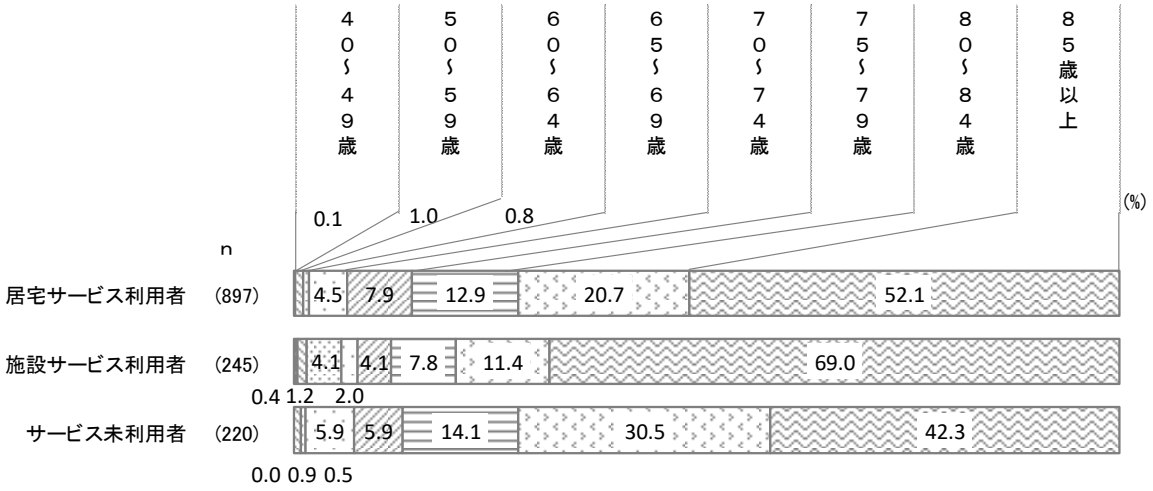
〇第１号被保険者



〇第２号被保険者



〇居宅サービス利用者・施設サービス利用者・サービス未利用者



（３）要介護度

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

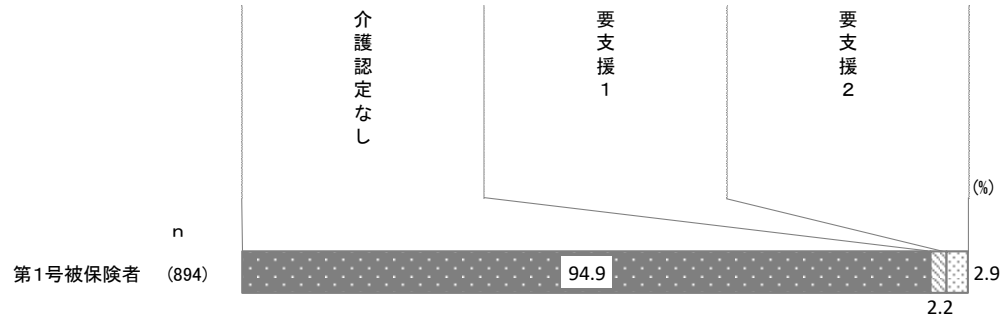
要介護度を聞いたところ、第１号被保険者では「介護認定なし」が 94.9%で、居宅サービス利用者では「要支援２」が 29.5%で、サービス未利用者では「要支援１」が 41.7%で、施設サービス利用者では「要介護４」が 31.0%で最も多くなっています。

＜図表 005＞　要介護度

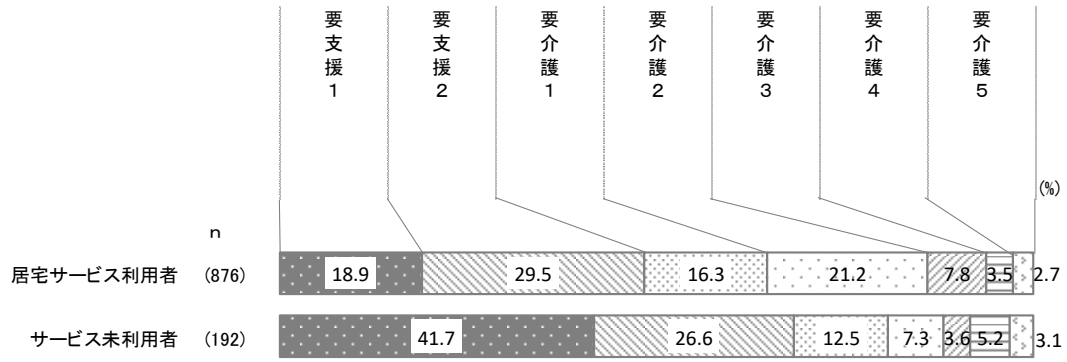
【第１号被保険者　第１問３】【居宅サービス利用者　第１問４】

【施設サービス利用者　第１問４】【サービス未利用者　第１問４】

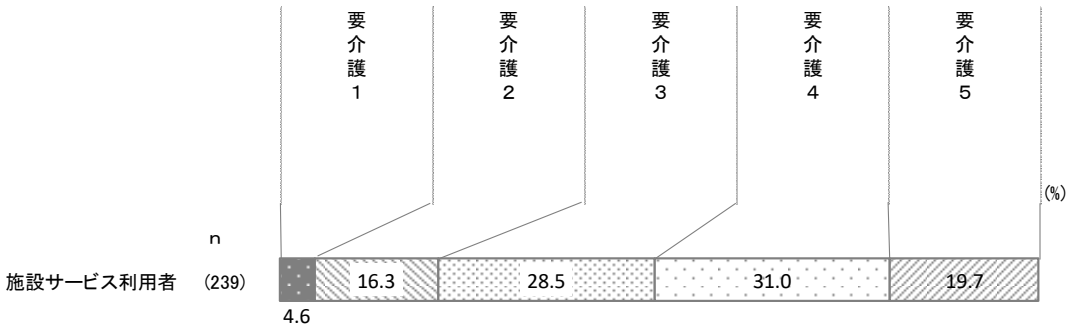
○第１号被保険者



○居宅サービス利用者・サービス未利用者

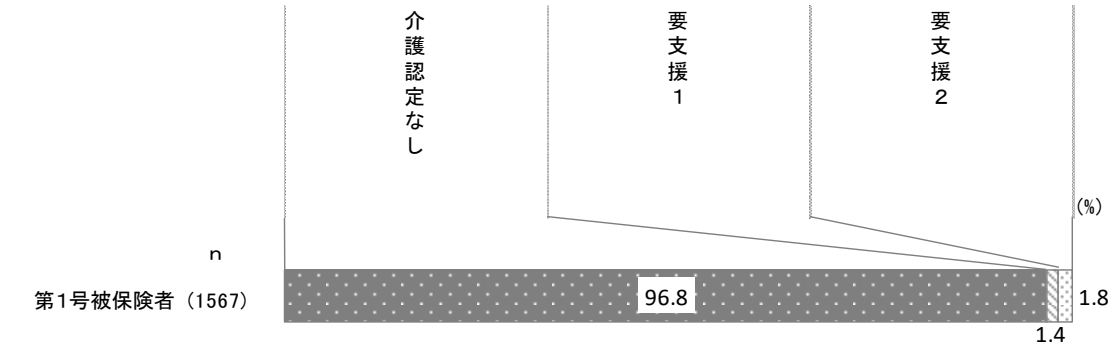


○施設サービス利用者

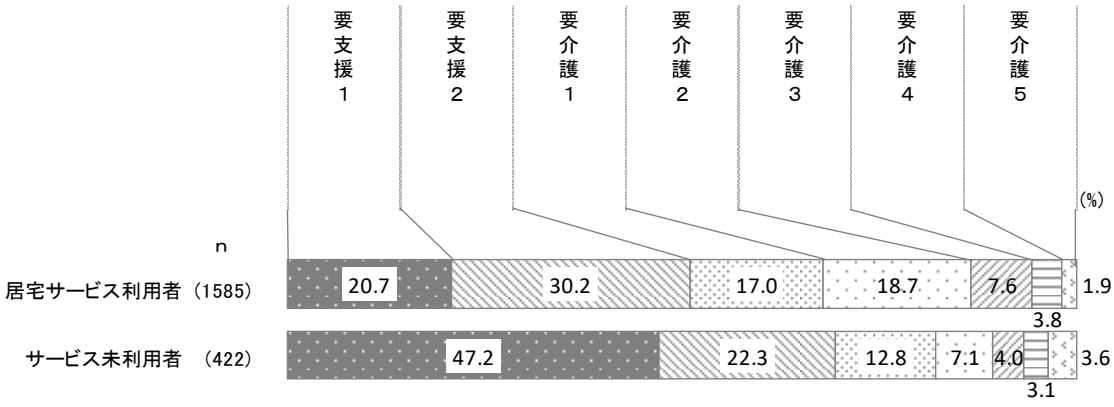


＜図表 006＞　【参考】前回調査（令和 2 年度）

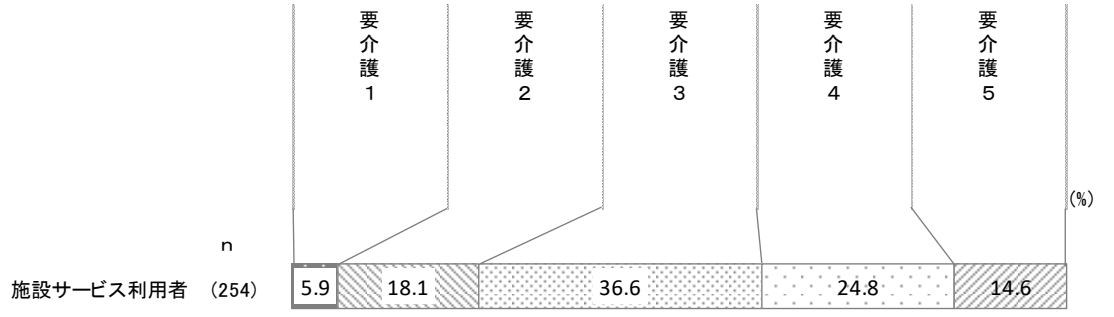
〇第１号被保険者



〇居宅サービス利用者・サービス未利用者



〇施設サービス利用者



＜図表 007＞　要介護度（地区別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	介護認定なし	要支援１	要支援２
全　体		894	94.9	2.2	2.9
地区	江別地区	354	95.5	1.4	3.1
	野幌地区	316	93.7	2.5	3.8
	大麻地区	223	95.5	3.1	1.3

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
全　体		876	18.9	29.5	16.3	21.2	7.8	3.5	2.7
地区	江別地区	319	16.3	32.0	20.1	22.3	6.0	2.2	1.3
	野幌地区	271	19.9	26.2	15.1	22.1	6.6	4.4	5.5
	大麻地区	239	21.8	31.4	11.7	20.1	9.6	3.8	1.7

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
全　体		192	41.7	26.6	12.5	7.3	3.6	5.2	3.1
地区	江別地区	58	36.2	27.6	13.8	12.1	3.4	3.4	3.4
	野幌地区	61	41.0	27.9	11.5	6.6	4.9	6.6	1.6
	大麻地区	62	51.6	22.6	11.3	4.8	3.2	1.6	4.8

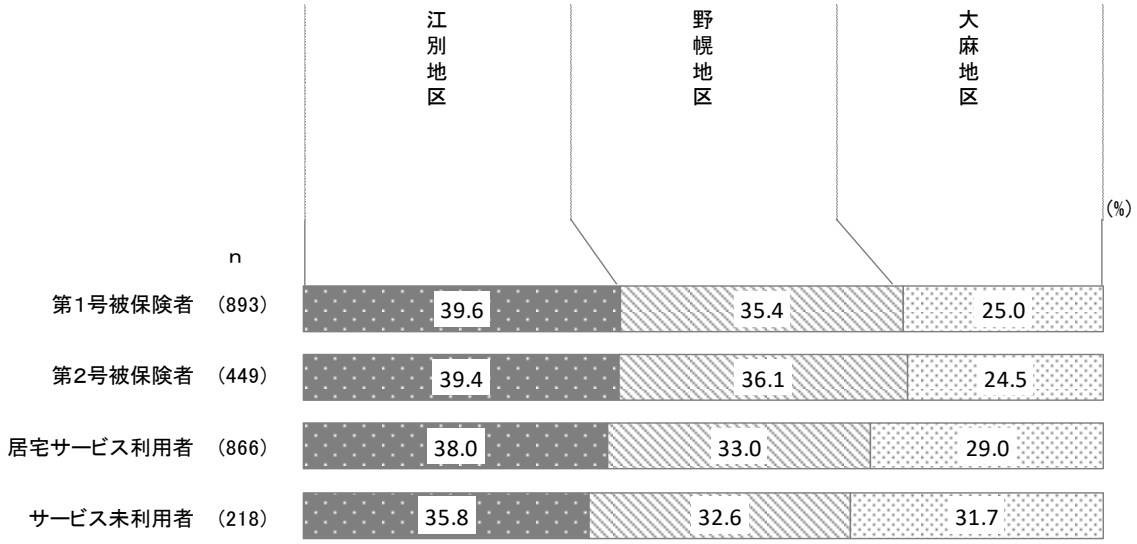
（４）居住地区【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

居住地を聞いたところ、全ての調査で「江別地区」が最も多く、第１号被保険者では 39.6%、第２号被保険者では 39.4%、居宅サービス利用者では 38.0%、サービス未利用者では 35.8%となっています。

＜図表 008＞　居住地区

【第１号被保険者　第１問４】【第２号被保険者　第１問３】

【居宅サービス利用者　第１問５】【サービス未利用者　第１問５】



（５）家族構成【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

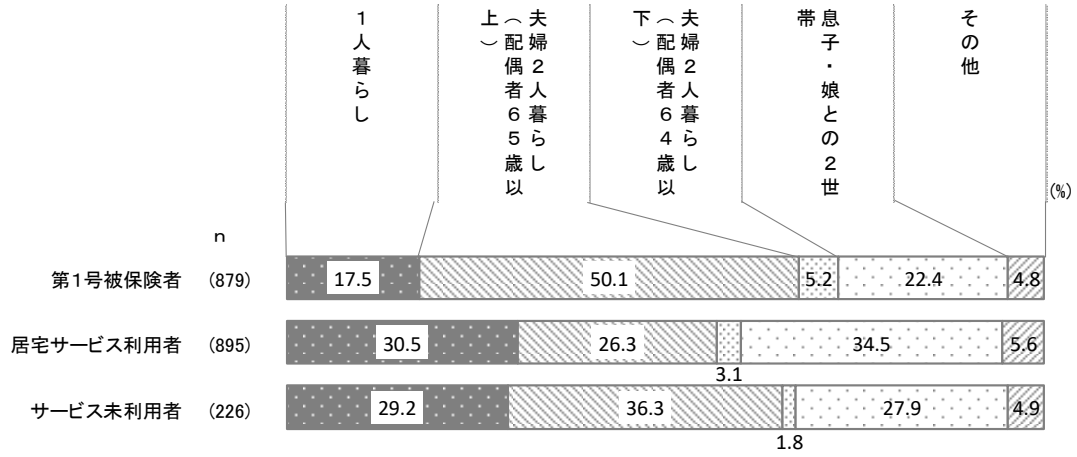
家族構成を聞いたところ、第１号被保険者とサービス未利用者では「夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）」がそれぞれ 50.1%、36.3%で、居宅サービス利用者では「息子・娘との２世帯」が 34.5%で、第２号被保険者では「子と同居」が 46.8%で最も多くなっています。

＜図表 009＞　家族構成

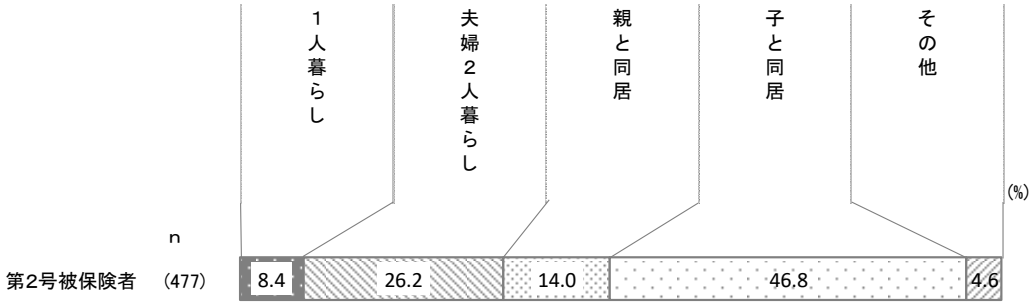
【第１号被保険者　第１問５】【第２号被保険者　第１問４】

【居宅サービス利用者　第１問６】【サービス未利用者　第１問６】

○第１号被保険者・居宅サービス利用者・サービス未利用者



○第２号被保険者



＜図表 010＞　家族構成（性・年代別/地区別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との２世帯	その他
全　体		879	17.5	50.1	5.2	22.4	4.8
性・年代	男性 65 ～74歳	246	11.4	56.9	11.4	15.9	4.5
	男性 75 歳以上	188	9.6	61.7	3.7	21.8	3.2
	女性 65 ～74歳	237	19.0	52.7	2.1	20.3	5.9
	女性 75 歳以上	208	30.3	28.4	2.9	33.2	5.3
地区	江別地区	346	15.6	51.4	5.5	23.7	3.8
	野幌地区	313	16.9	49.2	4.8	24.6	4.5
	大麻地区	219	21.5	49.3	5.5	16.9	6.8

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし	親と同居	子と同居	その他
全　体		477	8.4	26.2	14.0	46.8	4.6
性・年代	男性 40 代	43	9.3	7.0	20.9	58.1	4.7
	男性 50 代	89	10.1	30.3	13.5	41.6	4.5
	男性 60 歳以上	56	7.1	48.2	19.6	23.2	1.8
	女性 40 代	94	3.2	7.4	11.7	72.3	5.3
	女性 50 代	117	7.7	24.8	14.5	47.0	6.0
	女性 60 歳以上	73	15.1	41.1	8.2	31.5	4.1
地区	江別地区	169	5.9	31.4	14.8	44.4	3.6
	野幌地区	154	7.8	19.5	16.2	48.7	7.8
	大麻地区	105	15.2	20.0	11.4	50.5	2.9

（単位：%）

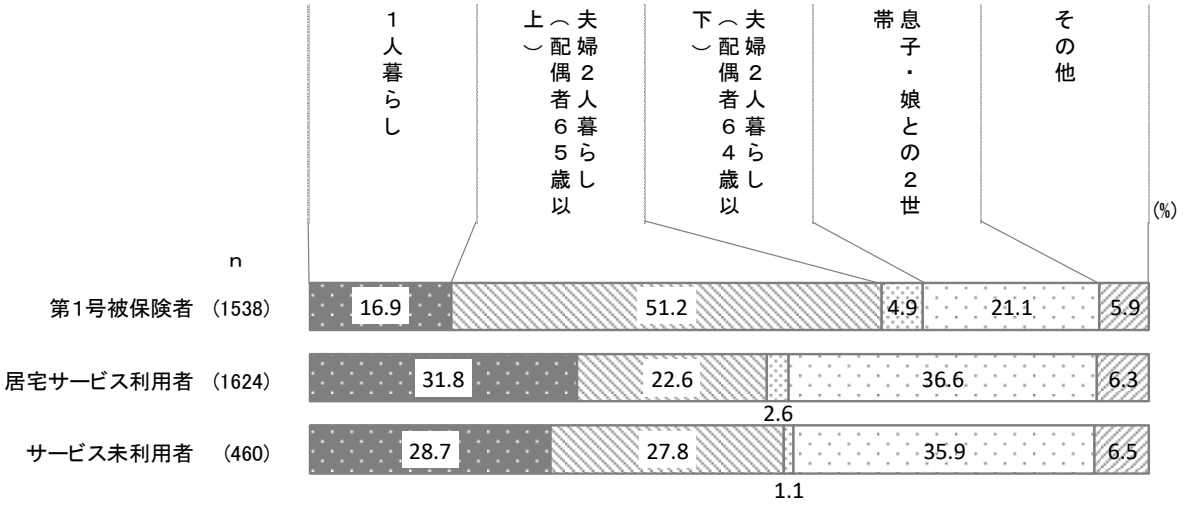
<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との２世帯	その他
全　体		895	30.5	26.3	3.1	34.5	5.6
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	－	16.7	50.0	－
	男性 65 ～74歳	50	22.0	44.0	12.0	18.0	4.0
	男性 75 歳以上	217	21.7	46.1	3.7	24.4	4.1
	女性 40 ～64歳	11	18.2	－	27.3	36.4	18.2
	女性 65 ～74歳	60	23.3	43.3	3.3	21.7	8.3
	女性 75 歳以上	525	35.2	15.6	1.0	42.7	5.5
地区	江別地区	318	27.0	23.3	2.8	40.6	6.3
	野幌地区	283	27.6	24.4	2.8	40.6	4.6
	大麻地区	247	38.5	31.2	3.6	20.6	6.1

（単位：%）

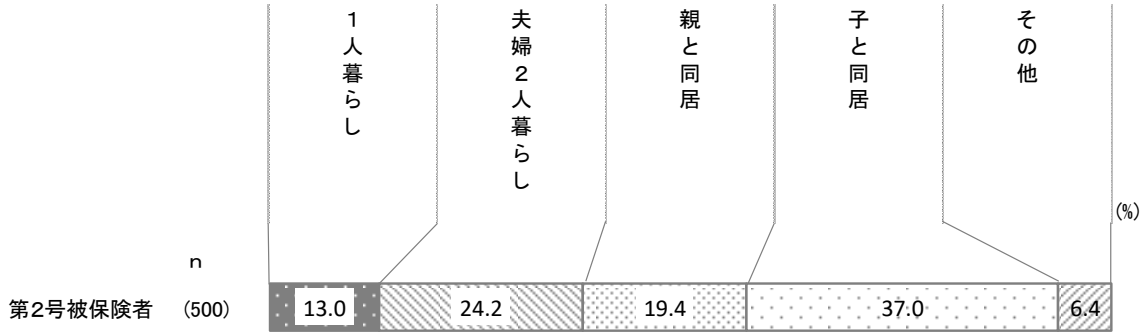
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	１人暮らし	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との２世帯	その他
全　体		226	29.2	36.3	1.8	27.9	4.9
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	15.4	46.2	15.4	15.4	7.7
	男性 75 歳以上	67	9.0	61.2	1.5	22.4	6.0
	女性 40 ～64歳	3	－	－	－	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	13	30.8	53.8	－	15.4	－
	女性 75 歳以上	116	37.9	21.6	0.9	35.3	4.3
地区	江別地区	77	22.1	32.5	2.6	39.0	3.9
	野幌地区	68	27.9	41.2	1.5	23.5	5.9
	大麻地区	69	36.2	39.1	1.4	18.8	4.3

＜図表 011＞　【参考】前回調査（令和 2 年度）

〇第１号被保険者・居宅サービス利用者・サービス未利用者



〇第２号被保険者



２.暮らしの状況

（１）住まいの形態

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

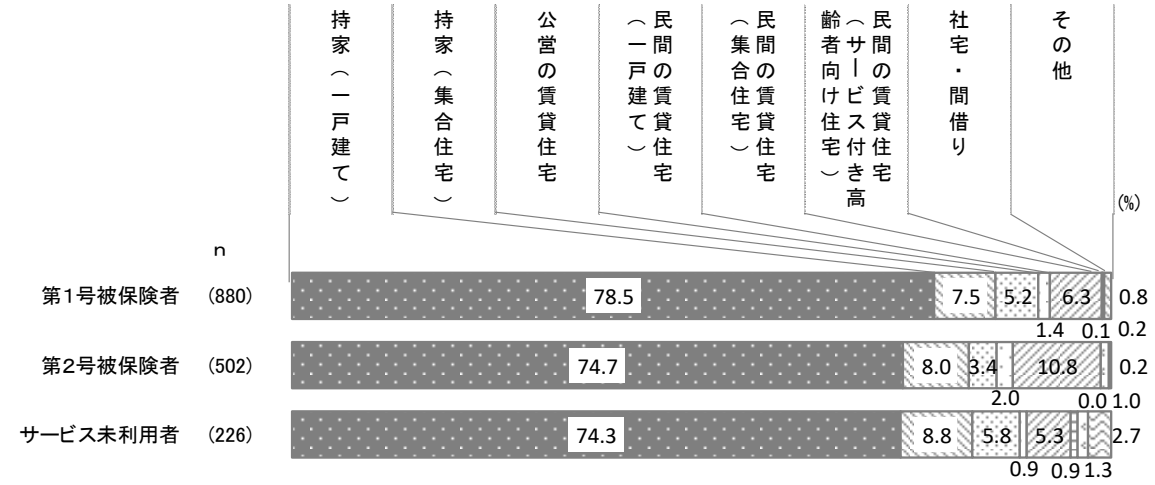
住まいの形態を聞いたところ、全ての調査において「持家（一戸建て）」が最も多く、第１号被保険者で 78.5%、第２号被保険者で 74.7%、居宅サービス利用者で 68.4%、サービス未利用者で 74.3%となっています。

＜図表 012＞　住まいの形態

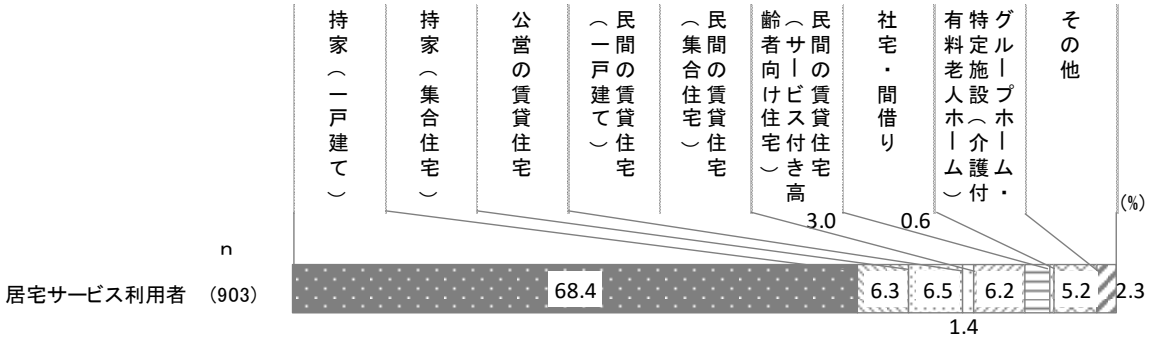
【第１号被保険者　第１問６】【第２号被保険者　第１問７】

【居宅サービス利用者　第１問７】【サービス未利用者　第１問７】

○第１号被保険者・第２号被保険者・サービス未利用者



○居宅サービス利用者



＜図表 013＞　住まいの形態（家族構成別/地区別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	その他
全　体		880	78.5	7.5	5.2	1.4	6.3	0.1	0.2	0.8
家族構成	一人暮らし	153	60.1	7.8	13.1	1.3	16.3	0.7	0.7	−
	夫婦のみ	485	82.5	8.5	3.9	1.0	3.7	−	0.2	0.2
	同居その他	236	82.2	5.1	3.0	2.1	5.1	−	−	2.5
地区	江別地区	349	84.0	4.3	2.6	1.1	5.7	0.3	−	2.0
	野幌地区	312	78.8	9.6	1.6	1.3	8.0	−	0.6	−
	大麻地区	218	69.3	9.6	14.7	1.8	4.6	−	−	−

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	その他
全　体		502	74.7	8.0	3.4	2.0	10.8	−	1.0	0.2
家族構成	一人暮らし	40	30.0	10.0	2.5	5.0	47.5	−	5.0	−
	夫婦のみ	125	76.8	10.4	1.6	1.6	8.8	−	0.8	−
	同居その他	312	79.2	7.1	4.2	1.9	6.7	−	0.6	0.3
地区	江別地区	177	81.9	5.6	2.3	1.1	9.0	−	−	−
	野幌地区	162	71.0	13.6	1.9	1.2	11.1	−	1.2	−
	大麻地区	110	69.1	4.5	8.2	3.6	11.8	−	2.7	−

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	グループホーム・特定施設（介護付有料老人ホーム）	その他
全　体		903	68.4	6.3	6.5	1.4	6.2	3.0	0.6	5.2	2.3
家族構成	一人暮らし	269	47.6	5.2	13.4	0.7	10.0	8.6	1.1	10.0	3.3
	夫婦のみ	260	72.7	10.0	6.5	1.2	5.8	1.5	0.4	0.8	1.2
	同居その他	357	80.1	4.8	1.4	2.2	3.9	－	0.3	4.8	2.5
地区	江別地区	325	73.2	3.7	4.6	1.8	6.8	2.2	0.9	4.6	2.2
	野幌地区	285	73.3	9.1	3.5	1.8	7.0	1.1	0.7	2.1	1.4
	大麻地区	246	59.3	5.7	12.6	0.8	4.5	5.3	－	8.1	3.7

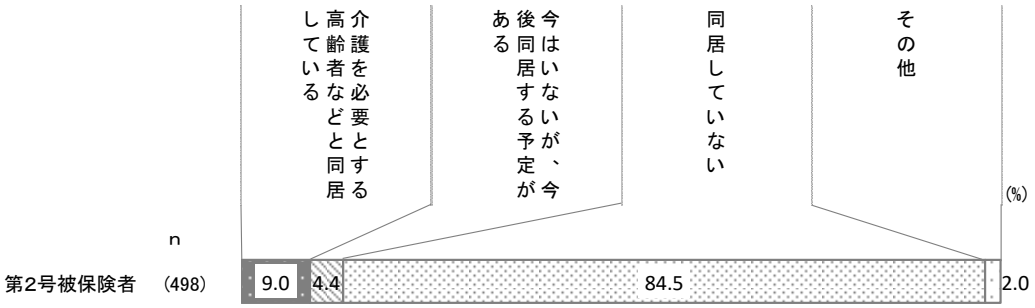
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	社宅・間借り	その他
全　体		226	74.3	8.8	5.8	0.9	5.3	0.9	1.3	2.7
家族構成	一人暮らし	64	59.4	10.9	14.1	1.6	7.8	3.1	－	3.1
	夫婦のみ	85	80.0	9.4	3.5	－	5.9	－	－	1.2
	同居その他	73	80.8	5.5	1.4	1.4	2.7	－	4.1	4.1
地区	江別地区	77	79.2	14.3	1.3	－	2.6	－	1.3	1.3
	野幌地区	70	74.3	7.1	1.4	2.9	10.0	－	1.4	2.9
	大麻地区	67	73.1	3.0	13.4	－	3.0	3.0	－	4.5

（２）介護を必要とする高齢者等との同居【第２号被保険者】

介護を必要とする高齢者等との同居の状況を聞いたところ、「同居していない」が 84.5%で最も多く、次いで「介護を必要とする高齢者などと同居している」(9.0%)、「今はいないが、今後同居する予定がある」（4.4%）となっています。

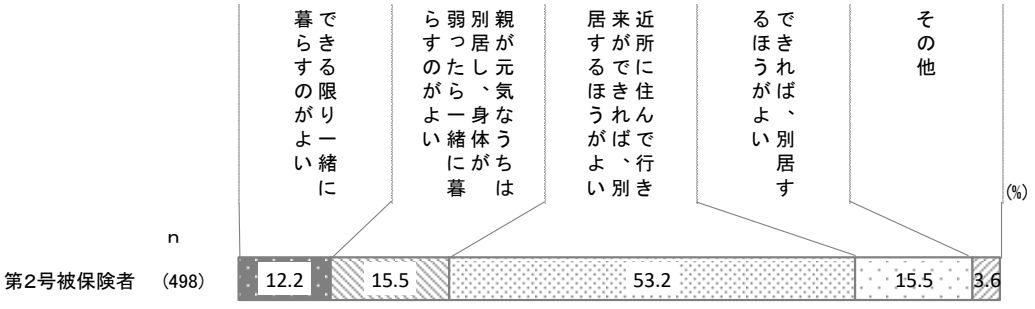
＜図表 014＞　介護を必要とする高齢者等との同居【第２号被保険者　第１問５】



（３）親子の同居に対する考え【第２号被保険者】

親子の同居に対する考えを聞いたところ、「近所に住んで行き来ができれば、別居するほうがよい」が 53.2%で最も多く、次いで「親が元気なうちは別居し、身体が弱ったら一緒に暮らすのがよい」(15.5%)、「できれば、別居するほうがよい」(15.5%)、となっています。

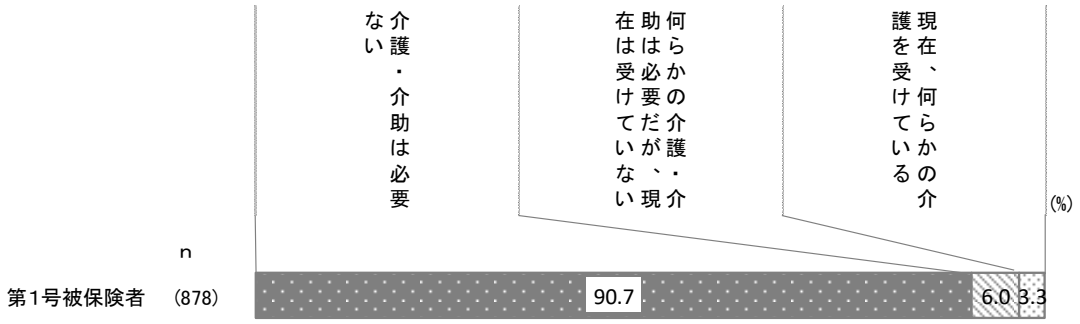
＜図表 015＞　親子の同居に対する考え【第２号被保険者　第１問６】



（４）介護・介助の状況【第１号被保険者】

介護・介助の状況を聞いたところ、「介護・介助は必要ない」が 90.7%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（6.0%）となっています。

＜図表 016＞　介護・介助の状況【第１号被保険者　第１問７】



＜図表 017＞　介護・介助の状況（家族構成別/要介護度別）

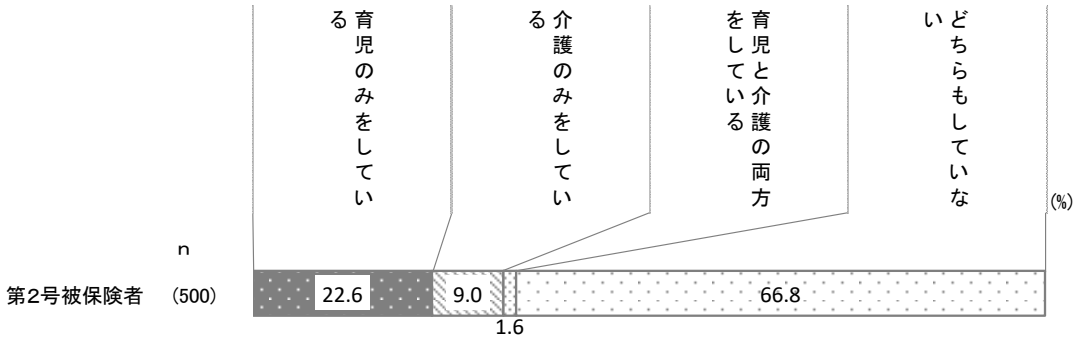
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている
全　体		878	90.7	6.0	3.3
家族構成	一人暮らし	150	83.3	12.0	4.7
	夫婦のみ	484	94.4	4.3	1.2
	同居その他	235	87.2	6.0	6.8
介護度	非認定	837	93.7	4.5	1.8
	要支援1・2	41	29.3	36.6	34.1

（５）育児や介護の状況【第２号被保険者】

育児や介護の状況を聞いたところ、「育児のみをしている」が 22.6%、「介護のみをしている」が 9.0%、「育児と介護の両方をしている」が 1.6%となっており、介護をしている人は 10.6%、育児・介護の両方またはいずれかをしている人は 33.2%となっています。

＜図表 018＞　育児や介護の状況【第２号被保険者　第１問８】



＜図表 019＞　育児や介護の状況（性・年代別）

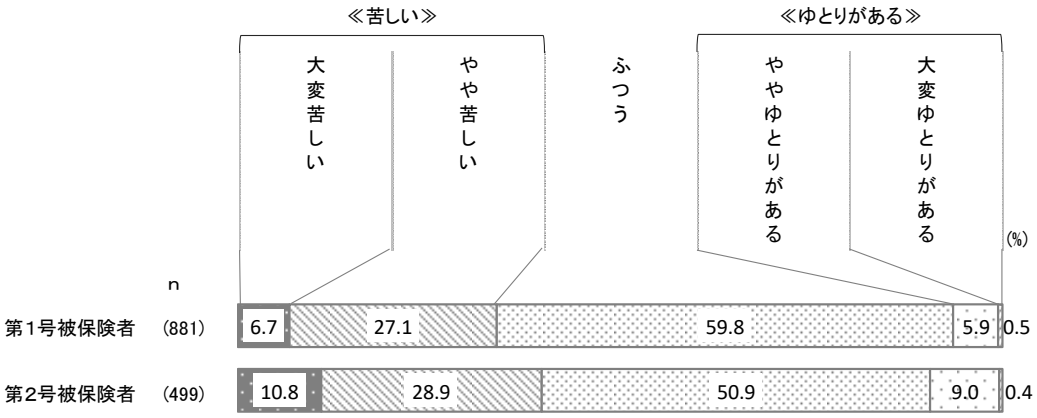
（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	育児のみをしている	介護のみをしている	育児と介護の両方をしている	どちらもしていない
全　体		500	22.6	9.0	1.6	66.8
性・年代	男性 40 代	44	50.0	−	2.3	47.7
	男性 50 代	96	16.7	4.2	2.1	77.1
	男性 60 歳以上	59	−	16.9	−	83.1
	女性 40 代	96	62.5	2.1	1.0	34.4
	女性 50 代	122	11.5	14.8	3.3	70.5
	女性 60 歳以上	73	−	15.1	−	84.9

（６）暮らしの状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】

暮らしの状況を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「ふつう」が最も多く、それぞれ 59.8%、50.9%となっています。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた≪苦しい≫は、第１号被保険者では 33.8%、第２号被保険者では 39.7%となっています。

＜図表 020＞　暮らしの状況【第１号被保険者　第１問８】【第２号被保険者　第１問９】



＜図表 021＞　暮らしの状況（性・年代別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	≪苦しい≫	≪ゆとりあり≫
全　体		881	6.7	27.1	59.8	5.9	0.5	33.8	6.4
性・年代	男性 65 ～74歳	244	6.1	27.0	61.1	5.7	−	33.1	5.7
	男性 75 歳以上	187	6.4	28.3	59.4	5.3	0.5	34.7	5.8
	女性 65 ～74歳	237	5.9	30.4	58.6	4.6	0.4	36.3	5.0
	女性 75 歳以上	213	8.5	22.5	60.1	8.0	0.9	31.0	8.9

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	≪苦しい≫	≪ゆとりあり≫
全　体		499	10.8	28.9	50.9	9.0	0.4	39.7	9.4
性・年代	男性 40 代	45	8.9	40.0	42.2	6.7	2.2	48.9	8.9
	男性 50 代	97	13.4	20.6	55.7	9.3	1.0	34.0	10.3
	男性 60 歳以上	59	11.9	20.3	52.5	15.3	−	32.2	15.3
	女性 40 代	94	16.0	35.1	44.7	4.3	−	51.1	4.3
	女性 50 代	120	7.5	31.7	48.3	12.5	−	39.2	12.5
	女性 60 歳以上	74	5.4	27.0	62.2	5.4	−	32.4	5.4

（７）今後の生活意向

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

今後の生活意向を聞いたところ、全ての調査において「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が最も多く、第１号被保険者で91.1%、第２号被保険者で87.2%、居宅サービス利用者で84.8%、サービス未利用者で83.3%となっています。

＜図表 022＞　今後の生活意向

【第１号被保険者　第１問９】【第２号被保険者　第１問 10】

【居宅サービス利用者　第１問８】【サービス未利用者　第１問８】

＜図表 023＞　今後の生活意向（家族構成別/要介護度別/住まいの形態別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		879	91.1	1.5	2.5	1.1	3.8
家族構成	一人暮らし	150	84.7	2.7	6.0	2.0	4.7
	夫婦のみ	482	93.8	1.0	1.7	1.0	2.5
	同居その他	237	90.3	1.7	2.1	0.8	5.1
介護度	非認定	835	91.5	1.3	2.2	1.2	3.8
	要支援1・2	44	84.1	4.5	9.1	－	2.3
住まいの形態別	持家（一戸建て）	682	93.8	1.6	1.8	0.9	1.9
	持家（集合住宅）	66	93.9	－	3.0	－	3.0
	公営の賃貸住宅	45	82.2	2.2	4.4	2.2	8.9
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	12	83.3	8.3	－	8.3	－
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	54	74.1	－	11.1	1.9	13.0
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	1	100.0	－	－	－	－
	社宅・間借り	2	50.0	－	－	－	50.0
	その他	7	57.1	－	－	14.3	28.6

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		500	87.2	0.8	3.6	1.0	7.4
家族構成	一人暮らし	40	80.0	2.5	5.0	－	12.5
	夫婦のみ	125	88.0	0.8	3.2	－	8.0
	同居その他	309	88.3	0.6	3.9	1.3	5.8
住まいの形態別	持家（一戸建て）	374	88.0	1.1	3.5	0.8	6.7
	持家（集合住宅）	39	92.3	－	5.1	2.6	－
	公営の賃貸住宅	16	93.8	－	－	－	6.3
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	10	100.0	－	－	－	－
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	54	75.9	－	5.6	1.9	16.7
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	－	－	－	－	－	－
	社宅・間借り	5	100.0	－	－	－	－
	その他	1	－	－	－	－	100.0

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		890	84.8	3.7	4.4	2.6	4.5
家族構成	一人暮らし	263	75.3	4.2	8.7	4.6	7.2
	夫婦のみ	255	91.4	3.9	2.7	1.6	0.4
	同居その他	353	87.5	3.1	2.5	2.0	4.8
介護度	要支援1・2	415	87.0	3.4	4.8	1.7	3.1
	要介護1・2	322	83.9	4.0	4.0	2.8	5.3
	要介護3～5	117	76.9	5.1	3.4	6.0	8.5
住まいの形態別	持家（一戸建て）	605	92.6	2.6	2.1	0.5	2.1
	持家（集合住宅）	56	91.1	－	5.4	－	3.6
	公営の賃貸住宅	58	87.9	1.7	3.4	3.4	3.4
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	13	84.6	15.4	－	－	－
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	55	80.0	9.1	1.8	1.8	7.3
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	26	38.5	11.5	30.8	7.7	11.5
	社宅・間借り	4	75.0	25.0	－	－	－
	グループホーム・特定施設（介護付有料老人ホーム）	44	18.2	11.4	15.9	25.0	29.5
	その他	20	55.0	－	20.0	20.0	5.0

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	可能な限り、自宅で生活を続けたい	介護保険施設へ入所したい	ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい	その他	わからない
全　体		221	83.3	5.0	2.3	4.1	5.4
家族構成	一人暮らし	63	82.5	7.9	4.8	3.2	1.6
	夫婦のみ	84	86.9	3.6	1.2	4.8	3.6
	同居その他	71	78.9	4.2	1.4	4.2	11.3
介護度	要支援1・2	127	89.8	5.5	2.4	－	2.4
	要介護1・2	36	77.8	2.8	2.8	5.6	11.1
	要介護3～5	23	39.1	13.0	4.3	21.7	21.7
住まいの形態別	持家（一戸建て）	162	88.3	3.7	1.2	3.1	3.7
	持家（集合住宅）	20	80.0	5.0	－	10.0	5.0
	公営の賃貸住宅	11	90.9	9.1	－	－	－
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	2	50.0	－	50.0	－	－
	民間の賃貸住宅（集合住宅）	12	83.3	－	8.3	8.3	－
	民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）	2	－	50.0	－	－	50.0
	社宅・間借り	3	－	33.3	－	－	66.7
	その他	5	40.0	－	20.0	20.0	20.0

（８）自身の介護が必要となった場合の生活意向

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】

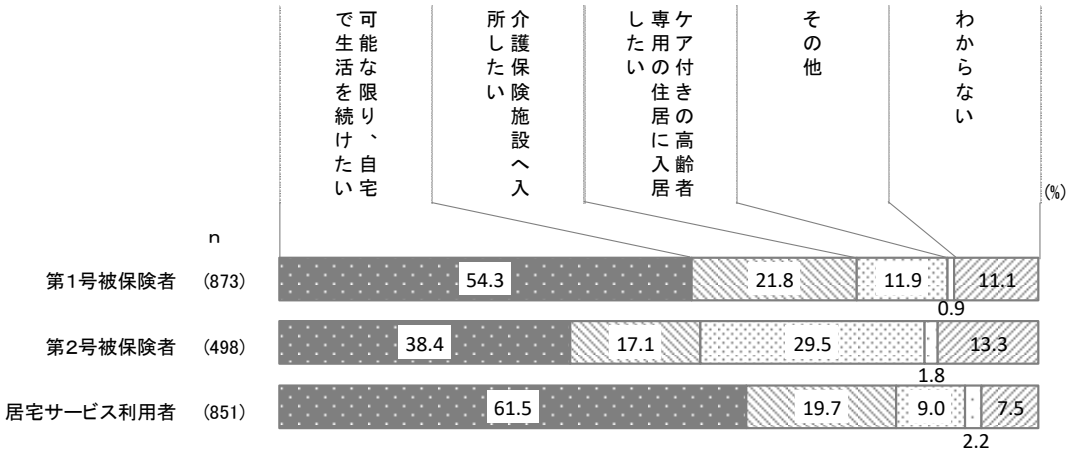
自身の介護が必要となった場合の生活意向を聞いたところ、全ての調査において「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が最も多く、第１号被保険者で 54.3%、第２号被保険者で 38.4%、居宅サービス利用者で 61.5%となっています。

なお、第２号被保険者では「可能な限り、自宅で生活を続けたい」が第１号被保険者、居宅サービス利用者よりも割合が少なくなり、「ケア付きの高齢者専用の住居に入居したい」が 29.5%、「介護保険施設へ入所したい」が 17.1%となっています。

＜図表 024＞　自身の介護が必要となった場合の生活意向

【第１号被保険者　第１問 10】【第２号被保険者　第１問 11】

【居宅サービス利用者　第１問９】

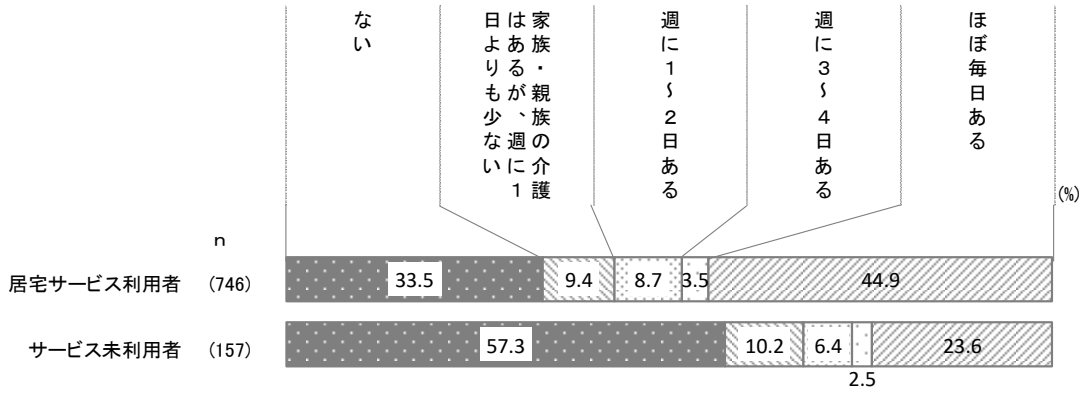


３.介護者の状況

（１）週の介護頻度【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

週の介護頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日ある」は、居宅サービス利用者では 44.9%、サービス未利用者では 23.6%となっています。また、サービス未利用者では「ない」が 57.3%となっています。

＜図表 025＞　週の介護頻度【居宅サービス利用者　第８問１】【サービス未利用者　第７問１】



＜図表 026＞　週の介護頻度（性・年代別/家族構成別/要介護度別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	ない	家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	週に１～２日ある	週に３～４日ある	ほぼ毎日ある
全　体		746	33.5	9.4	8.7	3.5	44.9
性・年代	男性 40 ～64歳	6	16.7	16.7	－	－	66.7
	男性 65 ～74歳	47	19.1	14.9	4.3	2.1	59.6
	男性 75 歳以上	186	36.0	11.3	8.1	3.2	41.4
	女性 40 ～64歳	11	36.4	18.2	－	－	45.5
	女性 65 ～74歳	51	27.5	2.0	13.7	2.0	54.9
	女性 75 歳以上	427	35.1	8.4	9.4	4.0	43.1
家族構成	一人暮らし	212	46.7	17.9	16.0	6.1	13.2
	夫婦のみ	212	28.8	8.5	8.0	2.8	51.9
	同居その他	304	28.6	4.3	4.3	2.0	60.9
介護度	要支援1・2	305	48.9	10.8	10.2	3.6	26.6
	要介護1・2	299	21.7	9.0	8.4	3.7	57.2
	要介護3～5	111	19.8	7.2	7.2	2.7	63.1

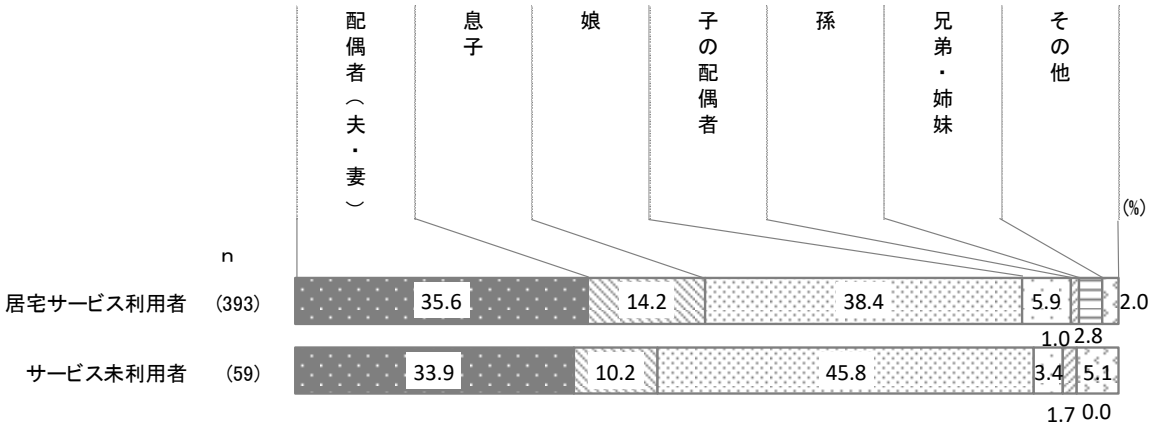
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	ない	家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	週に１～２日ある	週に３～４日ある	ほぼ毎日ある
全　体		157	57.3	10.2	6.4	2.5	23.6
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	75.0	－	－	－	25.0
	男性 75 歳以上	54	70.4	5.6	1.9	1.9	20.4
	女性 40 ～64歳	2	－	－	－	－	100.0
	女性 65 ～74歳	9	77.8	22.2	－	－	－
	女性 75 歳以上	70	48.6	11.4	11.4	4.3	24.3
家族構成	一人暮らし	43	65.1	7.0	14.0	4.7	9.3
	夫婦のみ	61	57.4	16.4	3.3	1.6	21.3
	同居その他	47	53.2	4.3	2.1	2.1	38.3
介護度	要支援1・2	90	65.6	10.0	6.7	3.3	14.4
	要介護1・2	31	38.7	6.5	9.7	3.2	41.9
	要介護3～5	15	60.0	13.3	－	－	26.7

（２）介護者の続柄【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の続柄を聞いたところ、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「娘」が最も多く、それぞれ 38.4%、45.8%となっています。

＜図表 027＞　介護者の続柄【居宅サービス利用者　第８問２】【サービス未利用者　第７問２】



＜図表 028＞　介護者の続柄（性・年代別/家族構成別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他
全　体		393	35.6	14.2	38.4	5.9	1.0	2.8	2.0
性・年代	男性 40 ～64歳	5	40.0	40.0	－	－	－	－	20.0
	男性 65 ～74歳	36	72.2	13.9	2.8	－	－	5.6	5.6
	男性 75 歳以上	92	63.0	6.5	18.5	6.5	1.1	3.3	1.1
	女性 40 ～64歳	6	33.3	－	50.0	－	－	－	16.7
	女性 65 ～74歳	32	68.8	6.3	15.6	－	－	9.4	－
	女性 75 歳以上	215	12.6	18.6	56.7	7.9	1.4	1.4	1.4
家族構成	一人暮らし	89	－	23.6	53.9	5.6	1.1	9.0	6.7
	夫婦のみ	123	88.6	2.4	8.9	－	－	－	－
	同居その他	169	13.6	18.3	53.3	10.7	1.2	1.8	1.2
介護度	要支援1・2	121	29.8	18.2	43.0	2.5	1.7	1.7	3.3
	要介護1・2	188	38.3	11.7	36.2	9.6	0.5	2.7	1.1
	要介護3～5	73	38.4	15.1	34.2	2.7	1.4	5.5	2.7

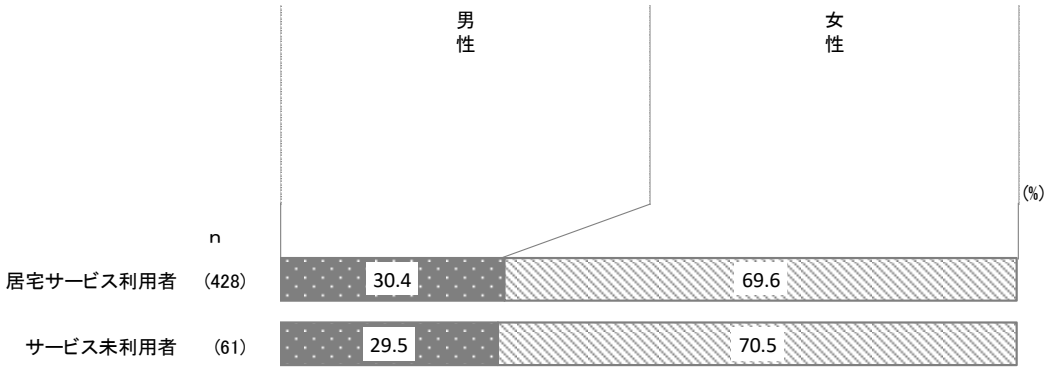
（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他
全　体		59	33.9	10.2	45.8	3.4	1.7	－	5.1
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	3	66.7	－	－	－	－	－	33.3
	男性 75 歳以上	13	69.2	7.7	15.4	7.7	－	－	－
	女性 40 ～64歳	2	50.0	－	50.0	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	2	－	－	100.0	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	32	12.5	15.6	62.5	－	3.1	－	6.3
家族構成	一人暮らし	15	－	20.0	73.3	－	－	－	6.7
	夫婦のみ	24	66.7	－	29.2	－	－	－	4.2
	同居その他	18	11.1	16.7	50.0	11.1	5.6	－	5.6
介護度	要支援1・2	28	21.4	7.1	60.7	－	3.6	－	7.1
	要介護1・2	17	29.4	23.5	35.3	5.9	－	－	5.9
	要介護3～5	4	50.0	－	50.0	－	－	－	－

（３）介護者の性別【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の性別を聞いたところ、居宅サービス利用者、サービス未利用者とも「女性」がそれぞれ 69.6%、70.5%と約７割となっています。

＜図表 029＞　介護者の性別【居宅サービス利用者　第８問３】【サービス未利用者　第７問３】



＜図表 030＞　介護者の性別（性・年代別/家族構成別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	男性	女性
全　体		428	30.4	69.6
性・年代	男性 40 ～64歳	5	60.0	40.0
	男性 65 ～74歳	35	22.9	77.1
	男性 75 歳以上	102	12.7	87.3
	女性 40 ～64歳	6	33.3	66.7
	女性 65 ～74歳	33	75.8	24.2
	女性 75 歳以上	237	32.5	67.5
家族構成	一人暮らし	93	28.0	72.0
	夫婦のみ	139	41.0	59.0
	同居その他	183	23.5	76.5
介護度	要支援1・2	132	28.8	71.2
	要介護1・2	198	30.8	69.2
	要介護3～5	84	32.1	67.9

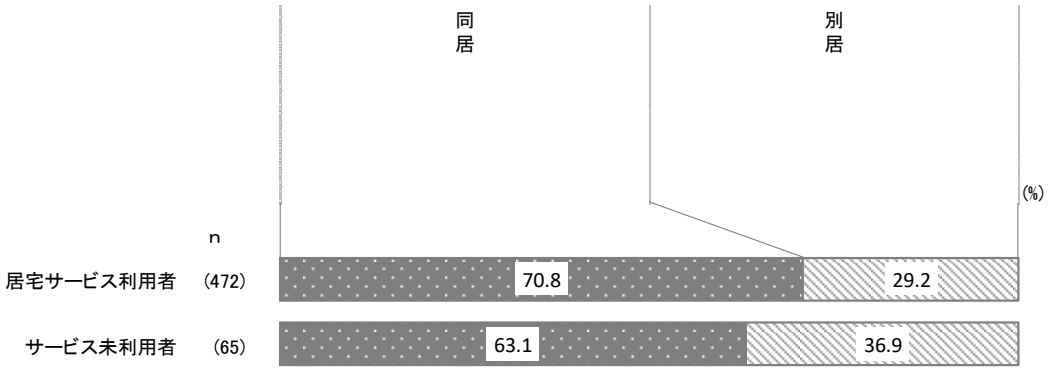
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	男性	女性
全　体		61	29.5	70.5
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−
	男性 65 ～74歳	3	66.7	33.3
	男性 75 歳以上	15	13.3	86.7
	女性 40 ～64歳	2	50.0	50.0
	女性 65 ～74歳	2	−	100.0
	女性 75 歳以上	32	28.1	71.9
家族構成	一人暮らし	13	23.1	76.9
	夫婦のみ	25	32.0	68.0
	同居その他	19	26.3	73.7
介護度	要支援1・2	28	14.3	85.7
	要介護1・2	18	44.4	55.6
	要介護3～5	5	20.0	80.0

（４）介護者との同居・別居【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者との同居・別居を聞いたところ、「同居」は、居宅サービス利用者では 70.8%、サービス未利用者では 63.1%となっています。

＜図表 031＞　介護者との同居・別居【居宅サービス利用者　第８問４】【サービス未利用者　第７問４】



＜図表 032＞　介護者との同居・別居（性・年代別/家族構成別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	同居	別居
全　体		472	70.8	29.2
性・年代	男性 40 ～64歳	5	80.0	20.0
	男性 65 ～74歳	35	80.0	20.0
	男性 75 歳以上	112	75.0	25.0
	女性 40 ～64歳	7	71.4	28.6
	女性 65 ～74歳	35	88.6	11.4
	女性 75 歳以上	265	65.7	34.3
家族構成	一人暮らし	110	1.8	98.2
	夫婦のみ	143	86.0	14.0
	同居その他	205	96.1	3.9
介護度	要支援1・2	142	59.9	40.1
	要介護1・2	226	72.6	27.4
	要介護3～5	87	83.9	16.1

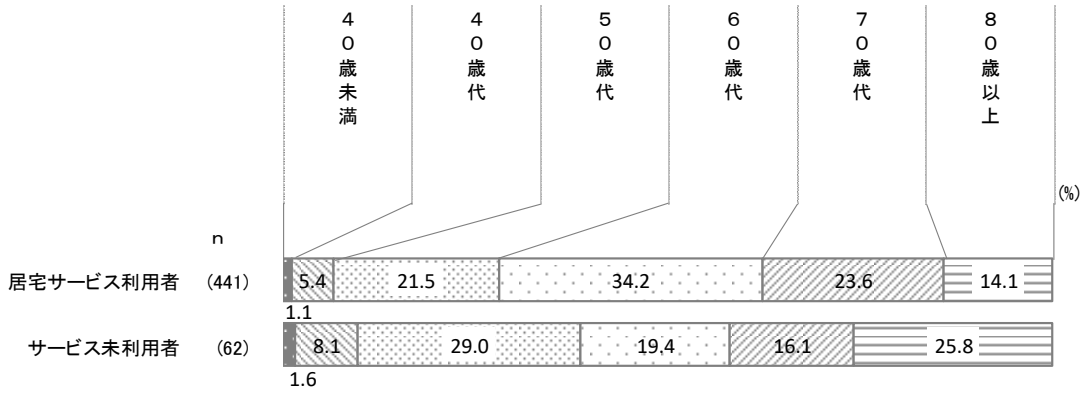
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	同居	別居
全　体		65	63.1	36.9
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－
	男性 65 ～74歳	3	66.7	33.3
	男性 75 歳以上	16	81.3	18.8
	女性 40 ～64歳	2	100.0	－
	女性 65 ～74歳	2	－	100.0
	女性 75 歳以上	34	52.9	47.1
家族構成	一人暮らし	15	6.7	93.3
	夫婦のみ	25	68.0	32.0
	同居その他	21	90.5	9.5
介護度	要支援1・2	30	50.0	50.0
	要介護1・2	18	66.7	33.3
	要介護3～5	6	83.3	16.7

（５）介護者の年齢【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の年齢を聞いたところ、居宅サービス利用者では「60 歳代」が 34.2%、サービス未利用者では「50 歳代」が 29.0%と最も多くなっています。また、「60 歳代」「70 歳代」「80 歳以上」を合わせるとそれぞれ 71.9%、61.3%となっています。

＜図表 033＞　介護者の年齢【居宅サービス利用者　第８問５】【サービス未利用者　第７問５】



＜図表 034＞　介護者の年齢（性・年代別/要介護度別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全　体		441	1.1	5.4	21.5	34.2	23.6	14.1
性・年代	男性 40 ～64歳	5	－	20.0	40.0	20.0	－	20.0
	男性 65 ～74歳	33	3.0	6.1	9.1	36.4	45.5	－
	男性 75 歳以上	106	1.9	6.6	17.9	15.1	30.2	28.3
	女性 40 ～64歳	7	－	14.3	42.9	28.6	－	14.3
	女性 65 ～74歳	33	－	15.2	6.1	24.2	51.5	3.0
	女性 75 歳以上	247	0.8	3.2	25.9	44.5	15.0	10.5
介護度	要支援1・2	138	0.7	6.5	23.2	37.7	19.6	12.3
	要介護1・2	207	0.5	5.8	24.6	31.4	24.2	13.5
	要介護3～5	83	3.6	3.6	9.6	37.3	30.1	15.7

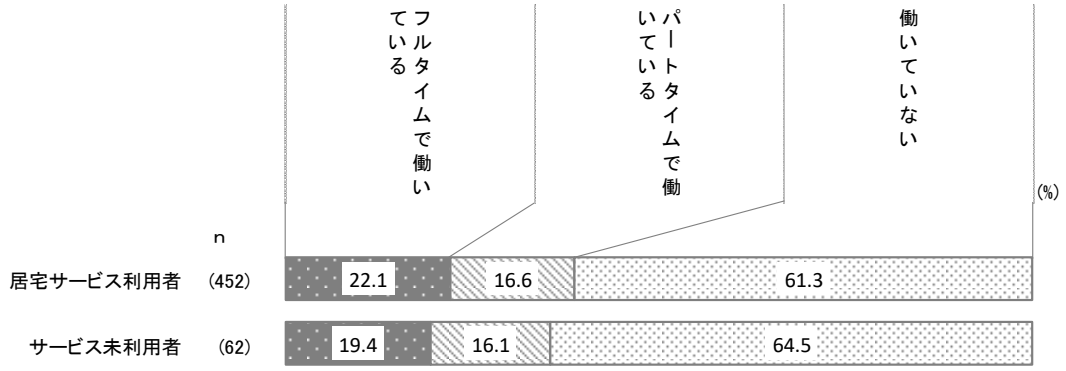
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全　体		62	1.6	8.1	29.0	19.4	16.1	25.8
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	2	－	－	－	－	100.0	－
	男性 75 歳以上	14	－	－	14.3	14.3	21.4	50.0
	女性 40 ～64歳	2	－	－	50.0	－	－	50.0
	女性 65 ～74歳	2	50.0	50.0	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	34	－	5.9	44.1	26.5	8.8	14.7
介護度	要支援1・2	29	3.4	10.3	41.4	13.8	13.8	17.2
	要介護1・2	17	－	－	29.4	41.2	11.8	17.6
	要介護3～5	5	－	－	20.0	－	20.0	60.0

（６）介護者の就労状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の就労状況を聞いたところ、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせると、居宅サービス利用者では 38.7%、サービス未利用者では 35.5%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「フルタイムで働いている」は要介護度が上がるほど少なくなっています。

＜図表 035＞　介護者の就労状況【居宅サービス利用者　第８問６】【サービス未利用者　第７問６】



＜図表 036＞　介護者の就労状況（要介護度別/介護者の性別/介護者との同居・別居別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
全　体		452	22.1	16.6	61.3
介護度	要支援1・2	135	27.4	16.3	56.3
	要介護1・2	218	23.4	19.7	56.9
	要介護3～5	85	12.9	8.2	78.8
介護者の性別	男性	127	31.5	9.4	59.1
	女性	286	16.1	20.6	63.3
同居・別居	同居	321	17.1	15.3	67.6
	別居	127	33.9	20.5	45.7

（単位:%）

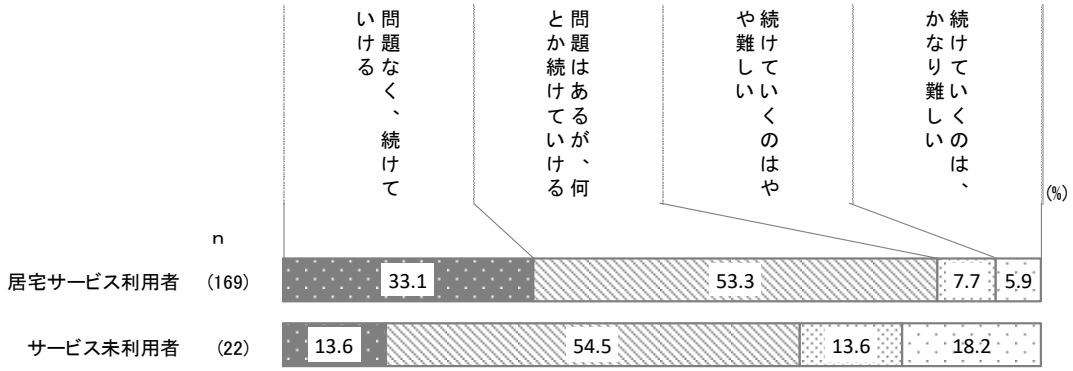
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない
全　体		62	19.4	16.1	64.5
介護度	要支援1・2	30	23.3	20.0	56.7
	要介護1・2	15	20.0	13.3	66.7
	要介護3～5	6	16.7	16.7	66.7
介護者の性別	男性	15	13.3	6.7	80.0
	女性	43	18.6	18.6	62.8
同居・別居	同居	40	7.5	12.5	80.0
	別居	22	40.9	22.7	36.4

（７）今後働きながらの介護継続の可能性【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護者の就労状況で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人に、今後働きながらの介護継続の可能性を聞いたところ、「問題なく続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせると、居宅サービス利用者では 86.4%、サービス未利用者では 68.1%となっています。

＜図表 037＞　今後働きながらの介護継続の可能性

【居宅サービス利用者　第８問６－１】【サービス未利用者　第７問６－１】



＜図表 038＞　今後働きながらの介護継続の可能性（要介護度別/介護者の就労状況別）

（単位:%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのはやや難しい	続けていくのは、かなり難しい
全　体		169	33.1	53.3	7.7	5.9
介護度	要支援1・2	56	30.4	55.4	7.1	7.1
	要介護1・2	92	38.0	51.1	5.4	5.4
	要介護3～5	17	17.6	52.9	23.5	5.9
介護者の就労	フルタイムで働いている	96	34.4	50.0	11.5	4.2
	パートタイムで働いている	73	31.5	57.5	2.7	8.2

（単位:%）

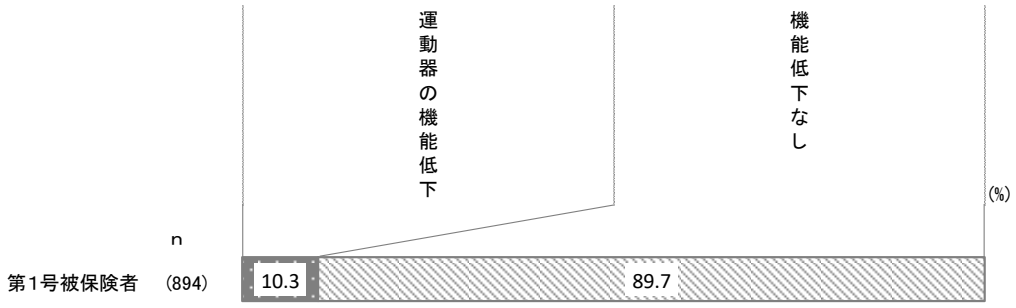
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのはやや難しい	続けていくのは、かなり難しい
全　体		22	13.6	54.5	13.6	18.2
介護度	要支援1・2	13	15.4	69.2	－	15.4
	要介護1・2	5	20.0	60.0	20.0	－
	要介護3～5	2	－	－	50.0	50.0
介護者の就労	フルタイムで働いている	12	8.3	58.3	16.7	16.7
	パートタイムで働いている	10	20.0	50.0	10.0	20.0

４.各種リスクの状況

（１）運動器の機能低下【第１号被保険者】

からだを動かすことに関した設問の回答から、運動器の機能が低下している高齢者の割合を算出したところ、「運動器の機能低下」している割合は 10.3%となっています。性・年代別でみると、「運動器の機能低下」している割合は女性・75 歳以上で 17.1%と最も高くなっています。

＜図表 039＞　運動器の機能低下【第１号被保険者】



＜図表 040＞　運動器の機能低下（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	運動器の機能低下	機能低下なし
全　体		894	10.3	89.7
性・年代	男性 65 ～74歳	247	2.0	98.0
	男性 75 歳以上	191	16.2	83.8
	女性 65 ～74歳	239	7.9	92.1
	女性 75 歳以上	217	17.1	82.9
地区	江別地区	354	11.3	88.7
	野幌地区	316	10.1	89.9
	大麻地区	223	9.0	91.0
介護度	非認定	848	7.2	92.8
	要支援1・2	46	67.4	32.6

からだを動かすことに関連した設問を以下に示します。

＜図表 041＞　階段を手すりや壁をつたわらずに昇れるか

【第１号被保険者　第２問１】（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		881	68.8	18.5	12.7
性・年代	男性 65 ～74歳	244	84.4	11.9	3.7
	男性 75 歳以上	187	61.0	20.9	18.2
	女性 65 ～74歳	238	71.8	18.5	9.7
	女性 75 歳以上	212	54.2	24.1	21.7
地区	江別地区	349	67.9	18.1	14.0
	野幌地区	311	70.7	16.7	12.5
	大麻地区	220	67.7	21.4	10.9
介護度	非認定	838	71.7	18.7	9.5
	要支援1･2	43	11.6	14.0	74.4

＜図表 042＞　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

【第１号被保険者　第２問２】（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		879	84.8	8.6	6.6
性・年代	男性 65 ～74歳	245	90.2	7.8	2.0
	男性 75 歳以上	187	81.8	10.2	8.0
	女性 65 ～74歳	238	87.0	8.0	5.0
	女性 75 歳以上	209	78.5	9.1	12.4
地区	江別地区	348	85.1	8.6	6.3
	野幌地区	310	84.8	8.4	6.8
	大麻地区	220	84.5	8.6	6.8
介護度	非認定	835	87.2	8.5	4.3
	要支援1･2	44	38.6	11.4	50.0

＜図表 043＞　15 分位続けて歩けるか

【第１号被保険者　第２問３】（性・年代別/地区別/要介護度別）

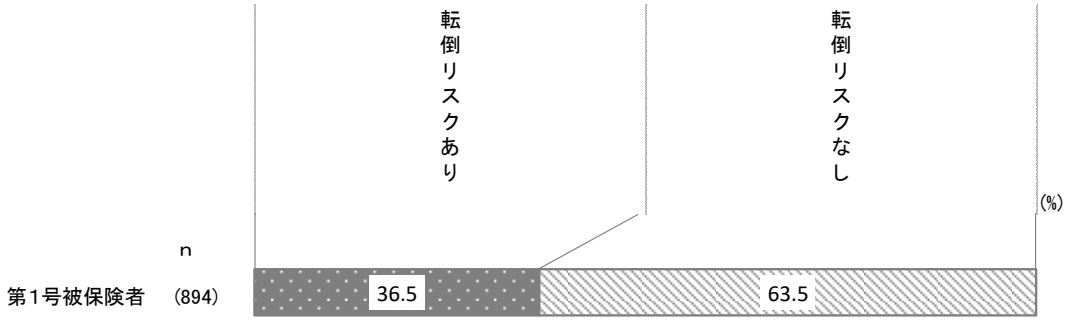
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		879	77.1	16.2	6.7
性・年代	男性 65 ～74歳	245	77.6	19.6	2.9
	男性 75 歳以上	185	73.0	16.8	10.3
	女性 65 ～74歳	236	79.2	16.9	3.8
	女性 75 歳以上	213	77.9	10.8	11.3
地区	江別地区	348	74.1	18.1	7.8
	野幌地区	312	79.8	14.4	5.8
	大麻地区	218	78.4	15.1	6.4
介護度	非認定	836	79.2	16.4	4.4
	要支援1・2	43	37.2	11.6	51.2

（２）転倒リスク【第１号被保険者】

転倒リスクに関した設問の回答から、転倒リスクのある高齢者の割合を算出したところ、「転倒リスクあり」の割合は 36.5%となっています。性・年代別でみると、「転倒リスクあり」の割合は男性・75 歳以上で 41.4%と最も高くなっています。

＜図表 044＞　転倒リスク【第１号被保険者】



＜図表 045＞　転倒リスク（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	転倒リスクあり	転倒リスクなし
全　体		894	36.5	63.5
性・年代	男性 65 ～74歳	247	28.3	71.7
	男性 75 歳以上	191	41.4	58.6
	女性 65 ～74歳	239	39.3	60.7
	女性 75 歳以上	217	38.2	61.8
地区	江別地区	354	38.7	61.3
	野幌地区	316	34.8	65.2
	大麻地区	223	35.4	64.6
介護度	非認定	848	35.1	64.9
	要支援1・2	46	60.9	39.1

転倒リスクに関連した設問を以下に示します。

＜図表 046＞　過去１年間に転んだ経験があるか

【第１号被保険者　第２問４】（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	何度もある	1度ある	ない
全　体		883	9.9	27.1	63.1
性・年代	男性 65 ～74歳	245	6.9	21.6	71.4
	男性 75 歳以上	186	14.5	28.0	57.5
	女性 65 ～74歳	239	10.9	28.5	60.7
	女性 75 歳以上	213	8.0	31.0	61.0
地区	江別地区	352	12.2	26.7	61.1
	野幌地区	312	9.3	26.0	64.7
	大麻地区	218	6.9	29.4	63.8
介護度	非認定	839	9.3	26.2	64.5
	要支援1・2	44	20.5	43.2	36.4

＜図表 047＞　転倒に対する不安は大きいか

【第１号被保険者　第２問５】（性・年代別/地区別/要介護度別）

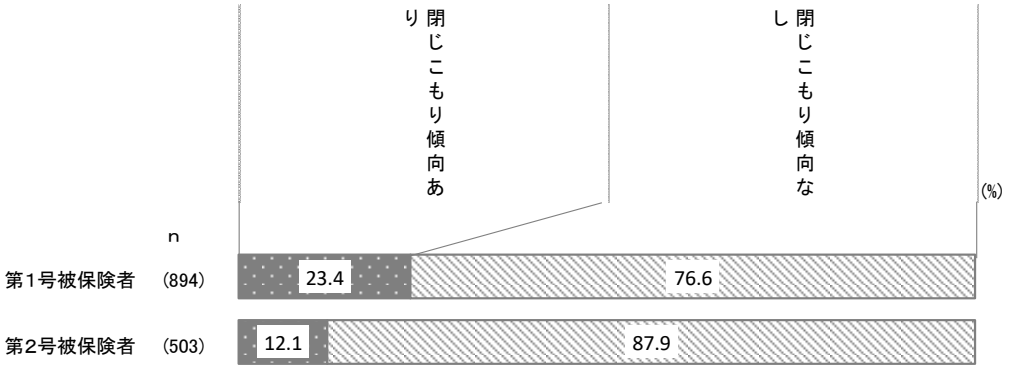
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない
全　体		884	15.6	38.5	28.7	17.2
性・年代	男性 65 ～74歳	245	5.3	29.4	39.6	25.7
	男性 75 歳以上	189	14.3	37.6	25.4	22.8
	女性 65 ～74歳	239	15.9	44.4	26.8	13.0
	女性 75 歳以上	211	28.4	43.1	21.3	7.1
地区	江別地区	350	16.9	42.0	27.7	13.4
	野幌地区	313	14.4	38.3	26.5	20.8
	大麻地区	220	15.5	32.7	33.6	18.2
介護度	非認定	840	13.5	38.6	30.0	18.0
	要支援1・2	44	56.8	36.4	4.5	2.3

（３）閉じこもり傾向【第１号被保険者】【第２号被保険者】

閉じこもりに関する設問の回答から、閉じこもり傾向のある割合を算出したところ、「閉じこもり傾向あり」の割合は第１号被保険者では 23.4%、第２号被保険者では 12.1%となっています。性・年代別でみると、「閉じこもり傾向あり」の割合は第１号被保険者では女性・75 歳以上で 35.0%、第２号被保険者では男性・40 代で 24.4%と最も高くなっています。

＜図表 048＞　閉じこもり傾向【第１号被保険者】【第２号被保険者】



＜図表 049＞　閉じこもり傾向（性・年代別/地区別/要介護度別/孤食の状況別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	閉じこもり傾向あり	閉じこもり傾向なし
全　体		894	23.4	76.6
性・年代	男性 65 ～74歳	247	10.9	89.1
	男性 75 歳以上	191	29.3	70.7
	女性 65 ～74歳	239	20.9	79.1
	女性 75 歳以上	217	35.0	65.0
地区	江別地区	354	28.8	71.2
	野幌地区	316	21.2	78.8
	大麻地区	223	17.9	82.1
介護度	非認定	848	22.1	77.9
	要支援1･2	46	47.8	52.2
誰かと食事をする機会	毎日ある	507	22.5	77.5
	週に何度かある	54	14.8	85.2
	月に何度かある	116	25.9	74.1
	年に何度かある	131	22.9	77.1
	ほとんどない	73	34.2	65.8

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	閉じこもり傾向あり	閉じこもり傾向なし
全　体		503	12.1	87.9
性・年代	男性 40 代	45	24.4	75.6
	男性 50 代	97	10.3	89.7
	男性 60 歳以上	59	15.3	84.7
	女性 40 代	96	5.2	94.8
	女性 50 代	122	10.7	89.3
	女性 60 歳以上	74	14.9	85.1
地区	江別地区	177	14.1	85.9
	野幌地区	162	11.7	88.3
	大麻地区	110	10.0	90.0
誰かと食事をする機会	毎日ある	379	12.4	87.6
	週に何度かある	49	8.2	91.8
	月に何度かある	32	18.8	81.3
	年に何度かある	18	11.1	88.9
	ほとんどない	20	10.0	90.0

閉じこもり傾向に関連した設問を以下に示します。

＜図表 050＞　週１回以上の外出

【第１号被保険者　第２問６】【第２号被保険者　第２問１】

（性・年代別/地区別/要介護度別/孤食の状況別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上
全 体		887	6.7	16.9	51.2	25.3
性・年代	男性 65 ～74歳	246	3.7	7.3	49.6	39.4
	男性 75 歳以上	189	11.1	18.5	46.6	23.8
	女性 65 ～74歳	239	3.8	17.2	54.0	25.1
	女性 75 歳以上	213	9.4	26.3	54.0	10.3
地区	江別地区	351	8.3	20.8	47.3	23.6
	野幌地区	314	4.5	16.9	53.2	25.5
	大麻地区	221	7.2	10.9	54.3	27.6
介護度	非認定	844	5.9	16.2	51.5	26.3
	要支援1・2	43	20.9	30.2	44.2	4.7
誰かと食事をする機会	毎日ある	503	6.8	15.9	49.5	27.8
	週に何度かある	54	1.9	13.0	57.4	27.8
	月に何度かある	115	5.2	20.9	60.0	13.9
	年に何度かある	129	4.7	18.6	54.3	22.5
	ほとんどない	73	15.1	19.2	39.7	26.0

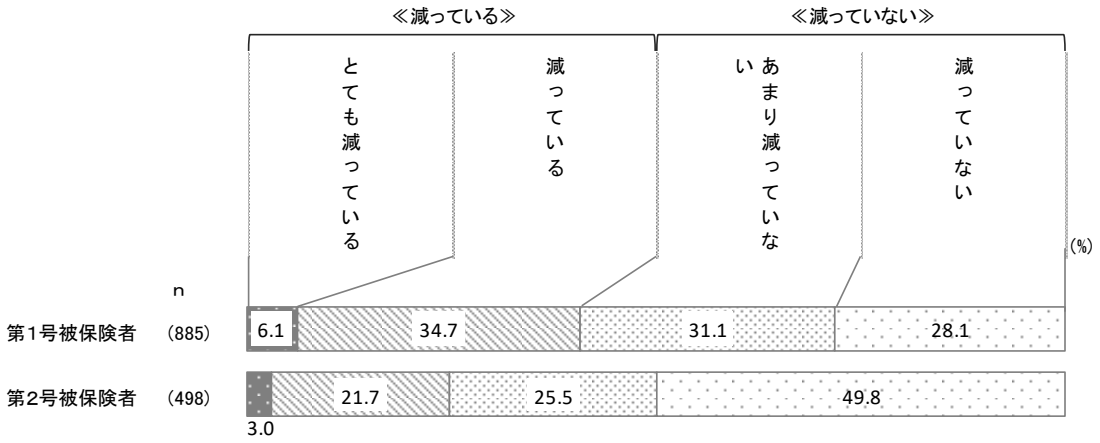
（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上
全 体		498	4.8	7.4	27.5	60.2
性・年代	男性 40 代	44	15.9	9.1	9.1	65.9
	男性 50 代	97	5.2	5.2	12.4	77.3
	男性 60 歳以上	58	5.2	10.3	29.3	55.2
	女性 40 代	94	2.1	3.2	35.1	59.6
	女性 50 代	122	4.1	6.6	32.8	56.6
	女性 60 歳以上	73	2.7	12.3	39.7	45.2
地区	江別地区	175	6.3	8.0	28.6	57.1
	野幌地区	162	3.7	8.0	26.5	61.7
	大麻地区	108	4.6	5.6	26.9	63.0
誰かと食事をする機会	毎日ある	379	4.7	7.7	28.0	59.6
	週に何度かある	48	4.2	4.2	33.3	58.3
	月に何度かある	32	6.3	12.5	15.6	65.6
	年に何度かある	18	5.6	5.6	33.3	55.6
	ほとんどない	20	5.0	5.0	20.0	70.0

（４）昨年と比べた外出回数の増減【第１号被保険者】【第２号被保険者】

昨年と比べた外出回数の増減を聞いたところ、「とても減っている」と「減っている」を合わせた≪減っている≫は、第１号被保険者では 40.8%、第２号被保険者では 24.7%となっています。

＜図表 051＞　昨年と比べた外出回数の増減【第１号被保険者　第２問７】【第２号被保険者　第２問２】



＜図表 052＞　昨年と比べた外出回数の増減（性・年代別/地区別/要介護度別）

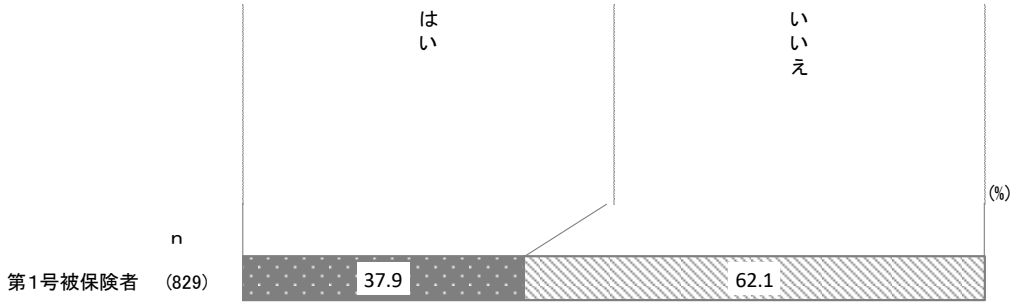
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	減っている計	減っていない計
全 体		885	6.1	34.7	31.1	28.1	40.8	59.2
性・年代	男性 65 ～74歳	245	4.1	22.0	33.1	40.8	26.1	73.9
	男性 75 歳以上	189	5.8	40.2	31.2	22.8	46.0	54.0
	女性 65 ～74歳	237	6.8	31.6	31.2	30.4	38.4	61.6
	女性 75 歳以上	214	7.9	47.7	28.5	15.9	55.6	44.4
地区	江別地区	350	7.7	34.0	31.7	26.6	41.7	58.3
	野幌地区	312	4.2	35.9	30.4	29.5	40.1	59.9
	大麻地区	222	6.3	33.8	31.1	28.8	40.1	59.9
介護度	非認定	839	5.2	33.6	32.1	29.1	38.8	61.2
	要支援1・2	46	21.7	54.3	13.0	10.9	76.0	23.9

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	減っている計	減っていない計
全 体		498	3.0	21.7	25.5	49.8	24.7	75.3
性・年代	男性 40 代	44	2.3	20.5	25.0	52.3	22.8	77.3
	男性 50 代	96	3.1	19.8	20.8	56.3	22.9	77.1
	男性 60 歳以上	58	6.9	17.2	17.2	58.6	24.1	75.8
	女性 40 代	95	3.2	23.2	27.4	46.3	26.4	73.7
	女性 50 代	122	1.6	25.4	25.4	47.5	27.0	72.9
	女性 60 歳以上	73	2.7	19.2	38.4	39.7	21.9	78.1
地区	江別地区	176	4.0	28.4	25.6	42.0	32.4	67.6
	野幌地区	162	1.2	15.4	26.5	56.8	16.6	83.3
	大麻地区	107	2.8	22.4	22.4	52.3	25.2	74.7

＜図表 053＞　外出を控えているか【第１号被保険者　第２問８】



＜図表 054＞　外出を控えているか（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

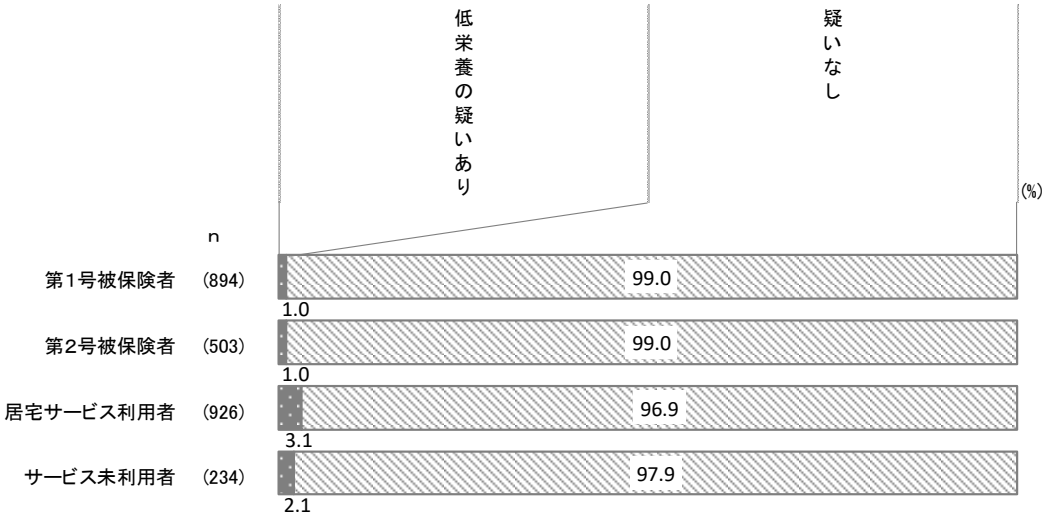
<1号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全 体		829	37.9	62.1
性・年代	男性 65 ～74歳	242	26.0	74.0
	男性 75 歳以上	177	37.3	62.7
	女性 65 ～74歳	225	40.4	59.6
	女性 75 歳以上	185	50.8	49.2
地区	江別地区	319	39.8	60.2
	野幌地区	297	37.4	62.6
	大麻地区	212	35.4	64.6
介護度	非認定	790	35.8	64.2
	要支援1・2	39	79.5	20.5

（５）低栄養の傾向

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

低栄養の傾向に関する設問の回答から、低栄養が疑われる割合を算出したところ、「低栄養の疑いあり」の割合は、第１号被保険者で 1.0%、第２号被保険者で 1.0%、居宅サービス利用者で 3.1%、サービス未利用者で 2.1%となっています。

＜図表 055＞　低栄養の疑い【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】



＜図表 056＞　低栄養の疑い（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		894	1.0	99.0
性・年代	男性 65 ～74歳	247	－	100.0
	男性 75 歳以上	191	1.0	99.0
	女性 65 ～74歳	239	1.7	98.3
	女性 75 歳以上	217	1.4	98.6
家族構成	一人暮らし	154	0.6	99.4
	夫婦のみ	486	0.8	99.2
	同居その他	239	1.7	98.3
地区	江別地区	354	1.1	98.9
	野幌地区	316	0.3	99.7
	大麻地区	223	1.8	98.2
介護度	非認定	848	0.7	99.3
	要支援1・2	46	6.5	93.5

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		503	1.0	99.0
性・年代	男性 40 代	45	－	100.0
	男性 50 代	97	1.0	99.0
	男性 60 歳以上	59	－	100.0
	女性 40 代	96	2.1	97.9
	女性 50 代	122	0.8	99.2
	女性 60 歳以上	74	1.4	98.6
家族構成	一人暮らし	40	－	100.0
	夫婦のみ	125	0.8	99.2
	同居その他	312	1.3	98.7
地区	江別地区	177	0.6	99.4
	野幌地区	162	0.6	99.4
	大麻地区	110	2.7	97.3

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		926	3.1	96.9
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	100.0
	男性 65 ～74歳	51	－	100.0
	男性 75 歳以上	226	2.2	97.8
	女性 40 ～64歳	11	－	100.0
	女性 65 ～74歳	60	3.3	96.7
	女性 75 歳以上	533	3.9	96.1
家族構成	一人暮らし	273	2.9	97.1
	夫婦のみ	263	3.8	96.2
	同居その他	359	2.8	97.2
地区	江別地区	329	2.7	97.3
	野幌地区	286	3.5	96.5
	大麻地区	251	2.8	97.2
介護度	要支援1・2	424	3.1	96.9
	要介護1・2	329	2.7	97.3
	要介護3～5	123	4.9	95.1

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	低栄養の疑いあり	疑いなし
全　体		234	2.1	97.9
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	－	100.0
	男性 75 歳以上	68	2.9	97.1
	女性 40 ～64歳	3	－	100.0
	女性 65 ～74歳	13	－	100.0
	女性 75 歳以上	119	2.5	97.5
家族構成	一人暮らし	66	3.0	97.0
	夫婦のみ	86	1.2	98.8
	同居その他	74	2.7	97.3
地区	江別地区	78	1.3	98.7
	野幌地区	71	5.6	94.4
	大麻地区	69	－	100.0
介護度	要支援1・2	131	2.3	97.7
	要介護1・2	38	－	100.0
	要介護3～5	23	8.7	91.3

低栄養の傾向に関連した設問を以下に示します。

＜図表 057＞　ＢＭＩ

【第１号被保険者　第３問１】【第２号被保険者　第３問１】

【居宅サービス利用者　第２問１】【サービス未利用者　第２問１】

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（25.0以上）
全 体		856	4.6	68.8	26.6
性・年代	男性 65 ～74歳	243	1.2	63.4	35.4
	男性 75 歳以上	183	3.8	68.3	27.9
	女性 65 ～74歳	232	5.2	71.1	23.7
	女性 75 歳以上	198	8.6	73.2	18.2
家族構成	一人暮らし	147	5.4	76.9	17.7
	夫婦のみ	470	4.9	68.1	27.0
	同居その他	225	3.6	64.9	31.6
地区	江別地区	336	4.2	69.3	26.5
	野幌地区	304	4.3	67.4	28.3
	大麻地区	216	5.6	69.9	24.5
介護度	非認定	818	4.3	69.3	26.4
	要支援1・2	38	10.5	57.9	31.6

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	やせ（18.5未満）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（25.0以上）
全 体		476	8.0	69.1	22.9
性・年代	男性 40 代	42	2.4	66.7	31.0
	男性 50 代	95	1.1	62.1	36.8
	男性 60 歳以上	58	－	63.8	36.2
	女性 40 代	88	15.9	73.9	10.2
	女性 50 代	115	13.0	68.7	18.3
	女性 60 歳以上	71	9.9	77.5	12.7
家族構成	一人暮らし	37	10.8	62.2	27.0
	夫婦のみ	120	6.7	72.5	20.8
	同居その他	295	8.8	67.8	23.4
地区	江別地区	171	5.8	69.0	25.1
	野幌地区	154	9.1	63.6	27.3
	大麻地区	103	9.7	75.7	14.6

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	やせ（未満）（18.5）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（以上）（25.0）
全　体		833	12.1	62.9	25.0
性・年代	男性 40 ～64歳	6	16.7	50.0	33.3
	男性 65 ～74歳	48	12.5	54.2	33.3
	男性 75 歳以上	207	8.2	66.7	25.1
	女性 40 ～64歳	11	－	72.7	27.3
	女性 65 ～74歳	59	13.6	62.7	23.7
	女性 75 歳以上	473	13.7	62.8	23.5
家族構成	一人暮らし	236	13.6	63.1	23.3
	夫婦のみ	240	13.8	63.8	22.5
	同居その他	335	10.4	62.7	26.9
地区	江別地区	299	10.0	63.9	26.1
	野幌地区	264	12.1	62.5	25.4
	大麻地区	221	15.4	61.1	23.5
介護度	要支援1・2	393	9.9	62.8	27.2
	要介護1・2	297	12.1	62.6	25.3
	要介護3～5	107	19.6	61.7	18.7

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	やせ（未満）（18.5）	標準（18.5以上25.0未満）	肥満（以上）（25.0）
全　体		210	15.2	65.2	19.5
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	16.7	66.7	16.7
	男性 75 歳以上	66	18.2	66.7	15.2
	女性 40 ～64歳	3	－	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	11	9.1	54.5	36.4
	女性 75 歳以上	104	14.4	67.3	18.3
家族構成	一人暮らし	59	20.3	59.3	20.3
	夫婦のみ	79	13.9	68.4	17.7
	同居その他	64	14.1	67.2	18.8
地区	江別地区	67	9.0	65.7	25.4
	野幌地区	65	16.9	66.2	16.9
	大麻地区	63	19.0	66.7	14.3
介護度	要支援1・2	125	15.2	68.0	16.8
	要介護1・2	34	8.8	52.9	38.2
	要介護3～5	16	25.0	75.0	－

ＢＭＩ（Body Mass Index）

1994 年に世界保健機関（ＷＨＯ）で定めた肥満判定の国際基準です。

ＢＭＩ＝体重÷（身長×身長）で求められます。

18.5 未満を低体重、18.5 以上 25.0 未満を標準、25.0 以上を肥満としています。

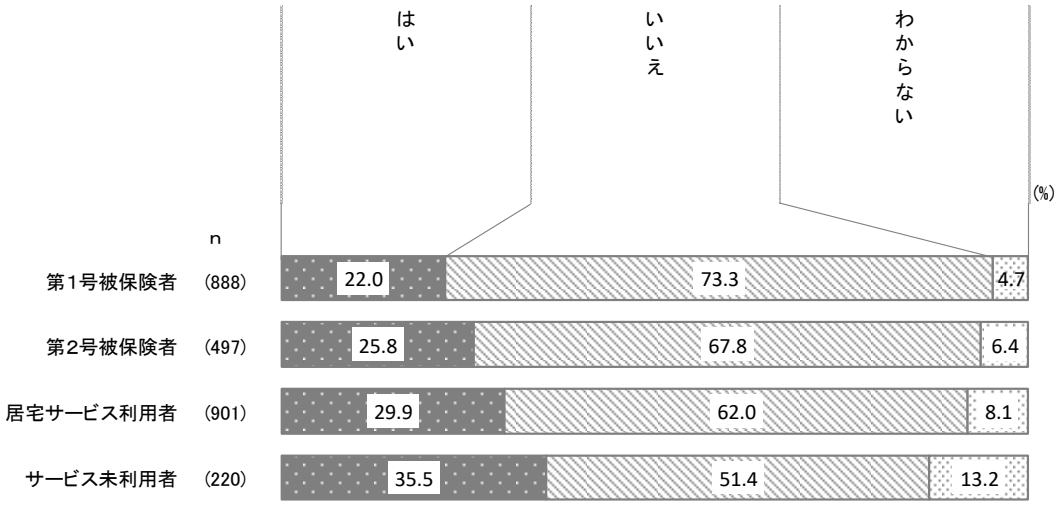
（６）急激な体重の増減

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

急激な体重の増減を聞いたところ、「はい」が第１号被保険者では 22.0%、第２号被保険者では 25.8%、居宅サービス利用者では 29.9%、サービス未利用者では 35.5%となっています。

＜図表 058＞　急激な体重の増減の有無

【第１号被保険者　第３問２】【第２号被保険者　第３問２】
【居宅サービス利用者　第２問２】【サービス未利用者　第２問２】



＜図表 059＞　急激な体重の増減の有無（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		888	22.0	73.3	4.7
性・年代	男性 65 ～74歳	246	17.1	78.5	4.5
	男性 75 歳以上	190	24.7	71.6	3.7
	女性 65 ～74歳	237	23.6	71.7	4.6
	女性 75 歳以上	215	23.3	70.7	6.0
地区	江別地区	351	19.4	75.5	5.1
	野幌地区	315	21.3	74.0	4.8
	大麻地区	221	27.1	69.2	3.6
介護度	非認定	842	21.0	74.2	4.8
	要支援1・2	46	39.1	56.5	4.3

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		497	25.8	67.8	6.4
性・年代	男性 40 代	44	29.5	68.2	2.3
	男性 50 代	97	16.5	77.3	6.2
	男性 60 歳以上	58	27.6	67.2	5.2
	女性 40 代	95	30.5	65.3	4.2
	女性 50 代	121	28.9	62.8	8.3
	女性 60 歳以上	73	23.3	71.2	5.5
地区	江別地区	176	27.8	68.8	3.4
	野幌地区	161	28.0	65.2	6.8
	大麻地区	108	22.2	71.3	6.5

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		901	29.9	62.0	8.1
性・年代	男性 40 ～64歳	6	16.7	66.7	16.7
	男性 65 ～74歳	51	35.3	54.9	9.8
	男性 75 歳以上	220	29.1	64.1	6.8
	女性 40 ～64歳	11	36.4	45.5	18.2
	女性 65 ～74歳	60	41.7	51.7	6.7
	女性 75 歳以上	522	28.5	63.2	8.2
地区	江別地区	320	32.2	59.7	8.1
	野幌地区	283	27.2	65.0	7.8
	大麻地区	244	29.9	62.7	7.4
介護度	要支援1・2	411	31.9	62.5	5.6
	要介護1・2	326	27.9	63.5	8.6
	要介護3～5	120	30.8	55.8	13.3

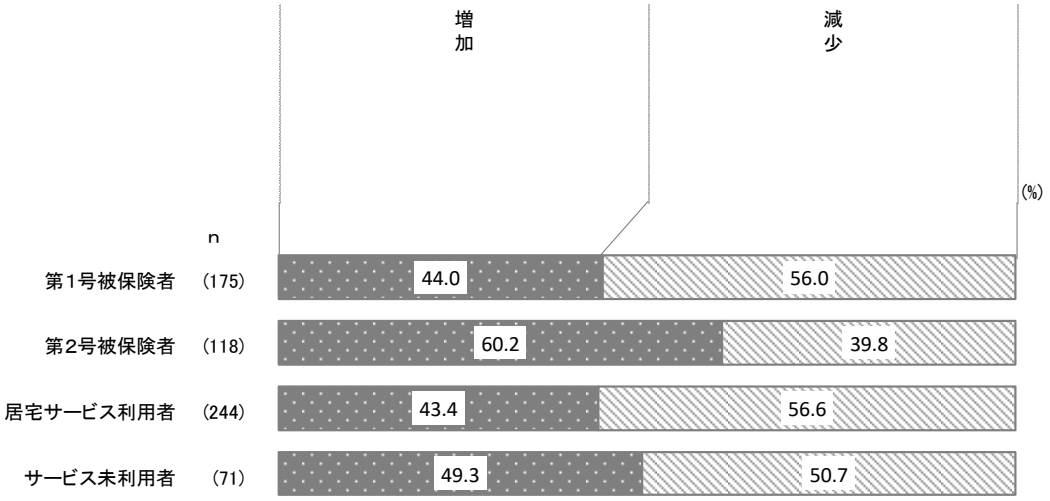
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ	わからない
全　体		220	35.5	51.4	13.2
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	7.7	76.9	15.4
	男性 75 歳以上	65	36.9	53.8	9.2
	女性 40 ～64歳	3	33.3	33.3	33.3
	女性 65 ～74歳	11	54.5	36.4	9.1
	女性 75 歳以上	115	35.7	48.7	15.7
地区	江別地区	74	33.8	51.4	14.9
	野幌地区	67	44.8	41.8	13.4
	大麻地区	66	30.3	57.6	12.1
介護度	要支援1・2	127	37.0	58.3	4.7
	要介護1・2	35	11.4	57.1	31.4
	要介護3～5	22	54.5	18.2	27.3

＜図表 060＞　急激な体重の増減

【第１号被保険者　第３問２】【第２号被保険者　第３問２】

【居宅サービス利用者　第２問２】【サービス未利用者　第２問２】

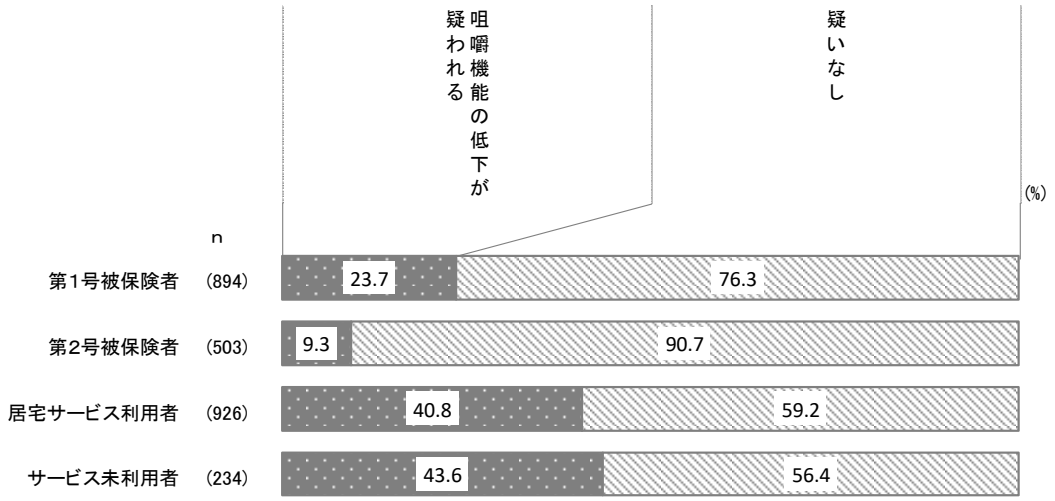


（７）咀嚼機能の低下

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

咀嚼（そしゃく）機能の低下に関する設問の回答から、咀嚼機能の低下が疑われる割合を算出したところ、「咀嚼機能の低下が疑われる」の割合は、第１号被保険者で 23.7%、第２号被保険者では 9.3%、居宅サービス利用者で 40.8%、サービス未利用者で 43.6%となっています。いずれも要介護度が上がるほど「咀嚼機能の低下が疑われる」の割合が高くなる傾向があります。

＜図表 061＞　咀嚼機能の低下【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】



＜図表 062＞　咀嚼機能の低下（性・年代別/地区別/要介護度別/歯の数と入れ歯の利用状況別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全 体		894	23.7	76.3
性・年代	男性 65 ～74歳	247	19.0	81.0
	男性 75 歳以上	191	31.4	68.6
	女性 65 ～74歳	239	21.3	78.7
	女性 75 歳以上	217	24.9	75.1
地区	江別地区	354	26.8	73.2
	野幌地区	316	23.7	76.3
	大麻地区	223	18.8	81.2
介護度	非認定	848	22.3	77.7
	要支援1・2	46	50.0	50.0
入れ歯の利用	歯の数と 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	122	17.2	82.8
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	248	12.1	87.9
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	398	31.9	68.1
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	96	27.1	72.9

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全 体		503	9.3	90.7
性・年代	男性 40 代	45	4.4	95.6
	男性 50 代	97	12.4	87.6
	男性 60 歳以上	59	13.6	86.4
	女性 40 代	96	6.3	93.8
	女性 50 代	122	6.6	93.4
	女性 60 歳以上	74	14.9	85.1
地区	江別地区	177	9.6	90.4
	野幌地区	162	8.0	92.0
	大麻地区	110	10.9	89.1

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全 体		926	40.8	59.2
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	66.7
	男性 65 ～74歳	51	39.2	60.8
	男性 75 歳以上	226	41.6	58.4
	女性 40 ～64歳	11	9.1	90.9
	女性 65 ～74歳	60	36.7	63.3
	女性 75 歳以上	533	41.5	58.5
地区	江別地区	329	45.0	55.0
	野幌地区	286	39.5	60.5
	大麻地区	251	38.6	61.4
介護度	要支援1・2	424	38.4	61.6
	要介護1・2	329	38.0	62.0
	要介護3～5	123	53.7	46.3
入れ歯の利用	歯の数と 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	88	30.7	69.3
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	160	25.0	75.0
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	513	47.6	52.4
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	105	44.8	55.2

（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	咀嚼機能の低下が疑われる	疑いなし
全 体		234	43.6	56.4
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	15.4	84.6
	男性 75 歳以上	68	41.2	58.8
	女性 40 ～64歳	3	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	13	23.1	76.9
	女性 75 歳以上	119	47.1	52.9
地区	江別地区	78	43.6	56.4
	野幌地区	71	43.7	56.3
	大麻地区	69	42.0	58.0
介護度	要支援1・2	131	41.2	58.8
	要介護1・2	38	36.8	63.2
	要介護3～5	23	69.6	30.4
入れ歯の利用	歯の数と 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	30	46.7	53.3
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	45	26.7	73.3
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	115	47.0	53.0
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	23	56.5	43.5

咀嚼機能の低下に関連した設問を以下に示します。

＜図表 063＞　半年前に比べて固いものが食べにくくなった

【第１号被保険者　第３問３】【第２号被保険者　第３問３】

【居宅サービス利用者　第２問３】【サービス未利用者　第２問３】

（性・年代別/地区別/要介護度別/歯の数と入れ歯の利用状況別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		877	24.2	75.8
性・年代	男性 65 ～74歳	246	19.1	80.9
	男性 75 歳以上	188	31.9	68.1
	女性 65 ～74歳	235	21.7	78.3
	女性 75 歳以上	208	26.0	74.0
地区	江別地区	348	27.3	72.7
	野幌地区	310	24.2	75.8
	大麻地区	218	19.3	80.7
介護度	非認定	832	22.7	77.3
	要支援1・2	45	51.1	48.9
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	119	17.6	82.4
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	246	12.2	87.8
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	395	32.2	67.8
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	96	27.1	72.9

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		498	9.4	90.6
性・年代	男性 40 代	44	4.5	95.5
	男性 50 代	97	12.4	87.6
	男性 60 歳以上	58	13.8	86.2
	女性 40 代	95	6.3	93.7
	女性 50 代	121	6.6	93.4
	女性 60 歳以上	73	15.1	84.9
地区	江別地区	176	9.7	90.3
	野幌地区	161	8.1	91.9
	大麻地区	108	11.1	88.9

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		893	42.3	57.7
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	66.7
	男性 65 ～74歳	51	39.2	60.8
	男性 75 歳以上	220	42.7	57.3
	女性 40 ～64歳	11	9.1	90.9
	女性 65 ～74歳	58	37.9	62.1
	女性 75 歳以上	518	42.7	57.3
地区	江別地区	321	46.1	53.9
	野幌地区	278	40.6	59.4
	大麻地区	242	40.1	59.9
介護度	要支援1・2	409	39.9	60.1
	要介護1・2	324	38.6	61.4
	要介護3～5	118	55.9	44.1
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	87	31.0	69.0
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	158	25.3	74.7
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	499	48.9	51.1
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	102	46.1	53.9

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		222	45.9	54.1
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	15.4	84.6
	男性 75 歳以上	65	43.1	56.9
	女性 40 ～64歳	3	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	11	27.3	72.7
	女性 75 歳以上	113	49.6	50.4
地区	江別地区	74	45.9	54.1
	野幌地区	68	45.6	54.4
	大麻地区	65	44.6	55.4
介護度	要支援1・2	129	41.9	58.1
	要介護1・2	37	37.8	62.2
	要介護3～5	19	84.2	15.8
入れ歯の利用 歯の数と	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	29	48.3	51.7
	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	45	26.7	73.3
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	111	48.6	51.4
	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	23	56.5	43.5

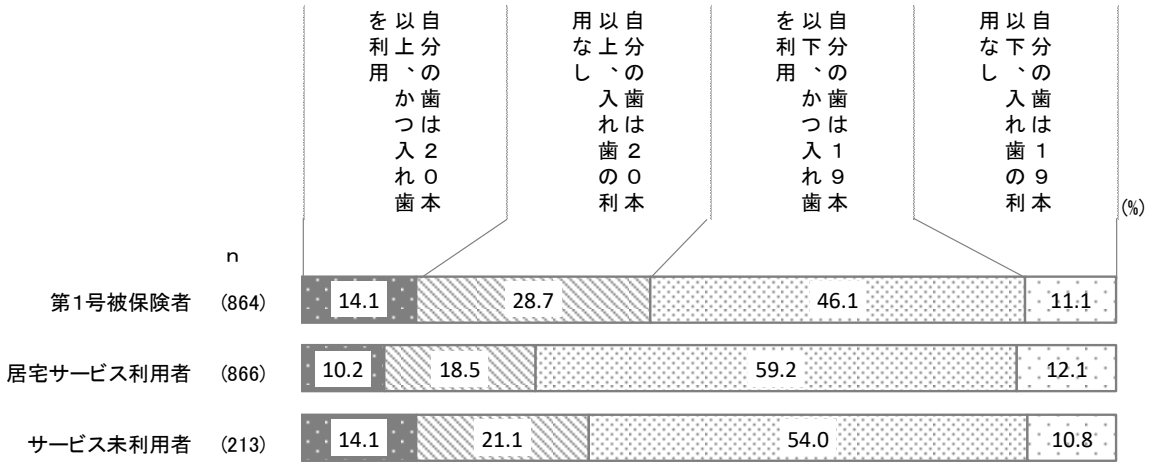
（８）歯の数と入れ歯の利用状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

歯の数と入れ歯の利用状況を聞いたところ、全ての調査において「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多く、第１号被保険者で 46.1%、居宅サービス利用者で 59.2%、サービス未利用者で 54.0%となっています。

＜図表 064＞　歯の数と入れ歯の利用状況

【第１号被保険者　第３問４】【居宅サービス利用者　第２問４】

【サービス未利用者　第２問４】



＜図表 065＞　歯の数と入れ歯の利用状況（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
全　体		864	14.1	28.7	46.1	11.1
性・年代	男性 65 ～74歳	246	12.2	35.4	37.4	15.0
	男性 75 歳以上	185	16.2	19.5	53.0	11.4
	女性 65 ～74歳	234	12.4	35.5	41.5	10.7
	女性 75 歳以上	199	16.6	21.1	55.8	6.5
地区	江別地区	344	15.4	26.7	48.3	9.6
	野幌地区	303	13.5	30.0	47.2	9.2
	大麻地区	216	12.5	30.1	41.2	16.2
介護度	非認定	821	14.3	29.5	45.2	11.1
	要支援1・2	43	11.6	14.0	62.8	11.6

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
全　体		866	10.2	18.5	59.2	12.1
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	50.0	33.3	16.7
	男性 65 ～74歳	49	10.2	26.5	46.9	16.3
	男性 75 歳以上	215	11.6	20.9	55.3	12.1
	女性 40 ～64歳	10	20.0	20.0	40.0	20.0
	女性 65 ～74歳	60	11.7	25.0	46.7	16.7
	女性 75 歳以上	496	9.3	16.1	63.5	11.1
地区	江別地区	306	12.4	15.7	60.5	11.4
	野幌地区	267	10.5	18.0	59.2	12.4
	大麻地区	238	7.6	21.8	58.8	11.8
介護度	要支援1・2	394	10.7	16.0	62.7	10.7
	要介護1・2	315	10.2	19.7	59.4	10.8
	要介護3～5	117	6.0	26.5	46.2	21.4

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
全　体		213	14.1	21.1	54.0	10.8
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	－	30.8	61.5	7.7
	男性 75 歳以上	65	20.0	29.2	46.2	4.6
	女性 40 ～64歳	3	－	－	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	11	9.1	36.4	36.4	18.2
	女性 75 歳以上	106	14.2	15.1	57.5	13.2
地区	江別地区	70	15.7	17.1	52.9	14.3
	野幌地区	65	12.3	24.6	46.2	16.9
	大麻地区	64	12.5	21.9	62.5	3.1
介護度	要支援1・2	124	16.1	25.8	50.0	8.1
	要介護1・2	37	13.5	16.2	54.1	16.2
	要介護3～5	16	6.3	18.8	50.0	25.0

（９）誰かと食事をする機会

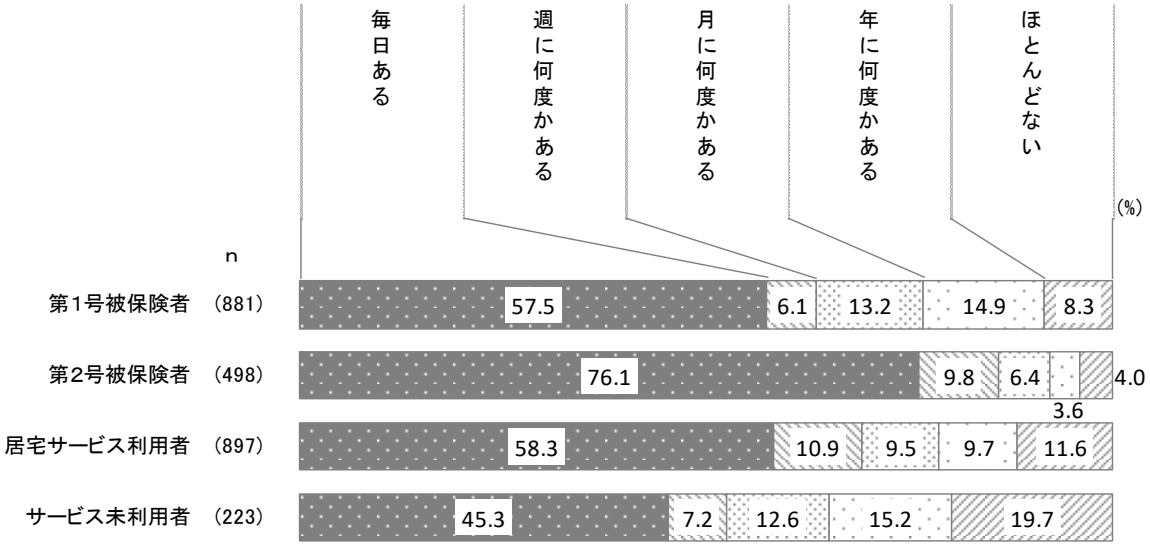
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

誰かと食事をする機会を聞いたところ、全ての調査において「毎日ある」が最も多く、第１号被保険者で 57.5%、第２号被保険者で 76.1%、居宅サービス利用者で 58.3%、サービス未利用者で 45.3%となっています。一人暮らしの場合、「ほとんどない」が２人以上の世帯に比べて多くなっており、第１号被保険者では 17.6%となっています。

＜図表 066＞　誰かと食事をする機会

【第１号被保険者　第３問５】【第２号被保険者　第３問４】

【居宅サービス利用者　第２問５】【サービス未利用者　第２問５】



＜図表 067＞　誰かと食事をする機会（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		881	57.5	6.1	13.2	14.9	8.3
性・年代	男性 65 ～74歳	242	62.4	5.4	9.1	12.4	10.7
	男性 75 歳以上	189	57.1	2.1	9.5	16.9	14.3
	女性 65 ～74歳	237	62.0	8.4	13.5	12.7	3.4
	女性 75 歳以上	213	47.4	8.0	20.7	18.3	5.6
家族構成	一人暮らし	153	3.3	16.3	32.7	30.1	17.6
	夫婦のみ	480	67.5	3.8	9.4	13.1	6.3
	同居その他	235	72.3	4.3	8.1	9.4	6.0
地区	江別地区	353	62.0	5.1	12.2	11.9	8.8
	野幌地区	309	55.0	5.2	15.2	17.2	7.4
	大麻地区	218	53.7	9.2	11.9	16.5	8.7
介護度	非認定	836	58.4	6.0	13.2	14.8	7.7
	要支援1・2	45	42.2	8.9	13.3	15.6	20.0

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		498	76.1	9.8	6.4	3.6	4.0
性・年代	男性 40 代	44	75.0	9.1	6.8	4.5	4.5
	男性 50 代	97	74.2	8.2	6.2	4.1	7.2
	男性 60 歳以上	58	67.2	10.3	10.3	3.4	8.6
	女性 40 代	95	87.4	6.3	3.2	2.1	1.1
	女性 50 代	121	75.2	12.4	8.3	2.5	1.7
	女性 60 歳以上	73	76.7	11.0	2.7	5.5	4.1
家族構成	一人暮らし	40	7.5	17.5	37.5	15.0	22.5
	夫婦のみ	123	79.7	8.9	6.5	1.6	3.3
	同居その他	309	83.8	8.7	2.6	2.9	1.9
地区	江別地区	176	77.3	10.8	5.7	2.8	3.4
	野幌地区	161	79.5	8.7	6.2	1.2	4.3
	大麻地区	108	69.4	10.2	6.5	8.3	5.6

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		897	58.3	10.9	9.5	9.7	11.6
性・年代	男性 40 ～64歳	6	66.7	33.3	－	－	－
	男性 65 ～74歳	49	71.4	6.1	8.2	6.1	8.2
	男性 75 歳以上	220	64.5	8.2	6.4	7.7	13.2
	女性 40 ～64歳	10	90.0	－	10.0	－	－
	女性 65 ～74歳	60	68.3	10.0	1.7	8.3	11.7
	女性 75 歳以上	523	53.7	12.4	11.7	10.9	11.3
家族構成	一人暮らし	266	23.7	19.5	19.5	16.5	20.7
	夫婦のみ	258	76.7	3.9	5.4	7.4	6.6
	同居その他	349	71.3	9.5	5.2	5.7	8.3
地区	江別地区	315	58.4	10.8	7.9	9.2	13.7
	野幌地区	282	56.4	10.6	11.3	10.3	11.3
	大麻地区	245	58.0	11.4	9.4	11.0	10.2
介護度	要支援1・2	417	48.9	9.1	14.9	13.4	13.7
	要介護1・2	321	66.0	13.7	4.7	5.9	9.7
	要介護3～5	118	78.0	7.6	3.4	4.2	6.8

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない
全　体		223	45.3	7.2	12.6	15.2	19.7
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	46.2	7.7	15.4	7.7	23.1
	男性 75 歳以上	65	52.3	3.1	7.7	20.0	16.9
	女性 40 ～64歳	2	100.0	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	11	45.5	18.2	9.1	9.1	18.2
	女性 75 歳以上	115	42.6	8.7	14.8	13.0	20.9
家族構成	一人暮らし	64	7.8	15.6	23.4	25.0	28.1
	夫婦のみ	81	55.6	4.9	11.1	16.0	12.3
	同居その他	71	64.8	2.8	5.6	7.0	19.7
地区	江別地区	74	48.6	6.8	14.9	12.2	17.6
	野幌地区	69	42.0	8.7	14.5	17.4	17.4
	大麻地区	65	43.1	6.2	10.8	18.5	21.5
介護度	要支援1・2	130	42.3	7.7	15.4	17.7	16.9
	要介護1・2	35	60.0	14.3	8.6	5.7	11.4
	要介護3～5	19	36.8	－	－	5.3	57.9

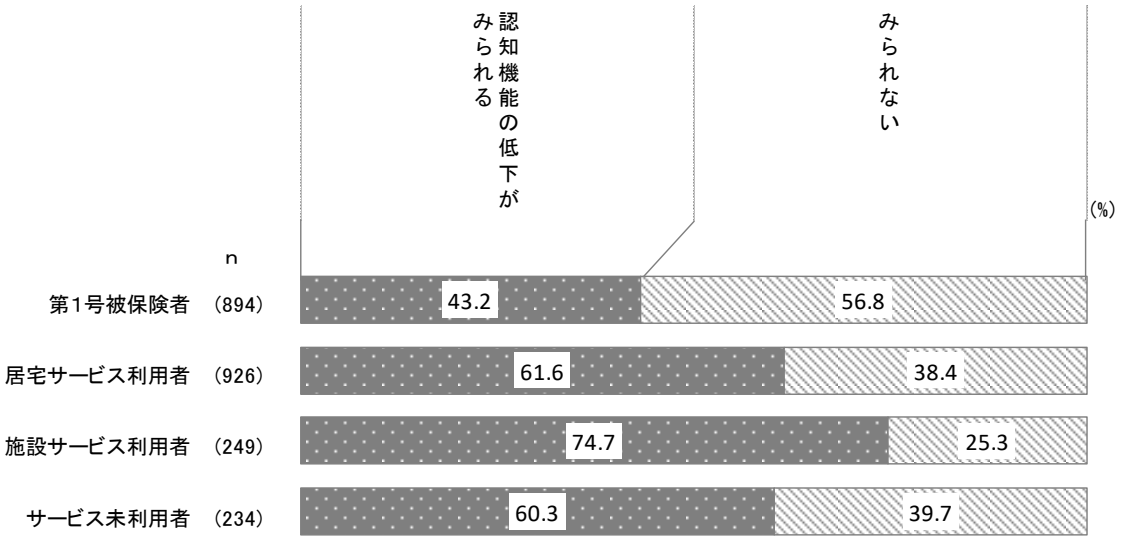
（10）認知機能の低下

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

認知機能の低下に関する設問の回答から、認知機能の低下がみられる高齢者の割合を算出したところ、「認知機能の低下がみられる」の割合は、第１号被保険者で 43.2%、居宅サービス利用者で 61.6%、施設サービス利用者で 74.7%、サービス未利用者で 60.3%となっています。性・年代別でみると、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「認知機能の低下がみられる」の割合はいずれも女性　・75 歳以上で最も高くなっています。

＜図表 068＞　認知機能の低下

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】



＜図表 069＞　認知機能の低下（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		894	43.2	56.8
性・年代	男性 65 ～74歳	247	37.2	62.8
	男性 75 歳以上	191	41.9	58.1
	女性 65 ～74歳	239	41.0	59.0
	女性 75 歳以上	217	53.5	46.5
地区	江別地区	354	45.8	54.2
	野幌地区	316	43.4	56.6
	大麻地区	223	38.6	61.4
介護度	非認定	848	42.3	57.7
	要支援1・2	46	58.7	41.3

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		926	61.6	38.4
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	66.7
	男性 65 ～74歳	51	47.1	52.9
	男性 75 歳以上	226	56.2	43.8
	女性 40 ～64歳	11	27.3	72.7
	女性 65 ～74歳	60	55.0	45.0
	女性 75 歳以上	533	68.3	31.7
地区	江別地区	329	62.9	37.1
	野幌地区	286	62.6	37.4
	大麻地区	251	59.0	41.0
介護度	要支援1・2	424	51.2	48.8
	要介護1・2	329	72.3	27.7
	要介護3～5	123	74.0	26.0

（単位:%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		249	74.7	25.3
性・年代	男性 40 代	1	－	100.0
	男性 50 代	2	50.0	50.0
	男性 60 歳以上	59	66.1	33.9
	女性 40 代	－	－	－
	女性 50 代	1	－	100.0
	女性 60 歳以上	180	78.9	21.1
介護度	要介護1・2	50	72.0	28.0
	要介護3～5	189	76.7	23.3

（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	認知機能の低下がみられる	みられない
全　体		234	60.3	39.7
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	30.8	69.2
	男性 75 歳以上	68	55.9	44.1
	女性 40 ～64歳	3	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	13	38.5	61.5
	女性 75 歳以上	119	67.2	32.8
地区	江別地区	78	61.5	38.5
	野幌地区	71	69.0	31.0
	大麻地区	69	53.6	46.4
介護度	要支援1・2	131	60.3	39.7
	要介護1・2	38	68.4	31.6
	要介護3～5	23	60.9	39.1

認知機能の低下に関連した設問を以下に示します。

＜図表 070＞　物忘れが多いと感じるか

【第１号被保険者　第４問１】【居宅サービス利用者　第３問１】【施設サービス利用者　第２問１】

【サービス未利用者　第３問１】（性・年代別/地区別/要介護度別）　（無回答者を除く）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		874	44.2	55.8
性・年代	男性 65 ～74歳	244	37.7	62.3
	男性 75 歳以上	186	43.0	57.0
	女性 65 ～74歳	234	41.9	58.1
	女性 75 歳以上	210	55.2	44.8
地区	江別地区	346	46.8	53.2
	野幌地区	309	44.3	55.7
	大麻地区	218	39.4	60.6
介護度	非認定	831	43.2	56.8
	要支援1・2	43	62.8	37.2

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		898	63.5	36.5
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	66.7
	男性 65 ～74歳	51	47.1	52.9
	男性 75 歳以上	223	57.0	43.0
	女性 40 ～64歳	11	27.3	72.7
	女性 65 ～74歳	59	55.9	44.1
	女性 75 歳以上	516	70.5	29.5
地区	江別地区	321	64.5	35.5
	野幌地区	278	64.4	35.6
	大麻地区	244	60.7	39.3
介護度	要支援1・2	407	53.3	46.7
	要介護1・2	327	72.8	27.2
	要介護3～5	122	74.6	25.4

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		235	79.1	20.9
性・年代	男性 40 代	1	－	100.0
	男性 50 代	2	50.0	50.0
	男性 60 歳以上	52	75.0	25.0
	女性 40 代	－	－	－
	女性 50 代	1	－	100.0
	女性 60 歳以上	175	81.1	18.9
介護度	要介護1・2	49	73.5	26.5
	要介護3～5	180	80.6	19.4

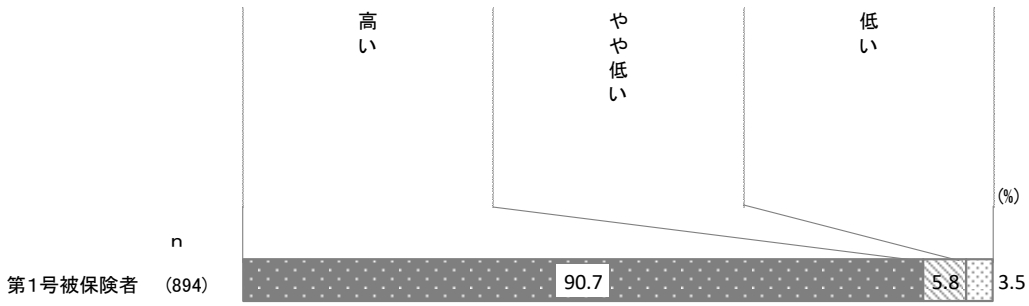
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		217	65.0	35.0
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	30.8	69.2
	男性 75 歳以上	64	59.4	40.6
	女性 40 ～64歳	3	66.7	33.3
	女性 65 ～74歳	11	45.5	54.5
	女性 75 歳以上	110	72.7	27.3
地区	江別地区	70	68.6	31.4
	野幌地区	68	72.1	27.9
	大麻地区	65	56.9	43.1
介護度	要支援1・2	127	62.2	37.8
	要介護1・2	36	72.2	27.8
	要介護3～5	18	77.8	22.2

（11）ＩＡＤＬ（手段的日常生活動作）の評価【第１号被保険者】

ＩＡＤＬの評価に関する設問の回答から、ＩＡＤＬの評価について高齢者の割合を算出したところ、ＩＡＤＬの低下に該当する「低い」「やや低い」を合わせた割合は 9.3%となっています。

＜図表 071＞　ＩＡＤＬの評価【第１号被保険者】



＜図表 072＞　ＩＡＤＬの評価（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	高い	やや低い	低い
全　体		894	90.7	5.8	3.5
性・年代	男性 65 ～74歳	247	91.5	7.3	1.2
	男性 75 歳以上	191	79.6	13.1	7.3
	女性 65 ～74歳	239	97.1	0.4	2.5
	女性 75 歳以上	217	92.6	3.7	3.7
地区	江別地区	354	87.3	8.5	4.2
	野幌地区	316	91.5	5.1	3.5
	大麻地区	223	95.1	2.7	2.2
介護度	非認定	848	92.1	5.7	2.2
	要支援1･2	46	65.2	8.7	26.1

ＩＡＤＬ
（Instrumental Activity of Daily Living）
『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上での必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ること等複雑な動作をさします。

ＩＡＤＬに関連した設問を以下に示します。

＜図表 073＞　バス・電車を使用して一人で外出【第１号被保険者　第４問２】

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		881	77.3	16.5	6.2
性・年代	男性 65 ～74歳	245	86.5	13.1	0.4
	男性 75 歳以上	190	76.3	17.9	5.8
	女性 65 ～74歳	238	77.7	16.8	5.5
	女性 75 歳以上	208	66.8	18.8	14.4
地区	江別地区	346	72.8	19.4	7.8
	野幌地区	312	76.3	17.3	6.4
	大麻地区	222	86.0	10.4	3.6
介護度	非認定	837	79.7	16.1	4.2
	要支援1・2	44	31.8	22.7	45.5

＜図表 074＞　食品・日用品の買い物【第１号被保険者　第４問３】

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全　体		885	82.3	14.1	3.6
性・年代	男性 65 ～74歳	246	82.9	16.3	0.8
	男性 75 歳以上	189	67.7	25.9	6.3
	女性 65 ～74歳	237	92.4	5.5	2.1
	女性 75 歳以上	213	83.1	10.8	6.1
地区	江別地区	349	79.4	16.0	4.6
	野幌地区	314	82.8	14.3	2.9
	大麻地区	221	86.0	10.9	3.2
介護度	非認定	841	84.5	13.4	2.0
	要支援1・2	44	38.6	27.3	34.1

＜図表 075＞　食事の用意【第１号被保険者　第４問４】

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		888	66.3	26.9	6.8
性・年代	男性 65 ～74歳	245	40.4	51.8	7.8
	男性 75 歳以上	191	40.3	45.5	14.1
	女性 65 ～74歳	237	94.9	3.4	1.7
	女性 75 歳以上	215	87.4	7.9	4.7
地区	江別地区	352	65.6	25.6	8.8
	野幌地区	313	63.9	30.4	5.8
	大麻地区	222	70.7	24.3	5.0
介護度	非認定	843	66.8	27.5	5.7
	要支援1・2	45	57.8	15.6	26.7

＜図表 076＞　請求書の支払い【第１号被保険者　第４問５】

（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		889	79.6	16.6	3.7
性・年代	男性 65 ～74歳	246	72.8	24.4	2.8
	男性 75 歳以上	190	64.7	28.9	6.3
	女性 65 ～74歳	238	92.4	5.5	2.1
	女性 75 歳以上	215	86.5	9.3	4.2
地区	江別地区	352	78.4	17.6	4.0
	野幌地区	314	79.0	17.8	3.2
	大麻地区	222	82.4	13.5	4.1
介護度	非認定	843	80.9	16.5	2.6
	要支援1・2	46	56.5	19.6	23.9

＜図表 077＞　預貯金の出し入れ【第１号被保険者　第４問６】

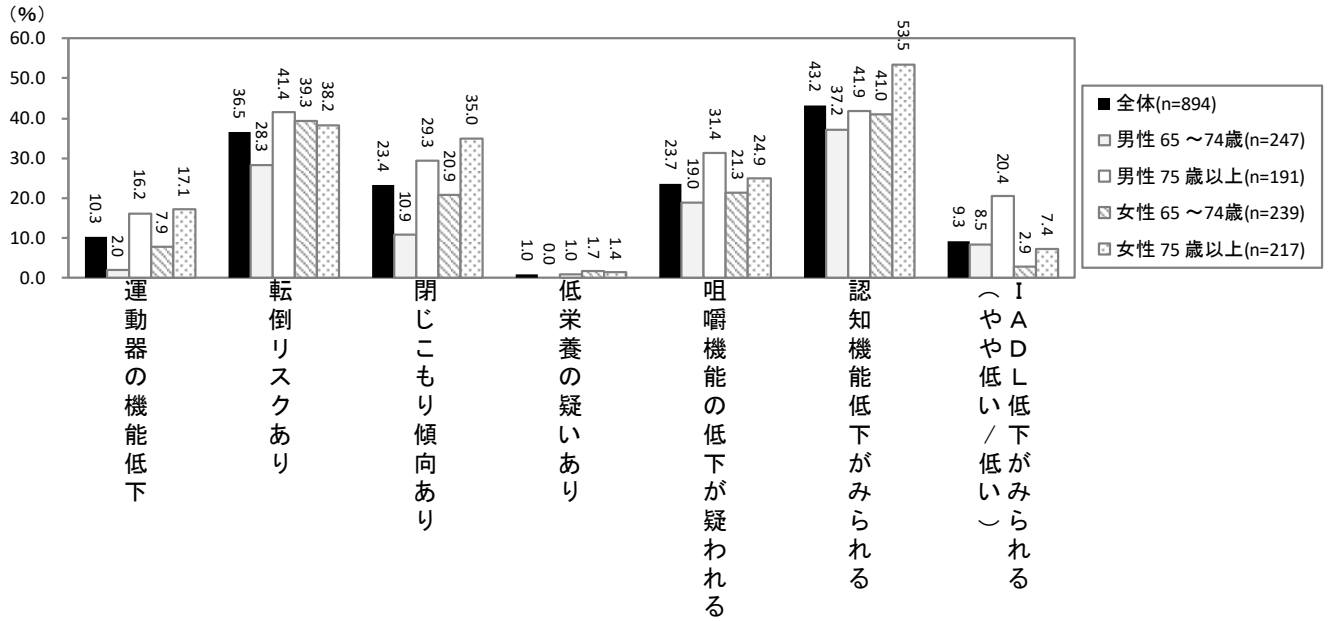
（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	できるし、している	できるけどしていない	できない
全 体		891	81.8	14.3	3.9
性・年代	男性 65 ～74歳	246	76.4	20.7	2.8
	男性 75 歳以上	191	66.0	26.7	7.3
	女性 65 ～74歳	238	95.0	2.9	2.1
	女性 75 歳以上	216	87.5	8.3	4.2
地区	江別地区	353	79.3	16.1	4.5
	野幌地区	315	80.6	15.9	3.5
	大麻地区	222	87.4	9.0	3.6
介護度	非認定	845	83.2	13.8	3.0
	要支援1・2	46	56.5	21.7	21.7

本調査項目から把握できる要介護状態になるリスク（運動機能、転倒リスク、閉じこもり、低栄養、咀嚼機能、認知機能、ＩＡＤＬ）について、以下のように性・年代別の一覧表として整理しました。

＜図表 078＞　リスク該当者割合（一覧）【第１号被保険者】

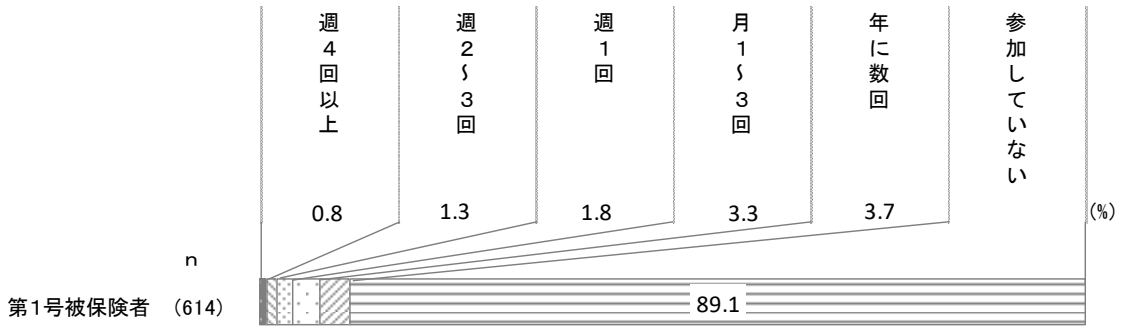


５.地域での活動・つながりの状況

（１）ボランティアのグループの参加頻度【第１号被保険者】

ボランティアのグループ参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 89.1%で最も多く、次いで「年に数回」(3.7%)、「月に１～３回」(3.3%) となっています。

＜図表 079＞　ボランティアのグループの参加頻度【第１号被保険者　第５問１①】



＜図表 080＞　ボランティアのグループの参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

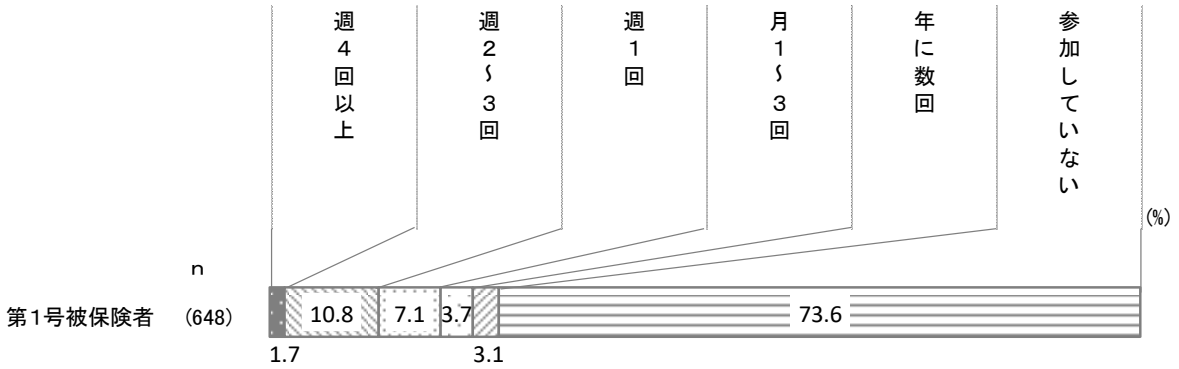
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		614	0.8	1.3	1.8	3.3	3.7	89.1
性・年代	男性 65 ～74歳	203	0.5	1.5	1.0	3.4	3.4	90.1
	男性 75 歳以上	122	－	0.8	0.8	5.7	6.6	86.1
	女性 65 ～74歳	175	0.6	1.7	1.7	3.4	4.0	88.6
	女性 75 歳以上	114	2.6	0.9	4.4	－	0.9	91.2
地区	江別地区	237	－	2.1	1.3	2.1	2.5	92.0
	野幌地区	220	1.4	0.9	1.4	5.0	3.2	88.2
	大麻地区	156	1.3	0.6	3.2	2.6	6.4	85.9
介護度	非認定	581	0.9	1.2	1.9	3.4	4.0	88.6
	要支援1･2	33	－	3.0	－	－	－	97.0

（２）スポーツ関係の参加頻度【第１号被保険者】

スポーツ関係の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 73.6%で最も多く、次いで「週に２～３回」（10.8%）、「週１回」（7.1%）となっています。

＜図表 081＞　スポーツ関係の参加頻度【第１号被保険者　第５問１②】



＜図表 082＞　スポーツ関係の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

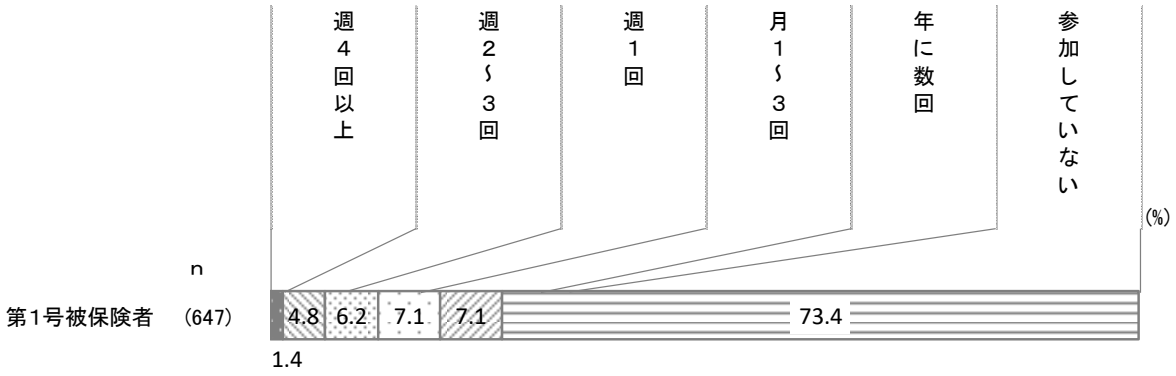
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
全　体		648	1.7	10.8	7.1	3.7	3.1	73.6
性・年代	男性 65 ～74歳	201	1.0	7.5	4.5	3.5	4.0	79.6
	男性 75 歳以上	131	0.8	10.7	4.6	6.9	6.1	71.0
	女性 65 ～74歳	187	2.7	11.8	10.2	1.6	1.6	72.2
	女性 75 歳以上	129	2.3	14.7	9.3	3.9	0.8	69.0
地区	江別地区	249	1.6	6.8	3.6	4.0	2.8	81.1
	野幌地区	227	1.8	15.9	5.7	4.8	3.1	68.7
	大麻地区	171	1.8	9.9	14.0	1.8	3.5	69.0
介護度	非認定	614	1.8	11.1	7.2	3.9	3.3	72.8
	要支援1・2	34	－	5.9	5.9	－	－	88.2

（３）趣味関係の参加頻度【第１号被保険者】

趣味関係の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 73.4%で最も多く、次いで「月１～３回」（7.1%）、「年に数回」（7.1%）となっています。

＜図表 083＞　趣味関係の参加頻度【第１号被保険者　第５問１③】



＜図表 084＞　趣味関係の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

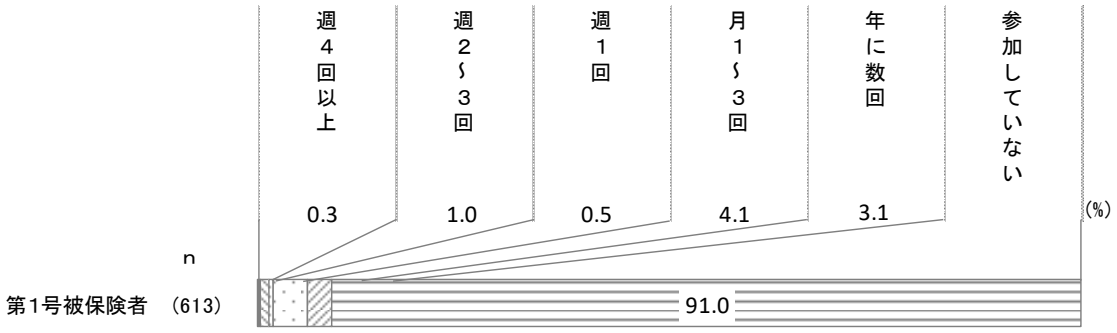
（単位:%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
全　体		647	1.4	4.8	6.2	7.1	7.1	73.4
性・年代	男性 65 ～74歳	199	1.0	2.5	3.5	5.0	9.0	78.9
	男性 75 歳以上	138	0.7	5.1	6.5	7.2	9.4	71.0
	女性 65 ～74歳	183	2.7	4.4	7.7	9.3	6.0	69.9
	女性 75 歳以上	127	0.8	8.7	7.9	7.1	3.1	72.4
地区	江別地区	248	2.0	3.6	4.4	6.9	8.1	75.0
	野幌地区	230	0.9	3.9	7.4	9.6	7.0	71.3
	大麻地区	168	1.2	7.7	7.1	4.2	6.0	73.8
介護度	非認定	614	1.5	5.0	6.4	7.5	7.5	72.1
	要支援1･2	33	－	－	3.0	－	－	97.0

（４）学習・教養サークルの参加頻度【第１号被保険者】

学習・教養サークルの参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 91.0％で最も多く、次いで「月１～３回」（4.1％）、「年に数回」（3.1％）となっています。

＜図表 085＞　学習・教養サークルの参加頻度【第１号被保険者　第５問１④】



＜図表 086＞　学習・教養サークルの参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

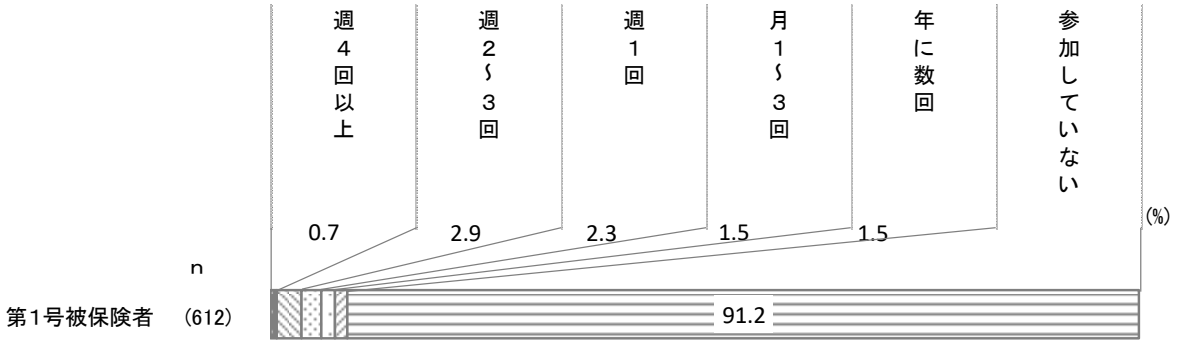
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		613	0.3	1.0	0.5	4.1	3.1	91.0
性・年代	男性 65 ～74歳	196	－	0.5	－	0.5	1.5	97.4
	男性 75 歳以上	122	－	0.8	－	4.1	2.5	92.6
	女性 65 ～74歳	177	0.6	1.1	1.7	5.6	3.4	87.6
	女性 75 歳以上	118	0.8	1.7	－	7.6	5.9	83.9
地区	江別地区	236	－	－	1.3	2.1	1.7	94.9
	野幌地区	220	0.5	1.8	－	5.0	2.7	90.0
	大麻地区	156	0.6	1.3	－	5.8	5.8	86.5
介護度	非認定	581	0.3	1.0	0.5	4.1	3.3	90.7
	要支援1･2	32	－	－	－	3.1	－	96.9

（５）通いの場の参加頻度【第１号被保険者】

通いの場の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 91.2%で最も多く、次いで「週２～３回」(2.9%)、「週１回」(2.3%) となっています。

＜図表 087＞　通いの場の参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑤】



＜図表 088＞　通いの場の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

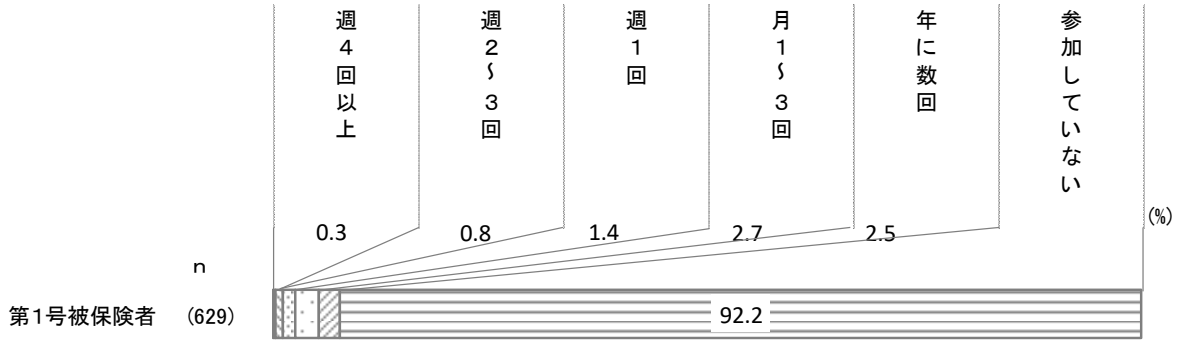
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
全　体		612	0.7	2.9	2.3	1.5	1.5	91.2
性・年代	男性 65 ～74歳	198	－	0.5	1.5	0.5	－	97.5
	男性 75 歳以上	123	0.8	2.4	0.8	0.8	3.3	91.9
	女性 65 ～74歳	171	0.6	4.1	1.8	1.2	1.8	90.6
	女性 75 歳以上	120	1.7	5.8	5.8	4.2	1.7	80.8
地区	江別地区	237	0.4	0.4	0.8	2.1	2.1	94.1
	野幌地区	220	－	5.0	2.7	0.5	1.4	90.5
	大麻地区	154	1.9	3.9	3.9	1.9	0.6	87.7
介護度	非認定	579	0.5	2.8	2.2	1.6	1.6	91.4
	要支援1・2	33	3.0	6.1	3.0	－	－	87.9

（６）高齢者クラブの参加頻度【第１号被保険者】

高齢者クラブの参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 92.2%で最も多く、次いで「月１～３回」（2.7%）、「年に数回」（2.5%）となっています。

＜図表 089＞　高齢者クラブの参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑥】



＜図表 090＞　高齢者クラブの参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

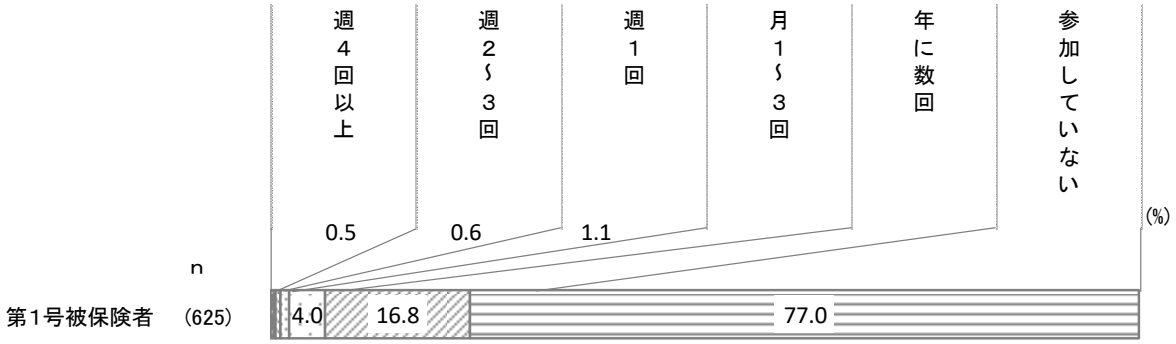
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		629	0.3	0.8	1.4	2.7	2.5	92.2
性・年代	男性 65 ～74歳	200	－	0.5	－	1.5	1.5	96.5
	男性 75 歳以上	133	－	3.0	4.5	3.8	6.0	82.7
	女性 65 ～74歳	175	－	－	－	1.7	－	98.3
	女性 75 歳以上	121	1.7	－	2.5	5.0	4.1	86.8
地区	江別地区	247	0.4	1.2	2.0	2.4	2.8	91.1
	野幌地区	222	0.5	－	1.4	4.5	1.8	91.9
	大麻地区	159	－	1.3	0.6	0.6	3.1	94.3
介護度	非認定	596	0.3	0.8	1.3	2.9	2.5	92.1
	要支援1・2	33	－	－	3.0	－	3.0	93.9

（７）自治会の参加頻度【第１号被保険者】

自治会の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 77.0％で最も多く、次いで「年に数回」（16.8％）、「月１～３回」（4.0％）となっています。

＜図表 091＞　自治会の参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑦】



＜図表 092＞　自治会の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

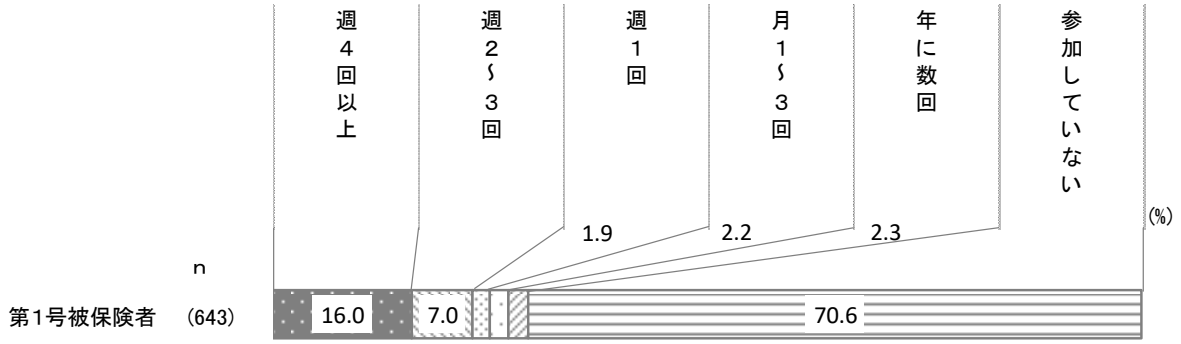
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
全　体		625	0.5	0.6	1.1	4.0	16.8	77.0
性・年代	男性 65 ～74歳	203	－	1.0	1.0	5.9	16.7	75.4
	男性 75 歳以上	128	0.8	0.8	2.3	2.3	27.3	66.4
	女性 65 ～74歳	177	－	－	0.6	3.4	13.0	83.1
	女性 75 歳以上	117	1.7	0.9	0.9	3.4	11.1	82.1
地区	江別地区	243	0.8	0.8	1.2	1.2	15.2	80.7
	野幌地区	225	0.4	0.9	1.3	7.1	18.7	71.6
	大麻地区	156	－	－	0.6	3.8	16.7	78.8
介護度	非認定	593	0.5	0.7	1.2	4.2	17.4	76.1
	要支援1・2	32	－	－	－	－	6.3	93.8

（８）収入のある仕事の参加頻度【第１号被保険者】

収入のある仕事の参加頻度を聞いたところ、「参加していない」が 70.6％で最も多く、次いで「週４回以上」（16.0％）、「週２～３回」（7.0％）となっています。

＜図表 093＞　収入のある仕事の参加頻度【第１号被保険者　第５問１⑧】



＜図表 094＞　収入のある仕事の参加頻度（性・年代別/地区別/要介護度別）

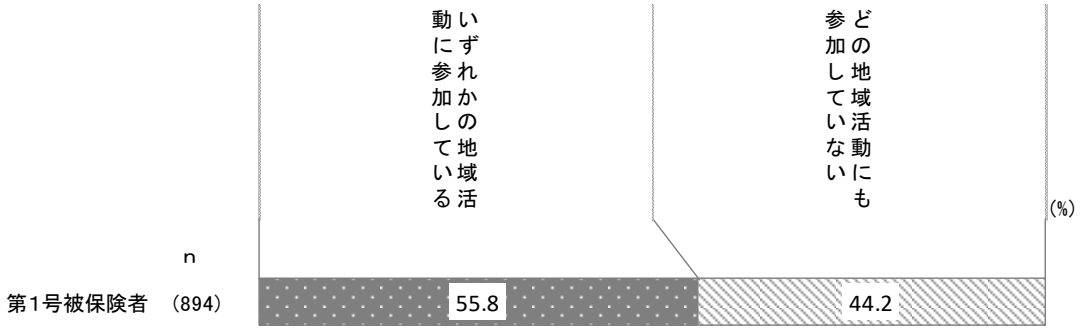
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全　体		643	16.0	7.0	1.9	2.2	2.3	70.6
性・年代	男性 65 ～74歳	213	26.8	11.3	2.3	1.9	4.2	53.5
	男性 75 歳以上	126	7.9	3.2	1.6	4.0	2.4	81.0
	女性 65 ～74歳	188	17.0	8.0	1.1	1.6	1.1	71.3
	女性 75 歳以上	116	3.4	1.7	2.6	1.7	0.9	89.7
地区	江別地区	253	15.4	8.3	1.6	2.0	2.0	70.8
	野幌地区	228	16.2	6.1	0.9	2.2	3.1	71.5
	大麻地区	161	16.8	6.2	3.7	2.5	1.9	68.9
介護度	非認定	611	16.9	7.2	2.0	2.3	2.5	69.2
	要支援1･2	32	－	3.1	－	－	－	96.9

（９）地域活動への参加の有無【第１号被保険者】

地域活動への参加頻度を聞く項目（１）～（８）の全てに回答があった人について集計したところ、どれか一つでも「年に数回」以上の頻度で参加している≪いずれかの地域活動に参加している≫は 55.8%、全て「参加していない」と回答した≪どの地域活動にも参加していない≫は 44.2%となっています。性・年代別でみると、≪どの地域活動にも参加していない≫の割合は女性・75 歳以上で 56.2%と最も高くなっています。

＜図表 095＞　地域活動への参加の有無【第１号被保険者　第５問１①～⑧】



＜図表 096＞　地域活動への参加の有無（性・年代別/地区別/要介護度別）

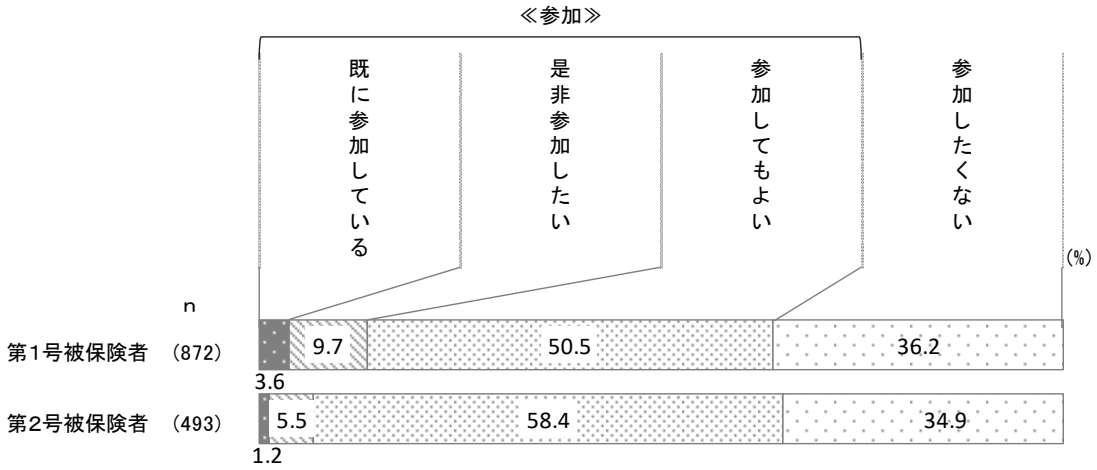
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	いずれかの地域活動に参加している	どの地域活動にも参加していない
全　体		894	55.8	44.2
性・年代	男性 65 ～74歳	247	62.3	37.7
	男性 75 歳以上	191	57.1	42.9
	女性 65 ～74歳	239	59.0	41.0
	女性 75 歳以上	217	43.8	56.2
地区	江別地区	354	49.4	50.6
	野幌地区	316	57.6	42.4
	大麻地区	223	63.7	36.3
介護度	非認定	848	57.3	42.7
	要支援1・2	46	28.3	71.7

（10）地域づくりへの「参加者」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域づくりへの「参加者」としての参加意向を聞いたところ、「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 63.8%、第２号被保険者で 65.1%となっています。

＜図表 097＞　地域づくりへの「参加者」としての参加意向
【第１号被保険者　第５問２】【第２号被保険者　第７問３】



＜図表 098＞　地域づくりへの「参加者」としての参加意向（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全 体		872	3.6	9.7	50.5	36.2	63.8
性・年代	男性 65 ～74歳	244	2.9	7.8	52.0	37.3	62.7
	男性 75 歳以上	186	5.4	8.1	49.5	37.1	63.0
	女性 65 ～74歳	235	3.0	9.4	55.7	31.9	68.1
	女性 75 歳以上	207	3.4	14.0	43.5	39.1	60.9
地区	江別地区	344	3.5	10.5	47.4	38.7	61.4
	野幌地区	311	3.2	9.6	50.8	36.3	63.6
	大麻地区	216	4.2	8.8	54.6	32.4	67.6
介護度	非認定	828	3.7	9.4	51.4	35.4	64.5
	要支援1・2	44	－	15.9	31.8	52.3	47.7

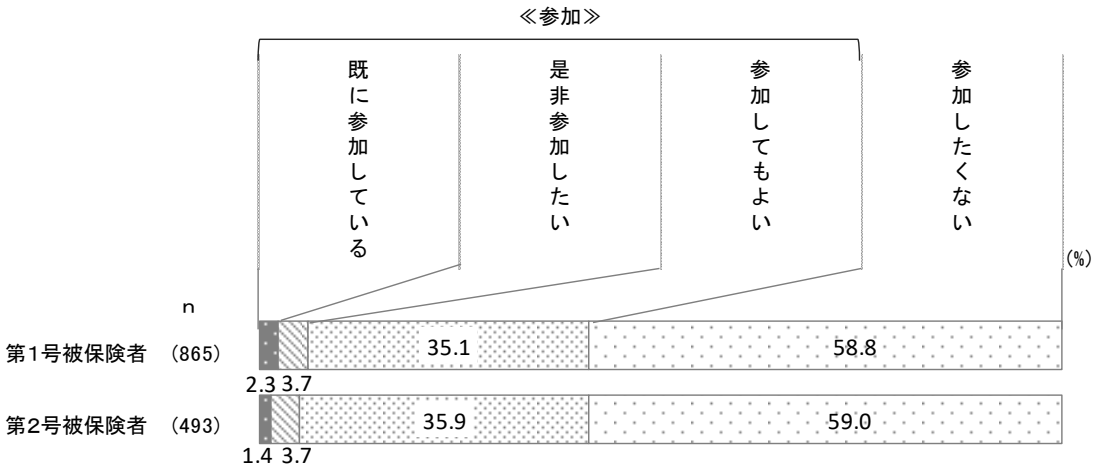
（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全 体		493	1.2	5.5	58.4	34.9	65.1
性・年代	男性 40 代	43	－	4.7	51.2	44.2	55.9
	男性 50 代	96	1.0	6.3	60.4	32.3	67.7
	男性 60 歳以上	59	1.7	1.7	64.4	32.2	67.8
	女性 40 代	95	－	6.3	54.7	38.9	61.0
	女性 50 代	121	0.8	5.8	58.7	34.7	65.3
	女性 60 歳以上	71	4.2	7.0	57.7	31.0	68.9
地区	江別地区	171	0.6	4.7	57.3	37.4	62.6
	野幌地区	159	1.9	6.9	56.6	34.6	65.4
	大麻地区	110	1.8	5.5	60.9	31.8	68.2

（11）地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向を聞いたところ、「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた≪参加≫は、第１号被保険者で 41.1%、第２号被保険者で 41.0%となっています。

＜図表 099＞　地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向
【第１号被保険者　第５問３】【第２号被保険者　第７問４】



＜図表 100＞　地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向

（性・年代別/地区別/要介護度別/「参加者」としての参加意向別）

（単位:%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全　体		865	2.3	3.7	35.1	58.8	41.1
性・年代	男性 65 ～74歳	243	1.6	3.3	39.1	56.0	44.0
	男性 75 歳以上	185	3.2	4.3	38.4	54.1	45.9
	女性 65 ～74歳	235	2.1	4.7	31.9	61.3	38.7
	女性 75 歳以上	202	2.5	2.5	31.2	63.9	36.2
地区	江別地区	339	2.1	3.2	32.2	62.5	37.5
	野幌地区	309	2.6	4.9	35.6	57.0	43.1
	大麻地区	216	2.3	2.8	39.4	55.6	44.5
介護度	非認定	824	2.4	3.5	35.9	58.1	41.8
	要支援1・2	41	－	7.3	19.5	73.2	26.8
参加者としての参加意向	是非参加したい	82	2.4	23.2	54.9	19.5	80.5
	参加してもよい	432	0.9	1.9	55.8	41.4	58.6
	参加したくない	314	－	1.0	1.9	97.1	2.9
	既に参加している	31	45.2	3.2	35.5	16.1	83.9

（単位:%）

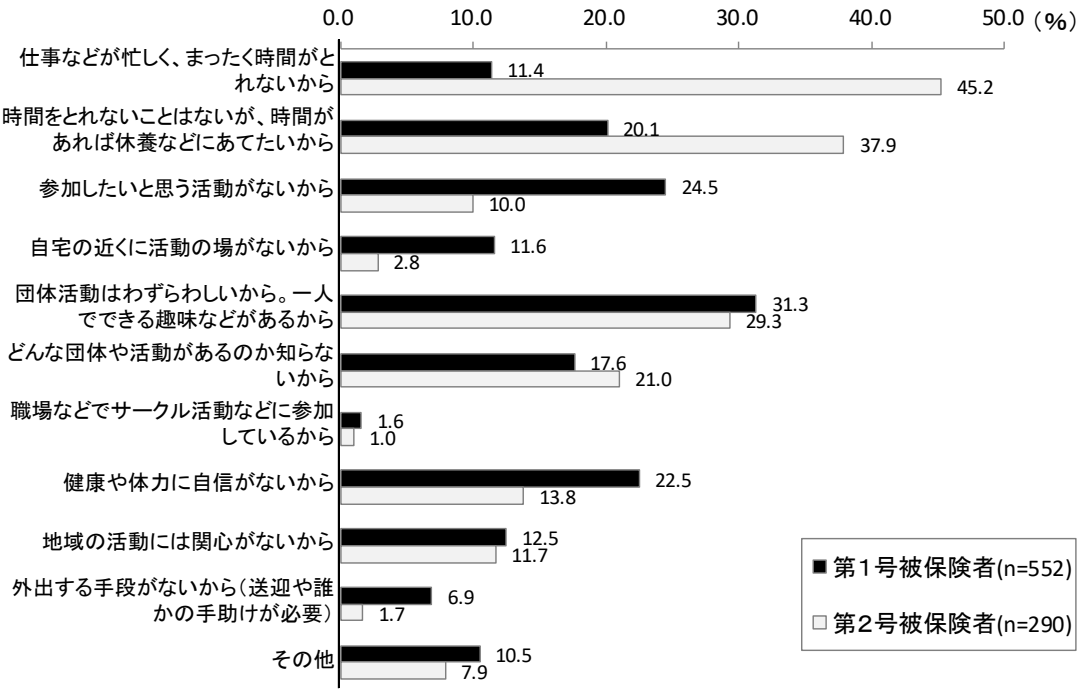
〈2号被保険者調査〉		調査数（件）	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	≪参加≫
全　体		493	1.4	3.7	35.9	59.0	41.0
性・年代	男性 40 代	43	－	2.3	44.2	53.5	46.5
	男性 50 代	96	1.0	2.1	37.5	59.4	40.6
	男性 60 歳以上	59	1.7	1.7	39.0	57.6	42.4
	女性 40 代	94	－	9.6	30.9	59.6	40.5
	女性 50 代	121	0.8	0.8	33.9	64.5	35.5
	女性 60 歳以上	73	5.5	5.5	37.0	52.1	48.0
地区	江別地区	173	0.6	2.9	34.7	61.8	38.2
	野幌地区	159	2.5	4.4	38.4	54.7	45.3
	大麻地区	110	1.8	3.6	37.3	57.3	42.7
参加者としての参加意向	是非参加したい	27	－	44.4	44.4	11.1	88.8
	参加してもよい	286	0.3	2.1	55.9	41.6	58.3
	参加したくない	172	－	－	2.9	97.1	2.9
	既に参加している	6	100.0	－	－	－	100.0

（12）参加したくない理由【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域づくりへの「参加者」としての参加意向または地域づくりへの「企画・運営」としての参加意向で「参加したくない」と回答した人に、参加したくない理由を聞いたところ、第１号被保険者では「団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから」が 31.3%で最も多く、第２号被保険者では「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が 45.2%で最も多くなっています。

＜図表 101＞　参加したくない理由（複数回答）

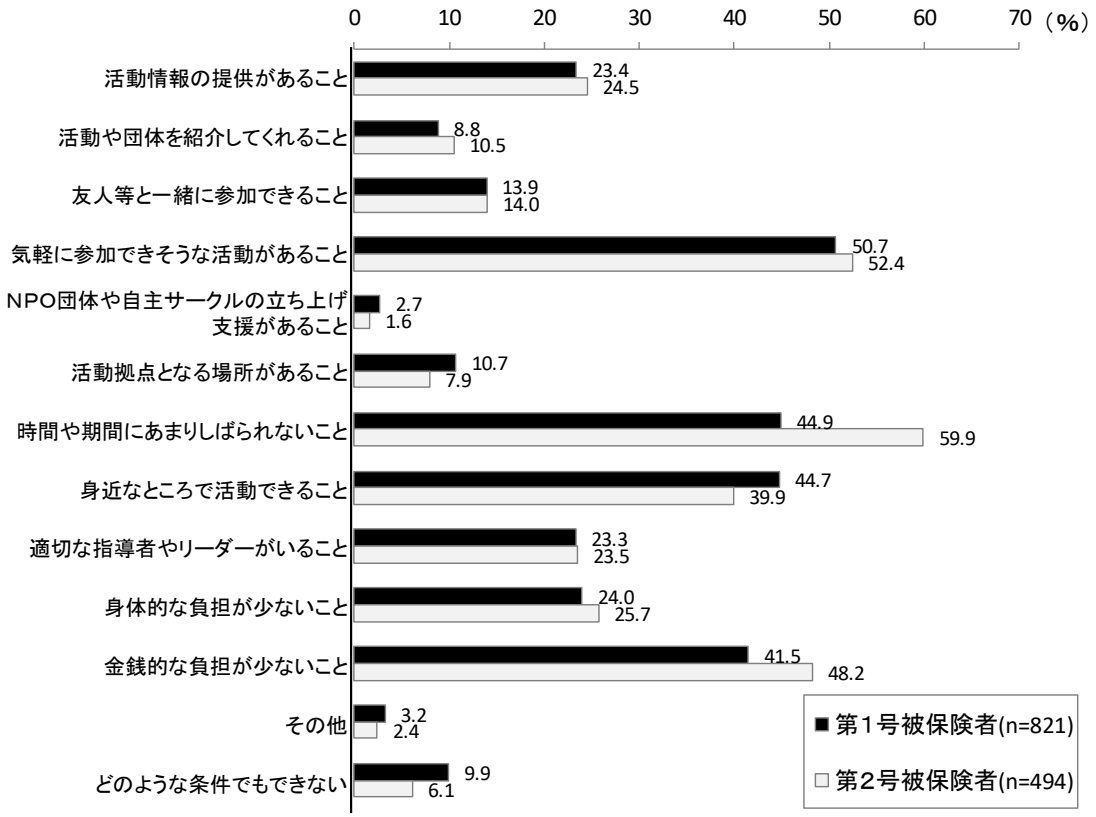
【第１号被保険者　第５問４】【第２号被保険者　第７問５】



（13）参加・活動しやすい条件【第１号被保険者】【第２号被保険者】

参加・活動しやすい条件を聞いたところ、第１号被保険者では「気軽に参加できそうな活動があること」が 50.7%、第２号被保険者では「時間や期間にあまりしばられないこと」が 59.9%で、最も多くなっています。

＜図表 102＞　参加・活動しやすい条件（複数回答）
【第１号被保険者　第５問５】【第２号被保険者　第７問６】



(14) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

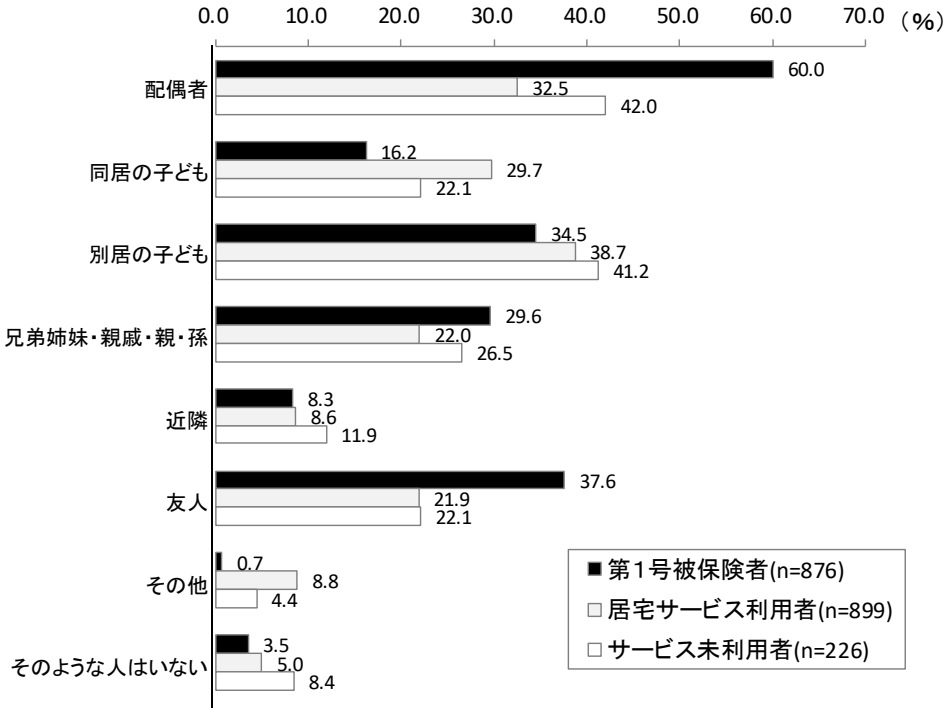
【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

心配事や愚痴を聞いてくれる人を聞いたところ、第１号被保険者とサービス未利用者では「配偶者」がそれぞれ 60.0%、42.0%で最も多く、居宅サービス利用者では「別居の子ども」が 38.7%で最も多くなっています。

＜図表 103＞　心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）

【第１号被保険者　第６問１】【居宅サービス利用者　第４問１】

【サービス未利用者　第４問１】



＜図表 104＞　心配事や愚痴を聞いてくれる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		876	60.0	16.2	34.5	29.6	8.3	37.6	0.7	3.5
性・年代	男性 65 ～74歳	244	76.2	8.2	25.4	27.0	6.6	31.6	0.4	3.7
	男性 75 歳以上	189	72.5	14.8	29.6	18.5	6.3	24.3	0.5	5.3
	女性 65 ～74歳	236	53.8	14.4	41.1	36.9	8.5	50.0	0.4	2.5
	女性 75 歳以上	207	36.7	29.0	42.0	34.3	12.1	42.5	1.4	2.9
家族構成	一人暮らし	149	1.3	2.0	49.0	45.0	18.1	49.7	1.3	10.1
	夫婦のみ	478	83.9	3.8	38.1	24.5	6.3	32.6	0.2	1.9
	同居その他	235	48.9	50.2	19.6	30.2	6.4	41.3	1.3	3.0
地区	江別地区	345	61.4	19.1	31.3	27.2	8.7	30.4	0.6	3.5
	野幌地区	313	63.3	14.7	38.0	32.6	8.6	41.2	1.0	2.9
	大麻地区	217	53.0	13.4	34.6	29.0	7.4	43.3	0.5	4.6
介護度	非認定	831	61.4	15.9	34.4	29.6	8.4	38.3	0.7	3.5
	要支援1・2	45	35.6	22.2	35.6	28.9	6.7	24.4	－	4.4

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		899	32.5	29.7	38.7	22.0	8.6	21.9	8.8	5.0
性・年代	男性 40 ～64歳	6	50.0	33.3	33.3	33.3	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	49	67.3	14.3	20.4	16.3	2.0	18.4	8.2	6.1
	男性 75 歳以上	220	56.4	20.5	38.2	13.6	3.6	10.9	8.2	6.4
	女性 40 ～64歳	10	20.0	30.0	50.0	30.0	－	30.0	－	10.0
	女性 65 ～74歳	60	55.0	20.0	28.3	26.7	6.7	25.0	15.0	3.3
	女性 75 歳以上	521	16.5	36.9	41.8	25.5	11.1	26.7	9.0	4.2
家族構成	一人暮らし	266	1.1	0.8	59.0	25.6	15.0	29.7	13.2	8.3
	夫婦のみ	257	82.1	1.9	41.2	16.3	5.1	19.8	5.4	3.5
	同居その他	351	18.8	71.5	23.1	23.6	6.8	17.9	8.0	4.0
地区	江別地区	320	35.0	34.1	35.0	19.1	10.0	19.4	7.8	5.9
	野幌地区	280	28.9	35.7	40.4	22.9	8.9	25.0	6.4	5.0
	大麻地区	246	31.7	18.3	43.1	23.6	7.3	23.6	11.8	4.1
介護度	要支援1・2	412	30.6	29.1	42.2	27.2	11.7	30.3	6.1	4.9
	要介護1・2	322	33.2	29.2	37.9	19.6	6.5	16.5	9.6	4.3
	要介護3～5	120	39.2	35.8	29.2	13.3	1.7	9.2	18.3	5.8

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		226	42.0	22.1	41.2	26.5	11.9	22.1	4.4	8.4
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	男性 65 ～74歳	13	69.2	15.4	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7	7.7
	男性 75 歳以上	67	74.6	13.4	40.3	20.9	6.0	16.4	3.0	6.0
	女性 40 ～64歳	3	33.3	100.0	−	−	−	33.3	−	−
	女性 65 ～74歳	11	54.5	9.1	54.5	36.4	9.1	36.4	−	9.1
	女性 75 歳以上	116	21.6	29.3	44.8	28.4	15.5	26.7	5.2	7.8
家族構成	一人暮らし	62	1.6	1.6	53.2	33.9	24.2	35.5	4.8	14.5
	夫婦のみ	83	79.5	1.2	45.8	26.5	10.8	24.1	−	7.2
	同居その他	73	31.5	63.0	24.7	19.2	4.1	9.6	9.6	4.1
地区	江別地区	77	35.1	29.9	39.0	28.6	11.7	28.6	2.6	5.2
	野幌地区	69	43.5	21.7	37.7	26.1	13.0	15.9	5.8	10.1
	大麻地区	64	46.9	12.5	50.0	25.0	12.5	26.6	4.7	7.8
介護度	要支援1・2	129	40.3	17.8	45.7	28.7	14.7	27.1	2.3	8.5
	要介護1・2	35	48.6	37.1	45.7	17.1	2.9	11.4	5.7	8.6
	要介護3～5	22	54.5	27.3	22.7	18.2	4.5	13.6	18.2	4.5

（15）心配事や愚痴を聞いてあげる人

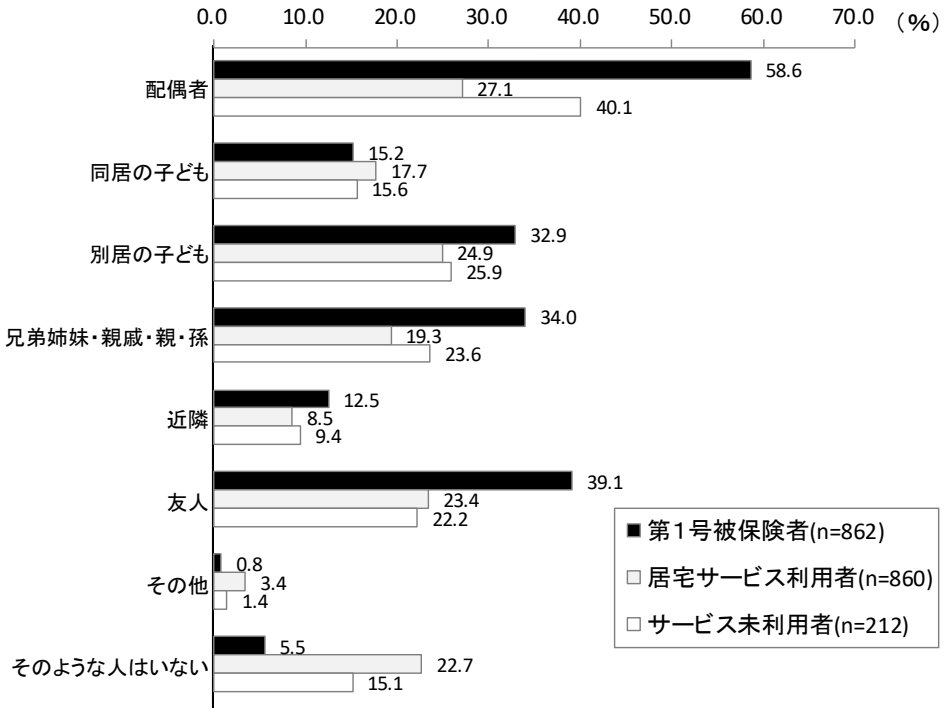
【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

心配事や愚痴を聞いてあげる人を聞いたところ、全ての調査において「配偶者」が最も多く、第１号被保険者で 58.6%、居宅サービス利用者で 27.1%、サービス未利用者で 40.1%となっています。

＜図表 105＞　心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答）

【第１号被保険者　第６問２】【居宅サービス利用者　第４問２】

【サービス未利用者　第４問２】



＜図表 106＞　心配事や愚痴を聞いてあげる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		862	58.6	15.2	32.9	34.0	12.5	39.1	0.8	5.5
性・年代	男性 65 ～74歳	243	78.2	10.3	26.7	30.5	9.5	31.7	0.8	2.9
	男性 75 歳以上	183	69.9	15.3	32.2	27.9	10.4	24.6	0.5	8.7
	女性 65 ～74歳	234	51.7	14.1	41.5	38.5	13.7	52.6	0.9	3.0
	女性 75 歳以上	202	32.7	22.3	31.2	38.6	16.8	45.5	1.0	8.4
家族構成	一人暮らし	147	2.0	2.0	34.0	45.6	23.1	57.8	0.7	12.9
	夫婦のみ	473	82.9	3.6	39.5	29.6	9.7	33.8	0.6	3.4
	同居その他	229	46.3	46.7	19.7	34.9	11.8	38.9	1.3	5.2
地区	江別地区	337	58.8	18.1	30.3	32.6	11.6	31.8	1.2	5.0
	野幌地区	308	62.7	14.3	36.4	35.4	11.4	41.2	－	6.5
	大麻地区	216	52.8	11.6	32.4	34.3	15.7	47.2	1.4	4.6
介護度	非認定	819	60.0	15.6	33.3	34.2	12.8	39.8	0.7	4.9
	要支援1・2	43	32.6	7.0	25.6	30.2	7.0	25.6	2.3	16.3

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		860	27.1	17.7	24.9	19.3	8.5	23.4	3.4	22.7
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	－	50.0	33.3	－	－	－	16.7
	男性 65 ～74歳	48	52.1	4.2	22.9	10.4	6.3	18.8	2.1	29.2
	男性 75 歳以上	209	53.1	13.9	23.4	12.0	2.9	9.1	2.9	22.0
	女性 40 ～64歳	10	10.0	30.0	20.0	40.0	－	30.0	－	20.0
	女性 65 ～74歳	58	44.8	15.5	19.0	25.9	3.4	29.3	6.9	15.5
	女性 75 歳以上	499	12.0	21.0	26.3	21.2	11.8	29.1	3.6	23.8
家族構成	一人暮らし	257	1.2	1.2	31.1	18.7	13.2	36.6	3.9	27.2
	夫婦のみ	243	69.5	0.8	30.5	17.7	7.0	18.1	1.6	16.0
	同居その他	339	14.5	41.6	16.8	20.4	6.5	17.7	4.1	25.4
地区	江別地区	299	29.4	21.1	26.1	16.4	9.0	22.7	3.3	22.7
	野幌地区	270	24.1	21.9	23.0	20.0	11.1	23.3	1.5	22.6
	大麻地区	237	25.7	8.4	24.5	21.5	5.9	25.3	5.9	24.1
介護度	要支援1・2	394	27.2	18.5	31.0	25.4	11.9	33.0	3.3	14.5
	要介護1・2	313	26.2	16.3	20.1	16.0	7.0	16.6	3.5	27.8
	要介護3～5	113	31.9	19.5	16.8	8.8	2.7	7.1	4.4	37.2

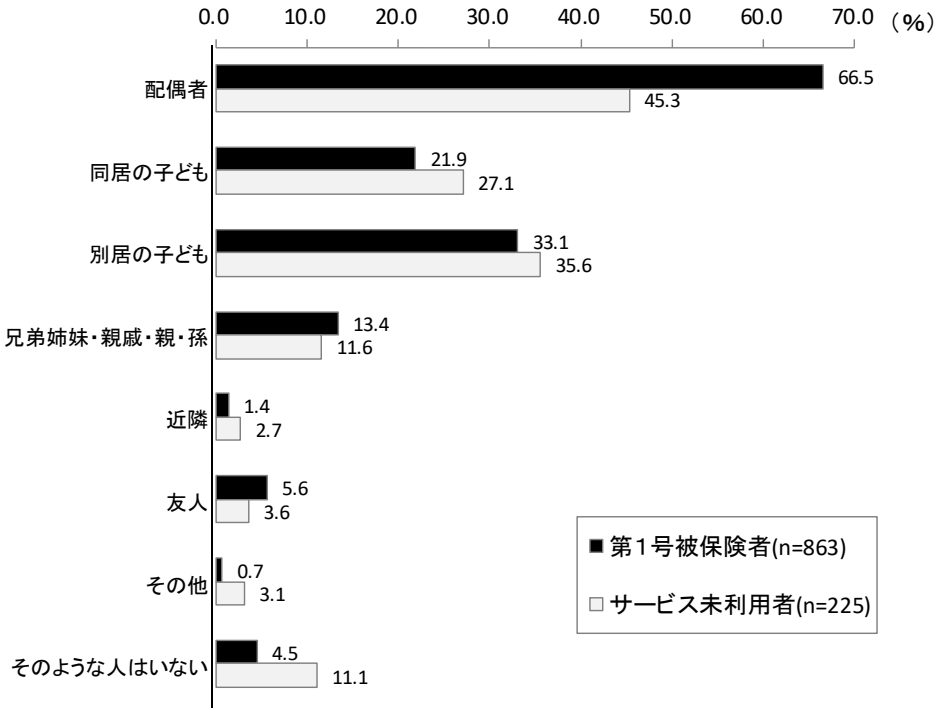
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		212	40.1	15.6	25.9	23.6	9.4	22.2	1.4	15.1
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	男性 65 ～74歳	13	69.2	−	23.1	15.4	7.7	15.4	−	15.4
	男性 75 歳以上	64	70.3	14.1	31.3	23.4	4.7	10.9	−	12.5
	女性 40 ～64歳	2	50.0	100.0	−	−	−	−	−	−
	女性 65 ～74歳	11	36.4	9.1	18.2	18.2	18.2	45.5	−	9.1
	女性 75 歳以上	106	18.9	19.8	25.5	26.4	10.4	27.4	1.9	18.9
家族構成	一人暮らし	58	1.7	1.7	32.8	27.6	12.1	34.5	1.7	20.7
	夫婦のみ	78	76.9	2.6	33.3	20.5	10.3	21.8	−	7.7
	同居その他	69	27.5	42.0	13.0	23.2	5.8	11.6	2.9	20.3
地区	江別地区	74	37.8	14.9	27.0	25.7	12.2	27.0	−	16.2
	野幌地区	64	40.6	17.2	25.0	20.3	6.3	17.2	3.1	15.6
	大麻地区	59	40.7	11.9	27.1	27.1	10.2	25.4	−	13.6
介護度	要支援1・2	123	38.2	10.6	28.5	26.8	11.4	26.8	0.8	13.8
	要介護1・2	34	41.2	26.5	26.5	20.6	2.9	8.8	−	20.6
	要介護3～5	18	50.0	33.3	11.1	11.1	−	5.6	5.6	27.8

（16）看病や世話をしてくれる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】

看病や世話をしてくれる人を聞いたところ、第１号被保険者とサービス未利用者では「配偶者」がそれぞれ 66.5%、45.3%で最も多くなっています。

＜図表 107＞　看病や世話をしてくれる人（複数回答）
【第１号被保険者　第６問３】【サービス未利用者　第４問３】



＜図表 108＞　看病や世話をしてくれる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		863	66.5	21.9	33.1	13.4	1.4	5.6	0.7	4.5
性・年代	男性 65 ～74歳	243	83.1	14.0	23.5	13.6	－	4.5	0.4	4.1
	男性 75 歳以上	185	80.5	22.7	29.2	9.2	1.6	3.8	1.1	4.9
	女性 65 ～74歳	232	62.9	18.1	36.2	12.9	2.2	8.2	0.4	4.7
	女性 75 歳以上	203	37.9	35.0	44.8	17.7	2.0	5.4	1.0	4.4
家族構成	一人暮らし	145	0.7	0.7	54.5	26.2	4.8	14.5	0.7	17.2
	夫婦のみ	478	94.1	5.0	33.5	10.0	0.4	2.9	0.2	1.3
	同居その他	229	50.7	70.3	20.1	12.7	1.3	5.7	1.7	2.6
地区	江別地区	340	67.1	24.7	30.3	12.9	0.6	4.4	1.5	5.0
	野幌地区	305	70.8	21.0	36.7	14.4	1.3	5.9	0.3	3.6
	大麻地区	217	59.4	18.9	32.7	12.9	2.8	6.9	－	5.1
介護度	非認定	821	68.0	21.4	32.8	13.6	1.5	5.7	0.7	4.3
	要支援1・2	42	38.1	31.0	40.5	9.5	－	2.4	－	9.5

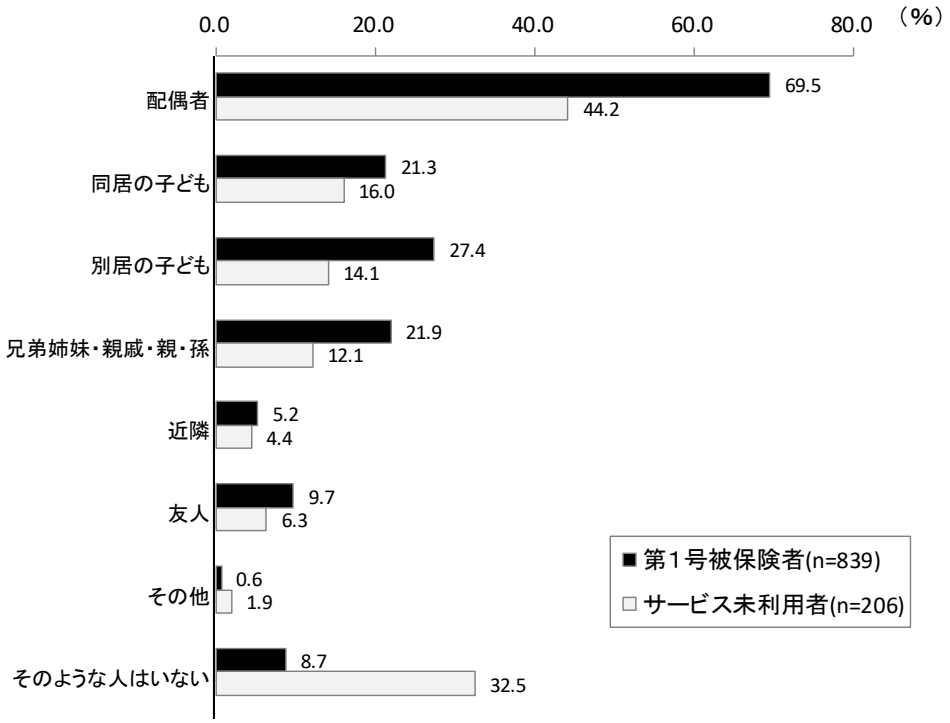
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		225	45.3	27.1	35.6	11.6	2.7	3.6	3.1	11.1
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	69.2	7.7	30.8	7.7	－	－	7.7	7.7
	男性 75 歳以上	65	80.0	18.5	33.8	6.2	－	－	－	6.2
	女性 40 ～64歳	3	33.3	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	－	－
	女性 65 ～74歳	11	54.5	9.1	45.5	－	－	－	－	9.1
	女性 75 歳以上	117	24.8	35.9	38.5	15.4	3.4	5.1	5.1	12.8
家族構成	一人暮らし	63	1.6	1.6	49.2	19.0	6.3	11.1	3.2	28.6
	夫婦のみ	84	85.7	2.4	39.3	4.8	－	－	－	4.8
	同居その他	71	33.8	77.5	21.1	12.7	2.8	1.4	7.0	2.8
地区	江別地区	77	41.6	35.1	33.8	13.0	3.9	3.9	－	9.1
	野幌地区	69	49.3	27.5	34.8	18.8	1.4	4.3	2.9	7.2
	大麻地区	65	44.6	18.5	43.1	3.1	1.5	3.1	6.2	13.8
介護度	要支援1・2	130	42.3	21.5	40.8	13.8	3.8	4.6	1.5	13.1
	要介護1・2	36	50.0	36.1	38.9	5.6	－	－	11.1	2.8
	要介護3～5	20	55.0	50.0	5.0	5.0	－	－	5.0	10.0

（17）看病や世話をしてあげる人【第１号被保険者】【サービス未利用者】

看病や世話をしてあげる人を聞いたところ、第１号被保険者とサービス未利用者では「配偶者」がそれぞれ 69.5%、44.2%で最も多くなっています。

＜図表 109＞　看病や世話をしてあげる人（複数回答）
【第１号被保険者　第６問４】【サービス未利用者　第４問４】



＜図表 110＞　看病や世話をしてあげる人（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		839	69.5	21.3	27.4	21.9	5.2	9.7	0.6	8.7
性・年代	男性 65 ～74歳	241	83.0	16.6	19.1	21.2	2.5	7.5	－	5.8
	男性 75 歳以上	180	80.0	21.7	23.9	13.9	5.0	5.0	1.1	7.8
	女性 65 ～74歳	229	66.4	17.5	37.1	31.0	6.6	12.7	－	6.6
	女性 75 歳以上	189	46.0	31.7	29.6	19.6	7.4	13.2	1.6	15.9
家族構成	一人暮らし	135	2.2	0.7	33.3	36.3	13.3	23.0	0.7	30.4
	夫婦のみ	468	95.7	5.1	31.2	18.2	4.1	7.3	－	2.4
	同居その他	224	56.3	67.0	16.5	21.4	3.1	6.7	1.3	8.5
地区	江別地区	330	71.5	23.9	24.8	19.7	3.3	6.1	0.9	8.5
	野幌地区	298	71.5	20.1	29.2	22.1	6.4	10.1	0.3	7.4
	大麻地区	210	63.3	18.6	29.0	25.2	6.7	14.8	0.5	11.0
介護度	非認定	804	70.8	21.3	27.9	22.5	5.2	10.0	0.6	7.6
	要支援1・2	35	40.0	22.9	17.1	8.6	5.7	2.9	－	34.3

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全　体		206	44.2	16.0	14.1	12.1	4.4	6.3	1.9	32.5
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	61.5	7.7	7.7	－	－	－	－	23.1
	男性 75 歳以上	64	70.3	9.4	18.8	14.1	6.3	4.7	－	18.8
	女性 40 ～64歳	3	33.3	66.7	－	33.3	－	33.3	－	－
	女性 65 ～74歳	11	63.6	18.2	27.3	18.2	－	18.2	－	9.1
	女性 75 歳以上	98	24.5	21.4	12.2	11.2	5.1	6.1	2.0	45.9
家族構成	一人暮らし	58	1.7	3.4	12.1	13.8	5.2	12.1	3.4	62.1
	夫婦のみ	78	85.9	－	19.2	11.5	5.1	3.8	1.3	7.7
	同居その他	63	30.2	44.4	7.9	11.1	3.2	4.8	1.6	38.1
地区	江別地区	64	40.6	12.5	15.6	15.6	6.3	9.4	1.6	35.9
	野幌地区	67	49.3	20.9	13.4	10.4	3.0	4.5	3.0	29.9
	大麻地区	60	45.0	13.3	13.3	11.7	5.0	5.0	1.7	28.3
介護度	要支援1・2	122	44.3	15.6	17.2	11.5	4.9	5.7	1.6	31.1
	要介護1・2	30	36.7	16.7	3.3	6.7	－	3.3	－	50.0
	要介護3～5	18	50.0	16.7	5.6	11.1	5.6	－	－	38.9

（18）家族や友人・知人以外の相談相手

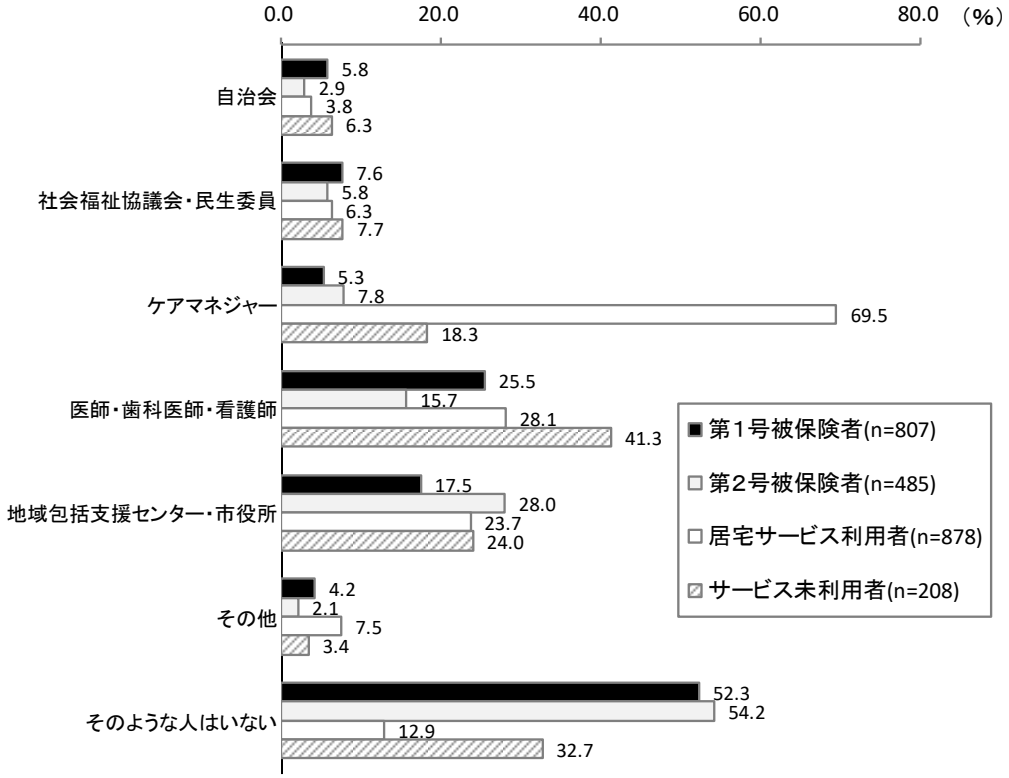
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

家族や友人・知人以外の相談相手を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者では「そのような人はいない」が最も多く、それぞれ 52.3%、54.2%となっています。居宅サービス利用者では「ケアマネジャー」が 69.5%、サービス未利用者では「医師・歯科医師・看護師」が 41.3%で最も多くなっています。

＜図表 111＞　家族や友人・知人以外の相談相手（複数回答）

【第１号被保険者　第６問５】【第２号被保険者　第１問 12】

【居宅サービス利用者　第４問３】【サービス未利用者　第４問５】



＜図表 112＞　家族や友人・知人以外の相談相手（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		807	5.8	7.6	5.3	25.5	17.5	4.2	52.3
性・年代	男性 65 ～74歳	232	5.6	6.0	3.0	22.0	13.4	6.5	57.8
	男性 75 歳以上	175	7.4	10.9	6.3	31.4	21.1	1.7	45.7
	女性 65 ～74歳	214	2.8	5.6	3.7	21.5	15.0	2.8	63.6
	女性 75 歳以上	186	8.1	8.6	9.1	29.0	22.0	5.4	38.7
家族構成	一人暮らし	141	5.7	12.8	3.5	23.4	16.3	5.0	51.8
	夫婦のみ	441	5.2	5.2	5.2	27.0	18.8	3.9	52.2
	同居その他	214	7.5	8.9	6.1	22.4	15.9	4.7	54.2
地区	江別地区	320	4.7	7.2	5.9	27.8	16.6	4.7	51.9
	野幌地区	289	7.6	8.7	5.2	21.8	16.3	3.5	54.7
	大麻地区	197	5.1	6.6	4.6	27.4	20.8	4.6	49.2
介護度	非認定	767	6.0	7.7	3.8	25.2	16.8	4.3	53.8
	要支援1・2	40	2.5	5.0	35.0	32.5	30.0	2.5	22.5

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		485	2.9	5.8	7.8	15.7	28.0	2.1	54.2
性・年代	男性 40 代	41	4.9	2.4	4.9	14.6	22.0	2.4	65.9
	男性 50 代	94	1.1	1.1	6.4	20.2	28.7	1.1	53.2
	男性 60 歳以上	57	10.5	5.3	8.8	19.3	14.0	－	56.1
	女性 40 代	93	2.2	7.5	3.2	22.6	28.0	2.2	55.9
	女性 50 代	119	0.8	6.7	10.9	10.1	33.6	1.7	52.9
	女性 60 歳以上	71	2.8	8.5	11.3	9.9	32.4	4.2	49.3
家族構成	一人暮らし	37	2.7	13.5	8.1	13.5	32.4	－	54.1
	夫婦のみ	119	3.4	3.4	5.9	16.8	22.7	2.5	58.0
	同居その他	304	3.0	5.6	8.2	15.1	28.6	2.0	53.6
地区	江別地区	171	1.2	6.4	6.4	12.3	28.1	1.2	58.5
	野幌地区	155	5.2	5.8	10.3	20.0	27.1	1.3	53.5
	大麻地区	106	3.8	4.7	4.7	17.9	27.4	3.8	50.9

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		878	3.8	6.3	69.5	28.1	23.7	7.5	12.9
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	－	100.0	50.0	－	－	－
	男性 65 ～74歳	51	2.0	7.8	66.7	29.4	11.8	13.7	17.6
	男性 75 歳以上	211	4.3	6.2	72.5	33.2	26.1	4.3	13.7
	女性 40 ～64歳	10	10.0	10.0	90.0	20.0	10.0	－	10.0
	女性 65 ～74歳	58	1.7	1.7	62.1	27.6	24.1	13.8	13.8
	女性 75 歳以上	508	3.3	7.1	69.3	26.4	23.6	7.7	12.2
家族構成	一人暮らし	257	2.7	8.9	69.3	26.5	24.1	12.1	10.9
	夫婦のみ	256	5.5	7.4	67.6	32.4	26.6	5.1	14.1
	同居その他	342	2.9	3.5	71.6	26.6	21.1	5.8	13.7
地区	江別地区	312	2.6	5.8	71.8	28.5	21.8	8.3	12.8
	野幌地区	268	5.2	6.3	70.9	26.1	23.1	3.7	13.1
	大麻地区	243	2.9	6.2	65.0	30.9	28.0	9.1	12.8
介護度	要支援1・2	401	4.7	8.5	62.6	29.9	37.9	5.0	11.5
	要介護1・2	317	3.5	4.7	77.3	24.0	9.1	9.1	14.2
	要介護3～5	116	0.9	5.2	77.6	37.1	9.5	12.9	13.8

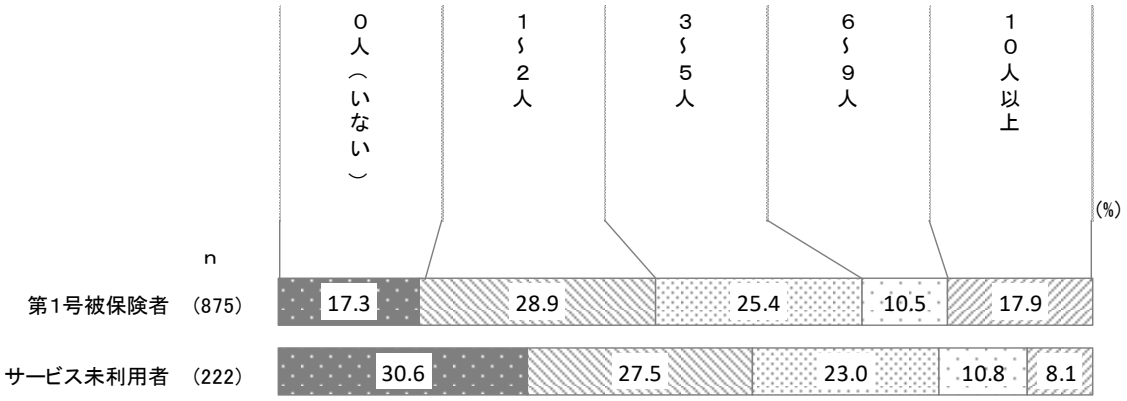
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	自治会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
全　体		208	6.3	7.7	18.3	41.3	24.0	3.4	32.7
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	－	－	7.7	46.2	23.1	7.7	38.5
	男性 75 歳以上	64	6.3	9.4	15.6	46.9	28.1	3.1	34.4
	女性 40 ～64歳	2	－	－	－	50.0	50.0	－	50.0
	女性 65 ～74歳	9	－	11.1	22.2	22.2	22.2	－	44.4
	女性 75 歳以上	106	7.5	6.6	19.8	38.7	22.6	2.8	30.2
家族構成	一人暮らし	60	5.0	10.0	13.3	38.3	26.7	5.0	31.7
	夫婦のみ	76	6.6	7.9	21.1	44.7	30.3	－	28.9
	同居その他	66	7.6	4.5	18.2	40.9	15.2	4.5	39.4
地区	江別地区	70	10.0	11.4	18.6	42.9	21.4	1.4	35.7
	野幌地区	62	－	6.5	19.4	37.1	30.6	3.2	32.3
	大麻地区	63	9.5	3.2	14.3	44.4	23.8	4.8	30.2
介護度	要支援1・2	121	5.8	6.6	16.5	38.0	30.6	1.7	37.2
	要介護1・2	34	2.9	5.9	23.5	44.1	20.6	5.9	26.5
	要介護3～5	20	－	5.0	20.0	60.0	10.0	5.0	20.0

（19）１か月間に会った友人・知人の数【第１号被保険者】【サービス未利用者】

１か月間に会った友人・知人の数を聞いたところ、第１号被保険者では「１～２人」が 28.9%で最も多く、サービス未利用者では「０人（いない）」が 30.6%で最も多くなっています。

＜図表 113＞　１か月間に会った友人・知人の数
【第１号被保険者　第６問６】【サービス未利用者　第４問６】



＜図表 114＞１か月間に会った友人・知人の数（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	０人（いない）	１～２人	３～５人	６～９人	１０人以上
全　体		875	17.3	28.9	25.4	10.5	17.9
性・年代	男性 65 ～74歳	244	21.7	27.0	23.8	9.0	18.4
	男性 75 歳以上	187	19.8	32.6	24.6	9.1	13.9
	女性 65 ～74歳	234	13.2	27.8	29.5	11.5	17.9
	女性 75 歳以上	210	14.3	29.0	23.3	12.4	21.0
家族構成	一人暮らし	150	14.7	28.7	22.7	14.7	19.3
	夫婦のみ	476	17.4	28.8	26.5	10.5	16.8
	同居その他	235	18.7	28.5	25.5	8.1	19.1
地区	江別地区	348	20.4	32.2	23.3	8.0	16.1
	野幌地区	309	15.2	27.2	25.2	11.7	20.7
	大麻地区	217	15.2	26.3	28.6	12.9	17.1
介護度	非認定	830	16.7	28.7	25.5	10.6	18.4
	要支援1・2	45	26.7	33.3	22.2	8.9	8.9

（単位：%）

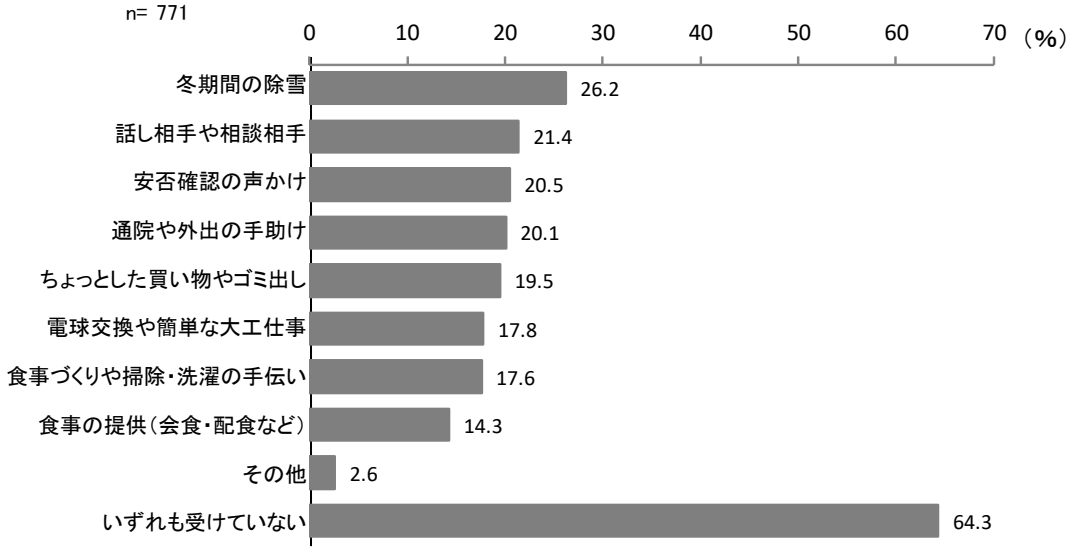
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	0人（いない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上
全　体		222	30.6	27.5	23.0	10.8	8.1
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	30.8	38.5	15.4	7.7	7.7
	男性 75 歳以上	67	29.9	31.3	16.4	7.5	14.9
	女性 40 ～64歳	3	66.7	－	－	33.3	－
	女性 65 ～74歳	11	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1
	女性 75 歳以上	112	31.3	23.2	27.7	12.5	5.4
家族構成	一人暮らし	59	13.6	35.6	33.9	8.5	8.5
	夫婦のみ	81	28.4	29.6	17.3	14.8	9.9
	同居その他	74	44.6	20.3	20.3	8.1	6.8
地区	江別地区	75	30.7	24.0	32.0	9.3	4.0
	野幌地区	67	38.8	28.4	10.4	14.9	7.5
	大麻地区	65	23.1	27.7	26.2	7.7	15.4
介護度	要支援1・2	128	22.7	30.5	22.7	14.1	10.2
	要介護1・2	36	47.2	22.2	22.2	2.8	5.6
	要介護3～5	19	63.2	10.5	－	15.8	10.5

６.手助けの状況

（１）受けている手助け【第１号被保険者】

受けている手助けを聞いたところ、「いずれも受けていない」が 64.3％で最も多く、次いで「冬期間の除雪」（26.2％）、「話し相手や相談相手」（21.4％）となっています。

＜図表 115＞　受けている手助け【第１号被保険者　第９問１Ａ】



＜図表 116＞　受けている手助け（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

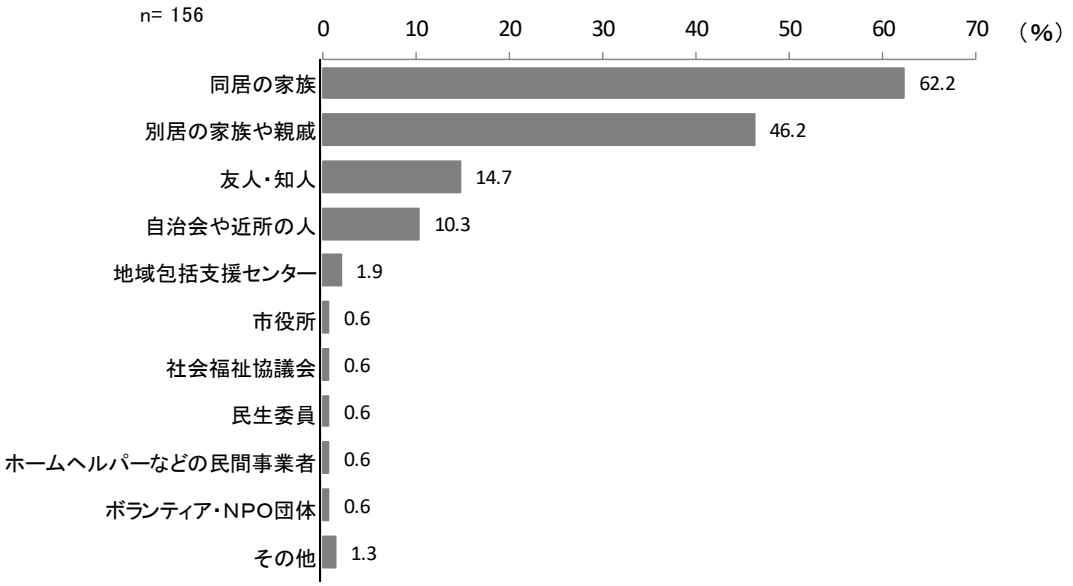
<1号被保険者調査>		調査数（件）	冬期間の除雪	話し相手や相談相手	安否確認の声かけ	通院や外出の手助け	ちょっとした買い物やゴミ出し	電球交換や簡単な大工仕事	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	その他	いずれも受けていない
全　体		771	26.2	21.4	20.5	20.1	19.5	17.8	17.6	14.3	2.6	64.3
性・年代	男性 65 ～74歳	224	11.6	11.2	12.5	9.4	10.3	6.3	12.5	10.7	0.9	78.1
	男性 75 歳以上	157	31.2	24.8	25.5	24.2	22.3	19.7	24.8	22.9	2.5	59.2
	女性 65 ～74歳	201	26.9	19.9	16.4	20.9	18.4	18.4	14.4	10.4	5.0	64.7
	女性 75 歳以上	189	38.6	32.3	30.2	28.6	29.1	29.1	21.2	15.3	2.1	51.9
家族構成	一人暮らし	137	29.9	30.7	33.6	22.6	16.8	20.4	12.4	10.9	2.2	47.4
	夫婦のみ	412	21.8	17.2	14.8	17.5	17.2	14.6	17.0	13.3	2.2	72.3
	同居その他	214	32.2	23.4	22.9	22.9	25.2	22.0	21.5	17.8	3.3	60.3
地区	江別地区	296	28.0	22.3	20.6	22.0	22.0	18.9	19.3	13.9	3.0	61.5
	野幌地区	278	25.2	22.7	22.7	20.1	19.1	17.6	18.0	15.1	2.5	63.7
	大麻地区	196	24.5	18.4	17.3	16.8	15.8	16.3	14.8	13.8	2.0	69.9
介護度	非認定	728	23.6	19.0	18.0	17.0	16.9	15.4	15.0	12.0	2.2	67.2
	要支援1・2	43	69.8	62.8	62.8	72.1	62.8	58.1	62.8	53.5	9.3	16.3

（２）それぞれの手助けをしてくれる人【第１号被保険者】

○安否確認の声かけ

安否確認の声かけをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 62.2%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（46.2%）、「友人・知人」（14.7%）となっています。

＜図表 117＞　それぞれの手助けをしてくれる人（安否確認の声かけ）（複数回答）
【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 118＞　それぞれの手助けをしてくれる人（安否確認の声かけ）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

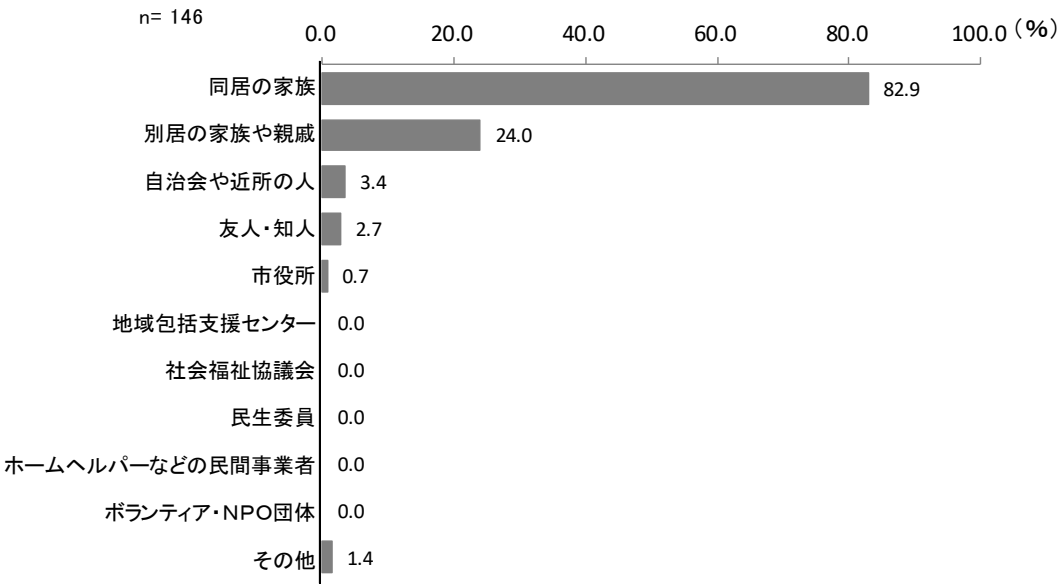
（単位：%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	地域包括支援センター	市役所	社会福祉協議会	民生委員	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		156	62.2	46.2	14.7	10.3	1.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	1.3
性・年代	男性 65 ～74歳	27	51.9	55.6	14.8	11.1	－	－	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	40	75.0	32.5	10.0	7.5	－	2.5	－	2.5	－	－	2.5
	女性 65 ～74歳	32	62.5	43.8	18.8	9.4	6.3	－	－	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	57	57.9	52.6	15.8	12.3	1.8	－	1.8	－	1.8	1.8	1.8
家族構成	一人暮らし	45	4.4	73.3	22.2	15.6	－	－	2.2	2.2	－	2.2	4.4
	夫婦のみ	60	76.7	41.7	8.3	8.3	3.3	－	－	－	－	－	－
	同居その他	49	95.9	28.6	16.3	8.2	2.0	2.0	－	－	－	－	－
地区	江別地区	61	60.7	41.0	11.5	6.6	－	－	1.6	－	1.6	1.6	－
	野幌地区	62	64.5	50.0	16.1	12.9	3.2	1.6	－	1.6	－	－	1.6
	大麻地区	33	60.6	48.5	18.2	12.1	3.0	－	－	－	－	－	3.0
介護度	非認定	131	61.8	45.8	15.3	10.7	1.5	0.8	0.8	0.8	0.8	－	1.5
	要支援1・2	25	64.0	48.0	12.0	8.0	4.0	－	－	－	－	4.0	－

○ちょっとした買い物やゴミ出し

ちょっとした買い物やゴミ出しをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 82.9%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」(24.0%)、「自治会や近所の人」(3.4%) となっています。

＜図表 119＞　それぞれの手助けをしてくれる人（ちょっとした買い物やゴミ出し）（複数回答）
【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 120＞　それぞれの手助けをしてくれる人（ちょっとした買い物やゴミ出し）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

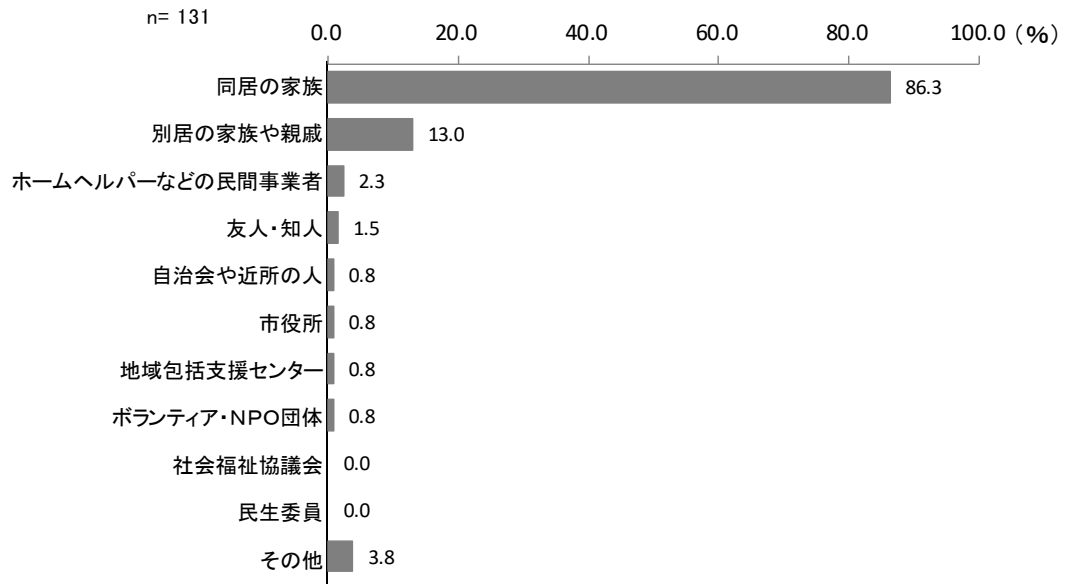
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	市役所	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		146	82.9	24.0	3.4	2.7	0.7	－	－	－	－	－	1.4
性・年代	男性 65 ～74歳	22	86.4	13.6	－	4.5	－	－	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	34	82.4	23.5	2.9	2.9	2.9	－	－	－	－	－	2.9
	女性 65 ～74歳	37	94.6	13.5	2.7	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	53	73.6	35.8	5.7	3.8	－	－	－	－	－	－	1.9
家族構成	一人暮らし	22	4.5	86.4	4.5	4.5	－	－	－	－	－	－	9.1
	夫婦のみ	69	94.2	15.9	4.3	4.3	－	－	－	－	－	－	－
	同居その他	53	100.0	9.4	1.9	－	1.9	－	－	－	－	－	－
地区	江別地区	63	81.0	22.2	3.2	3.2	－	－	－	－	－	－	－
	野幌地区	51	82.4	29.4	5.9	3.9	2.0	－	－	－	－	－	2.0
	大麻地区	31	87.1	19.4	－	－	－	－	－	－	－	－	3.2
介護度	非認定	119	85.7	21.0	3.4	3.4	0.8	－	－	－	－	－	1.7
	要支援1・2	27	70.4	37.0	3.7	－	－	－	－	－	－	－	－

○食事づくりや掃除・洗濯の手伝い

食事づくりや掃除・洗濯の手伝いをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 86.3%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（13.0%）、「その他」（3.8%）となっています。

＜図表 121＞　それぞれの手助けをしてくれる人（食事づくりや掃除・洗濯の手伝い）（複数回答）
【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 122＞　それぞれの手助けをしてくれる人（食事づくりや掃除・洗濯の手伝い）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

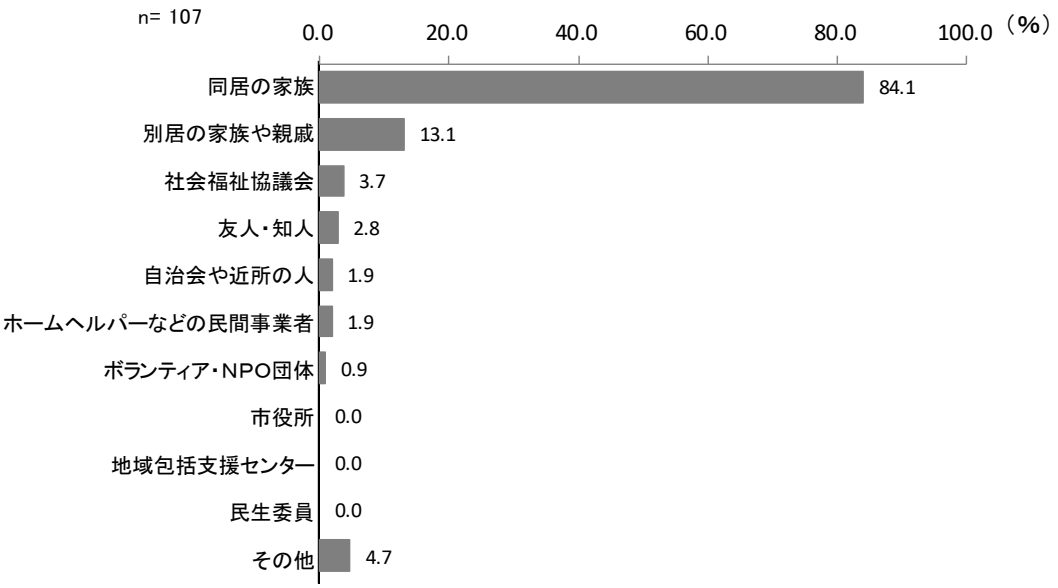
（単位:%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	ホームヘルパーなどの民間事業者	友人・知人	自治会や近所の人	市役所	地域包括支援センター	ボランティア・NPO団体	社会福祉協議会	民生委員	その他
全　体		131	86.3	13.0	2.3	1.5	0.8	0.8	0.8	0.8	−	−	3.8
性・年代	男性 65 ～74歳	26	92.3	3.8	−	−	−	−	−	−	−	−	3.8
	男性 75 歳以上	38	81.6	10.5	2.6	5.3	2.6	2.6	−	2.6	−	−	5.3
	女性 65 ～74歳	29	100.0	6.9	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女性 75 歳以上	38	76.3	26.3	5.3	−	−	−	2.6	−	−	−	5.3
家族構成	一人暮らし	16	6.3	62.5	6.3	−	−	−	6.3	6.3	−	−	18.8
	夫婦のみ	67	98.5	6.0	−	1.5	1.5	−	−	−	−	−	1.5
	同居その他	46	95.7	6.5	4.3	2.2	−	2.2	−	−	−	−	2.2
地区	江別地区	55	81.8	14.5	−	3.6	1.8	−	1.8	1.8	−	−	3.6
	野幌地区	47	87.2	14.9	6.4	−	−	2.1	−	−	−	−	4.3
	大麻地区	29	93.1	6.9	−	−	−	−	−	−	−	−	3.4
介護度	非認定	105	91.4	10.5	1.0	1.9	1.0	1.0	−	−	−	−	3.8
	要支援1・2	26	65.4	23.1	7.7	−	−	−	3.8	3.8	−	−	3.8

○食事の提供（会食・配食など）

食事の提供をしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 84.1%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（13.1%）、「その他」（4.7%）と続いています。

＜図表 123＞　それぞれの手助けをしてくれる人（食事の提供）（複数回答）
【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 124＞　食事の提供（会食・配食など）（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

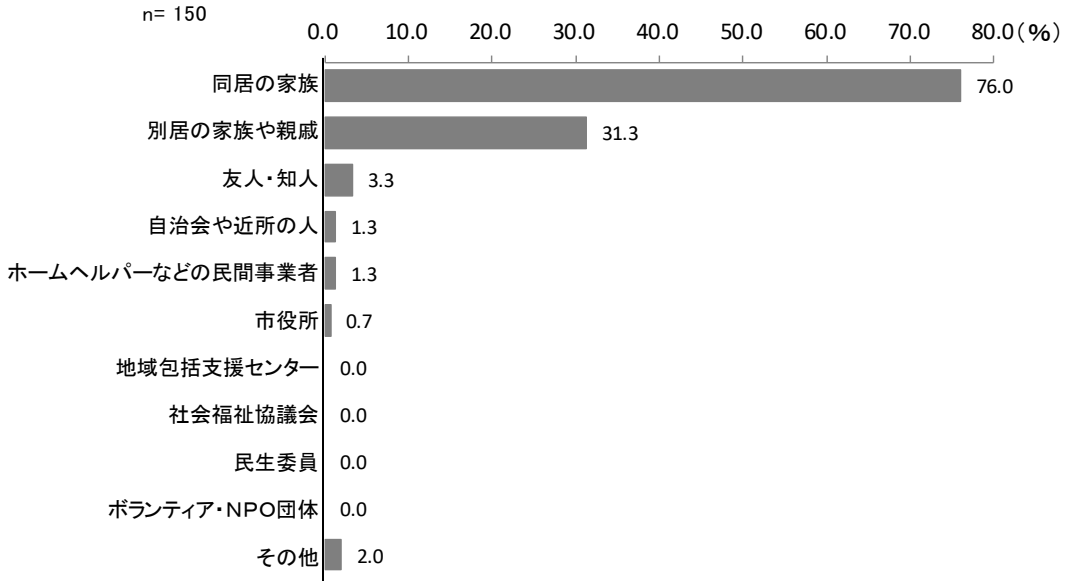
（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	社会福祉協議会	友人・知人	自治会や近所の人	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	市役所	地域包括支援センター	民生委員	その他
全　体		107	84.1	13.1	3.7	2.8	1.9	1.9	0.9	－	－	－	4.7
性・年代	男性 65 ～74歳	23	91.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	8.7
	男性 75 歳以上	35	91.4	11.4	－	5.7	2.9	－	－	－	－	－	2.9
	女性 65 ～74歳	21	90.5	9.5	－	4.8	－	－	4.8	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	28	64.3	28.6	14.3	－	3.6	7.1	－	－	－	－	7.1
家族構成	一人暮らし	14	7.1	50.0	21.4	－	－	7.1	－	－	－	－	28.6
	夫婦のみ	53	96.2	9.4	－	3.8	3.8	－	1.9	－	－	－	－
	同居その他	38	94.7	5.3	2.6	2.6	－	2.6	－	－	－	－	2.6
地区	江別地区	39	82.1	17.9	2.6	5.1	5.1	－	－	－	－	－	5.1
	野幌地区	41	82.9	12.2	7.3	2.4	－	4.9	－	－	－	－	4.9
	大麻地区	27	88.9	7.4	－	－	－	－	3.7	－	－	－	3.7
介護度	非認定	84	89.3	11.9	－	3.6	2.4	1.2	1.2	－	－	－	4.8
	要支援1・2	23	65.2	17.4	17.4	－	－	4.3	－	－	－	－	4.3

○通院や外出の手助け

通院や外出の手助けをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 76.0％で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（31.3％）、「友人・知人」（3.3％）となっています。

＜図表 125＞　それぞれの手助けをしてくれる人（通院や外出の手助け）（複数回答）
【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 126＞　それぞれの手助けをしてくれる人（通院や外出の手助け）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

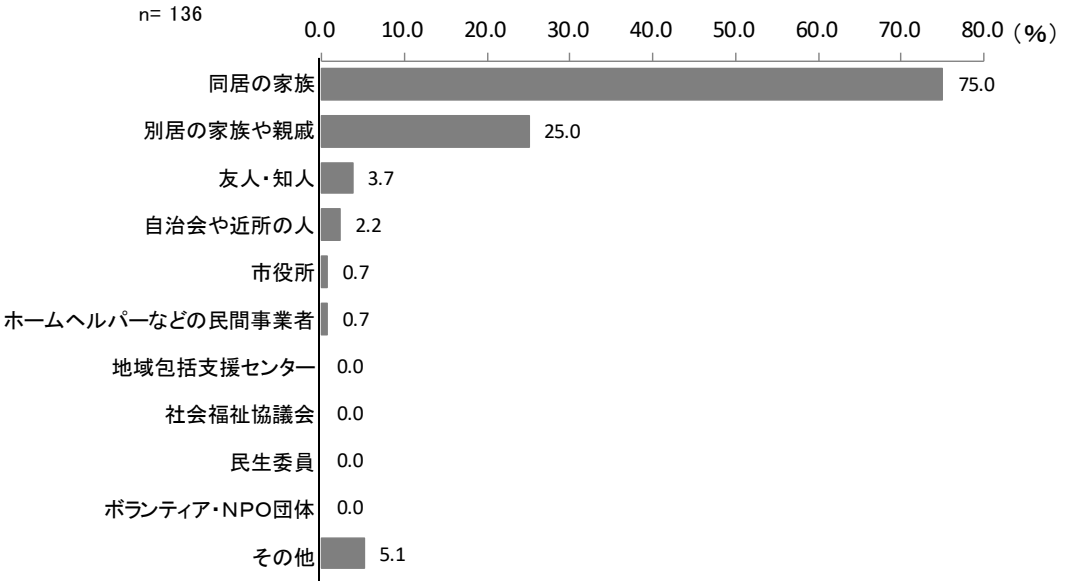
（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	ホームヘルパーなどの民間事業者	市役所	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		150	76.0	31.3	3.3	1.3	1.3	0.7	－	－	－	－	2.0
性・年代	男性 65 ～74歳	19	94.7	15.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	36	77.8	25.0	5.6	2.8	－	2.8	－	－	－	－	5.6
	女性 65 ～74歳	42	81.0	21.4	4.8	－	2.4	－	－	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	53	64.2	49.1	1.9	1.9	1.9	－	－	－	－	－	1.9
家族構成	一人暮らし	30	6.7	76.7	6.7	－	－	－	－	－	－	－	10.0
	夫婦のみ	69	91.3	23.2	2.9	2.9	1.4	－	－	－	－	－	－
	同居その他	49	95.9	16.3	2.0	－	2.0	2.0	－	－	－	－	－
地区	江別地区	62	71.0	35.5	3.2	3.2	－	－	－	－	－	－	1.6
	野幌地区	54	81.5	29.6	5.6	－	1.9	1.9	－	－	－	－	1.9
	大麻地区	33	75.8	27.3	－	－	3.0	－	－	－	－	－	3.0
介護度	非認定	120	80.0	25.8	4.2	1.7	1.7	0.8	－	－	－	－	2.5
	要支援1・2	30	60.0	53.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－

○電球交換や簡単な大工仕事

電球交換や簡単な大工仕事をしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 75.0％で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（25.0％）、「その他」（5.1％）となっています。

＜図表 127＞　それぞれの手助けをしてくれる人（電球交換や簡単な大工仕事）（複数回答）
【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 128＞　それぞれの手助けをしてくれる人（電球交換や簡単な大工仕事）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

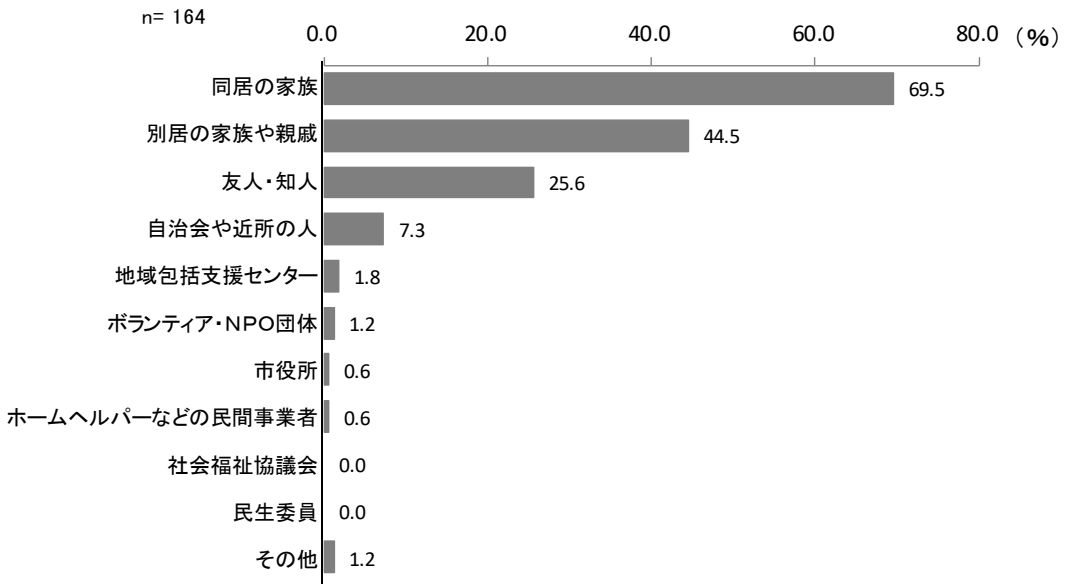
（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	市役所	ホームヘルパーなどの民間事業者	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		136	75.0	25.0	3.7	2.2	0.7	0.7	－	－	－	－	5.1
性・年代	男性 65 ～74歳	14	85.7	14.3	－	－	－	－	－	－	－	－	7.1
	男性 75 歳以上	30	80.0	23.3	6.7	3.3	3.3	－	－	－	－	－	10.0
	女性 65 ～74歳	37	86.5	13.5	5.4	2.7	－	－	－	－	－	－	－
	女性 75 歳以上	55	61.8	36.4	1.8	1.8	－	1.8	－	－	－	－	5.5
家族構成	一人暮らし	28	3.6	75.0	7.1	3.6	－	－	－	－	－	－	10.7
	夫婦のみ	59	91.5	18.6	1.7	3.4	－	－	－	－	－	－	5.1
	同居その他	47	95.7	4.3	4.3	－	2.1	2.1	－	－	－	－	2.1
地区	江別地区	56	69.6	28.6	3.6	3.6	－	－	－	－	－	－	5.4
	野幌地区	48	83.3	22.9	2.1	2.1	2.1	2.1	－	－	－	－	－
	大麻地区	32	71.9	21.9	6.3	－	－	－	－	－	－	－	12.5
介護度	非認定	112	77.7	22.3	4.5	2.7	0.9	0.9	－	－	－	－	6.3
	要支援1・2	24	62.5	37.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－

○話し相手や相談相手

話し相手や相談相手になってくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 69.5%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（44.5%）、「友人・知人」（25.6%）となっています。

＜図表 129＞　それぞれの手助けをしてくれる人（話し相手や相談相手）（複数回答）
【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 130＞　それぞれの手助けをしてくれる人（話し相手や相談相手）
（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

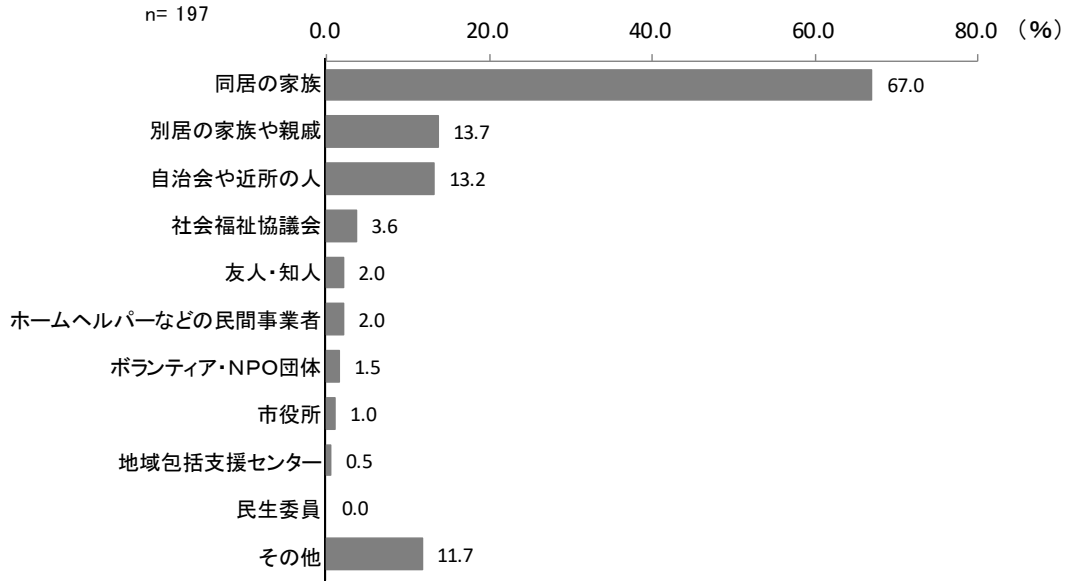
<1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	友人・知人	自治会や近所の人	地域包括支援センター	ボランティア・NPO団体	市役所	ホームヘルパーなどの民間事業者	社会福祉協議会	民生委員	その他
全　体		164	69.5	44.5	25.6	7.3	1.8	1.2	0.6	0.6	−	−	1.2
性・年代	男性 65 ～74歳	25	76.0	40.0	24.0	−	−	−	−	−	−	−	−
	男性 75 歳以上	39	79.5	23.1	12.8	10.3	5.1	2.6	2.6	−	−	−	5.1
	女性 65 ～74歳	40	80.0	37.5	30.0	5.0	−	2.5	−	−	−	−	−
	女性 75 歳以上	60	53.3	65.0	31.7	10.0	1.7	−	−	1.7	−	−	−
家族構成	一人暮らし	42	4.8	76.2	33.3	9.5	2.4	−	−	−	−	−	2.4
	夫婦のみ	71	90.1	39.4	21.1	5.6	1.4	1.4	−	−	−	−	−
	同居その他	49	93.9	26.5	26.5	8.2	2.0	2.0	2.0	−	−	−	2.0
地区	江別地区	65	66.2	47.7	24.6	9.2	−	−	−	1.5	−	−	1.5
	野幌地区	63	68.3	44.4	31.7	7.9	3.2	1.6	1.6	−	−	−	1.6
	大麻地区	36	77.8	38.9	16.7	2.8	2.8	2.8	−	−	−	−	−
介護度	非認定	137	71.5	42.3	26.3	8.0	0.7	1.5	0.7	0.7	−	−	1.5
	要支援1・2	27	59.3	55.6	22.2	3.7	7.4	−	−	−	−	−	−

○冬期間の除雪

冬期間の除雪をしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 67.0%で最も多く、次いで「別居の家族や親戚」（13.7%）、「自治会や近所の人」（13.2%）となっています。

＜図表 131＞　それぞれの手助けをしてくれる人（冬期間の除雪）（複数回答）

【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 132＞　それぞれの手助けをしてくれる人（冬期間の除雪）

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

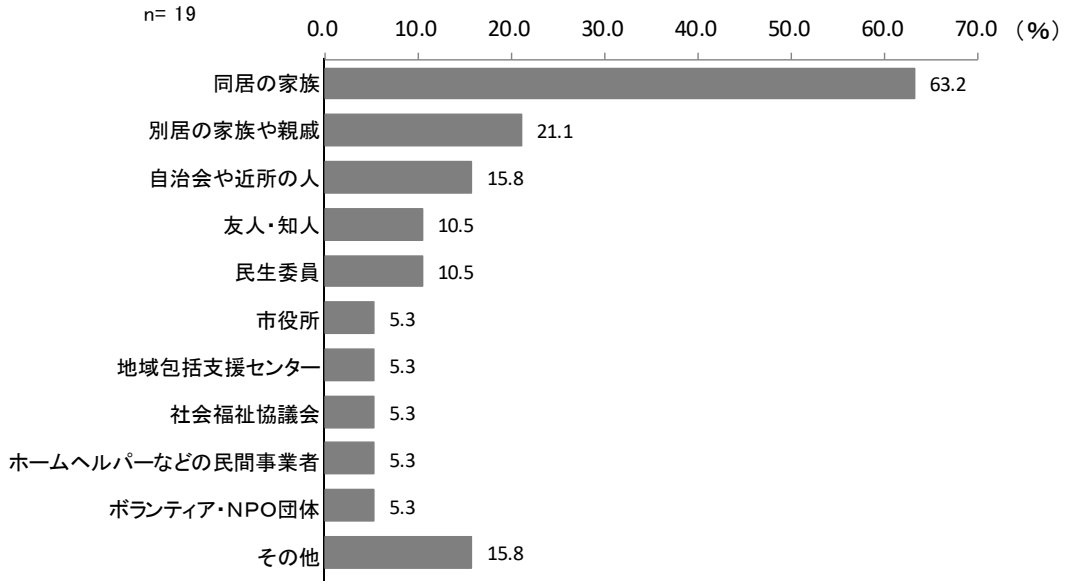
<1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	社会福祉協議会	友人・知人	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	市役所	地域包括支援センター	民生委員	その他
全　体		197	67.0	13.7	13.2	3.6	2.0	2.0	1.5	1.0	0.5	－	11.7
性・年代	男性 65 ～74歳	26	73.1	7.7	11.5	－	－	－	3.8	－	－	－	15.4
	男性 75 歳以上	46	67.4	13.0	10.9	－	4.3	2.2	4.3	2.2	－	－	21.7
	女性 65 ～74歳	53	73.6	9.4	15.1	3.8	－	1.9	－	－	－	－	3.8
	女性 75 歳以上	72	59.7	19.4	13.9	6.9	2.8	2.8	－	1.4	1.4	－	9.7
家族構成	一人暮らし	40	2.5	40.0	35.0	12.5	5.0	5.0	5.0	2.5	2.5	－	10.0
	夫婦のみ	87	80.5	9.2	10.3	1.1	1.1	1.1	－	－	－	－	12.6
	同居その他	68	86.8	4.4	4.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	－	－	11.8
地区	江別地区	80	63.8	15.0	11.3	3.8	1.3	－	2.5	1.3	1.3	－	12.5
	野幌地区	68	73.5	13.2	14.7	1.5	2.9	4.4	1.5	1.5	－	－	8.8
	大麻地区	48	62.5	12.5	14.6	6.3	2.1	2.1	－	－	－	－	14.6
介護度	非認定	168	68.5	13.7	13.1	4.2	1.8	1.2	1.2	1.2	0.6	－	11.9
	要支援1・2	29	58.6	13.8	13.8	－	3.4	6.9	3.4	－	－	－	10.3

○その他

その他のことをしてくれる人を聞いたところ、「同居の家族」が 63.2%と最も多く、次いで「別居の家族や親戚」(21.1%)、「自治会や近所の人」「その他」がそれぞれ 15.8%となっています。

＜図表 133＞　それぞれの手助けをしてくれる人（その他）（複数回答）

【第１号被保険者　第９問１Ｂ】



＜図表 134＞　それぞれの手助けをしてくれる人（その他）

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

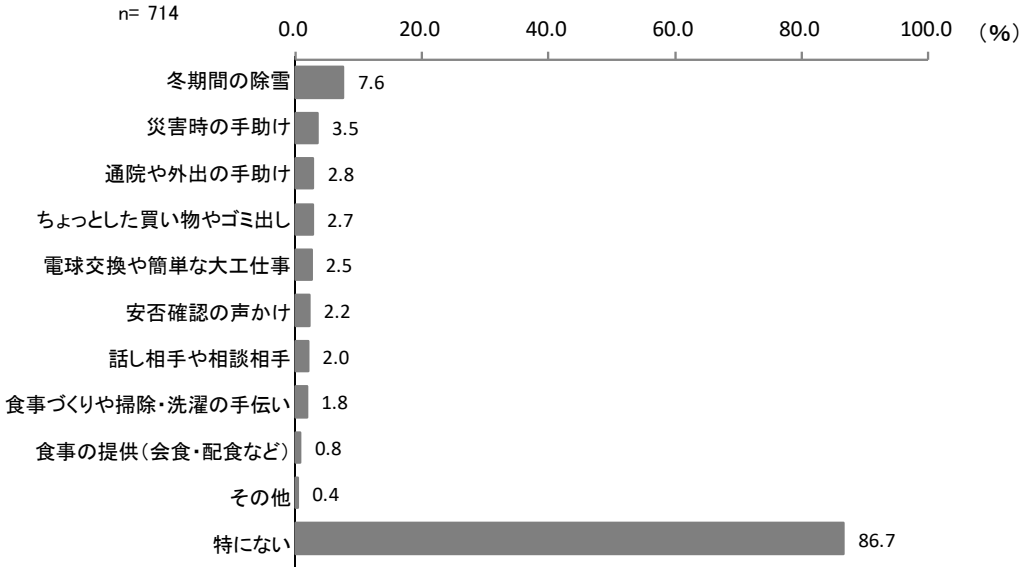
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	民生委員	市役所	地域包括支援センター	社会福祉協議会	ホームヘルパーなどの民間事業者	ボランティア・NPO団体	その他
全　体		19	63.2	21.1	15.8	10.5	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	15.8
性・年代	男性 65 ～74歳	2	50.0	－	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	女性 65 ～74歳	9	66.7	－	11.1	11.1	－	－	－	－	－	－	22.2
	女性 75 歳以上	4	75.0	50.0	25.0	－	－	－	－	－	－	－	－
家族構成	一人暮らし	3	－	66.7	－	－	－	－	－	－	－	－	33.3
	夫婦のみ	8	62.5	12.5	25.0	12.5	12.5	－	－	－	－	－	12.5
	同居その他	7	85.7	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
地区	江別地区	9	55.6	33.3	11.1	－	－	－	－	－	－	－	22.2
	野幌地区	7	85.7	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	－
	大麻地区	3	33.3	－	－	－	33.3	－	－	－	－	－	33.3
介護度	非認定	16	68.8	12.5	18.8	12.5	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8
	要支援1・2	3	33.3	66.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（３）必要なのに受けていない手助け【第１号被保険者】

必要なのに受けていない手助けを聞いたところ、「特にない」が 86.7%で最も多く、次いで「冬期間の除雪」（7.6%）、「災害時の手助け」（3.5%）となっています。

＜図表 135＞　必要なのに受けていない手助け（複数回答）【第１号被保険者　第９問２】



＜図表 136＞　必要なのに受けていない手助け（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

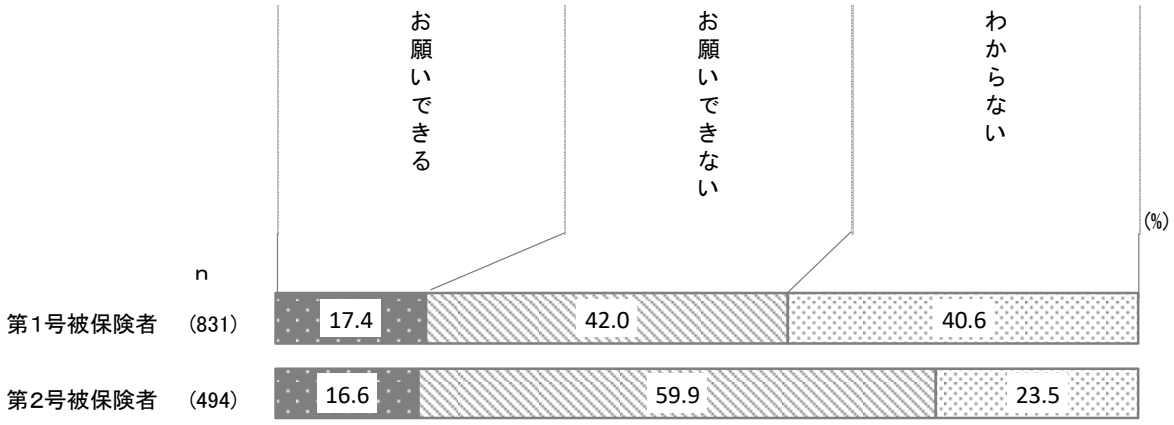
（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	冬期間の除雪	災害時の手助け	通院や外出の手助け	ちょっとした買い物やゴミ出し	電球交換や簡単な大工仕事	安否確認の声かけ	話し相手や相談相手	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	その他	特にない
全　体		714	7.6	3.5	2.8	2.7	2.5	2.2	2.0	1.8	0.8	0.4	86.7
性・年代	男性 65 ～74歳	218	5.5	3.2	－	1.4	0.9	1.4	0.5	0.9	0.5	－	92.2
	男性 75 歳以上	154	13.0	7.1	8.4	6.5	4.5	7.1	6.5	5.8	2.6	－	76.6
	女性 65 ～74歳	186	4.3	1.1	1.6	0.5	2.2	－	0.5	－	0.5	－	93.0
	女性 75 歳以上	156	9.0	3.2	2.6	3.2	3.2	1.3	1.3	1.3	－	1.9	81.4
家族構成	一人暮らし	120	11.7	4.2	2.5	2.5	5.0	1.7	5.0	3.3	1.7	1.7	76.7
	夫婦のみ	393	7.4	3.3	2.8	2.3	2.5	1.8	1.5	1.8	0.3	－	88.5
	同居その他	193	5.2	3.6	3.1	3.6	1.0	3.6	1.0	1.0	1.6	0.5	89.1
地区	江別地区	270	9.3	4.8	3.7	3.3	2.2	2.6	2.6	2.6	0.4	－	84.8
	野幌地区	266	7.9	1.9	3.4	2.6	3.4	2.6	1.5	1.5	1.1	－	87.2
	大麻地区	177	4.5	4.0	0.6	1.7	1.7	1.1	1.7	1.1	1.1	1.7	88.7
介護度	非認定	680	6.8	3.1	2.2	2.2	2.1	1.9	1.5	1.3	0.6	0.3	88.4
	要支援1・2	34	23.5	11.8	14.7	11.8	11.8	8.8	11.8	11.8	5.9	2.9	52.9

（４）ちょっとした手助けの近所への依頼【第１号被保険者】【第２号被保険者】

ちょっとした手助けの近所への依頼を聞いたところ、「お願いできない」が、第１号被保険者では 42.0%、第２号被保険者では 59.9%となっています。

＜図表 137＞　ちょっとした手助けの近所への依頼
【第１号被保険者　第９問３】【第２号被保険者　第７問１】



＜図表 138＞　ちょっとした手助けの近所への依頼（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	お願いできる	お願いできない	わからない
全　体		831	17.4	42.0	40.6
性・年代	男性 65 ～74歳	238	14.3	40.8	45.0
	男性 75 歳以上	179	15.1	36.9	48.0
	女性 65 ～74歳	227	19.4	46.3	34.4
	女性 75 歳以上	187	21.4	43.3	35.3
家族構成	一人暮らし	142	21.8	50.7	27.5
	夫婦のみ	462	16.0	39.6	44.4
	同居その他	219	17.8	40.6	41.6
地区	江別地区	323	13.9	45.2	40.9
	野幌地区	297	19.5	40.4	40.1
	大麻地区	210	19.5	39.5	41.0
介護度	非認定	790	17.6	41.6	40.8
	要支援1・2	41	14.6	48.8	36.6

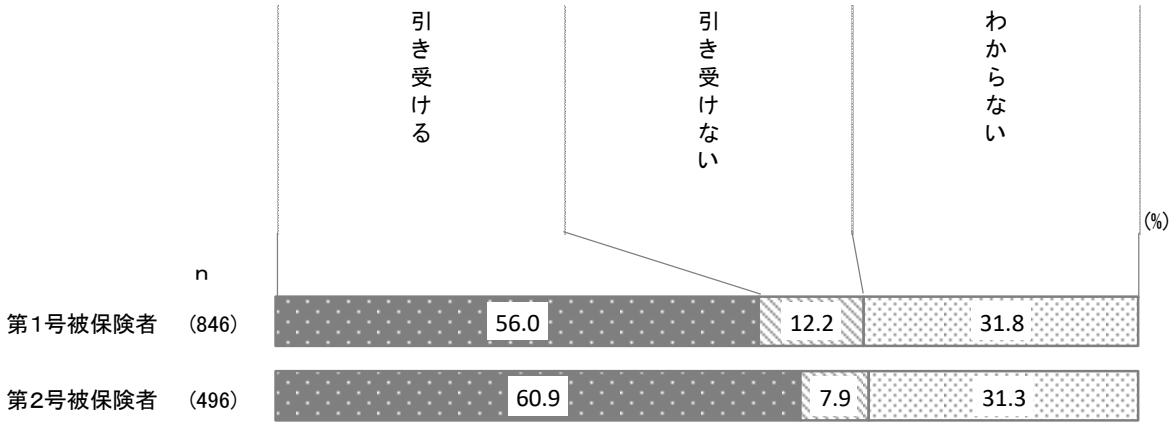
（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	お願いできる	お願いできない	わからない
全　体		494	16.6	59.9	23.5
性・年代	男性 40 代	43	7.0	65.1	27.9
	男性 50 代	95	12.6	61.1	26.3
	男性 60 歳以上	59	13.6	50.8	35.6
	女性 40 代	96	19.8	57.3	22.9
	女性 50 代	121	17.4	66.1	16.5
	女性 60 歳以上	71	23.9	54.9	21.1
家族構成	一人暮らし	40	15.0	67.5	17.5
	夫婦のみ	123	16.3	61.0	22.8
	同居その他	306	16.7	59.2	24.2
地区	江別地区	174	15.5	62.1	22.4
	野幌地区	158	19.0	57.6	23.4
	大麻地区	109	15.6	61.5	22.9

（５）近所からのちょっとした手助けの引き受け状況【第１号被保険者】【第２号被保険者】

近所からのちょっとした手助けの引き受け状況を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者とも「引き受ける」が最も多く、それぞれ 56.0%、60.9%となっています。

＜図表 139＞　近所からのちょっとした手助けの引き受け状況
【第１号被保険者　第９問４】【第２号被保険者　第７問２】



＜図表 140＞　近所からのちょっとした手助けの引き受け状況

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	引き受ける	引き受けない	わからない
全　体		846	56.0	12.2	31.8
性・年代	男性 65 ～74歳	239	63.6	8.8	27.6
	男性 75 歳以上	183	54.6	12.0	33.3
	女性 65 ～74歳	229	60.3	7.4	32.3
	女性 75 歳以上	195	43.1	22.1	34.9
家族構成	一人暮らし	145	49.7	21.4	29.0
	夫婦のみ	462	60.4	6.7	32.9
	同居その他	228	52.6	16.7	30.7
地区	江別地区	329	53.5	13.4	33.1
	野幌地区	301	55.1	12.6	32.2
	大麻地区	215	60.9	9.8	29.3
介護度	非認定	804	58.2	9.8	32.0
	要支援1・2	42	14.3	57.1	28.6

（単位:%）

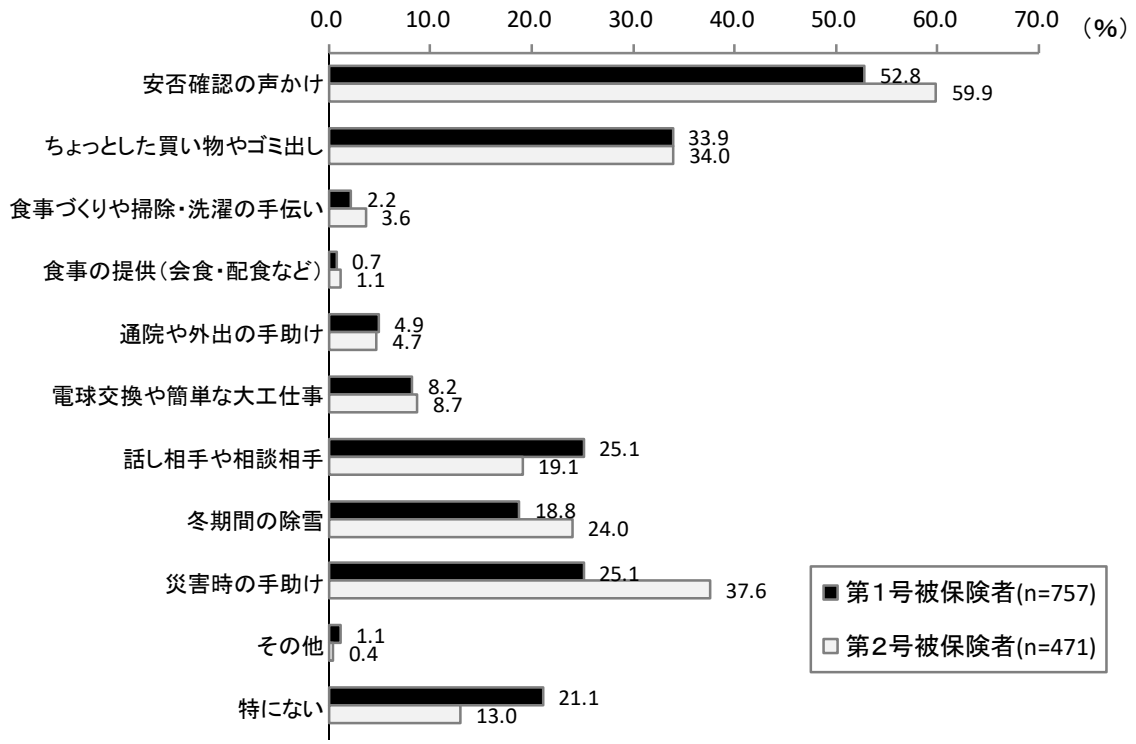
〈2号被保険者調査〉		調査数（件）	引き受ける	引き受けない	わからない
全　体		496	60.9	7.9	31.3
性・年代	男性 40 代	43	55.8	7.0	37.2
	男性 50 代	96	64.6	7.3	28.1
	男性 60 歳以上	59	55.9	8.5	35.6
	女性 40 代	96	68.8	7.3	24.0
	女性 50 代	121	57.9	7.4	34.7
	女性 60 歳以上	73	58.9	11.0	30.1
家族構成	一人暮らし	40	55.0	7.5	37.5
	夫婦のみ	123	58.5	9.8	31.7
	同居その他	308	63.0	7.8	29.2
地区	江別地区	175	59.4	9.7	30.9
	野幌地区	158	58.9	6.3	34.8
	大麻地区	110	66.4	9.1	24.5

（６）地域の支え合いとしてできること【第１号被保険者】【第２号被保険者】

地域の支え合いとしてできることを聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者ともに「安否確認の声かけ」が最も多く、それぞれ 52.8%、59.9%となっています。

＜図表 141＞　地域の支え合いとしてできること（３つまで）

【第１号被保険者　第９問５】【第２号被保険者　第７問７】



＜図表 142＞　地域の支え合いとしてできること（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全 体		757	52.8	33.9	2.2	0.7	4.9	8.2	25.1	18.8	25.1	1.1	21.1
性・年代	男性 65 ～74歳	213	50.2	29.6	0.5	−	6.1	16.9	17.4	31.9	39.9	0.9	15.5
	男性 75 歳以上	154	44.2	26.0	3.9	0.6	7.8	14.9	22.7	26.0	25.3	0.6	24.7
	女性 65 ～74歳	211	63.5	46.0	2.4	1.4	3.3	0.9	30.8	10.9	21.8	1.4	19.0
	女性 75 歳以上	179	50.8	31.8	2.8	0.6	2.8	0.6	29.6	6.1	11.2	1.1	27.4
家族構成	一人暮らし	128	54.7	33.6	2.3	0.8	3.9	2.3	29.7	9.4	16.4	−	25.0
	夫婦のみ	416	54.6	36.1	2.4	0.7	5.3	11.5	24.5	20.9	29.6	1.2	17.1
	同居その他	202	49.0	30.7	1.5	0.5	5.0	5.4	24.3	19.3	21.8	1.5	26.2
地区	江別地区	303	50.8	31.4	3.6	0.3	4.6	9.2	21.8	19.8	26.1	1.0	23.8
	野幌地区	261	52.1	36.8	1.1	1.1	5.0	6.1	25.3	18.4	25.3	0.8	19.9
	大麻地区	192	56.8	33.9	1.6	0.5	5.2	9.4	30.2	17.7	23.4	1.6	18.8
介護度	非認定	720	54.0	35.4	2.1	0.7	4.9	8.3	25.0	19.0	26.1	1.1	19.9
	要支援1・2	37	29.7	5.4	5.4	−	5.4	5.4	27.0	13.5	5.4	−	45.9

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全 体		471	59.9	34.0	3.6	1.1	4.7	8.7	19.1	24.0	37.6	0.4	13.0
性・年代	男性 40 代	41	41.5	29.3	2.4	2.4	2.4	17.1	17.1	48.8	31.7	−	14.6
	男性 50 代	94	56.4	28.7	2.1	−	4.3	16.0	12.8	31.9	55.3	−	8.5
	男性 60 歳以上	57	49.1	22.8	−	−	1.8	17.5	19.3	33.3	38.6	−	15.8
	女性 40 代	89	64.0	29.2	4.5	1.1	7.9	1.1	27.0	28.1	38.2	1.1	10.1
	女性 50 代	116	64.7	42.2	2.6	1.7	5.2	4.3	20.7	12.1	27.6	0.9	14.7
	女性 60 歳以上	67	70.1	41.8	10.4	1.5	4.5	4.5	17.9	6.0	28.4	−	16.4
家族構成	一人暮らし	39	66.7	33.3	10.3	−	2.6	12.8	17.9	35.9	25.6	−	12.8
	夫婦のみ	116	60.3	37.1	3.4	1.7	4.3	12.1	19.0	17.2	41.4	−	12.9
	同居その他	294	58.5	32.0	2.7	1.0	5.1	6.8	20.1	25.9	36.7	0.7	13.3
地区	江別地区	166	60.2	35.5	5.4	1.2	5.4	7.8	18.7	22.3	37.3	−	14.5
	野幌地区	152	59.9	34.2	3.3	1.3	3.3	7.9	23.7	22.4	35.5	−	9.9
	大麻地区	102	57.8	32.4	2.9	−	6.9	9.8	13.7	28.4	38.2	1.0	14.7

７.健康づくり

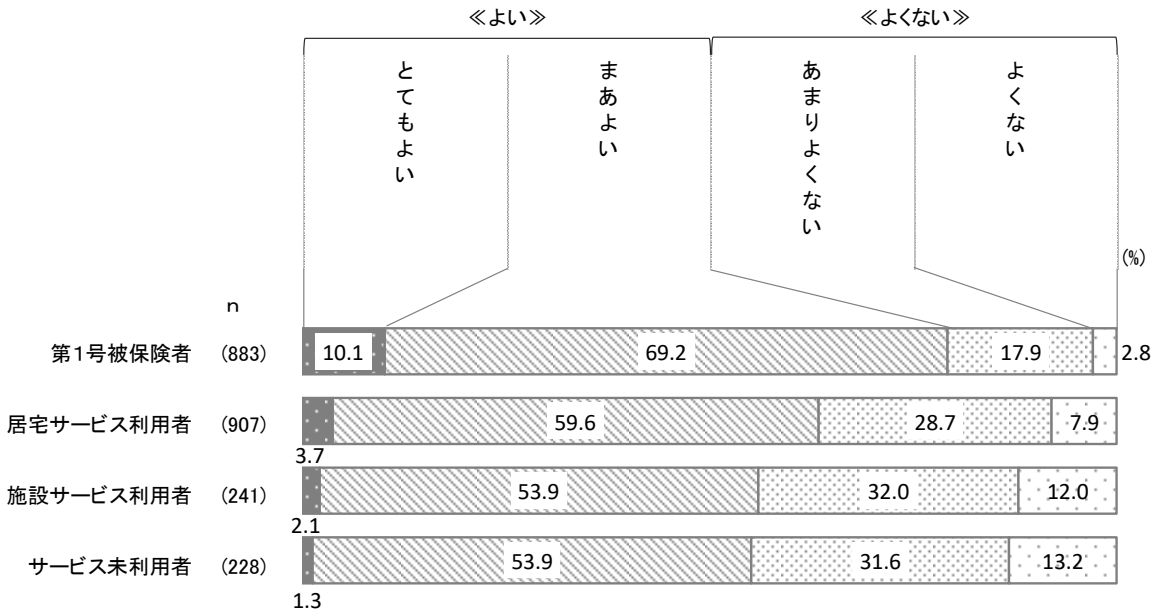
（１）主観的健康感

【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

主観的健康感を聞いたところ、全ての調査において「まあよい」が最も多く、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた≪よい≫は、第１号被保険者で 79.3%、居宅サービス利用者で 63.3%、施設サービス利用者で 56.0%、サービス未利用者で 55.2%となっています。

＜図表 143＞　主観的健康感

【第１号被保険者　第７問１】【居宅サービス利用者　第５問１】
【施設サービス利用者　第３問１】【サービス未利用者　第５問１】



＜図表 144＞　主観的健康感（性・年代別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	≪よい≫	≪よくない≫
全　体		883	10.1	69.2	17.9	2.8	79.3	20.7
性・年代	男性 65 ～74歳	244	16.4	65.2	16.8	1.6	81.6	18.4
	男性 75 歳以上	190	6.3	63.7	25.3	4.7	70.0	30.0
	女性 65 ～74歳	238	9.2	75.6	13.4	1.7	84.8	15.1
	女性 75 歳以上	211	7.1	71.6	17.5	3.8	78.7	21.3
介護度	非認定	838	10.6	71.0	16.2	2.1	81.6	18.3
	要支援1・2	45	－	35.6	48.9	15.6	35.6	64.5

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	≪よい≫	≪よくない≫
全　体		907	3.7	59.6	28.7	7.9	63.3	36.6
性・年代	男性 40 ～64歳	6	16.7	66.7	16.7	－	83.4	16.7
	男性 65 ～74歳	50	－	60.0	30.0	10.0	60.0	40.0
	男性 75 歳以上	223	1.3	58.3	31.8	8.5	59.6	40.3
	女性 40 ～64歳	10	10.0	70.0	20.0	－	80.0	20.0
	女性 65 ～74歳	60	3.3	58.3	25.0	13.3	61.6	38.3
	女性 75 歳以上	524	5.2	60.1	27.7	7.1	65.3	34.8
介護度	要支援1・2	416	2.6	61.5	29.6	6.3	64.1	35.9
	要介護1・2	325	5.5	57.5	29.2	7.7	63.0	36.9
	要介護3～5	121	3.3	57.0	26.4	13.2	60.3	39.6

（単位：%）

〈施設利用者調査〉		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	《よい》	《よくない》
全　体		241	2.1	53.9	32.0	12.0	56.0	44.0
性・年代	男性 40 代	1	－	100.0	－	－	100.0	0.0
	男性 50 代	2	－	50.0	50.0	－	50.0	50.0
	男性 60 歳以上	57	1.8	42.1	35.1	21.1	43.9	56.2
	女性 40 代	－	－	－	－	－	0.0	0.0
	女性 50 代	1	－	100.0	－	－	100.0	0.0
	女性 60 歳以上	176	2.3	57.4	31.3	9.1	59.7	40.4
介護度	要介護1・2	49	4.1	75.5	18.4	2.0	79.6	20.4
	要介護3～5	184	1.6	48.9	34.2	15.2	50.5	49.4

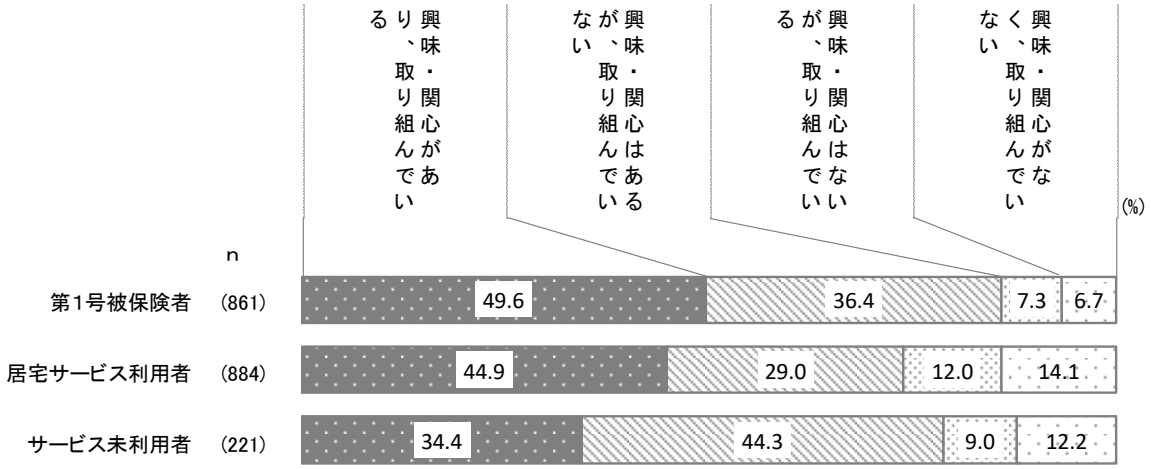
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	《よい》	《よくない》
全　体		228	1.3	53.9	31.6	13.2	55.2	44.8
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	0.0	0.0
	男性 65 ～74歳	13	－	46.2	46.2	7.7	46.2	53.9
	男性 75 歳以上	67	1.5	50.7	35.8	11.9	52.2	47.7
	女性 40 ～64歳	3	－	33.3	66.7	－	33.3	66.7
	女性 65 ～74歳	11	9.1	63.6	18.2	9.1	72.7	27.3
	女性 75 歳以上	117	0.9	54.7	29.1	15.4	55.6	44.5
介護度	要支援1・2	130	1.5	50.8	39.2	8.5	52.3	47.7
	要介護1・2	37	2.7	64.9	24.3	8.1	67.6	32.4
	要介護3～5	21	－	28.6	14.3	57.1	28.6	71.4

（２）健康づくりへの興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

健康づくりへの興味･関心を聞いたところ、第１号被保険者と居宅サービス利用者では「興味･関心があり、取り組んでいる」が最も多く、それぞれ 49.6%、44.9%となっています。サービス未利用者では「興味・関心はあるが、取り組んでいない」が 44.3%で最も多くなっています。

＜図表 145＞　健康づくりへの興味・関心
【第１号被保険者　第７問２】【居宅サービス利用者　第５問２】
【サービス未利用者　第５問２】



＜図表 146＞　健康づくりへの興味・関心

（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別/介護予防への興味・関心別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		861	49.6	36.4	7.3	6.7
性・年代	男性 65 ～74歳	242	47.9	37.2	8.7	6.2
	男性 75 歳以上	181	49.2	34.3	7.2	9.4
	女性 65 ～74歳	231	49.4	39.8	4.3	6.5
	女性 75 歳以上	207	52.2	33.3	9.2	5.3
家族構成	一人暮らし	146	45.9	41.1	8.9	4.1
	夫婦のみ	470	51.5	37.0	6.6	4.9
	同居その他	233	48.1	33.5	7.3	11.2
地区	江別地区	338	43.8	37.3	8.9	10.1
	野幌地区	303	52.5	34.7	8.3	4.6
	大麻地区	219	54.3	37.4	3.7	4.6
介護度	非認定	819	49.7	36.8	7.1	6.5
	要支援1・2	42	47.6	28.6	11.9	11.9
介護予防への興味・関心	興味・関心があり、取り組んでいる	158	91.1	7.0	1.3	0.6
	興味・関心はあるが、取り組んでいない	539	42.3	47.7	6.7	3.3
	興味・関心はないが、取り組んでいる	39	43.6	20.5	28.2	7.7
	興味・関心がなく、取り組んでいない	97	24.7	32.0	9.3	34.0

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		884	44.9	29.0	12.0	14.1
性・年代	男性 40 ～64歳	6	50.0	33.3	－	16.7
	男性 65 ～74歳	49	49.0	20.4	16.3	14.3
	男性 75 歳以上	218	45.4	25.7	12.4	16.5
	女性 40 ～64歳	10	60.0	20.0	－	20.0
	女性 65 ～74歳	59	44.1	30.5	13.6	11.9
	女性 75 歳以上	511	43.2	31.1	11.7	13.9
家族構成	一人暮らし	260	49.6	29.6	10.4	10.4
	夫婦のみ	251	48.6	27.5	8.8	15.1
	同居その他	346	37.6	29.8	15.6	17.1
地区	江別地区	313	45.0	27.2	14.1	13.7
	野幌地区	271	43.2	31.0	10.7	15.1
	大麻地区	245	48.2	27.8	11.4	12.7
介護度	要支援1・2	407	56.8	30.0	7.6	5.7
	要介護1・2	319	37.0	28.2	14.1	20.7
	要介護3～5	116	22.4	23.3	25.0	29.3
介護予防への興味・関心	興味・関心があり、取り組んでいる	350	78.9	14.6	4.0	2.6
	興味・関心はあるが、取り組んでいない	270	28.1	59.3	5.9	6.7
	興味・関心はないが、取り組んでいる	103	16.5	9.7	60.2	13.6
	興味・関心がなく、取り組んでいない	121	9.9	14.0	9.1	66.9

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		221	34.4	44.3	9.0	12.2
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	23.1	61.5	－	15.4
	男性 75 歳以上	63	38.1	46.0	7.9	7.9
	女性 40 ～64歳	3	33.3	33.3	－	33.3
	女性 65 ～74歳	11	36.4	45.5	9.1	9.1
	女性 75 歳以上	114	31.6	41.2	11.4	15.8
家族構成	一人暮らし	63	33.3	46.0	12.7	7.9
	夫婦のみ	81	38.3	46.9	7.4	7.4
	同居その他	69	31.9	39.1	5.8	23.2
地区	江別地区	73	28.8	49.3	9.6	12.3
	野幌地区	66	33.3	47.0	7.6	12.1
	大麻地区	67	44.8	35.8	9.0	10.4
介護度	要支援1・2	131	36.6	47.3	8.4	7.6
	要介護1・2	35	20.0	51.4	8.6	20.0
	要介護3～5	18	22.2	16.7	11.1	50.0
介護への興味・関心別	興味・関心があり、取り組んでいる	39	84.6	10.3	2.6	2.6
	興味・関心はあるが、取り組んでいない	123	25.2	61.8	8.1	4.9
	興味・関心はないが、取り組んでいる	12	16.7	50.0	25.0	8.3
	興味・関心がなく、取り組んでいない	30	6.7	26.7	10.0	56.7

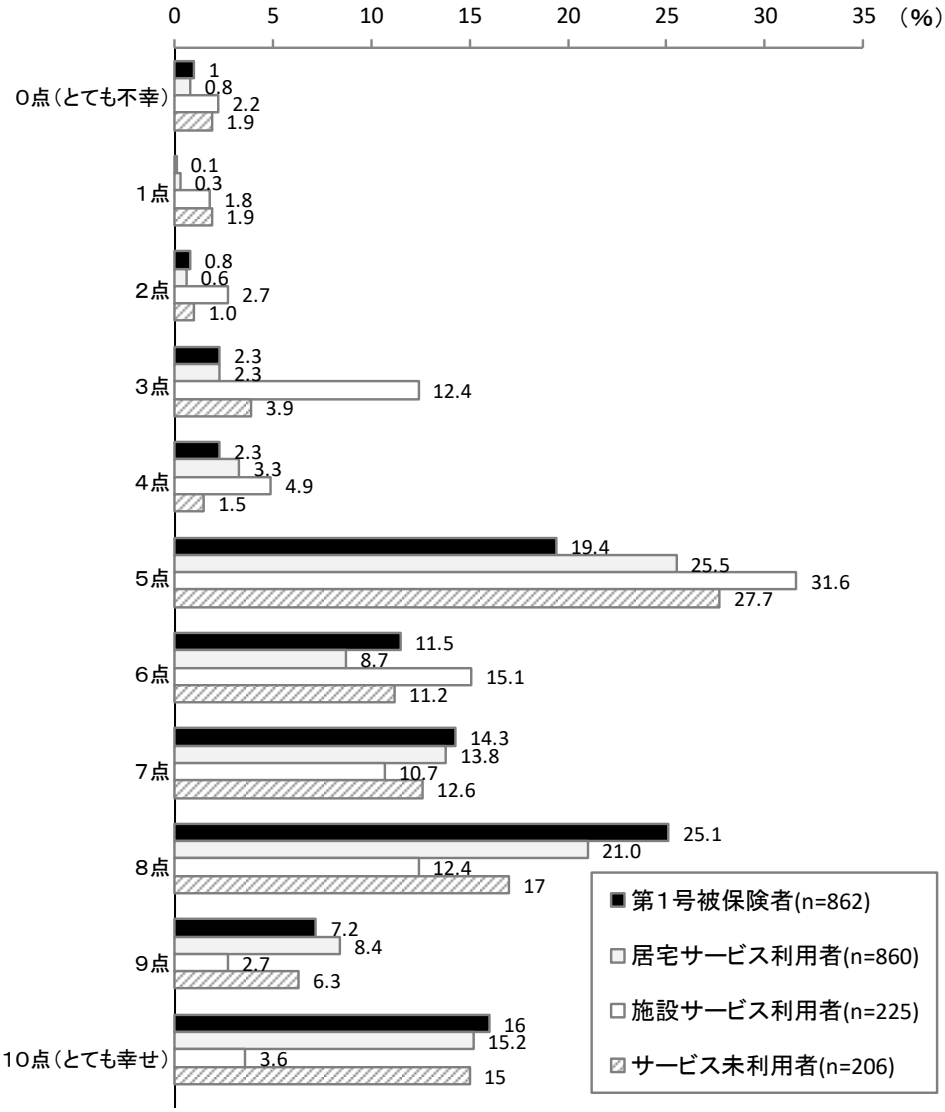
（３）幸福度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】【サービス未利用者】

幸福度を 10 点満点の点数で聞いたところ、第１号被保険者では「８点」が 25.1％で最も多く、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「５点」がそれぞれ 25.5％、31.6％、27.7％で最も多くなっています。

また、平均点は、第１号被保険者で 7.09 点、居宅サービス利用者で 6.94 点、施設サービス利用者で 5.46 点、サービス未利用者で 6.58 点となっています。主観的健康感別にみると、全ての調査において、平均点は主観的健康感がよいほど高い傾向となっています。

＜図表 147＞　幸福度

【第１号被保険者　第７問３】【居宅サービス利用者　第５問３】
【施設サービス利用者　第３問２】【サービス未利用者　第５問３】



＜図表 148＞　幸福度（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別/主観的健康感/うつ傾向の有無別）

（単位:%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全　体		862	1.0	0.1	0.8	2.3	2.3	19.4	11.5	14.3	25.1	7.2	16.0	7.09
性・年代	男性 65 ～74歳	241	1.7	0.4	0.4	0.8	3.3	19.9	12.9	13.7	25.3	5.4	16.2	7.02
	男性 75 歳以上	183	0.5	－	1.6	3.8	3.3	23.0	13.7	15.8	23.5	3.8	10.9	6.67
	女性 65 ～74歳	233	－	－	0.9	2.1	2.1	17.2	10.3	16.7	26.2	8.2	16.3	7.27
	女性 75 歳以上	205	2.0	－	0.5	2.9	0.5	18.0	9.3	10.7	24.9	11.2	20.0	7.33
家族構成	一人暮らし	148	0.7	－	2.0	4.1	4.1	23.0	10.8	12.2	20.9	7.4	14.9	6.80
	夫婦のみ	469	0.4	0.2	0.6	1.7	1.5	16.8	11.7	15.1	26.9	6.6	18.3	7.31
	同居その他	231	2.2	－	0.4	2.6	2.6	22.5	11.3	14.3	23.8	8.2	12.1	6.85
地区	江別地区	345	1.4	0.3	1.7	2.6	2.9	18.0	13.9	15.4	22.9	6.4	14.5	6.90
	野幌地区	298	1.0	－	0.3	3.0	2.7	18.1	11.4	11.7	25.5	9.1	17.1	7.18
	大麻地区	218	0.5	－	－	0.9	0.9	23.4	7.8	15.6	28.0	6.0	17.0	7.27
介護度	非認定	820	0.9	0.1	0.5	2.3	2.1	19.5	11.5	14.1	25.2	7.6	16.2	7.14
	要支援1・2	42	4.8	－	7.1	2.4	7.1	16.7	11.9	16.7	21.4	－	11.9	6.12
主観的健康感	とてもよい	85	－	－	－	2.4	1.2	9.4	1.2	11.8	32.9	5.9	35.3	8.18
	まあよい	590	0.2	－	0.5	1.2	1.9	18.5	11.5	14.6	27.8	8.1	15.8	7.29
	あまりよくない	152	3.3	0.7	0.7	5.3	5.3	26.3	17.8	15.8	12.5	4.6	7.9	6.08
	よくない	25	12.0	－	12.0	12.0	－	32.0	8.0	8.0	4.0	4.0	8.0	4.72
うつ傾向	うつ傾向あり	361	1.9	0.3	1.7	4.7	4.2	25.5	11.9	15.0	18.6	5.8	10.5	6.44
	うつ傾向なし	501	0.4	－	0.2	0.6	1.0	15.0	11.2	13.8	29.7	8.2	20.0	7.56

（単位:%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全　体		860	0.8	0.3	0.6	2.3	3.3	25.5	8.7	13.8	21.0	8.4	15.2	6.94
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	－	－	－	－	16.7	－	16.7	50.0	－	16.7	7.67
	男性 65 ～74歳	50	2.0	－	2.0	4.0	6.0	30.0	6.0	22.0	22.0	2.0	4.0	6.14
	男性 75 歳以上	210	1.0	－	－	3.3	4.3	28.6	11.9	13.3	19.5	7.1	11.0	6.65
	女性 40 ～64歳	9	－	－	11.1	－	－	44.4	－	－	11.1	22.2	11.1	6.44
	女性 65 ～74歳	58	－	1.7	－	1.7	8.6	27.6	13.8	13.8	17.2	5.2	10.3	6.47
	女性 75 歳以上	495	0.8	0.4	0.6	2.0	2.0	23.6	6.9	13.7	21.6	9.5	18.8	7.18
家族構成	一人暮らし	253	1.6	－	0.4	2.4	3.2	31.6	9.1	11.9	17.0	8.3	14.6	6.73
	夫婦のみ	250	1.2	0.8	0.4	2.0	2.8	22.8	10.4	15.6	24.0	9.2	10.8	6.87
	同居その他	334	－	0.3	0.9	2.7	3.3	24.0	7.5	14.1	20.7	7.2	19.5	7.11
地区	江別地区	304	－	0.3	0.7	2.3	3.3	27.6	7.2	14.5	23.0	5.6	15.5	6.94
	野幌地区	270	1.1	0.4	－	1.9	3.7	22.2	8.1	12.6	19.6	10.4	20.0	7.19
	大麻地区	235	1.7	0.4	0.9	3.4	2.6	26.0	10.2	15.3	19.6	9.4	10.6	6.68
介護度	要支援1・2	398	0.5	－	0.3	1.3	2.3	19.8	7.8	16.6	24.1	9.5	17.8	7.33
	要介護1・2	307	0.7	0.3	1.0	3.6	4.2	29.6	9.1	12.7	16.9	6.8	15.0	6.69
	要介護3～5	111	1.8	1.8	0.9	3.6	3.6	34.2	9.9	10.8	23.4	6.3	3.6	6.15
主観的健康感	とてもよい	34	－	－	2.9	－	－	5.9	2.9	17.6	17.6	14.7	38.2	8.32
	まあよい	515	0.4	－	－	1.0	1.7	22.7	8.5	14.2	23.9	10.3	17.3	7.30
	あまりよくない	235	0.9	0.9	1.3	4.3	4.3	31.5	10.6	14.9	17.4	4.3	9.8	6.34
	よくない	68	4.4	1.5	1.5	5.9	13.2	35.3	7.4	5.9	11.8	5.9	7.4	5.57

（単位：%）

〈施設利用者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全　体		225	2.2	1.8	2.7	12.4	4.9	31.6	15.1	10.7	12.4	2.7	3.6	5.46
性・年代	男性 40 代	1	−	−	−	−	−	−	100.0	−	−	−	−	6.00
	男性 50 代	1	−	−	−	−	100.0	−	−	−	−	−	−	4.00
	男性 60 歳以上	50	−	4.0	4.0	14.0	6.0	38.0	12.0	14.0	6.0	−	2.0	5.06
	女性 40 代	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女性 50 代	1	−	−	−	−	−	−	−	100.0	−	−	−	7.00
	女性 60 歳以上	169	3.0	1.2	2.4	12.4	4.1	30.2	16.0	9.5	13.6	3.6	4.1	5.55
介護度	要介護1・2	47	2.1	−	4.3	8.5	10.6	31.9	14.9	17.0	4.3	2.1	4.3	5.40
	要介護3～5	170	2.4	2.4	2.4	13.5	3.5	31.2	14.7	8.2	15.3	2.9	3.5	5.48
主観的健康感	とてもよい	3	33.3	−	−	−	−	33.3	−	−	−	−	33.3	5.00
	まあよい	124	−	−	−	9.7	2.4	33.1	16.1	13.7	16.9	4.0	4.0	6.09
	あまりよくない	73	1.4	1.4	6.8	15.1	8.2	34.2	16.4	8.2	5.5	1.4	1.4	4.90
	よくない	24	12.5	12.5	4.2	20.8	8.3	16.7	8.3	−	12.5	−	4.2	3.92

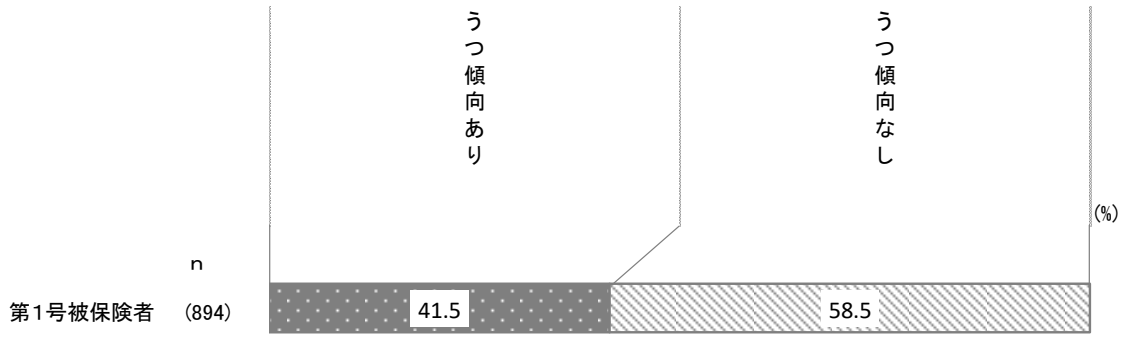
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	平均
全　体		206	1.9	1.9	1.0	3.9	1.5	27.7	11.2	12.6	17.0	6.3	15.0	6.58
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	男性 65 ～74歳	12	−	−	−	−	−	41.7	16.7	16.7	16.7	−	8.3	6.42
	男性 75 歳以上	62	−	−	−	8.1	−	19.4	12.9	12.9	22.6	6.5	17.7	7.05
	女性 40 ～64歳	1	−	−	−	−	−	100.0	−	−	−	−	−	5.00
	女性 65 ～74歳	11	−	−	−	9.1	−	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1	−	6.55
	女性 75 歳以上	107	3.7	2.8	1.9	1.9	2.8	31.8	9.3	10.3	14.0	6.5	15.0	6.31
家族構成	一人暮らし	56	1.8	3.6	1.8	5.4	5.4	28.6	14.3	14.3	10.7	7.1	7.1	5.95
	夫婦のみ	78	−	1.3	−	1.3	−	28.2	10.3	11.5	21.8	7.7	17.9	7.12
	同居その他	66	4.5	1.5	1.5	6.1	−	27.3	9.1	12.1	18.2	4.5	15.2	6.36
地区	江別地区	66	1.5	1.5	1.5	3.0	1.5	25.8	9.1	15.2	18.2	6.1	16.7	6.76
	野幌地区	66	1.5	3.0	−	4.5	1.5	30.3	13.6	12.1	18.2	1.5	13.6	6.36
	大麻地区	60	3.3	1.7	1.7	5.0	1.7	23.3	8.3	10.0	18.3	11.7	15.0	6.65
介護度	要支援1・2	123	−	0.8	0.8	4.1	2.4	24.4	12.2	13.0	20.3	8.9	13.0	6.84
	要介護1・2	34	2.9	5.9	−	−	−	35.3	5.9	14.7	14.7	5.9	14.7	6.38
	要介護3～5	18	16.7	−	−	16.7	−	38.9	16.7	5.6	5.6	−	−	4.28
主観的健康感	とてもよい	3	−	−	−	−	−	33.3	−	−	33.3	−	33.3	7.67
	まあよい	110	−	2.7	−	0.9	1.8	21.8	14.5	12.7	20.0	9.1	16.4	7.04
	あまりよくない	66	1.5	1.5	3.0	6.1	−	33.3	6.1	12.1	18.2	4.5	13.6	6.36
	よくない	24	12.5	−	−	12.5	4.2	37.5	8.3	12.5	−	−	12.5	5.04

（４）うつ傾向【第１号被保険者】

うつ傾向を問う設問から、うつ傾向のみられる高齢者の割合を算出したところ、「うつ傾向あり」は 41.5%となっています。主観的健康感別にみると、「うつ傾向あり」の割合は主観的健康感がよいほど低くなっています。

＜図表 149＞　うつ傾向【第１号被保険者】



＜図表 150＞　うつ傾向（主観的健康感別）

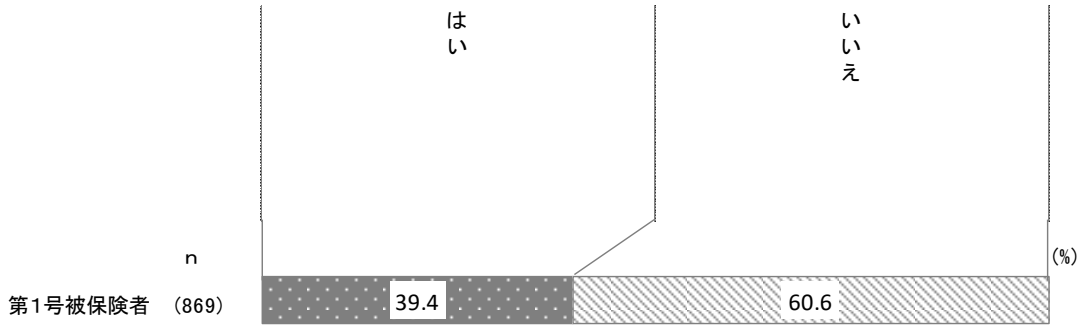
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	うつ傾向あり	うつ傾向なし
全　体		894	41.5	58.5
主観的健康感	とてもよい	89	19.1	80.9
	まあよい	611	37.6	62.4
	あまりよくない	158	62.7	37.3
	よくない	25	88.0	12.0

うつ傾向に関連した設問を以下に示します。

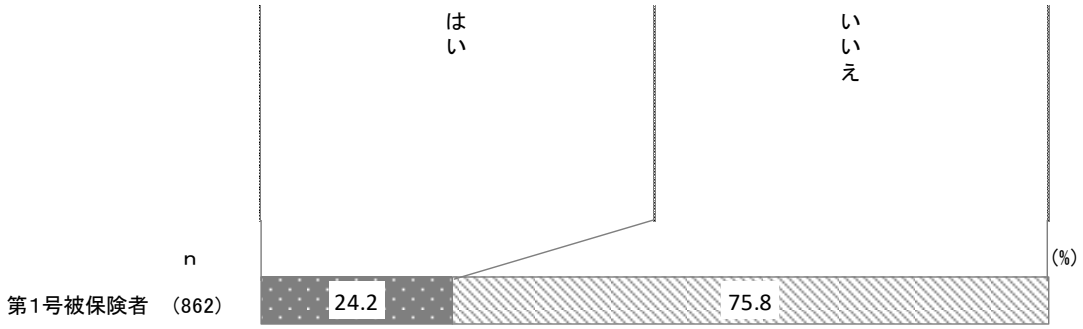
＜図表 151＞　気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある

【第１号被保険者　第７問４】



＜図表 152＞　物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがある

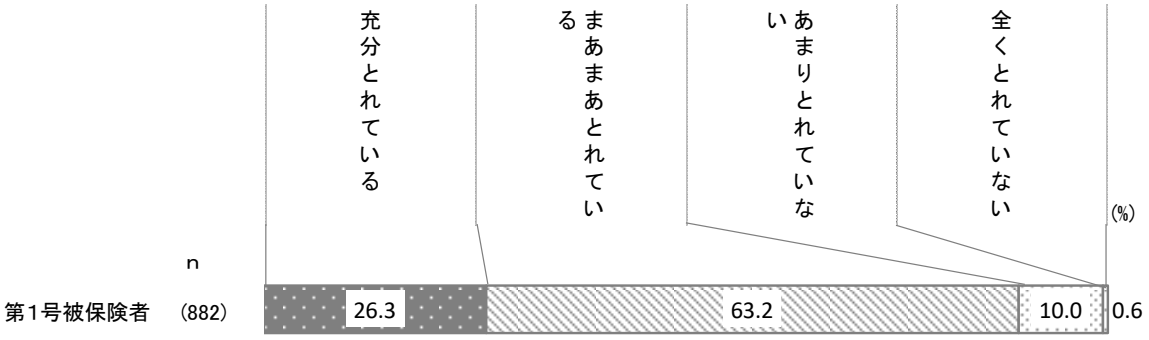
【第１号被保険者　第７問５】



（５）睡眠による休養【第１号被保険者】

睡眠による休養を聞いたところ、「充分とれている」と「まあまあとれている」を合わせた≪とれている≫は 89.5%になっています。

＜図表 153＞　睡眠による休養【第１号被保険者　第７問６】



＜図表 154＞　睡眠による休養（性・年代別/要介護度別/うつ傾向の有無別）

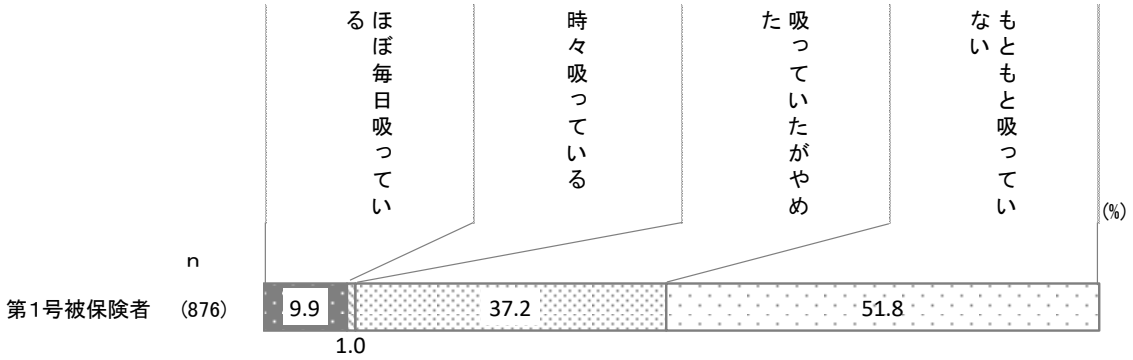
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	充分とれている	まあまあとれている	あまりとれていない	全くとれていない	≪とれている≫	≪とれていない≫
全　体		882	26.3	63.2	10.0	0.6	89.5	10.6
性・年代	男性 65 ～74歳	243	25.9	64.2	9.5	0.4	90.1	9.9
	男性 75 歳以上	187	28.9	56.1	14.4	0.5	85.0	14.9
	女性 65 ～74歳	236	24.6	64.4	9.7	1.3	89.0	11.0
	女性 75 歳以上	216	26.4	66.7	6.9	－	93.1	6.9
介護度	非認定	837	26.5	63.2	9.8	0.5	89.7	10.3
	要支援1・2	45	22.2	62.2	13.3	2.2	84.4	15.5
うつ傾向	うつ傾向あり	371	18.3	64.7	15.9	1.1	83.0	17.0
	うつ傾向なし	511	32.1	62.0	5.7	0.2	94.1	5.9

（６）喫煙状況【第１号被保険者】

喫煙状況を聞いたところ、「もともと吸っていない」が 51.8%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(37.2%)、「ほぼ毎日吸っている」(9.9%) となっています。

＜図表 155＞　喫煙状況【第１号被保険者　第７問７】



＜図表 156＞　喫煙状況（主観的健康感別）

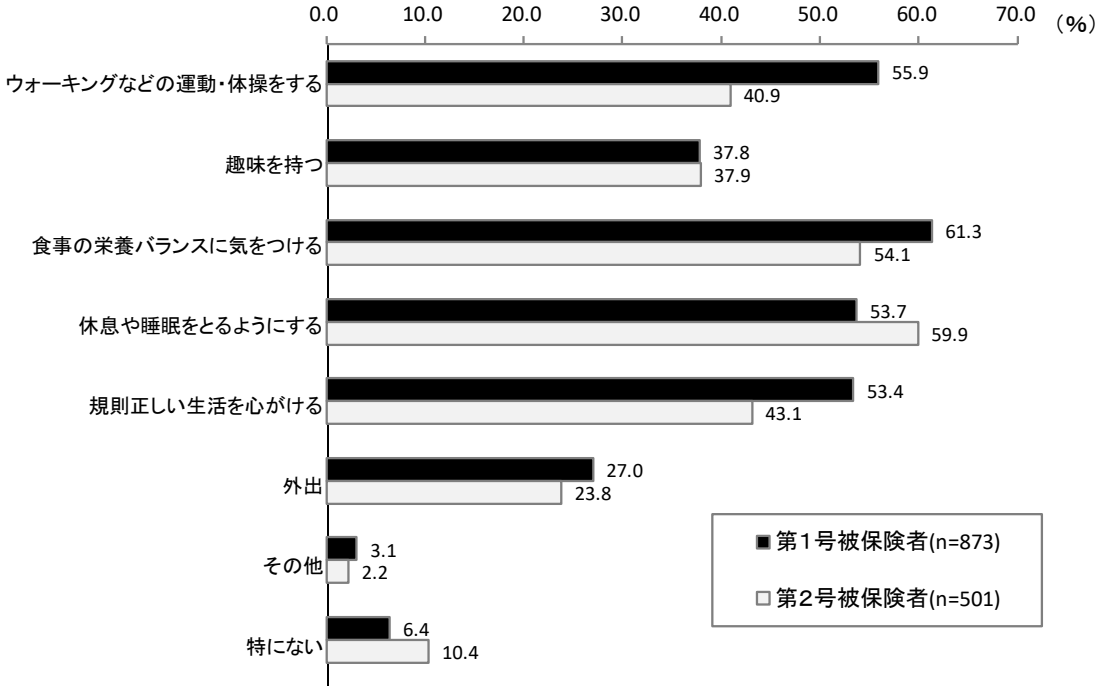
（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない
全　体		876	9.9	1.0	37.2	51.8
主観的健康感	とてもよい	85	20.0	1.2	30.6	48.2
	まあよい	600	8.8	1.0	36.5	53.7
	あまりよくない	155	7.7	1.3	43.2	47.7
	よくない	25	12.0	－	40.0	48.0

（７）健康維持のために心がけていること【第１号被保険者】【第２号被保険者】

健康維持のために心がけていることを聞いたところ、第１号被保険者では「食事の栄養バランスに気をつける」が 61.3%で最も多く、第２号被保険者では「休息や睡眠をとるようにする」が 59.9%で最も多くなっています。主観的健康感別にみると、第１号被保険者では「ウォーキングなどの運動・体操をする」「趣味を持つ」「食事の栄養バランスに気をつける」「休息や睡眠をとるようにする」「外出」は主観的健康感がよいほど多くなっています。

＜図表 157＞　健康維持のために心がけていること（複数回答）
【第１号被保険者　第７問 12】【第２号被保険者　第４問６】



＜図表 158＞　健康維持のために心がけていること（主観的健康感別）

（単位:%）

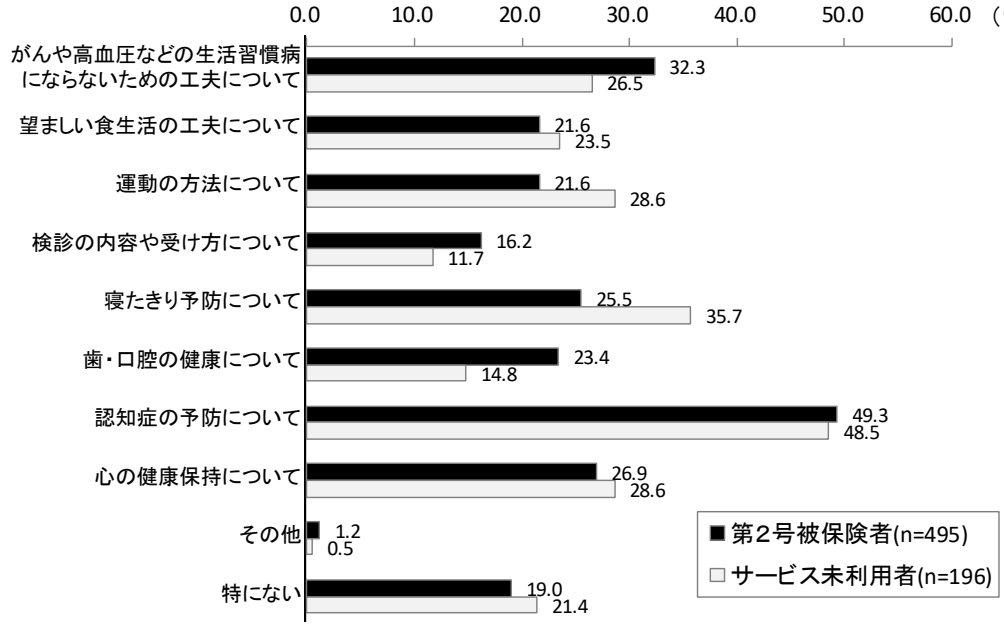
〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	ウォーキングなどの運動・体操をする	趣味を持つ	食事の栄養バランスに気をつける	休息や睡眠をとるようにする	規則正しい生活を心がける	外出	その他	特にない
全　体		873	55.9	37.8	61.3	53.7	53.4	27.0	3.1	6.4
主観的健康感	とてもよい	87	65.5	55.2	64.4	57.5	64.4	37.9	6.9	8.0
	まあよい	596	59.2	37.6	62.6	54.2	54.9	30.0	2.3	4.5
	あまりよくない	154	40.9	30.5	54.5	51.3	42.2	11.7	3.2	11.0
	よくない	25	36.0	20.0	48.0	44.0	44.0	4.0	4.0	20.0

（８）健康について知りたいこと【第２号被保険者】【サービス未利用者】

健康について知りたいことを聞いたところ、第２号被保険者、サービス未利用者ともに「認知症の予防について」が最も多く、それぞれ 49.3%、48.5%となっています。

＜図表 159＞　健康について知りたいこと（複数回答）

【第２号被保険者　第５問１】【サービス未利用者　第９問１】



＜図表 160＞　健康について知りたいこと（主観的健康感別）

（単位：%）

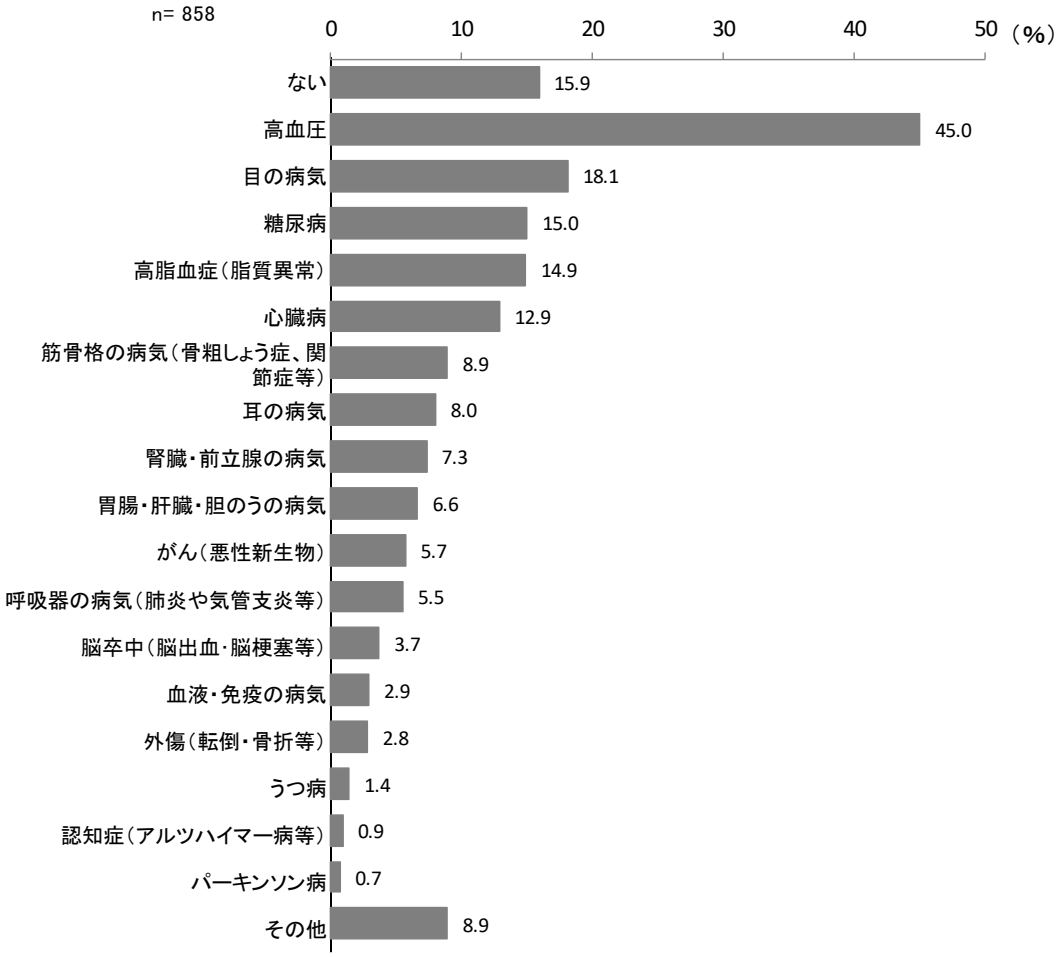
＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について	望ましい食生活の工夫について	運動の方法について	検診の内容や受け方について	寝たきり予防について	歯・口腔の健康について	認知症の予防について	心の健康保持について	その他	特にない
全　体		196	26.5	23.5	28.6	11.7	35.7	14.8	48.5	28.6	0.5	21.4
主観的健康感	とてもよい	3	33.3	66.7	33.3	－	33.3	33.3	33.3	66.7	－	－
	まあよい	101	27.7	18.8	25.7	13.9	37.6	15.8	51.5	30.7	－	23.8
	あまりよくない	66	27.3	27.3	37.9	9.1	33.3	9.1	48.5	24.2	1.5	16.7
	よくない	23	21.7	26.1	17.4	13.0	34.8	21.7	43.5	26.1	－	26.1

８.医療機関との関係

（１）現在治療中、後遺症のある病気【第１号被保険者】

現在治療中、後遺症のある病気を聞いたところ、「高血圧」が 45.0%で最も多く、次いで「目の病気」(18.1%)、「ない」(15.9%) となっています。

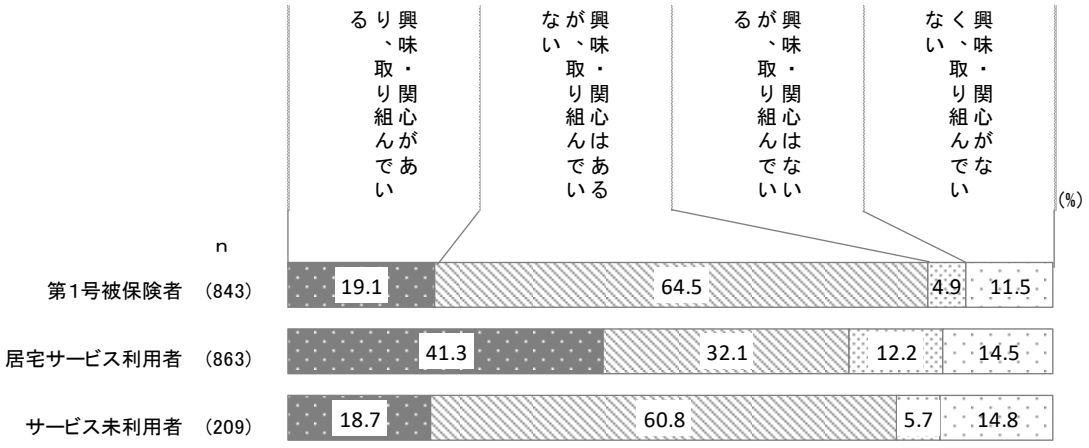
＜図表 161＞　現在治療中、後遺症のある病気（複数回答）【第１号被保険者　第７問８】



（２）介護予防への興味・関心【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

介護予防への興味・関心を聞いたところ、第１号被保険者とサービス未利用者では「興味・関心はあるが、取り組んでいない」がそれぞれ 64.5%、60.8%で最も多くなっています。居宅サービス利用者では「興味・関心があり、取り組んでいる」が 41.3%で最も多くなっています。

＜図表 162＞　介護予防への興味・関心
【第１号被保険者　第７問９】【居宅サービス利用者　第５問４】
【サービス未利用者　第５問４】



＜図表 163＞　介護予防への興味・関心（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		843	19.1	64.5	4.9	11.5
性・年代	男性 65 ～74歳	238	11.3	67.2	5.0	16.4
	男性 75 歳以上	175	21.7	61.7	2.9	13.7
	女性 65 ～74歳	227	18.5	67.0	5.7	8.8
	女性 75 歳以上	203	26.6	61.1	5.4	6.9
家族構成	一人暮らし	144	22.2	62.5	9.0	6.3
	夫婦のみ	458	19.0	66.2	3.3	11.6
	同居その他	231	16.9	63.6	4.8	14.7
地区	江別地区	331	15.1	68.0	4.5	12.4
	野幌地区	296	21.6	62.5	5.7	10.1
	大麻地区	215	21.9	61.9	4.2	12.1
介護度	非認定	801	18.4	65.3	4.5	11.9
	要支援1・2	42	33.3	50.0	11.9	4.8

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		863	41.3	32.1	12.2	14.5
性・年代	男性 40 ～64歳	4	50.0	－	－	50.0
	男性 65 ～74歳	48	41.7	31.3	10.4	16.7
	男性 75 歳以上	217	41.9	31.3	14.3	12.4
	女性 40 ～64歳	10	50.0	30.0	－	20.0
	女性 65 ～74歳	53	43.4	30.2	17.0	9.4
	女性 75 歳以上	501	39.5	32.9	11.6	16.0
家族構成	一人暮らし	252	40.9	32.9	12.7	13.5
	夫婦のみ	251	46.2	33.9	9.6	10.4
	同居その他	335	36.1	30.7	13.7	19.4
地区	江別地区	305	40.7	29.8	13.8	15.7
	野幌地区	264	42.0	31.1	12.1	14.8
	大麻地区	241	41.9	35.3	11.2	11.6
介護度	要支援1・2	396	49.7	36.4	8.8	5.1
	要介護1・2	317	36.9	29.7	13.9	19.6
	要介護3～5	112	24.1	22.3	22.3	31.3

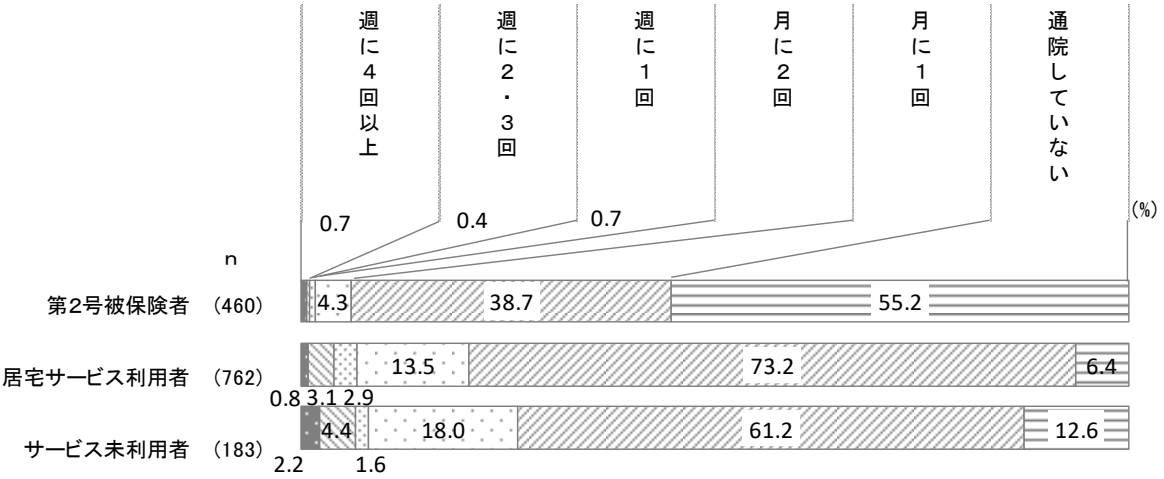
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	興味・関心があり、取り組んでいる	興味・関心はあるが、取り組んでいない	興味・関心はないが、取り組んでいる	興味・関心がなく、取り組んでいない
全　体		209	18.7	60.8	5.7	14.8
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	16.7	50.0	－	33.3
	男性 75 歳以上	61	26.2	55.7	4.9	13.1
	女性 40 ～64歳	1	－	100.0	－	－
	女性 65 ～74歳	11	9.1	81.8	－	9.1
	女性 75 歳以上	106	15.1	61.3	6.6	17.0
家族構成	一人暮らし	61	13.1	67.2	9.8	9.8
	夫婦のみ	78	24.4	61.5	3.8	10.3
	同居その他	63	14.3	54.0	4.8	27.0
地区	江別地区	68	16.2	66.2	5.9	11.8
	野幌地区	63	14.3	60.3	6.3	19.0
	大麻地区	64	26.6	57.8	6.3	9.4
介護度	要支援1・2	124	21.8	65.3	5.6	7.3
	要介護1・2	35	17.1	54.3	5.7	22.9
	要介護3～5	18	5.6	27.8	－	66.7

（３）通院による医師の診療頻度【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

通院による医師の診療頻度を聞いたところ、第２号被保険者では「通院していない」が 55.2%で最も多く、居宅サービス利用者とサービス未利用者では「月に１回」がそれぞれ 73.2%、61.2%で最も多くなっています。

＜図表 164＞　通院による医師の診療頻度
【第２号被保険者　第４問２】【居宅サービス利用者　第５問６】
【サービス未利用者　第５問６】

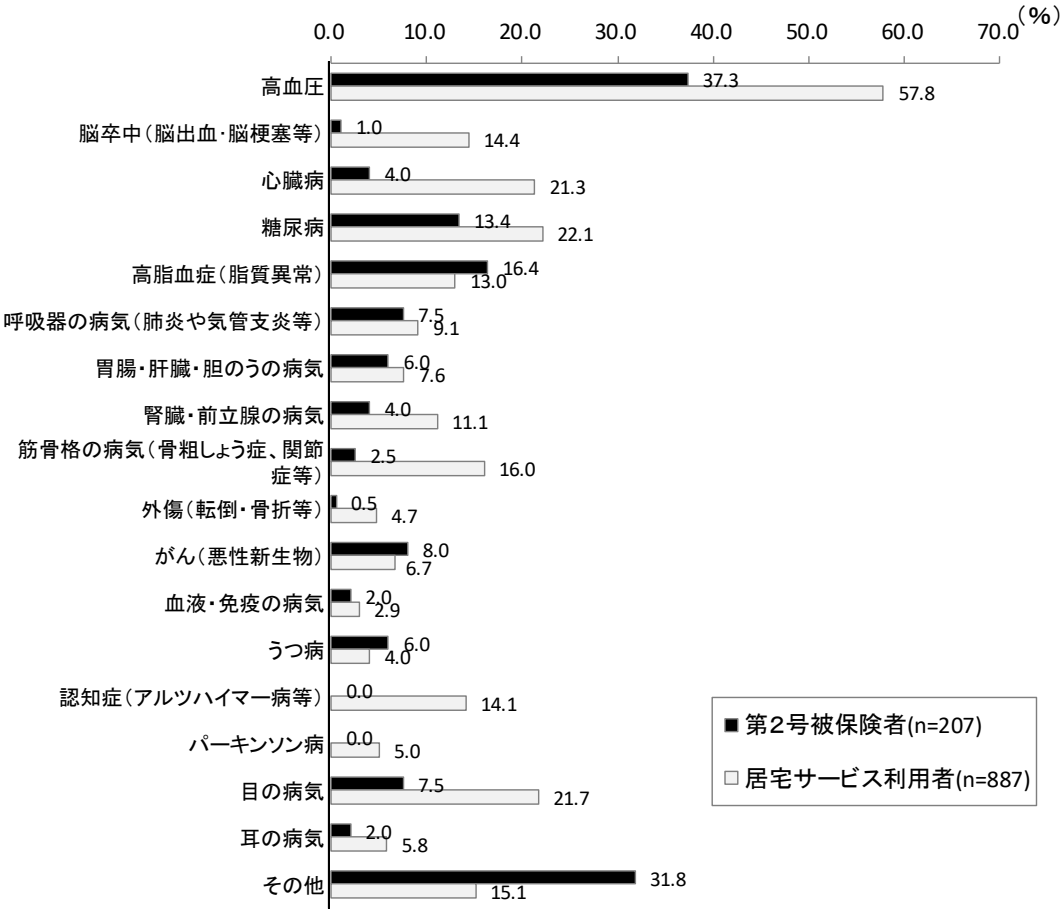


（４）通院している原因【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】

通院による医師の診療頻度で「通院していない」以外の回答をした人に、通院している原因を聞いたところ、第２号被保険者、居宅サービス利用者とも「高血圧」が最も多く、それぞれ 37.3%、57.8%となっています。

＜図表 165＞　通院している原因（複数回答）

【第２号被保険者　第４問２－１】【居宅サービス利用者　第５問６－１】



（５）自力で通院できなくなった場合の対処

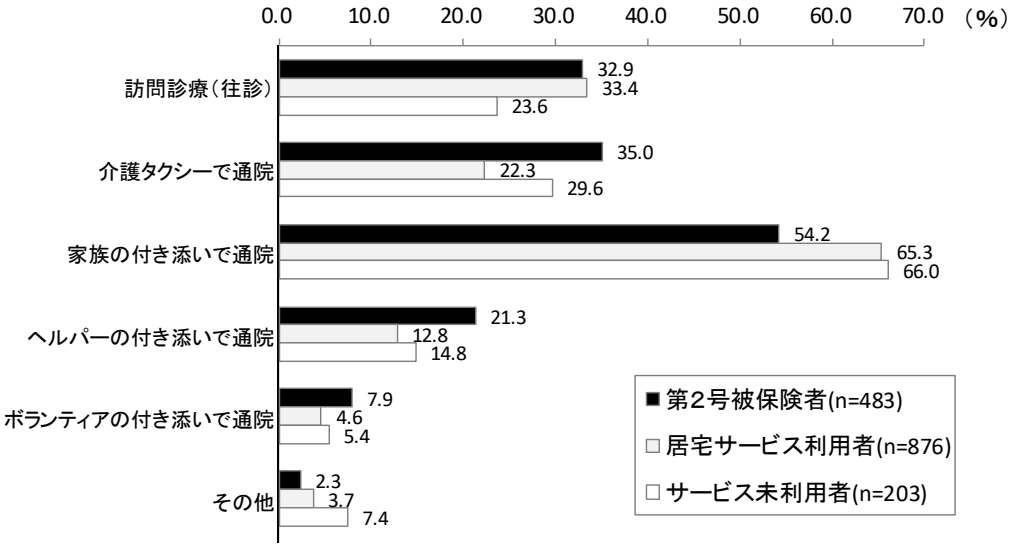
【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

自力で通院できなくなった場合の対処を聞いたところ、全ての調査において「家族の付き添いで通院」が最も多く、第２号被保険者で 54.2%、居宅サービス利用者で 65.3%、サービス未利用者で 66.0%となっています。

＜図表 166＞　自力で通院できなくなった場合の対処（複数回答）

【第２号被保険者　第４問３】【居宅サービス利用者　第５問７】

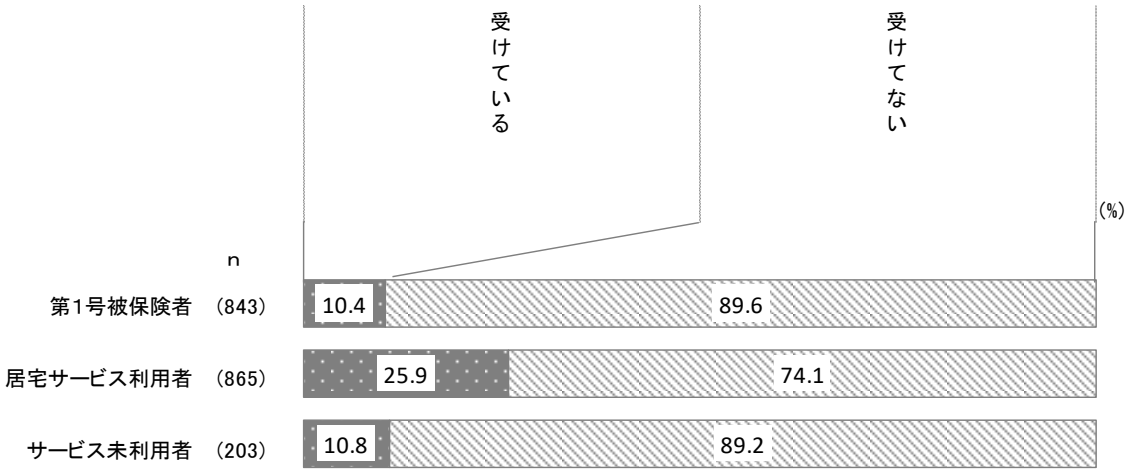
【サービス未利用者　第５問７】



（６）訪問診療の受診状況【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

訪問診療の受診状況を聞いたところ、第１号被保険者では「受けている」が 10.4%、居宅サービス利用者では 25.9%、サービス未利用者では 10.8%となっています。

＜図表 167＞　訪問診療の受診状況
【第１号被保険者　第７問 11】【居宅サービス利用者　第５問 10】
【サービス未利用者　第５問 10】



＜図表 168＞　訪問診療の受診状況（地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	受けている	受けてない
全　体		843	10.4	89.6
地区	江別地区	337	12.2	87.8
	野幌地区	297	10.1	89.9
	大麻地区	208	8.2	91.8
介護度	非認定	801	10.1	89.9
	要支援1・2	42	16.7	83.3

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	受けている	受けてない
全　体		865	25.9	74.1
地区	江別地区	315	24.4	75.6
	野幌地区	258	23.6	76.4
	大麻地区	238	29.4	70.6
介護度	要支援1・2	397	17.9	82.1
	要介護1・2	313	24.9	75.1
	要介護3～5	118	56.8	43.2

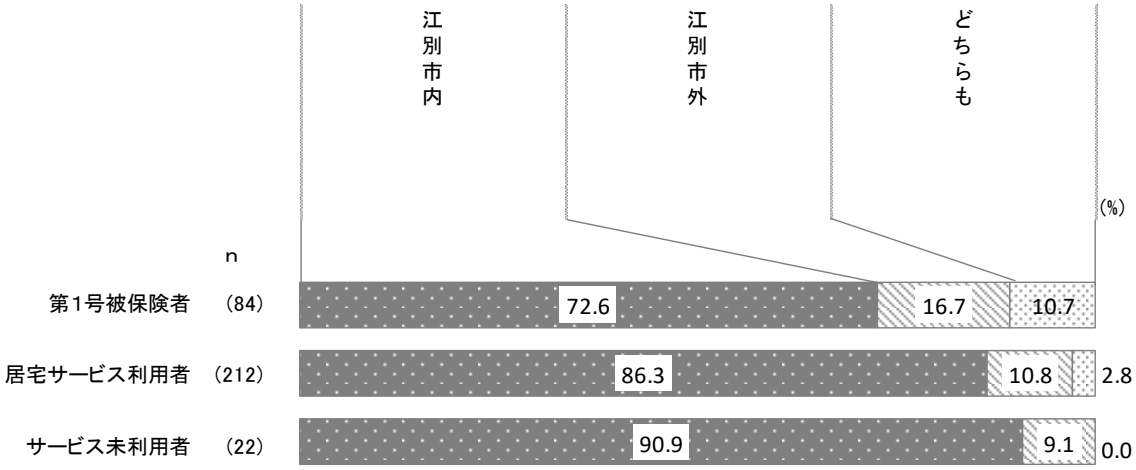
（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	受けている	受けてない
全　体		203	10.8	89.2
地区	江別地区	65	9.2	90.8
	野幌地区	65	13.8	86.2
	大麻地区	59	6.8	93.2
介護度	要支援1・2	120	1.7	98.3
	要介護1・2	31	25.8	74.2
	要介護3～5	19	21.1	78.9

（７）訪問診療の利用先【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

訪問診療の受診状況で「受けている」と回答した人に、訪問診療の利用先を聞いたところ、全ての調査において「江別市内」が最も多く、第１号被保険者で 72.6%、居宅サービス利用者で 86.3%、サービス未利用者で 90.9%となっています。

＜図表 169＞　訪問診療の利用先
【第１号被保険者　第７問 11-1】【居宅サービス利用者　第５問 10-1】
【サービス未利用者　第５問 10-1】



＜図表 170＞　訪問診療の利用先（地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	江別市内	江別市外	どちらも
全　体		84	72.6	16.7	10.7
地区	江別地区	39	82.1	12.8	5.1
	野幌地区	29	72.4	13.8	13.8
	大麻地区	16	50.0	31.3	18.8
介護度	非認定	78	70.5	17.9	11.5
	要支援1・2	6	100.0	－	－

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	江別市内	江別市外	どちらも
全　体		212	86.3	10.8	2.8
地区	江別地区	76	92.1	3.9	3.9
	野幌地区	58	94.8	5.2	－
	大麻地区	64	68.8	26.6	4.7
介護度	要支援1・2	64	85.9	7.8	6.3
	要介護1・2	76	85.5	14.5	－
	要介護3～5	65	86.2	10.8	3.1

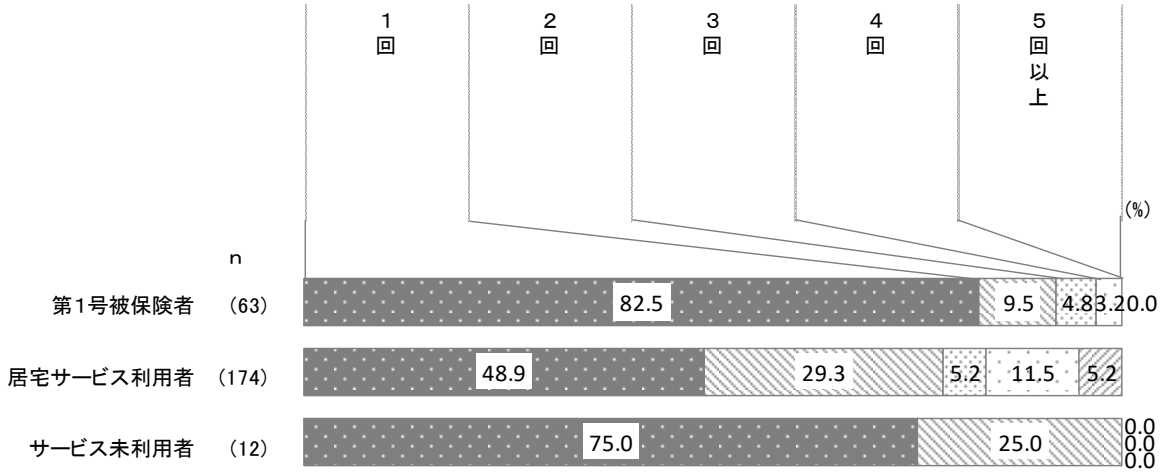
（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	江別市内	江別市外	どちらも
全　体		22	90.9	9.1	－
地区	江別地区	6	100.0	－	－
	野幌地区	9	77.8	22.2	－
	大麻地区	4	100.0	－	－
介護度	要支援1・2	2	100.0	－	－
	要介護1・2	8	87.5	12.5	－
	要介護3～5	4	75.0	25.0	－

（８）１か月間の訪問診療頻度【第１号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

訪問診療の受診状況で「受けている」と回答した人に、１か月間の訪問診療頻度を聞いたところ、全ての調査において「１回」が最も多く、第１号被保険者で 82.5%、居宅サービス利用者で 48.9%、サービス未利用者で 75.0%となっています。

＜図表 171＞　１か月間の訪問診療頻度
【第１号被保険者　第７問 11-2】【居宅サービス利用者　第５問 10-2】
【サービス未利用者　第５問 10-2】

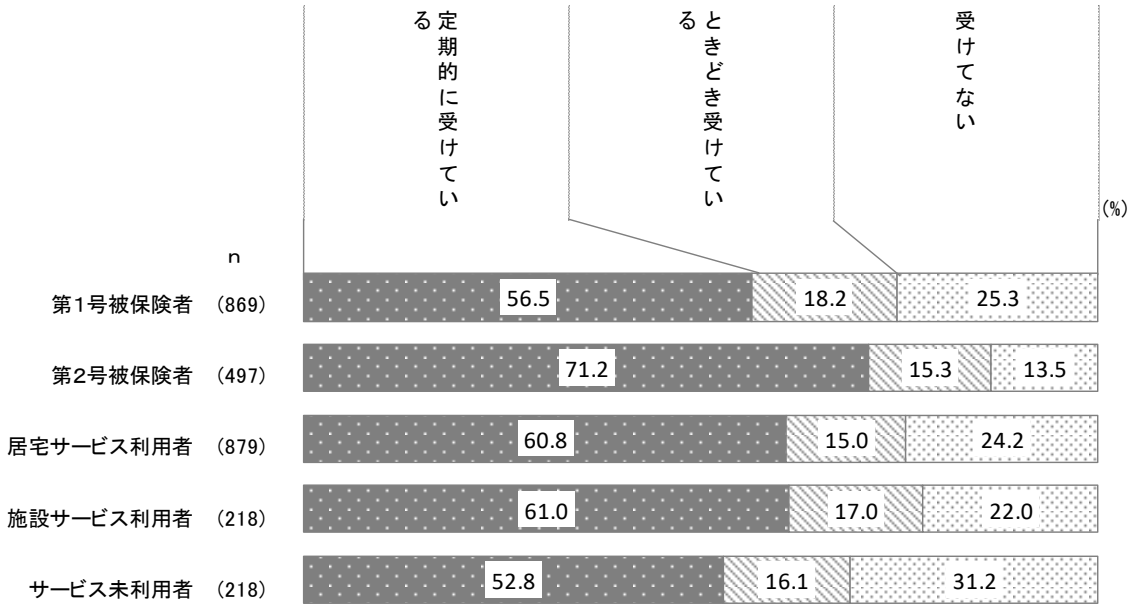


（９）健診の受診状況

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

健診の受診状況を聞いたところ、全ての調査において「定期的に受けている」が最も多く、第１号被保険者で 56.5%、第２号被保険者で 71.2%、居宅サービス利用者で 60.8%、施設サービス利用者で 61.0%、サービス未利用者で 52.8%となっています。

＜図表 172＞　健診の受診状況
【第１号被保険者　第７問 10】【第２号被保険者　第４問１】
【居宅サービス利用者　第５問５】【施設サービス利用者　第３問３】
【サービス未利用者　第５問５】



＜図表 173＞　健診の受診状況（性・年代別/地区別/要介護度別/主観的健康感別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		869	56.5	18.2	25.3
性・年代	男性 65 ～74歳	241	62.2	16.6	21.2
	男性 75 歳以上	184	51.6	19.6	28.8
	女性 65 ～74歳	233	57.1	21.0	21.9
	女性 75 歳以上	211	53.6	15.6	30.8
地区	江別地区	344	60.5	14.0	25.6
	野幌地区	303	51.8	22.4	25.7
	大麻地区	221	57.0	18.6	24.4
介護度	非認定	826	57.0	18.3	24.7
	要支援1・2	43	46.5	16.3	37.2
主観的健康感	とてもよい	87	59.8	16.1	24.1
	まあよい	594	57.6	19.0	23.4
	あまりよくない	154	49.4	19.5	31.2
	よくない	25	60.0	－	40.0

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		497	71.2	15.3	13.5
性・年代	男性 40 代	44	75.0	11.4	13.6
	男性 50 代	97	81.4	9.3	9.3
	男性 60 歳以上	58	81.0	8.6	10.3
	女性 40 代	95	68.4	20.0	11.6
	女性 50 代	122	64.8	18.9	16.4
	女性 60 歳以上	72	63.9	16.7	19.4
地区	江別地区	176	71.0	13.6	15.3
	野幌地区	161	70.8	16.8	12.4
	大麻地区	107	78.5	11.2	10.3

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		879	60.8	15.0	24.2
性・年代	男性 40 ～64歳	5	40.0	40.0	20.0
	男性 65 ～74歳	49	57.1	18.4	24.5
	男性 75 歳以上	217	63.6	11.1	25.3
	女性 40 ～64歳	10	80.0	10.0	10.0
	女性 65 ～74歳	55	60.0	9.1	30.9
	女性 75 歳以上	510	60.6	15.7	23.7
地区	江別地区	312	61.2	17.6	21.2
	野幌地区	268	61.9	13.1	25.0
	大麻地区	243	56.8	14.0	29.2
介護度	要支援1・2	407	65.1	14.3	20.6
	要介護1・2	314	58.6	16.2	25.2
	要介護3～5	117	55.6	12.0	32.5
主観的健康感	とてもよい	34	70.6	11.8	17.6
	まあよい	519	62.0	14.3	23.7
	あまりよくない	247	58.7	19.0	22.3
	よくない	67	50.7	7.5	41.8

（単位:%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		218	61.0	17.0	22.0
性・年代	男性 40 ～64歳	1	－	－	100.0
	男性 65 ～74歳	2	50.0	－	50.0
	男性 75 歳以上	48	62.5	25.0	12.5
	女性 40 ～64歳	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	1	－	100.0	－
	女性 75 歳以上	163	61.3	14.7	23.9
介護度	要介護1・2	43	51.2	25.6	23.3
	要介護3～5	168	63.7	13.7	22.6
主観的健康感	とてもよい	3	66.7	33.3	－
	まあよい	122	63.1	17.2	19.7
	あまりよくない	68	52.9	19.1	27.9
	よくない	22	68.2	9.1	22.7

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	定期的に受けている	ときどき受けている	受けてない
全　体		218	52.8	16.1	31.2
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	53.8	15.4	30.8
	男性 75 歳以上	63	49.2	15.9	34.9
	女性 40 ～64歳	1	100.0	－	－
	女性 65 ～74歳	11	54.5	9.1	36.4
	女性 75 歳以上	112	55.4	17.0	27.7
地区	江別地区	72	63.9	13.9	22.2
	野幌地区	65	44.6	16.9	38.5
	大麻地区	65	55.4	15.4	29.2
介護度	要支援1・2	126	50.0	21.4	28.6
	要介護1・2	36	58.3	11.1	30.6
	要介護3～5	18	55.6	5.6	38.9
主観的健康感	とてもよい	3	33.3	66.7	－
	まあよい	117	50.4	15.4	34.2
	あまりよくない	68	55.9	19.1	25.0
	よくない	27	63.0	3.7	33.3

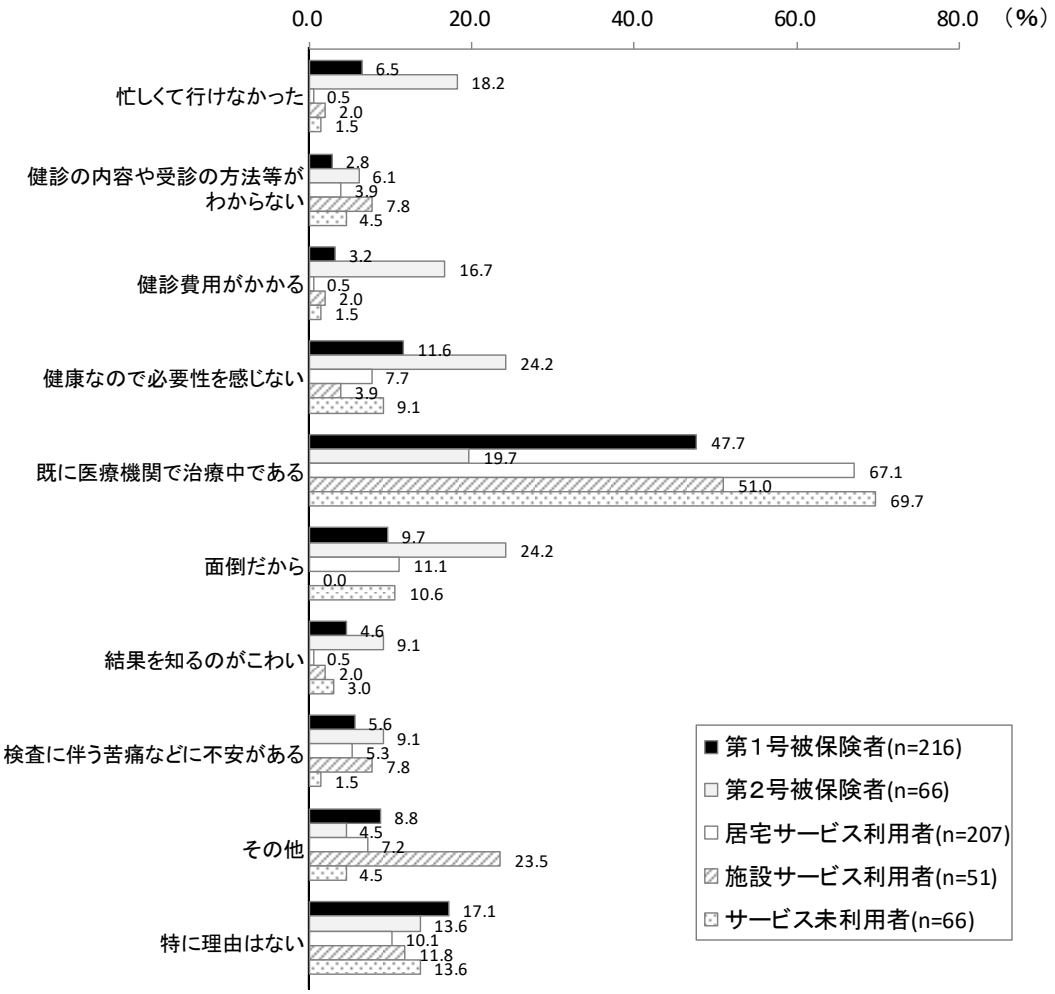
（10）健診を受けていない理由

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

健診の受診状況で「受けていない」と回答した人に、健診を受けていない理由を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「既に医療機関で治療中である」が最も多く、それぞれ 47.7%、67.1%、51.0%、69.7%となっています。第２号被保険者では「健康なので必要性を感じない」「面倒だから」がそれぞれ 24.2%で最も多くなっています。

＜図表 174＞　健診を受けていない理由（複数回答）

【第１号被保険者　第７問 10-1】【第２号被保険者　第４問１－１】
【居宅サービス利用者　第５問５－１】【施設サービス利用者　第３問３－１】
【サービス未利用者　第５問５－１】



＜図表 175＞　健診を受けていない理由（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全 体		216	6.5	2.8	3.2	11.6	47.7	9.7	4.6	5.6	8.8	17.1
性・年代	男性 65 ～74歳	51	2.0	5.9	7.8	11.8	43.1	15.7	7.8	3.9	3.9	17.6
	男性 75 歳以上	52	5.8	1.9	－	13.5	63.5	3.8	3.8	1.9	5.8	7.7
	女性 65 ～74歳	49	12.2	－	2.0	12.2	38.8	10.2	－	8.2	14.3	22.4
	女性 75 歳以上	64	6.3	3.1	3.1	9.4	45.3	9.4	6.3	7.8	10.9	20.3
家族構成	一人暮らし	40	5.0	2.5	2.5	7.5	45.0	10.0	7.5	5.0	20.0	17.5
	夫婦のみ	98	6.1	－	2.0	15.3	49.0	9.2	4.1	5.1	3.1	18.4
	同居その他	76	7.9	6.6	5.3	9.2	47.4	10.5	3.9	6.6	10.5	14.5
地区	江別地区	86	8.1	2.3	1.2	12.8	45.3	10.5	4.7	3.5	9.3	17.4
	野幌地区	77	6.5	3.9	5.2	11.7	42.9	10.4	6.5	10.4	9.1	16.9
	大麻地区	53	3.8	1.9	3.8	9.4	58.5	7.5	1.9	1.9	7.5	17.0
介護度	非認定	200	6.0	3.0	3.5	12.5	46.0	9.5	5.0	6.0	9.0	17.5
	要支援1・2	16	12.5	－	－	－	68.8	12.5	－	－	6.3	12.5

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全 体		66	18.2	6.1	16.7	24.2	19.7	24.2	9.1	9.1	4.5	13.6
性・年代	男性 40 代	6	16.7	16.7	16.7	50.0	－	16.7	－	－	－	16.7
	男性 50 代	9	22.2	11.1	33.3	33.3	22.2	22.2	－	－	－	－
	男性 60 歳以上	5	20.0	－	－	－	40.0	20.0	－	－	20.0	－
	女性 40 代	11	27.3	18.2	27.3	27.3	18.2	36.4	－	－	－	18.2
	女性 50 代	20	20.0	－	10.0	10.0	15.0	25.0	15.0	10.0	10.0	20.0
	女性 60 歳以上	14	7.1	－	14.3	35.7	28.6	21.4	21.4	28.6	－	7.1
家族構成	一人暮らし	5	20.0	－	20.0	20.0	－	－	－	－	20.0	20.0
	夫婦のみ	19	10.5	5.3	5.3	26.3	5.3	31.6	15.8	21.1	－	21.1
	同居その他	38	18.4	7.9	21.1	23.7	28.9	26.3	7.9	5.3	5.3	7.9
地区	江別地区	26	26.9	－	19.2	19.2	23.1	23.1	7.7	7.7	3.8	11.5
	野幌地区	20	5.0	－	10.0	30.0	30.0	25.0	10.0	10.0	5.0	15.0
	大麻地区	11	18.2	9.1	18.2	45.5	－	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		207	0.5	3.9	0.5	7.7	67.1	11.1	0.5	5.3	7.2	10.1
性・年代	男性 40 ～64歳	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
	男性 65 ～74歳	12	－	8.3	－	－	75.0	8.3	－	－	8.3	8.3
	男性 75 歳以上	53	－	1.9	1.9	11.3	67.9	5.7	－	1.9	5.7	7.5
	女性 40 ～64歳	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	17	5.9	11.8	－	－	64.7	35.3	－	23.5	11.8	－
	女性 75 歳以上	118	－	3.4	－	6.8	68.6	10.2	0.8	5.1	7.6	11.9
家族構成	一人暮らし	59	－	5.1	－	10.2	66.1	8.5	－	3.4	5.1	8.5
	夫婦のみ	66	1.5	4.5	1.5	3.0	71.2	10.6	1.5	4.5	6.1	10.6
	同居その他	78	－	2.6	－	9.0	67.9	12.8	－	7.7	9.0	9.0
地区	江別地区	65	1.5	－	－	3.1	80.0	9.2	－	4.6	3.1	13.8
	野幌地区	65	－	3.1	1.5	10.8	55.4	12.3	－	7.7	12.3	10.8
	大麻地区	69	－	7.2	－	10.1	65.2	10.1	1.4	4.3	7.2	5.8
介護度	要支援1・2	80	1.3	2.5	－	6.3	68.8	12.5	－	6.3	7.5	12.5
	要介護1・2	78	－	1.3	1.3	11.5	73.1	10.3	－	5.1	1.3	7.7
	要介護3～5	38	－	10.5	－	－	63.2	7.9	－	5.3	21.1	7.9

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		51	2.0	7.8	2.0	3.9	51.0	－	2.0	7.8	23.5	11.8
性・年代	男性 40 代	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
	男性 50 代	1	－	－	－	－	－	－	100.0	100.0	－	－
	男性 60 歳以上	7	－	14.3	－	－	57.1	－	－	－	42.9	－
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 60 歳以上	39	2.6	7.7	2.6	5.1	48.7	－	－	7.7	23.1	12.8
介護度	要介護1・2	11	9.1	36.4	9.1	－	45.5	－	－	9.1	9.1	18.2
	要介護3～5	38	－	－	－	5.3	50.0	－	2.6	7.9	28.9	10.5

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	忙しくて行けなかった	健診の内容や受診の方法等がわからない	健診費用がかかる	健康なので必要性を感じない	既に医療機関で治療中である	面倒だから	結果を知るのがこわい	検査に伴う苦痛などに不安がある	その他	特に理由はない
全　体		66	1.5	4.5	1.5	9.1	69.7	10.6	3.0	1.5	4.5	13.6
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	4	－	－	25.0	－	100.0	－	－	－	－	－
	男性 75 歳以上	21	－	－	－	4.8	66.7	9.5	4.8	－	4.8	19.0
	女性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	4	－	－	－	25.0	75.0	25.0	－	－	25.0	－
	女性 75 歳以上	30	3.3	3.3	－	10.0	73.3	13.3	－	3.3	3.3	16.7
家族構成	一人暮らし	23	4.3	8.7	－	8.7	60.9	4.3	4.3	4.3	4.3	17.4
	夫婦のみ	21	－	4.8	4.8	19.0	71.4	14.3	－	－	－	9.5
	同居その他	20	－	－	－	－	80.0	15.0	－	－	10.0	15.0
地区	江別地区	15	－	6.7	－	20.0	66.7	6.7	－	6.7	－	13.3
	野幌地区	25	－	－	4.0	4.0	68.0	8.0	4.0	－	8.0	20.0
	大麻地区	19	5.3	10.5	－	－	73.7	21.1	－	－	5.3	10.5
介護度	要支援1・2	35	2.9	－	－	14.3	74.3	14.3	－	2.9	2.9	11.4
	要介護1・2	11	－	－	9.1	－	81.8	18.2	－	－	－	18.2
	要介護3～5	7	－	－	－	－	85.7	－	－	－	28.6	－

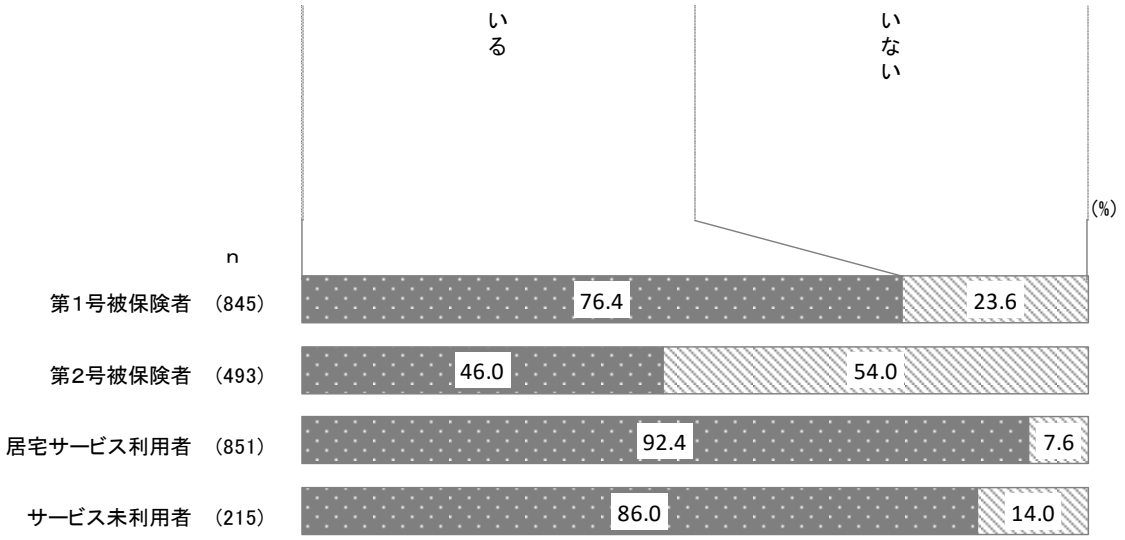
（11）かかりつけ医の有無

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

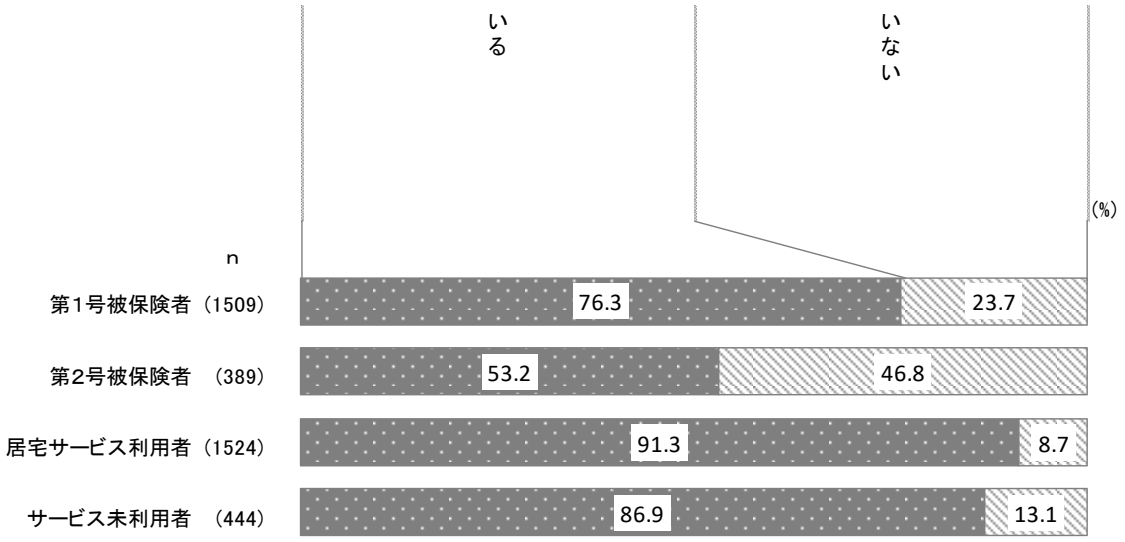
かかりつけ医の有無を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「いる」が多く、それぞれ 76.4％、92.4％、86.0％となっています。第２号被保険者では「いない」が 54.0％となっています。

＜図表 176＞　かかりつけ医の有無

【第１号被保険者　第 10 問１】【第２号被保険者　第４問４】
【居宅サービス利用者　第５問８】【サービス未利用者　第５問８】



＜図表 177＞　【参考】前回調査（令和２年度）



（12）かかりつけ医の必要性

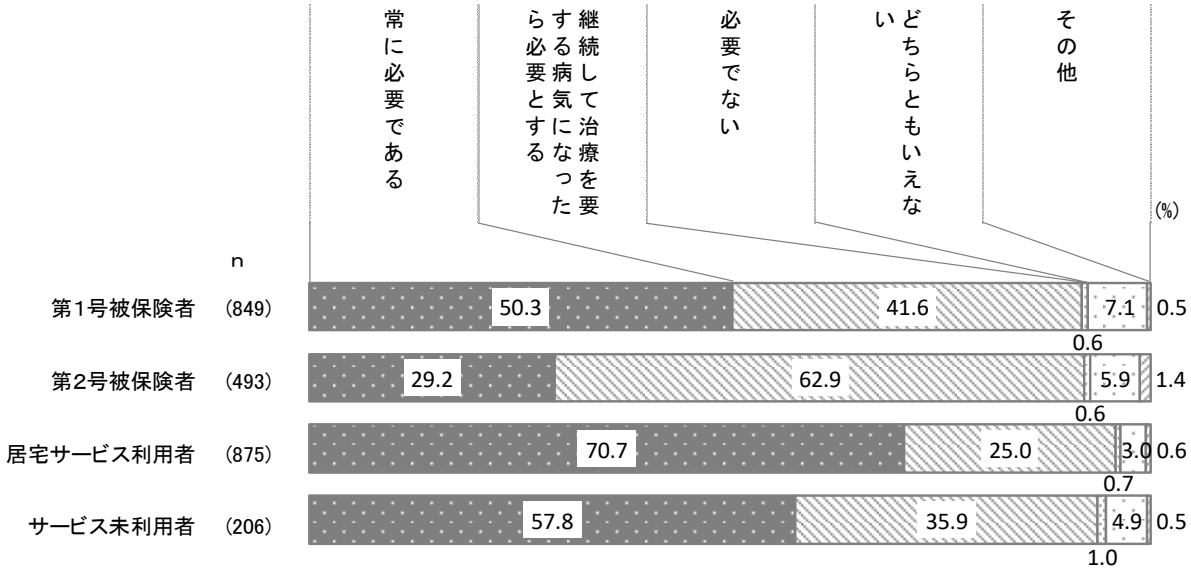
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

かかりつけ医の必要性を聞いたところ、第１号被保険者、居宅サービス利用者、サービス未利用者では「常に必要である」が最も多く、それぞれ 50.3%、70.7%、57.8%となっています。第２号被保険者では「継続して治療を要する病気になったら必要とする」が 62.9%で最も多くなっています。

＜図表 178＞　かかりつけ医の必要性

【第１号被保険者　第 10 問２】【第２号被保険者　第４問５】

【居宅サービス利用者　第５問９】【サービス未利用者　第５問９】



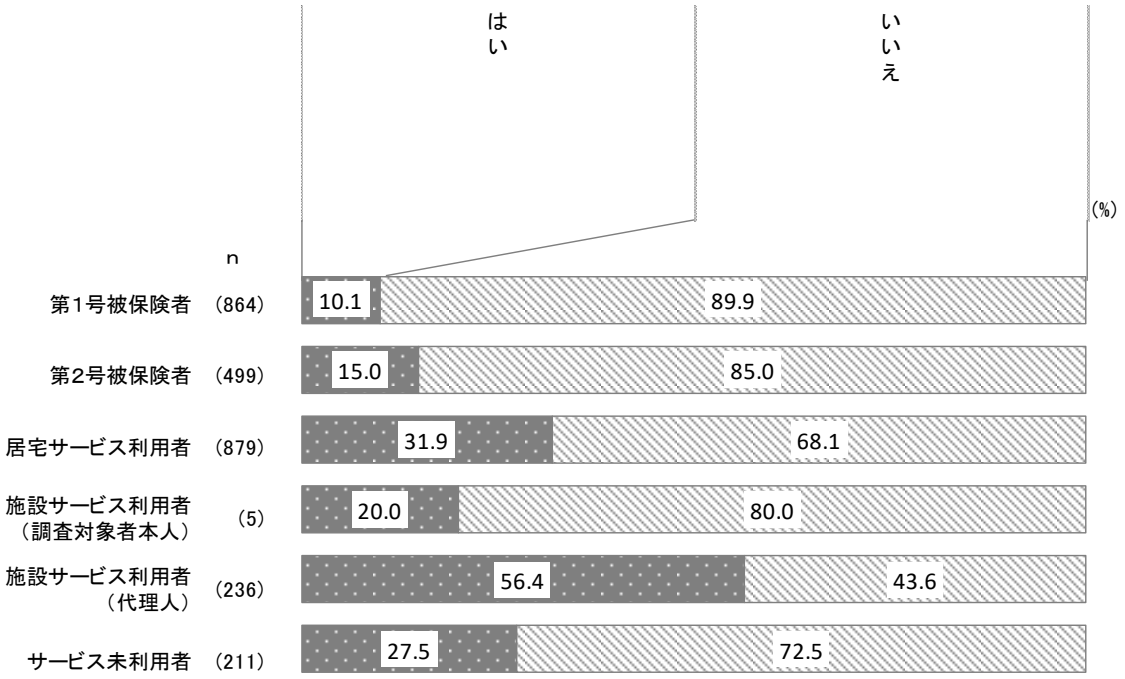
９.認知症の意識や支援等

（１）自身または家族に認知症の症状がある人の有無

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

自身または家族に認知症の症状がある人の有無を聞いたところ、「はい」が第１号被保険者で10.1%、第２号被保険者で15.0%、居宅サービス利用者で31.9%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で20.0%、施設サービス利用者（代理人）で56.4%、サービス未利用者で27.5%となっています。

＜図表179＞　自身または家族に認知症の症状がある
【第１号被保険者　第８問１】【第２号被保険者　第８問１】
【居宅サービス利用者　第７問１】【施設サービス利用者　第４問１・６】
【サービス未利用者　第６問１】



＜図表 180＞　自身または家族に認知症の症状がある（性・年代別/地区別）

（単位:%）

＜1号被保険者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		864	10.1	89.9
性・年代	男性 65 ～74歳	243	12.8	87.2
	男性 75 歳以上	185	11.4	88.6
	女性 65 ～74歳	231	9.1	90.9
	女性 75 歳以上	205	6.8	93.2
地区	江別地区	342	12.6	87.4
	野幌地区	307	8.1	91.9
	大麻地区	214	8.9	91.1

（単位:%）

＜2号被保険者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		499	15.0	85.0
性・年代	男性 40 代	44	9.1	90.9
	男性 50 代	97	12.4	87.6
	男性 60 歳以上	59	13.6	86.4
	女性 40 代	96	7.3	92.7
	女性 50 代	122	23.8	76.2
	女性 60 歳以上	73	19.2	80.8
地区	江別地区	176	14.2	85.8
	野幌地区	160	20.6	79.4
	大麻地区	110	8.2	91.8

（単位:%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		879	31.9	68.1
性・年代	男性 40 ～64歳	6	16.7	83.3
	男性 65 ～74歳	51	31.4	68.6
	男性 75 歳以上	214	31.3	68.7
	女性 40 ～64歳	11	18.2	81.8
	女性 65 ～74歳	59	25.4	74.6
	女性 75 歳以上	505	34.7	65.3
地区	江別地区	315	31.7	68.3
	野幌地区	270	34.1	65.9
	大麻地区	240	28.8	71.3

【調査対象者本人】　（単位:%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		5	20.0	80.0
性・年代	男性 40 代	−	−	−
	男性 50 代	−	−	−
	男性 60 歳以上	2	−	100.0
	女性 40 代	−	−	−
	女性 50 代	−	−	−
	女性 60 歳以上	2	−	100.0

【代理人】　（単位:%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		236	56.4	43.6
性・年代	男性 40 代	1	−	100.0
	男性 50 代	2	−	100.0
	男性 60 歳以上	53	54.7	45.3
	女性 40 代	−	−	−
	女性 50 代	1	−	100.0
	女性 60 歳以上	175	57.1	42.9

（単位:%）

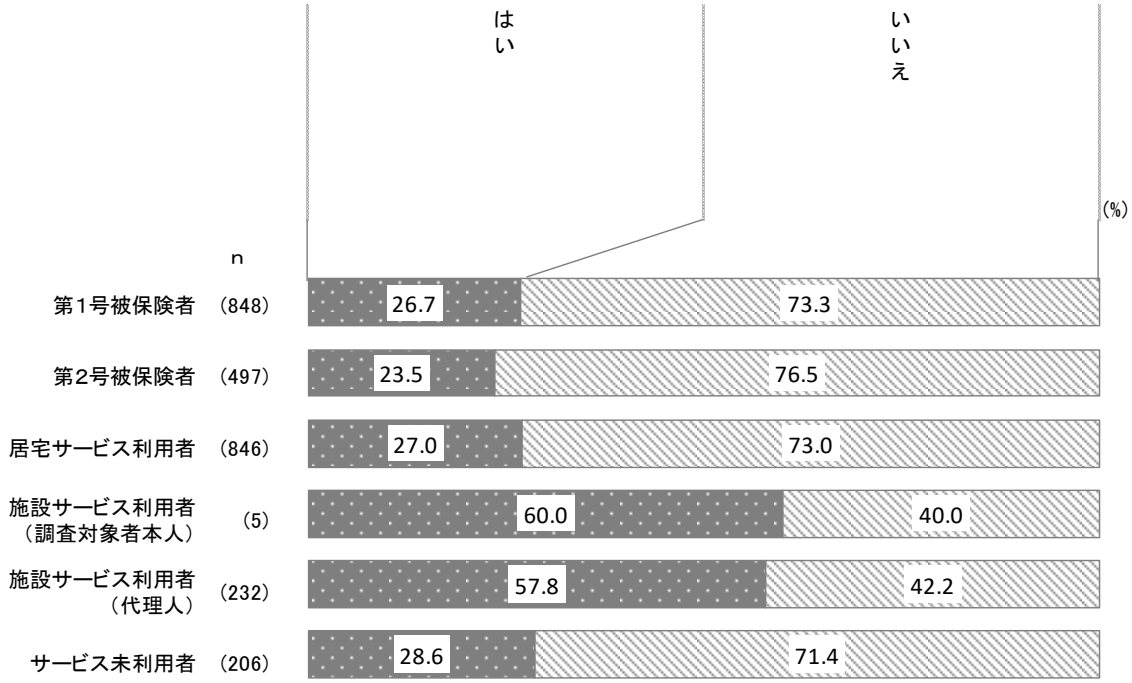
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		211	27.5	72.5
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−
	男性 65 ～74歳	13	15.4	84.6
	男性 75 歳以上	63	23.8	76.2
	女性 40 ～64歳	1	−	100.0
	女性 65 ～74歳	11	36.4	63.6
	女性 75 歳以上	106	31.1	68.9
地区	江別地区	70	22.9	77.1
	野幌地区	61	32.8	67.2
	大麻地区	65	26.2	73.8

（２）認知症に関する相談窓口の認知度

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

認知症に関する相談窓口の認知度を聞いたところ、「はい」が第１号被保険者で 26.7%、第２号被保険者で 23.5%、居宅サービス利用者で 27.0%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で 60.0%、施設サービス利用者（代理人）で 57.8%、サービス未利用者で 28.6%となっています。

＜図表 181＞　認知症に関する相談窓口の認知度
【第１号被保険者　第８問２】【第２号被保険者　第８問２】
【居宅サービス利用者　第７問２】【施設サービス利用者　第４問２・７】
【サービス未利用者　第６問２】



＜図表 182＞　認知症に関する相談窓口の認知度（性・年代別/地区別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		848	26.7	73.3
性・年代	男性 65 ～74歳	240	24.2	75.8
	男性 75 歳以上	184	23.4	76.6
	女性 65 ～74歳	225	32.0	68.0
	女性 75 歳以上	199	26.6	73.4
地区	江別地区	341	25.5	74.5
	野幌地区	298	28.9	71.1
	大麻地区	208	25.5	74.5

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		497	23.5	76.5
性・年代	男性 40 代	44	18.2	81.8
	男性 50 代	97	22.7	77.3
	男性 60 歳以上	59	16.9	83.1
	女性 40 代	96	22.9	77.1
	女性 50 代	122	29.5	70.5
	女性 60 歳以上	72	26.4	73.6
地区	江別地区	176	20.5	79.5
	野幌地区	159	28.9	71.1
	大麻地区	110	23.6	76.4

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		846	27.0	73.0
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	100.0
	男性 65 ～74歳	48	20.8	79.2
	男性 75 歳以上	209	25.8	74.2
	女性 40 ～64歳	11	27.3	72.7
	女性 65 ～74歳	57	24.6	75.4
	女性 75 歳以上	483	29.0	71.0
地区	江別地区	293	25.3	74.7
	野幌地区	261	28.0	72.0
	大麻地区	238	25.2	74.8

【調査対象者本人】　（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		5	60.0	40.0
性・年代	男性 40 代	−	−	−
	男性 50 代	−	−	−
	男性 60 歳以上	2	50.0	50.0
	女性 40 代	−	−	−
	女性 50 代	−	−	−
	女性 60 歳以上	2	50.0	50.0

【代理人】　（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		232	57.8	42.2
性・年代	男性 40 代	1	−	100.0
	男性 50 代	2	−	100.0
	男性 60 歳以上	52	46.2	53.8
	女性 40 代	−	−	−
	女性 50 代	1	100.0	−
	女性 60 歳以上	172	61.6	38.4

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	はい	いいえ
全　体		206	28.6	71.4
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−
	男性 65 ～74歳	11	27.3	72.7
	男性 75 歳以上	60	30.0	70.0
	女性 40 ～64歳	1	−	100.0
	女性 65 ～74歳	11	27.3	72.7
	女性 75 歳以上	106	32.1	67.9
地区	江別地区	65	30.8	69.2
	野幌地区	65	24.6	75.4
	大麻地区	63	30.2	69.8

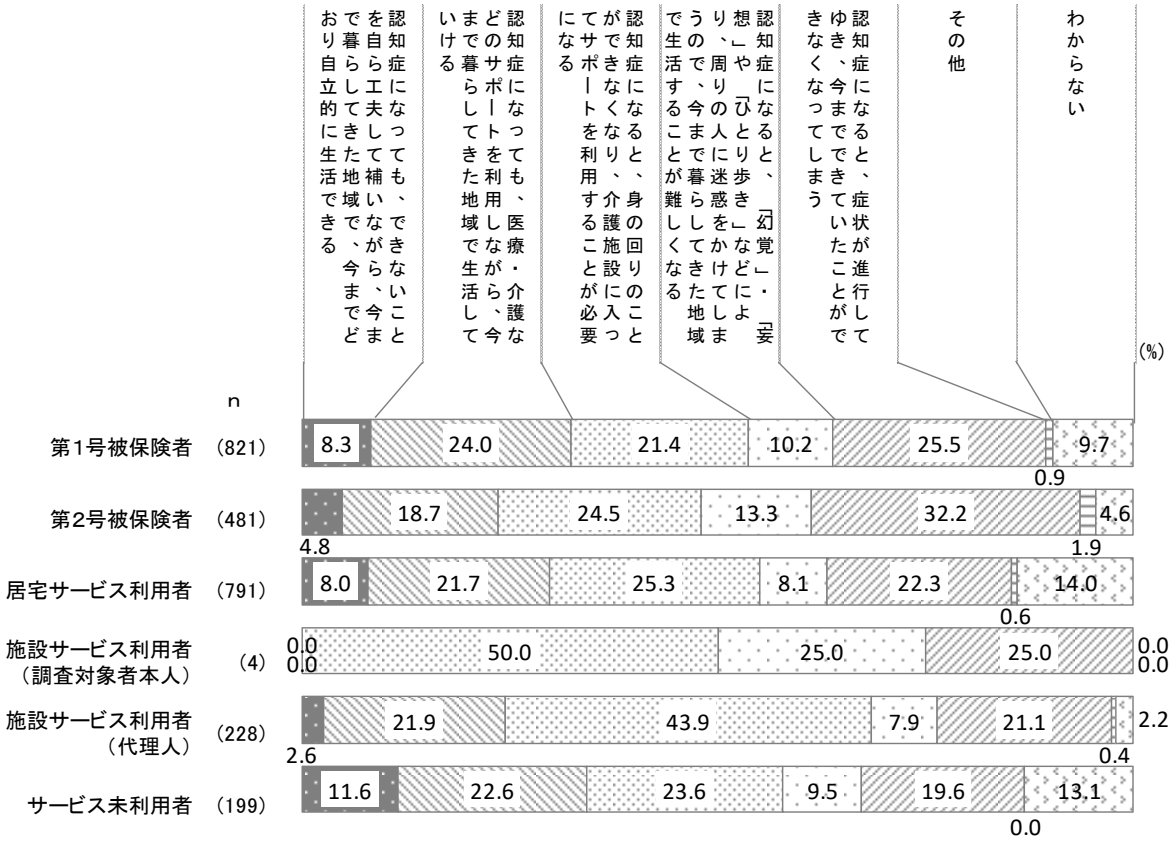
（３）認知症に対するイメージ

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

認知症に対するイメージを聞いたところ、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」「認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」「認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう」を合わせると、第１号被保険者で 57.1%、第２号被保険者で 70.0%、居宅サービス利用者で 55.7%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で 100.0%、施設サービス利用者（代理人）で 72.9%、サービス未利用者で 52.7%となっています。

＜図表 183＞　認知症に対するイメージ

【第１号被保険者　第８問３】【第２号被保険者　第８問３】
【居宅サービス利用者　第７問３】【施設サービス利用者　第４問３・８】
【サービス未利用者　第６問３】



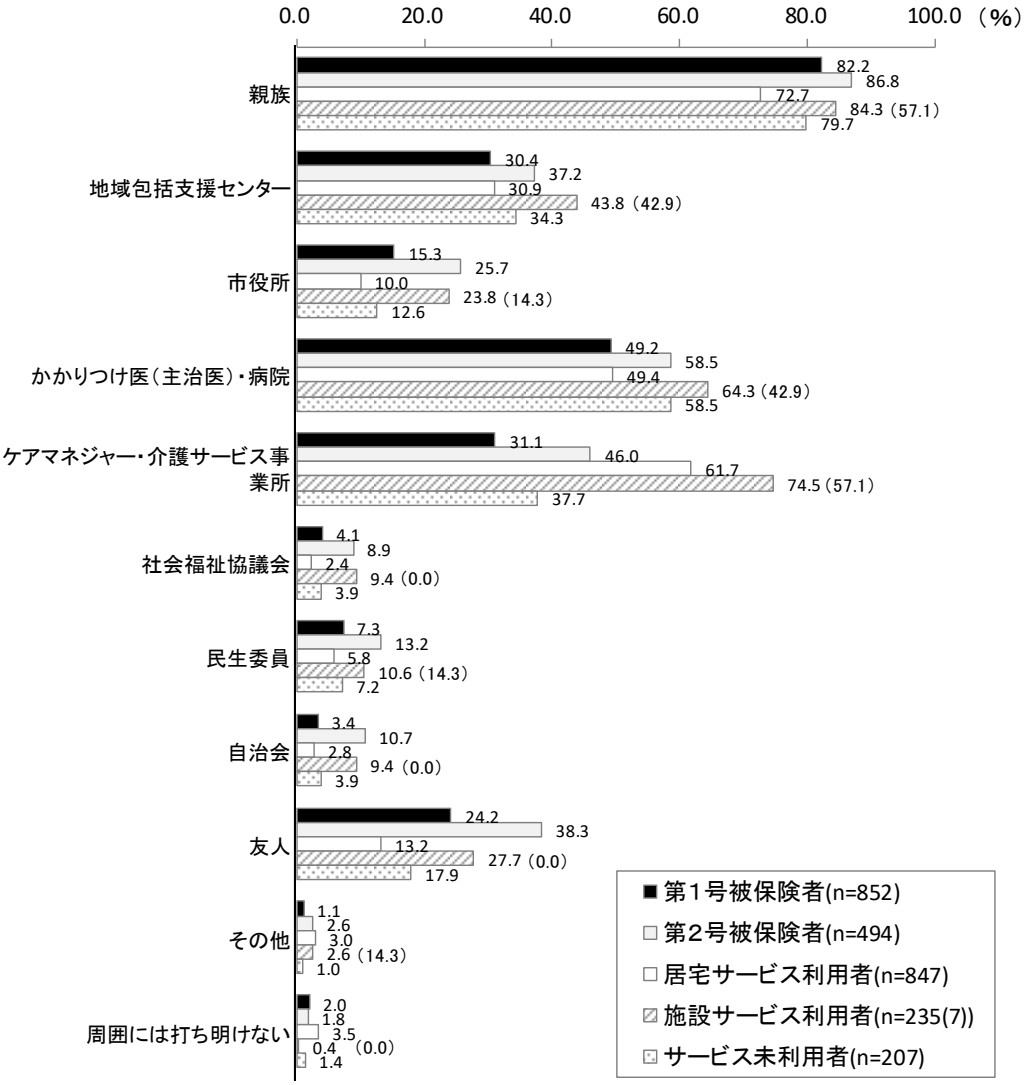
（４）家族が認知症であることを打ち明ける範囲

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

家族が認知症であることを打ち明ける範囲を聞いたところ、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で 82.2%、第２号被保険者で 86.8%、居宅サービス利用者で 72.7%、施設サービス利用者（代理人）で 84.3%（本人は 57.1%）、サービス未利用者で 79.7%となっています。

＜図表 184＞　家族が認知症であることを打ち明ける範囲（複数回答）

【第１号被保険者　第８問４】【第２号被保険者　第８問４】
【居宅サービス利用者　第７問４】【施設サービス利用者　第４問４・９】
【サービス未利用者　第６問４】



※施設サービス利用者は代理人の数値となっており、カッコ内は調査対象者本人（n=７）となっています。

＜図表 185＞　家族が認知症であることを打ち明ける範囲（性・年代別/地区別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	周囲には打ち明けない
全 体		852	82.2	30.4	15.3	49.2	31.1	4.1	7.3	3.4	24.2	1.1	2.0
性・年代	男性 65 ～74歳	239	86.2	28.5	17.2	43.5	31.4	4.2	7.5	2.9	19.2	0.4	3.8
	男性 75 歳以上	185	76.8	29.7	14.6	50.8	23.2	3.8	9.7	5.9	14.1	0.5	1.6
	女性 65 ～74歳	226	88.9	34.1	15.5	51.3	38.5	4.9	4.0	2.2	37.2	1.3	0.9
	女性 75 歳以上	202	74.8	29.2	13.4	52.0	29.7	3.5	8.4	3.0	24.8	2.0	1.5
地区	江別地区	337	82.2	28.8	15.4	49.9	27.6	5.0	8.6	3.9	21.1	0.6	2.4
	野幌地区	305	80.7	31.1	16.1	45.9	36.1	4.6	7.5	3.3	25.9	0.3	2.0
	大麻地区	209	84.2	31.6	13.9	52.6	29.2	1.9	4.8	2.9	26.3	2.9	1.4

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	周囲には打ち明けない
全 体		494	86.8	37.2	25.7	58.5	46.0	8.9	13.2	10.7	38.3	2.6	1.8
性・年代	男性 40 代	44	84.1	34.1	36.4	52.3	40.9	13.6	15.9	13.6	31.8	4.5	2.3
	男性 50 代	95	89.5	41.1	31.6	58.9	47.4	9.5	15.8	12.6	37.9	2.1	－
	男性 60 歳以上	59	83.1	28.8	18.6	42.4	28.8	6.8	11.9	8.5	23.7	1.7	3.4
	女性 40 代	96	89.6	38.5	27.1	61.5	52.1	10.4	15.6	9.4	47.9	3.1	4.2
	女性 50 代	121	86.0	38.8	27.3	63.6	51.2	9.1	10.7	13.2	38.8	1.7	1.7
	女性 60 歳以上	72	90.3	38.9	12.5	61.1	45.8	5.6	9.7	6.9	38.9	4.2	－
地区	江別地区	174	87.4	35.1	24.7	56.3	48.3	6.9	9.8	11.5	35.1	1.7	2.9
	野幌地区	160	90.6	38.1	28.1	57.5	45.6	10.6	13.1	10.6	40.6	2.5	0.6
	大麻地区	110	81.8	44.5	27.3	62.7	47.3	11.8	18.2	10.9	36.4	4.5	0.9

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	周囲には打ち明けない
全　体		847	72.7	30.9	10.0	49.4	61.7	2.4	5.8	2.8	13.2	3.0	3.5
性・年代	男性 40 ～64歳	6	50.0	－	－	50.0	50.0	－	－	－	－	－	16.7
	男性 65 ～74歳	47	74.5	14.9	10.6	48.9	63.8	2.1	6.4	2.1	19.1	－	4.3
	男性 75 歳以上	208	74.5	32.2	11.5	50.5	61.5	3.8	8.7	4.3	13.9	3.4	2.4
	女性 40 ～64歳	11	72.7	9.1	－	54.5	81.8	－	9.1	－	27.3	－	－
	女性 65 ～74歳	56	75.0	32.1	16.1	51.8	66.1	3.6	3.6	3.6	14.3	3.6	5.4
	女性 75 歳以上	487	73.1	32.4	8.8	48.9	60.8	1.8	4.9	2.5	12.3	3.1	3.9
地区	江別地区	293	73.0	27.3	10.9	49.5	62.5	2.4	3.8	2.7	11.9	3.1	4.8
	野幌地区	264	70.5	31.4	9.1	49.6	62.1	2.7	5.7	1.1	13.3	1.5	3.4
	大麻地区	235	73.6	37.0	9.4	50.2	61.7	2.1	8.5	3.8	14.5	4.3	2.1

【調査対象者本人】

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	周囲には打ち明けない
全　体		7	57.1	42.9	14.3	42.9	57.1	－	14.3	－	－	14.3	－
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 60 歳以上	3	66.7	66.7	－	33.3	66.7	－	33.3	－	－	－	－
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 60 歳以上	3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	－	－	－	－	33.3	－

【代理人】

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	周囲には打ち明けない
全　体		235	84.3	43.8	23.8	64.3	74.5	9.4	10.6	9.4	27.7	2.6	0.4
性・年代	男性 40 代	1	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	2	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	－	－	－	50.0	－	－
	男性 60 歳以上	52	82.7	32.7	25.0	65.4	75.0	5.8	3.8	3.8	21.2	1.9	－
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	100.0	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－	100.0	－	－
	女性 60 歳以上	175	84.6	46.3	22.3	64.6	74.3	10.3	11.4	10.9	28.6	2.9	0.6

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	周囲には打ち明けない
全　体		207	79.7	34.3	12.6	58.5	37.7	3.9	7.2	3.9	17.9	1.0	1.4
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	11	81.8	36.4	18.2	63.6	36.4	9.1	9.1	9.1	18.2	－	9.1
	男性 75 歳以上	66	77.3	43.9	7.6	62.1	33.3	3.0	6.1	4.5	18.2	－	－
	女性 40 ～64歳	1	100.0	100.0	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	12	83.3	25.0	8.3	66.7	50.0	8.3	16.7	－	50.0	－	－
	女性 75 歳以上	99	81.8	29.3	16.2	55.6	37.4	2.0	6.1	4.0	15.2	1.0	1.0
地区	江別地区	66	83.3	31.8	15.2	69.7	36.4	4.5	9.1	7.6	25.8	－	－
	野幌地区	65	81.5	36.9	12.3	49.2	40.0	3.1	4.6	3.1	10.8	3.1	1.5
	大麻地区	62	75.8	33.9	11.3	54.8	37.1	3.2	8.1	1.6	19.4	－	3.2

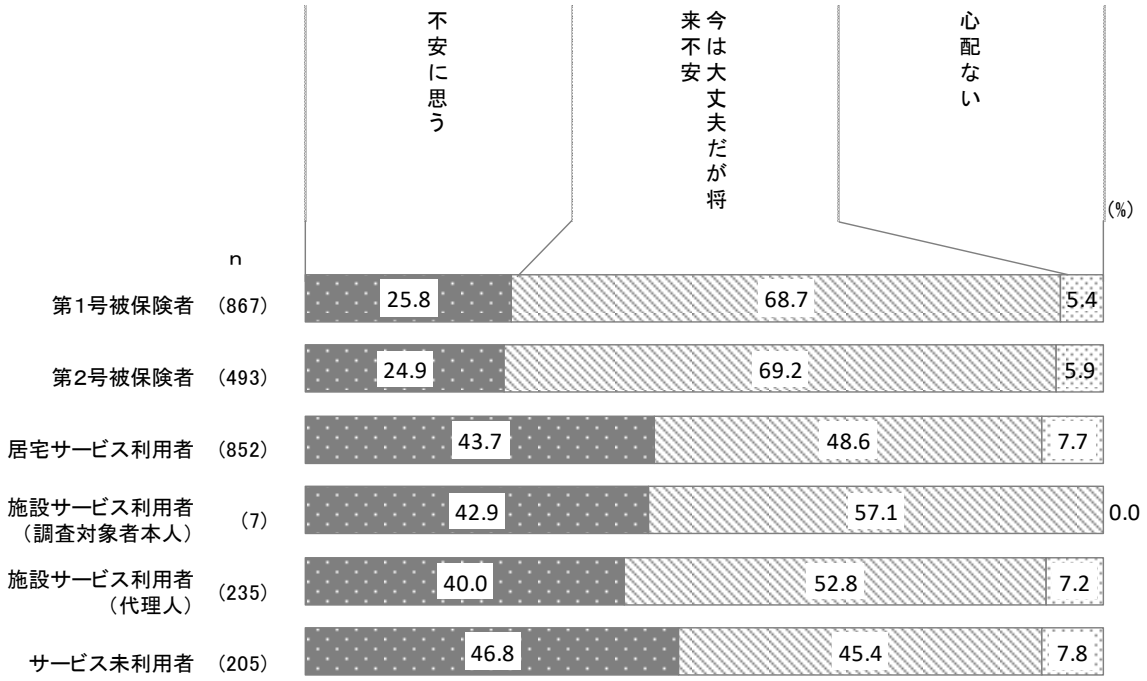
（５）認知症に対する不安

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

認知症に対する不安を聞いたところ、「不安に思う」と「今は大丈夫だが将来不安」を合わせると、第１号被保険者で 94.5%、第２号被保険者で 94.1%、居宅サービス利用者で 92.3%、施設サービス利用者（調査対象者本人）で 100.0%、施設サービス利用者（代理人）で 92.8%、サービス未利用者で 92.2%となっています。

＜図表 186＞　認知症に対する不安

【第１号被保険者　第８問５】【第２号被保険者　第８問５】
【居宅サービス利用者　第７問５】【施設サービス利用者　第４問５・10】
【サービス未利用者　第６問５】



＜図表 187＞　認知症に対する不安（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		867	25.8	68.7	5.4
性・年代	男性 65 ～74歳	243	18.5	75.3	6.2
	男性 75 歳以上	188	26.6	68.1	5.3
	女性 65 ～74歳	229	26.2	67.2	6.6
	女性 75 歳以上	207	33.3	63.3	3.4
家族構成	一人暮らし	148	27.7	68.2	4.1
	夫婦のみ	474	21.9	72.2	5.9
	同居その他	232	32.3	62.5	5.2
地区	江別地区	345	27.5	67.2	5.2
	野幌地区	308	26.0	67.5	6.5
	大麻地区	213	23.0	72.8	4.2
介護度	非認定	821	24.6	69.7	5.7
	要支援1・2	46	47.8	52.2	－

（単位：%）

〈2号被保険者調査〉		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		493	24.9	69.2	5.9
性・年代	男性 40 代	44	22.7	75.0	2.3
	男性 50 代	94	22.3	72.3	5.3
	男性 60 歳以上	59	27.1	67.8	5.1
	女性 40 代	94	17.0	73.4	9.6
	女性 50 代	122	32.8	59.0	8.2
	女性 60 歳以上	73	26.0	72.6	1.4
家族構成	一人暮らし	39	30.8	66.7	2.6
	夫婦のみ	125	25.6	68.8	5.6
	同居その他	305	23.6	69.5	6.9
地区	江別地区	175	30.3	65.1	4.6
	野幌地区	159	19.5	73.0	7.5
	大麻地区	108	25.0	70.4	4.6

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全　体		852	43.7	48.6	7.7
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	50.0	16.7
	男性 65 ～74歳	48	35.4	58.3	6.3
	男性 75 歳以上	213	38.5	54.0	7.5
	女性 40 ～64歳	11	45.5	36.4	18.2
	女性 65 ～74歳	58	39.7	51.7	8.6
	女性 75 歳以上	485	48.0	44.3	7.6
家族構成	一人暮らし	245	39.2	50.6	10.2
	夫婦のみ	245	41.6	55.5	2.9
	同居その他	340	47.9	42.6	9.4
地区	江別地区	298	47.0	45.6	7.4
	野幌地区	259	42.9	49.4	7.7
	大麻地区	240	39.2	53.3	7.5
介護度	要支援1・2	384	32.0	60.4	7.6
	要介護1・2	319	53.9	39.2	6.9
	要介護3～5	109	55.0	33.9	11.0

【調査対象者本人】　（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全 体		7	42.9	57.1	－
性・年代	男性 40 代	－	－	－	－
	男性 50 代	－	－	－	－
	男性 60 歳以上	3	66.7	33.3	－
	女性 40 代	－	－	－	－
	女性 50 代	－	－	－	－
	女性 60 歳以上	3	33.3	66.7	－
介護度	要介護1・2	1	－	100.0	－
	要介護3～5	5	60.0	40.0	－

【代理人】　（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全 体		235	40.0	52.8	7.2
性・年代	男性 40 代	1	－	100.0	－
	男性 50 代	2	－	100.0	－
	男性 60 歳以上	52	38.5	61.5	－
	女性 40 代	－	－	－	－
	女性 50 代	1	100.0	－	－
	女性 60 歳以上	175	40.6	50.3	9.1
介護度	要介護1・2	48	39.6	52.1	8.3
	要介護3～5	180	40.0	53.3	6.7

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	不安に思う	今は大丈夫だが将来不安	心配ない
全 体		205	46.8	45.4	7.8
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	16.7	83.3	－
	男性 75 歳以上	64	40.6	53.1	6.3
	女性 40 ～64歳	1	100.0	－	－
	女性 65 ～74歳	11	45.5	45.5	9.1
	女性 75 歳以上	101	54.5	37.6	7.9
家族構成	一人暮らし	56	53.6	35.7	10.7
	夫婦のみ	79	41.8	51.9	6.3
	同居その他	63	47.6	44.4	7.9
地区	江別地区	65	36.9	56.9	6.2
	野幌地区	63	58.7	34.9	6.3
	大麻地区	63	47.6	42.9	9.5
介護度	要支援1・2	119	42.0	51.3	6.7
	要介護1・2	35	54.3	34.3	11.4
	要介護3～5	18	72.2	22.2	5.6

（６）認知症に関する相談先

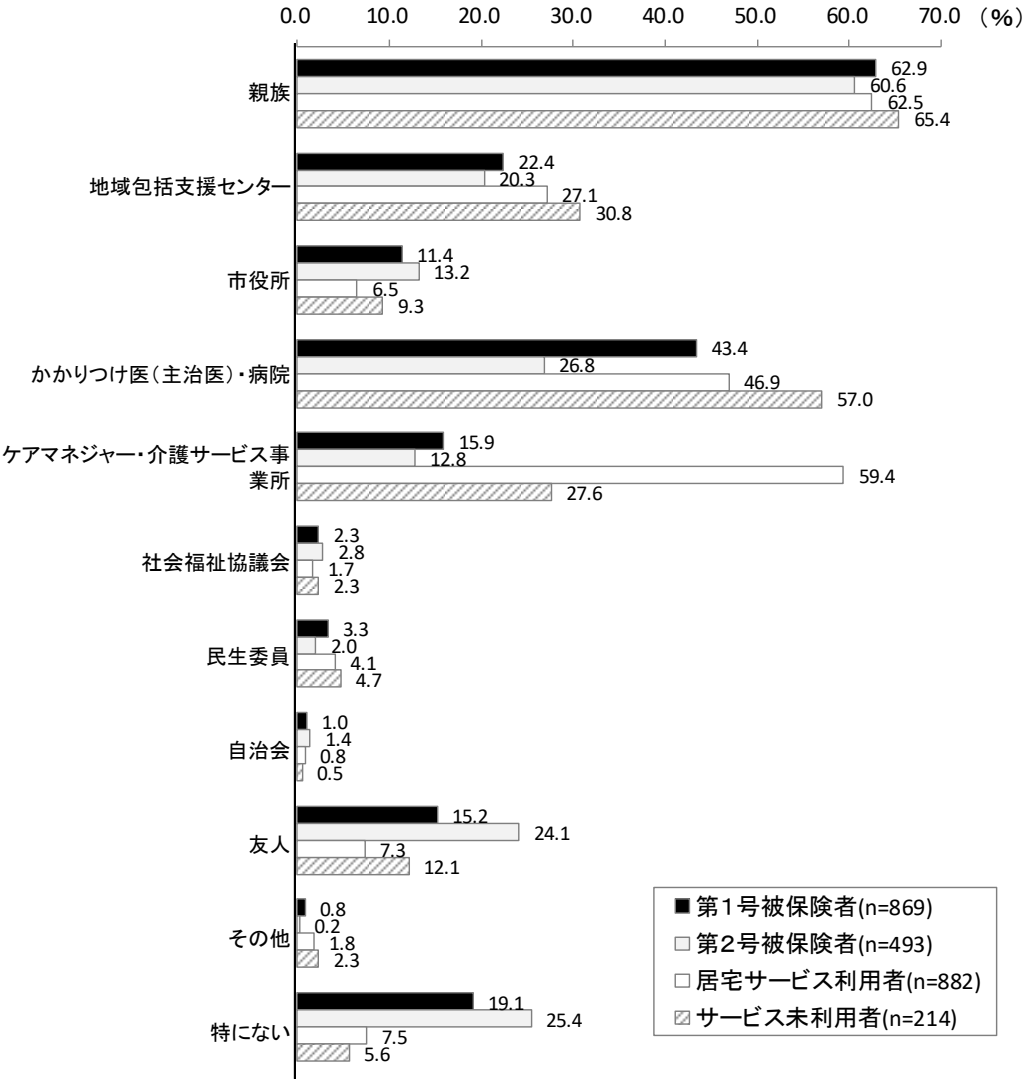
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症に関する相談先を聞いたところ、全ての調査において「親族」が最も多く、第１号被保険者で 62.9%、第２号被保険者で 60.6%、居宅サービス利用者で 62.5%、サービス未利用者で 65.4%となっています。

＜図表 188＞　認知症に関する相談先（複数回答）

【第１号被保険者　第８問６】【第２号被保険者　第８問６】

【居宅サービス利用者　第７問６】【サービス未利用者　第６問６】



＜図表 189＞　認知症に関する相談先（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		869	62.9	22.4	11.4	43.4	15.9	2.3	3.3	1.0	15.2	0.8	19.1
性・年代	男性 65 ～74歳	244	61.9	17.6	11.1	34.4	16.8	1.2	4.9	0.8	13.5	－	25.0
	男性 75 歳以上	187	60.4	25.7	11.2	46.5	16.0	2.7	4.3	2.7	8.0	1.1	20.9
	女性 65 ～74歳	230	66.1	22.6	13.5	43.0	14.3	3.9	1.3	－	21.3	0.4	15.7
	女性 75 歳以上	208	63.0	25.0	9.6	51.4	16.3	1.4	2.9	1.0	16.8	1.9	14.4
家族構成	一人暮らし	148	61.5	21.6	12.8	39.2	13.5	1.4	2.0	1.4	18.9	0.7	19.6
	夫婦のみ	474	64.3	23.2	11.0	41.4	16.5	2.7	3.6	0.8	13.7	0.6	18.4
	同居その他	235	62.6	21.7	11.9	49.4	15.7	2.1	3.0	1.3	16.2	1.3	20.4
地区	江別地区	344	63.1	19.8	9.9	44.2	13.1	1.7	4.1	1.2	13.1	0.9	21.5
	野幌地区	310	65.5	21.9	12.6	42.9	17.7	2.9	2.9	1.0	17.4	0.6	17.7
	大麻地区	214	58.9	27.1	12.1	43.0	17.8	2.3	2.8	0.9	15.4	0.9	17.3
介護度	非認定	823	62.5	22.0	11.7	43.0	14.6	2.3	3.4	1.0	15.7	0.9	19.7
	要支援1・2	46	71.7	30.4	6.5	50.0	39.1	2.2	2.2	2.2	6.5	－	8.7

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		493	60.6	20.3	13.2	26.8	12.8	2.8	2.0	1.4	24.1	0.2	25.4
性・年代	男性 40 代	43	60.5	16.3	18.6	23.3	9.3	2.3	2.3	4.7	16.3	2.3	30.2
	男性 50 代	95	55.8	23.2	18.9	27.4	12.6	2.1	4.2	4.2	18.9	－	26.3
	男性 60 歳以上	59	61.0	15.3	6.8	30.5	8.5	1.7	3.4	1.7	11.9	－	20.3
	女性 40 代	94	61.7	18.1	12.8	22.3	9.6	3.2	1.1	－	33.0	－	27.7
	女性 50 代	122	63.9	25.4	13.9	28.7	18.0	4.1	1.6	－	28.7	－	21.3
	女性 60 歳以上	73	61.6	19.2	6.8	26.0	15.1	2.7	－	－	26.0	－	27.4
家族構成	一人暮らし	39	53.8	20.5	12.8	20.5	10.3	2.6	2.6	－	20.5	－	25.6
	夫婦のみ	125	61.6	14.4	8.0	24.0	11.2	1.6	2.4	0.8	24.8	－	27.2
	同居その他	306	60.8	20.9	14.1	27.1	12.7	2.9	1.6	1.6	24.2	0.3	25.2
地区	江別地区	175	59.4	18.3	10.9	22.9	10.9	1.7	1.7	0.6	25.1	－	27.4
	野幌地区	160	60.0	21.9	14.4	28.8	17.5	3.1	2.5	1.9	27.5	－	23.8
	大麻地区	107	62.6	25.2	13.1	29.0	10.3	4.7	0.9	1.9	15.9	－	23.4

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		882	62.5	27.1	6.5	46.9	59.4	1.7	4.1	0.8	7.3	1.8	7.5
性・年代	男性 40 ～64歳	6	50.0	－	－	33.3	66.7	－	－	－	－	－	33.3
	男性 65 ～74歳	47	53.2	10.6	2.1	34.0	57.4	－	2.1	－	8.5	2.1	14.9
	男性 75 歳以上	216	58.8	28.2	7.4	45.8	62.5	2.8	5.6	－	4.6	1.4	8.8
	女性 40 ～64歳	11	36.4	9.1	9.1	36.4	72.7	－	9.1	－	18.2	－	9.1
	女性 65 ～74歳	58	63.8	25.9	10.3	53.4	63.8	1.7	3.4	－	15.5	5.2	5.2
	女性 75 歳以上	510	65.7	28.4	5.9	48.6	59.0	1.6	3.7	1.2	7.3	1.6	5.9
家族構成	一人暮らし	260	60.4	25.0	6.9	40.8	57.7	1.9	6.5	1.5	6.2	2.7	8.5
	夫婦のみ	250	68.0	28.8	6.4	50.4	60.0	1.2	4.8	0.8	9.2	1.6	5.2
	同居その他	349	60.7	27.5	6.0	50.4	61.6	2.0	1.7	0.3	6.9	1.4	7.7
地区	江別地区	311	63.0	23.8	7.7	46.0	59.5	2.6	2.9	0.3	6.4	1.3	8.4
	野幌地区	270	60.4	30.0	4.4	42.2	63.7	1.5	4.4	0.4	8.9	1.1	7.0
	大麻地区	245	62.4	29.4	6.1	52.7	55.1	1.2	4.9	1.6	7.3	3.3	7.3
介護度	要支援1・2	402	60.7	40.8	7.5	49.3	54.0	2.0	4.5	1.0	10.0	1.5	6.0
	要介護1・2	319	66.5	15.4	4.7	43.9	68.3	1.6	3.8	0.3	5.3	2.2	8.5
	要介護3～5	116	59.5	10.3	6.9	50.9	64.7	1.7	3.4	0.9	5.2	1.7	9.5

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	親族	地域包括支援センター	市役所	かかりつけ医（主治医）・病院	ケアマネジャー・介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	自治会	友人	その他	特にない
全　体		214	65.4	30.8	9.3	57.0	27.6	2.3	4.7	0.5	12.1	2.3	5.6
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	41.7	33.3	8.3	66.7	16.7	－	8.3	－	－	8.3	8.3
	男性 75 歳以上	65	70.8	40.0	12.3	63.1	27.7	6.2	7.7	1.5	10.8	3.1	9.2
	女性 40 ～64歳	1	100.0	100.0	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－
	女性 65 ～74歳	12	50.0	33.3	8.3	33.3	33.3	－	8.3	－	16.7	－	8.3
	女性 75 歳以上	106	68.9	28.3	7.5	55.7	25.5	－	2.8	－	13.2	1.9	1.9
家族構成	一人暮らし	61	52.5	29.5	4.9	52.5	21.3	－	4.9	－	14.8	3.3	8.2
	夫婦のみ	80	71.3	38.8	11.3	53.8	28.8	5.0	6.3	1.3	13.8	1.3	6.3
	同居その他	65	70.8	24.6	12.3	66.2	29.2	－	3.1	－	7.7	1.5	3.1
地区	江別地区	71	67.6	28.2	9.9	66.2	26.8	－	2.8	1.4	19.7	－	4.2
	野幌地区	66	72.7	31.8	9.1	45.5	31.8	1.5	3.0	－	10.6	1.5	6.1
	大麻地区	63	58.7	34.9	11.1	54.0	22.2	4.8	7.9	－	7.9	4.8	7.9
介護度	要支援1・2	122	65.6	43.4	8.2	51.6	24.6	2.5	4.9	－	13.1	1.6	5.7
	要介護1・2	36	69.4	27.8	5.6	61.1	41.7	－	5.6	－	2.8	5.6	5.6
	要介護3～5	17	58.8	5.9	11.8	70.6	29.4	－	－	－	－	－	5.9

（７）認知症サポーターの認知度

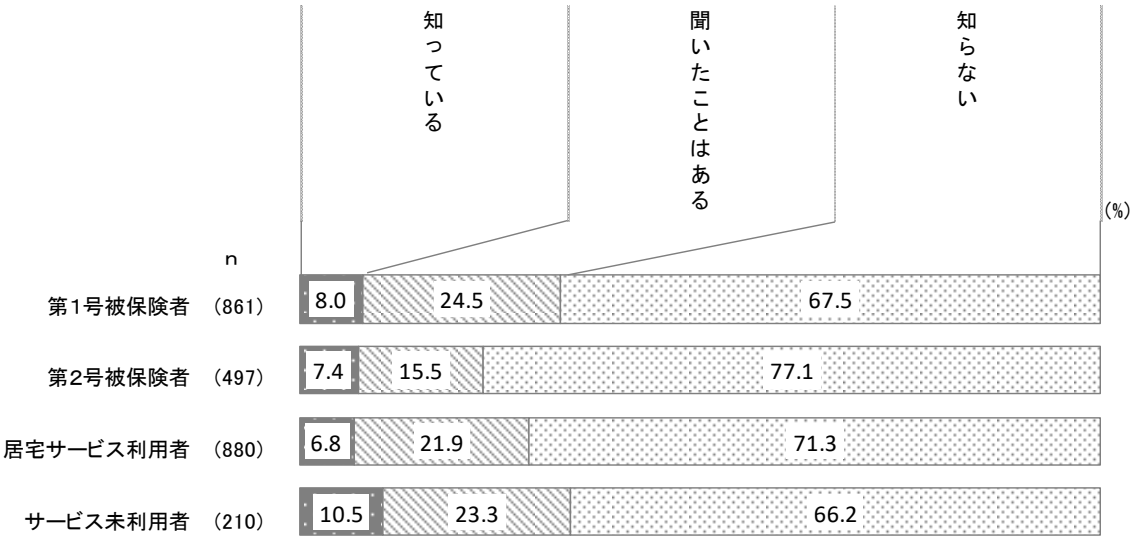
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症サポーターの認知度を聞いたところ、全ての調査において「知らない」が最も多く、第１号被保険者で 67.5%、第２号被保険者で 77.1%、居宅サービス利用者で 71.3%、サービス未利用者で 66.2%となっています。

＜図表 190＞　認知症サポーターの認知度

【第１号被保険者　第８問７】【第２号被保険者　第８問７】

【居宅サービス利用者　第７問７】【サービス未利用者　第６問７】



＜図表 191＞　認知症サポーターの認知度（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		861	8.0	24.5	67.5
性・年代	男性 65 ～74歳	245	5.7	18.8	75.5
	男性 75 歳以上	186	7.5	29.0	63.4
	女性 65 ～74歳	231	10.8	25.5	63.6
	女性 75 歳以上	199	8.0	26.1	65.8
家族構成	一人暮らし	148	8.1	25.7	66.2
	夫婦のみ	473	7.8	23.9	68.3
	同居その他	232	8.2	25.4	66.4
地区	江別地区	342	7.0	23.1	69.9
	野幌地区	310	8.4	28.7	62.9
	大麻地区	208	9.1	20.7	70.2
介護度	非認定	817	8.3	24.5	67.2
	要支援1・2	44	2.3	25.0	72.7

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		497	7.4	15.5	77.1
性・年代	男性 40 代	45	8.9	8.9	82.2
	男性 50 代	96	6.3	11.5	82.3
	男性 60 歳以上	59	1.7	13.6	84.7
	女性 40 代	96	8.3	14.6	77.1
	女性 50 代	121	10.7	19.0	70.2
	女性 60 歳以上	72	5.6	23.6	70.8
家族構成	一人暮らし	39	10.3	15.4	74.4
	夫婦のみ	124	4.0	13.7	82.3
	同居その他	310	9.0	17.1	73.9
地区	江別地区	177	5.6	15.3	79.1
	野幌地区	160	8.8	16.3	75.0
	大麻地区	109	10.1	16.5	73.4

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		880	6.8	21.9	71.3
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	16.7	83.3
	男性 65 ～74歳	49	2.0	32.7	65.3
	男性 75 歳以上	216	10.2	25.0	64.8
	女性 40 ～64歳	11	18.2	18.2	63.6
	女性 65 ～74歳	57	12.3	12.3	75.4
	女性 75 歳以上	507	4.7	20.1	75.1
家族構成	一人暮らし	261	5.0	19.5	75.5
	夫婦のみ	252	10.3	29.4	60.3
	同居その他	344	4.9	17.7	77.3
地区	江別地区	307	6.5	21.5	72.0
	野幌地区	271	8.9	22.1	69.0
	大麻地区	245	5.3	23.7	71.0
介護度	要支援1・2	401	7.0	23.9	69.1
	要介護1・2	319	7.2	18.5	74.3
	要介護3～5	114	6.1	23.7	70.2

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはある	知らない
全　体		210	10.5	23.3	66.2
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	8.3	8.3	83.3
	男性 75 歳以上	65	12.3	26.2	61.5
	女性 40 ～64歳	1	－	－	100.0
	女性 65 ～74歳	11	9.1	36.4	54.5
	女性 75 歳以上	107	11.2	18.7	70.1
家族構成	一人暮らし	58	8.6	17.2	74.1
	夫婦のみ	80	13.8	28.8	57.5
	同居その他	66	9.1	18.2	72.7
地区	江別地区	66	12.1	18.2	69.7
	野幌地区	65	7.7	16.9	75.4
	大麻地区	65	13.8	32.3	53.8
介護度	要支援1・2	123	9.8	22.8	67.5
	要介護1・2	34	11.8	14.7	73.5
	要介護3～5	19	15.8	15.8	68.4

（８）認知症サポーター養成講座の受講意向

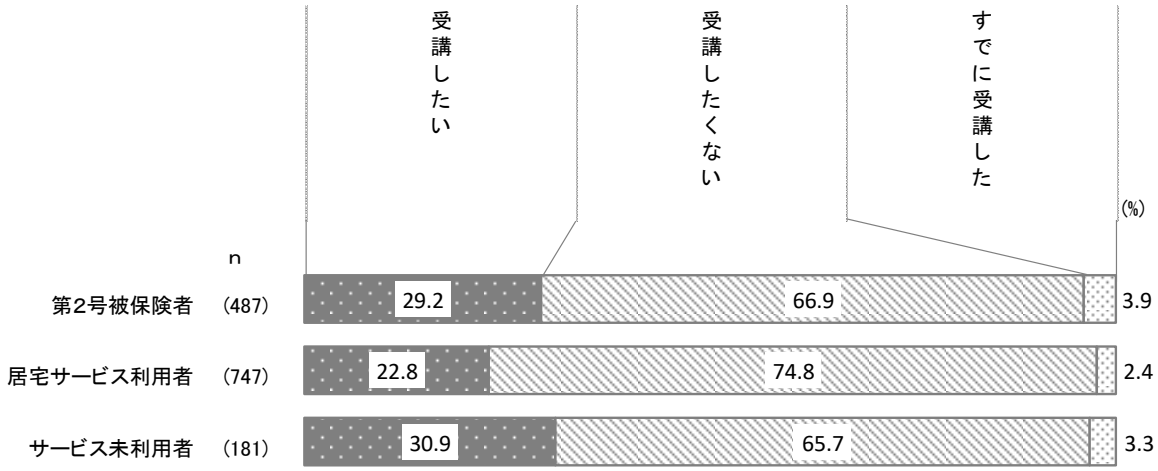
【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症サポーター養成講座の受講意向を聞いたところ、全ての調査において「受講したくない」が最も多く、第２号被保険者で 66.9%、居宅サービス利用者で 74.8%、サービス未利用者で 65.7%となっています。

＜図表 192＞　認知症サポーター養成講座の受講意向

【第２号被保険者　第８問８】【居宅サービス利用者　第７問８】

【サービス未利用者　第６問８】



＜図表 193＞　認知症サポーター養成講座の受講意向（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	受講したい	受講したくない	すでに受講した
全 体		487	29.2	66.9	3.9
性・年代	男性 40 代	44	15.9	79.5	4.5
	男性 50 代	95	28.4	67.4	4.2
	男性 60 歳以上	58	27.6	70.7	1.7
	女性 40 代	93	29.0	68.8	2.2
	女性 50 代	120	30.0	62.5	7.5
	女性 60 歳以上	71	39.4	59.2	1.4
家族構成	一人暮らし	38	18.4	71.1	10.5
	夫婦のみ	123	30.1	66.7	3.3
	同居その他	304	31.3	65.1	3.6
地区	江別地区	172	31.4	64.5	4.1
	野幌地区	159	29.6	67.3	3.1
	大麻地区	105	24.8	72.4	2.9

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	受講したい	受講したくない	すでに受講した
全 体		747	22.8	74.8	2.4
性・年代	男性 40 ～64歳	5	20.0	80.0	－
	男性 65 ～74歳	45	26.7	73.3	－
	男性 75 歳以上	187	21.9	74.3	3.7
	女性 40 ～64歳	10	30.0	60.0	10.0
	女性 65 ～74歳	52	23.1	75.0	1.9
	女性 75 歳以上	425	21.4	76.5	2.1
家族構成	一人暮らし	213	22.1	76.1	1.9
	夫婦のみ	213	30.0	67.1	2.8
	同居その他	305	18.4	79.3	2.3
地区	江別地区	261	19.5	78.2	2.3
	野幌地区	234	23.9	73.5	2.6
	大麻地区	208	25.5	72.1	2.4
介護度	要支援1・2	338	30.2	66.6	3.3
	要介護1・2	278	14.0	83.8	2.2
	要介護3～5	99	18.2	80.8	1.0

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	受講したい	受講したくない	すでに受講した
全 体		181	30.9	65.7	3.3
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	25.0	75.0	－
	男性 75 歳以上	61	34.4	60.7	4.9
	女性 40 ～64歳	1	－	100.0	－
	女性 65 ～74歳	11	18.2	81.8	－
	女性 75 歳以上	86	27.9	68.6	3.5
家族構成	一人暮らし	42	38.1	57.1	4.8
	夫婦のみ	74	29.7	64.9	5.4
	同居その他	60	25.0	75.0	－
地区	江別地区	59	27.1	69.5	3.4
	野幌地区	58	34.5	62.1	3.4
	大麻地区	53	34.0	62.3	3.8
介護度	要支援1・2	106	31.1	64.2	4.7
	要介護1・2	31	16.1	83.9	－
	要介護3～5	16	18.8	81.3	－

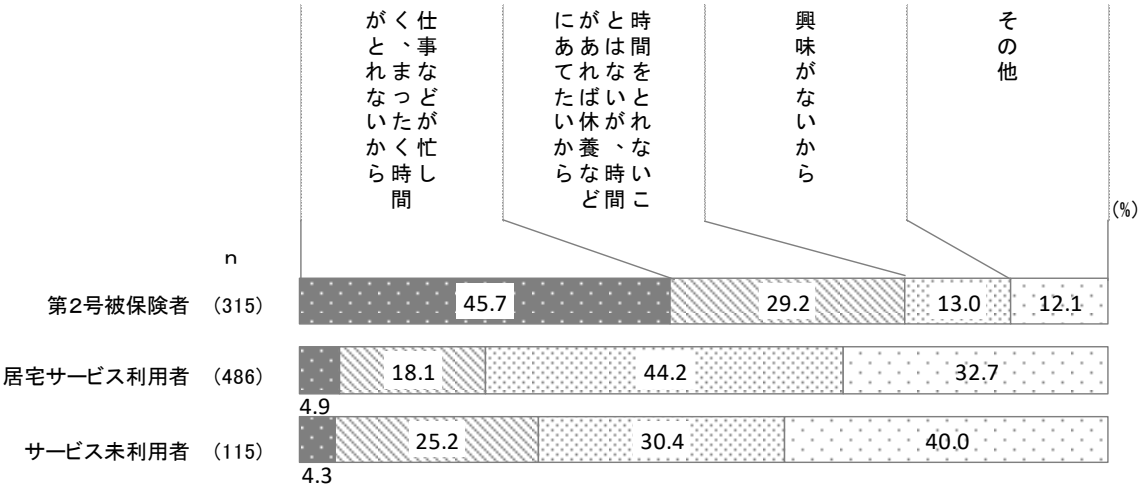
（９）受講したくない理由【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

認知症サポーター養成講座を受講したくない理由を聞いたところ、第２号被保険者では「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が 45.7%で最も多く、居宅サービス利用者では「興味がないから」が 44.2%で最も多くなっています。サービス未利用者では「その他」が 40.0%で最も多くなっています。

＜図表 194＞　受講したくない理由

【第２号被保険者　第８問８－１】【居宅サービス利用者　第７問８－１】

【サービス未利用者　第６問８－１】



＜図表 195＞　受講したくない理由（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから	時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから	興味がないから	その他
全　体		315	45.7	29.2	13.0	12.1
性・年代	男性 40 代	35	48.6	25.7	17.1	8.6
	男性 50 代	61	55.7	24.6	13.1	6.6
	男性 60 歳以上	39	53.8	23.1	12.8	10.3
	女性 40 代	62	41.9	29.0	16.1	12.9
	女性 50 代	71	42.3	31.0	12.7	14.1
	女性 60 歳以上	42	31.0	40.5	7.1	21.4
家族構成	一人暮らし	27	33.3	29.6	11.1	25.9
	夫婦のみ	80	47.5	33.8	8.8	10.0
	同居その他	190	46.8	26.8	15.3	11.1
地区	江別地区	107	40.2	29.9	16.8	13.1
	野幌地区	104	45.2	29.8	14.4	10.6
	大麻地区	74	56.8	24.3	6.8	12.2

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから	時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから	興味がないから	その他
全　体		486	4.9	18.1	44.2	32.7
性・年代	男性 40 ～64歳	3	－	－	100.0	－
	男性 65 ～74歳	31	9.7	12.9	48.4	29.0
	男性 75 歳以上	125	6.4	19.2	49.6	24.8
	女性 40 ～64歳	6	33.3	－	50.0	16.7
	女性 65 ～74歳	35	2.9	22.9	31.4	42.9
	女性 75 歳以上	277	3.6	18.4	42.2	35.7
家族構成	一人暮らし	133	1.5	20.3	45.9	32.3
	夫婦のみ	126	6.3	17.5	34.1	42.1
	同居その他	220	5.9	17.3	48.6	28.2
地区	江別地区	175	5.1	17.1	45.1	32.6
	野幌地区	150	5.3	17.3	44.0	33.3
	大麻地区	135	3.0	20.7	44.4	31.9
介護度	要支援1・2	198	4.5	17.2	43.9	34.3
	要介護1・2	199	5.0	18.1	46.7	30.2
	要介護3～5	73	6.8	23.3	32.9	37.0

（単位：%）

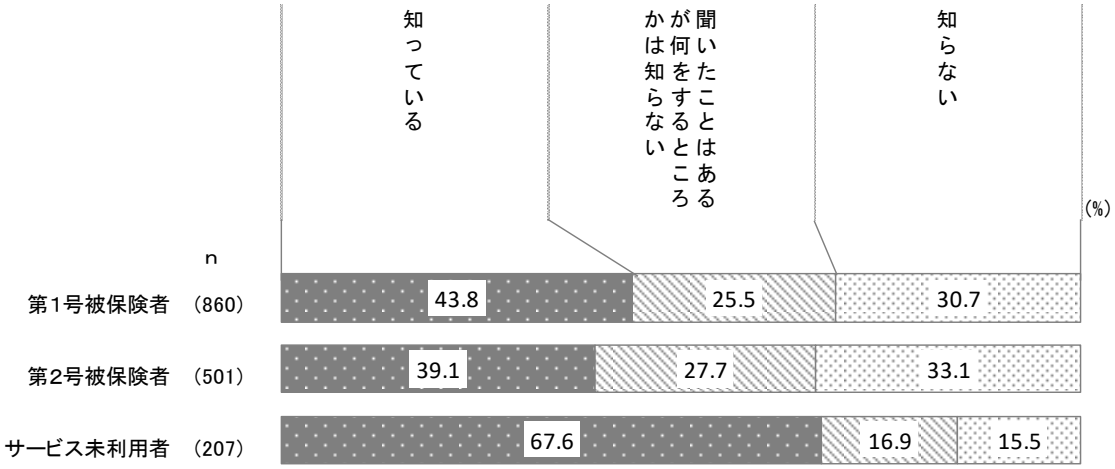
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから	時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから	興味がないから	その他
全　体		115	4.3	25.2	30.4	40.0
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	9	－	22.2	33.3	44.4
	男性 75 歳以上	33	3.0	24.2	33.3	39.4
	女性 40 ～64歳	1	－	100.0	－	－
	女性 65 ～74歳	9	－	22.2	33.3	44.4
	女性 75 歳以上	59	5.1	27.1	27.1	40.7
家族構成	一人暮らし	24	4.2	33.3	25.0	37.5
	夫婦のみ	45	4.4	28.9	35.6	31.1
	同居その他	44	4.5	18.2	27.3	50.0
地区	江別地区	40	2.5	22.5	37.5	37.5
	野幌地区	33	9.1	30.3	15.2	45.5
	大麻地区	33	3.0	27.3	33.3	36.4
介護度	要支援1・2	66	4.5	28.8	27.3	39.4
	要介護1・2	25	4.0	32.0	28.0	36.0
	要介護3～5	12	－	－	33.3	66.7

10. 相談支援体制

（１）地域包括支援センターの認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】

地域包括支援センターの認知度を聞いたところ、「知らない」が第１号被保険者で 30.7%、第２号被保険者で 33.1%、サービス未利用者で 15.5%となっています。

＜図表 196＞　地域包括支援センターの認知度
【第１号被保険者　第 10 問３】【第２号被保険者　第５問２】
【サービス未利用者　第９問２】



＜図表 197＞　地域包括支援センターの認知度（性・年代別/地区別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはあるが何をするところかは知らない	知らない
全　体		860	43.8	25.5	30.7
性・年代	男性 65 ～74歳	241	31.1	24.9	44.0
	男性 75 歳以上	185	47.6	25.4	27.0
	女性 65 ～74歳	232	50.0	24.6	25.4
	女性 75 歳以上	202	48.5	27.2	24.3
地区	江別地区	335	40.6	24.8	34.6
	野幌地区	306	41.2	27.5	31.4
	大麻地区	218	52.8	23.9	23.4

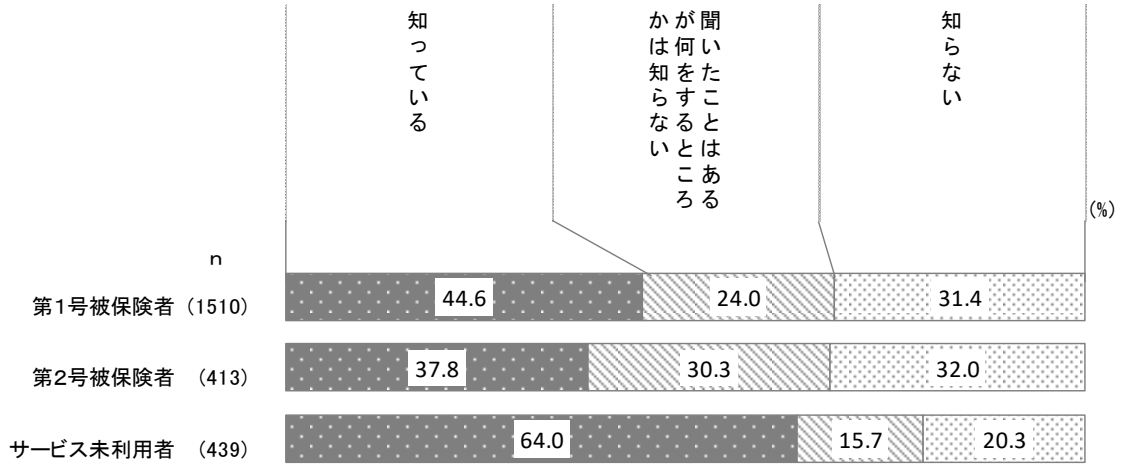
（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはあるが何をするところかは知らない	知らない
全 体		501	39.1	27.7	33.1
性・年代	男性 40 代	45	28.9	26.7	44.4
	男性 50 代	97	38.1	22.7	39.2
	男性 60 歳以上	59	32.2	35.6	32.2
	女性 40 代	96	34.4	37.5	28.1
	女性 50 代	121	38.8	25.6	35.5
	女性 60 歳以上	73	61.6	20.5	17.8
地区	江別地区	177	39.0	27.7	33.3
	野幌地区	161	36.0	30.4	33.5
	大麻地区	110	46.4	26.4	27.3

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	知っている	聞いたことはあるが何をするところかは知らない	知らない
全 体		207	67.6	16.9	15.5
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−	−
	男性 65 ～74歳	13	53.8	15.4	30.8
	男性 75 歳以上	61	57.4	23.0	19.7
	女性 40 ～64歳	2	100.0	−	−
	女性 65 ～74歳	12	100.0	−	−
	女性 75 歳以上	106	71.7	15.1	13.2
地区	江別地区	67	67.2	13.4	19.4
	野幌地区	62	59.7	21.0	19.4
	大麻地区	65	76.9	16.9	6.2

＜図表 198＞　【参考】前回調査（令和２年度）



（２）地域包括支援センターに期待すること

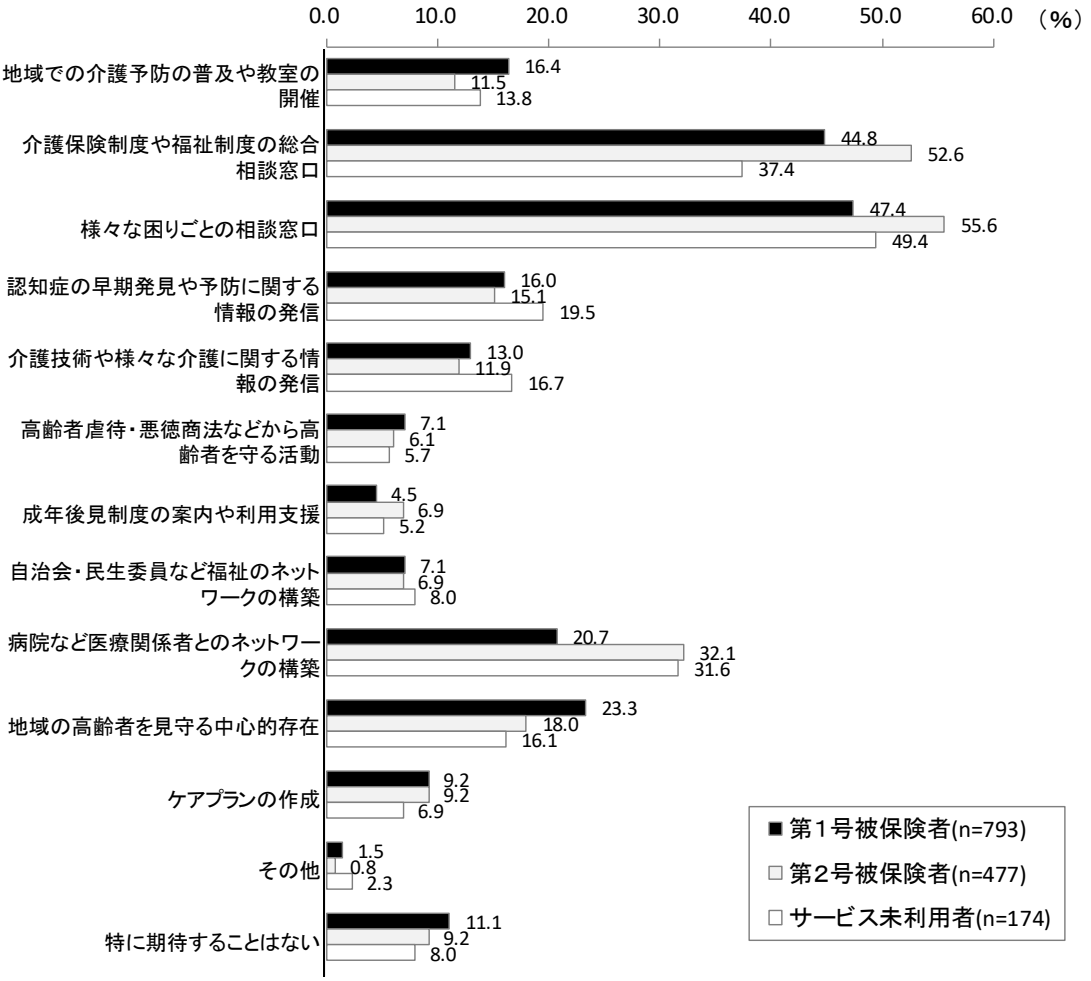
【第１号被保険者】【第２号被保険者】【サービス未利用者】

地域包括支援センターに期待することを聞いたところ、すべての調査において「様々な困りごとの相談窓口」が最も多く、第１号被保険者で 47.4%、第２号被保険者で 55.6%、サービス未利用者で 49.4%となっています。

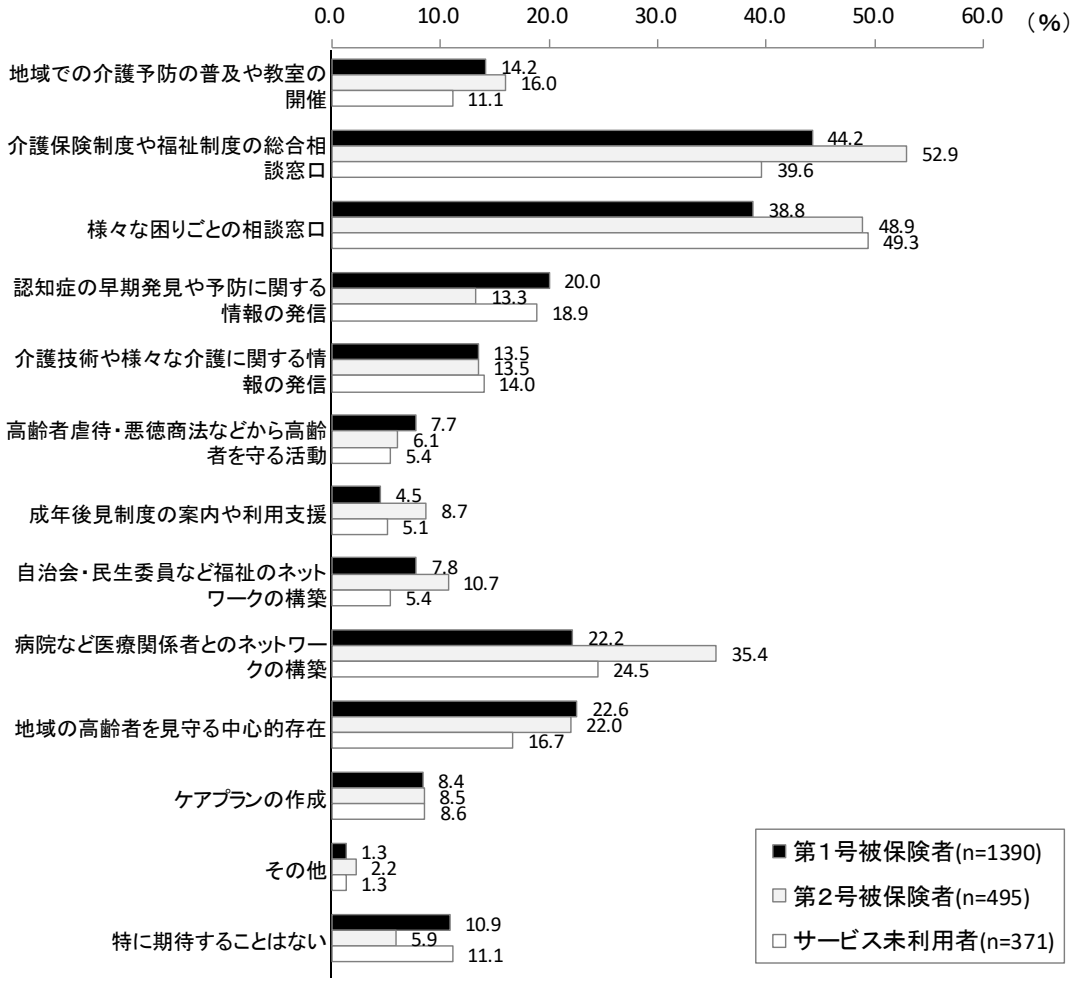
＜図表 199＞　地域包括支援センターに期待すること（３つまで）

【第１号被保険者　第 10 問４】【第２号被保険者　第４問３】

【サービス未利用者　第９問３】



＜図表 200＞　【参考】前回調査（令和２年度）



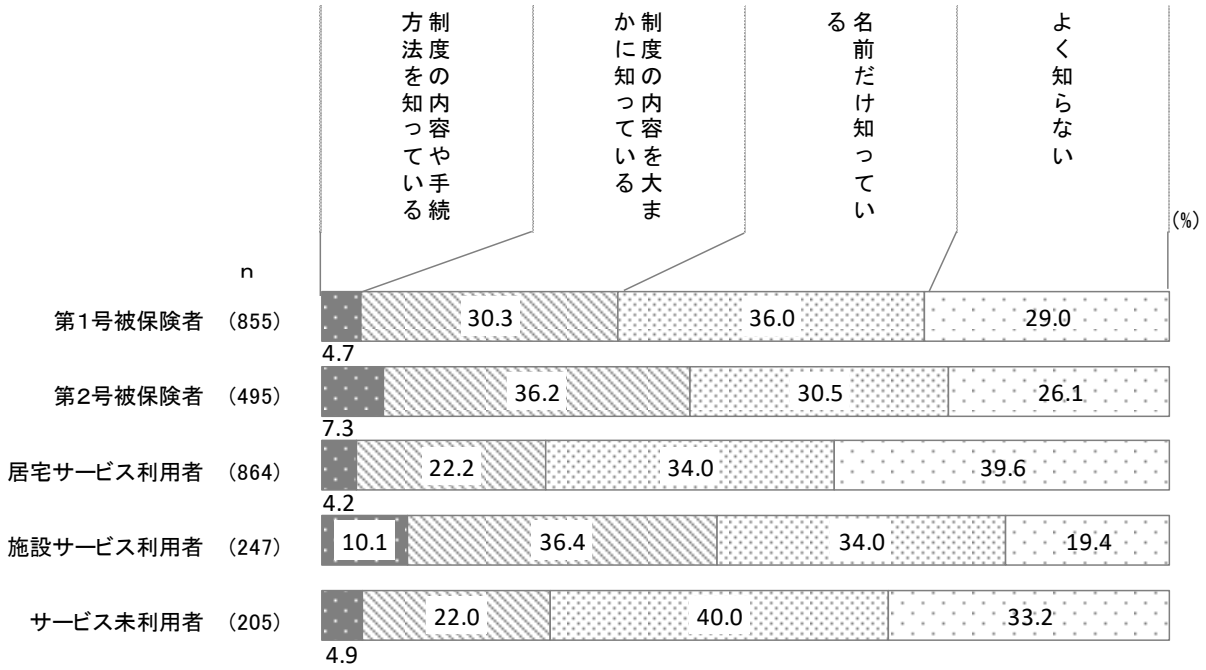
11. 成年後見制度

（１）成年後見制度の認知度

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度の認知度を聞いたところ、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、第１号被保険者で 35.0%、第２号被保険者で 43.5%、居宅サービス利用者で 26.4%、施設サービス利用者で 46.5%、サービス未利用者で 26.9%となっています。

＜図表 201＞　成年後見制度の認知度
【第１号被保険者　第 11 問１】【第２号被保険者　第６問１】
【居宅サービス利用者　第６問１】【施設サービス利用者　第５問１】
【サービス未利用者　第 10 問１】



＜図表 202＞　成年後見制度の認知度（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

＜1号被保険者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		855	4.7	30.3	36.0	29.0
性・年代	男性 65 ～74歳	238	4.2	32.8	34.9	28.2
	男性 75 歳以上	181	4.4	27.6	35.9	32.0
	女性 65 ～74歳	233	7.3	33.5	35.6	23.6
	女性 75 歳以上	203	2.5	26.1	37.9	33.5
地区	江別地区	335	4.2	29.6	33.7	32.5
	野幌地区	302	3.3	31.8	35.8	29.1
	大麻地区	217	7.4	29.5	40.1	23.0
介護度	非認定	815	4.9	30.9	36.0	28.2
	要支援1・2	40	－	17.5	37.5	45.0

（単位：%）

＜2号被保険者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		495	7.3	36.2	30.5	26.1
性・年代	男性 40 代	44	6.8	25.0	27.3	40.9
	男性 50 代	97	9.3	37.1	25.8	27.8
	男性 60 歳以上	58	10.3	27.6	36.2	25.9
	女性 40 代	95	2.1	41.1	32.6	24.2
	女性 50 代	121	8.3	38.8	27.3	25.6
	女性 60 歳以上	72	6.9	38.9	38.9	15.3
地区	江別地区	176	9.7	41.5	22.7	26.1
	野幌地区	158	3.8	32.3	36.7	27.2
	大麻地区	108	9.3	34.3	33.3	23.1

（単位：%）

＜居宅サービス利用者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		864	4.2	22.2	34.0	39.6
性・年代	男性 40 ～64歳	5	－	20.0	40.0	40.0
	男性 65 ～74歳	47	4.3	25.5	34.0	36.2
	男性 75 歳以上	208	6.3	26.4	37.0	30.3
	女性 40 ～64歳	10	10.0	30.0	40.0	20.0
	女性 65 ～74歳	55	3.6	29.1	25.5	41.8
	女性 75 歳以上	506	3.4	18.8	34.4	43.5
地区	江別地区	308	4.2	20.1	34.1	41.6
	野幌地区	264	5.3	22.0	34.5	38.3
	大麻地区	234	3.0	26.5	35.9	34.6
介護度	要支援1・2	394	5.1	27.4	37.1	30.5
	要介護1・2	316	3.8	16.1	35.4	44.6
	要介護3～5	110	1.8	20.0	22.7	55.5

（単位：%）

＜施設利用者調査＞		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		247	10.1	36.4	34.0	19.4
性・年代	男性 40 代	1	－	－	－	100.0
	男性 50 代	2	－	50.0	50.0	－
	男性 60 歳以上	58	10.3	34.5	36.2	19.0
	女性 40 代	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	－	100.0	－	－
	女性 60 歳以上	179	10.6	37.4	34.1	17.9
介護度	要介護1・2	50	10.0	36.0	36.0	18.0
	要介護3～5	188	10.1	35.6	34.0	20.2

（単位：%）

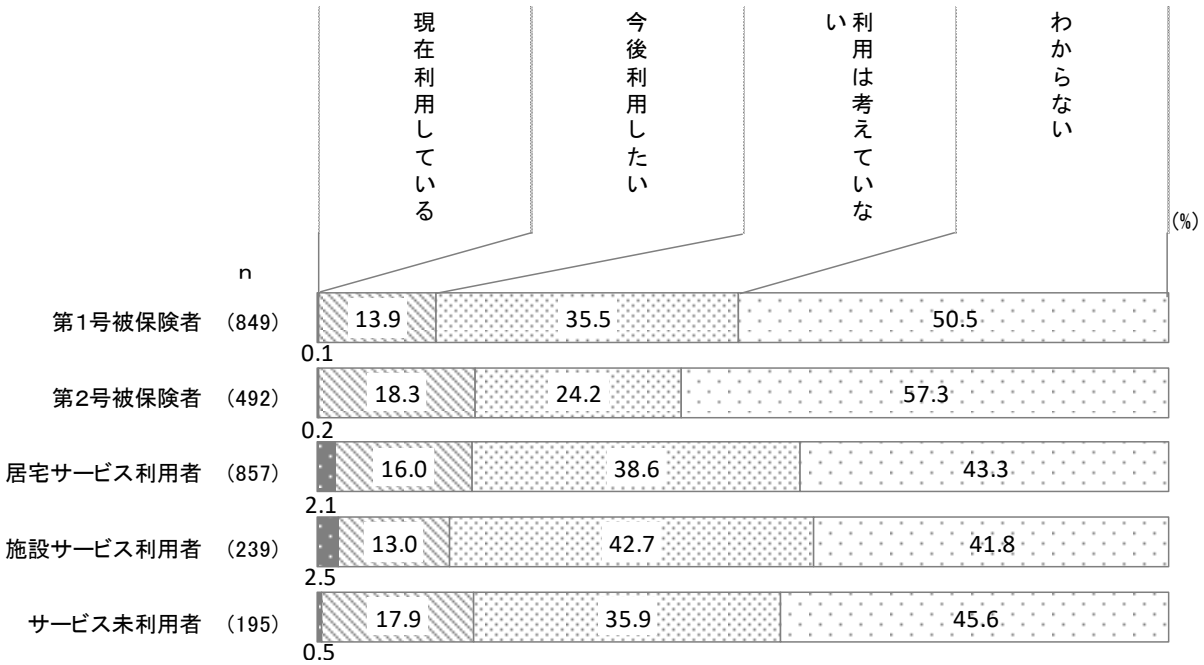
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	制度の内容や手続方法を知っている	制度の内容を大まかに知っている	名前だけ知っている	よく知らない
全　体		205	4.9	22.0	40.0	33.2
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	－	38.5	30.8	30.8
	男性 75 歳以上	62	6.5	29.0	45.2	19.4
	女性 40 ～64歳	2	－	50.0	－	50.0
	女性 65 ～74歳	13	7.7	15.4	46.2	30.8
	女性 75 歳以上	102	2.9	17.6	38.2	41.2
地区	江別地区	66	1.5	21.2	39.4	37.9
	野幌地区	62	3.2	25.8	37.1	33.9
	大麻地区	63	9.5	20.6	39.7	30.2
介護度	要支援1・2	122	3.3	26.2	40.2	30.3
	要介護1・2	36	5.6	25.0	41.7	27.8
	要介護3～5	19	10.5	10.5	36.8	42.1

（２）成年後見制度の利用意向

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度の利用意向を聞いたところ、施設サービス利用者を除いて「わからない」が最も多く、「利用は考えていない」が第１号被保険者で 35.5%、第２号被保険者で 24.2%、居宅サービス利用者で 38.6%、施設サービス利用者で 42.7%、サービス未利用者で 35.9%となっています。

＜図表 203＞　成年後見制度の利用意向
【第１号被保険者　第 11 問２】【第２号被保険者　第６問２】
【居宅サービス利用者　第６問２】【施設サービス利用者　第５問２】
【サービス未利用者　第 10 問２】



＜図表 204＞　成年後見制度の利用意向（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		849	0.1	13.9	35.5	50.5
性・年代	男性 65 ～74歳	241	0.4	17.0	31.1	51.5
	男性 75 歳以上	181	－	18.2	36.5	45.3
	女性 65 ～74歳	231	－	11.7	32.0	56.3
	女性 75 歳以上	196	－	8.7	43.9	47.4
家族構成	一人暮らし	146	－	15.8	36.3	47.9
	夫婦のみ	463	0.2	14.7	36.3	48.8
	同居その他	230	－	11.3	33.9	54.8
地区	江別地区	334	－	13.2	33.5	53.3
	野幌地区	300	－	14.7	36.7	48.7
	大麻地区	214	0.5	14.0	36.9	48.6
介護度	非認定	807	0.1	13.9	35.1	50.9
	要支援1・2	42	－	14.3	42.9	42.9

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		492	0.2	18.3	24.2	57.3
性・年代	男性 40 代	44	2.3	22.7	15.9	59.1
	男性 50 代	97	－	23.7	23.7	52.6
	男性 60 歳以上	59	－	20.3	30.5	49.2
	女性 40 代	93	－	15.1	22.6	62.4
	女性 50 代	120	－	18.3	24.2	57.5
	女性 60 歳以上	71	－	11.3	26.8	62.0
家族構成	一人暮らし	38	－	26.3	31.6	42.1
	夫婦のみ	125	－	22.4	19.2	58.4
	同居その他	306	0.3	16.0	24.5	59.2
地区	江別地区	175	－	21.7	21.7	56.6
	野幌地区	158	－	18.4	27.2	54.4
	大麻地区	107	－	15.9	26.2	57.9

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		857	2.1	16.0	38.6	43.3
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	16.7	33.3	50.0
	男性 65 ～74歳	49	6.1	20.4	24.5	49.0
	男性 75 歳以上	211	0.9	16.1	43.6	39.3
	女性 40 ～64歳	11	－	18.2	36.4	45.5
	女性 65 ～74歳	55	1.8	20.0	40.0	38.2
	女性 75 歳以上	491	1.8	14.9	38.7	44.6
家族構成	一人暮らし	256	4.3	17.6	37.9	40.2
	夫婦のみ	245	0.8	18.8	41.2	39.2
	同居その他	334	0.9	12.9	38.0	48.2
地区	江別地区	302	1.0	13.6	37.7	47.7
	野幌地区	264	2.3	15.5	40.9	41.3
	大麻地区	236	2.1	19.9	37.7	40.3
介護度	要支援1・2	390	0.8	19.0	40.3	40.0
	要介護1・2	312	2.6	13.8	37.8	45.8
	要介護3～5	110	4.5	13.6	40.9	40.9

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		239	2.5	13.0	42.7	41.8
性・年代	男性 40 代	1	－	－	－	100.0
	男性 50 代	2	－	－	－	100.0
	男性 60 歳以上	57	1.8	14.0	36.8	47.4
	女性 40 代	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	－	－	100.0	－
	女性 60 歳以上	173	2.9	12.7	45.7	38.7
介護度	要介護1・2	49	－	14.3	36.7	49.0
	要介護3～5	181	3.3	11.6	44.8	40.3

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	現在利用している	今後利用したい	利用は考えていない	わからない
全　体		195	0.5	17.9	35.9	45.6
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	13	－	23.1	30.8	46.2
	男性 75 歳以上	57	1.8	14.0	54.4	29.8
	女性 40 ～64歳	2	－	－	－	100.0
	女性 65 ～74歳	13	－	7.7	15.4	76.9
	女性 75 歳以上	99	－	19.2	30.3	50.5
家族構成	一人暮らし	53	1.9	24.5	28.3	45.3
	夫婦のみ	72	－	12.5	44.4	43.1
	同居その他	64	－	18.8	31.3	50.0
地区	江別地区	63	－	23.8	31.7	44.4
	野幌地区	60	－	16.7	36.7	46.7
	大麻地区	58	－	13.8	41.4	44.8
介護度	要支援1・2	113	0.9	19.5	38.1	41.6
	要介護1・2	37	－	10.8	40.5	48.6
	要介護3～5	17	－	5.9	23.5	70.6

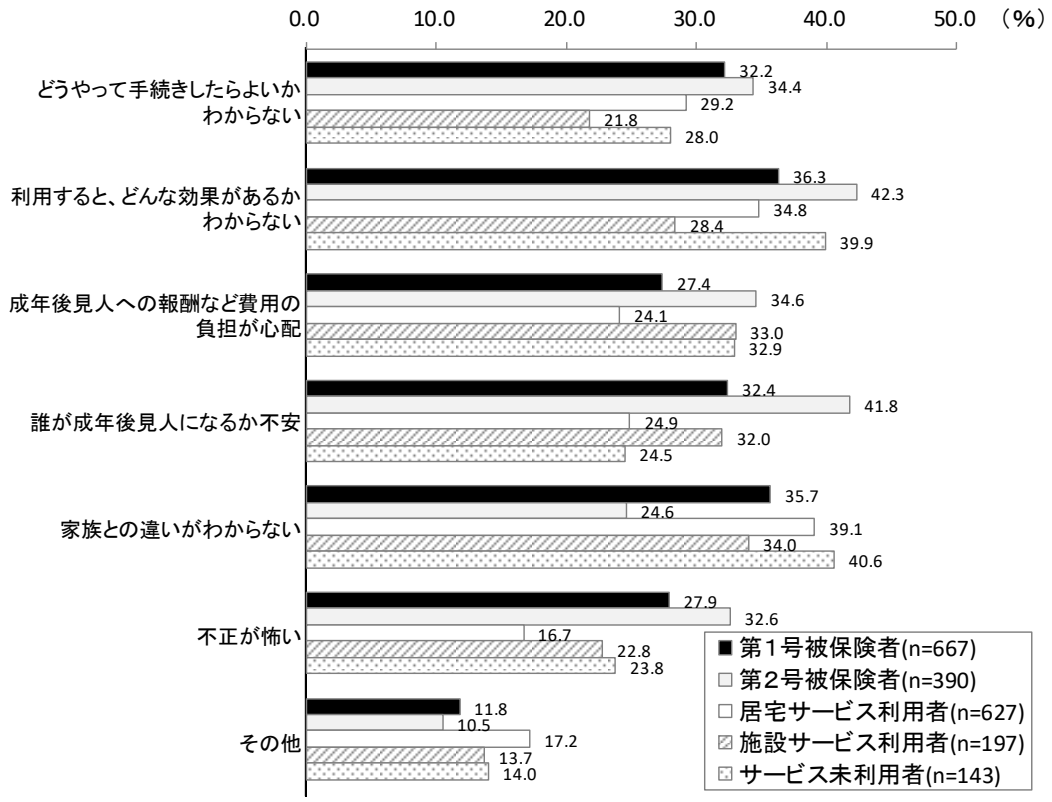
（３）利用しない理由

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度の利用意向で「利用は考えていない」、「わからない」と回答した人に、利用しない理由を聞いたところ、第１号被保険者と第２号被保険者では「利用すると、どんな効果があるかわからない」がそれぞれ 36.3%、42.3%で最も多く、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「家族との違いがわからない」がそれぞれ 39.1%、34.0%、40.6%で最も多くなっています。

＜図表 205＞　利用しない理由（複数回答）

【第１号被保険者　第 11 問２－１】【第２号被保険者　第６問２－１】
【居宅サービス利用者　第６問２－１】【施設サービス利用者　第５問２－１】
【サービス未利用者　第 10 問２－１】



＜図表 206＞　利用しない理由（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		667	32.2	36.3	27.4	32.4	35.7	27.9	11.8
性・年代	男性 65 ～74歳	192	32.8	37.5	26.0	34.4	35.4	30.2	10.9
	男性 75 歳以上	141	36.9	34.8	23.4	29.1	31.2	27.0	12.8
	女性 65 ～74歳	183	30.1	38.8	32.8	37.2	36.6	30.1	10.4
	女性 75 歳以上	151	29.8	33.1	26.5	27.2	39.1	23.2	13.9
家族構成	一人暮らし	112	27.7	24.1	31.3	26.8	37.5	31.3	12.5
	夫婦のみ	363	31.4	36.6	24.5	33.3	35.5	25.6	12.4
	同居その他	186	35.5	43.0	31.2	33.9	35.5	30.6	10.8
地区	江別地区	258	35.3	39.1	31.0	34.1	34.5	29.1	10.9
	野幌地区	238	34.5	34.9	26.9	29.0	36.1	28.6	9.7
	大麻地区	170	24.1	34.1	22.9	34.1	37.1	25.3	16.5
介護度	非認定	636	32.2	36.6	27.2	32.7	36.0	28.0	11.9
	要支援1・2	31	32.3	29.0	32.3	25.8	29.0	25.8	9.7

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		390	34.4	42.3	34.6	41.8	24.6	32.6	10.5
性・年代	男性 40 代	33	39.4	57.6	33.3	39.4	27.3	30.3	6.1
	男性 50 代	73	38.4	49.3	31.5	35.6	21.9	28.8	6.8
	男性 60 歳以上	46	37.0	43.5	34.8	32.6	15.2	28.3	6.5
	女性 40 代	75	36.0	38.7	28.0	40.0	32.0	28.0	13.3
	女性 50 代	96	30.2	39.6	36.5	47.9	28.1	40.6	13.5
	女性 60 歳以上	61	32.8	37.7	47.5	49.2	18.0	34.4	9.8
家族構成	一人暮らし	28	25.0	46.4	64.3	60.7	28.6	32.1	7.1
	夫婦のみ	96	35.4	44.8	28.1	39.6	25.0	36.5	7.3
	同居その他	247	34.0	40.1	32.8	40.9	23.1	30.4	12.1
地区	江別地区	133	37.6	48.9	37.6	41.4	24.8	30.8	5.3
	野幌地区	127	34.6	40.9	38.6	33.9	22.0	37.8	14.2
	大麻地区	88	31.8	36.4	28.4	45.5	22.7	22.7	13.6

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		627	29.2	34.8	24.1	24.9	39.1	16.7	17.2
性・年代	男性 40 ～64歳	5	60.0	60.0	20.0	20.0	60.0	20.0	－
	男性 65 ～74歳	34	38.2	52.9	23.5	20.6	32.4	17.6	8.8
	男性 75 歳以上	151	27.2	39.1	22.5	23.8	33.1	16.6	19.9
	女性 40 ～64歳	9	22.2	22.2	－	11.1	22.2	11.1	33.3
	女性 65 ～74歳	42	26.2	38.1	33.3	35.7	38.1	33.3	16.7
	女性 75 歳以上	366	29.2	31.1	24.3	24.9	42.3	15.0	17.2
家族構成	一人暮らし	173	27.2	37.0	27.7	27.2	30.6	15.0	11.6
	夫婦のみ	178	25.8	34.8	28.1	31.5	42.7	20.2	16.9
	同居その他	260	32.7	33.5	19.6	19.6	42.7	16.2	20.4
地区	江別地区	223	33.6	31.8	27.4	26.9	38.1	23.3	14.8
	野幌地区	191	28.8	34.0	18.8	22.0	40.3	10.5	22.0
	大麻地区	173	26.0	37.6	26.6	26.0	33.5	16.8	15.6
介護度	要支援1・2	273	28.6	37.7	26.4	28.2	36.3	17.6	14.7
	要介護1・2	239	28.0	34.3	23.0	23.8	40.2	16.3	19.7
	要介護3～5	84	31.0	26.2	25.0	20.2	47.6	14.3	22.6

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		197	21.8	28.4	33.0	32.0	34.0	22.8	13.7
性・年代	男性 40 代	1	100.0	－	－	100.0	－	－	－
	男性 50 代	2	50.0	100.0	100.0	－	50.0	50.0	－
	男性 60 歳以上	47	21.3	34.0	31.9	34.0	29.8	27.7	12.8
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	－	－	－	－	100.0	－	－
	女性 60 歳以上	142	20.4	26.8	33.1	31.0	35.2	21.1	14.8
介護度	要介護1・2	40	20.0	35.0	32.5	40.0	35.0	27.5	10.0
	要介護3～5	152	21.7	27.6	32.2	29.6	34.9	21.7	15.1

（単位：%）

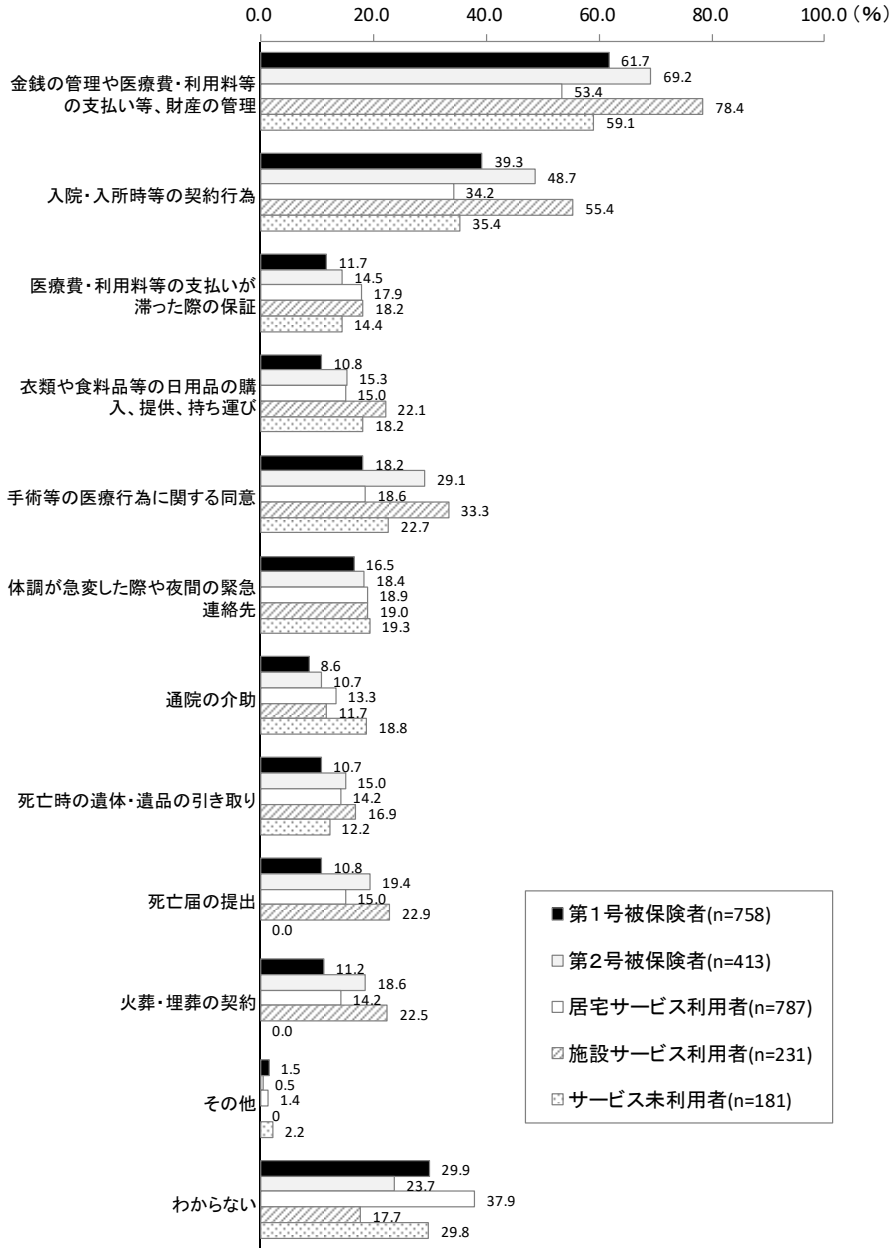
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	どうやって手続きしたらよいかわからない	利用すると、どんな効果があるかわからない	成年後見人への報酬など費用の負担が心配	誰が成年後見人になるか不安	家族との違いがわからない	不正が怖い	その他
全　体		143	28.0	39.9	32.9	24.5	40.6	23.8	14.0
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	8	50.0	62.5	－	25.0	50.0	12.5	12.5
	男性 75 歳以上	47	25.5	36.2	34.0	14.9	46.8	23.4	17.0
	女性 40 ～64歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	女性 65 ～74歳	11	45.5	27.3	36.4	45.5	54.5	9.1	9.1
	女性 75 歳以上	68	25.0	41.2	32.4	22.1	33.8	26.5	13.2
家族構成	一人暮らし	35	25.7	40.0	37.1	28.6	42.9	28.6	14.3
	夫婦のみ	56	35.7	41.1	35.7	30.4	44.6	25.0	8.9
	同居その他	47	21.3	38.3	29.8	14.9	34.0	21.3	19.1
地区	江別地区	42	26.2	47.6	38.1	33.3	45.2	19.0	19.0
	野幌地区	45	33.3	35.6	33.3	20.0	28.9	28.9	8.9
	大麻地区	45	24.4	31.1	28.9	20.0	46.7	22.2	13.3
介護度	要支援1・2	83	30.1	39.8	33.7	24.1	41.0	27.7	12.0
	要介護1・2	28	21.4	39.3	25.0	21.4	46.4	17.9	28.6
	要介護3～5	16	37.5	25.0	25.0	18.8	31.3	25.0	6.3

（４）成年後見人ができると思うこと

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見人ができると思うことを聞いたところ、全ての調査において「金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理」が最も多く、第１号被保険者で 61.7%、第２号被保険者で 69.2%、居宅サービス利用者で 53.4%、施設サービス利用者で 78.4%、サービス未利用者で 59.1%となっています。

＜図表 207＞　成年後見人ができると思うこと（複数回答）
【第１号被保険者　第 11 問３】【第２号被保険者　第６問３】
【居宅サービス利用者　第６問３】【施設サービス利用者　第５問３】
【サービス未利用者　第 10 問３】



＜図表 208＞　成年後見人ができると思うこと（地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理	入院・入所時等の契約行為	医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証	衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び	手術等の医療行為に関する同意	体調が急変した際や夜間の緊急連絡先	通院の介助	死亡時の遺体・遺品の引き取り	死亡届の提出	火葬・埋葬の契約	その他	わからない
全　体		758	61.7	39.3	11.7	10.8	18.2	16.5	8.6	10.7	10.8	11.2	1.5	29.9
地区	江別地区	291	58.1	37.1	12.4	10.0	20.3	17.2	10.0	10.7	11.0	11.3	1.7	31.6
	野幌地区	275	61.5	40.0	11.3	12.0	14.5	16.0	7.6	11.6	8.7	10.5	0.4	32.0
	大麻地区	191	67.5	41.4	11.5	10.5	20.4	16.2	7.9	9.4	13.6	12.0	2.6	24.6
介護度	非認定	720	62.2	39.3	11.5	10.4	17.8	16.1	8.1	10.7	10.4	11.1	1.3	30.4
	要支援1・2	38	52.6	39.5	15.8	18.4	26.3	23.7	18.4	10.5	18.4	13.2	5.3	21.1

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理	入院・入所時等の契約行為	医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証	衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び	手術等の医療行為に関する同意	体調が急変した際や夜間の緊急連絡先	通院の介助	死亡時の遺体・遺品の引き取り	死亡届の提出	火葬・埋葬の契約	その他	わからない
全　体		413	69.2	48.7	14.5	15.3	29.1	18.4	10.7	15.0	19.4	18.6	0.5	23.7
地区	江別地区	148	70.3	50.7	13.5	17.6	33.8	22.3	10.1	16.9	22.3	22.3	－	23.6
	野幌地区	137	67.2	50.4	16.8	13.9	27.7	17.5	13.1	15.3	20.4	20.4	0.7	24.1
	大麻地区	88	73.9	46.6	13.6	13.6	23.9	12.5	6.8	14.8	17.0	12.5	1.1	21.6

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理	入院・入所時等の契約行為	医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証	衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び	手術等の医療行為に関する同意	体調が急変した際や夜間の緊急連絡先	通院の介助	死亡時の遺体・遺品の引き取り	死亡届の提出	火葬・埋葬の契約	その他	わからない
全　体		787	53.4	34.2	17.9	15.0	18.6	18.9	13.3	14.2	15.0	14.2	1.4	37.9
地区	江別地区	276	48.2	30.4	13.8	14.1	15.6	16.7	13.4	12.0	12.0	11.2	2.2	41.7
	野幌地区	240	55.4	33.8	19.2	16.3	21.7	19.6	14.2	15.8	16.3	15.8	0.4	37.5
	大麻地区	223	58.7	39.9	21.5	15.2	17.9	21.5	13.5	15.7	17.5	16.6	1.3	31.8
介護度	要支援1・2	356	54.2	34.8	18.8	13.8	22.2	21.6	13.2	16.3	17.1	15.4	1.7	33.7
	要介護1・2	292	53.4	33.6	17.8	16.8	15.1	15.4	12.7	13.7	14.0	13.4	1.7	41.8
	要介護3～5	104	51.0	34.6	16.3	13.5	14.4	17.3	12.5	10.6	12.5	13.5	－	41.3

（単位：%）

〈施設利用者調査〉		調査数（件）	金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理	入院・入所時等の契約行為	医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証	衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び	手術等の医療行為に関する同意	体調が急変した際や夜間の緊急連絡先	通院の介助	死亡時の遺体・遺品の引き取り	死亡届の提出	火葬・埋葬の契約	その他	わからない
全　体		231	78.4	55.4	18.2	22.1	33.3	19.0	11.7	16.9	22.9	22.5	−	17.7
介護度	要介護1・2	46	78.3	45.7	21.7	32.6	32.6	15.2	13.0	19.6	21.7	23.9	−	15.2
	要介護3～5	177	78.5	57.6	16.9	19.8	33.3	20.3	10.7	15.8	23.2	22.0	−	18.1

（単位：%）

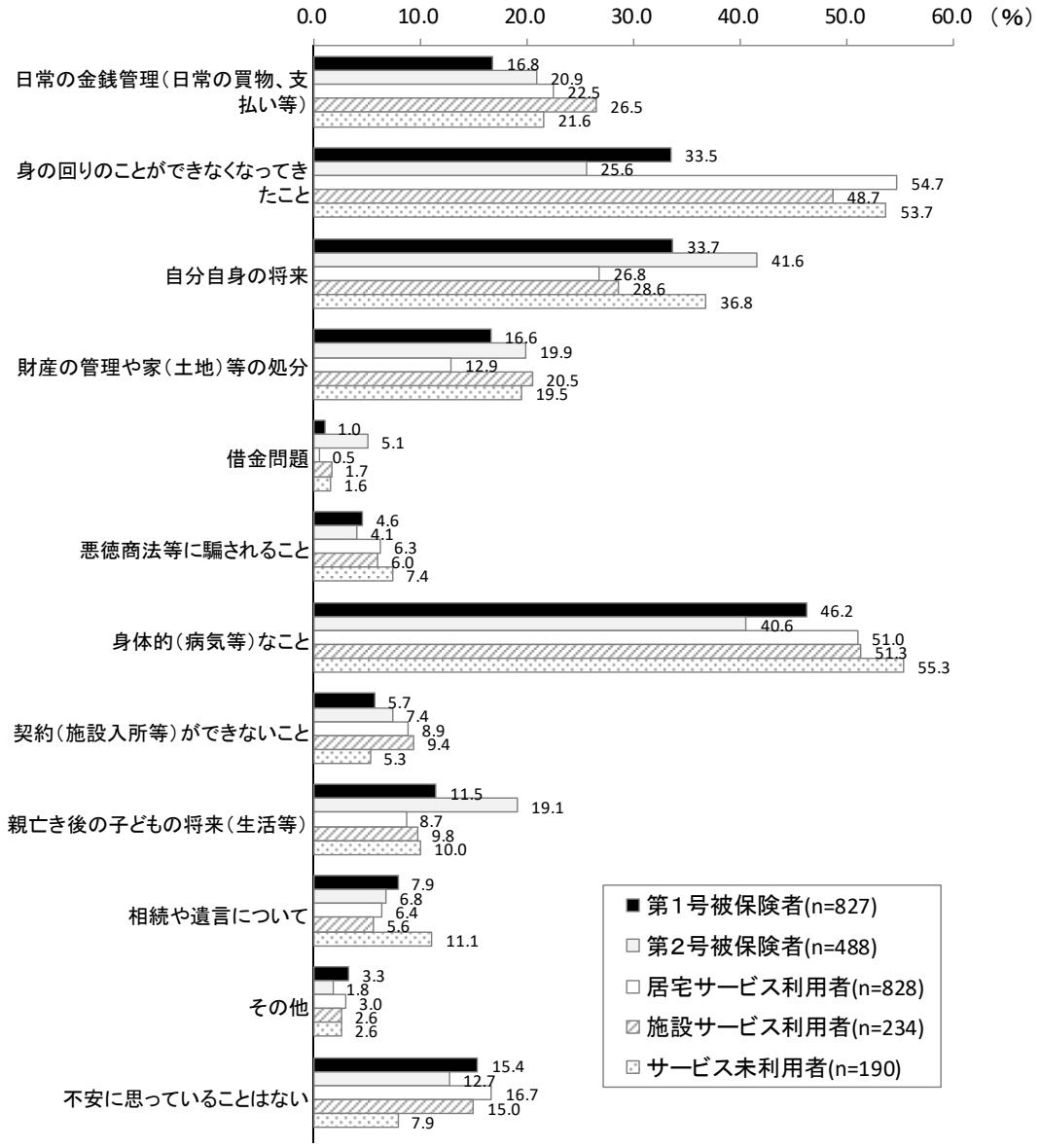
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理	入院・入所時等の契約行為	医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証	衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び	手術等の医療行為に関する同意	体調が急変した際や夜間の緊急連絡先	通院の介助	死亡時の遺体・遺品の引き取り	死亡届の提出	火葬・埋葬の契約	その他	わからない
全　体		181	59.1	35.4	14.4	18.2	22.7	19.3	18.8	12.2	−	−	2.2	29.8
地区	江別地区	58	56.9	34.5	13.8	13.8	27.6	13.8	13.8	10.3	−	−	1.7	31.0
	野幌地区	56	60.7	35.7	8.9	26.8	16.1	21.4	26.8	10.7	−	−	3.6	28.6
	大麻地区	54	66.7	42.6	22.2	14.8	25.9	22.2	18.5	13.0	−	−	1.9	24.1
介護度	要支援1・2	105	62.9	40.0	11.4	20.0	25.7	20.0	21.0	17.1	−	−	2.9	24.8
	要介護1・2	34	58.8	26.5	11.8	14.7	14.7	11.8	20.6	2.9	−	−	2.9	35.3
	要介護3～5	15	46.7	20.0	13.3	6.7	6.7	6.7	−	−	−	−	−	53.3

（５）自身が将来不安に思うこと

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

自身が将来不安に思うことを聞いたところ、第１号被保険者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「身体的（病気等）なこと」が最も多く、それぞれ 46.2%、51.3%、55.3%、となっています。第２号被保険者では「自分自身の将来」が 41.6%、居宅サービス利用者では「身の回りのことができなくなってきたこと」が 54.7%と、それぞれ最も多くなっています。

＜図表 209＞　自身が将来不安に思うこと（複数回答）
【第１号被保険者　第 11 問４】【第２号被保険者　第６問４】
【居宅サービス利用者　第６問４】【施設サービス利用者　第５問４】
【サービス未利用者　第 10 問４】



＜図表 210＞　自身が将来不安に思うこと（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		827	16.8	33.5	33.7	16.6	1.0	4.6	46.2	5.7	11.5	7.9	3.3	15.4
性・年代	男性 65 ～74歳	240	15.4	31.7	31.7	23.8	0.8	3.8	43.3	7.5	13.3	7.9	2.1	15.8
	男性 75 歳以上	180	13.3	42.2	31.7	15.6	0.6	4.4	46.1	3.9	12.8	10.6	3.3	13.3
	女性 65 ～74歳	220	18.6	25.9	37.3	16.4	1.4	3.6	45.9	6.4	11.4	6.4	4.5	15.9
	女性 75 歳以上	187	19.8	36.4	34.2	8.6	1.1	7.0	50.3	4.3	8.0	7.0	3.2	16.0
家族構成	一人暮らし	142	22.5	38.7	38.7	10.6	－	4.9	58.5	7.7	3.5	2.8	2.8	13.4
	夫婦のみ	455	16.9	34.1	31.0	20.0	1.1	4.0	45.5	5.5	8.4	9.5	4.2	16.5
	同居その他	220	13.2	29.1	35.0	14.1	0.9	5.9	40.5	5.0	23.2	7.7	1.8	14.5
地区	江別地区	327	19.3	35.2	33.9	17.7	0.9	4.3	45.0	5.8	13.5	8.3	3.1	15.9
	野幌地区	293	16.4	35.8	34.5	16.4	1.4	5.1	46.4	6.1	9.2	8.9	2.7	15.0
	大麻地区	206	13.6	27.7	32.5	15.0	0.5	4.4	47.6	4.9	11.7	5.8	4.4	15.0
介護度	非認定	783	17.0	31.8	33.5	17.1	0.9	4.2	45.3	5.4	11.2	7.8	3.3	16.0
	要支援1・2	44	13.6	63.6	38.6	6.8	2.3	11.4	61.4	11.4	15.9	9.1	2.3	4.5

（単位:%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		488	20.9	25.6	41.6	19.9	5.1	4.1	40.6	7.4	19.1	6.8	1.8	12.7
性・年代	男性 40 代	44	34.1	25.0	43.2	18.2	6.8	6.8	40.9	6.8	15.9	4.5	－	13.6
	男性 50 代	94	11.7	28.7	40.4	20.2	5.3	2.1	40.4	8.5	17.0	7.4	1.1	9.6
	男性 60 歳以上	58	24.1	36.2	32.8	19.0	1.7	3.4	46.6	6.9	8.6	8.6	1.7	13.8
	女性 40 代	96	22.9	15.6	36.5	22.9	4.2	－	34.4	5.2	22.9	7.3	2.1	20.8
	女性 50 代	118	19.5	27.1	51.7	20.3	6.8	6.8	38.1	6.8	22.9	7.6	0.8	8.5
	女性 60 歳以上	71	22.5	23.9	40.8	18.3	5.6	7.0	49.3	8.5	21.1	4.2	5.6	11.3
家族構成	一人暮らし	39	28.2	23.1	48.7	15.4	5.1	15.4	59.0	17.9	2.6	2.6	－	5.1
	夫婦のみ	117	18.8	26.5	46.2	25.6	1.7	4.3	47.0	7.7	3.4	7.7	1.7	11.1
	同居その他	308	20.5	23.7	39.3	18.5	6.5	2.6	36.7	4.2	26.0	6.2	2.3	14.0
地区	江別地区	174	22.4	24.1	46.0	21.3	4.0	5.2	43.7	8.0	21.8	5.7	1.7	10.9
	野幌地区	156	23.1	32.7	41.0	19.9	7.1	5.1	34.6	6.4	21.2	11.5	1.3	10.9
	大麻地区	106	18.9	20.8	35.8	17.0	3.8	2.8	43.4	6.6	17.0	2.8	2.8	17.0

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		828	22.5	54.7	26.8	12.9	0.5	6.3	51.0	8.9	8.7	6.4	3.0	16.7
性・年代	男性 40 ～64歳	6	33.3	66.7	−	16.7	−	−	50.0	−	16.7	−	−	33.3
	男性 65 ～74歳	46	26.1	63.0	37.0	17.4	−	4.3	43.5	13.0	10.9	8.7	−	8.7
	男性 75 歳以上	202	23.8	55.9	27.2	16.8	1.0	7.9	48.0	8.9	9.4	8.4	5.0	18.3
	女性 40 ～64歳	10	20.0	50.0	50.0	−	−	−	30.0	10.0	10.0	−	−	20.0
	女性 65 ～74歳	57	33.3	61.4	42.1	14.0	−	1.8	66.7	8.8	17.5	7.0	1.8	12.3
	女性 75 歳以上	477	20.1	52.4	23.5	10.9	0.2	6.5	51.4	8.4	6.5	5.5	2.7	17.6
家族構成	一人暮らし	247	20.2	55.5	25.5	12.6	−	5.7	44.5	8.5	4.0	6.5	2.8	17.0
	夫婦のみ	238	29.4	59.7	33.2	17.2	1.3	9.7	58.8	10.9	8.0	9.2	3.8	10.9
	同居その他	323	18.9	50.2	23.8	10.5	−	4.3	48.9	7.4	12.4	4.6	2.8	21.4
地区	江別地区	291	22.3	53.3	26.1	10.3	0.7	7.2	51.2	12.0	7.9	5.8	1.4	18.9
	野幌地区	259	22.0	54.1	25.9	12.4	−	3.9	50.2	5.0	8.9	6.9	4.6	17.4
	大麻地区	228	24.1	54.8	28.9	16.2	0.4	8.3	52.6	10.1	10.1	6.6	3.9	14.0
介護度	要支援1・2	370	21.9	51.1	28.9	11.1	0.3	7.0	57.3	7.8	10.8	7.3	3.2	14.3
	要介護1・2	307	24.4	59.6	28.3	15.6	0.7	7.2	45.9	10.4	5.2	5.5	2.3	16.9
	要介護3～5	109	20.2	54.1	16.5	13.8	−	1.8	46.8	6.4	9.2	7.3	3.7	22.0

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		234	26.5	48.7	28.6	20.5	1.7	6.0	51.3	9.4	9.8	5.6	2.6	15.0
性・年代	男性 40 代	1	−	100.0	−	−	−	−	100.0	−	−	−	−	−
	男性 50 代	2	50.0	50.0	50.0	−	−	−	50.0	−	−	−	−	−
	男性 60 歳以上	57	29.8	50.9	31.6	24.6	1.8	5.3	59.6	12.3	15.8	3.5	3.5	8.8
	女性 40 代	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女性 50 代	1	−	100.0	100.0	−	−	−	100.0	−	−	−	−	−
	女性 60 歳以上	168	25.6	48.2	26.8	19.6	1.8	5.4	48.2	8.3	7.7	6.0	1.8	17.3
介護度	要介護1・2	49	26.5	55.1	36.7	26.5	2.0	10.2	65.3	10.2	10.2	6.1	−	10.2
	要介護3～5	179	25.1	46.4	26.8	17.3	1.7	3.9	48.6	9.5	8.9	5.0	3.4	16.2

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）	身の回りのことができなくなってきたこと	自分自身の将来	財産の管理や家（土地）等の処分	借金問題	悪徳商法等に騙されること	身体的（病気等）なこと	契約（施設入所等）ができないこと	親亡き後の子どもの将来（生活等）	相続や遺言について	その他	不安に思っていることはない
全　体		190	21.6	53.7	36.8	19.5	1.6	7.4	55.3	5.3	10.0	11.1	2.6	7.9
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	男性 65 ～74歳	11	36.4	45.5	45.5	18.2	−	−	81.8	9.1	9.1	9.1	−	9.1
	男性 75 歳以上	59	20.3	61.0	33.9	23.7	1.7	8.5	54.2	3.4	8.5	11.9	3.4	5.1
	女性 40 ～64歳	1	100.0	100.0	−	−	−	−	100.0	−	−	−	−	−
	女性 65 ～74歳	12	25.0	33.3	33.3	33.3	−	−	66.7	−	25.0	8.3	−	−
	女性 75 歳以上	94	19.1	51.1	39.4	14.9	1.1	5.3	52.1	5.3	8.5	11.7	3.2	10.6
家族構成	一人暮らし	54	33.3	57.4	59.3	18.5	1.9	7.4	50.0	9.3	3.7	11.1	3.7	7.4
	夫婦のみ	70	21.4	51.4	34.3	27.1	2.9	10.0	64.3	5.7	10.0	10.0	−	2.9
	同居その他	60	13.3	51.7	21.7	13.3	−	3.3	51.7	1.7	16.7	13.3	3.3	15.0
地区	江別地区	61	13.1	52.5	27.9	21.3	1.6	6.6	55.7	6.6	9.8	8.2	1.6	13.1
	野幌地区	61	27.9	62.3	50.8	13.1	−	4.9	52.5	−	13.1	6.6	4.9	3.3
	大麻地区	54	25.9	48.1	33.3	25.9	3.7	13.0	59.3	11.1	7.4	18.5	−	9.3
介護度	要支援1・2	112	21.4	51.8	41.1	18.8	1.8	8.0	57.1	5.4	6.3	14.3	2.7	7.1
	要介護1・2	34	23.5	55.9	32.4	14.7	−	−	55.9	2.9	14.7	5.9	2.9	11.8
	要介護3～5	14	21.4	50.0	14.3	21.4	−	−	64.3	−	21.4	7.1	−	−

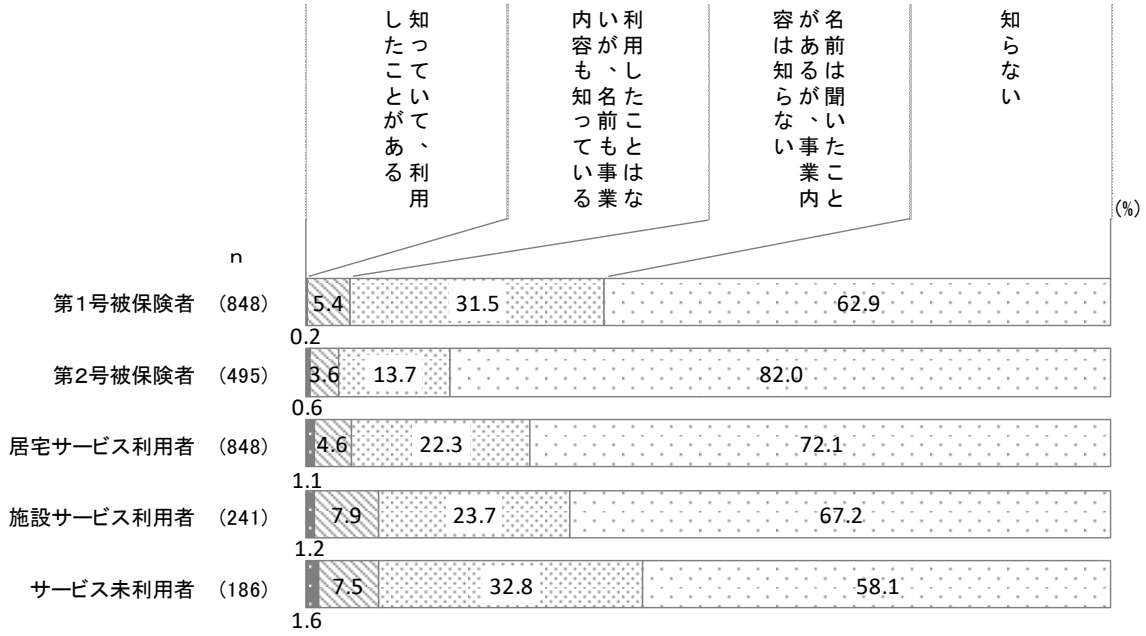
（６）江別市成年後見支援センターの認知度

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

江別市成年後見支援センターの認知度を聞いたところ、全ての調査において「知らない」が最も多く、第１号被保険者で 62.9%、第２号被保険者で 82.0%、居宅サービス利用者で 72.1%、施設サービス利用者で 67.2%、サービス未利用者で 58.1%となっています。

＜図表 211＞　江別市成年後見支援センターの認知度

【第１号被保険者　第 11 問５】【第２号被保険者　第６問５】
【居宅サービス利用者　第６問５】【施設サービス利用者　第５問５】
【サービス未利用者　第 10 問５】



＜図表 212＞　江別市成年後見支援センターの認知度（性・年代別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		848	0.2	5.4	31.5	62.9
性・年代	男性 65 ～74歳	241	0.4	5.0	25.3	69.3
	男性 75 歳以上	179	0.6	6.1	36.3	57.0
	女性 65 ～74歳	230	－	5.2	30.0	64.8
	女性 75 歳以上	198	－	5.6	36.4	58.1
地区	江別地区	334	－	4.8	32.9	62.3
	野幌地区	301	0.3	5.0	31.9	62.8
	大麻地区	212	0.5	7.1	28.8	63.7
介護度	非認定	807	0.2	5.5	31.4	62.9
	要支援1・2	41	－	4.9	34.1	61.0

（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		495	0.6	3.6	13.7	82.0
性・年代	男性 40 代	44	2.3	－	11.4	86.4
	男性 50 代	96	－	5.2	13.5	81.3
	男性 60 歳以上	59	－	－	10.2	89.8
	女性 40 代	95	－	4.2	12.6	83.2
	女性 50 代	120	－	4.2	15.8	80.0
	女性 60 歳以上	72	2.8	5.6	18.1	73.6
地区	江別地区	175	0.6	4.0	13.1	82.3
	野幌地区	158	0.6	3.2	15.2	81.0
	大麻地区	109	－	4.6	14.7	80.7

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		848	1.1	4.6	22.3	72.1
性・年代	男性 40 ～64歳	6	－	－	33.3	66.7
	男性 65 ～74歳	47	－	4.3	23.4	72.3
	男性 75 歳以上	207	1.0	4.8	22.7	71.5
	女性 40 ～64歳	11	－	－	36.4	63.6
	女性 65 ～74歳	57	－	1.8	12.3	86.0
	女性 75 歳以上	486	1.0	4.7	22.2	72.0
地区	江別地区	299	0.3	4.0	20.7	74.9
	野幌地区	261	0.8	5.0	19.5	74.7
	大麻地区	234	1.7	4.7	26.1	67.5
介護度	要支援1・2	381	1.0	6.8	25.7	66.4
	要介護1・2	313	0.3	2.6	20.8	76.4
	要介護3～5	108	1.9	0.9	17.6	79.6

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		241	1.2	7.9	23.7	67.2
性・年代	男性 40 代	1	－	－	－	100.0
	男性 50 代	2	－	－	－	100.0
	男性 60 歳以上	58	1.7	1.7	31.0	65.5
	女性 40 代	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	－	－	100.0	－
	女性 60 歳以上	174	1.1	9.8	21.8	67.2
介護度	要介護1・2	48	－	2.1	22.9	75.0
	要介護3～5	184	1.6	9.2	23.4	65.8

（単位：%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	知っていて、利用したことがある	利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	知らない
全　体		186	1.6	7.5	32.8	58.1
性・年代	男性 40 ～64歳	－	－	－	－	－
	男性 65 ～74歳	12	－	8.3	50.0	41.7
	男性 75 歳以上	59	－	6.8	42.4	50.8
	女性 40 ～64歳	2	－	－	－	100.0
	女性 65 ～74歳	11	9.1	9.1	18.2	63.6
	女性 75 歳以上	90	2.2	8.9	25.6	63.3
地区	江別地区	60	－	8.3	35.0	56.7
	野幌地区	58	－	6.9	27.6	65.5
	大麻地区	56	3.6	8.9	37.5	50.0
介護度	要支援1・2	109	0.9	7.3	30.3	61.5
	要介護1・2	34	2.9	5.9	35.3	55.9
	要介護3～5	17	5.9	11.8	29.4	52.9

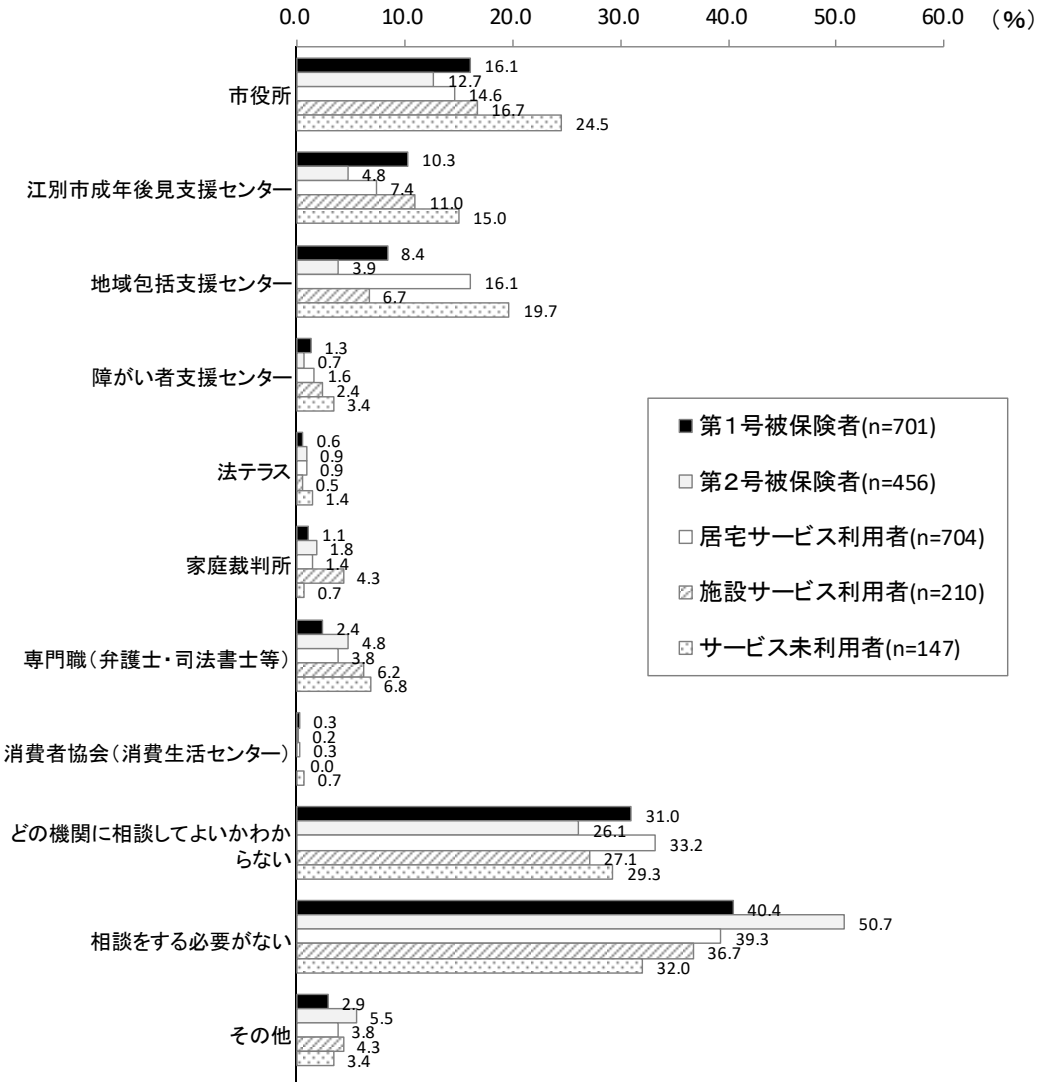
（７）成年後見制度に関する相談先

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、全ての調査において「相談をする必要がない」が最も多く、次いで「どの機関に相談してよいかわからない」となっています。

＜図表 213＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）

【第１号被保険者　第 11 問６】【第２号被保険者　第６問６】
【居宅サービス利用者　第６問６】【施設サービス利用者　第５問６】
【サービス未利用者　第 10 問６】



＜図表 214＞　成年後見制度に関する相談先（性・年代別/家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位：%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		701	16.1	10.3	8.4	1.3	0.6	1.1	2.4	0.3	31.0	40.4	2.9
性・年代	男性 65 ～74歳	208	15.9	9.1	5.8	1.4	0.5	1.9	1.9	－	33.7	41.3	1.4
	男性 75 歳以上	148	18.2	16.2	12.8	2.0	0.7	1.4	2.0	0.7	31.1	30.4	4.7
	女性 65 ～74歳	190	15.3	7.4	8.4	1.1	1.1	0.5	2.6	0.5	28.4	44.7	4.2
	女性 75 歳以上	155	15.5	9.7	7.7	0.6	－	0.6	3.2	－	30.3	43.2	1.3
家族構成	一人暮らし	117	13.7	6.8	10.3	－	－	－	0.9	－	32.5	46.2	0.9
	夫婦のみ	387	16.5	11.1	8.8	1.6	0.5	0.8	2.8	0.3	30.2	40.3	3.4
	同居その他	189	16.4	10.1	6.3	1.6	1.1	2.6	2.6	0.5	31.7	38.1	3.2
地区	江別地区	271	17.7	8.9	9.2	1.8	0.7	0.4	2.2	0.7	32.8	37.3	3.3
	野幌地区	251	16.7	10.8	7.2	1.2	－	0.4	0.8	－	32.3	39.0	3.2
	大麻地区	178	12.9	11.8	9.0	0.6	1.1	3.4	5.1	－	26.4	46.6	1.7
介護度	非認定	668	15.6	10.2	7.5	1.0	0.6	1.2	2.4	0.3	30.8	41.9	2.8
	要支援1・2	33	27.3	12.1	27.3	6.1	－	－	3.0	－	33.3	9.1	3.0

（単位：%）

〈2号被保険者調査〉		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		456	12.7	4.8	3.9	0.7	0.9	1.8	4.8	0.2	26.1	50.7	5.5
性・年代	男性 40 代	42	28.6	9.5	4.8	2.4	－	－	2.4	－	19.0	42.9	4.8
	男性 50 代	88	10.2	4.5	1.1	－	－	1.1	6.8	－	26.1	52.3	9.1
	男性 60 歳以上	52	7.7	7.7	5.8	－	－	1.9	1.9	－	34.6	44.2	5.8
	女性 40 代	92	7.6	1.1	4.3	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	26.1	62.0	3.3
	女性 50 代	110	11.8	6.4	4.5	－	1.8	1.8	8.2	－	25.5	50.9	3.6
	女性 60 歳以上	66	16.7	3.0	3.0	－	1.5	4.5	6.1	－	27.3	42.4	7.6
家族構成	一人暮らし	34	17.6	2.9	8.8	－	2.9	8.8	11.8	－	26.5	29.4	5.9
	夫婦のみ	109	11.9	5.5	2.8	－	0.9	1.8	7.3	－	30.3	47.7	6.4
	同居その他	290	11.7	5.2	3.8	0.7	0.7	1.0	3.4	0.3	24.1	54.8	5.2
地区	江別地区	163	16.0	4.9	4.9	－	0.6	1.2	6.1	－	30.1	44.8	5.5
	野幌地区	145	7.6	2.8	2.8	－	1.4	2.8	4.8	－	20.0	59.3	4.1
	大麻地区	99	14.1	6.1	4.0	1.0	1.0	1.0	3.0	1.0	26.3	49.5	7.1

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		704	14.6	7.4	16.1	1.6	0.9	1.4	3.8	0.3	33.2	39.3	3.8
性・年代	男性 40 ～64歳	4	－	－	－	－	－	－	－	－	25.0	75.0	－
	男性 65 ～74歳	39	15.4	7.7	10.3	7.7	－	5.1	2.6	－	30.8	30.8	2.6
	男性 75 歳以上	175	17.1	7.4	18.3	0.6	0.6	1.7	6.3	－	35.4	33.1	3.4
	女性 40 ～64歳	9	－	－	11.1	－	11.1	11.1	11.1	－	22.2	55.6	－
	女性 65 ～74歳	49	6.1	8.2	14.3	2.0	2.0	－	2.0	2.0	40.8	30.6	6.1
	女性 75 歳以上	402	14.7	7.5	16.2	1.5	0.7	1.0	3.0	0.2	31.3	44.8	3.7
家族構成	一人暮らし	220	15.5	7.3	21.4	2.3	1.4	1.4	4.5	－	26.8	42.3	5.9
	夫婦のみ	187	19.3	10.2	19.3	1.1	0.5	2.1	4.3	－	36.9	27.8	3.7
	同居その他	278	10.1	5.0	10.1	1.4	0.7	1.1	2.9	0.7	36.0	46.0	2.2
地区	江別地区	234	13.7	3.8	12.0	2.6	－	1.3	3.0	0.9	37.2	40.2	3.4
	野幌地区	227	14.5	9.7	17.6	1.3	0.9	1.8	4.0	－	32.2	38.8	3.5
	大麻地区	200	16.5	8.5	20.0	0.5	1.0	1.0	4.5	－	30.5	38.0	5.5
介護度	要支援1・2	326	17.2	9.2	25.5	1.8	0.9	1.2	4.6	0.6	31.6	35.9	2.8
	要介護1・2	251	10.4	3.6	6.4	1.2	0.8	1.2	2.4	－	34.3	45.4	5.2
	要介護3～5	92	15.2	12.0	7.6	2.2	1.1	3.3	4.3	－	35.9	40.2	3.3

（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		210	16.7	11.0	6.7	2.4	0.5	4.3	6.2	－	27.1	36.7	4.3
性・年代	男性 40 代	1	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性 50 代	2	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－
	男性 60 歳以上	50	18.0	10.0	8.0	4.0	2.0	6.0	6.0	－	40.0	22.0	2.0
	女性 40 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 50 代	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性 60 歳以上	153	15.0	11.1	5.9	2.0	－	3.9	6.5	－	21.6	43.1	5.2
介護度	要介護1・2	48	14.6	12.5	4.2	2.1	－	－	10.4	－	35.4	33.3	4.2
	要介護3～5	156	16.7	10.3	7.1	1.9	－	5.8	5.1	－	24.4	38.5	4.5

（単位：%）

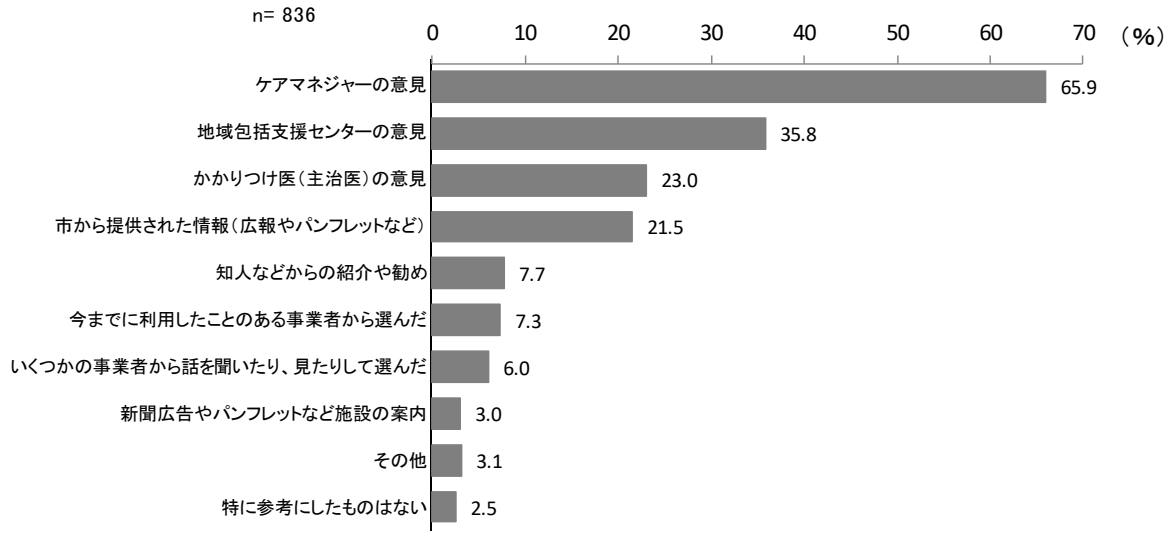
〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	市役所	江別市成年後見支援センター	地域包括支援センター	障がい者支援センター	法テラス	家庭裁判所	専門職（弁護士・司法書士等）	消費者協会（消費生活センター）	どの機関に相談してよいかわからない	相談をする必要がない	その他
全　体		147	24.5	15.0	19.7	3.4	1.4	0.7	6.8	0.7	29.3	32.0	3.4
性・年代	男性 40 ～64歳	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	男性 65 ～74歳	9	−	11.1	11.1	−	−	11.1	11.1	−	33.3	55.6	−
	男性 75 歳以上	53	32.1	18.9	22.6	7.5	−	−	7.5	−	22.6	32.1	1.9
	女性 40 ～64歳	2	50.0	−	50.0	−	50.0	−	−	−	50.0	−	−
	女性 65 ～74歳	10	20.0	10.0	20.0	−	10.0	−	10.0	−	50.0	30.0	10.0
	女性 75 歳以上	64	20.3	14.1	17.2	1.6	−	−	6.3	1.6	29.7	32.8	4.7
家族構成	一人暮らし	35	25.7	17.1	25.7	−	−	−	5.7	2.9	31.4	25.7	8.6
	夫婦のみ	56	26.8	19.6	21.4	7.1	1.8	−	8.9	−	23.2	33.9	−
	同居その他	51	21.6	7.8	15.7	2.0	2.0	2.0	5.9	−	33.3	37.3	2.0
地区	江別地区	45	15.6	15.6	17.8	2.2	2.2	−	8.9	−	31.1	33.3	2.2
	野幌地区	47	27.7	23.4	23.4	4.3	−	2.1	4.3	−	31.9	36.2	−
	大麻地区	43	34.9	9.3	20.9	4.7	2.3	−	7.0	2.3	20.9	27.9	4.7
介護度	要支援1・2	79	24.1	17.7	20.3	3.8	1.3	1.3	8.9	1.3	30.4	29.1	1.3
	要介護1・2	31	19.4	9.7	19.4	3.2	3.2	−	3.2	−	32.3	45.2	9.7
	要介護3～5	16	37.5	12.5	6.3	6.3	−	−	12.5	−	25.0	37.5	−

12. 介護保険サービス等の利用状況

（１）事業者を選ぶポイント【居宅サービス利用者】

事業者を選ぶポイントを聞いたところ、「ケアマネジャーの意見」が 65.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センターの意見」(35.8%)、「かかりつけ医（主治医）の意見」(23.0%）となっています。

＜図表 215＞　事業者を選ぶポイント（複数回答）【居宅サービス利用者　第９問１】



＜図表 216＞　事業者を選ぶポイント（家族構成別/要介護度別）

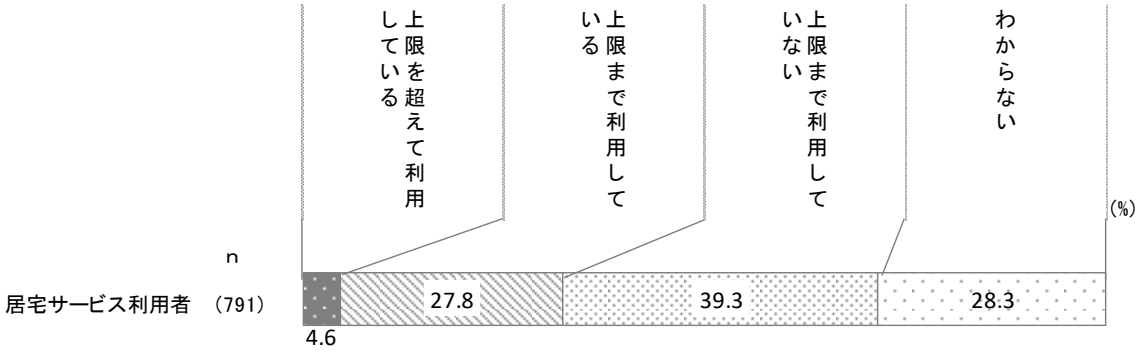
（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	ケアマネジャーの意見	地域包括支援センターの意見	かかりつけ医（主治医）の意見	市から提供された情報（広報やパンフレットなど）	知人などからの紹介や勧め	今までに利用したことのある事業者から選んだ	いくつかの事業者から話を聞いたり、見たりして選んだ	新聞広告やパンフレットなど施設の案内	その他	特に参考にしたものはない
全体		836	65.9	35.8	23.0	21.5	7.7	7.3	6.0	3.0	3.1	2.5
家族構成	一人暮らし	243	62.6	33.7	21.4	18.5	7.8	7.0	6.6	2.9	3.3	4.9
	夫婦のみ	239	61.9	41.0	26.4	27.2	7.9	5.9	5.0	3.8	3.3	1.3
	同居その他	332	71.1	33.7	22.0	19.3	7.8	9.0	6.6	2.7	3.0	1.2
介護度	要支援1・2	373	56.6	48.5	24.1	24.7	6.4	7.0	4.0	3.2	1.6	3.8
	要介護1・2	308	75.3	26.9	20.5	17.5	9.1	8.8	7.8	2.6	4.2	1.3
	要介護3～5	118	76.3	16.9	27.1	24.6	7.6	6.8	7.6	3.4	5.1	0.8

（２）制度上で利用できる上限までの利用【居宅サービス利用者】

制度上で利用できる上限までの利用を聞いたところ、「上限まで利用していない」が 39.3%で最も多く、次いで「わからない」(28.3%)、「上限まで利用している」(27.8%) となっています。

＜図表 217＞　制度上で利用できる上限までの利用【居宅サービス利用者　第９問２】



＜図表 218＞　制度上で利用できる上限までの利用（家族構成別/要介護度別）

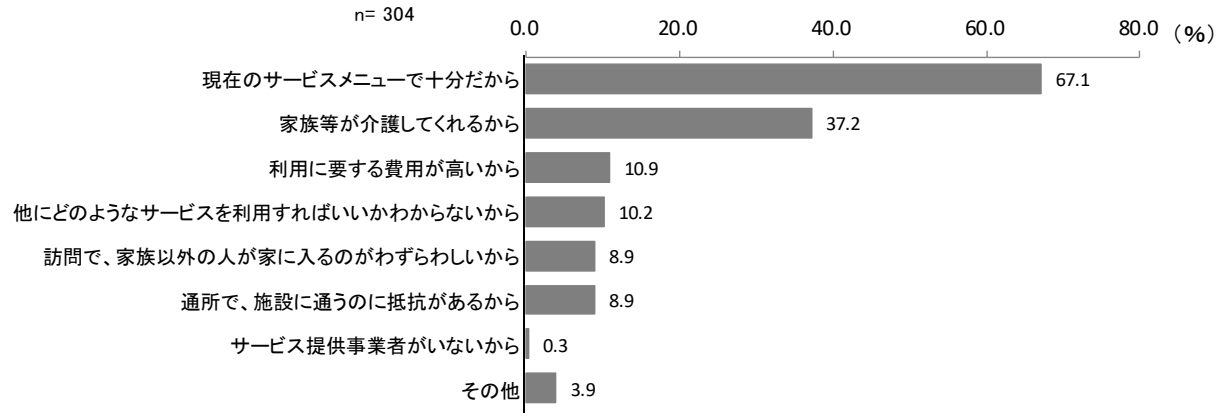
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	上限を超えて利用している	上限まで利用している	上限まで利用していない	わからない
全　体		791	4.6	27.8	39.3	28.3
家族構成	一人暮らし	225	4.0	27.1	39.6	29.3
	夫婦のみ	226	4.4	27.0	39.8	28.8
	同居その他	321	4.7	29.0	38.9	27.4
介護度	要支援1・2	340	2.9	24.7	42.1	30.3
	要介護1・2	303	4.3	26.4	42.9	26.4
	要介護3～5	115	9.6	40.0	27.0	23.5

（３）上限まで利用していない理由【居宅サービス利用者】

制度上で利用できる上限までの利用で「上限まで利用していない」と回答した人に、上限まで利用していない理由を聞いたところ、「現在のサービスメニューで十分だから」が 67.1%で最も多く、次いで「家族等が介護してくれるから」(37.2%)、「利用に要する費用が高いから」(10.9%)となっています。

＜図表 219＞　上限まで利用していない理由【居宅サービス利用者　第９問２－１】



＜図表 220＞　上限まで利用していない理由（家族構成別/要介護度別）

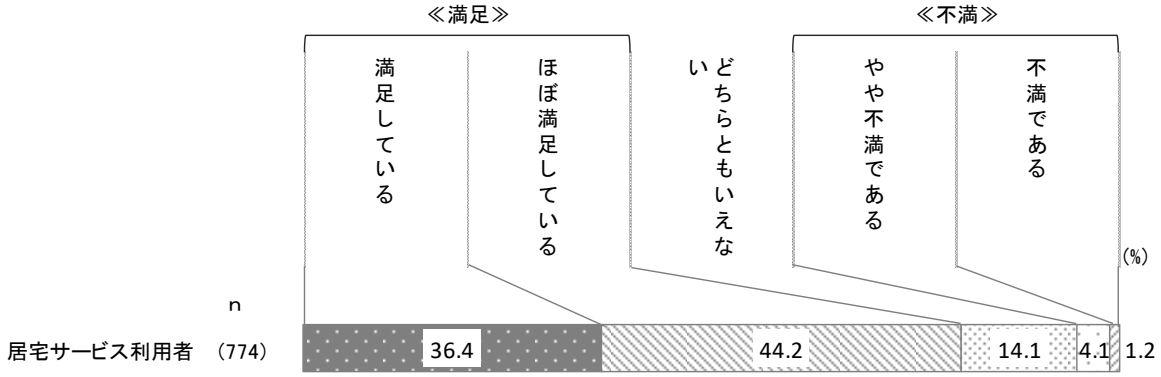
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	現在のサービスメニューで十分だから	家族等が介護してくれるから	利用に要する費用が高いから	他にどのようなサービスを利用すればいいかわからないから	訪問で、家族以外の人が家に入るのがわずらわしいから	通所で、施設に通うのに抵抗があるから	サービス提供事業者がいないから	その他
全　体		304	67.1	37.2	10.9	10.2	8.9	8.9	0.3	3.9
家族構成	一人暮らし	87	71.3	21.8	4.6	9.2	10.3	9.2	－	3.4
	夫婦のみ	89	66.3	41.6	13.5	7.9	9.0	5.6	1.1	4.5
	同居その他	122	66.4	45.1	13.1	11.5	7.4	10.7	－	4.1
介護度	要支援1・2	140	70.0	25.0	10.0	5.7	6.4	6.4	0.7	4.3
	要介護1・2	127	71.7	43.3	9.4	15.0	9.4	8.7	－	3.9
	要介護3～5	30	40.0	66.7	23.3	10.0	20.0	20.0	－	3.3

（４）サービス利用の満足度【居宅サービス利用者】

サービス利用の満足度を聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫は 80.6%となっています。要介護度別にみると、要介護度が上がるほど≪満足≫の割合は低くなっています。

＜図表 221＞　サービス利用の満足度【居宅サービス利用者　第９問３】



＜図表 222＞　サービス利用の満足度（要介護度別/制度上で利用できる上限までの利用別）

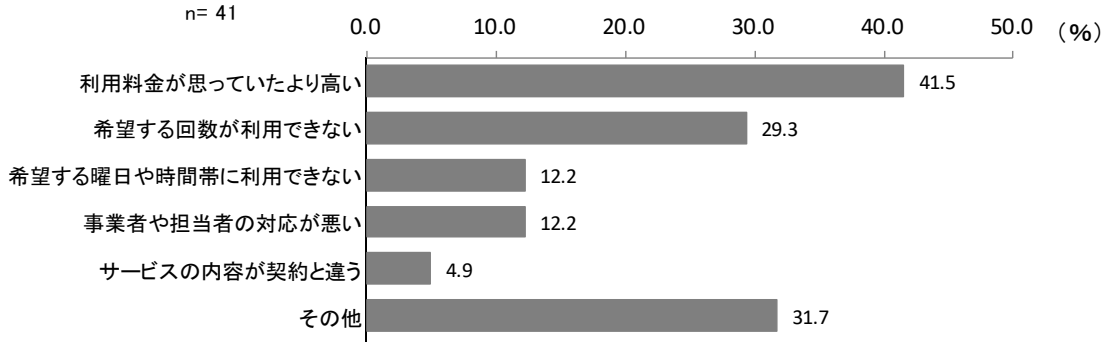
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	≪満足≫	≪不満≫
全 体		774	36.4	44.2	14.1	4.1	1.2	80.6	5.3
介護度	要支援1・2	334	37.4	45.8	13.2	2.7	0.9	83.2	3.6
	要介護1・2	299	36.8	42.1	14.0	5.4	1.7	78.9	7.1
	要介護3～5	110	27.3	48.2	19.1	4.5	0.9	75.5	5.4
上限までの利用	上限を超えて利用している	36	36.1	44.4	11.1	5.6	2.8	80.5	8.4
	上限まで利用している	216	37.0	45.8	12.0	4.6	0.5	82.8	5.1
	上限まで利用していない	289	40.5	44.3	11.4	3.5	0.3	84.8	3.8
	わからない	204	28.4	42.6	21.6	4.4	2.9	71.0	7.3

（５）不満な理由【居宅サービス利用者】

サービス利用の満足度で「やや不満である」または「不満である」と回答した人に、不満な理由を聞いたところ、「利用料金が思っていたより高い」が 41.5%、「希望する回数が利用できない」が 29.3%となっています。

＜図表 223＞　不満な理由（複数回答）【居宅サービス利用者　第９問３－１】



＜図表 224＞　不満な理由（要介護度別）

（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	利用料金が思っていたより高い	希望する回数が利用できない	希望する曜日や時間帯に利用できない	事業者や担当者の対応が悪い	サービスの内容が契約と違う	その他
全　体		41	41.5	29.3	12.2	12.2	4.9	31.7
介護度	要支援1・2	12	25.0	58.3	16.7	16.7	－	25.0
	要介護1・2	21	47.6	9.5	9.5	14.3	9.5	38.1
	要介護3～5	6	66.7	33.3	16.7	－	－	16.7

（６）利用しているサービスの満足・不満【居宅サービス利用者】

利用しているサービスの満足なところとしては、「職員・スタッフに関すること」「施設・設備・サービス内容全般」「健康・介護予防に関すること」が多くあげられました。一方、不満なところとしては、「施設・設備・サービス内容全般」「サービスの利用回数・時間等に関すること」「職員・スタッフに関すること」が多くあげられました。

＜図表 225＞　満足なところ（複数回答）【居宅サービス利用者　第９問４】

（単位:件）

職員・スタッフに関すること	施設・設備・サービス内容全般	健康・介護予防に関すること	入浴に関すること	通所サービスに関すること	コミュニケーションに関すること	食事に関すること	情報提供・相談等に関すること	福祉用具・住宅補助等に関すること	医療・看護に関すること	洗濯・掃除・身の回りの世話等	行事・レクレーション等に関すること	家族等介護者に関すること	ショートステイに関すること	交通・移動手段等に関すること	満足（具体的な記載なし）	その他	件数
178	86	56	37	27	24	23	20	15	13	13	13	6	4	2	22	63	391

＜図表 226＞　不満なところ（複数回答）【居宅サービス利用者　第９問４】

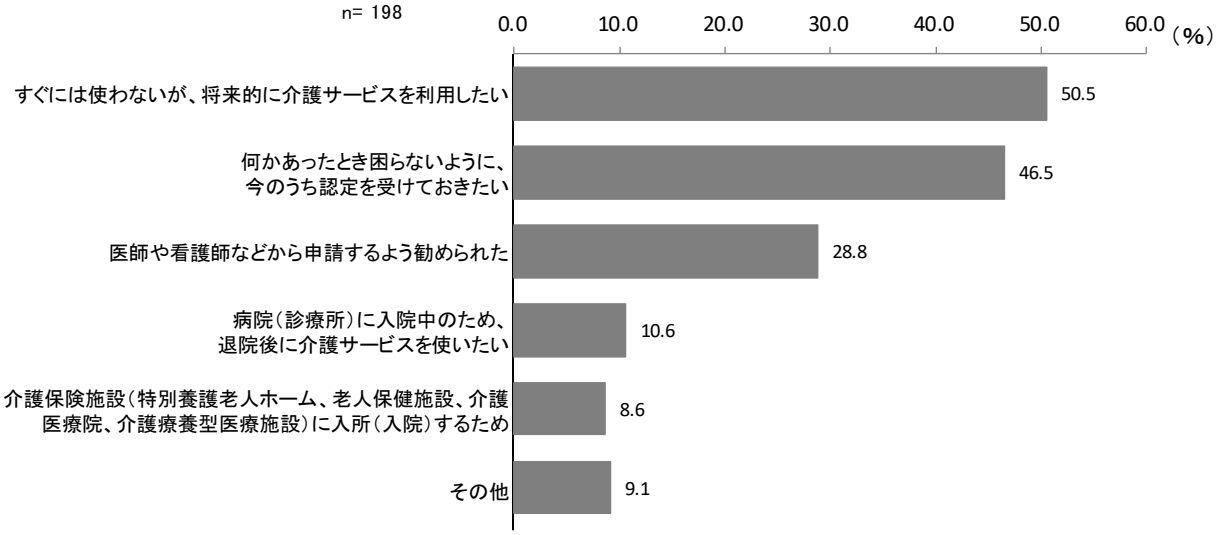
（単位:件）

施設・設備・サービス内容全般	サービスの利用回数・時間等に関すること	職員・スタッフに関すること	食事に関すること	健康・介護予防に関すること	通所サービスに関すること	入浴に関すること	洗濯・掃除・身の回りの世話等	行事・レクレーション等に関すること	費用負担に関すること	家族等介護者に関すること	コミュニケーションに関すること	福祉用具・住宅補助等に関すること	情報提供・相談等に関すること	ショートステイに関すること	医療・看護に関すること	交通・移動手段等に関すること	その他	件数
35	21	18	11	10	9	8	7	5	5	4	3	3	2	1	0	0	36	132

（７）認定を受けるために申請した理由【サービス未利用者】

認定を受けるために申請した理由を聞いたところ、「すぐには使わないが、将来的に介護サービスを利用したい」が 50.5%で最も多く、次いで「何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」（46.5%）、「医師や看護師などから申請するよう勧められた」（28.8%）となっています。要介護度別でみると、「何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい」の割合は要介護度が下がるほど高い一方、「病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい」の割合は要介護度が上がるほど高くなっています。

＜図表 227＞　認定を受けるために申請した理由（複数回答）【サービス未利用者　第８問１】

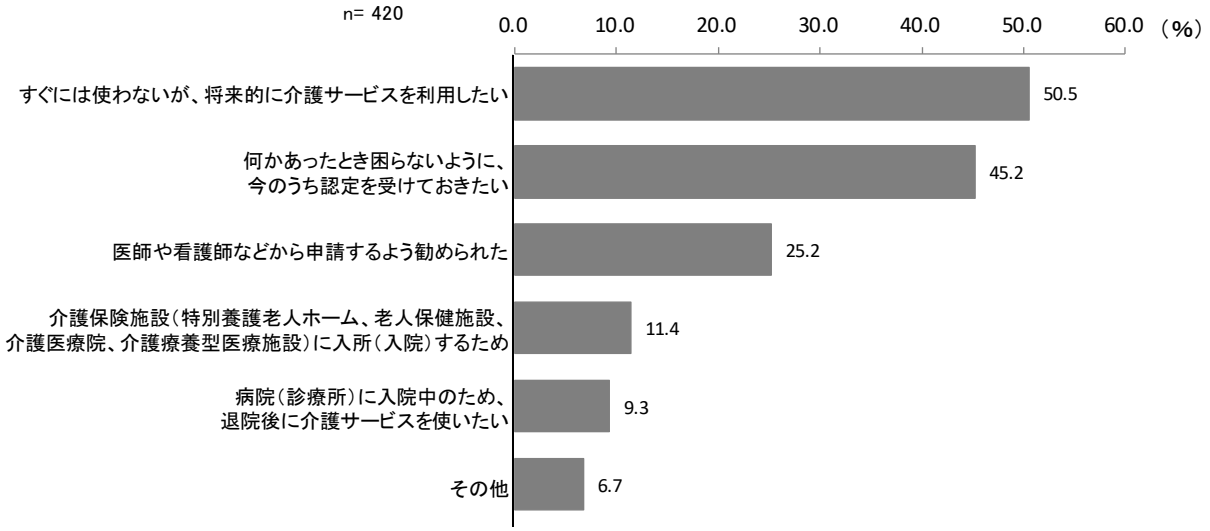


＜図表 228＞　認定を受けるために申請した理由（家族構成別/要介護度別）

（単位：%）

＜サービス未利用者調査＞		調査数（件）	すぐには使わないが、将来的に介護サービスを利用したい	何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい	医師や看護師などから申請するよう勧められた	病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい	介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院）に入所（入院）するため	その他
全　体		198	50.5	46.5	28.8	10.6	8.6	9.1
家族構成	一人暮らし	58	58.6	56.9	19.0	5.2	8.6	13.8
	夫婦のみ	75	49.3	40.0	33.3	14.7	9.3	9.3
	同居その他	60	43.3	46.7	33.3	11.7	5.0	5.0
介護度	要支援1・2	119	54.6	57.1	28.6	7.6	5.9	9.2
	要介護1・2	35	42.9	45.7	31.4	8.6	5.7	11.4
	要介護3～5	19	21.1	15.8	36.8	36.8	31.6	－

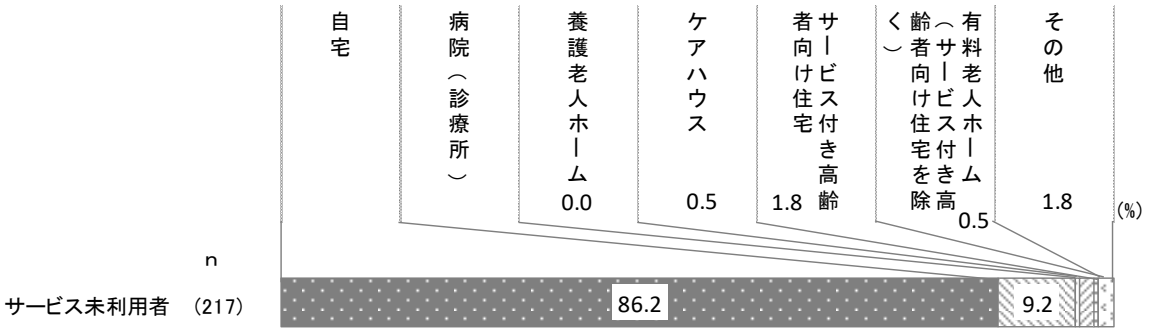
＜図表 229＞　【参考】前回調査（令和２年度）



（８）現在の生活状況【サービス未利用者】

現在の生活状況を聞いたところ、「自宅」が 86.2%で最も多く、次いで「病院（診療所）」(9.2%)、サービス付き高齢者向け住宅（1.8%）となっています。

＜図表 230＞　現在の生活状況【サービス未利用者　第８問２】

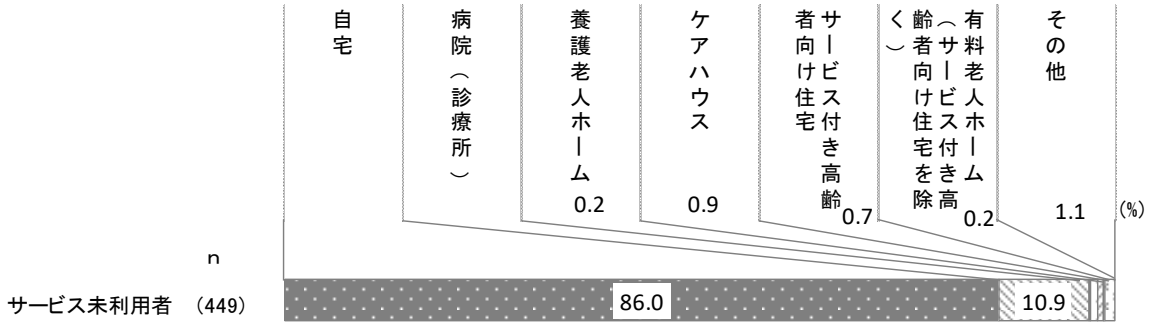


＜図表 231＞　現在の生活状況（家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	自宅	病院（診療所）	養護老人ホーム	ケアハウス	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を除く）	その他
全　体		217	86.2	9.2	－	0.5	1.8	0.5	1.8
家族構成	一人暮らし	60	88.3	1.7	－	1.7	6.7	1.7	－
	夫婦のみ	83	94.0	3.6	－	－	－	－	2.4
	同居その他	66	75.8	22.7	－	－	－	－	1.5
地区	江別地区	69	91.3	7.2	－	－	－	－	1.4
	野幌地区	66	87.9	9.1	－	1.5	1.5	－	－
	大麻地区	66	83.3	9.1	－	－	3.0	1.5	3.0
介護度	要支援1・2	125	95.2	1.6	－	－	1.6	－	1.6
	要介護1・2	37	75.7	13.5	－	－	5.4	2.7	2.7
	要介護3～5	21	38.1	61.9	－	－	－	－	－

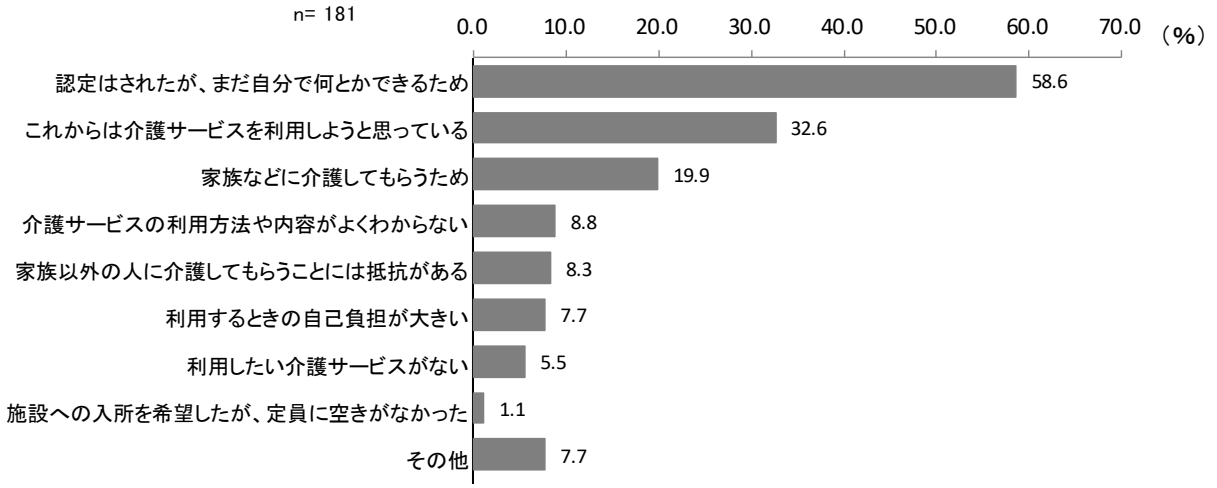
＜図表 232＞　【参考】前回調査（令和２年度）



（９）介護サービスを利用していない理由【サービス未利用者】

現在の生活状況で「自宅」と回答した人に、介護サービスを利用していない理由を聞いたところ、「認定はされたが、まだ自分で何とかできるため」が 58.6%で最も多く、次いで「これからは介護サービスを利用しようと思っている」(32.6%)、「家族などに介護してもらうため」(19.9%)となっています。

＜図表 233＞　介護サービスを利用していない理由（複数回答）【サービス未利用者　第８問２－１】

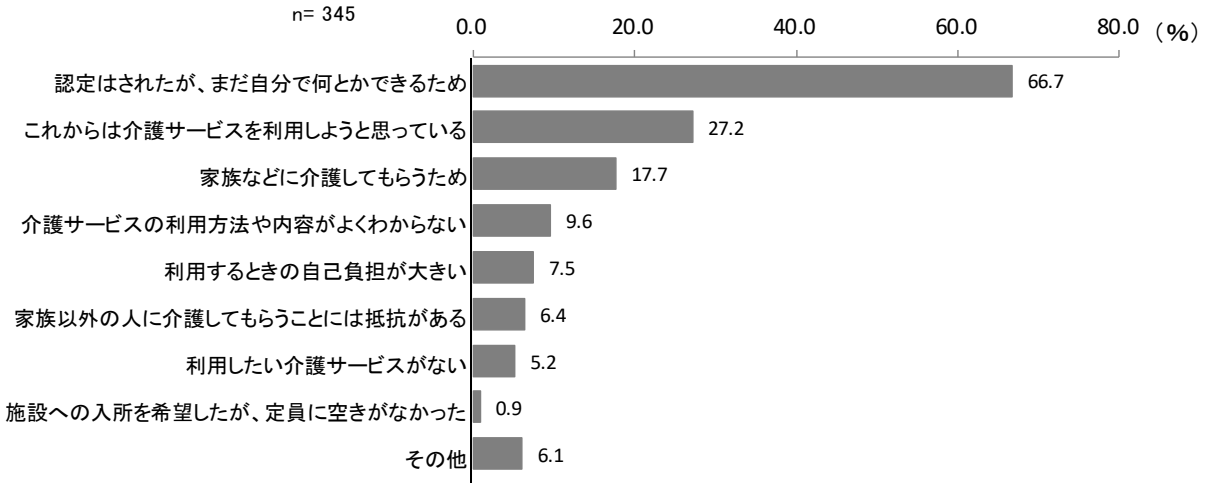


＜図表 234＞　介護サービスを利用していない理由（家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	認定はされたが、まだ自分で何とかできるため	これからは介護サービスを利用しようと思っている	家族などに介護してもらうため	介護サービスの利用方法や内容がよくわからない	家族以外の人に介護してもらうことには抵抗がある	利用するときの自己負担が大きい	利用したい介護サービスがない	施設への入所を希望したが、定員に空きがなかった	その他
全　体		181	58.6	32.6	19.9	8.8	8.3	7.7	5.5	1.1	7.7
家族構成	一人暮らし	51	62.7	29.4	2.0	11.8	5.9	3.9	9.8	－	5.9
	夫婦のみ	75	54.7	40.0	26.7	9.3	10.7	10.7	4.0	1.3	6.7
	同居その他	49	59.2	26.5	26.5	4.1	8.2	6.1	4.1	2.0	12.2
地区	江別地区	60	61.7	33.3	20.0	8.3	10.0	6.7	6.7	－	10.0
	野幌地区	56	53.6	32.1	19.6	10.7	10.7	10.7	5.4	－	8.9
	大麻地区	55	61.8	36.4	20.0	7.3	5.5	5.5	5.5	1.8	3.6
介護度	要支援1・2	118	64.4	33.1	14.4	5.1	5.9	5.1	5.9	0.8	8.5
	要介護1・2	28	57.1	25.0	42.9	10.7	17.9	14.3	7.1	－	3.6
	要介護3～5	7	28.6	14.3	42.9	－	－	－	－	14.3	14.3

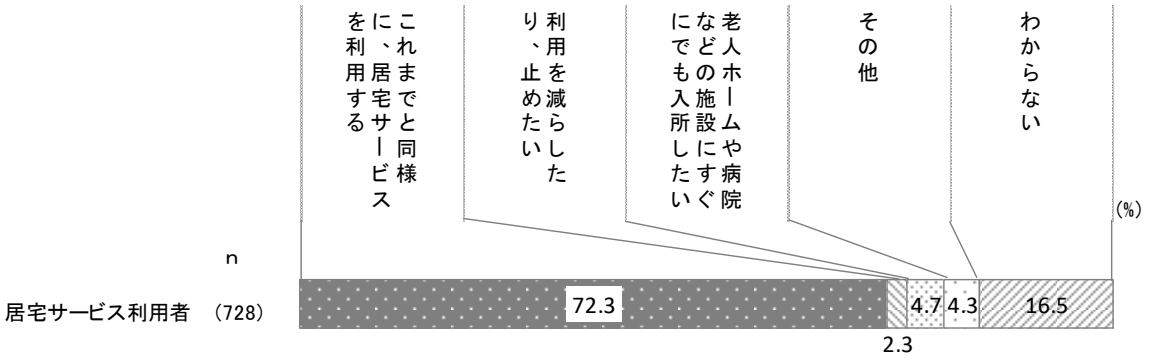
＜図表 235＞　【参考】前回調査（令和２年度）



（10）今後のサービス利用意向【居宅サービス利用者】

今後のサービス利用意向を聞いたところ、「これまでと同様に、居宅サービスを利用する」が72.3%で最も多く、次いで「わからない」（16.5%）、「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」（4.7%）となっています。

＜図表 236＞　今後のサービス利用意向【居宅サービス利用者　第９問５】



＜図表 237＞　今後のサービス利用意向（家族構成別/地区別/要介護度別）

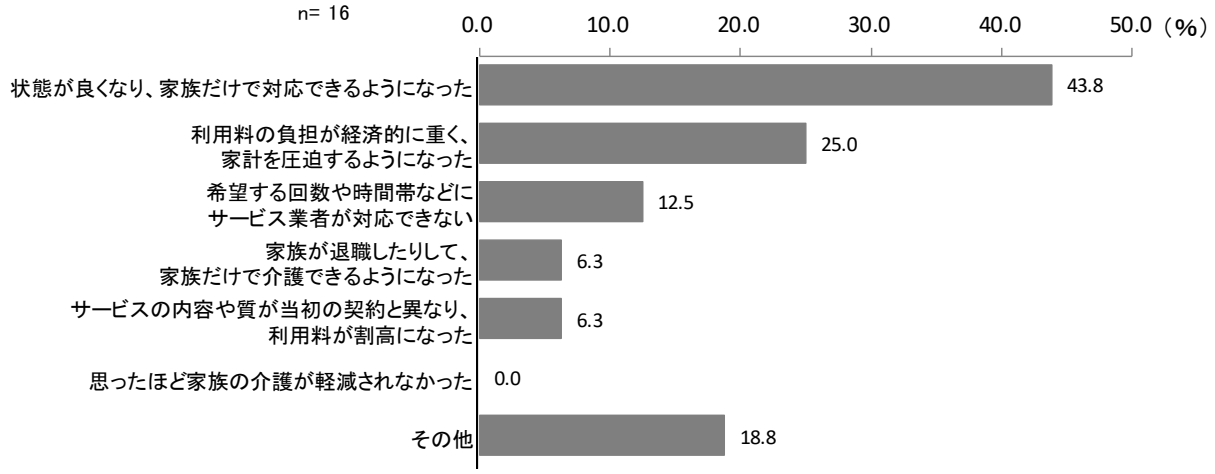
（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	これまでと同様に、居宅サービスを利用する	利用を減らしたり、止めたい	老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい	その他	わからない
全　体		728	72.3	2.3	4.7	4.3	16.5
家族構成	一人暮らし	208	71.6	1.9	2.9	3.4	20.2
	夫婦のみ	204	73.5	3.9	3.9	4.9	13.7
	同居その他	300	71.3	1.3	6.3	4.7	16.3
地区	江別地区	259	71.0	1.9	4.6	4.6	17.8
	野幌地区	216	74.5	3.2	3.7	5.6	13.0
	大麻地区	204	71.1	2.5	5.9	2.5	18.1
介護度	要支援1・2	301	72.1	3.7	4.3	4.0	15.9
	要介護1・2	287	73.9	2.1	4.9	4.2	15.0
	要介護3～5	110	67.3	－	6.4	6.4	20.0

（11）利用を減らしたり、止めたい理由【居宅サービス利用者】

今後のサービス利用意向で「利用を減らしたり、止めたい」と回答した人に、利用を減らしたり、止めたい理由を聞いたところ、「状態が良くなり、家族だけで対応できるようになった」が43.8％で最も多く、次いで「利用料の負担が経済的に重く、家計を圧迫するようになった」（25.0％）、「その他」（18.8％）となっています。

＜図表 238＞　利用を減らしたり、止めたい理由（複数回答）【居宅サービス利用者　第９問５－１】



＜図表 239＞　利用を減らしたり、止めたい理由（家族構成別/要介護度別）

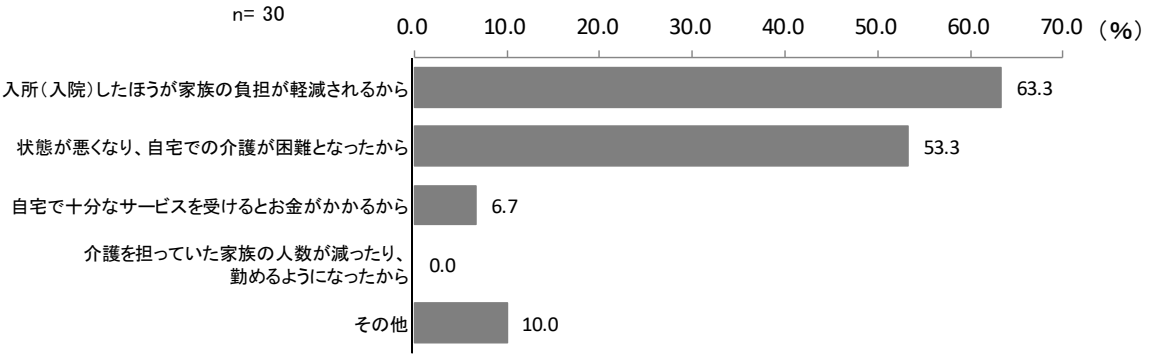
（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	状態が良くなり、家族だけで対応できるようになった	利用料の負担が経済的に重く、家計を圧迫するようになった	希望する回数や時間帯などにサービス業者が対応できない	家族が退職したりして、家族だけで介護できるようになった	サービスの内容や質が当初の契約と異なり、利用料が割高になった	思ったほど家族の介護が軽減されなかった	その他
全　体		16	43.8	25.0	12.5	6.3	6.3	－	18.8
家族構成	一人暮らし	4	25.0	25.0	25.0	－	－	－	25.0
	夫婦のみ	8	75.0	25.0	－	12.5	－	－	－
	同居その他	3	－	－	33.3	－	33.3	－	66.7
介護度	要支援1・2	10	60.0	30.0	－	10.0	－	－	10.0
	要介護1・2	6	16.7	16.7	33.3	－	16.7	－	33.3
	要介護3～5	－	－	－	－	－	－	－	－

（12）施設に入所したい理由【居宅サービス利用者】

今後のサービス利用意向で「老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい」と回答した人に、施設に入所したい理由を聞いたところ、「入所（入院）したほうが家族の負担が軽減されるから」が 63.3％で最も多く、次いで「状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから」（53.3％）、「その他」（10.0％）となっています。

＜図表 240＞　施設に入所したい理由（複数回答）【居宅サービス利用者　第９問５－２】



＜図表 241＞　施設に入所したい理由（家族構成別/要介護度別）

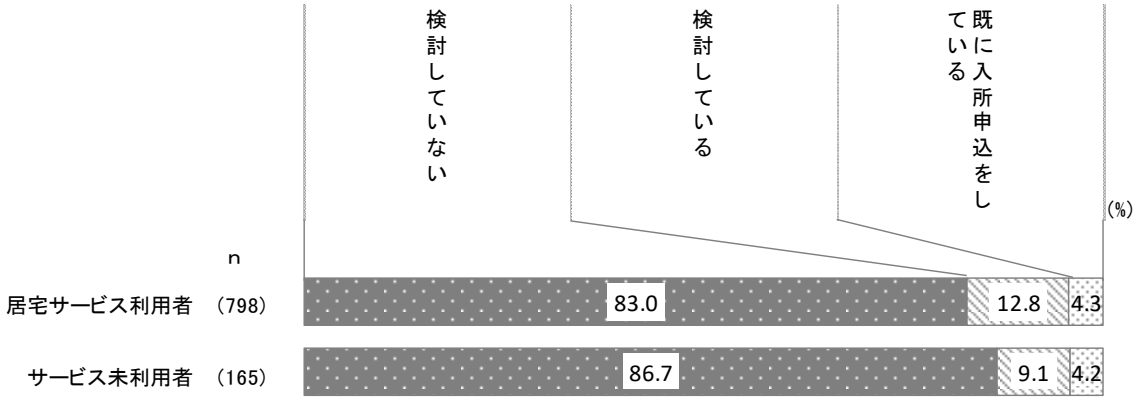
（単位：%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	入所（入院）したほうが家族の負担が軽減されるから	状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから	自宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから	介護を担っていた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから	その他
全　体		30	63.3	53.3	6.7	－	10.0
家族構成	一人暮らし	4	75.0	50.0	－	－	－
	夫婦のみ	7	85.7	57.1	－	－	14.3
	同居その他	18	50.0	55.6	11.1	－	11.1
介護度	要支援1・2	9	55.6	55.6	11.1	－	22.2
	要介護1・2	14	71.4	42.9	7.1	－	－
	要介護3～5	7	57.1	71.4	－	－	14.3

（13）特別養護老人ホームの入所検討状況【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

特別養護老人ホームの入所検討状況を聞いたところ、居宅サービス利用者、サービス未利用者とも「検討していない」が最も多く、それぞれ 83.0%、86.7%となっています。要介護度別にみると、居宅サービス利用者では「検討している」と「既に入所申込をしている」を合わせると、要介護３～５で約３割となっています。

＜図表 242＞　特別養護老人ホームの入所検討状況
【居宅サービス利用者　第９問６】【サービス未利用者　第８問３】



＜図表 243＞　特別養護老人ホームの入所検討状況

（家族構成別/地区別/要介護度別/今後のサービスの利用意向別）

（単位：%）

〈居宅サービス利用者調査〉		調査数（件）	検討していない	検討している	既に入所申込をしている
全　体		798	83.0	12.8	4.3
家族構成	一人暮らし	228	81.6	13.2	5.3
	夫婦のみ	226	81.4	14.2	4.4
	同居その他	325	84.3	12.3	3.4
地区	江別地区	283	80.6	13.8	5.7
	野幌地区	245	84.9	11.4	3.7
	大麻地区	220	82.3	14.1	3.6
介護度	要支援1・2	355	85.4	11.3	3.4
	要介護1・2	296	83.4	12.5	4.1
	要介護3～5	112	74.1	19.6	6.3
サービス利用意向	これまでと同様に、居宅サービスを利用する	506	87.9	8.7	3.4
	利用を減らしたり、止めたい	15	93.3	6.7	－
	老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい	30	20.0	70.0	10.0
	その他	28	78.6	14.3	7.1
	わからない	110	90.0	6.4	3.6

（単位：%）

〈サービス未利用者調査〉		調査数（件）	検討していない	検討している	既に入所申込をしている
全　体		165	86.7	9.1	4.2
家族構成	一人暮らし	43	81.4	16.3	2.3
	夫婦のみ	68	89.7	7.4	2.9
	同居その他	49	91.8	4.1	4.1
地区	江別地区	52	86.5	11.5	1.9
	野幌地区	51	92.2	5.9	2.0
	大麻地区	50	86.0	10.0	4.0
介護度	要支援1・2	91	89.0	8.8	2.2
	要介護1・2	30	86.7	10.0	3.3
	要介護3～5	16	75.0	12.5	12.5

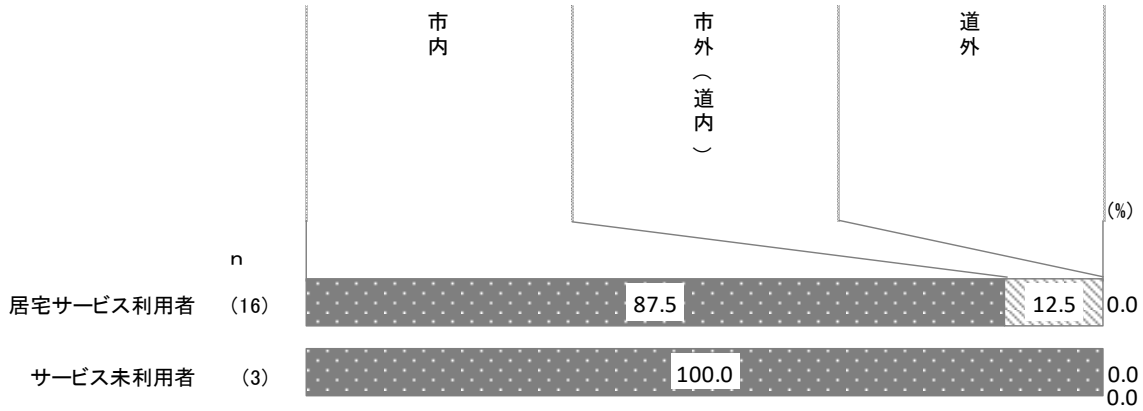
（14）入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地

【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

特別養護老人ホームの入所検討状況で「既に入所申込をしている」と回答した人に、入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地を聞いたところ、居宅サービス利用者では「市内」が87.5%となっています。

＜図表 244＞　入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地（複数回答）

【居宅サービス利用者　第９問６－１】【サービス未利用者　第８問３－１】



＜図表 245＞　入所申込みをした特別養護老人ホームの所在地（地区別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	市内	市外（道内）	道外
全 体		16	87.5	12.5	－
地区	江別地区	5	80.0	20.0	－
	野幌地区	6	100.0	－	－
	大麻地区	4	75.0	25.0	－
介護度	要支援1・2	4	75.0	25.0	－
	要介護1・2	4	100.0	－	－
	要介護3～5	7	85.7	14.3	－

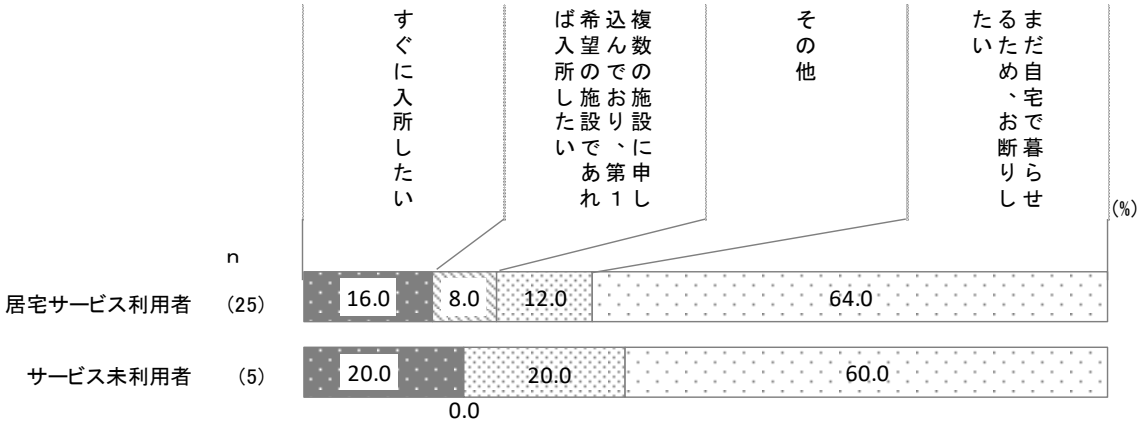
（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	市内	市外（道内）	道外
全 体		3	100.0	－	－
地区	江別地区	－	－	－	－
	野幌地区	－	－	－	－
	大麻地区	2	100.0	－	－
介護度	要支援1・2	－	－	－	－
	要介護1・2	1	100.0	－	－
	要介護3～5	2	100.0	－	－

（15）申込み先から連絡が来た場合の対応【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

特別養護老人ホームの入所検討状況で「既に入所申込をしている」と回答した人に、申込み先から連絡が来た場合の対応を聞いたところ、居宅サービス利用者では「まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい」が 64.0%で最も多く、次いで「すぐに入所したい」(16.0%)、「その他」(12.0%)となっています。

＜図表 246＞　申込み先から連絡が来た場合の対応
【居宅サービス利用者　第９問６－２】【サービス未利用者　第８問３－２】



＜図表 247＞　申込み先から連絡が来た場合の対応（要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	すぐに入所したい	複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい	その他	まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい
全　体		25	16.0	8.0	12.0	64.0
介護度	要支援1・2	10	－	10.0	－	90.0
	要介護1・2	8	25.0	－	25.0	50.0
	要介護3～5	5	40.0	20.0	20.0	20.0

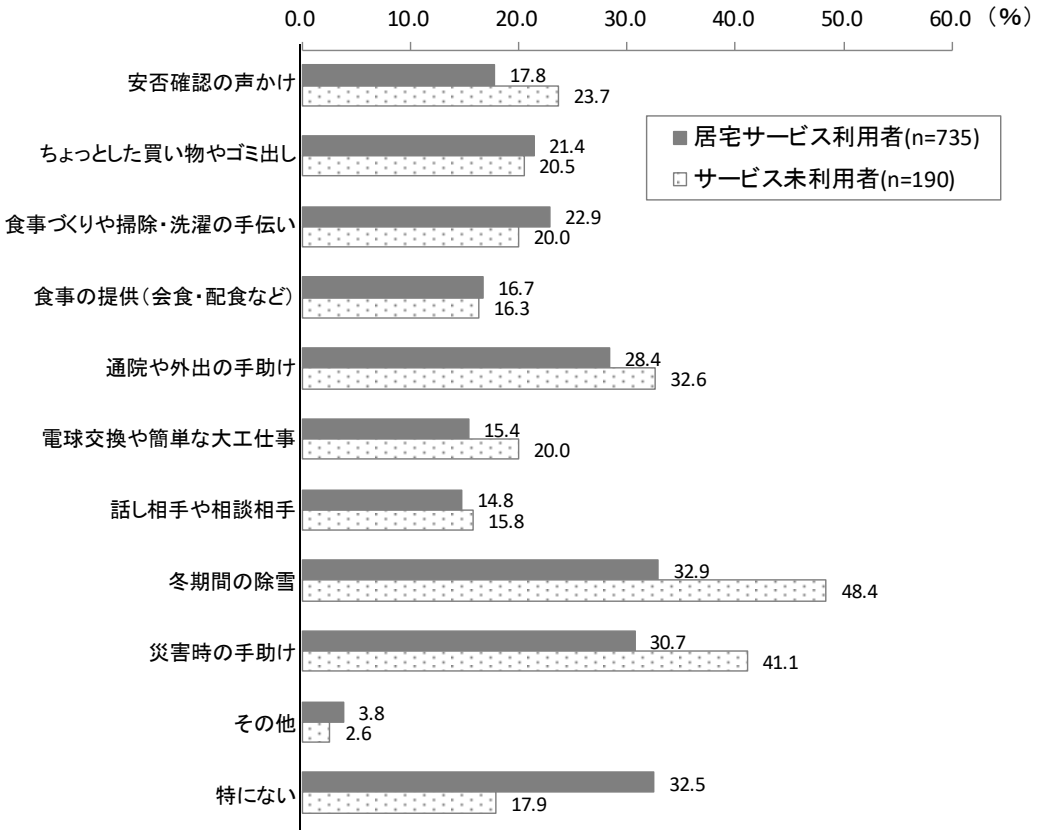
（単位:%）

<サービス未利用者調査>		調査数（件）	すぐに入所したい	複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい	その他	まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい
全　体		5	20.0	－	20.0	60.0
介護度	要支援1・2	2	－	－	－	100.0
	要介護1・2	－	－	－	－	－
	要介護3～5	1	100.0	－	－	－

（16）在宅生活継続で受けたい支援内容【居宅サービス利用者】【サービス未利用者】

在宅生活継続で受けたい支援内容を聞いたところ、居宅サービス利用者では「冬期間の除雪」が 32.9%で最も多く、次いで「特にない」(32.5%）となっています。サービス未利用者では「冬期間の除雪」が 48.4%で最も多く、次いで「災害時の手助け」(41.1%）となっています。

＜図表 248＞　在宅生活継続で受けたい支援内容（複数回答）
【居宅サービス利用者　第９問７】【サービス未利用者　第８問４】



＜図表 249＞　在宅生活継続で受けたい支援内容（家族構成別/地区別/要介護度別）

（単位:%）

<居宅サービス利用者調査>		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全　体		735	17.8	21.4	22.9	16.7	28.4	15.4	14.8	32.9	30.7	3.8	32.5
家族構成	一人暮らし	218	32.1	35.3	33.0	25.2	33.9	22.0	22.9	33.9	35.3	3.7	18.3
	夫婦のみ	202	15.3	20.3	22.8	16.8	30.2	17.8	8.4	48.0	34.7	4.0	24.8
	同居その他	296	8.8	12.2	15.5	10.8	24.0	9.1	13.2	22.3	25.3	4.1	47.3
地区	江別地区	258	19.4	21.3	20.9	15.5	28.3	14.3	15.9	32.6	32.2	3.1	34.1
	野幌地区	231	14.3	16.9	18.2	13.0	22.1	13.4	11.7	28.1	26.4	3.5	39.8
	大麻地区	203	20.2	26.6	30.0	21.2	36.5	19.7	16.7	40.9	35.5	4.4	20.2
介護度	要支援1・2	336	19.0	22.9	24.1	16.1	28.0	15.8	11.9	36.3	31.0	3.0	30.7
	要介護1・2	272	18.0	21.0	22.4	18.8	29.0	15.1	17.6	28.7	30.1	3.7	35.3
	要介護3～5	94	14.9	18.1	22.3	19.1	29.8	14.9	16.0	35.1	34.0	8.5	31.9

（単位:%）

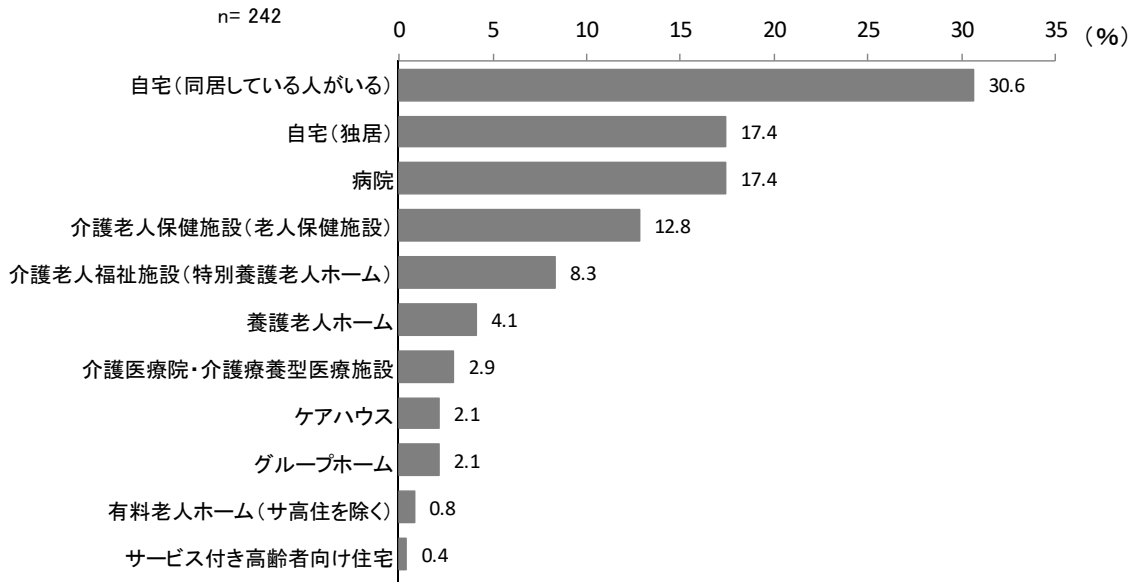
<サービス未利用者調査>		調査数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	電球交換や簡単な大工仕事	話し相手や相談相手	冬期間の除雪	災害時の手助け	その他	特にない
全　体		190	23.7	20.5	20.0	16.3	32.6	20.0	15.8	48.4	41.1	2.6	17.9
家族構成	一人暮らし	46	45.7	34.8	10.9	10.9	37.0	37.0	23.9	58.7	50.0	2.2	6.5
	夫婦のみ	79	16.5	11.4	19.0	19.0	24.1	11.4	10.1	50.6	41.8	2.5	17.7
	同居その他	59	13.6	22.0	27.1	16.9	37.3	18.6	16.9	35.6	30.5	3.4	28.8
地区	江別地区	63	27.0	22.2	19.0	11.1	33.3	19.0	14.3	41.3	36.5	3.2	20.6
	野幌地区	58	17.2	20.7	27.6	22.4	36.2	19.0	19.0	53.4	39.7	3.4	13.8
	大麻地区	58	25.9	17.2	12.1	15.5	25.9	20.7	10.3	50.0	50.0	1.7	19.0
介護度	要支援1・2	117	25.6	18.8	13.7	11.1	27.4	22.2	14.5	47.9	45.3	0.9	21.4
	要介護1・2	31	19.4	25.8	41.9	22.6	41.9	12.9	19.4	58.1	35.5	6.5	9.7
	要介護3～5	14	7.1	14.3	21.4	21.4	50.0	14.3	21.4	28.6	21.4	－	28.6

13. 入所施設サービスの状況

（１）現在の施設に入所する前の場所【施設サービス利用者】

現在の施設に入所する前の場所を聞いたところ、「自宅（同居している人がいる）」が 30.6%で最も多く、次いで「自宅（独居）」（17.4%）、「病院」（17.4%）となっています。

＜図表 250＞　現在の施設に入所する前の場所【施設サービス利用者　第１問５】



＜図表 251＞　現在の施設に入所する前の場所（要介護度別/入所施設別）

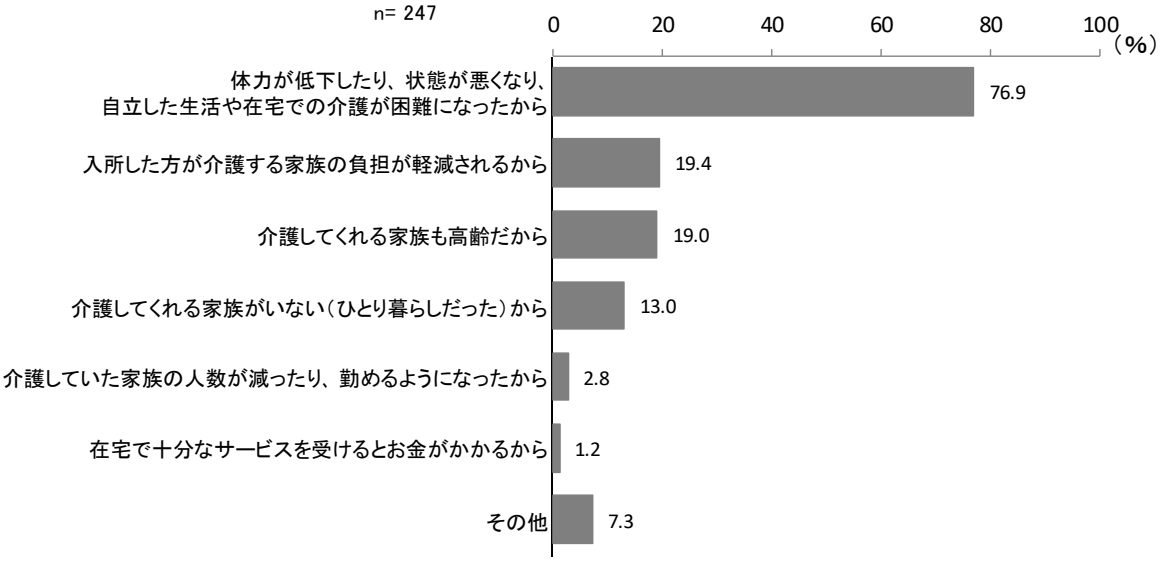
（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	自宅（同居している人がいる）	自宅（独居）	病院	介護老人保健施設（老人保健施設）	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	養護老人ホーム	介護医療院・介護療養型医療施設	ケアハウス	グループホーム	有料老人ホーム（サ高住を除く）	サービス付き高齢者向け住宅	その他
全　体		242	30.6	17.4	17.4	12.8	8.3	4.1	2.9	2.1	2.1	0.8	0.4	1.2
介護度	要介護1・2	48	31.3	16.7	16.7	18.8	4.2	2.1	2.1	4.2	－	－	2.1	2.1
	要介護3～5	186	30.1	16.1	17.7	11.8	9.7	4.8	3.2	1.6	2.7	1.1	－	1.1
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	119	31.1	12.6	10.1	17.6	13.4	7.6	0.8	1.7	2.5	0.8	－	1.7
	介護老人保健施設（老人保健施設）	91	34.1	26.4	22	8.8	3.3	－	－	2.2	－	1.1	1.1	1.1
	介護医療院・介護療養型医療施設	25	16	8	36	8	－	4	16	4	8	－	－	－

（２）施設に入所した理由【施設サービス利用者】

施設に入所した理由を聞いたところ、「体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから」が 76.9%で最も多く、次いで「入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから」(19.4%)、「介護してくれる家族も高齢だから」(19.0%) となっています。

＜図表 252＞　施設に入所した理由（２つまで）【施設サービス利用者　第１問６】



＜図表 253＞　施設に入所した理由（要介護度別/入所施設別）

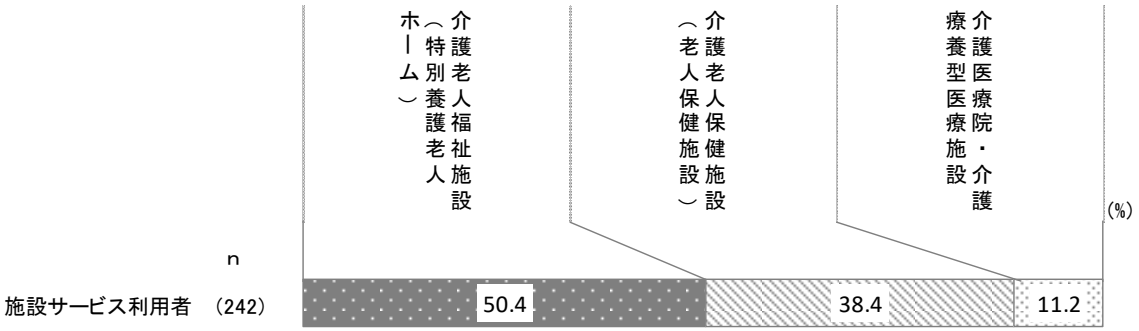
（単位:%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから	入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから	介護してくれる家族も高齢だから	介護してくれる家族がいない（ひとり暮らしだった）から	介護していた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから	在宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから	その他
全　体		247	76.9	19.4	19.0	13.0	2.8	1.2	7.3
介護度	要介護1・2	50	76.0	24.0	24.0	14.0	6.0	－	8.0
	要介護3～5	188	77.1	19.1	18.1	11.7	2.1	1.6	7.4
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	120	74.2	20.8	23.3	12.5	4.2	－	5
	介護老人保健施設（老人保健施設）	93	79.6	21.5	14	16.1	2.2	3.2	8.6
	介護医療院・介護療養型医療施設	27	81.5	7.4	14.8	3.7	－	－	11.1

（３）現在入所している施設の種類【施設サービス利用者】

現在入所している施設の種類を聞いたところ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が50.4％で最も多く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」（38.4％）、「介護医療院・介護療養型医療施設」（11.2％）となっています。

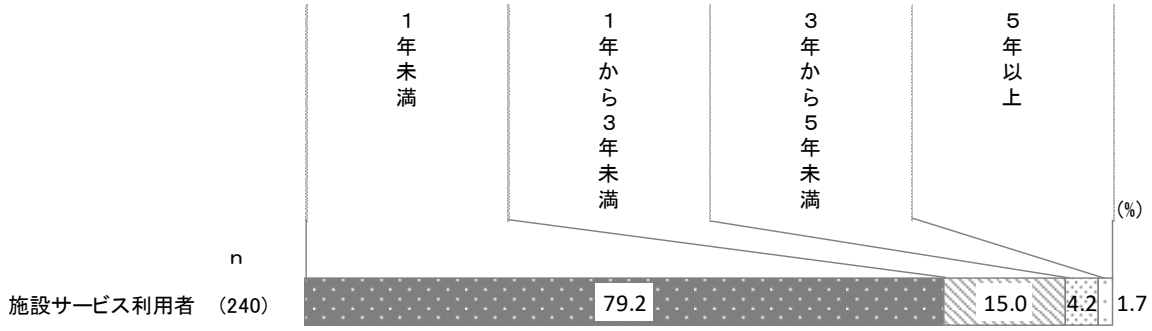
＜図表 254＞　現在入所している施設の種類【施設サービス利用者　第６問１】



（４）申込から入所までの期間【施設サービス利用者】

申込から入所までの期間を聞いたところ、「１年未満」が 79.2%で最も多く、次いで「１年から３年未満」（15.0%）、「３年から５年未満」（4.2%）となっています。

＜図表 255＞　申込から入所までの期間【施設サービス利用者　第６問２】



＜図表 256＞　申込から入所までの期間（入所施設別）

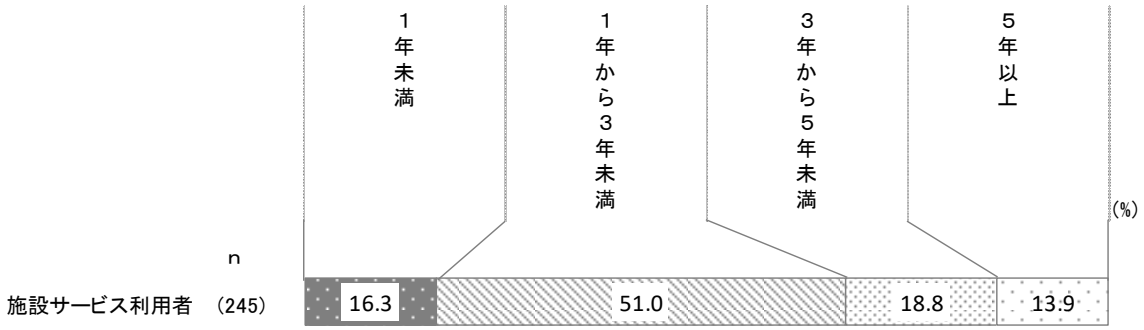
（単位:%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	１年未満	１年から３年未満	３年から５年未満	５年以上
全　体		240	79.2	15.0	4.2	1.7
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	118	67.8	25.4	5.9	0.8
	介護老人保健施設（老人保健施設）	93	92.5	5.4	1.1	1.1
	介護医療院・介護療養型医療施設	26	80.8	3.8	7.7	7.7

（５）現在の施設の入所期間【施設サービス利用者】

現在の施設の入所期間を聞いたところ、「１年から３年未満」が 51.0％で最も多く、次いで「３年から５年未満」（18.8％）、「１年未満」（16.3％）となっています。

＜図表 257＞　現在の施設の入所期間【施設サービス利用者　第６問３】



＜図表 258＞　現在の施設の入所期間（入所施設別）

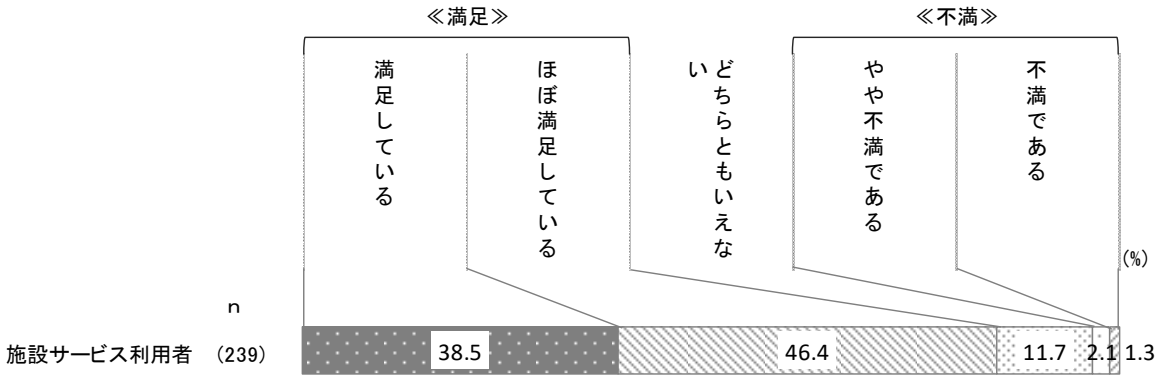
（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	１年未満	１年から３年未満	３年から５年未満	５年以上
全　体		245	16.3	51.0	18.8	13.9
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	120	9.2	52.5	20.8	17.5
	介護老人保健施設（老人保健施設）	93	26.9	49.5	12.9	10.8
	介護医療院・介護療養型医療施設	27	11.1	51.9	25.9	11.1

（６）施設のサービス満足度【施設サービス利用者】

施設のサービス満足度を聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた≪満足≫は 84.9%となっています。

＜図表 259＞　施設のサービス満足度【施設サービス利用者　第６問４】



＜図表 260＞　施設のサービス満足度（入所施設別）

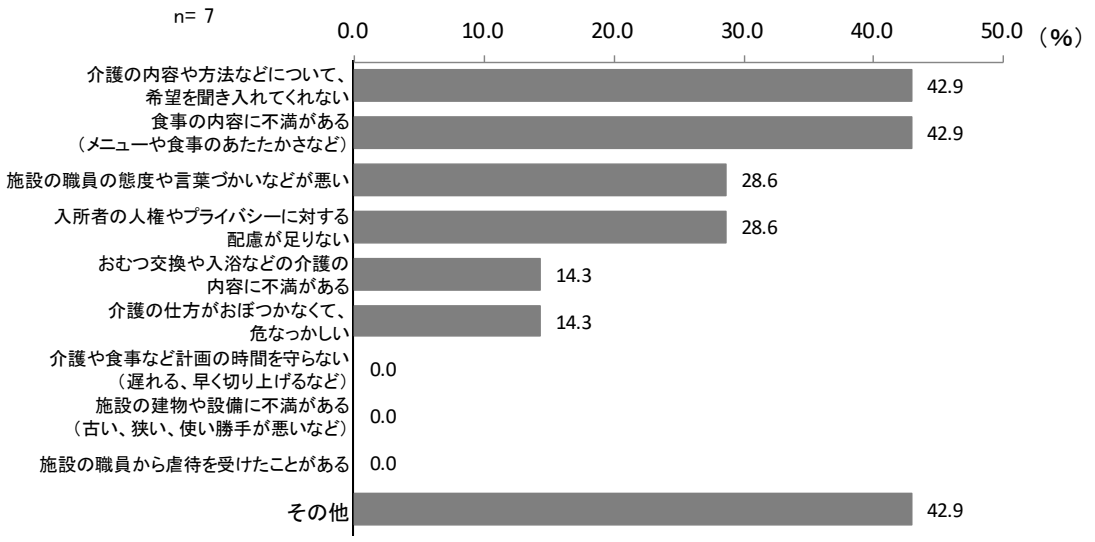
（単位:%）

〈施設利用者調査〉		調査数（件）	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	≪満足≫	≪不満≫
全　体		239	38.5	46.4	11.7	2.1	1.3	84.9	3.4
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	117	38.5	48.7	6.8	3.4	2.6	87.2	6.0
	介護老人保健施設（老人保健施設）	91	36.3	46.2	17.6	－	－	82.5	0.0
	介護医療院・介護療養型医療施設	26	42.3	42.3	11.5	3.8	－	84.6	3.8

（７）不満な理由【施設サービス利用者】

不満な理由を聞いたところ、下記のとおりとなっています。
※回答数が少ないため、参考として値を記載するにとどめています。

＜図表 261＞　不満な理由（複数回答）【施設サービス利用者　第６問４－１】



＜図表 262＞　不満な理由（入所施設別）

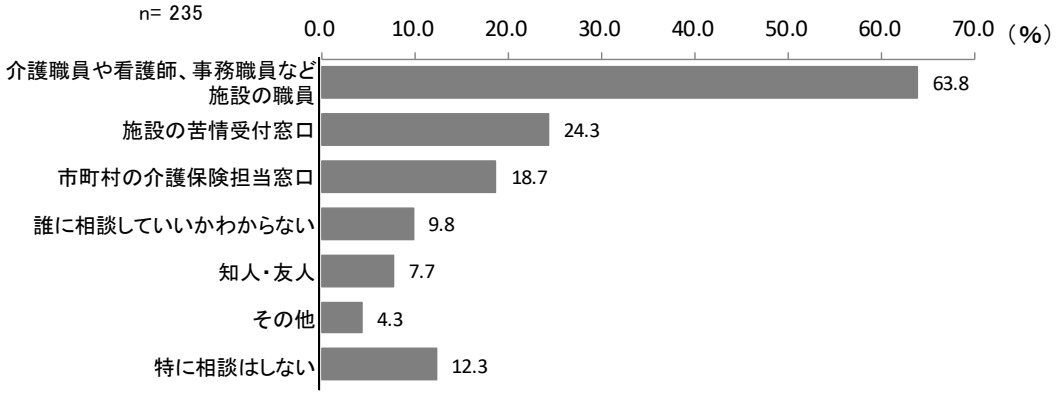
（単位:%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない	食事の内容に不満がある（メニューや食事のあたたかさなど）	施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い	入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない	おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある	介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい	介護や食事など計画の時間を守らない（遅れる、早く切り上げるなど）	施設の建物や設備に不満がある（古い、狭い、使い勝手が悪いなど）	施設の職員から虐待を受けたことがある	その他
全　体		7	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	－	－	－	42.9
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	6	50	50	33.3	33.3	16.7	16.7	－	－	－	33.3
	介護老人保健施設（老人保健施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	介護医療院・介護療養型医療施設	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100

（８）不満があるときの相談先【施設サービス利用者】

不満があるときの相談先を聞いたところ、「介護職員や看護師、事務職員など施設の職員」が63.8%で最も多く、次いで「施設の苦情受付窓口」(24.3%)、「市町村の介護保険担当窓口」(18.7%)となっています。

＜図表 263＞　不満があるときの相談先（複数回答）【施設サービス利用者　第６問５】



＜図表 264＞　不満があるときの相談先（入所施設別）

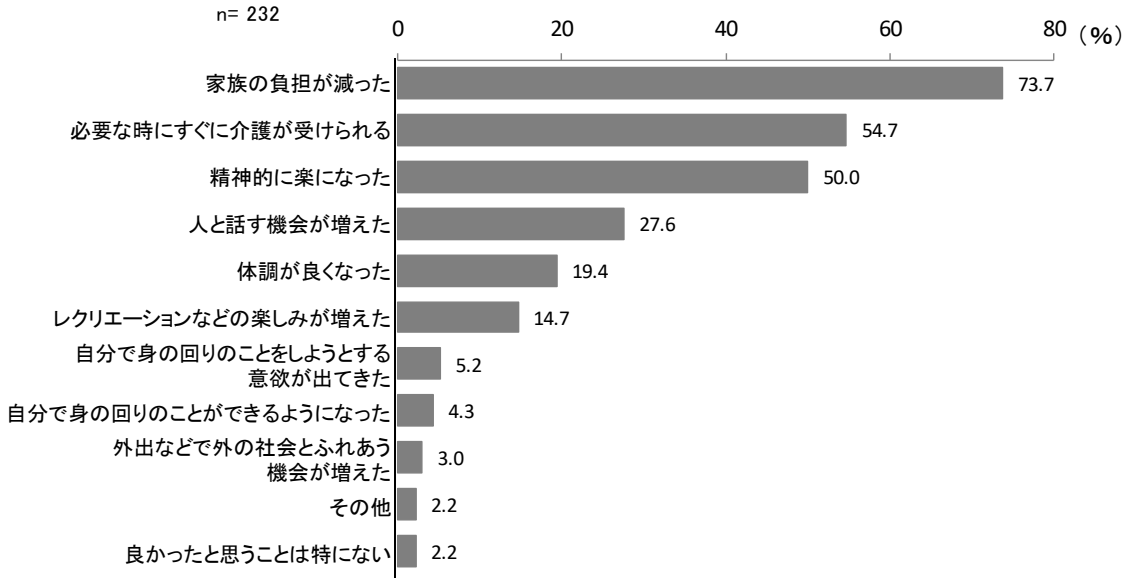
（単位：%）

<施設利用者調査>		調査数（件）	介護職員や看護師、事務職員など施設の職員	施設の苦情受付窓口	市町村の介護保険担当窓口	誰に相談していいかわからない	知人・友人	その他	特に相談はしない
全　体		235	63.8	24.3	18.7	9.8	7.7	4.3	12.3
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	114	63.2	29.8	19.3	7	7	6.1	13.2
	介護老人保健施設（老人保健施設）	90	64.4	22.2	21.1	13.3	11.1	3.3	10
	介護医療院・介護療養型医療施設	27	66.7	3.7	11.1	11.1	－	－	14.8

（９）施設サービスを受けてよかったと思うこと【施設サービス利用者】

施設サービスを受けてよかったと思うことを聞いたところ、「家族の負担が減った」が 73.7%で最も多く、次いで「必要な時にすぐに介護が受けられる」（54.7%）、「精神的に楽になった」（50.0%）となっています。

＜図表 265＞　施設サービスを受けてよかったと思うこと（複数回答）【施設サービス利用者　第６問６】



＜図表 266＞　施設サービスを受けてよかったと思うこと（入所施設別）

（単位：%）

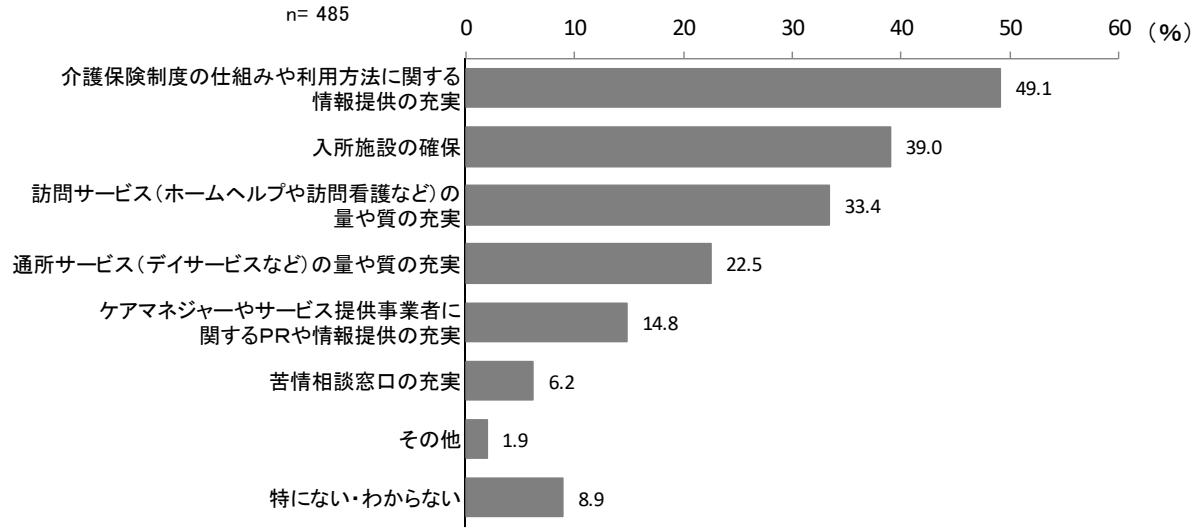
<施設利用者調査>		調査数（件）	家族の負担が減った	必要な時にすぐに介護が受けられる	精神的に楽になった	人と話す機会が増えた	体調が良くなった	レクリエーションなどの楽しみが増えた	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた	自分で身の回りのことができるようになった	外出などで外の社会とふれあう機会が増えた	その他	良かったと思うことは特にない
全　体		232	73.7	54.7	50.0	27.6	19.4	14.7	5.2	4.3	3.0	2.2	2.2
入所施設	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	116	75	56	51.7	26.7	12.9	17.2	5.2	3.4	3.4	1.7	1.7
	介護老人保健施設（老人保健施設）	87	78.2	58.6	48.3	32.2	25.3	14.9	4.6	4.6	2.3	－	2.3
	介護医療院・介護療養型医療施設	25	56	40	44	16	24	－	4	4	－	12	4

14. 介護保険制度について

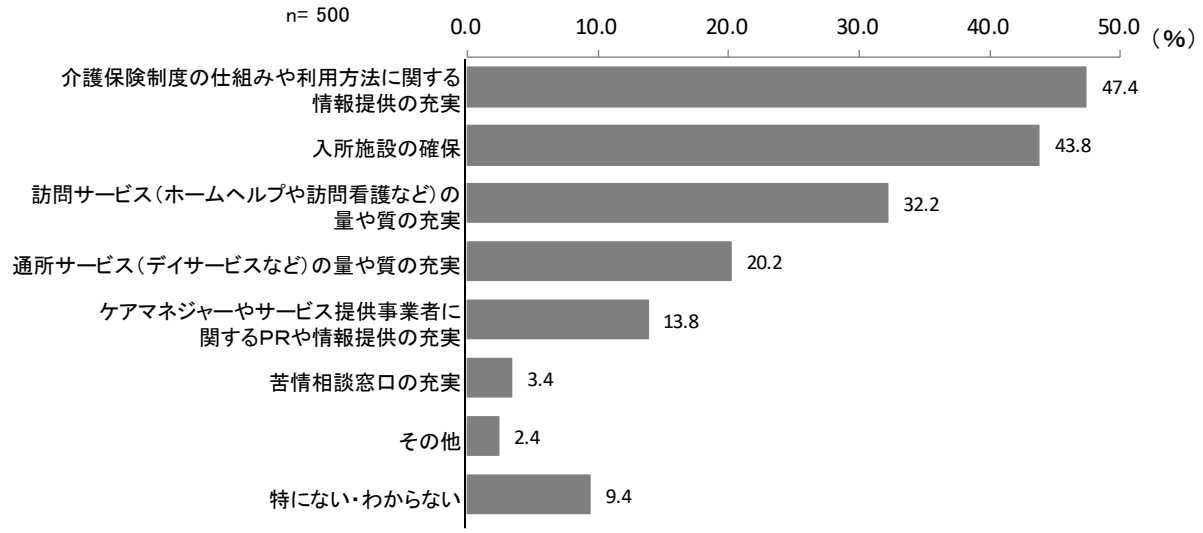
（１）介護保険制度の在り方での力点【第２号被保険者】

介護保険制度の在り方での力点を聞いたところ、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」が 49.1%で最も多く、次いで「入所施設の確保」(39.0%)、「訪問サービス（ホームヘルプや訪問看護など）の量や質の充実」（33.4%）となっています。

＜図表 267＞　介護保険制度の在り方での力点（複数回答）【第２号被保険者　第５問４】



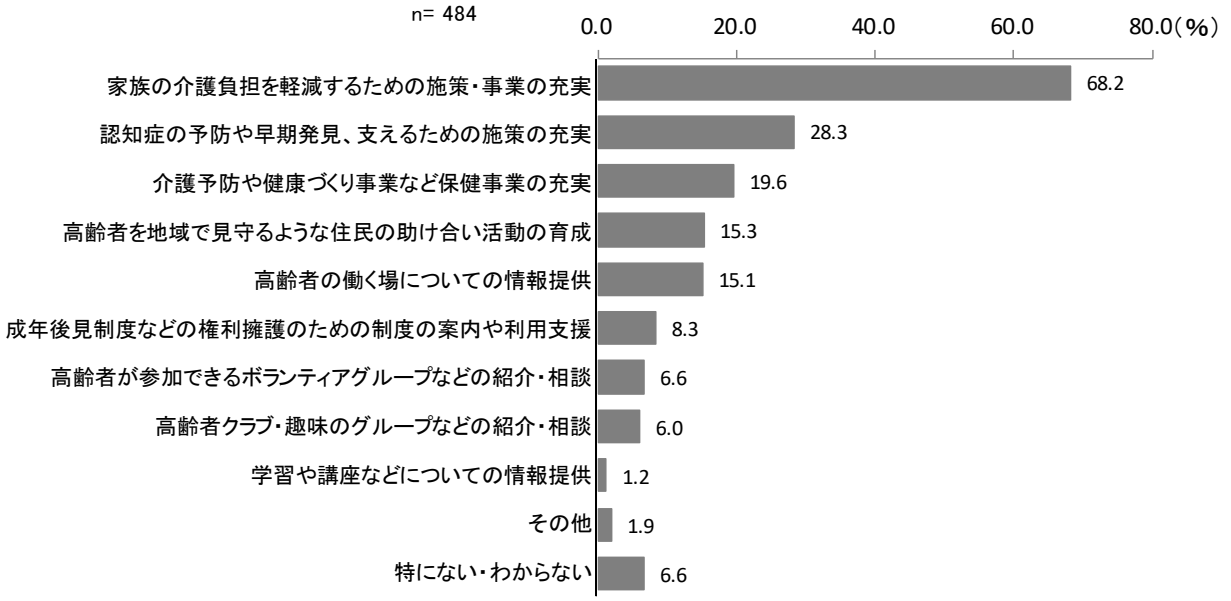
＜図表 268＞　【参考】前回調査（令和２年度）



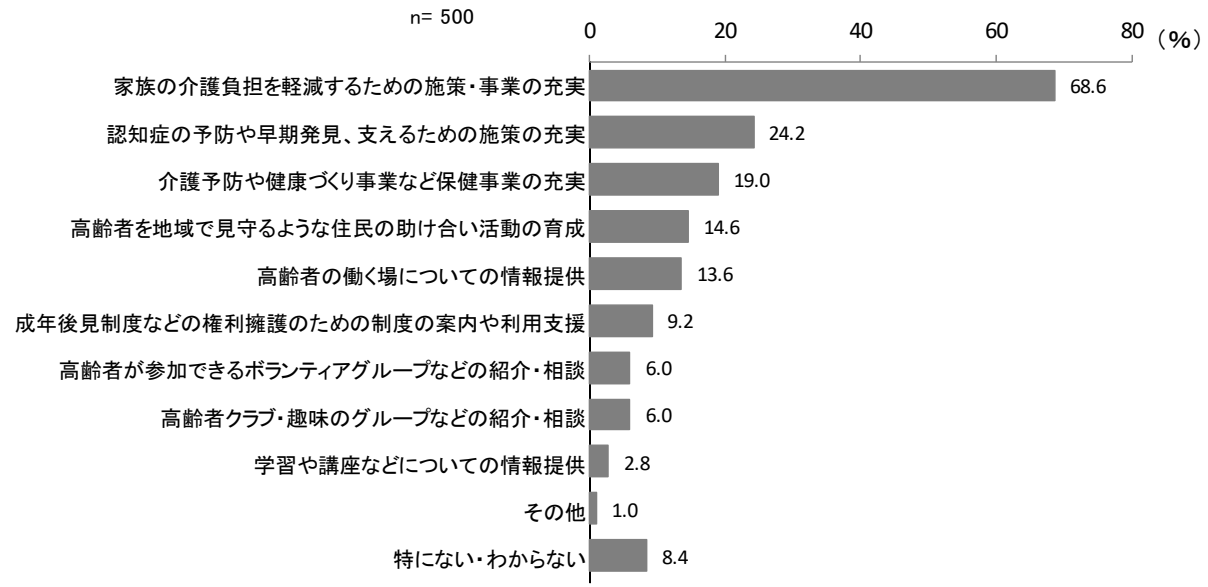
（２）支援事業の在り方での力点【第２号被保険者】

支援事業の在り方での力点を聞いたところ、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が 68.2%で最も多く、次いで「認知症の予防や早期発見、支えるための施策の充実」（28.3%）、「介護予防や健康づくり事業など保健事業の充実」（19.6%）となっています。

＜図表 269＞　介護保険制度の在り方での力点（複数回答）【第２号被保険者　第５問５】



＜図表 270＞　【参考】前回調査（令和２年度）

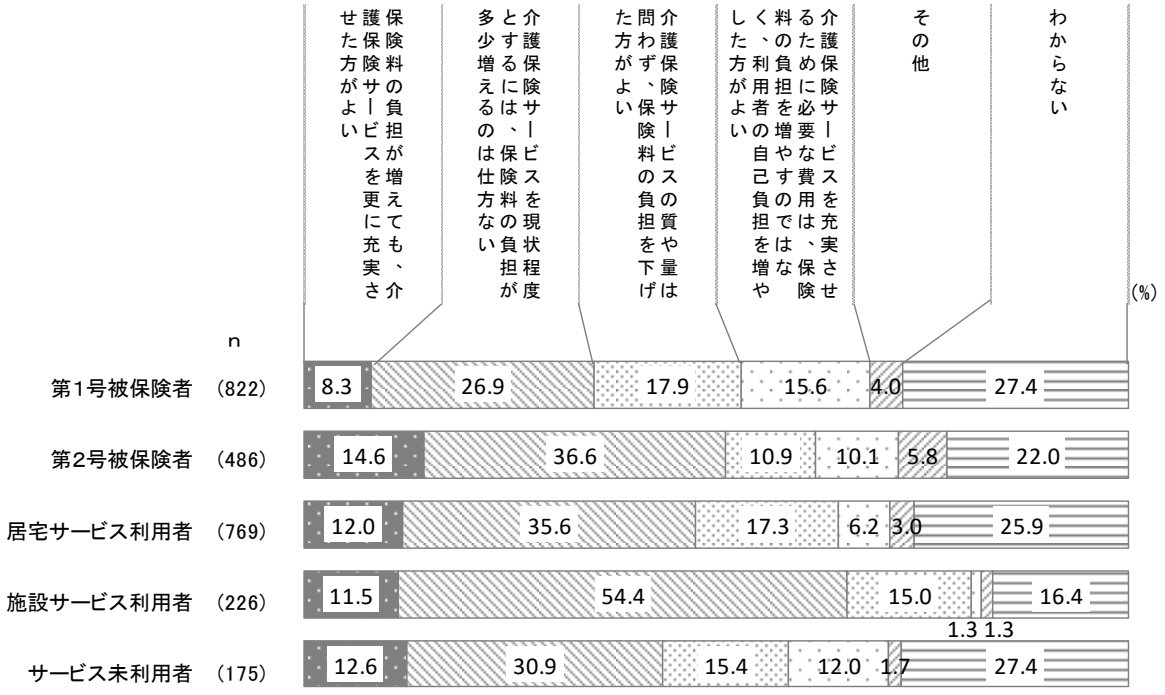


（３）介護サービスと保険料の在り方

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】

介護サービスと保険料の在り方を聞いたところ、第２号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない」がそれぞれ 36.6%、35.6%、54.4%、30.9%で最も多く、第１号被保険者では「わからない」が 27.4%で最も多くなっています。

＜図表 271＞　介護サービスと保険料の在り方
【第１号被保険者　第 12 問１】【第２号被保険者　第９問１】
【居宅サービス利用者　第 10 問１】【施設サービス利用者　第７問１】
【サービス未利用者　第 11 問１】



＜図表 272＞　介護サービスと保険料の在り方（暮らしの状況別）

（単位：%）

<1号被保険者調査>		調査数（件）	保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい	介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない	介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい	介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい	その他	わからない
全　体		822	8.3	26.9	17.9	15.6	4.0	27.4
暮らしの状況	大変苦しい	52	11.5	11.5	30.8	9.6	5.8	30.8
	やや苦しい	216	7.9	21.3	23.1	9.7	5.6	32.4
	ふつう	489	8.2	30.7	15.5	17.4	3.7	24.5
	ややゆとりがある	51	7.8	29.4	5.9	31.4	－	25.5
	大変ゆとりがある	4	25.0	25.0	－	－	－	50.0

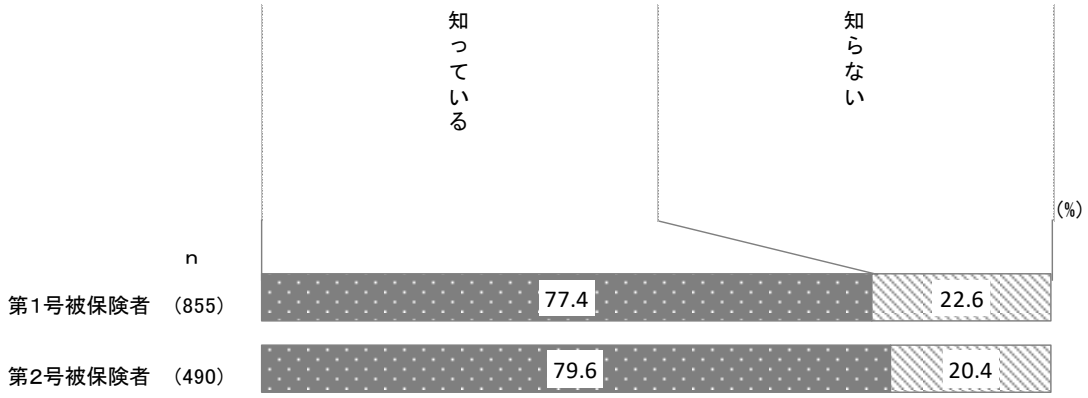
（単位：%）

<2号被保険者調査>		調査数（件）	保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい	介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない	介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい	介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい	その他	わからない
全　体		486	14.6	36.6	10.9	10.1	5.8	22.0
暮らしの状況	大変苦しい	51	9.8	17.6	17.6	9.8	11.8	33.3
	やや苦しい	139	15.1	28.8	13.7	8.6	7.9	25.9
	ふつう	246	15.0	45.5	8.9	9.3	2.4	18.7
	ややゆとりがある	44	13.6	31.8	6.8	20.5	11.4	15.9
	大変ゆとりがある	2	50.0	50.0	－	－	－	－

（４）介護保険サービスの利用条件の認知度【第１号被保険者】【第２号被保険者】

介護保険サービスの利用条件の認知度を聞いたところ、「知っている」が第１号被保険者では77.4%、第２号被保険者では79.6%となっています。

＜図表 273＞　介護保険サービスの利用条件の認知度
【第１号被保険者　第 12 問２】【第２号被保険者　第９問２】



＜図表 274＞　介護保険サービスの利用条件の認知度（性・年代別）

（単位:%）

〈1号被保険者調査〉		調査数（件）	知っている	知らない
全 体		855	77.4	22.6
性・年代	男性 65 ～74歳	240	79.6	20.4
	男性 75 歳以上	184	67.9	32.1
	女性 65 ～74歳	230	88.7	11.3
	女性 75 歳以上	201	70.6	29.4

（単位:%）

〈2号被保険者調査〉		調査数（件）	知っている	知らない
全 体		490	79.6	20.4
性・年代	男性 40 代	44	70.5	29.5
	男性 50 代	95	69.5	30.5
	男性 60 歳以上	57	77.2	22.8
	女性 40 代	95	82.1	17.9
	女性 50 代	121	84.3	15.7
	女性 60 歳以上	70	91.4	8.6

（５）今後特に力を入れてほしい高齢者施策

【第１号被保険者】【第２号被保険者】【居宅サービス利用者】【施設サービス利用者】
【サービス未利用者】【サービス事業所】【住宅事業者】【ケアマネジャー】

今後特に力を入れてほしい高齢者施策を聞いたところ、第１号被保険者、第２号被保険者、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者では「一人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」がそれぞれ 43.0%、42.6%、36.6%、47.6%、44.2%で最も多くなっています。

事業系調査においては、介護保険サービス事業所、ケアマネジャーでは「一人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」がそれぞれ 49.2%、53.8%で最も多くなっています。高齢者向け住宅事業者では「生きがい・社会参加への支援」「介護保険サービスの充実」がそれぞれ 53.8%で最も多くなっています。

＜図表 275＞　今後特に力を入れてほしい高齢者施策（３つまで）

【第１号被保険者　第 12 問３】【第２号被保険者　第９問３】
【居宅サービス利用者　第 10 問２】【施設サービス利用者　第７問２】
【サービス未利用者　第 11 問２】【サービス事業所　第１問 19】【住宅事業者　第１問 18】
【ケアマネジャー　第１問 28】

（単位：%）

	調査数（件）	生きがい・社会参加への支援	働く機会への支援	ボランティアや地域活動の充実	介護予防・健康づくりの推進	一人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動	多様な生活支援サービスの充実	介護保険サービスの充実	入所施設の整備	認知症高齢者とその家族への支援	地域包括支援センターの充実	住まいに関する情報提供の充実	その他	わからない
第1号被保険者	824	15.5	6.6	7.5	17.8	43.0	30.2	23.8	30.0	25.6	9.5	4.6	0.8	12.0
第2号被保険者	484	24.4	21.7	7.2	14.7	42.6	32.9	28.3	27.5	38.2	10.5	4.1	1.0	5.8
居宅サービス利用者	797	10.3	2.0	6.6	15.8	36.6	30.2	28.7	25.5	28.5	12.9	4.8	0.5	12.2
施設サービス利用者	231	14.7	2.6	6.1	26.0	47.6	32.9	29.4	35.1	32.0	9.1	3.0	0.9	7.4
サービス未利用者	181	12.7	2.2	8.3	20.4	44.2	34.8	24.3	21.0	28.2	17.1	3.3	1.7	9.9
介護保険サービス事業所	126	35.7	22.2	19.0	24.6	49.2	40.5	25.4	9.5	38.1	6.3	7.1	－	0.8
高齢者向け住宅事業者	13	53.8	－	－	7.7	23.1	23.1	53.8	15.4	15.4	－	23.1	－	7.7
ケアマネジャー	91	39.6	16.5	28.6	8.8	53.8	51.6	18.7	9.9	28.6	6.6	8.8	3.3	1.1

※全ての調査対象者に対する設問であり、サービスを受ける側と、提供する側との調査結果を対比するため、事業系調査結果についてもまとめて記載しています。

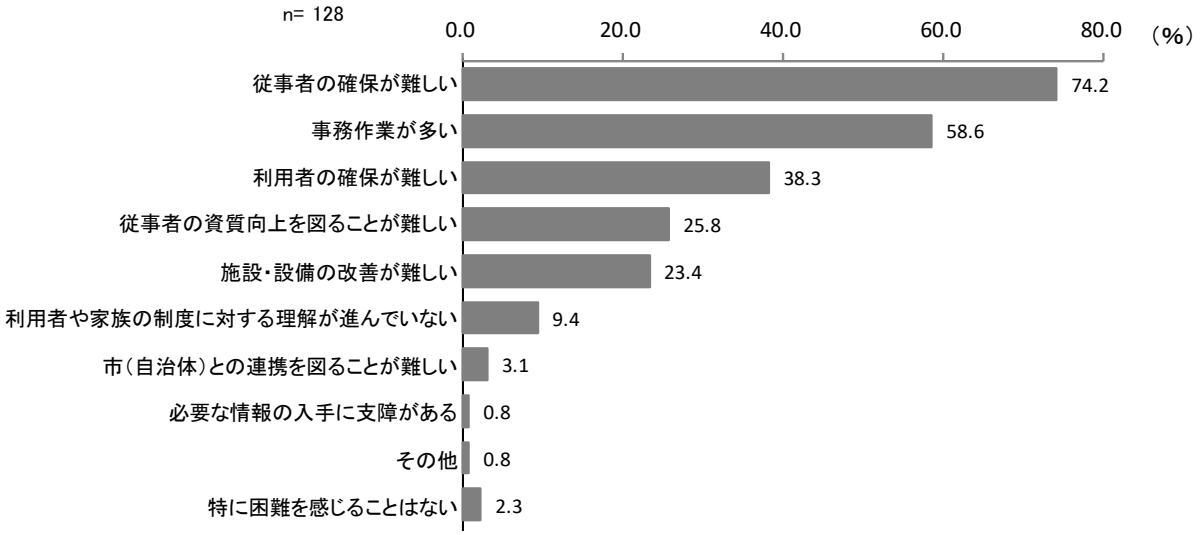
第４章　事業系調査結果の詳細

１.介護保険サービス事業所

（１）円滑な事業を進めて行くうえで、特に困難と感じること

円滑な事業を進めて行くうえで、特に困難と感じることを聞いたところ、「従事者の確保が難しい」が 74.2%で最も多く、次いで「事務作業が多い」(58.6%)、「利用者の確保が難しい」(38.3%) となっています。

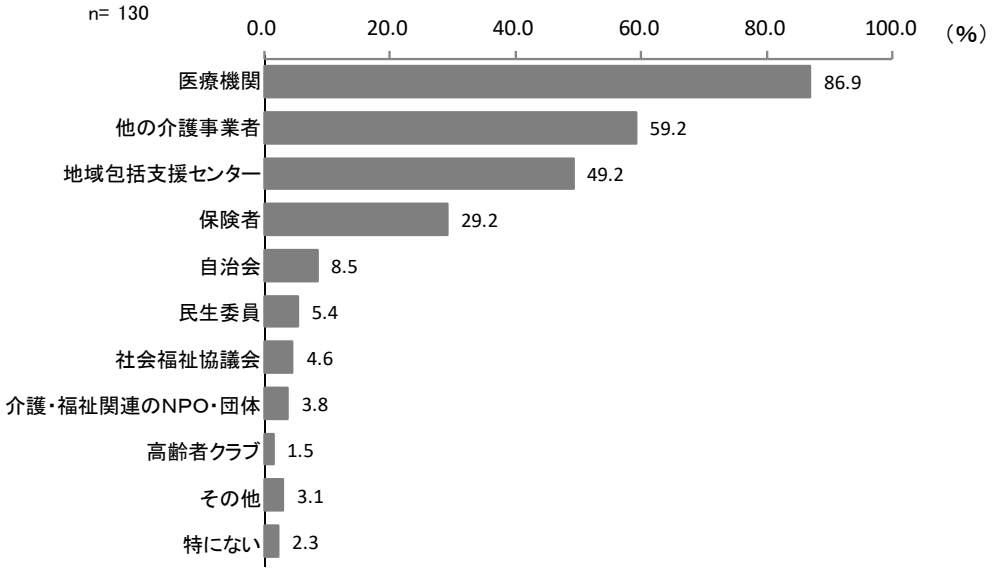
＜図表 001＞　円滑な事業運営を進めて行くうえで、特に困難と感じること（３つまで）【第１問１】



（２）連携が必要だと思う関係機関

連携が必要だと思う関係機関を聞いたところ、「医療機関」が 86.9%で最も多く、次いで「他の介護事業者」（59.2%）、「地域包括支援センター」（49.2%）となっています。

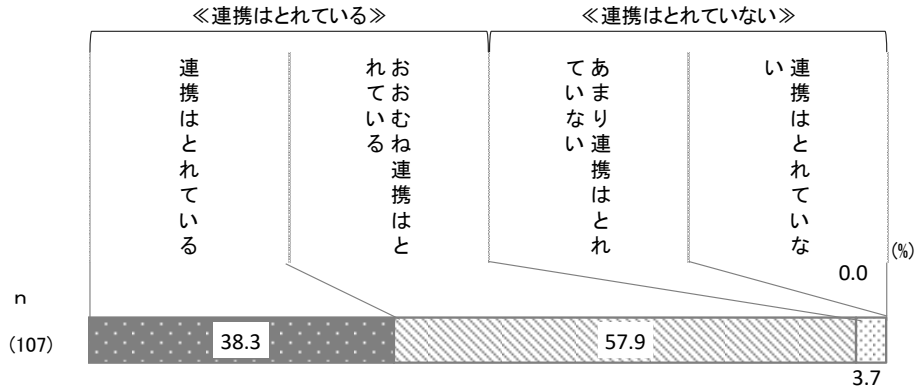
＜図表 002＞　連携が必要だと思う関係機関（３つまで）【第１問２】



（３）ケアマネジャーとの連携

ケアマネジャーとの連携を聞いたところ「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 96.2%となっています。

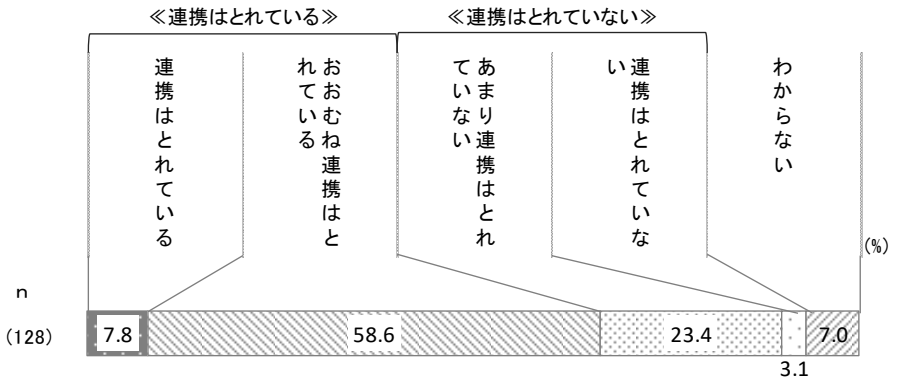
＜図表 003＞　ケアマネジャーとの連携【第１問３】



（４）江別市内の在宅医療・介護連携

江別市内の在宅医療・介護連携を聞いたところ、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 66.4%となっています。

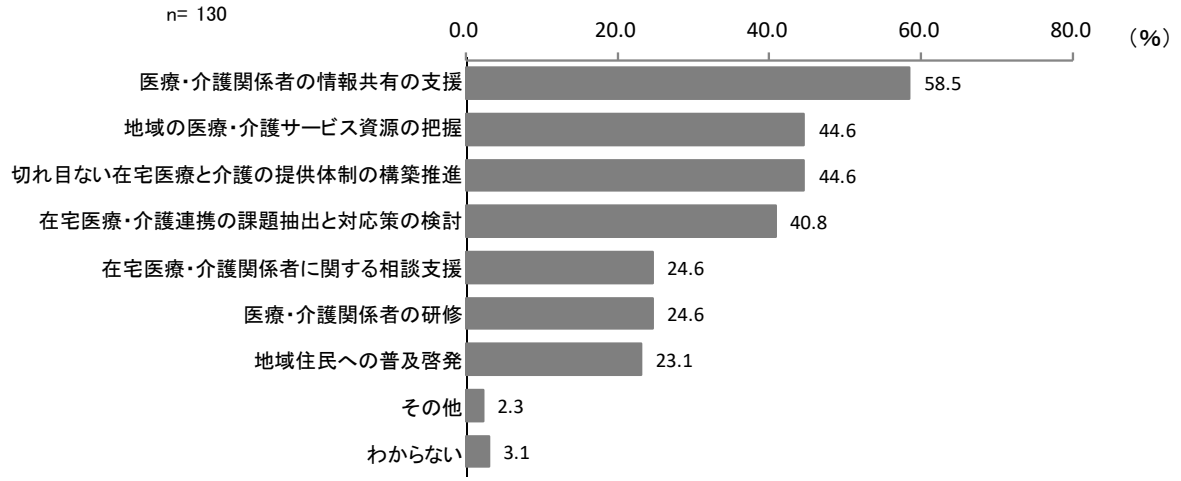
＜図表 004＞　江別市内の在宅医療・介護連携【第１問４】



（５）在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること

在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があることを聞いたところ、「医療・介護関係者の情報共有の支援」が 58.5%で最も多く、次いで「地域の医療・介護サービス資源の把握」と「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」がともに 44.6%、「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」（40.8%）となっています。

＜図表 005＞　在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること（複数回答）【第１問５】



（６）関係機関との連携で特に困難と感じること（自由回答）

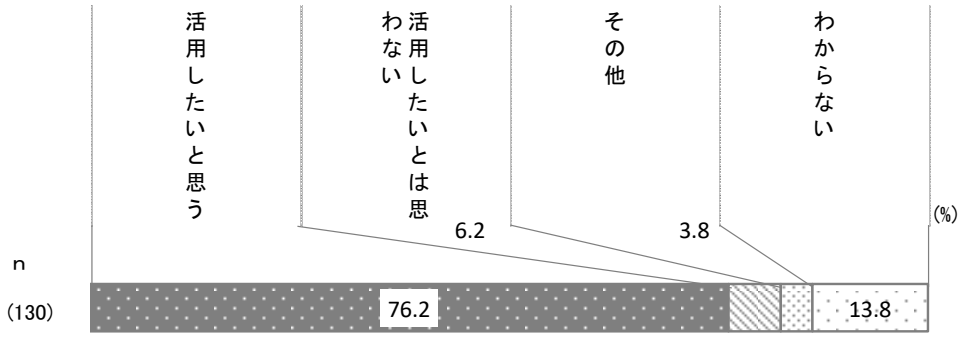
関係機関との連携で特に困難と感じること（【第１問６】）として、下記の内容などがあげられました。

・関係機関の情報共有が不足している。
・江別市内での医療機関への受診が困難、緊急時の受け入れもしてくれない。
・互いの領域の理解が乏しく連携困難な場合が多い。
・医療機関の相談窓口の明確化、電話連絡等の対応時間、担当医師への連絡方法、手段を知りたい。
・特に病院は個人情報として開示がされないため、現状の把握ができない。

（７）患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用

患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用を聞いたところ、「活用したいと思う」が 76.2%で最も多く、次いで「わからない」（13.8%）、「活用したいとは思わない」（6.2%）となっています。

＜図表 006＞　患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用【第１問７】

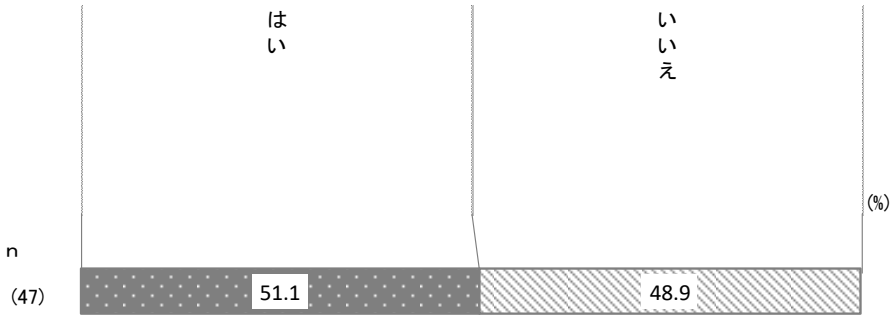


（８）看取りの実施

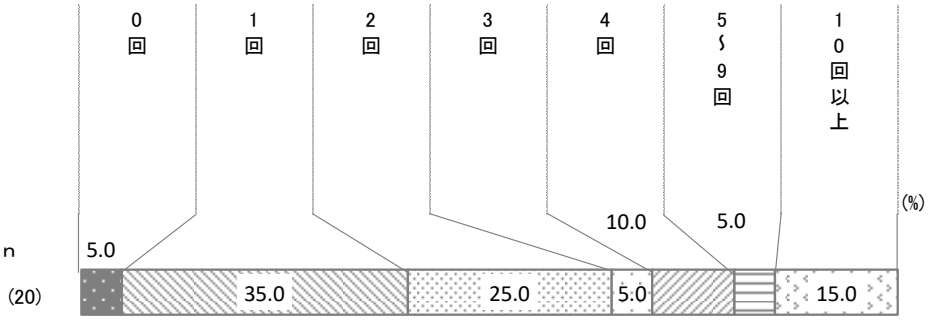
施設系サービスを運営する事業所に、看取りの実施の有無を聞いたところ、「はい」が 51.1%、「いいえ」が 48.9%となっています。

また、「はい」と答えた事業所に年間の看取りの実施回数を聞いたところ、「１回」が 35.0%で最も多く、次いで「２回」(25.0%)、「１０回以上」が（15.0%）となっています。

＜図表 007＞　看取りの実施の有無【第１問８】（施設系サービスを運営している事業所向け設問）



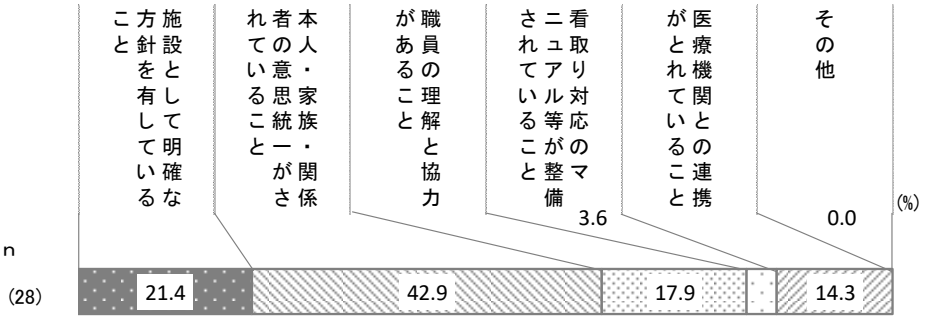
＜図表 008＞　年間の看取りの実施回数【第１問８】（施設系サービスを運営している事業所向け設問）



（９）看取りをする場合に欠かせないと思うこと

看取りをする場合に欠かせないと思うことを聞いたところ、「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」が 42.9%で最も多く、次いで「施設として明確な方針を有していること」（21.4%）、「職員の理解と協力があること」（17.9%）となっています。

＜図表 009＞　看取りをする場合に欠かせないと思うこと【第１問９】



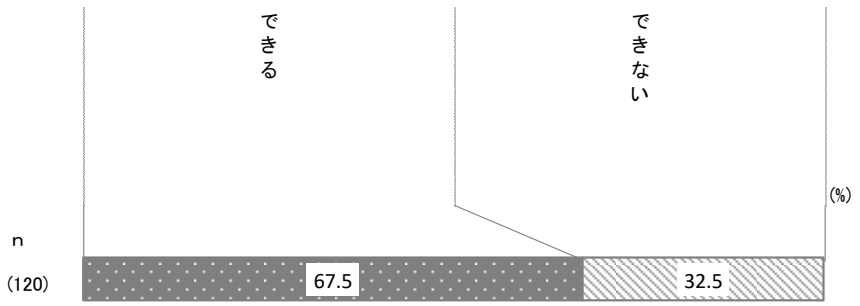
（10）介護サービスの質を向上させるために取り組んでいること（自由回答）

介護サービスの質を向上させるために取り組んでいること（【第１問 10】）として、定期的な会議と研修の実施、相談から受け入れまでの期間短縮、利用者の情報共有などがあげられました。

（11）ボランティアの受け入れ可否

ボランティアの受け入れ可否を聞いたところ、「できる」が 67.5%、「できない」が 32.5%となっています。

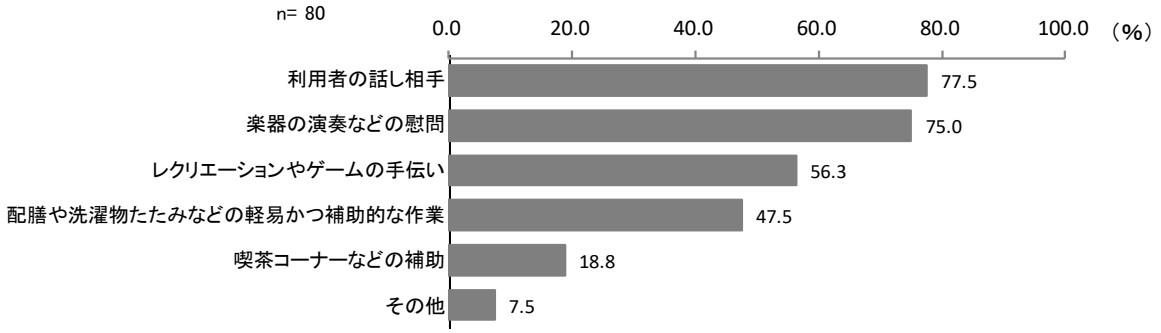
＜図表 010＞　ボランティアの受け入れ可否【第１問 11】



（12）ボランティアに任せられると思う業務の内容

ボランティアに任せられると思う業務の内容を聞いたところ、「利用者の話し相手」が 77.5%で最も多く、次いで「楽器の演奏などの慰問」（75.0%）「レクリエーションやゲームの手伝い」（56.3%）となっています。

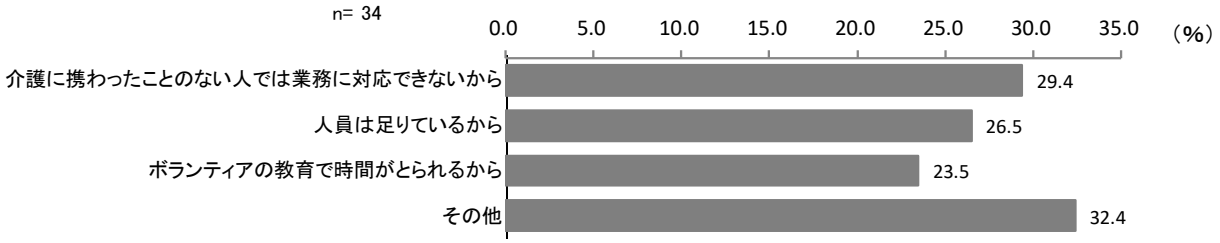
＜図表 011＞　ボランティアに任せられると思う業務の内容（複数回答）【第１問 11-1】



（13）ボランティアの受け入れができない理由

ボランティアの受け入れが「できない」と回答した事業所に、ボランティアの受け入れができない理由を聞いたところ、「介護に携わったことのない人では業務に対応できないから」が 29.4%、次いで「人員は足りているから」（26.5%）、「ボランティアの教育で時間がとられるから」（23.5%）となっており、「その他」についてはコロナへの感染リスクに関する意見が見られました。

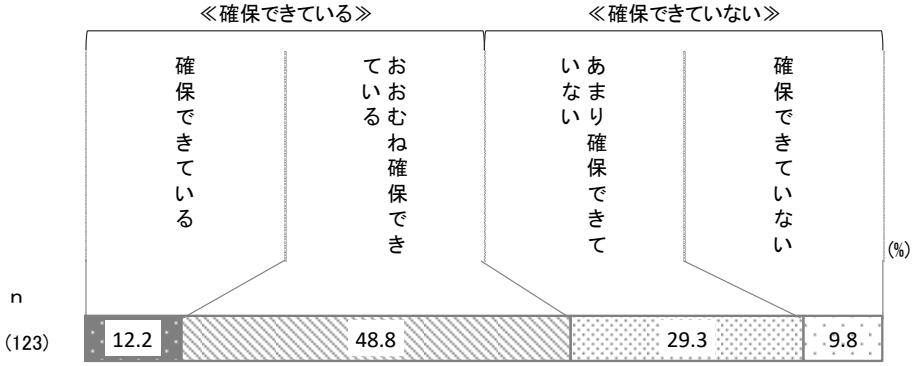
＜図表 012＞　ボランティアの受け入れができない理由（複数回答）【第１問 11-2】



（14）この１年間における人材の確保状況

この１年間における人材の確保状況を聞いたところ、「確保できている」と「おおむね確保できている」を合わせた≪確保できている≫は 61.0%となっています。

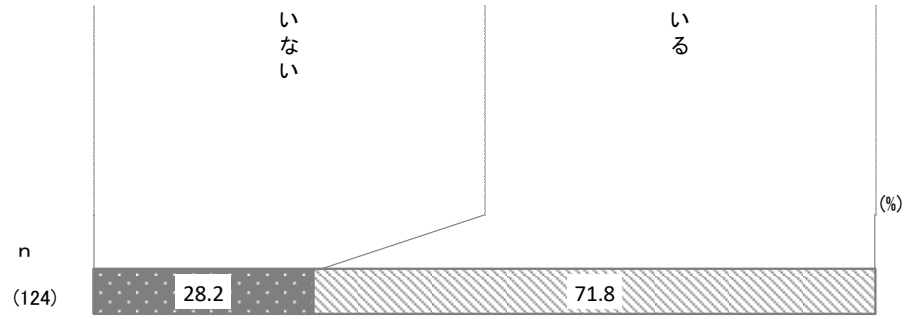
＜図表 013＞　この１年間における人材の確保状況【第１問 12】



（15）昨年１年間（令和４年１月１日～令和４年 12 月 31 日）の離職者

昨年１年間の離職者を聞いたところ、「いない」が 28.2%、「いる」が 71.8%となっています。

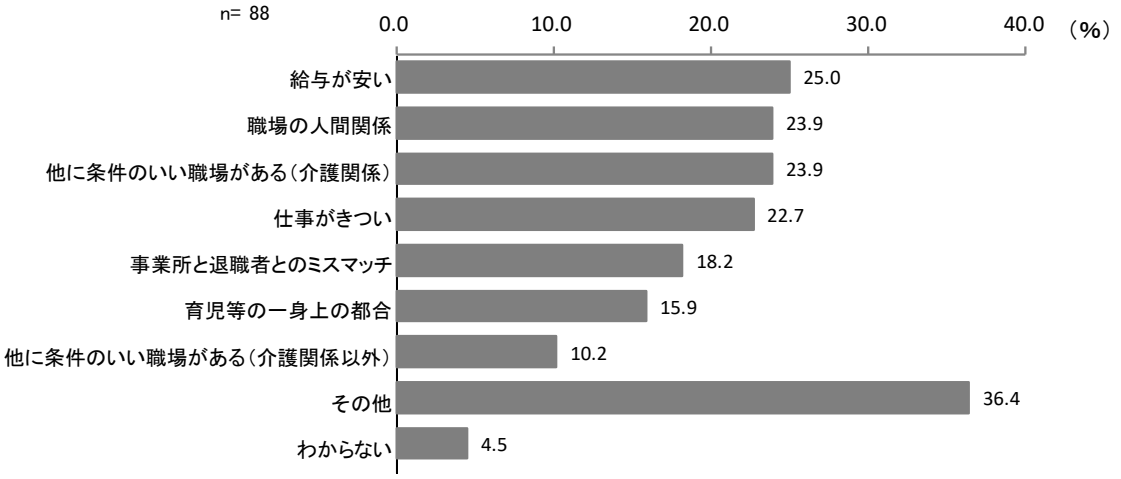
＜図表 014＞　昨年１年間（令和４年１月１日～令和４年 12 月 31 日）の離職者【第１問 12-1】



（16）離職の理由

昨年１年間の離職者で「いる」と回答した事業所に、離職の理由を聞いたところ、「給与が安い」が 25.0%、「職場の人間関係」と「他に条件のいい職場がある（介護関係）」がともに 23.9%、「仕事がきつい」が 22.7%となっており、「その他」については本人の体調面の問題や、高齢のためといった意見が見られました。

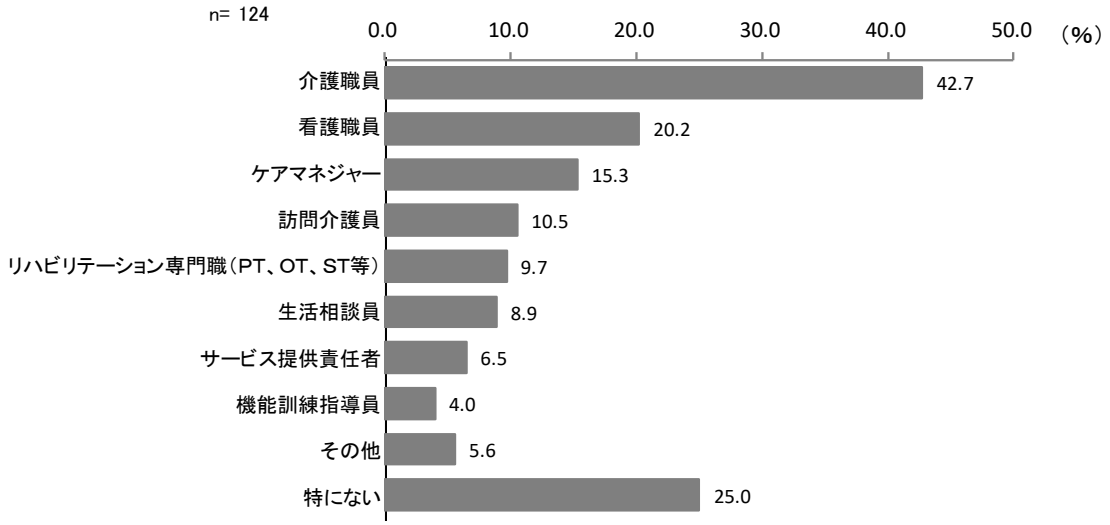
＜図表 015＞　離職者の理由（３つまで）【第１問 12-2】



（17）不足している職種

不足している職種を聞いたところ、「介護職員」が 42.7%で最も多く、次いで「特にない」（25.0%）、「看護職員」（20.2%）となっています。

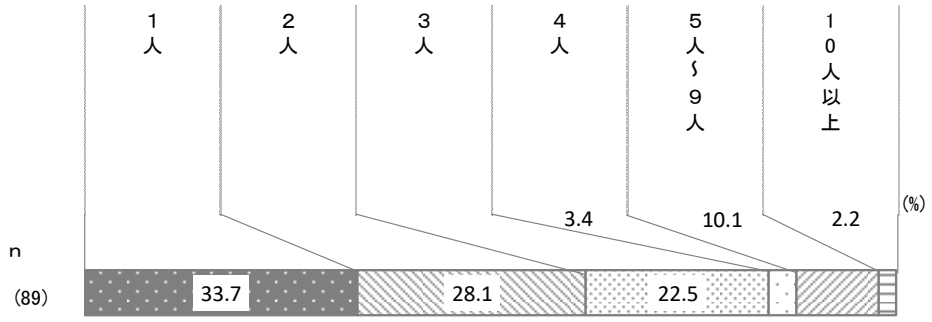
＜図表 016＞　不足している職種（複数回答）【第１問 13】



（18）人員の不足数

人員の不足数を聞いたところ、「１人」が 33.7%で最も多く、次いで「２人」(28.1%)、「３人」(22.5%）となっています。

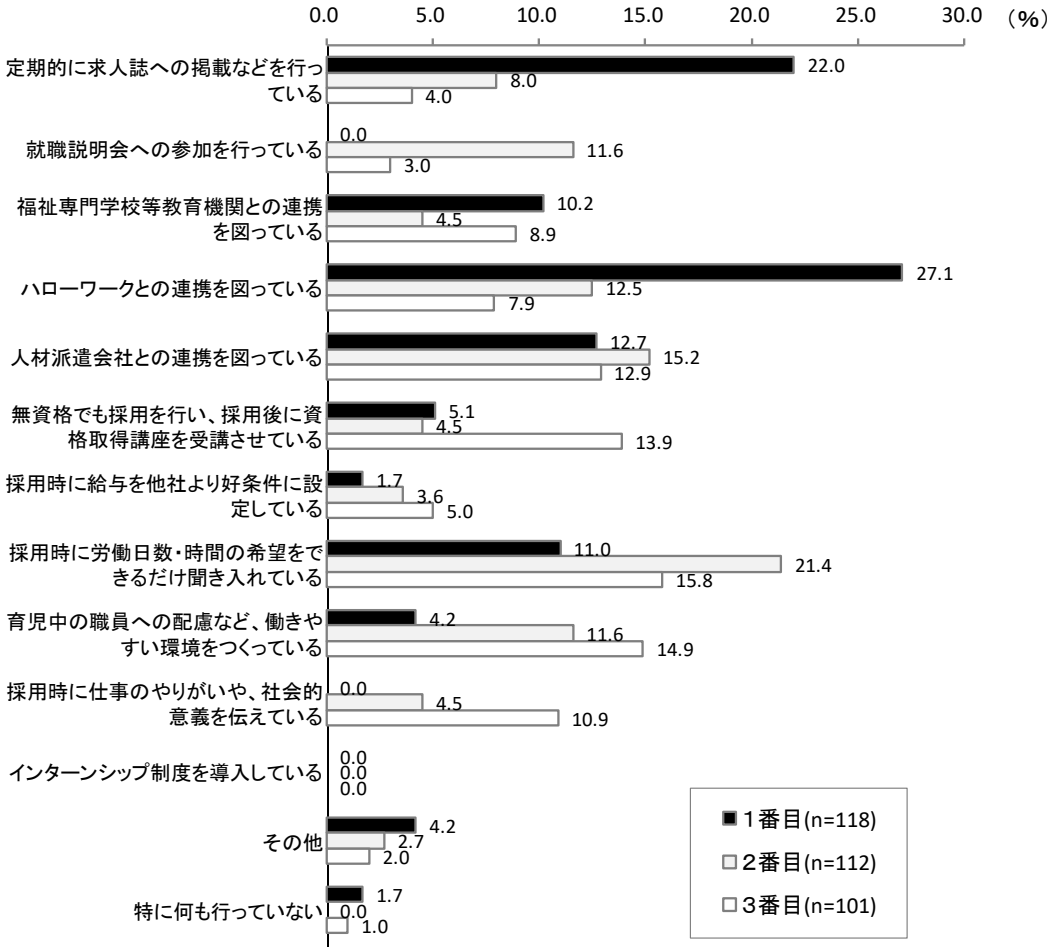
＜図表 017＞　人員の不足数【第１問 13-1】



（19）新規人材の確保のための取り組み

新規人材の確保のための取り組みを聞いたところ、最も効果が高いと考える取り組みは、「ハローワークとの連携を図っている」が 27.1％で最も多く、次いで「定期的に求人誌への掲載などを行っている」（22.0％）、「人材派遣会社との連携を図っている」（12.7％）となっています。

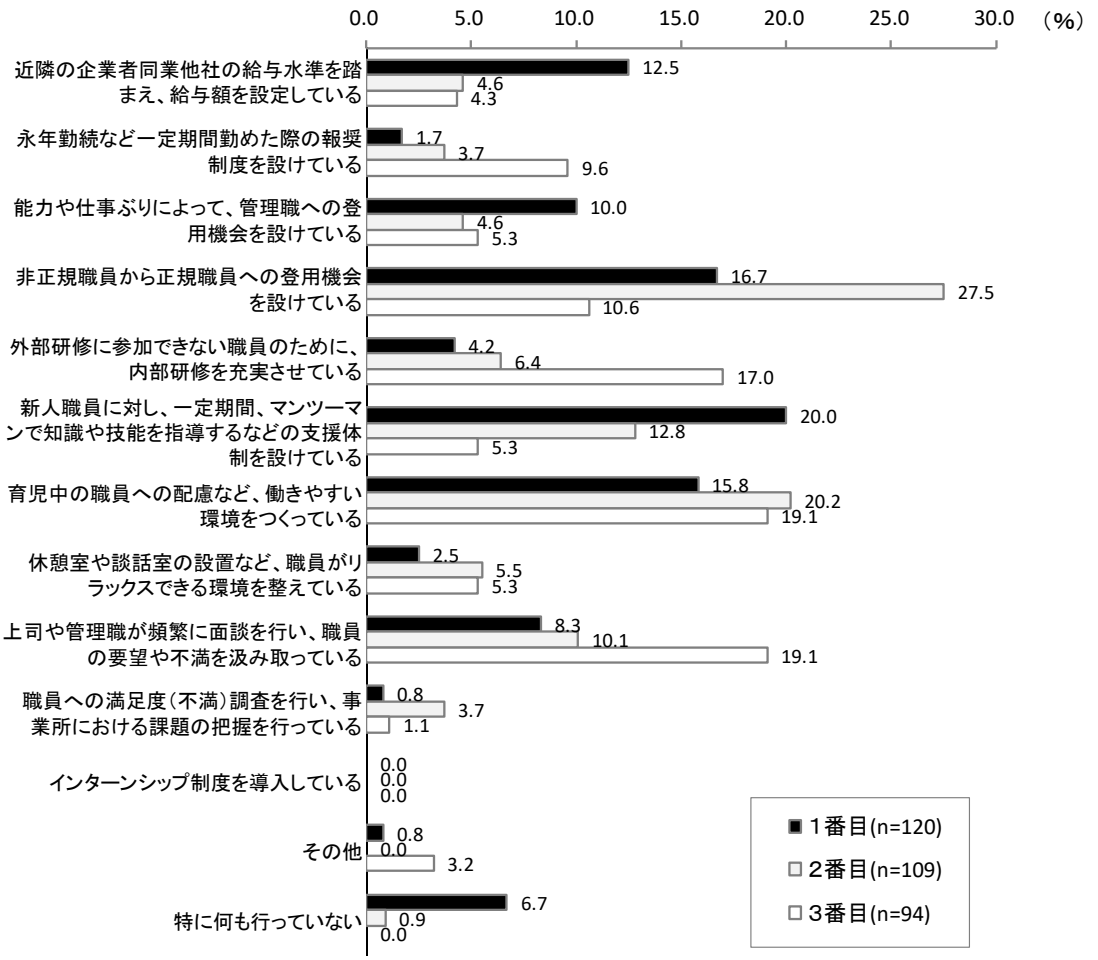
＜図表 018＞　新規人材の確保のための取り組み（３つまで）【第１問 14】



（20）人材の定着・育成（離職防止）のための取り組み

人材の定着・育成（離職防止）のための取り組みを聞いたところ、最も効果が高いと考える取り組みは、「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている」が 20.0％で最も多く、次いで「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」（16.7％）、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」（15.8％）となっています。

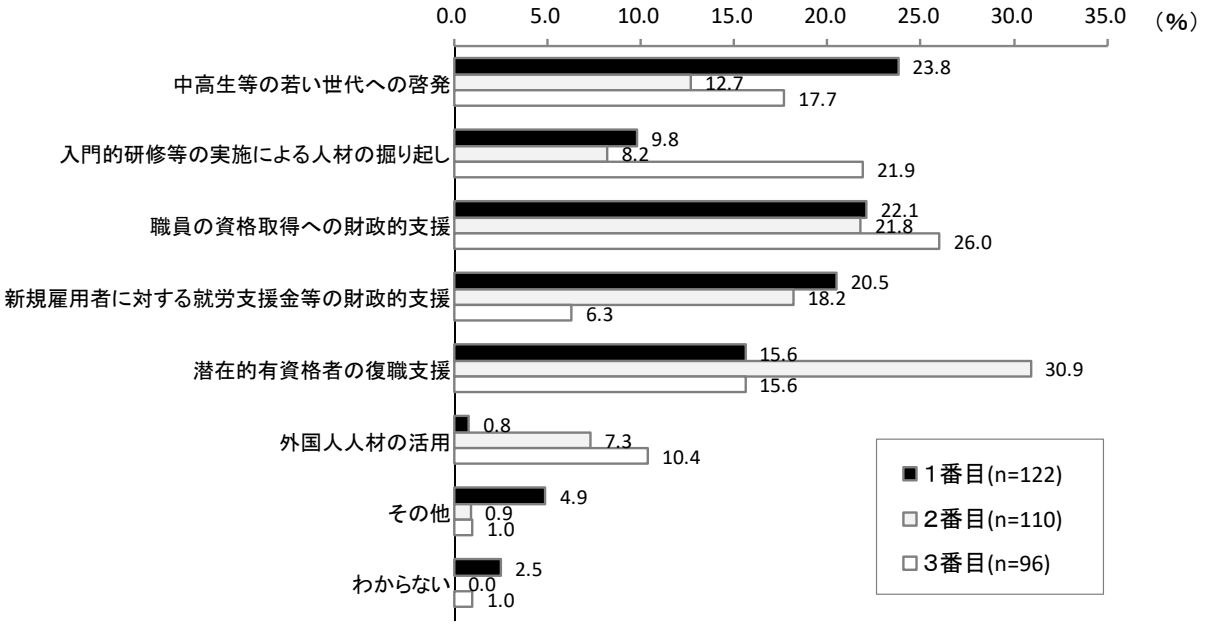
＜図表 019＞　人材の定着・育成（離職防止）のための取り組み（３つまで）【第１問 15】



（21）介護人材の確保・定着のために力を入れること

介護人材の確保・定着のために力を入れることを聞いたところ、最も効果が高いと考える取り組みは、「中高生等の若い世代への啓発」が 23.8%で最も多く、次いで「職員の資格取得への財政的支援」(22.1%)、「新規雇用者に対する就労支援金等の財政的支援」(20.5%）となっています。

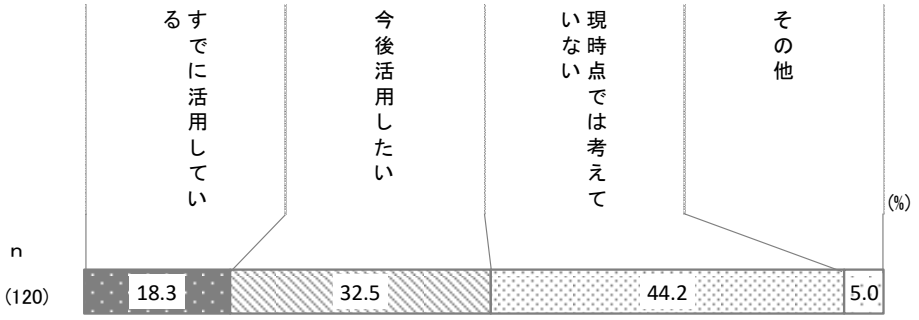
＜図表 020＞　介護人材の確保・定着のために力を入れること（３つまで）【第１問 16】



（22）介護助手への元気高齢者等の活用について

介護助手への元気高齢者等の活用について聞いたところ、「現時点では考えていない」が44.2%で最も多く、次いで「今後活用したい」(32.5%)、「すでに活用している」(18.3%) となっています。

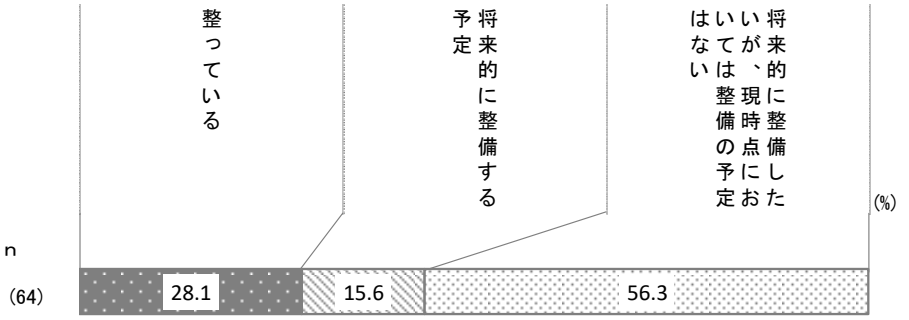
＜図表 021＞　介護助手への元気高齢者等の活用【第１問 17】



（23）元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制

元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制を聞いたところ、「将来的に整備したいが、現時点においては整備の予定はない」が 56.3%で最も多く、次いで「整っている」(28.1%)、「将来的に整備する予定」(15.6%) となっています。

＜図表 022＞　元気高齢者等の介護未経験者を介護助手として受け入れた場合の研修等の体制【第１問 17-1】

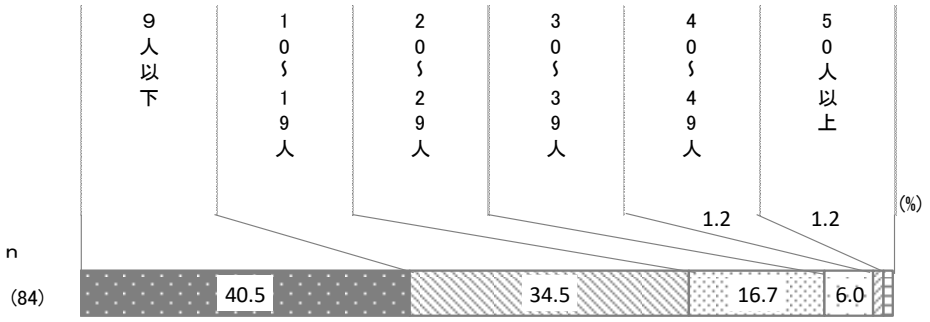


(24) 職員について

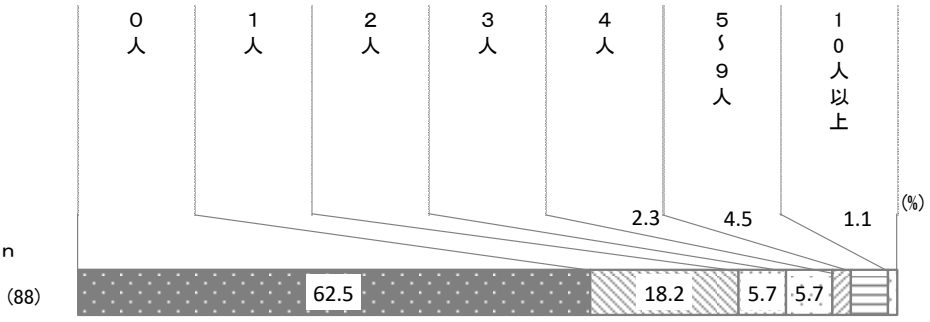
職員について聞いたところ、職員数は「９人以下」が 40.5%で最も多く、次いで「10～19 人」(34.5%)、「20～29 人」(16.7%) となっています。

また、雇用している介護従事者のうちの無資格者数は「０人」が 62.5%で最も多く、次いで「１人」(18.2%)、「２人」と「３人」がともに 5.7%となっています。

＜図表 023＞　職員数【第１問 18】



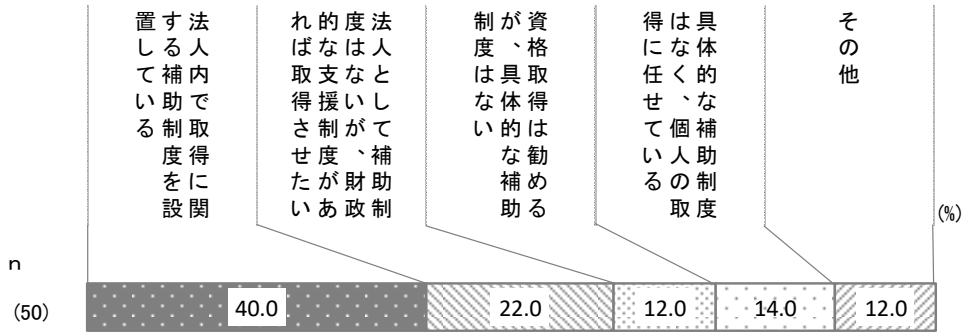
＜図表 024＞　雇用している介護従事者のうちの無資格者数【第１問 18】



（25）無資格者の初任者研修等の資格取得検討

雇用している介護従事者のうちの無資格者の人数に記載があった事業所に、無資格者の初任者研修等の資格取得検討を聞いたところ、「法人内で取得に関する補助制度を設置している」が40.0％で最も多く、次いで「法人として補助制度はないが、財政的な支援制度があれば取得させたい」（22.0％）、「具体的な補助制度はなく、個人の取得に任せている」（14.0％）、「資格取得は勧めるが、具体的な補助制度はない」（12.0％）となっています。

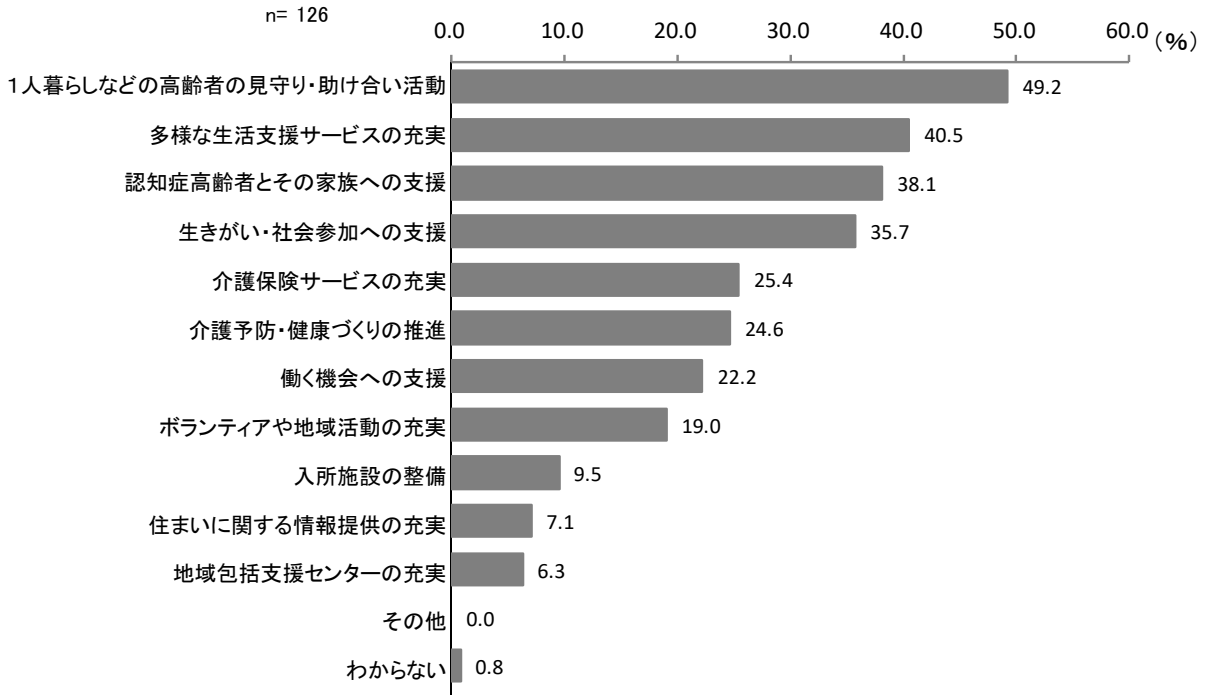
＜図表 025＞　無資格者の初任者研修等の資格取得検討【第１問 18-1】



（26）自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと

自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいことを聞いたところ、「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」が 49.2%で最も多く、次いで「多様な生活支援サービスの充実」（40.5%）、「認知症高齢者とその家族への支援」（38.1%）となっています

＜図表 026＞　自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと（複数回答）
【第 1 問 19】

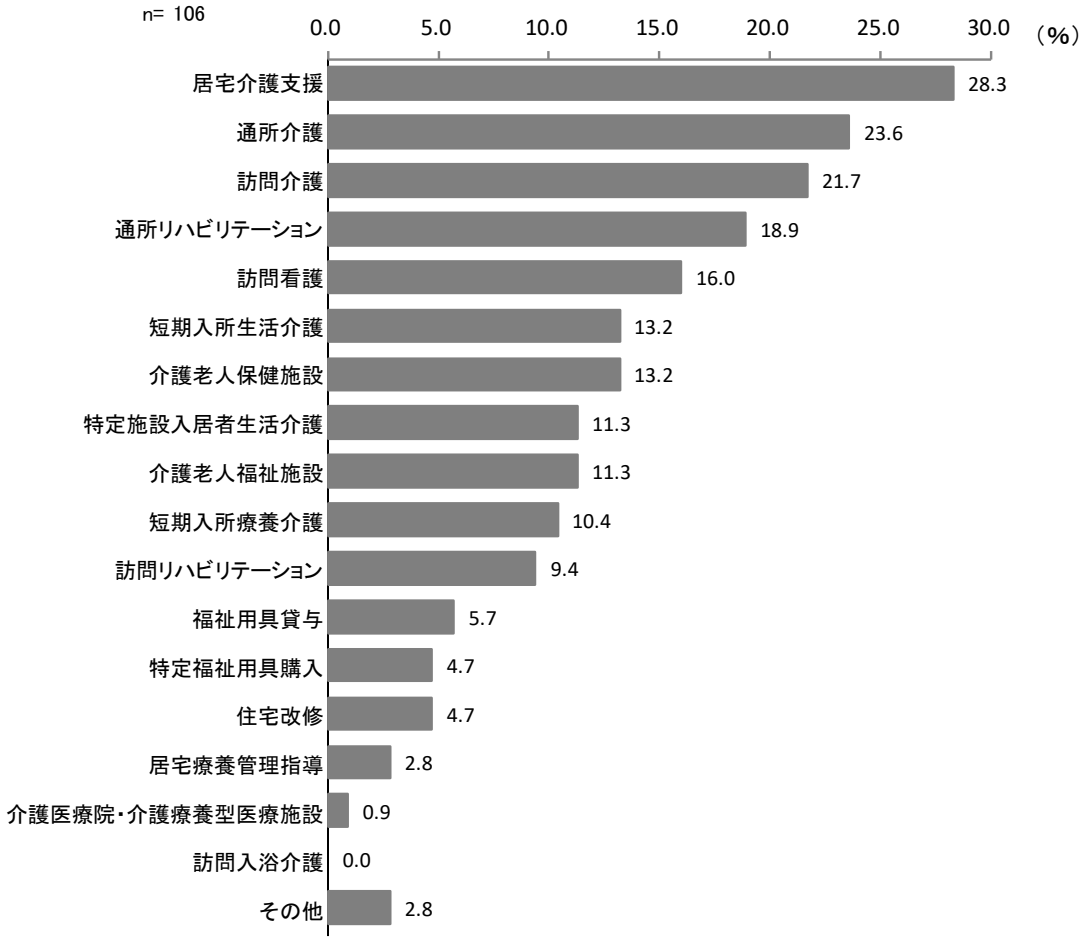


（27）提供しているサービス種別

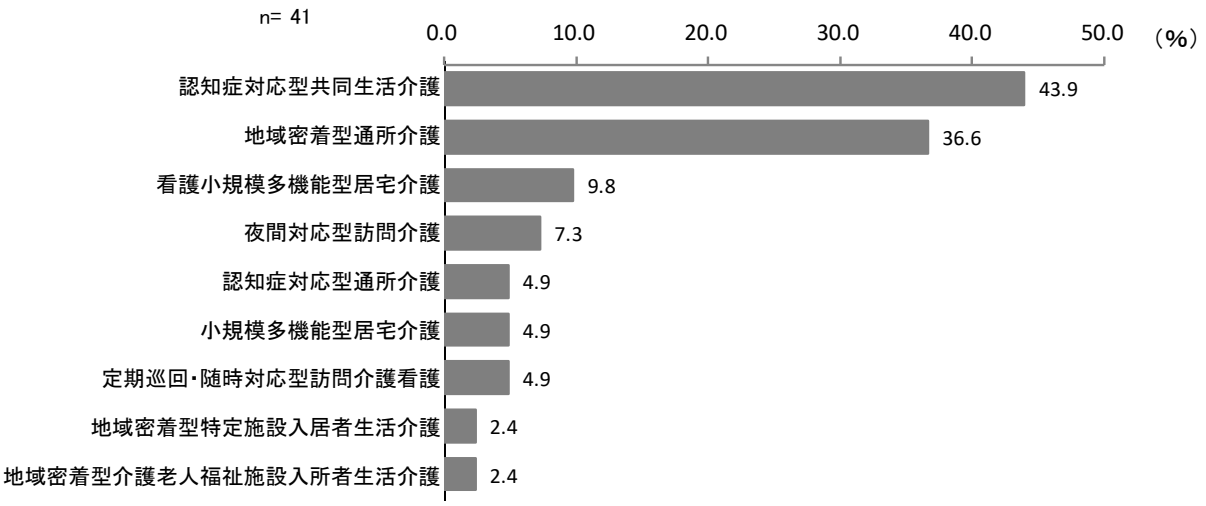
提供しているサービス種別を聞いたところ、居宅サービス（予防を含む）及び施設サービスを運営する事業所の場合では、「居宅介護支援」が 28.3％で最も多く、次いで「通所介護」(23.6％)、「訪問介護」（21.7％）となっています。

また、地域密着型サービスを運営する事業所の場合では、「認知症対応型共同生活介護」が 43.9％で最も多く、次いで「地域密着型通所介護」（36.6％）となっています。

＜図表 027＞　提供しているサービス種別【居宅サービス（予防を含む）及び施設サービス】（複数回答）【第１問 20（１）】



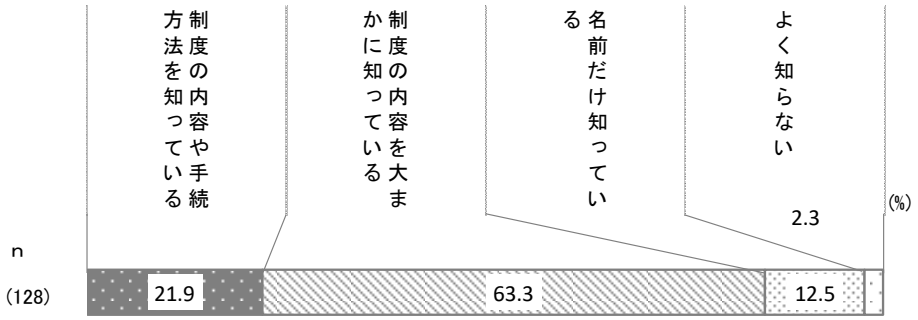
＜図表 028＞　提供しているサービス種別【地域密着型サービス】（複数回答）【第１問 20（２）】



（28）成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度を聞いたところ、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、85.2%となっています。

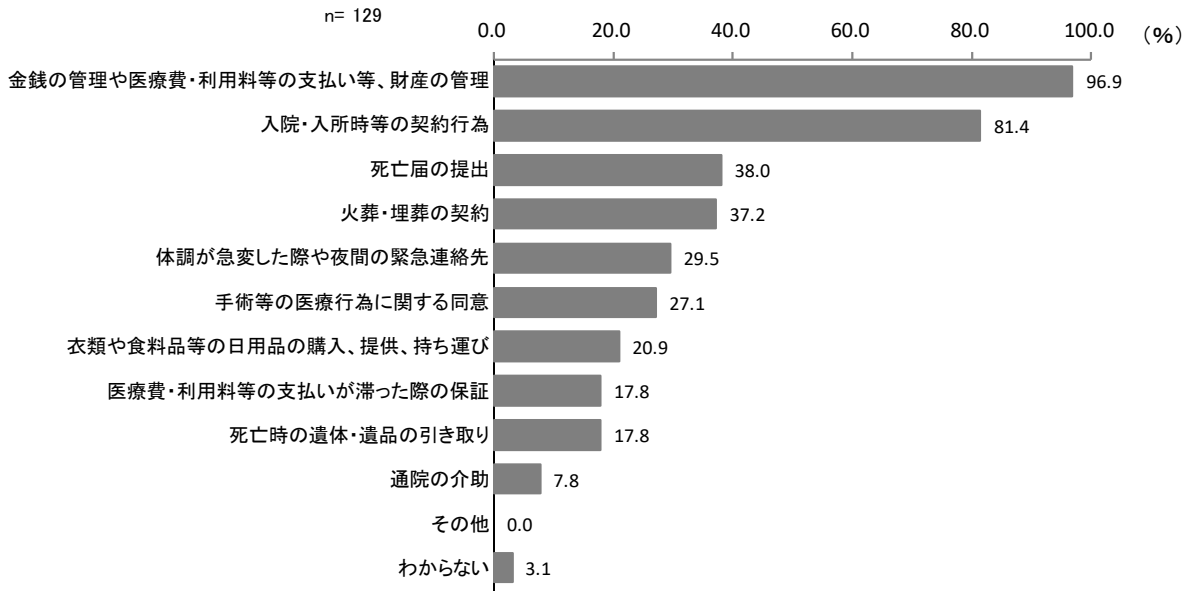
＜図表 029＞　成年後見制度の認知度【第２問１】



（29）成年後見人ができると思うこと

成年後見人ができると思うことを聞いたところ、「金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理」が 96.9%で最も多く、次いで「入院・入所時等の契約行為」（81.4%）となっています。

＜図表 030＞　成年後見人ができると思うこと（複数回答）【第２問２】

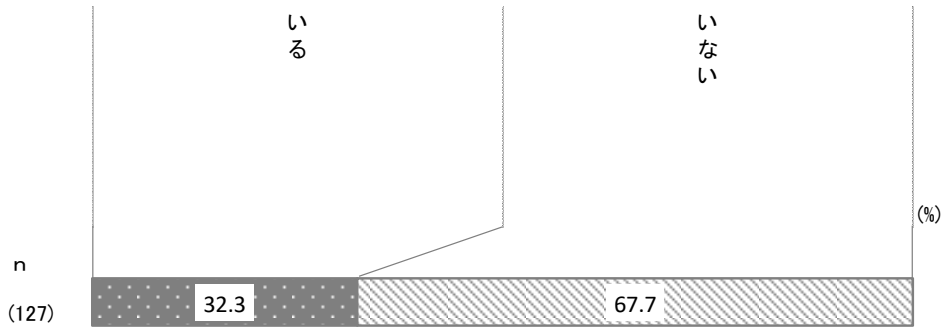


（30）支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無

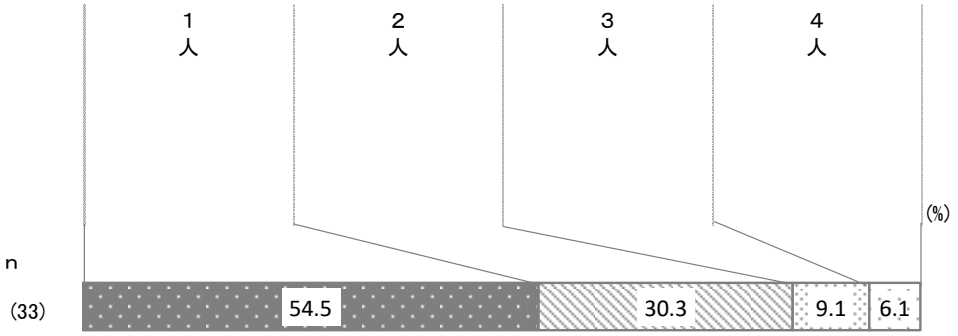
支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無を聞いたところ、「いる」が32.3%、「いない」が67.7%となっています。

また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数は、「１人」が54.5%で最も多く、次いで「２人」（30.3%）、「３人」（9.1%）となっています。

＜図表 031＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無【第２問３】



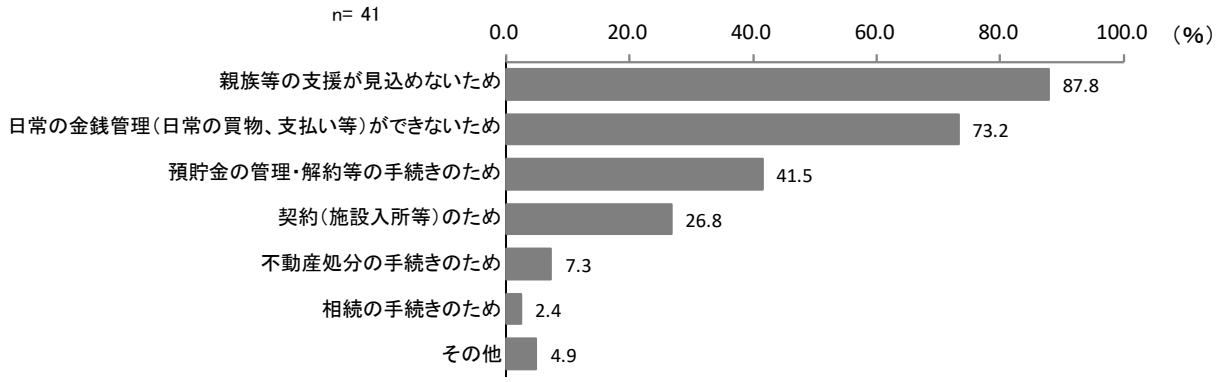
＜図表 032＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数【第２問３】



（31）成年後見制度の利用が必要と思う理由

支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無で「いる」と回答した事業所に、必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 87.8%で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」(73.2%)、「預貯金の管理・解約等の手続きのため」(41.5%) となっています。

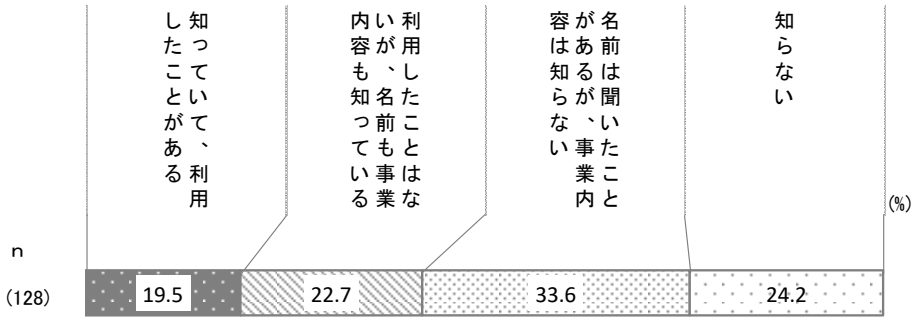
＜図表 033＞　成年後見制度の利用が必要と思う理由（複数回答）【第２問３－１】



（32）江別市成年後見支援センターの認知度

江別市成年後見支援センターの認知度を聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」が 33.6%で最も多く、次いで「知らない」(24.2%)、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」(22.7%) となっています。

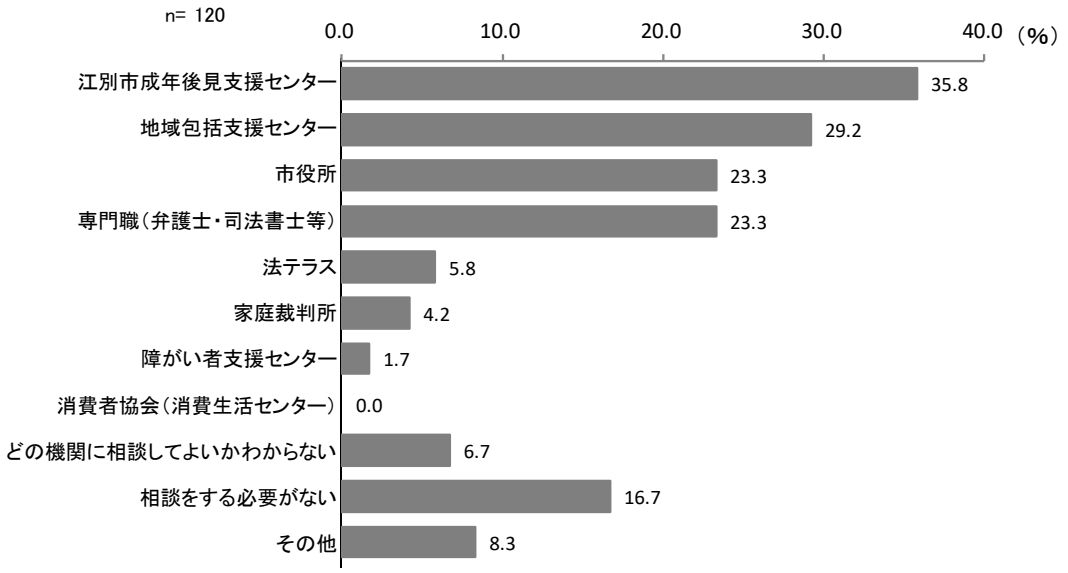
＜図表 034＞　江別市成年後見支援センターの認知度【第２問４】



（33）成年後見制度に関する相談先

成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、「江別市成年後見支援センター」が 35.8％で最も多く、次いで「地域包括支援センター」（29.2％）、「市役所」と「専門職（弁護士・司法書士等）」がともに 23.3％となっています。

＜図表 035＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）【第２問５】



（34）成年後見制度に関する課題（自由回答）

成年後見制度に関する課題（【第２問６】）として、下記の内容などがあげられました。

・成年後見制度について、もっと身近なハンドブックにして配布してはどうか。
・連携が取りづらい（情報交換が出来ない）。
・制度の浸透が行き渡っていないように感じる。
・以前は意志決定が難しくなってから後見人をというケースが何例かあった。

２.高齢者向け住宅事業者

高齢者向け住宅提供事業者については、28 業者へ送付し、13 件の回答がありましたが、その結果は以下のとおりです（サンプル数が少ないため、実数のみ表示)。

（１）所在地区

＜図表 036＞　所在地区【第１問１（１)】(回答事業所 13 ヵ所)

地区名	事業所数(カ所)
江別	7
野幌	2
大麻	4

（２）経営主体

＜図表 037＞　経営主体【第１問１（２)】(回答事業所 13 ヵ所)

経営主体	事業所数(カ所)
社会福祉法人	3
医療法人(公益社団･一般社団･公益財団･一般財団)	1
民法法人(公益社団･一般社団･公益財団･一般財団)	－
営利法人(有限･株式会社等)	9
特定非営利活動法人(NPO)	－
非法人(個人経営)	－
その他	－

（３）施設種類

＜図表 038＞　施設種類【第１問１（３)】(回答事業所 13 ヵ所)

施設種類	事業所数(カ所)
住宅型有料老人ホーム	5
サービス付高齢者向け住宅	5
その他	3

（４）入居定員

＜図表 039＞　入居定員【第１問１（４）】（回答事業所 13 ヵ所）

定員	事業所数(カ所)
20人未満	4
20～30人未満	4
30～50人未満	1
50人以上	4

（５）入居状況及び待機状況（令和５年１月１日現在）

＜図表 040＞　入居者数【第１問２】（回答事業所 13 ヵ所）

入居者数	事業所数(カ所)
20人未満	6
20～30人未満	2
30～50人未満	1
50人以上	4

＜図表 041＞　待機者数【第１問２】（回答事業所 9 ヵ所）

待機者数	事業所数(カ所)
0 人	－
1 ～10人未満	8
10～20人未満	－
20～30人未満	－
30人以上	1

（６）入居者の内訳

＜図表 042＞　入居者の内訳【第１問３】（回答事業所 13 ヵ所）

区分	計(室)
独居	396
夫婦世帯	8
その他	3

（７）入居者の年齢

＜図表 043＞　入居者の年齢【第１問４】（回答事業所 13 ヵ所）

区分	人数計（人）
60歳未満	8
60歳以上65歳未満	8
65歳以上70歳未満	10
70歳以上75歳未満	18
75歳以上80歳未満	33
80歳以上85歳未満	76
85歳以上90歳未満	122
90歳以上	136

（８）入居者の入居年数

＜図表 044＞　入居者の入居年数【第１問５】（回答事業所 13 ヵ所）

区分	人数計（人）
1年未満	88
1年以上3年未満	189
3年以上5年未満	60
5年以上	60

（９）施設が実施しているサービス内容

＜図表 045＞　施設が実施しているサービス内容（複数回答）【第１問６】（回答事業所 13 ヵ所）

サービス内容	事業所数（カ所）
安否確認	13
生活相談	11
食事	12
その他	3

（10）併設しているサービス施設の有無

＜図表 046＞　併設しているサービス施設の有無【第１問７】（回答事業所 13 ヵ所）

併設しているサービス施設	事業所数（カ所）
あり	10
なし	3

（11）併設しているサービス施設の内容

＜図表 047＞　併設しているサービス施設の内容（複数回答）【第１問７－１】（回答事業所 10 ヵ所）

サービス施設内容	事業所数(カ所)
通所介護	2
地域密着型通所介護	2
認知症対応型通所介護	1
小規模多機能型居宅介護	1
訪問介護	5
診療所	1
訪問看護	－
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	－
居宅介護支援事業所	3
その他	1

（12）連携病院及び連携介護事業所

＜図表 048＞　連携病院【第１問８（１）】（回答事業所 13 ヵ所）

連携病院	事業所数(カ所)
あり	10
なし	3

＜図表 049＞　連携介護事業所【第１問８（２））】（回答事業所 13 ヵ所）

連携介護事業所	事業所数(カ所)
あり	5
なし	8

（13）入居者の介護サービス利用状況

＜図表 050＞　入居者の介護サービス利用状況（複数回答）【第１問９】（回答事業所 13 ヵ所）

介護サービス利用状況	事業所数(カ所)
訪問介護	11
訪問入浴介護	2
訪問看護	10
訪問リハビリテーション	6
居宅療養管理指導	5
通所介護	10
通所リハビリテーション	7
短期入所生活介護	1
福祉用具貸与	11
認知症対応型通所介護	1
小規模多機能型居宅介護	3
地域密着型通所介護	2
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	1
看護小規模多機能型居宅介護	1
その他	－

（14）入居者の医療サービス利用状況

＜図表 051＞　入居者の医療サービス利用状況（複数回答）【第１問 10】（回答事業所 13 ヵ所）

医療サービス状況	事業所数(カ所)
訪問看護	12
訪問診療	10
訪問歯科	11
その他	－

（15）看取りの実施

＜図表 052＞　看取りの実施の有無【第１問 11】（回答事業所 13 ヵ所）

看取りの実施	事業所数(カ所)
はい	4
いいえ	9

（16）看取りをする場合に欠かせないと思うこと

＜図表 053＞　看取りをする場合に欠かせないと思うこと【第１問 12】（回答事業所 6 ヵ所）

看取りをする場合に欠かせないこと	事業所数(カ所)
施設として明確な方針を有していること	1
本人・家族・関係者の意思統一がされていること	5
職員の理解と協力があること	－
看取り対応のマニュアル等が整備されていること	－
医療機関との連携がとれていること	－
その他	－

（17）その他のサービスの実施意向

＜図表 054＞　その他のサービスの実施意向（複数回答）【第１問 13】（回答事業所 11 ヵ所）

その他のサービス	事業所数(カ所)
配食サービス	－
除雪サービス	1
安否確認	－
家事援助サービス	1
生活相談	－
買い物代行	2
介護タクシー	－
その他	－
特にない	9

（18）今後展開予定の事業

＜図表 055＞　今後展開予定の事業（複数回答）【第１問 14】（回答事業所 2 ヵ所）

今後展開予定の事業	事業所数(カ所)
介護付有料老人ホーム	－
住宅型有料老人ホーム	2
サービス付高齢者向け住宅	1
その他	－

（19）この１年間における人材の確保状況

＜図表 056＞　この１年間における人材の確保状況【第１問 15】（回答事業所 13 ヵ所）

人材の確保状況	事業所数(カ所)
確保できている	3
おおむね確保できている	8
あまり確保できていない	1
確保できていない	1

（20）新規人材の確保のための取り組み

＜図表 057＞　新規人材の確保のための取り組み（３つまで）【第１問 16】（回答事業所 13 ヵ所）

新規人材の確保のための取り組み	事業所数(カ所)
定期的に求人誌への掲載などを行っている	3
就職説明会への参加を行っている	2
福祉専門学校等教育機関との連携を図っている	－
ハローワークとの連携を図っている	5
人材派遣会社との連携を図っている	2
無資格でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている	2
採用時に給与を他社より好条件に設定している	1
採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	3
育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	5
採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている	2
インターンシップ制度を導入している	－
その他	－
特に何も行っていない	2

（21）人材の定着・育成（離職防止）のための取り組み

＜図表 058＞　人材の定着・育成（離職防止）のための取り組み（３つまで）【第１問 17】（回答事業所 13 ヵ所）

人材の定着・育成(離職防止)のための取り組み	事業所数(カ所)
近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している	－
永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている	2
能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている	3
非正規職員から正規職員への登用機会を設けている	8
外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている	4
新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている	2
育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	3
休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている	4
上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている	5
職員への満足度(不満)調査を行い、事業所における課題の把握を行っている	2
インターンシップ制度を導入している	－
その他	－
特に何も行っていない	1

（22）今後、高齢者施策として力を入れて欲しいもの

＜図表 059＞　今後、高齢者施策として力を入れて欲しいもの（３つまで）【第１問 18】（回答事業所 13 ヵ所）

今後、高齢者施策として力を入れて欲しいもの	事業所数（カ所）
生きがい・社会参加への支援	7
働く機会への支援	－
ボランティアや地域活動の充実	－
介護予防・健康づくりの推進	1
１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動	3
多様な生活支援サービスの充実	3
介護保険サービスの充実	7
入所施設の整備	2
認知症高齢者とその家族への支援	2
地域包括支援センターの充実	－
住まいに関する情報提供の充実	3
その他	－
わからない	1

（23）成年後見制度の認知度

＜図表 060＞　成年後見制度の認知度【第２問１】（回答事業所 13 ヵ所）

成年後見制度の認知度	事業所数（カ所）
制度の内容や手続方法を知っている	2
制度の内容を大まかに知っている	9
名前だけ知っている	2
よく知らない	－

（24）成年後見人ができると思うこと

＜図表 061＞　成年後見人ができると思うこと（複数回答）【第２問２】（回答事業所 13 ヵ所）

成年後見人ができると思うこと	事業所数（カ所）
金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理	12
入院・入所時等の契約行為	9
医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証	3
衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び	3
手術等の医療行為に関する同意	3
体調が急変した際や夜間の緊急連絡先	4
通院の介助	－
死亡時の遺体・遺品の引き取り	3
死亡届の提出	5
火葬・埋葬の契約	5
その他	－
わからない	1

（25）支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無

＜図表 062＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無【第２問３】
（回答事業所 12 ヵ所）

成年後見人制度が必要と思われる人がいるか	事業所数(カ所)
いる	5
いない	7

（26）成年後見制度の利用が必要と思う理由

＜図表 063＞　成年後見制度の利用が必要と思う理由（複数回答）【第２問３－１】（回答事業所 5 ヵ所）

成年後見制度がなぜ必要か	事業所数(カ所)
親族等の支援が見込めないため	4
日常の金銭管理(日常の買物、支払い等)ができないため	3
預貯金の管理・解約等の手続きのため	2
不動産処分の手続きのため	－
契約(施設入所等)のため	－
相続の手続きのため	1
その他	－

（27）江別市成年後見支援センターの認知度

＜図表 064＞　江別市成年後見支援センターの認知度【第２問４】（回答事業所 13 ヵ所）

江別市成年後見支援センターの認知度	事業所数(カ所)
知っていて、利用したことがある	1
利用したことはないが、名前も事業内容も知っている	4
名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない	4
知らない	4

（28）成年後見制度に関する相談先

＜図表 065＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）【第２問５】（回答事業所 12 ヵ所）

成年後見制度に関する相談先	事業所数(カ所)
市役所	2
江別市成年後見支援センター	3
地域包括支援センター	5
障がい者支援センター	－
法テラス	－
家庭裁判所	－
専門職(弁護士・司法書士等)	2
消費者協会(消費生活センター)	－
どの機関に相談してよいかわからない	－
相談をする必要がない	3
その他	－

（29）成年後見制度に関する課題（自由回答）

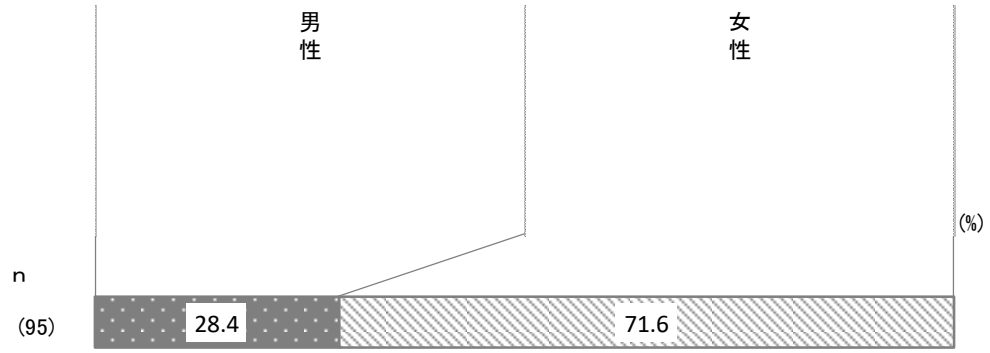
回答はありませんでした。

３.ケアマネジャー

（１）性別

性別を聞いたところ、「男性」が 28.4%、「女性」が 71.6%となっています。

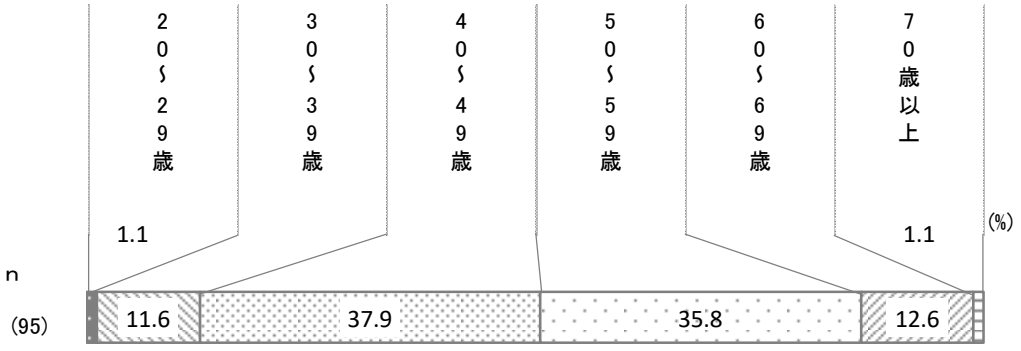
＜図表 066＞　性別【第１問１】



（２）年齢

年齢を聞いたところ、「40～49 歳」が 37.9%で最も多く、次いで「50～59 歳」(35.8%)、「60～69 歳（12.6%)」となっています。

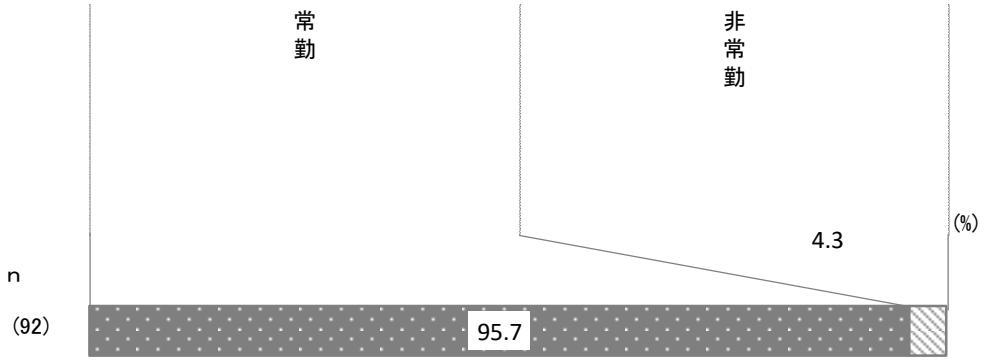
＜図表 067＞　年齢【第１問２】



（３）勤務形態

勤務形態を聞いたところ、「常勤」が 95.7%、「非常勤」が 4.3%となっています。

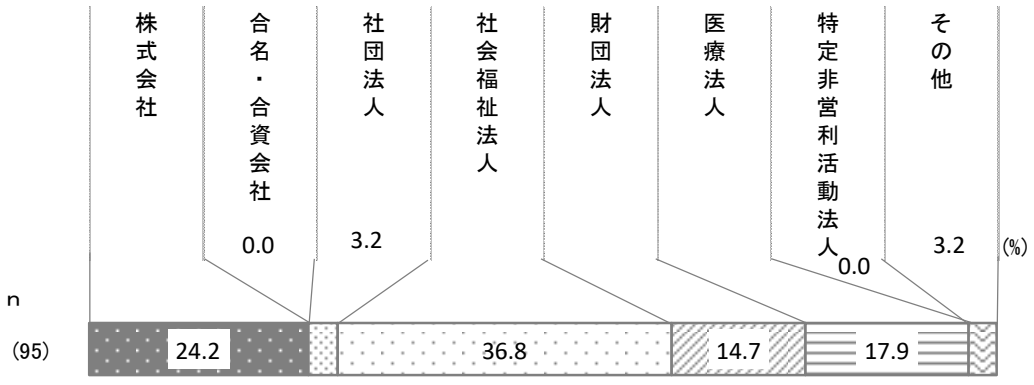
＜図表 068＞　勤務形態【第１問３】



（４）事業所の法人格

事業所の法人格を聞いたところ、「社会福祉法人」が 36.8%で最も多く、次いで「株式会社」(24.2%)、「医療法人」(17.9%) となっています。

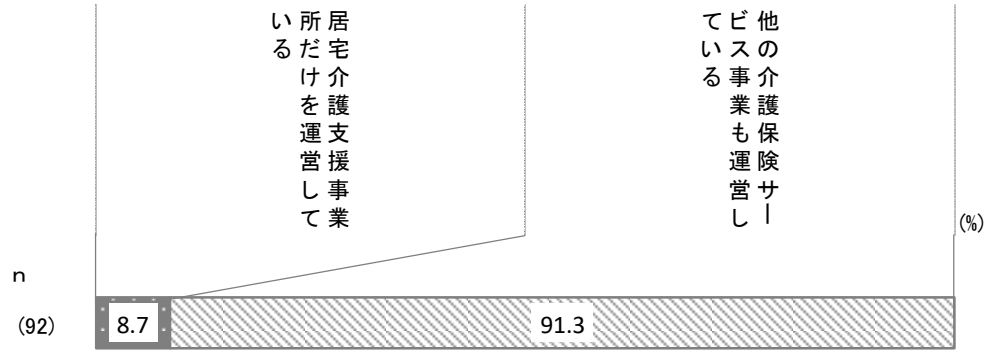
＜図表 069＞　事業所の法人格【第１問４】



（５）他の介護保険サービスの実施状況

他の介護保険サービスの実施状況を聞いたところ､｢居宅介護支援事業所だけを運営している」が 8.7%、「他の介護保険サービス事業も運営している」が 91.3%となっています。

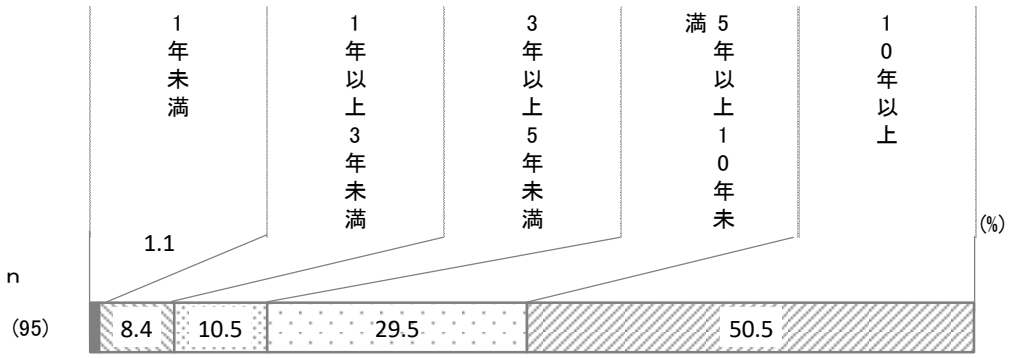
＜図表 070＞　他の介護保険サービスの実施状況【第１問５】



（６）ケアマネジャーの経験年数

ケアマネジャーの経験年数を聞いたところ、「10 年以上」が 50.5%で最も多く、次いで「５年以上 10 年未満」(29.5%)、「３年以上５年未満」(10.5%) となっています。

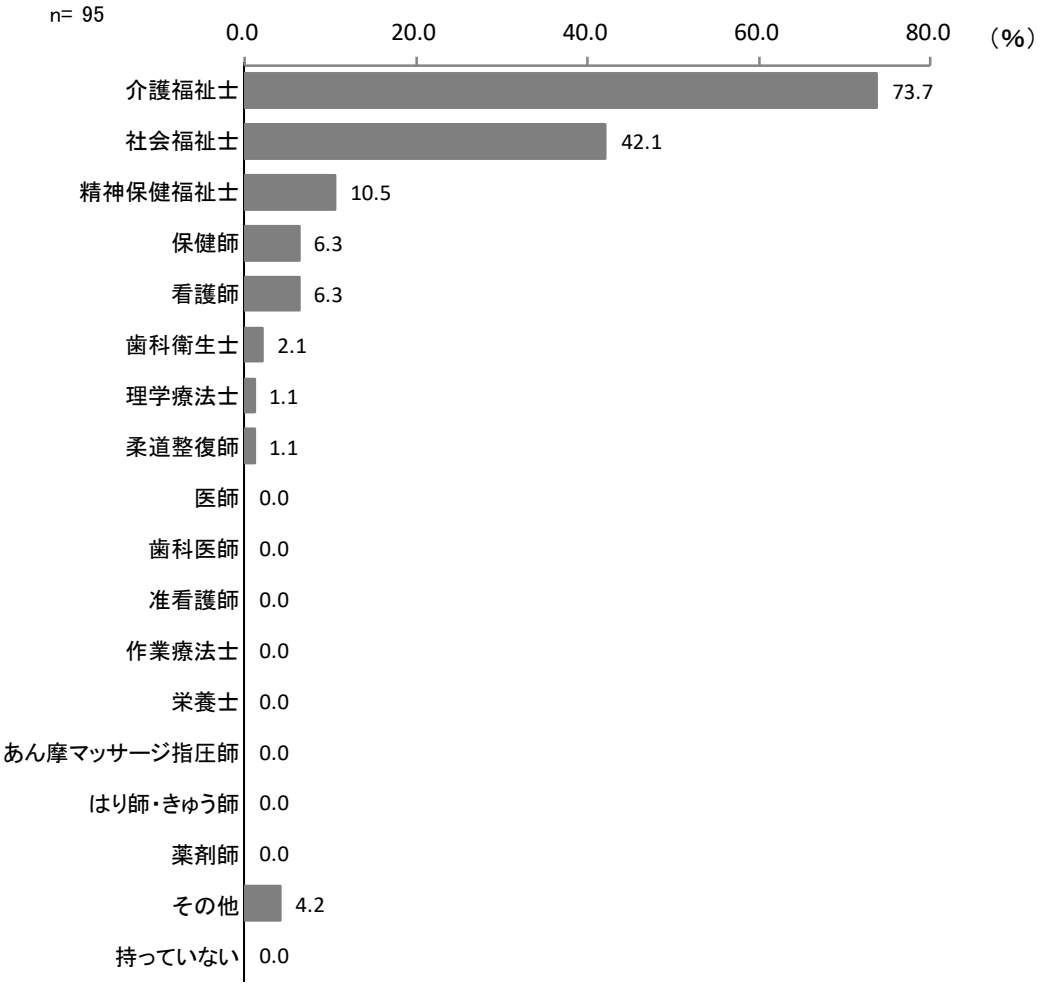
＜図表 071＞　ケアマネジャーの経験年数【第１問６】



（７）介護支援専門員以外の資格の取得状況

介護支援専門員以外の資格の取得状況を聞いたところ、「介護福祉士」が 73.7％で最も多く、次いで「社会福祉士」（42.1％）となっています。

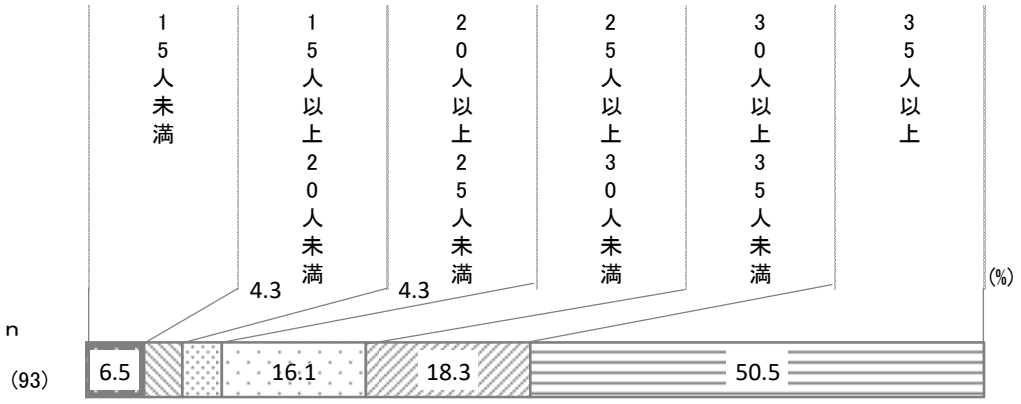
＜図表 072＞　介護支援専門員以外の資格の取得状況（複数回答）【第１問７】



（８）担当している利用者数

担当している利用者数を聞いたところ、「35 人以上」が 50.5%で最も多く、次いで「30 人以上 35 人未満」(18.3%)、「25 人以上 30 人未満」(16.1%) となっています。

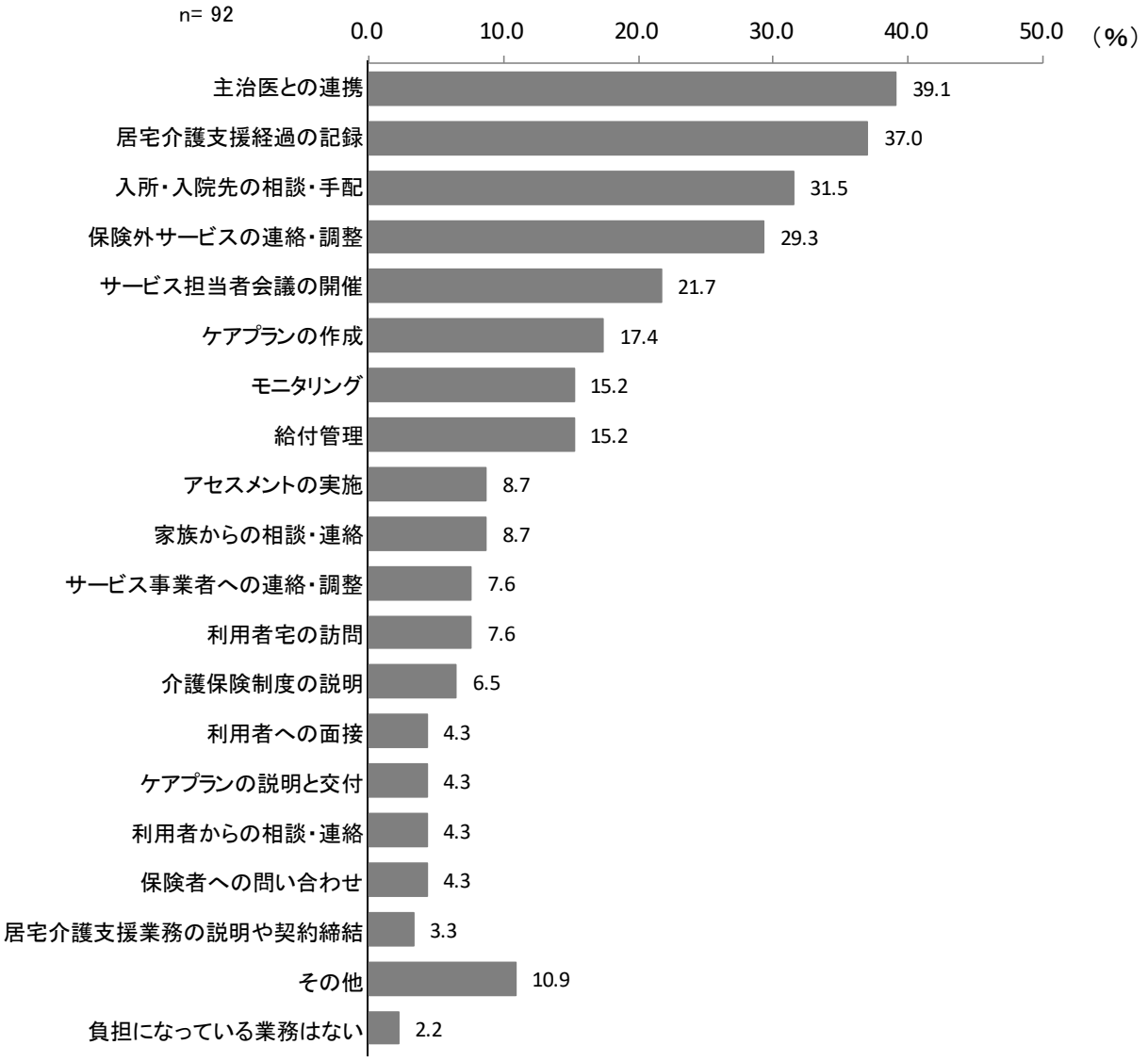
＜図表 073＞　担当している利用者数【第１問８】



（９）負担になっている業務

負担になっている業務を聞いたところ、「主治医との連携」が 39.1％で最も多く、次いで「居宅介護支援経過の記録」（37.0％）、「入所・入院先の相談・手配」（31.5％）となっています。

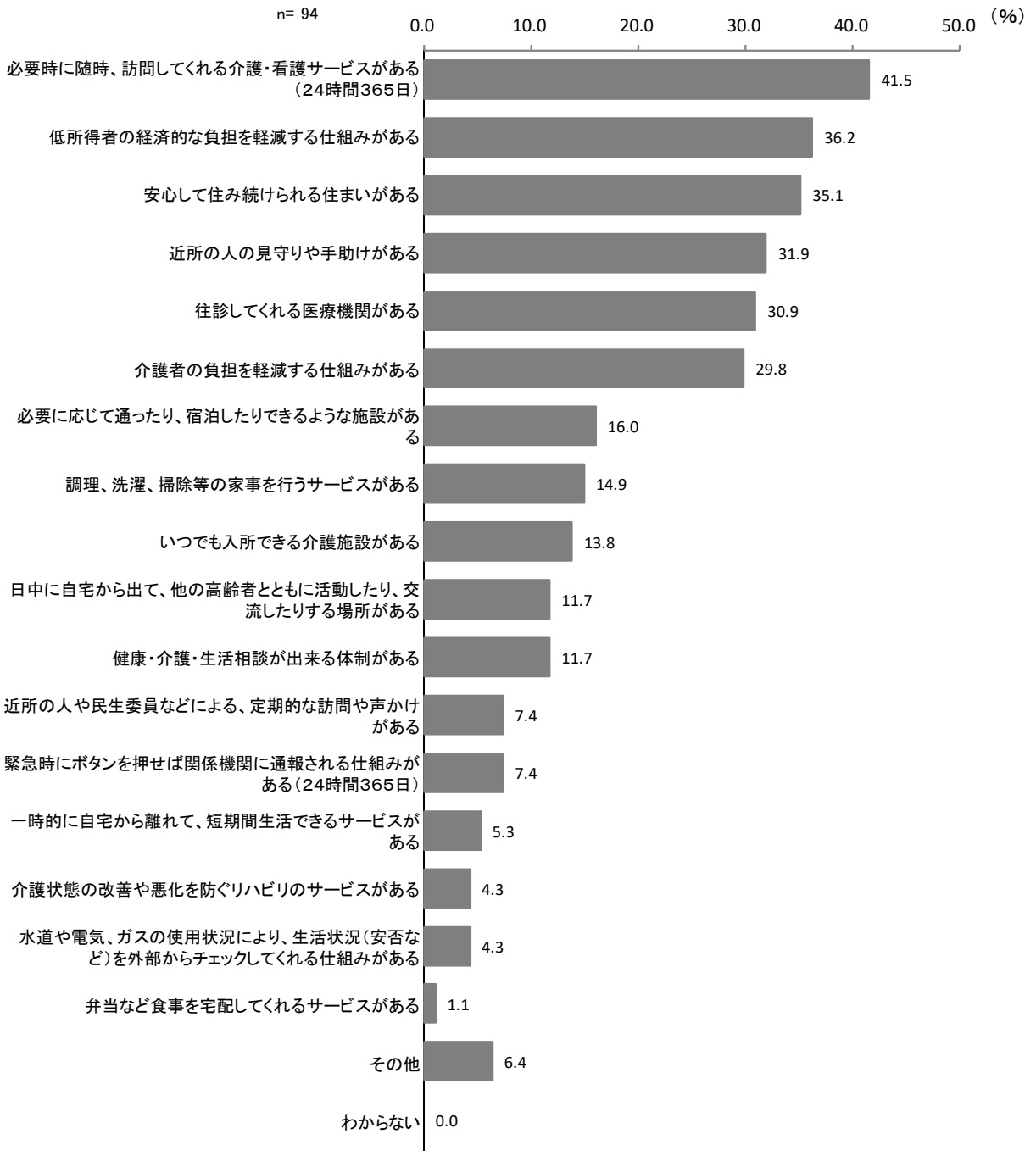
＜図表 074＞　負担になっている業務（複数回答）【第１問９】



（10）要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なこと

要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なことを聞いたところ、「必要時に随時、訪問してくれる介護・看護サービスがある（24 時間 365 日）」が 41.5%で最も多く、次いで「低所得者の経済的な負担を軽減する仕組みがある」（36.2%）、「安心して住み続けられる住まいがある」（35.1%）となっています。

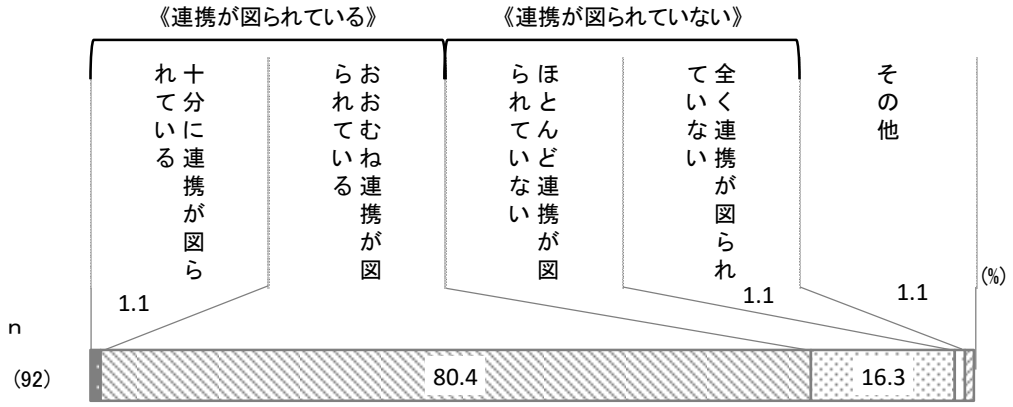
＜図表 075＞　要介護者等が在宅で暮らし続けるために必要なこと（３つまで）【第１問 10】



（11）担当医との連携状況

担当医との連携状況を聞いたところ、「十分に連携が図られている」と「おおむね連携が図られている」を合わせた≪連携が図られている≫は 81.5%となっています。

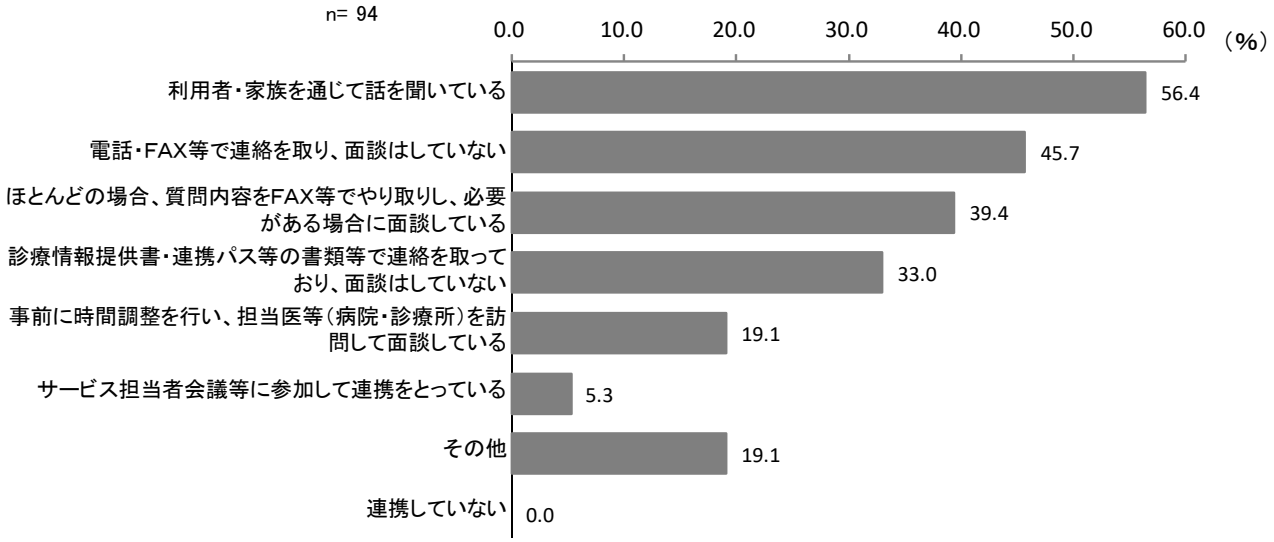
＜図表 076＞　担当医との連携状況【第１問 11】



（12）担当医との連携方法

担当医との連携方法を聞いたところ、「利用者・家族を通じて話を聞いている」が 56.4%で最も多く、次いで「電話・ＦＡＸ等で連絡を取り、面談はしていない」(45.7%)、「ほとんどの場合、質問内容をＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している」(39.4%)、となっています。

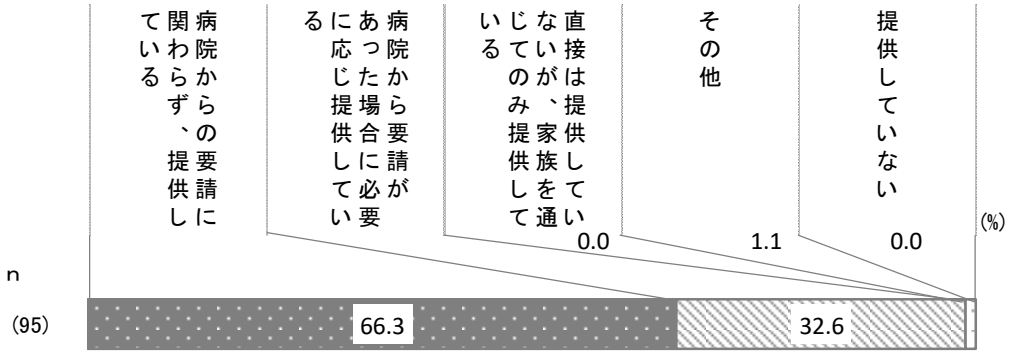
＜図表 077＞　担当医との連携方法（３つまで）【第１問 12】



（13）利用者入院時の病院への情報提供

利用者入院時の病院への情報提供を聞いたところ、「病院からの要請に関わらず、提供している」が 66.3%で最も多く、次いで「病院から要請があった場合に必要に応じ提供している」（32.6%）となっています。

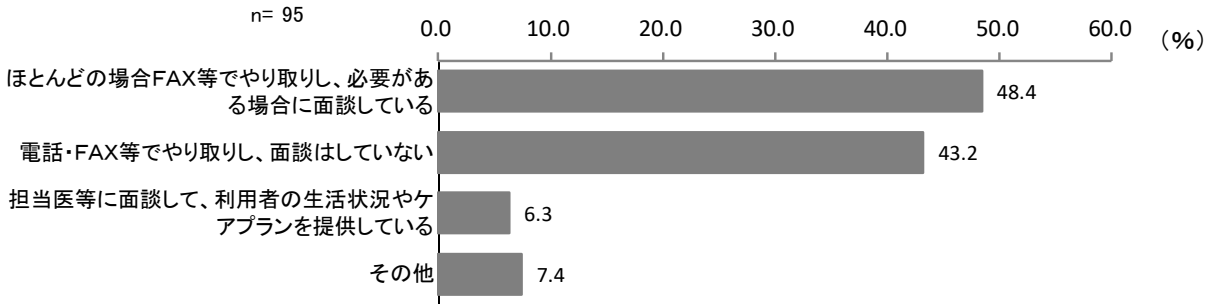
＜図表 078＞　利用者入院時の病院への情報提供【第１問 13】



（14）病院への情報提供方法

病院への情報提供方法を聞いたところ、「ほとんどの場合ＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している」が 48.4%で最も多く、次いで「電話・ＦＡＸ等でやり取りし、面談はしていない」（43.2%）となっています。

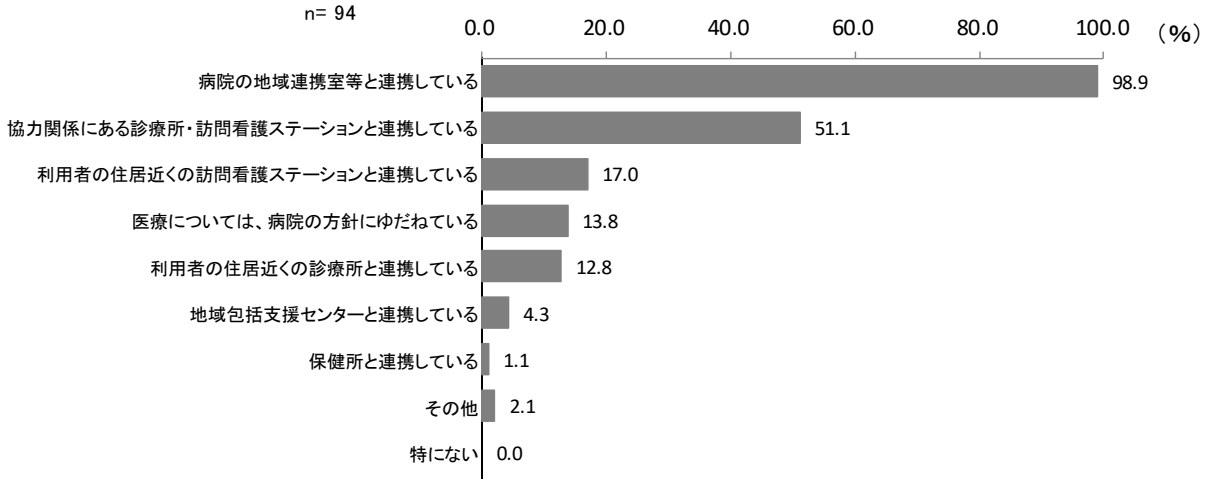
＜図表 079＞　病院への情報提供方法（複数回答）【第１問 13-1】



（15）退院後の医療継続のための対応

退院後の医療継続のための対応を聞いたところ、「病院の地域連携室等と連携している」が98.9%で最も多く、次いで「協力関係にある診療所・訪問看護ステーションと連携している」（51.1%）となっています。

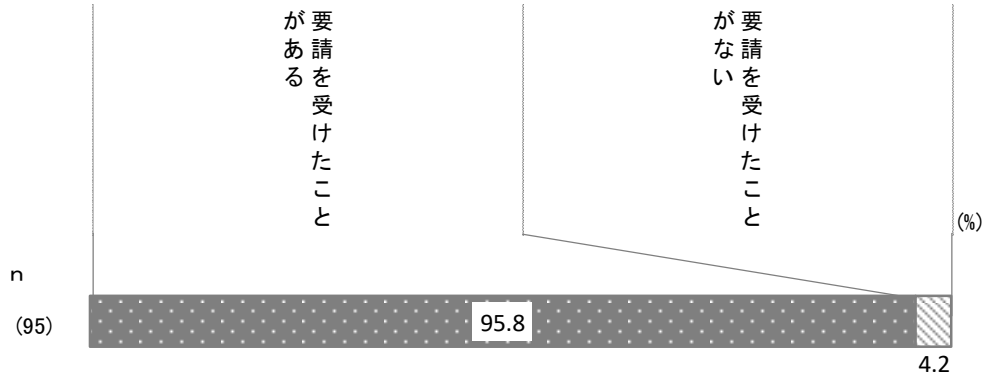
＜図表 080＞　退院後の医療継続のための対応（複数回答）【第１問 14】



（16）「カンファレンス」への参加要請の有無

「カンファレンス」への参加要請の有無を聞いたところ、「要請を受けたことがある」が95.8%、「要請を受けたことがない」が4.2%となっています。

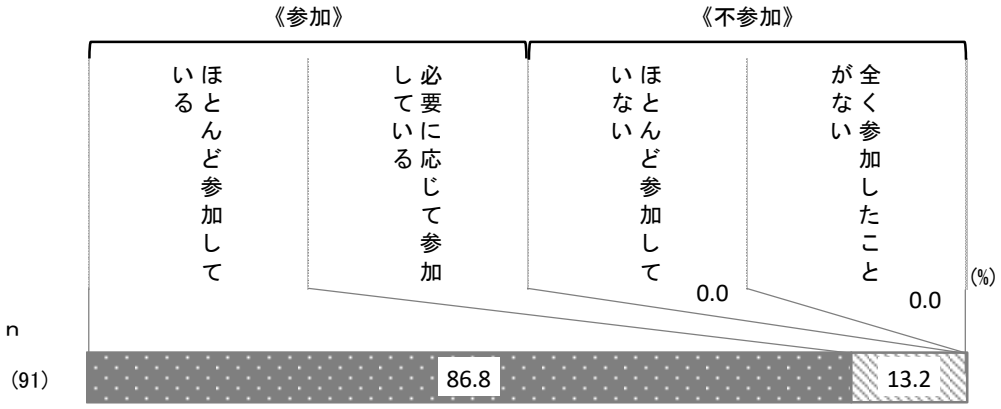
＜図表 081＞　「カンファレンス」への参加要請の有無【第１問 15】



(17)「カンファレンス」への参加状況

「カンファレンス」への参加要請を「受けたことがある」と回答した人に、「カンファレンス」への参加状況を聞いたところ、「ほとんど参加している」と「必要に応じて参加している」を合わせた≪参加≫が 100.0%となっています。

＜図表 082＞　「カンファレンス」への参加状況【第１問 15-1】



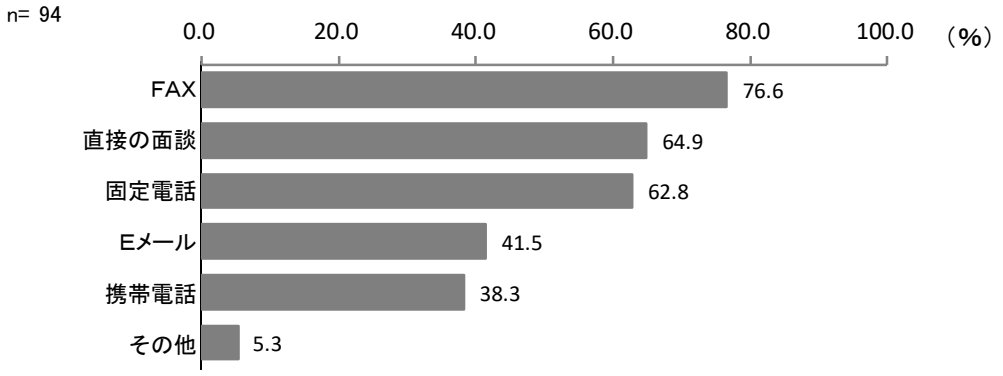
(18) 参加していない理由

「ほとんど参加していない」、「全く参加したことがない」とも 0.0%のため、回答はありませんでした。

(19) 医療機関との情報伝達の望ましい手段

医療機関との情報伝達の望ましい手段を聞いたところ、「ＦＡＸ」が 76.6%で最も多く、次いで「直接の面談」(64.9%)、「固定電話」(62.8%)、となっています。

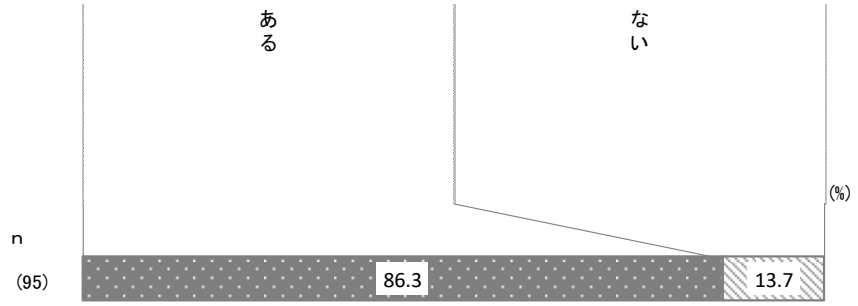
＜図表 083＞　医療機関との情報伝達の望ましい手段（複数回答）【第１問 16】



（20）医療機関と連携が図りにくいと感じた経験

医療機関と連携が図りにくいと感じた経験を聞いたところ、「ある」が 86.3%、「ない」が 13.7%となっています。

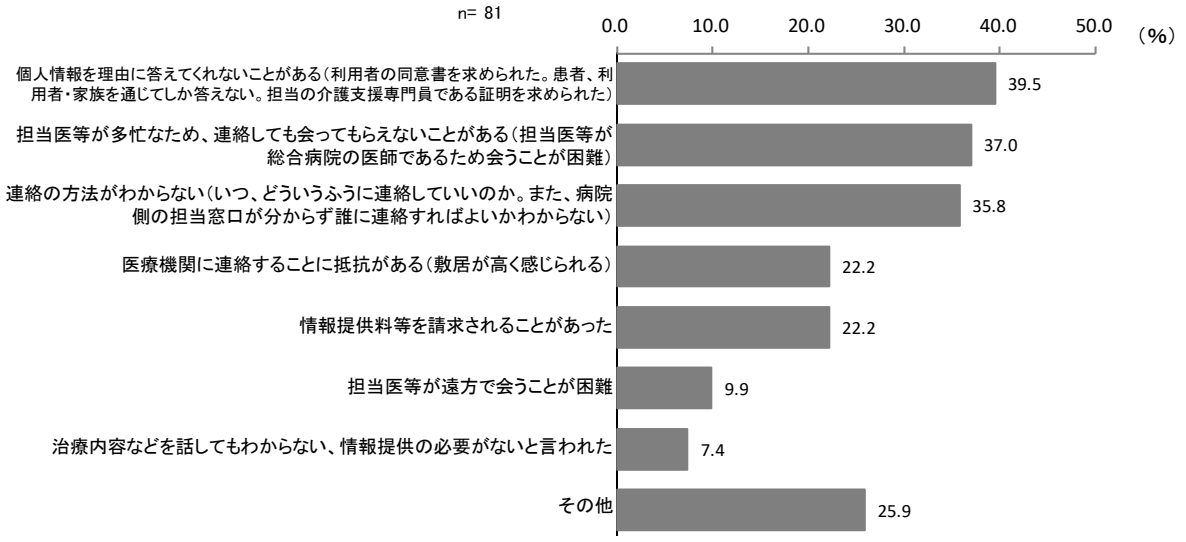
＜図表 084＞　医療機関と連携が図りにくいと感じた経験【第１問 17】



（21）医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況

医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況を聞いたところ、「個人情報を理由に答えてくれないことがある（利用者の同意書を求められた。患者、利用者・家族を通じてしか答えない。担当の介護支援専門員である証明を求められた）」が 39.5%で最も多く、次いで「担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある（担当医等が総合病院の医師であるため会うことが困難）」（37.0%）、「連絡の方法がわからない（いつ、どういうふうに連絡していいのか。また、病院側の担当窓口が分からず誰に連絡すればよいかわからない）」（35.8%）となっています。

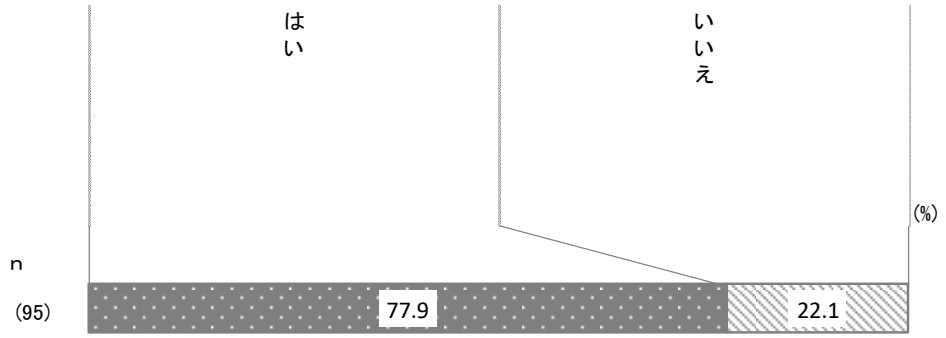
＜図表 085＞　医療機関と連携が図りにくいと感じたときの状況（複数回答）【第１問 17-1】



（22）認知症に関して相談できる医療機関の有無

認知症に関して相談できる医療機関の有無を聞いたところ、「はい」が 77.9%、「いいえ」が 22.1%となっています。

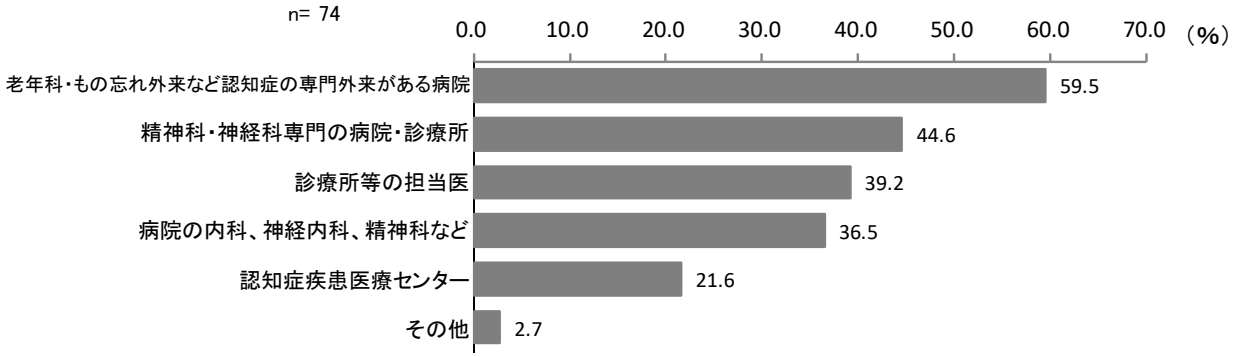
＜図表 086＞　認知症に関して相談できる医療機関の有無【第１問 18】



（23）認知症に関して相談している医療機関の種類

認知症に関して相談している医療機関の種類を聞いたところ、「老年科・もの忘れ外来など認知症の専門外来がある病院」が 59.5%で最も多く、次いで「精神科・神経科専門の病院・診療所」(44.6%)、「診療所等の担当医」(39.2%)、「病院の内科、神経内科、精神科など」(36.5%)となっています。

＜図表 087＞　認知症に関して相談している医療機関の種類（複数回答）【第１問 18-1】

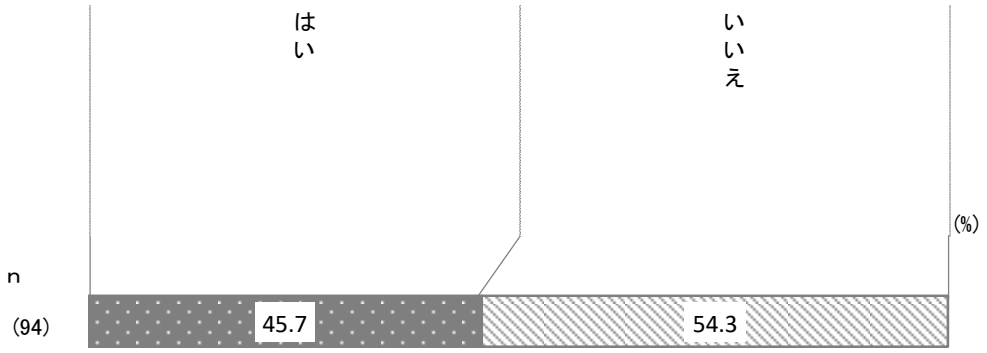


（24）看取りの立ち会いの有無

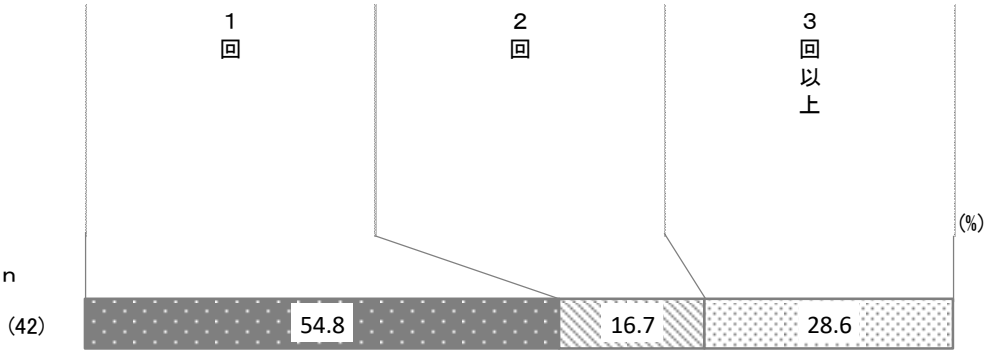
看取りの立ち会いの有無を聞いたところ、「はい」が 45.7%、「いいえ」が 54.3%となっています。

また、看取りの立ち会いの有無で「はい」と回答したケアマネジャーに、年間の看取りの立ち会い回数を聞いたところ、「１回」が 54.8%で最も多く、次いで「３回以上」（28.6%）、「２回」（16.7%）となっています。

＜図表 088＞　看取りの立ち会いの有無【第１問 19】



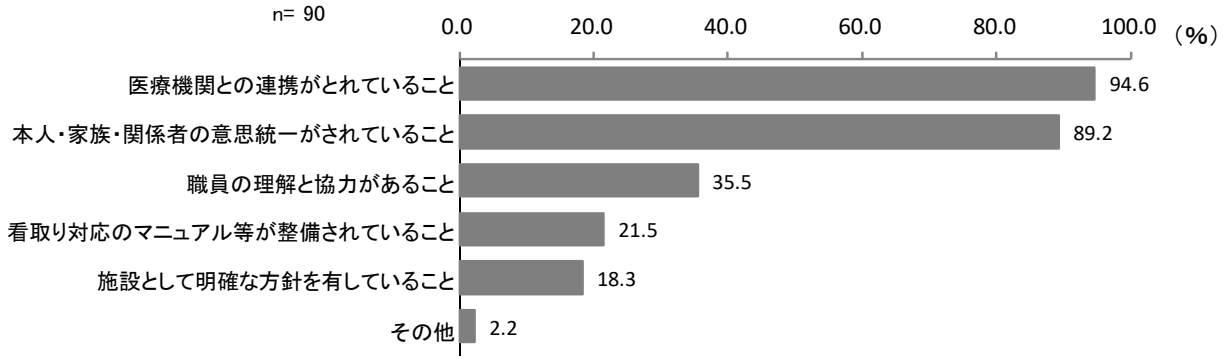
＜図表 089＞　年間の看取りの立ち会い回数【第１問 19】



（25）看取りをサポートする場合に欠かせないと思うこと

看取りをサポートする場合に欠かせないと思うことを聞いたところ、「医療機関との連携がとれていること」が 94.6%で最も多く、次いで「本人・家族・関係者の意思統一がされていること」（89.2%）となっています。

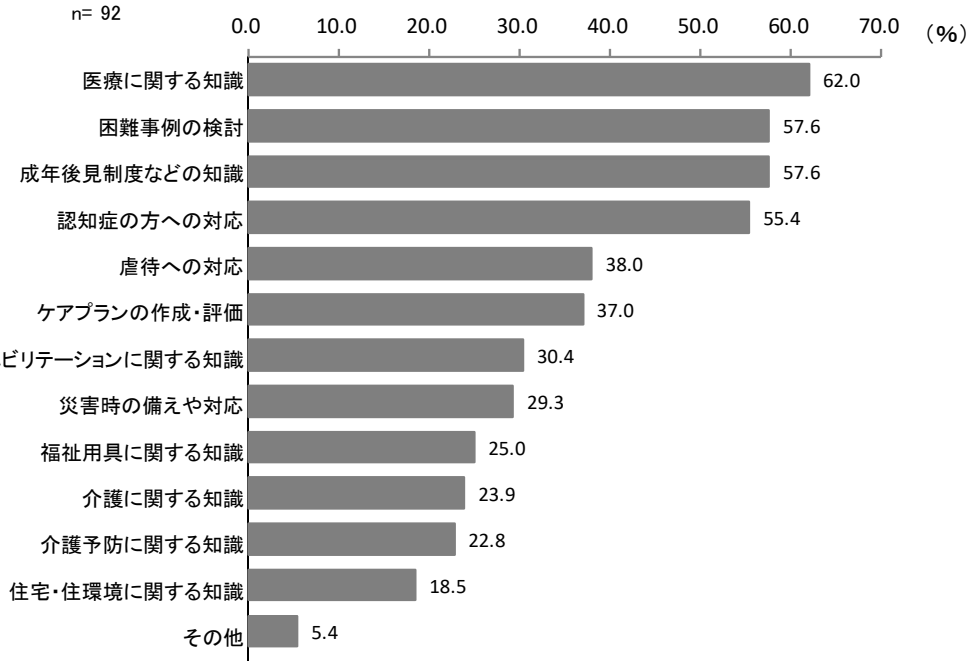
＜図表 090＞　看取りをサポートする場合に欠かせないと思うこと（複数回答）【第１問 20】



（26）ケアマネジャーのスキルアップで望むこと

ケアマネジャーのスキルアップで望むことを聞いたところ、「医療に関する知識」が 62.0%で最も多く、次いで「困難事例の検討」と「成年後見制度などの知識」がともに 57.6%、「認知症の方への対応」（55.4%）となっています。

＜図表 091＞　ケアマネジャーのスキルアップで望むこと（複数回答）【第１問 21】

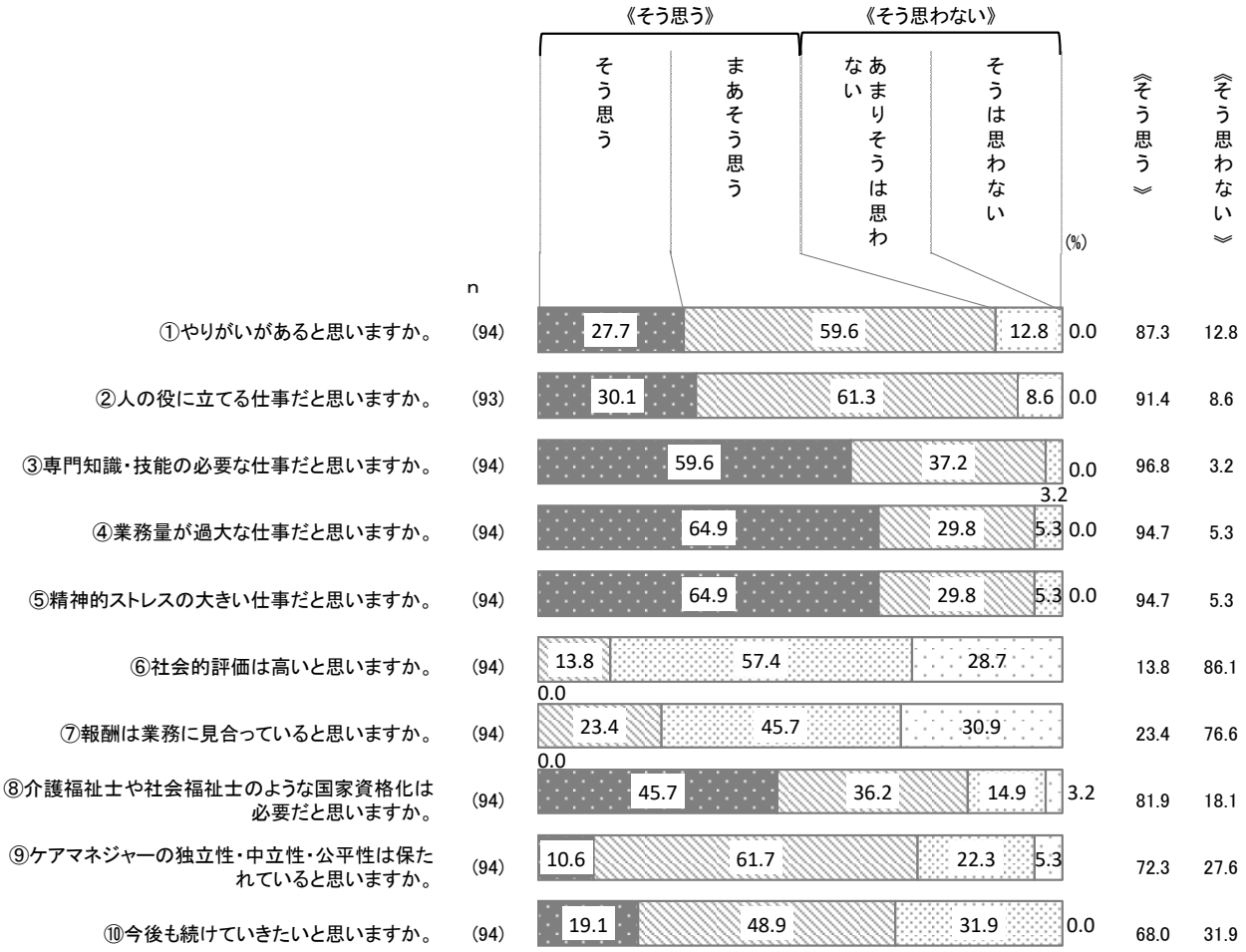


（27）ケアマネジャーの仕事についての考え

ケアマネジャーの仕事についての考えを聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた≪そう思う≫は、②人の役に立てる仕事だと思いますか（91.4%）、③専門知識・技能の必要な仕事だと思いますか（96.8%）、④業務量が過大な仕事だと思いますか、⑤精神的ストレスの大きい仕事だと思いますかがともに（94.7%）と９割を超えています。

一方、「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた≪そう思わない≫は、⑥社会的評価は高いと思いますか（86.1%）、⑦報酬は業務に見合っていると思いますか（76.6%）において７割を超えています。

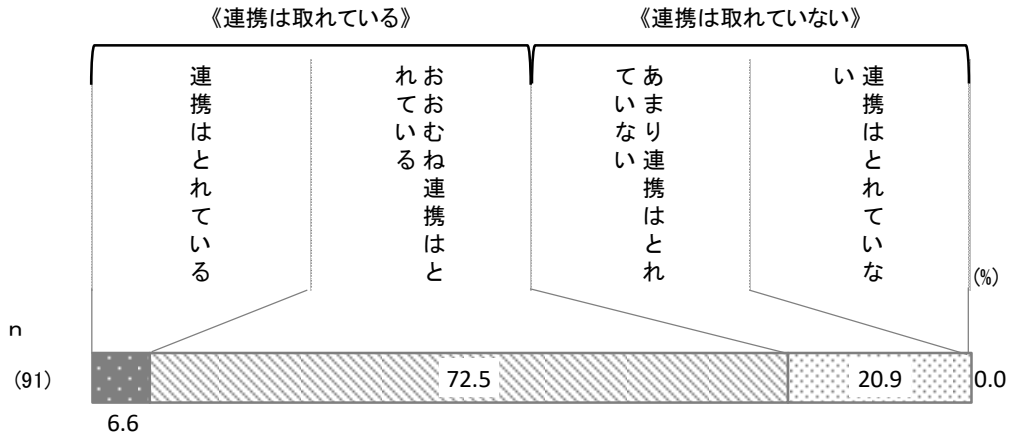
＜図表 092＞　ケアマネジャーの仕事についての考え【第１問 22】



（28）江別市内の在宅医療・介護連携

江別市内の在宅医療・介護連携を聞いたところ、「連携はとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた≪連携はとれている≫は 79.1％となっています。

＜図表 093＞　江別市内の在宅医療・介護連携【第１問 23】



（29）江別市内の在宅医療・介護連携の状況についての意見（自由回答）

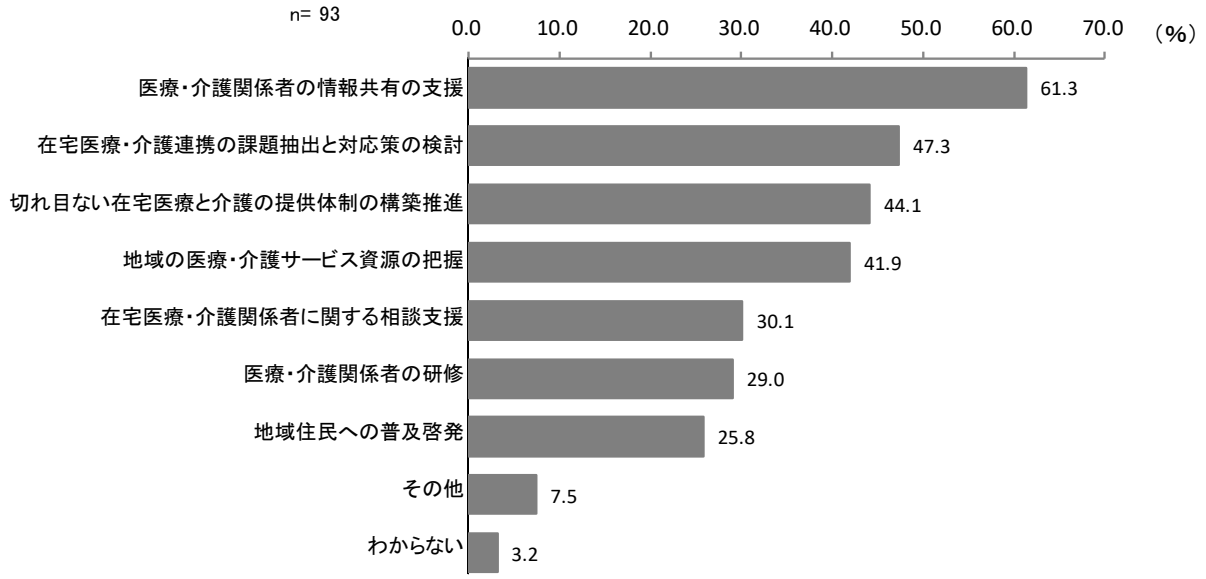
江別市内の在宅医療・介護連携の状況についての意見（【第１問 24】）として、下記の内容などがあげられました。

・介護から医療への問い合わせ、アプローチがもっと気軽になればよい。
・医療機関によって連携に対する対応が違い、差が大きすぎる。
・総合病院等は入退院時等に連絡を取り合っているが、個人病院では支援が必要な場合、服薬管理や通院が中止されている等の連絡がない。外来通院のみの場合は連絡が取りづらい。
・訪問診療や個人クリニックとは連携がとりやすいが、総合病院と連携をとる際、入退院はＭＳＷ、ＰＳＷがとりついでくれるので連携しやすいが、外来患者に対しては外来ＮＳが不慣れだったり、在宅支援の状況を理解していない時がある。
・医師から何かしらの連絡が来ない、一方通行的である。
・ここ数年は訪問診療との情報共有、地域のＨＰのＤｒとの顔のみえる関係も少しずつ構築しつつある。
・最近は外来医療機関でも看護師さんが相談を聞いて下さり、Ｄｒへ伝達する等して連携してくれることが多くなっている印象がある。

（30）在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること

在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があることを聞いたところ、「医療・介護関係者の情報共有の支援」が 61.3%で最も多く、次いで「在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討」(47.3%)、「切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」(44.1%)、「地域の医療・介護サービス資源の把握」(41.9%) となっています。

＜図表 094＞　在宅医療・介護連携を進めるために力を入れる必要があること（複数回答）【第１問 25】



（31）江別市内の在宅医療・介護連携を進めるための意見（自由回答）

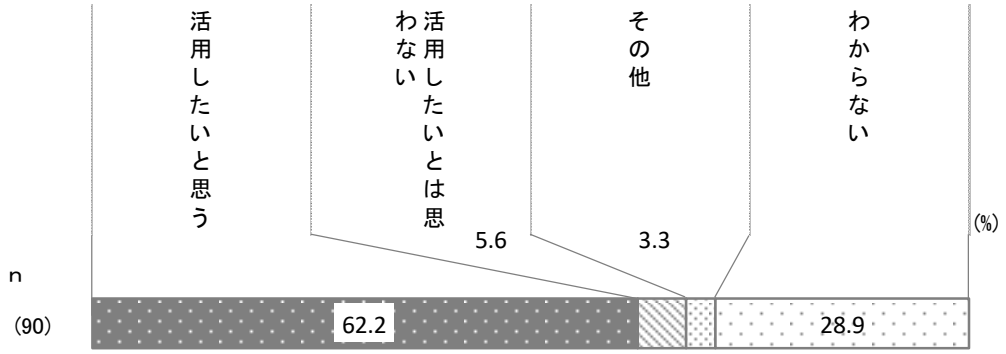
江別市内の在宅医療・介護連携を進めるための意見（【第１問 26】）として、下記の内容などがあげられました。

・透析患者（利用者）が通院に利用出来る、乗降介助サービスが増えればいいと思う。
・医療・介護連携をしている医療機関であることを表示（掲示）する仕組みがあるといいかもしれない。例：在宅医療・介護連携推進医療機関等。
・治療における自宅での生活の把握が不足している。どの様な生活環境なのかも理解した上で治療をすすめてほしい。
・在宅医療側の窓口の対応を充実してもらいたい。ある病院では外来看護師さんだが伝えたいことがなかなか伝わらない。医療側の意見もとり入れながら早急な改善をお願いしたい。
・職能団体を活用した学習会、他市の取り組みを見る。

（32）患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用

患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用を聞いたところ、「活用したいと思う」が 62.2%で最も多く、次いで「わからない」(28.9%)、「活用したいとは思わない」(5.6%）となっています。

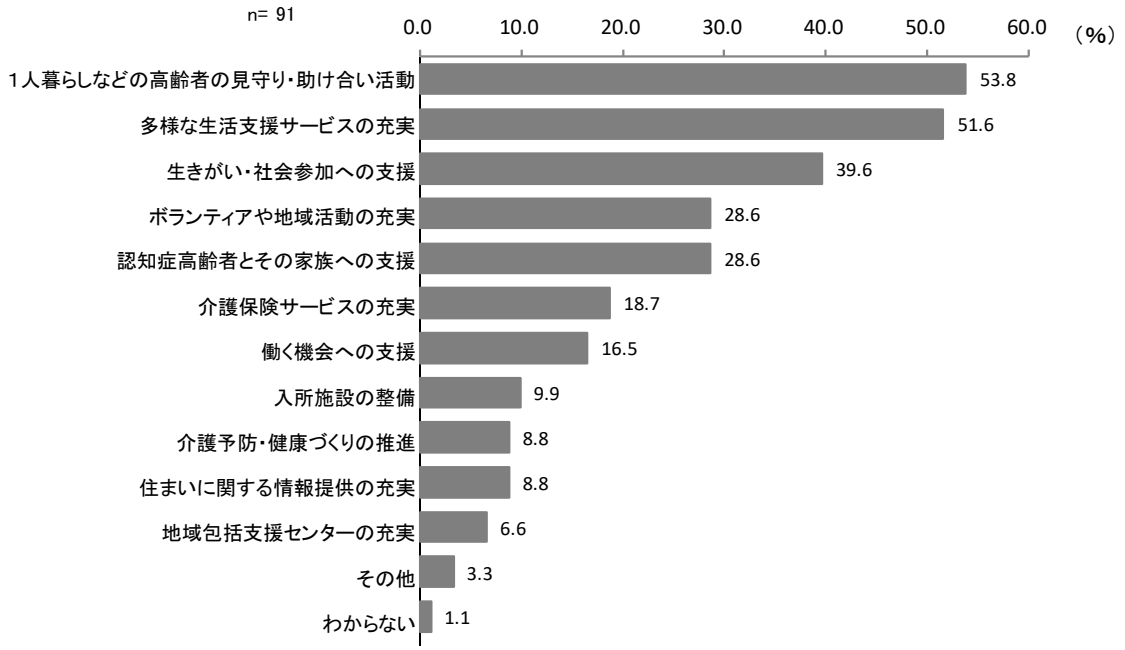
＜図表 095＞　患者情報共有のためのＩＣＴ（情報通信技術）の活用【第１問 27】



（33）自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと

自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいことを聞いたところ、「１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動」が 53.8%で最も多く、次いで「多様な生活支援サービスの充実」(51.6%)、「生きがい・社会参加への支援」(39.6%）となっています。

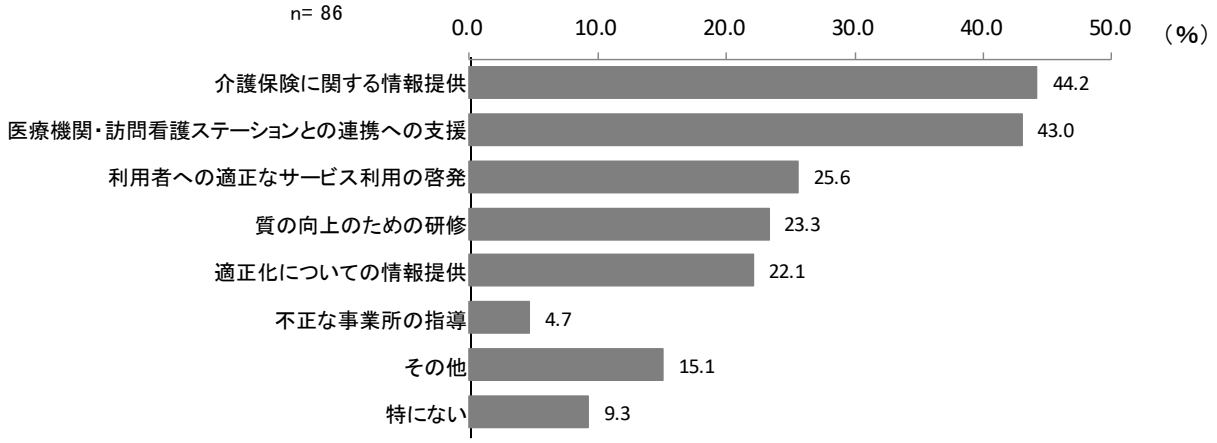
＜図表 096＞　自立した日常生活を送れるように高齢者施策として注力してほしいこと（複数回答）【第１問 28】



（34）ケアマネジャーの立場から江別市に望むこと

ケアマネジャーの立場から江別市に望むことを聞いたところ、「介護保険に関する情報提供」が 44.2%で最も多く、次いで「医療機関・訪問看護ステーションとの連携への支援」（43.0%）となっています。

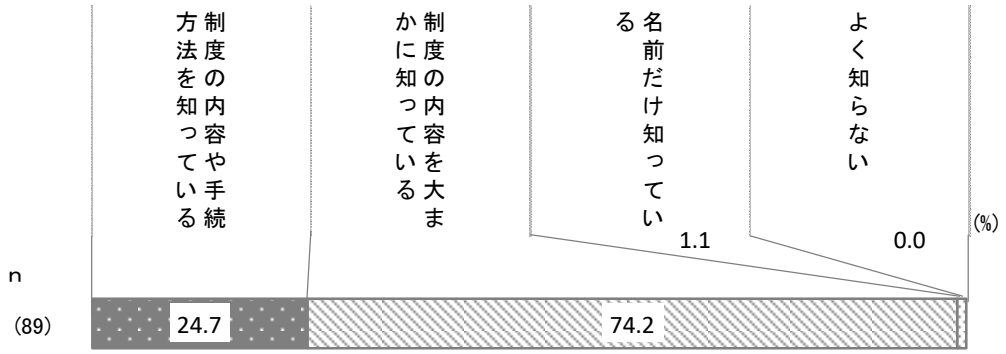
＜図表 097＞　ケアマネジャーの立場から江別市に望むこと（複数回答）【第１問 29】



（35）成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度を聞いたところ、「制度の内容や手続方法を知っている」と「制度の内容を大まかに知っている」を合わせると、98.9%となっています。

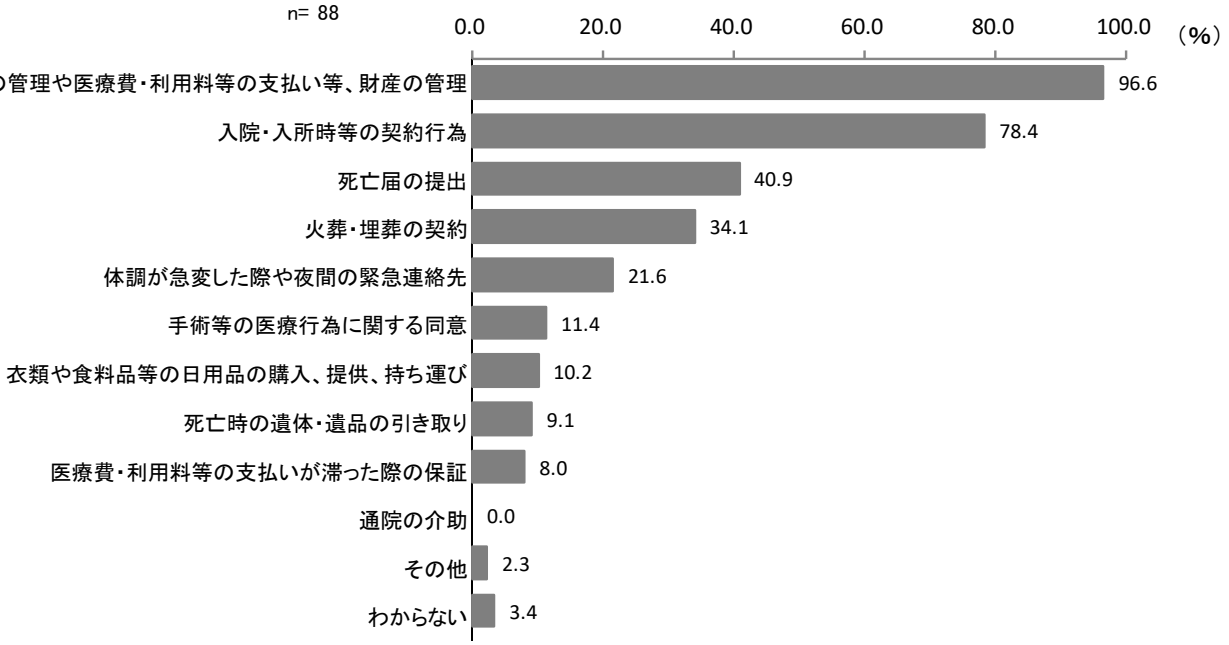
＜図表 098＞　成年後見制度の認知度【第２問１】



（36）成年後見人ができると思うこと

成年後見人ができると思うことを聞いたところ、「金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理」が 96.6%で最も多く、次いで「入院・入所時等の契約行為」（78.4%）となっています。

＜図表 099＞　成年後見人ができると思うこと（複数回答）【第２問２】

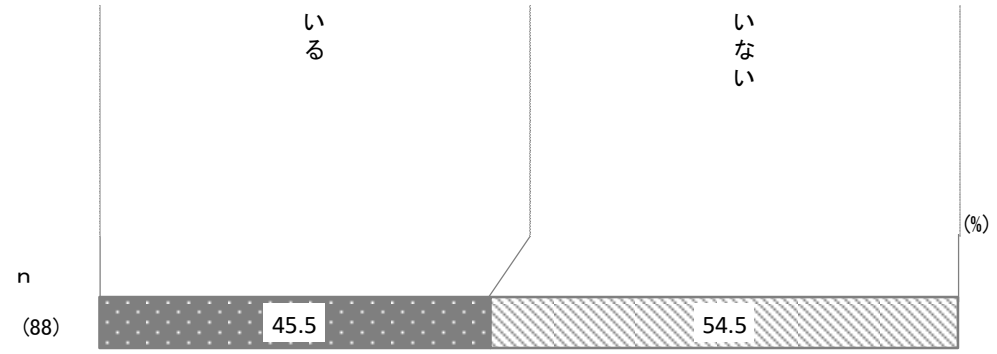


（37）支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無

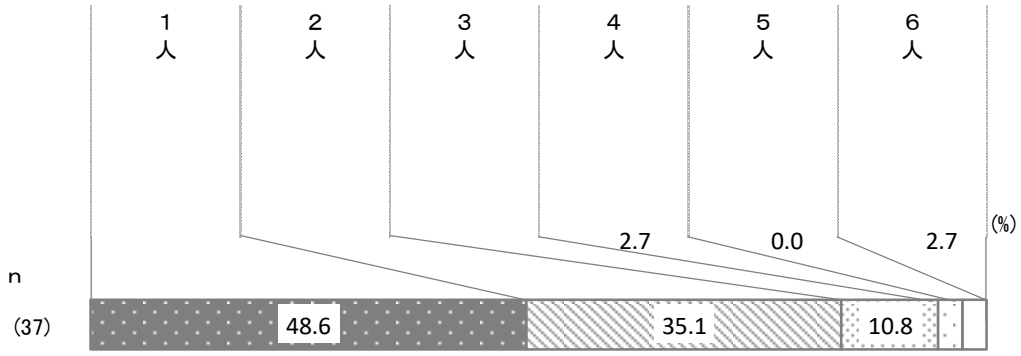
支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無を聞いたところ、「いる」が 45.5%、「いない」が 54.5%となっています。

また、支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数は、「１人」が 48.6%で最も多く、次いで「２人」（35.1%）、「３人」（10.8%）となっています。

＜図表 100＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の有無【第２問３】



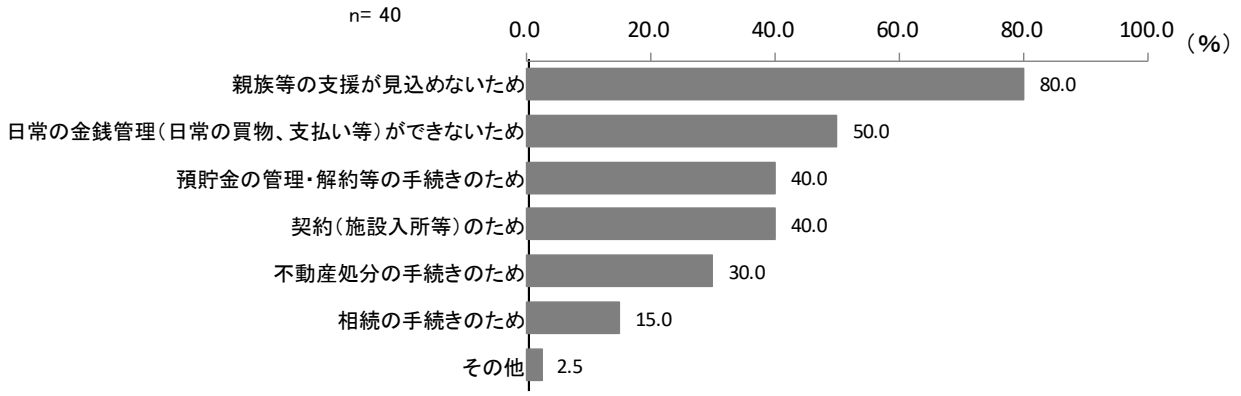
＜図表 101＞　支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方の人数【第２問３】



（38）成年後見制度の利用が必要と思う理由

支援対象者の中で成年後見制度の利用が必要と思われる方が「いる」と回答したケアマネジャーに、必要と思う理由を聞いたところ、「親族等の支援が見込めないため」が 80.0%で最も多く、次いで「日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため」(50.0%)、「預貯金の管理・解約等の手続きのため」と「契約（施設入所等）のため」がともに 40.0%となっています。

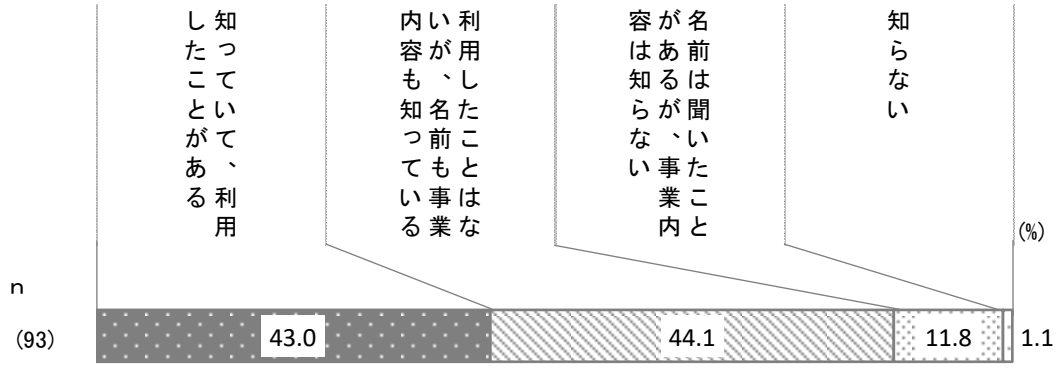
＜図表 102＞　成年後見制度の利用が必要と思う理由（複数回答）【第２問３－１】



（39）江別市成年後見支援センターの認知度

江別市成年後見支援センターの認知度を聞いたところ、「利用したことはないが、名前も事業内容も知っている」が 44.1%で最も多く、次いで「知っていて、利用したことがある」(43.0%)、「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」（11.8%）となっています。

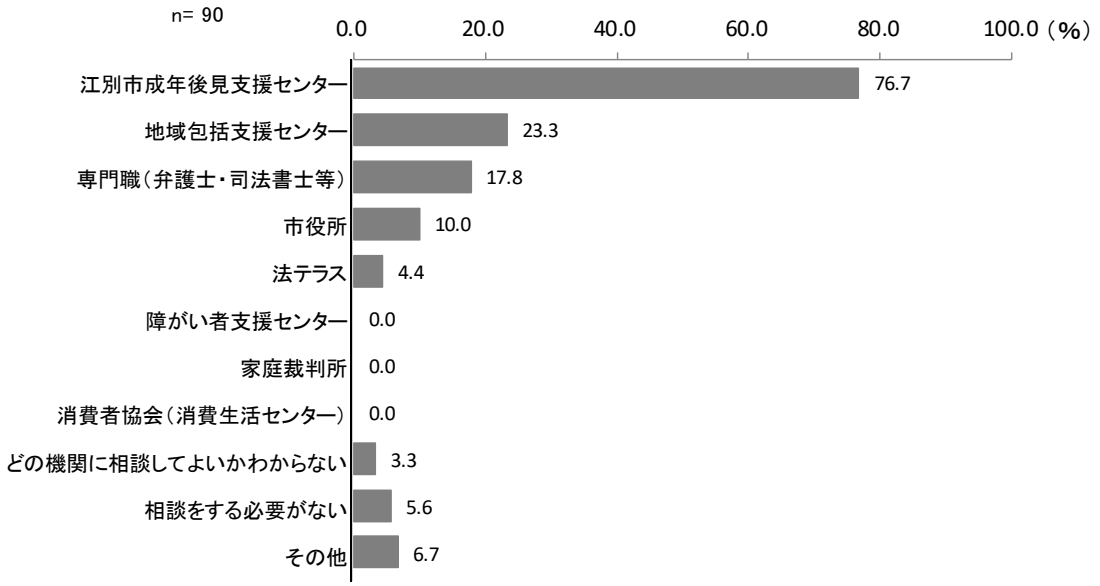
＜図表 103＞　江別市成年後見支援センターの認知度【第２問４】



（40）成年後見制度に関する相談先

成年後見制度に関する相談先を聞いたところ、「江別市成年後見支援センター」が 76.7%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(23.3%)、「専門職（弁護士・司法書士等)」(17.8%)となっています。

＜図表 104＞　成年後見制度に関する相談先（複数回答）【第２問５】



（41）成年後見制度に関する課題（自由回答）

成年後見制度に関する課題（【第２問６】）として、下記の内容などがあげられました。

・身寄りがなく、認知機能が低下している為制度の理解が難しく、生活保護を受給されている方の利用、市長申し立てをするにも申し立てに必要な書類を作成してくれる人がいない。保護課からの情報収集が難しい。
・制度が分かりづらく、実際に利用した場合のメリット、デメリットなどを把握した上で、利用できない。
・ケアマネジャーが制度理解と活用するにあたっての術や、敷居の高さを感じないこと。市社協だよりにあった関係団体の会合に広く参加すること。
・申請してから時間がかかる。
・利用料の軽減措置があるといい。
・必要と思っても本人が望まない。わかりにくい。説明が難しい。

第５章　自由記入意見

１.市民向け調査の意見

意見・要望等の自由意見欄には、631 件（第１号被保険者 209 件、第２号被保険者 87 件、居宅サービス利用者 220 件、施設サービス利用者 54 件、サービス未利用者 61 件）のご意見を頂きました。

本報告書では、紙面の都合上すべてを記載することはできませんので、ご意見の多かった内容を中心に紹介いたします。

項目	件数
サービス内容・基盤整備に関する意見・要望	163
まちづくりに関する意見・要望	54
介護保険制度（保険料、自己負担等）に関する意見・要望	40
介護人材・担い手等に関する意見・要望	39
健康・介護予防・重度化防止に関する意見・要望	21
情報提供・相談に関する意見・要望	59
行政施策に関する意見・要望	153
就労や趣味、楽しみ、生きがいに関する意見・要望	22
新型コロナウイルス感染症について	107
その他	191

※一度に複数の記載があるため、件数の合計と項目ごとの合計は一致しません。
※ご意見については内容の趣旨を踏まえ、要約して記載しております。

【サービス内容・基盤整備に関する意見・要望】

第１号被保険者
・可能な限り自宅で生活できることを願っている。要介護状態になった場合、在宅サービスを利用していきたいと思っているのでサービスの更なる充実を願っている。 ・コロナ禍で友人に会う機会が著しく減り、家族の有難さを実感している。高齢者施設の存在は最後の砦として安心して暮らせる一因となっている。高齢者施設の充実を望む。
第２号被保険者
・高齢で家の中のひきこもりが多いので、少しでも行きたいと思えるサービス・行事をもっとふやしてほしい。
居宅サービス利用者
・これ以上ひどくなったら施設も考えているが年金だけでは施設に入れない。年金で入れる施設を作ってほしい。 ・年金収入だけで暮らせるように、国が老人ホームを多数整備してもらいたい。 ・コロナウィルスに感染しても、入院がきちんとできるか、自宅で生活しても、訪問介護のサービスをきちんと受けられるようにしてほしい。不安なく暮らしたい。
サービス未利用者
・受け入れの簡単なショートステイ施設がたくさんあると家族として安心。

・介護施設の入所も考えなければならなくなると思っているが、民間施設は倒産などあり不安である。

【まちづくりに関する意見・要望】

第１号被保険者

・出かけるのにバスの便が少ない。病院に行くのに不便。
・高齢者の割合が高くなってきていることに不安を感じる。とくに居住地区は高齢者が多いので、今後町内会や自治会活動に支障が出てくるのではないかと不安に思う。
・高齢者とはいえまだまだ元気な人達が沢山いる。社会参加、家にこもらず出来るだけ外へと考えた時に、スポーツなど（パークゴルフ、冬は卓球など）気軽に遊べる場が必要。

第２号被保険者

・孤独にならないような社会づくりがこれから必要。地域のつながりが多忙だと希薄になりがち。
・色々なものの電子化が進み、高齢者にとって手続きや情報の取得など様々なことが難しくなってきている。孤立しないような地域の取組、市の仕組み作りを考えていかなければいけないと思う。

居宅サービス利用者

・買物が、少し不便で歩いて行くのが大変。バスの本数も少なく、大変。
・足が不自由で、なかなか買い物に行けないので、移動販売などのサービスがあると良いと思う。

サービス未利用者

・この地域の（上江別西町）人の足の重要性を考えて。デマンドバス、乗合タクシーとか出来たらと思う。

【介護保険制度（保険料、自己負担等）に関する意見・要望】

第１号被保険者

・人口の中に占める高齢者の割合が多い現状では、高齢者福祉に重点が置かれるのはやむを得ないと思うが、未来を背負う若者、子供達の為に限りある財源をもっと使って欲しい。
・介護保険の支払いは、健康な人ほど支払い負担が大きく感じる。介護保険利用者の自己負担を増加させるべきである。
・年金が少ないのに介護保険料が高すぎると思う。介護を必要としない人もいるはずなので、もう少し金額を見直す余地はあるのでは。介護保険を充実させても生活費が足りなく、生活困窮者が沢山いることも理解していただきたい。

第２号被保険者

・介護サービスは利用者の自己負担を増やし、そちら側各々で提供し合い作れば良いと思う。利用者個人のほうが介護に直面していると思うから。
・介護保険料は安ければ皆さんが納得できると思う。
・介護保険の申請をしてから認定まで時間がかかりすぎ。

居宅サービス利用者

・国民年金では保険料がこれ以上高くなるとむずかしい。
・日本の介護保険事業は、先進国では未熟な部分が多く、高齢者が安心して生活が出来るという部分が不足気味。

・介護保険を払いつづけているが、見返りが少なく、他人の為に支払っている様に感じていて自分の為にはなっていない様に思っている。
施設サービス利用者
・介護保険の負担割合に問題はないのか。

【介護人材・担い手等に関する意見・要望】

第１号被保険者
・介護事業を担う若い人達にとって魅力のある業界になって欲しい。体力の必要な部分は、ロボットの活用を積極的に進めるようにしてくれた方が、介護を要する立場になった時、その方が気持ちが楽に受けられそう。 ・お世話をしてくれる介護士さん達の給料が安すぎる。
第２号被保険者
・介護してくださる方たちの待遇を改善して、働きやすくなることが、私達がよりよいサービスを受けられることにつながると思う。 ・介護施設の職員の方が、入所者に対して暴力をふるう等のニュースが頻繁にあり、複雑な思い。
居宅サービス利用者
・利用者に対する職員の配置人数など規定があると思うが､認知症など対応に手がかかる状況には配置人数の見直しをしてほしいと思う。 ・働いているスタッフ（介護、看護、他食事を作ってくださる方等）の給料や手当て等を充実させてあげてほしい。 ・コロナウイルスで介護施設が大変な状態になり、今までと違う、仕事が増えたと思う。職員の方への気遣いもしてほしい。
施設サービス利用者
・介護職員の給料が安く､良い職員さんでも結婚したり子どもが出来ると辞めてしまわれることが多々ある。また慢性的に人手不足で職員が疲れて辞めてしまう。労働環境の改善をしてほしい。 ・介護を必要な人は増えるのに、介護する人（介護職）の数は減っている。人間相手の大変な仕事で昼夜問わず働いている。もっと待遇をよくしてあげて欲しい。高齢者は増えるので、そのための社会保険を充実させて欲しい。 ・在宅生活者のヘルパー派遣、派遣事由・作業内容での時間配分が短いのでもう少し長くした方がよい。

【健康・介護予防・重度化防止に関する意見・要望】

第１号被保険者
・認知症をテーマにした健康づくり講座を自治会に設けてほしい。 ・健康を維持していきたいので、公共施設（パークゴルフ場、体育館等）の使用料金を出来るだけ安くしてほしい。
居宅サービス利用者
・機能回復や体力向上のために、ジムアスレチッククラブのような施設を増やすべきと考える。 ・介護予防健康づくりの推進が大事と感じる。これからも充実したサービスを望む。

サービス未利用者
・タブレットなど高齢者が利用しやすいもので、運動やコミュニケーションが出来る様なシステムがあるとよいなと思う。

【情報提供・相談に関する意見・要望】

第１号被保険者
・１人暮らしで、病弱に成っていても、どういう保護制度が有るのか、分らない老人（私、自身も）が沢山いる。 ・介護保険利用者と非利用者の年齢別の割合を知らせる事も必要かな。 ・いずれ手助けしてもらうようになると思う。この時の為に各支援センターの業務等を細かめに（出来れば毎月）、具体的に広報にしてもらえれば助かる。
第２号被保険者
・認知症、介護保険、地域での取り組みなど、わかりやすく興味が持てそうな媒体で情報発信してほしい。 ・色々なものの電子化が進み、高齢者にとって手続きや情報の取得など様々なことが難しくなってきている。
居宅サービス利用者
・高齢者介護に対する行政からの情報提供不足を感じる。自分で情報を集めなければならず、個別対応するための、江別版の具体的な冊子などを作り、どこの窓口にも置いておくなどの配慮が必要でないか。 ・コロナ感染を恐れて外出を控えてしまい、体のおとろえを実感する。75 才以上の者にもわかりやすい簡単な『体の動かし方』『栄養の知識』など、たびたび情報に触れる機会があるとよい刺激になると思う。
施設サービス利用者
・昨今、地域やその他色々なことの情報発信や手続きなどがネットなどで簡素化されていって、若い人、現役の人には便利（コロナのワクチン予約等も）ではあるが、若い家族やたよれる人がいない高齢者はどうしたら良いのかわからず、情報格差が起きていると思う。高齢化社会なのだから、そういった方達がストレスなく平等に暮らせる社会にして欲しい。 ・オムツ使用者のゴミ袋の配布などの支援があれば知りたい。
サービス未利用者
・まだ介護保険サービスを受けていない人が、出来るだけ在宅で暮らせるようにするには、もっと訪問診療などの情報を提供してくれると良い。 ・夫婦２人暮らしなので、自宅で暮らせるうちはいいが、生活が難しくなった時の相談窓口がほしい。

【行政施策に関する意見・要望】

第１号被保険者
・高齢者の運転免許証返納推進をはかるため、高齢者に対する補助を江別市として他の自治体で実施していることを参考に実現してほしい。 ・除雪の件。自宅前車の出入の為、きれいに雪ハネをしてもブルドーザーが自宅前にドットかたい

雪を置いていく。これを、どうにかしてほしい。 ・江別市には高齢者に対して交通機関を利用する際の補助を求めたい。
第２号被保険者
・江別は高齢で自動車免許を返しても何もなく、バスに乗るのにも高く、元気に外出していこうという老後の生活を充実させてくれるものがないのが残念。 ・市民でシェアできるような超小型モビリティやマイクロモビリティを導入すると、高齢者の移動をサポートできるのでは。自由に移動できるというのは、それだけで心にも体にも良いと思う。 ・究極的には、すべての高齢者やその家族が全く困らない、安心して暮らせる社会となるぐらいの各種制度や施策の充実が望まれる。 ・高齢者対策よりも子育て支援を充実させてほしい。
居宅サービス利用者
・高齢になり、私達夫婦も運転免許を返納したが、病院や買物で利用するバスの便が少なく、非常に困っている。高齢者のために、マイクロバスでもいいので、バスを出してもらえないだろうか。 ・移動手段（タクシー、バス）の補助があれば助かる。 ・課題は多いが、一つ一つ高齢者弱者によりそう施策を望みたい。
施設サービス利用者
・老人にはコロナにしても、マイナンバーカードにしても、いろいろもっとわかりやすいやり方を。
サービス未利用者
・除雪等の支援の充実。無料入浴回数の増加。 ・市営住宅、道営住宅に入居しやすくしてほしい。

【就労や趣味、楽しみ、生きがいに関する意見・要望】

第１号被保険者
・超高齢者准高齢者が生きがいを感じられるサービスがあると良いと思う。訪問して話し相手になったり、懐メロを鑑賞してもらったり、一緒に調理する等して、本人が楽しくて充実感を得られるようなサービスがあると、本人の活力に繋がると思う。 ・退職ないし新たに転職した方などをサービス提供者として、高齢者の生活支援等のサービスに活用することを考えてみた。地域での活動において人の役に立つこと、人から必要とされていることに生きがいを持てるようになると、人生１００年も有意義に過ごせるかもしれない。
第２号被保険者
・年をとり仕事をやめたときの喪失感や孤独感がなるべくないように、普段から地域住民参加型のイベントや自治会の充実がほしいなと思う。 ・７０才や８０才でも元気な人はたくさんいて年金暮らしをしているが、働きたくてもそういう場がない。生かせる場所がなく、体をあましている。もっといろんな知恵を次世代につなげる場があればいいと思う。
サービス未利用者
・集まりの場を多くして一人一人の生きてきた生き様を発表する会をつくってほしい。 ・軽い認知症であり助けてくれる人がいれば商売をしたい、その為の一時準備資金を貸してくれるような所があるといいと思う。

【新型コロナウイルス感染症について】

第１号被保険者
・コロナワクチン接種が順調にすすんでいるが、５回目の接種施設（病院、医院）が少なく、予約するのが困難だった。これから６回目、７回目と予定しているのであれば、予約施設を増やして欲しいと思う。 ・地域ボランティア活動を行っているが、コロナの影響で活動がままならない年が続いている。何らかの工夫でボランティア活動が行える様になればうれしい。
第２号被保険者
・コロナの影響による生活の変化に慣れてきた部分もあるが、流行前と比べて、暮らしが明るくなる見通しが持てない。 ・コロナに感染した際の、電話受診や薬の宅配は今後も続けてほしい。今回とても助かった。
居宅サービス利用者
・新型コロナウイルス感染症によって、面会に来てくれた娘と老人ホームの制限により、長い間ゆっくり話をする事ができていないため精神的に寂しい。物足りない。 ・コロナの感染によってデイやショートステイ先が急に休みになることがあり、そのたびに仕事を休まなければならない。そういうときの急な預け先とかはないのか。
施設サービス利用者
・コロナウイルス感染防止の為の、予約面会はなんとなく理解は出来るが、出来れば物を届ける時にでも、ガラス越しにでもよいので、姿だけでも見られるような方法を施設側にも考えてもらえたらうれしい。 ・コロナで施設内の生活が続き、花などを見たり外の空気を吸いたい。
サービス未利用者
・コロナ感染症が終わり、地域の集まり（新年会、花火大会、御食事会等）が再開する事を望んでいる。

【その他】

第１号被保険者
・今まで自分が高齢者だということを忘れていた。もう少し自分からいろいろなことを勉強しなくてはと思う。 ・まだ元気なのでこの状態が続いていけたらと思っているが、先の事はわからない。このまま自宅で最後まで暮らしたい。 ・現在は特に介護等について意識はないが、定期的に自分の現状を知る意味でも、この様な実態調査は良いと思う。 ・現在、私達夫婦は自立した生活を続けているが、アンケート用紙を記入しながら、自分のこれからの生活の仕方を漠然としか考えていなかった事に気付いた。
第２号被保険者
・認知症や介護について勉強しないとだめだと思った。 ・以前もこのようなアンケートを受け取ったが、問数が多く多少負担感がある。途中で面倒になる。もう少し問を減らし、送信される調査数を増やした方がよいのではと思う。また、用紙も多く郵送料を考えたら高額。スマホ等での回答もできるよう検討したらどうか。

居宅サービス利用者
・現在は、主人が総ての様々な手続きを（市役所等含む）しているのでよいが、１人になったら無理なのでその時がとても心配している。 ・なんとか今の生活を最後まで続けたいと願っている。 ・アンケートについて高齢者にもう少しわかりやすいようにしてほしい。質問が難しく説明が必要であった。
施設サービス利用者
・本人が要介護５のため子の私がアンケートに答えたが、非常にアンケートに答えるのがわかりづらい。
サービス未利用者
・予防接種又特定検診（年１回の）等で精密検査を受けるよう指示があった場合、まずかかりつけ医とあるが、かかりつけ医のない人は本当に困る。 ・普段から考えなかったので、今後考えていきたいと思う。 ・アンケートの内容が高齢者には難しいと思う。

２.事業所系調査の意見

意見・要望等の自由意見欄には、22 件（介護保険サービス事業所 8 件、高齢者向け住宅事業者 2 件、ケアマネジャー12 件）のご意見を頂きました。

本報告書では、紙面の都合上すべてを記載することはできませんので、ご意見の多かった内容を中心に紹介いたします。

項目	件数
介護人材・担い手等に関する意見・要望	2
介護保険に関する意見・要望	2
行政施策に関する意見・要望	15
健康・介護予防・重度化防止に関する意見・要望	1
その他	4

※一度に複数の記載があるため、件数の合計と項目ごとの合計は一致しません。
※ご意見については内容の趣旨を踏まえ、要約して記載しております。

【介護人材・担い手等に関する意見・要望】

介護保険サービス事業所
・介護の現場は人員不足で厳しい状況にある。職員への心身の負担がさらに増え続けるならばさらに人員流失を招きかねない。根本的な解決策（待遇面のさらなる改善、社会的地位の向上等）が絶対に必要と思われるが今後の先行きが不安である。 ・ハードも大事だがバランスが必要かと思う。担い手が少なく箱物ばかり増えるのは人の奪い合いになってしまう。

【介護保険制度に関する意見・要望】

高齢者向け住宅事業者
・物価高騰が著しく、最低賃金も上がっている中で、介護報酬がなかなか上向かない実情がある。そうなると介護保険外の住宅事業等の利用料を見直さざるを得ず、厳しいと感じることがある。今後の介護報酬の増額に期待をしたい。
ケアマネジャー
・インフォーマルサービスや医療保険（訪問診療、訪問介護、薬局等）を利用し、介護保険サービスの利用がない場合でもケアプラン作成等一連のマネジメントを行った場合､報酬を得られるようになるとよいと思う。 ・札幌市のように､介護保険証の持参がなくても居宅の届け出や変更申請ができ､その場で介護保険証の交付を受けられるようになると一部負担が軽減できる。

【行政施策に関する意見・要望】

介護保険サービス事業所
・訪問入浴の充実が必要。 ・介護保険外サービスの充実。
高齢者向け住宅事業者
・様々な住宅事業者や通所事業所が独自の特色（サービス）を出していると思うが､「良い結果」を出している事例等の情報を共有出来ると良いのになと思う。
ケアマネジャー
・新たなサービスを考えていくことも大切な視点かもしれないが､今有るサービスの質･量などを維持していく努力を国や市町村がしていくことがより重要だと考える。 ・経済的理由等で除排雪業者と契約できない方へ除雪ボランティア等支援の必要性を感じている。 ・訪問入浴を増やしてほしい。 ・障がい者の高齢化･高齢者の就労の必要性などを考えると､介護保険サービスでも､市独自のものでも“働く・仕事を持つ”という仕組が重要だと思う。

【健康・介護予防・重度化防止に関する意見・要望】

介護保険サービス事業所
・体力づくり、筋力維持の為の「散歩」があるとうれしい。

【その他】

介護保険サービス事業所
・介護保険課の方々には、電話での相談や訪問時には丁寧に対応していただき、感謝をしている。本当にありがとう。日々忙しくお仕事をしていると思うが、これからも宜しく。
ケアマネジャー
・江別市役所の介護保険課はケアマネにとても親身に対応してもらい､業務が滞らない様に対応してくれて大変助かっている。他の市町村とやりとりをすると「江別市」はケアマネに優しく寄り添ってくれる保険者と日々感謝している。

第６章　資料編　調査票

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【第１号被保険者】

■記入方法

・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
　設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
　「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

＜該当する選択肢の番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください＞

第１ あなたのご家族や生活状況について	
問１．あなたの性別についてお答えください。	
１．男性　　２．女性	
問２．令和５年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。	
１．６５～６９歳　　２．７０～７４歳　　３．７５～７９歳 ４．８０～８４歳　　５．８５歳以上	
問３．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。	
１．介護認定なし　　２．要支援１　　３．要支援２	
問４．現在、どちらにお住まいですか。町名等を○印で記入してください。	
１．江別地区	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
２．野幌地区	錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
３．大麻地区	文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町
問５．家族構成をお教えください。	
１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上） ３．夫婦２人暮らし（配偶者６４歳以下）　　４．息子・娘との２世帯 ５．その他（　　）	
問６．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。	
１．持家（一戸建て）　　２．持家（集合住宅） ３．公営の賃貸住宅　　４．民間の賃貸住宅（一戸建て） ５．民間の賃貸住宅（集合住宅）　　６．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅） ７．社宅・間借り　　８．その他（　　）	

1

問７．あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1．介護・介助は必要ない
2．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3．現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問８．現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1．大変苦しい　2．やや苦しい　3．ふつう
4．ややゆとりがある　5．大変ゆとりがある

問９．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活を続けたい　2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

問 10．もしあなたご自身の介護が必要となった場合、どこで生活をしたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活をしたい　2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

第２　からだを動かすことについて

問１．階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

問２．椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

問３．１５分位続けて歩いていますか。

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

問４．過去１年間に転んだ経験がありますか。

1．何度もある　2．１度ある　3．ない

問５．転倒に対する不安は大きいですか。

1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

問６．週に１回以上は外出していますか。

1．ほとんど外出しない　2．週１回　3．週２～４回　4．週５回以上

問７．昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

1．とても減っている　2．減っている
3．あまり減っていない　4．減っていない

問８．外出を控えていますか。

1．はい　⇒　問８－１へ　2．いいえ　⇒　第３の問１へ

問８－１．（問８で「１」と回答した方のみ）
外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

1．病気　2．障害（脳卒中の後遺症など）
3．足腰などの痛み　4．トイレの心配（失禁など）
5．耳の障害（聞こえの問題など）　6．目の障害
7．外での楽しみがない　8．経済的に出られない
9．交通手段がない　10．その他（　　）

第３　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 160 cm　体重 50 kg）

身長　　cm　　体重　　kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

1．はい　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
2．いいえ
3．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1．はい　2．いいえ

問４．歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて３２本です）

1．自分の歯は２０本以上、かつ入れ歯を利用
2．自分の歯は２０本以上、入れ歯の利用なし
3．自分の歯は１９本以下、かつ入れ歯を利用
4．自分の歯は１９本以下、入れ歯の利用なし

問５．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

1．毎日ある　2．週に何度かある　3．月に何度かある
4．年に何度かある　5．ほとんどない

第４　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問３．自分で食品・日用品の買物をしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問４．自分で食事の用意をしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問５．自分で請求書の支払いをしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

問６．自分で預貯金の出し入れをしていますか。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

第５　地域での活動について

問１．以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①－⑧それぞれに１つずつ回答してください。

	１週４回以上	２週２～３回	３週１回	４月１～３回	５年に数回	６参加していない
①　ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②　スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③　趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④　学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤　通いの場 ※「通いの場」とは、体操等を定期的に行う住民主体の団体	1	2	3	4	5	6
⑥　高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦　自治会	1	2	3	4	5	6
⑧　収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問２．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

１．是非参加したい　　２．参加してもよい
３．参加したくない　　４．既に参加している

問３．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

１．是非参加したい　　２．参加してもよい
３．参加したくない　　４．既に参加している

問４．（問１で「参加していない」または問２、問３で「３．参加したくない」と回答した方のみ、お答えください。）
地域での活動に参加したくない理由を教えてください。（いくつでも）

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
３．参加したいと思う活動がないから
４．自宅の近くに活動の場がないから
５．団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから
６．どんな団体や活動があるのか知らないから
７．職場などでサークル活動などに参加しているから
８．健康や体力に自信がないから
９．地域の活動には関心がないから
10．外出する手段がないから（送迎や誰かの手助けが必要）
11．その他（　　）

問５．今後、あなたが地域活動などに参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも）

１．活動情報の提供があること　　２．活動や団体を紹介してくれること
３．友人等と一緒に参加できること　　４．気軽に参加できそうな活動があること
５．ＮＰＯ団体や自主サークルの立ち上げ支援があること
６．活動拠点となる場所があること　　７．時間や期間にあまりしばられないこと
８．身近なところで活動できること　　９．適切な指導者やリーダーがいること
10．身体的な負担が少ないこと　　11．金銭的な負担が少ないこと
12．その他（　　）　　13．どのような条件でもできない

第６　たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問１．あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問２．反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問３．あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問４．反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問５．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）

１．自治会　２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー　４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・市役所　６．その他（　　）
７．そのような人はいない

問６．この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。ただし、同じ人には何度会っても１人と数えることとします。

１．０人（いない）　２．１～２人　３．３～５人
４．６～９人　５．１０人以上

第７　健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい　２．まあよい　３．あまりよくない　４．よくない

問２．あなたは、健康づくりに対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問３．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸　０点　１点　２点　３点　４点　５点　６点　７点　８点　９点　１０点　とても幸せ

問４．この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

１．はい　２．いいえ

問５．この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

１．はい　２．いいえ

問６．この１か月間、睡眠で休養が充分とれていますか。

１．充分とれている　２．まあまあとれている
３．あまりとれていない　４．全くとれていない

問７．タバコは吸っていますか。

１．ほぼ毎日吸っている　２．時々吸っている
３．吸っていたがやめた　４．もともと吸っていない

問８．現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

１．ない　２．高血圧
３．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）　４．心臓病
５．糖尿病　６．高脂血症（脂質異常）
７．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）　８．胃腸・肝臓・胆のうの病気
９．腎臓・前立腺の病気　10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11．外傷（転倒・骨折等）　12．がん（悪性新生物）
13．血液・免疫の病気　14．うつ病
15．認知症（アルツハイマー病等）　16．パーキンソン病
17．目の病気　18．耳の病気
19．その他（　　）

問９．あなたは、介護予防に対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問 10．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている　⇒　問 11 へ
２．ときどき受けている　⇒　問 11 へ
３．受けてない　⇒　問 10-１へ

問 10-1．（問 10 で「３」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった　２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる　４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である　６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい　８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）　10．特に理由はない

問 11．あなたは、訪問診療（歯科含む）を受けていますか。

１．受けている　⇒　問 11-１へ　２．受けてない　⇒　問 12 へ

問 11-1．（問 11 で「１」と回答した方のみ）
どちらの訪問診療を利用されていますか。

１．江別市内　２．江別市外　３．どちらも

問 11-2．（問 11 で「１」と回答した方のみ）
訪問診療を１ヶ月に何回受けていますか。

１．１回　２．２回　３．３回
４．４回　５．５回以上

問 12．あなたは、健康を維持するために、心がけていることはありますか。（いくつでも）

１．ウォーキングなどの運動・体操をする　２．趣味を持つ
３．食事の栄養バランスに気をつける　４．休息や睡眠をとるようにする
５．規則正しい生活を心がける　６．外出
７．その他（　　）　８．特にない

第８　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい　２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい　２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

１．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
２．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
３．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
４．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
５．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
６．その他（　　）
７．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

１．親族　２．地域包括支援センター
３．市役所　４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所　６．社会福祉協議会
７．民生委員　８．自治会
９．友人　10．その他（　　）
11．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

１．不安に思う　２．今は大丈夫だが将来不安　３．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

１．親族　２．地域包括支援センター
３．市役所　４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所　６．社会福祉協議会
７．民生委員　８．自治会
９．友人　10．その他（　　）
11．特にない

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

１．知っている　　２．聞いたことはある　　３．知らない

第９　あなたが受けている手助けについて

問１．現在、あなたが受けている手助けについて、以下のＡ・Ｂそれぞれお答えください。
Ａ欄：あなたは、Ａ欄のような手助けを家族や家族以外の人から受けていますか。
Ｂ欄：Ａ欄で○をつけた手助けは誰から受けていますか。

【Ａ　欄】受けている手助け（ア～ケのうち、該当するものはいくつでも。受けていない場合は「コ．」に○）	【Ｂ　欄】手助けをしてくれる人（１～11のうち、該当するものはいくつでも）										
	1 同居の家族	2 別居の家族や親戚	3 自治会や近所の人	4 友人・知人	5 市役所	6 地域包括支援センター	7 社会福祉協議会	8 民生委員	9 ホームヘルパーなどの民間事業者	10 ボランティア・NPO団体	11 その他（　）
ア．安否確認の声かけ →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
イ．ちょっとした買い物やゴミ出し →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ウ．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
エ．食事の提供（会食・配食など） →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
オ．通院や外出の手助け →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
カ．電球交換や簡単な大工仕事 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
キ．話し相手や相談相手 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ク．冬期間の除雪 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ケ．その他（　） →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
コ．いずれも受けていない											

問２．あなたは、必要なのに受けていない手助けがありますか。（いくつでも）

１．安否確認の声かけ　　２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い　　４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け　　６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手　　８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け　　10．その他（　　）
11．特にない

問３．あなたはちょっとした手助け（家事や買い物など）を家族以外の近所の人にお願いすることができますか。

１．お願いできる　　２．お願いできない　　３．わからない

問４．あなたは、家族以外の近所の人からちょっとした手助け（家事や買い物など）をお願いされたら引き受けますか。

１．引き受ける　　２．引き受けない　　３．わからない

問５．（高齢者のみならず）地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（３つまで）

１．安否確認の声かけ　　２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い　　４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け　　６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手　　８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け　　10．その他（　　）
11．特にない

第 10　高齢者の健康と福祉へ望むこと

問１．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる　　２．いない

問２．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問３．地域包括支援センターを知っていますか。

１．知っている　　２．聞いたことはあるが何をするところかは知らない
３．知らない

※ 地域包括支援センターとは、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、高齢者の総合的な支援窓口としての役割を担う機関です。

問４．地域包括支援センターに、あなたが特に期待するのはどれですか。（３つまで）

１．地域での介護予防の普及や教室の開催
２．介護保険制度や福祉制度の総合相談窓口
３．様々な困りごとの相談窓口
４．認知症の早期発見や予防に関する情報の発信
５．介護技術や様々な介護に関する情報の発信
６．高齢者虐待・悪徳商法などから高齢者を守る活動
７．成年後見制度の案内や利用支援
８．自治会・民生委員など福祉のネットワークの構築
９．病院など医療関係者とのネットワークの構築
10．地域の高齢者を見守る中心的存在
11．ケアプランの作成
12．その他（　　）
13．特に期待することはない

※ 成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

第 11　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

１．現在利用している　⇒　問３へ
２．今後利用したい　⇒　問３へ
３．利用は考えていない　⇒　問２－１へ
４．わからない　⇒　問２－１へ

問２－１．（問２で「３」または「４」と回答した方のみ）
成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

１．どうやって手続きしたらよいかわからない
２．利用すると、どんな効果があるかわからない
３．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
４．誰が成年後見人になるか不安
５．家族との違いがわからない
６．不正が怖い
７．その他（　　）

問３．成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

１．金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
２．入院・入所時等の契約行為
３．医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
４．衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
５．手術等の医療行為に関する同意
６．体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
７．通院の介助
８．死亡時の遺体・遺品の引き取り
９．死亡届の提出
10．火葬・埋葬の契約
11．その他（　　）
12．わからない

問４．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

1．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）　2．身の回りのことができなくなってきたこと
3．自分自身の将来　4．財産の管理や家（土地）等の処分
5．借金問題　6．悪徳商法等に騙されること
7．身体的（病気等）なこと　8．契約（施設入所等）ができないこと
9．親亡き後の子どもの将来（生活等）　10．相続や遺言について
11．その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問５．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1．知っていて、利用したことがある
2．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4．知らない

問６．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

1．市役所　2．江別市成年後見支援センター
3．地域包括支援センター　4．障がい者支援センター
5．法テラス　6．家庭裁判所
7．専門職（弁護士・司法書士等）　8．消費者協会（消費生活センター）
9．どの機関に相談してよいかわからない　10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第 12　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

1．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
2．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
3．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
4．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
5．その他（　　）
6．わからない

問２．介護保険サービス（訪問介護や住宅改修など）を利用する際には、要介護認定を受ける必要があることを知っていますか。

1．知っている　2．知らない

問３．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

1．生きがい・社会参加への支援　2．働く機会への支援
3．ボランティアや地域活動の充実　4．介護予防・健康づくりの推進
5．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6．多様な生活支援サービスの充実　7．介護保険サービスの充実
8．入所施設の整備　9．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実　11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）　13．わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案、新型コロナウイルス感染症による生活への影響など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで　に返送してください。

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【第２号被保険者】

■記入方法

・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。

・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。

・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

＜該当する選択肢の番号に○をつけてください＞

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　　２．女性

問２．令和５年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４４歳　　２．４５～４９歳　　３．５０～５４歳
４．５５～５９歳　　５．６０歳以上

問３．現在、どちらにお住まいですか。町名等を○印で記入してください。

１．江別地区	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
２．野幌地区	錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
３．大麻地区	文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

問４．家族構成をお教えください。

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし
３．親と同居　　４．子と同居
５．その他（　　）

問５．現在、介護を必要とする高齢者などの方と同居（２世帯住宅を含む）していますか。

１．介護を必要とする高齢者などと同居している
２．今はいないが、今後同居する予定がある
３．同居していない
４．その他（　　）

問６．あなたは親子の同居について、どのように考えますか。

1．できる限り一緒に暮らすのがよい
2．親が元気なうちは別居し、身体が弱ったら一緒に暮らすのがよい
3．近所に住んで行き来ができれば、別居するほうがよい
4．できれば、別居するほうがよい
5．その他（　　）

問７．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

1．持家（一戸建て）　2．持家（集合住宅）
3．公営の賃貸住宅　4．民間の賃貸住宅（一戸建て）
5．民間の賃貸住宅（集合住宅）　6．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
7．社宅・間借り　8．その他（　　）

問８．あなたは現在、育児や介護をしていますか。

1．育児のみをしている　2．介護のみをしている
3．育児と介護の両方をしている　4．どちらもしていない

問９．現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1．大変苦しい　2．やや苦しい　3．ふつう
4．ややゆとりがある　5．大変ゆとりがある

問 10．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活を続けたい
2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

問 11．もし、あなたご自身の介護が必要となった場合、どこで生活をしたいですか。

1．可能な限り、自宅で生活をしたい
2．介護保険施設へ入所したい
3．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
4．その他（　　）
5．わからない

問 12．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたですか。（いくつでも）

1．自治会　2．社会福祉協議会・民生委員
3．ケアマネジャー　4．医師・歯科医師・看護師
5．地域包括支援センター・市役所　6．その他（　　）
7．そのような人はいない

第２　からだを動かすことについて

問１．週に１回以上は外出していますか。

1．ほとんど外出しない　2．週１回　3．週２～４回　4．週５回以上

問２．昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

1．とても減っている　2．減っている
3．あまり減っていない　4．減っていない

第３　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 1 6 0 cm　体重 5 0 kg）

身長　　cm　　体重　　kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

1．はい　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
2．いいえ
3．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1．はい　2．いいえ

問４．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

1．毎日ある　2．週に何度かある　3．月に何度かある
4．年に何度かある　5．ほとんどない

第４　健康について

問１．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている　⇒　問２へ　　２．ときどき受けている　⇒　問２へ
３．受けてない　⇒　問１－１へ

問１－１．（問１で「３」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった　　２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる　　４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である　　６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい　　８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）　　10．特に理由はない

問２．あなたは、通院によって、医師にどのくらいの頻度でみてもらっていますか。

１．週に４回以上　⇒　問２－１へ　　２．週に２・３回　⇒　問２－１へ
３．週に１回　⇒　問２－１へ　　４．月に２回　⇒　問２－１へ
５．月に１回　⇒　問２－１へ　　６．通院していない　⇒　問３へ

問２－１．（問２で「１」～「５」のいずれかに回答した方のみ）
通院している主な原因はなんですか。（いくつでも）

１．高血圧　　２．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
３．心臓病　　４．糖尿病
５．高脂血症（脂質異常）　　６．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
７．胃腸・肝臓・胆のうの病気　　８．腎臓・前立腺の病気
９．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）　　10．外傷（転倒・骨折等）
11．がん（悪性新生物）　　12．血液・免疫の病気
13．うつ病　　14．認知症（アルツハイマー病等）
15．パーキンソン病　　16．目の病気
17．耳の病気　　18．その他（　　）

問３．自力で通院出来なくなった場合、どのような方法で医師にみてもらいたいですか。（いくつでも）

１．訪問診療（往診）　　２．介護タクシーで通院
３．家族の付き添いで通院　　４．ヘルパーの付き添いで通院
５．ボランティアの付き添いで通院　　６．その他（　　）

問４．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる　　２．いない

問５．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問６．あなたは、健康を維持するために、心がけていることはありますか。（いくつでも）

１．ウォーキングなどの運動・体操をする　　２．趣味を持つ
３．食事の栄養バランスに気をつける　　４．休息や睡眠をとるようにする
５．規則正しい生活を心がける　　６．外出
７．その他（　　）　　８．特にない

第５　高齢期の健康と福祉へ望むこと

問１．健康について、どのようなことが知りたいですか。（いくつでも）

１．がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について
２．望ましい食生活の工夫について　　３．運動の方法について
４．検診の内容や受け方について　　５．寝たきり予防について
６．歯・口腔の健康について　　７．認知症の予防について
８．心の健康保持について　　９．その他（　　）
10．特にない

問２．地域包括支援センターを知っていますか。

１．知っている　　２．聞いたことはあるが何をするところかは知らない
３．知らない

※ 地域包括支援センターとは、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、高齢者の総合的な支援窓口としての役割を担う機関です。

問３．地域包括支援センターに、あなたが特に期待するのはどれですか。（３つまで）

1．地域での介護予防の普及や教室の開催
2．介護保険制度や福祉制度の総合相談窓口
3．様々な困りごとの相談窓口
4．認知症の早期発見や予防に関する情報の発信
5．介護技術や様々な介護に関する情報の発信
6．高齢者虐待・悪徳商法などから高齢者を守る活動
7．成年後見制度の案内や利用支援
8．自治会・民生委員など福祉のネットワークの構築
9．病院など医療関係者とのネットワークの構築
10．地域の高齢者を見守る中心的存在
11．ケアプランの作成
12．その他（　　）
13．特に期待することはない

※ 成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

問４．介護保険制度において、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れるべきことはなんだと思いますか。（２つまで）

1．介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実
2．ケアマネジャーやサービス提供事業者に関するＰＲや情報提供の充実
3．訪問サービス（ホームヘルプや訪問看護など）の量や質の充実
4．通所サービス（デイサービスなど）の量や質の充実
5．入所施設の確保
6．苦情相談窓口の充実
7．その他（　　）
8．特にない・わからない

問５．介護にかかわる支援事業のあり方について、特に力を入れるべきことはなんだと思いますか。（２つまで）

1．介護予防や健康づくり事業など保健事業の充実
2．認知症の予防や早期発見、支えるための施策の充実
3．成年後見制度などの権利擁護のための制度の案内や利用支援
4．家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実
5．高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成
6．高齢者が参加できるボランティアグループなどの紹介・相談
7．高齢者クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談
8．学習や講座などについての情報提供
9．高齢者の働く場についての情報提供
10．その他（　　）
11．特にない・わからない

第６　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

1．制度の内容や手続方法を知っている
2．制度の内容を大まかに知っている
3．名前だけ知っている
4．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

1．現在利用している　⇒　８ページ問３へ
2．今後利用したい　⇒　８ページ問３へ
3．利用は考えていない　⇒　８ページ問２－１へ
4．わからない　⇒　８ページ問２－１へ

問２－１．（問２で「３」または「４」と回答した方のみ）
成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

1．どうやって手続きしたらよいかわからない
2．利用すると、どんな効果があるかわからない
3．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
4．誰が成年後見人になるか不安
5．家族との違いがわからない
6．不正が怖い
7．その他（　　）

問３．成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

1．金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
2．入院・入所時等の契約行為
3．医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
4．衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
5．手術等の医療行為に関する同意
6．体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
7．通院の介助
8．死亡時の遺体・遺品の引き取り
9．死亡届の提出
10．火葬・埋葬の契約
11．その他（　　）
12．わからない

問４．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

1．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）
2．身の回りのことができなくなってきたこと
3．自分自身の将来
4．財産の管理や家（土地）等の処分
5．借金問題
6．悪徳商法等に騙されること
7．身体的（病気等）なこと
8．契約（施設入所等）ができないこと
9．親亡き後の子どもの将来（生活等）
10．相続や遺言について
11．その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問５．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1．知っていて、利用したことがある
2．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4．知らない

問６．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

1．市役所
2．江別市成年後見支援センター
3．地域包括支援センター
4．障がい者支援センター
5．法テラス
6．家庭裁判所
7．専門職（弁護士・司法書士等）
8．消費者協会（消費生活センター）
9．どの機関に相談してよいかわからない
10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第７　地域での活動や手助けについて

問１．あなたはちょっとした手助け（家事や買い物など）を家族以外の近所の人にお願いすることができますか。

１．お願いできる　　２．お願いできない　　３．わからない

問２．あなたは、家族以外の近所の人からちょっとした手助け（家事や買い物など）をお願いされたら引き受けますか。

１．引き受ける　　２．引き受けない　　３．わからない

問３．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

１．是非参加したい　　２．参加してもよい
３．参加したくない　　４．既に参加している

問４．地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

１．是非参加したい　　２．参加してもよい
３．参加したくない　　４．既に参加している

問５．（問３または問４で「３．参加したくない」と回答した方のみ）
地域での活動に参加したくない理由を教えてください。（いくつでも）

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
３．参加したいと思う活動がないから
４．自宅の近くに活動の場がないから
５．団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから
６．どんな団体や活動があるのか知らないから
７．職場などでサークル活動などに参加しているから
８．健康や体力に自信がないから
９．地域の活動には関心がないから
10．外出する手段がないから（送迎や誰かの手助けが必要）
11．その他（　　）

問６．今後、あなたが地域活動などに参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも）

１．活動情報の提供があること　　２．活動や団体を紹介してくれること
３．友人等と一緒に参加できること　　４．気軽に参加できそうな活動があること
５．ＮＰＯ団体や自主サークルの立ち上げ支援があること
６．活動拠点となる場所があること　　７．時間や期間にあまりしばられないこと
８．身近なところで活動できること　　９．適切な指導者やリーダーがいること
10．身体的な負担が少ないこと　　11．金銭的な負担が少ないこと
12．その他（　　）　　13．どのような条件でもできない

問７．（高齢者のみならず）地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（３つまで）

１．安否確認の声かけ　　２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い　　４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け　　６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手　　８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け　　10．その他（　　）
11．特にない

第８　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい　　２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

1．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる

2．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける

3．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる

4．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる

5．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう

6．その他（　　）

7．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

1．親族　　2．地域包括支援センター

3．市役所　　4．かかりつけ医（主治医）・病院

5．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　6．社会福祉協議会

7．民生委員　　8．自治会

9．友人　　10．その他（　　）

11．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

1．不安に思う　　2．今は大丈夫だが将来不安　　3．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

1．親族　　2．地域包括支援センター

3．市役所　　4．かかりつけ医（主治医）・病院

5．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　6．社会福祉協議会

7．民生委員　　8．自治会

9．友人　　10．その他（　　）

11．特にない

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

1．知っている　　2．聞いたことはある　　3．知らない

問８．あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

1．受講したい　⇒　第９の問１へ　　2．受講したくない　⇒　問８－１へ

3．すでに受講した　⇒　第９の問１へ

問８－１．（問８で「２」と回答した方のみ）受講したくない理由を教えてください。

1．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから

2．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから

3．興味がないから

4．その他（　　）

第９　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

1．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい

2．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない

3．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい

4．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい

5．その他（　　）

6．わからない

問２．介護保険サービス（訪問介護や住宅改修など）を利用する際には、要介護認定を受ける必要があることを知っていますか。

1．知っている　　2．知らない

問３．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。
（３つまで）

1. 生きがい・社会参加への支援
2. 働く機会への支援
3. ボランティアや地域活動の充実
4. 介護予防・健康づくりの推進
5. １人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6. 多様な生活支援サービスの充実
7. 介護保険サービスの充実
8. 入所施設の整備
9. 認知症高齢者とその家族への支援
10. 地域包括支援センターの充実
11. 住まいに関する情報提供の充実
12. その他（　　）
13. わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案、新型コロナウイルス感染症による生活への影響など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで　に返送してください。

３．居宅サービス利用者

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【居宅サービス利用者】

■記入方法

・既に介護保険施設に入所されている場合は、次ページの「はじめに」に入所年月を記入し、そのまま返信用封筒に入れて、切手を貼らず返送してください（回答はしなくてかまいません）。
・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
　設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
　「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

はじめに　居宅サービスの利用について

介護保険施設に入所された方は、入所年月をご記入ください。

令和（　　）年（　　）月に介護保険施設に入所

※既に介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院）に入所している場合は、これでこの調査は終了です。同封した返信用封筒にこの調査票を入れ、返送してください。
※グループホーム・有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方はご回答ください。

居宅サービス（グループホーム等にお住まいの方を含む）を利用している方は、以下の設問にお答えください

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

１．あて名のご本人　⇒　問２へ
２．あて名のご本人が回答してご家族の方などが代筆　⇒　問２へ
３．ご家族の方などが本人にかわって回答　⇒　問１－１へ

問１－１．（問１で「３」と回答した方のみ）　ご本人とのご関係をお聞きします。

１．配偶者　２．子ども　３．子ども以外の親族
４．その他（　　）

※代理で回答される方へのお願い
設問中の「あなた」とは、介護認定を受けられた方ご本人を指します。
ご本人が、質問の内容がわからなかったり、答えることができない場合には、ご本人の立場に立ってお答えください。

問２．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　２．女性

問３．令和５年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４９歳　２．５０～５９歳　３．６０～６４歳　４．６５～６９歳
５．７０～７４歳　６．７５～７９歳　７．８０～８４歳　８．８５歳以上

問４．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。

１．要支援１　２．要支援２　３．要介護１　４．要介護２
５．要介護３　６．要介護４　７．要介護５

1

問５．現在、どちらにお住まいですか。町名等を○印で記入してください。	
１．江別地区	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
２．野幌地区	錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
３．大麻地区	文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

問６．家族構成をお教えください。

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）
３．夫婦２人暮らし（配偶者６４歳以下）　　４．息子・娘との２世帯
５．その他（　　）

問７．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

１．持家（一戸建て）　　２．持家（集合住宅）
３．公営の賃貸住宅　　４．民間の賃貸住宅（一戸建て）
５．民間の賃貸住宅（集合住宅）　　６．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
７．社宅・間借り　　８．グループホーム・特定施設（介護付有料老人ホーム）
９．その他（　　）

問８．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

１．可能な限り、自宅で生活をしたい
２．介護保険施設へ入所したい
３．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
４．その他（　　）
５．わからない

問９．もしあなたご自身の介護が必要となった場合、どこで生活をしたいですか。

１．可能な限り、自宅で生活をしたい
２．介護保険施設へ入所したい
３．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
４．その他（　　）
５．わからない

第２　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 １６０ cm　体重 ５０ kg）

身長 ［　　］ cm　　体重 ［　　］ kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

１．はい　　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
２．いいえ
３．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

１．はい　　２．いいえ

問４．歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。）

１．自分の歯は２０本以上、かつ入れ歯を利用
２．自分の歯は２０本以上、入れ歯の利用なし
３．自分の歯は１９本以下、かつ入れ歯を利用
４．自分の歯は１９本以下、入れ歯の利用なし

問５．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

１．毎日ある　　２．週に何度かある　　３．月に何度かある
４．年に何度かある　　５．ほとんどない

第３　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

第４　たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問１．あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問２．反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人
７．その他（　　）　８．そのような人はいない

問３．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）

１．自治会　２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー　４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・市役所　６．その他（　　）
７．そのような人はいない

第５　健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい　２．まあよい　３．あまりよくない　４．よくない

問２．あなたは、健康づくりに対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問３．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸　０点　１点　２点　３点　４点　５点　６点　７点　８点　９点　１０点　とても幸せ

問４．あなたは、介護予防に対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問５．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている　⇒　問６へ　２．ときどき受けている　⇒　問６へ
３．受けてない　⇒　問５－１へ

問５－１．（問５で「３」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった　２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる　４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である　６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい　８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）　10．特に理由はない

問６．あなたは、通院によって、医師にどのくらいの頻度でみてもらっていますか。

１．週に４回以上　⇒　問６－１へ　２．週に２・３回　⇒　問６－１へ
３．週に１回　⇒　問６－１へ　４．月に２回　⇒　問６－１へ
５．月に１回　⇒　問６－１へ　６．通院していない　⇒　６ページ問７へ

問６－１．（問６で「１」～「５」のいずれかに回答した方のみ）
通院している主な原因はなんですか。（いくつでも）

１．高血圧　２．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
３．心臓病　４．糖尿病
５．高脂血症（脂質異常）　６．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
７．胃腸・肝臓・胆のうの病気　８．腎臓・前立腺の病気
９．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）　10．外傷（転倒・骨折等）
11．がん（悪性新生物）　12．血液・免疫の病気
13．うつ病　14．認知症（アルツハイマー病等）
15．パーキンソン病　16．目の病気
17．耳の病気　18．その他（　　）

問７．自力で通院出来なくなった場合、どのような方法で医師にみてもらいたいですか。（いくつでも）

１．訪問診療（往診）	２．介護タクシーで通院
３．家族の付き添いで通院	４．ヘルパーの付き添いで通院
５．ボランティアの付き添いで通院	６．その他（　　）

問８．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる　　２．いない

問９．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問 10．訪問診療（歯科含む）を受けていますか。

１．受けている　⇒　問 10−１へ　　２．受けてない　⇒　第６の問１へ

問 10−１．（問 10 で「１」と回答した方のみ）どちらの訪問診療を利用されていますか。

１．江別市内　　２．江別市外　　３．どちらも

問 10−２．（問 10 で「１」と回答した方のみ）訪問診療を１ヶ月に何回受けていますか。

１．１回　　２．２回　　３．３回　　４．４回　　５．５回以上

第６　成年後見制度について

※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

１．現在利用している　⇒　問３へ
２．今後利用したい　⇒　問３へ
３．利用は考えていない　⇒　問２−１へ
４．わからない　⇒　問２−１へ

問２−１．（問２で「３」または「４」と回答した方のみ）
成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

１．どうやって手続きしたらよいかわからない
２．利用すると、どんな効果があるかわからない
３．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
４．誰が成年後見人になるか不安
５．家族との違いがわからない
６．不正が怖い
７．その他（　　）

問３．成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

１．金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
２．入院・入所時等の契約行為
３．医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
４．衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
５．手術等の医療行為に関する同意
６．体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
７．通院の介助
８．死亡時の遺体・遺品の引き取り
９．死亡届の提出
10．火葬・埋葬の契約
11．その他（　　）
12．わからない

問４．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

1．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）
2．身の回りのことができなくなってきたこと
3．自分自身の将来
4．財産の管理や家（土地）等の処分
5．借金問題
6．悪徳商法等に騙されること
7．身体的（病気等）なこと
8．契約（施設入所等）ができないこと
9．親亡き後の子どもの将来（生活等）
10．相続や遺言について
11．その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問５．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1．知っていて、利用したことがある
2．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4．知らない

問６．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

1．市役所　　2．江別市成年後見支援センター
3．地域包括支援センター　　4．障がい者支援センター
5．法テラス　　6．家庭裁判所
7．専門職（弁護士・司法書士等）　　8．消費者協会（消費生活センター）
9．どの機関に相談してよいかわからない　　10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第７　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1．はい　　2．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1．はい　　2．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

1．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
3．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
6．その他（　　）
7．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

1．親族　　2．地域包括支援センター
3．市役所　　4．かかりつけ医（主治医）・病院
5．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　6．社会福祉協議会
7．民生委員　　8．自治会
9．友人　　10．その他（　　）
11．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

1．不安に思う　　2．今は大丈夫だが将来不安　　3．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

１．親族	２．地域包括支援センター
３．市役所	４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所	６．社会福祉協議会
７．民生委員	８．自治会
９．友人	10．その他（　　）
11．特にない	

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

１．知っている　　２．聞いたことはある　　３．知らない

問８．あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

１．受講したい　⇒　第８の問１へ　　２．受講したくない　⇒　問８－１へ
３．すでに受講した　⇒　第８の問１へ

問８－１．（問８で「２」と回答した方のみ）受講したくない理由を教えてください。

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
３．興味がないから
４．その他（　　）

第８　主に介護している方について

問１．家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

１．ない	⇒　11 ページ第９の問１へ
２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	⇒　問２へ
３．週に１～２日ある	⇒　問２へ
４．週に３～４日ある	⇒　問２へ
５．ほぼ毎日ある	⇒　問２へ

問２．あなたの介護は、主にどなたが行っていますか。（介護サービス事業所以外）

１．配偶者（夫・妻）　２．息子　３．娘　４．子の配偶者
５．孫　６．兄弟・姉妹　７．その他（　　）

問３．その方の性別をお答えください。

１．男性　　２．女性

問４．その方とは同居していますか、別居していますか。

１．同居　　２．別居

問５．その方の年齢をお答えください。

１．４０歳未満	２．４０歳代	３．５０歳代
４．６０歳代	５．７０歳代	６．８０歳以上

問６．その方は、働いていますか。

１．フルタイムで働いている　⇒　問６－１へ
２．パートタイムで働いている　⇒　問６－１へ
３．働いていない　⇒　第９の問１へ

問６－１．（問６で「１」または「２」と回答した方のみ）
その方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

１．問題なく、続けていける
２．問題はあるが、何とか続けていける
３．続けていくのはやや難しい
４．続けていくのは、かなり難しい

第９　介護保険サービス等の利用について

問１．サービス提供事業者を選ぶときに、何を参考にしましたか。（いくつでも）

１．市から提供された情報（広報やパンフレットなど）
２．今までに利用したことのある事業者から選んだ
３．ケアマネジャーの意見
４．地域包括支援センターの意見
５．かかりつけ医（主治医）の意見
６．知人などからの紹介や勧め
７．いくつかの事業者から話を聞いたり、見たりして選んだ
８．新聞広告やパンフレットなど施設の案内
９．その他（　　）
10．特に参考にしたものはない

問２．制度上の利用できる上限（区分支給限度額）まで利用していますか。

1．上限を超えて利用している　⇒　問３へ
2．上限まで利用している　⇒　問３へ
3．上限まで利用していない　⇒　問２－１へ
4．わからない　⇒　問３へ

問２－１．（問２で「３」と回答した方のみ）
上限まで利用していない理由はなんですか。（いくつでも）

1．現在のサービスメニューで十分だから
2．家族等が介護してくれるから
3．利用に要する費用が高いから
4．他にどのようなサービスを利用すればいいかわからないから
5．サービス提供事業者がいないから
6．訪問で、家族以外の人が家に入るのがわずらわしいから
7．通所で、施設に通うのに抵抗があるから
8．その他（　　）

問３．現在利用しているサービスに満足していますか。

1．満足している　⇒　13 ページ問４へ
2．ほぼ満足している　⇒　13 ページ問４へ
3．どちらともいえない　⇒　13 ページ問４へ
4．やや不満である　⇒　問３－１へ
5．不満である　⇒　問３－１へ

問３－１．（問３で「４」または「５」と回答した方のみ）
サービスに不満な理由は何ですか。（いくつでも）

1．希望する回数が利用できない
2．希望する曜日や時間帯に利用できない
3．事業者や担当者の対応が悪い
4．サービスの内容が契約と違う
5．利用料金が思っていたより高い
6．その他（　　）

問４．あなたが現在利用しているサービスで満足なところ、不満足なところを具体的にお知らせください。

【満足なところ】

【不満足なところ】

問５．今後のサービスの利用意向についてお伺いします。

1．これまでと同様に、居宅サービスを利用する　⇒　14 ページ問６へ
2．利用を減らしたり、止めたい　⇒　問５－１へ
3．老人ホームや病院などの施設にすぐにでも入所したい　⇒　問５－２へ
4．その他　⇒　14 ページ問６へ
（具体的に：　　）
5．わからない　⇒　14 ページ問６へ

問５－１．（問５で「２」と回答した方のみ）
利用を減らしたり、止めたい理由は何ですか。（２つまで）

1．状態が良くなり、家族だけで対応できるようになった
2．利用料の負担が経済的に重く、家計を圧迫するようになった
3．家族が退職したりして、家族だけで介護できるようになった
4．思ったほど家族の介護が軽減されなかった
5．サービスの内容や質が当初の契約と異なり、利用料が割高になった
6．希望する回数や時間帯などにサービス業者が対応できない
7．その他（　　）

問５－２．（問５で「３」と回答した方のみ）　自宅での支援や介護から施設への入所（病院への入院）に変更される理由は何ですか。（２つまで）

1．状態が悪くなり、自宅での介護が困難となったから
2．介護を担っていた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから
3．入所（入院）したほうが家族の負担が軽減されるから
4．自宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから
5．その他（　　）

問６．あなたは現在、特別養護老人ホームの入所を検討していますか。

１．検討していない　⇒　問７へ
２．検討している　⇒　問７へ
３．既に入所申込をしている　⇒　問６－１へ

問６－１．（問６で「３」と回答した方のみ）
それは市内・市外のどちらにありますか。（いくつでも）

１．市内　２．市外（道内）　３．道外

問６－２．（問６で「３」と回答した方のみ）
もし申込先の施設から入所の連絡がきた場合、どうしますか。

１．すぐに入所したい
２．複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい
３．その他（　　）
４．まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい

問７．あなたが、自宅で生活を続けていく上で、受けたい支援内容はありますか。
（いくつでも）

１．安否確認の声かけ　２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い　４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け　６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手　８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け　10．その他（　　）
11．特にない

第 10 介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

１．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
２．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
３．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
４．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
５．その他（　　）
６．わかならない

問２．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。
（３つまで）

１．生きがい・社会参加への支援　２．働く機会への支援
３．ボランティアや地域活動の充実　４．介護予防・健康づくりの推進
５．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
６．多様な生活支援サービスの充実　７．介護保険サービスの充実
８．入所施設の整備　９．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実　11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）　13．わからない

意見 さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案、新型コロナウイルス感染症による生活への影響など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで に返送してください。

４．施設サービス利用者

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【施設サービス利用者】

■記入方法

・既に介護保険施設を退所されている場合は、次ページの「はじめに」に退所年月を記入し、そのまま返信用封筒に入れて、切手を貼らず返送してください（回答はしなくてかまいません）。
・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
　施設職員の方には、代理回答を依頼しないようお願いいたします。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
　設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
　「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

はじめに　施設サービスの利用について

介護保険施設を退所された方は、退所年月をご記入ください。

令和（　　）年（　　）月に介護保険施設を退所

※既に介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院）を退所している場合は、これでこの調査は終了です。同封した返信用封筒にこの調査票を入れ、返送してください。

施設サービスを利用している方は、以下の設問にお答えください

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

１．あて名のご本人　⇒　問２へ
２．あて名のご本人が回答してご家族の方などが代筆　⇒　問２へ
３．ご家族の方などが本人にかわって回答　⇒　問１－１へ

問１－１．（問１で「３」と回答した方のみ）　ご本人とのご関係をお聞きします。

１．配偶者　２．子ども　３．子ども以外の親族
４．その他（　　）

※代理で回答される方へのお願い
設問中の「あなた」とは、介護認定を受けられた方ご本人を指します。
ご本人が、質問の内容がわからなかったり、答えることができない場合には、ご本人の立場に立ってお答えください。

問２．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　２．女性

問３．令和５年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４９歳　２．５０～５９歳　３．６０～６４歳　４．６５～６９歳
５．７０～７４歳　６．７５～７９歳　７．８０～８４歳　８．８５歳以上

問４．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。

１．要介護１　２．要介護２　３．要介護３　４．要介護４　５．要介護５

問５．現在の施設に入所される前、どこにいらっしゃいましたか。

１．自宅（独居）	２．自宅（同居している人がいる）
３．介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	４．介護老人保健施設（老人保健施設）
５．介護医療院・介護療養型医療施設	６．養護老人ホーム
７．ケアハウス	８．サービス付き高齢者向け住宅
９．有料老人ホーム（８を除く）	10．グループホーム
11．病院	12．その他（　　）

問６．施設（現在の施設に限らず）に入所した理由はどれですか。（２つまで）

１．体力が低下したり、状態が悪くなり、自立した生活や在宅での介護が困難になったから
２．介護してくれる家族がいない（ひとり暮らしだった）から
３．介護していた家族の人数が減ったり、勤めるようになったから
４．介護してくれる家族も高齢だから
５．入所した方が介護する家族の負担が軽減されるから
６．在宅で十分なサービスを受けるとお金がかかるから
７．その他（　　）

第２　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい	２．いいえ

第３　健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい	２．まあよい	３．あまりよくない	４．よくない

問２．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸										とても幸せ
０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	１０点

問３．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている	⇒ 第４の問１へ
２．ときどき受けている	⇒ 第４の問１へ
３．受けてない	⇒ 問３－１へ

問３－１．（問３で「３」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった	２．健診の内容や受診の方法等がわからない
３．健診費用がかかる	４．健康なので必要性を感じない
５．既に医療機関で治療中である	６．面倒だから
７．結果を知るのがこわい	８．検査に伴う苦痛などに不安がある
９．その他（　　）	10．特に理由はない

第４　認知症について

※代理の方が回答する場合は４ページの欄（問６～10）にご記入願います。

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい	２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい	２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

１．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
２．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
３．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
４．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
５．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
６．その他（　　）
７．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

１．親族	２．地域包括支援センター
３．市役所	４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所	６．社会福祉協議会
７．民生委員	８．自治会
９．友人	10．その他（　　）
11．周囲には打ち明けない	

問５．認知症に対して不安に思いますか。

１．不安に思う　　２．今は大丈夫だが将来不安　　３．心配ない

【代理の方が回答する場合】
以下の問６～10 については、代理で回答される方自身のお考えについてお答えください。

問６．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい　　２．いいえ

問７．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい　　２．いいえ

問８．あなた（代理で回答される方）は、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

１．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる

２．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける

３．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる

４．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる

５．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう

６．その他（　　）

７．わからない

問９．もし、あなた（代理で回答される方）の家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

１．親族	２．地域包括支援センター
３．市役所	４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所	６．社会福祉協議会
７．民生委員	８．自治会
９．友人	10．その他（　　）
11．周囲には打ち明けない	

問 10．あなた（代理で回答される方）は、認知症に対して不安に思いますか。

１．不安に思う　　２．今は大丈夫だが将来不安　　３．心配ない

第５　成年後見制度について

※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

１．現在利用している　⇒　問３へ
２．今後利用したい　⇒　問３へ
３．利用は考えていない　⇒　問２－１へ
４．わからない　⇒　問２－１へ

問２－１．（問２で「３」または「４」と回答した方のみ）
成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

１．どうやって手続きしたらよいかわからない
２．利用すると、どんな効果があるかわからない
３．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
４．誰が成年後見人になるか不安
５．家族との違いがわからない
６．不正が怖い
７．その他（　　）

問３．成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

１．金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
２．入院・入所時等の契約行為
３．医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
４．衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
５．手術等の医療行為に関する同意
６．体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
７．通院の介助
８．死亡時の遺体・遺品の引き取り
９．死亡届の提出
10．火葬・埋葬の契約
11．その他（　　）
12．わからない

問４．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

１．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）
２．身の回りのことができなくなってきたこと
３．自分自身の将来
４．財産の管理や家（土地）等の処分
５．借金問題
６．悪徳商法等に騙されること
７．身体的（病気等）なこと
８．契約（施設入所等）ができないこと
９．親亡き後の子どもの将来（生活等）
10．相続や遺言について
11．その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問５．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問６．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所　２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター　４．障がい者支援センター
５．法テラス　６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）　８．消費者協会（消費生活センター）
９．どの機関に相談してよいかわからない　10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第６　入所施設サービスについて

問１．あなたが現在入所されている施設の種類はどれですか。

１．介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
２．介護老人保健施設（老人保健施設）
３．介護医療院・介護療養型医療施設

問２．入所申し込みから入所までの期間はどのくらいでしたか。

１．１年未満　　２．１年から３年未満　　３．３年から５年未満　　４．５年以上

問３．現在の施設には、どのくらいの期間入所していますか。

１．１年未満　　２．１年から３年未満　　３．３年から５年未満　　４．５年以上

問４．現在入所している施設のサービスに満足していますか。

１．満足している　　⇒　９ページ問５へ
２．ほぼ満足している　　⇒　９ページ問５へ
３．どちらともいえない　　⇒　９ページ問５へ
４．やや不満である　　⇒　問４－１へ
５．不満である　　⇒　問４－１へ

問４－１．（問４で「４」または「５」と回答した方のみ）
施設のサービスに不満な理由は何ですか。（いくつでも）

１．介護や食事など計画の時間を守らない（遅れる、早く切り上げるなど）
２．おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある
３．介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい
４．介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない
５．施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い
６．入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない
７．食事の内容に不満がある（メニューや食事のあたたかさなど）
８．施設の建物や設備に不満がある（古い、狭い、使い勝手が悪いなど）
９．施設の職員から虐待を受けたことがある
10．その他（　　）

問５．施設のサービスの内容や職員の対応などに不満があるとき、あなたやご家族の方は誰に（どこに）相談しますか。（いくつでも）

１．介護職員や看護師、事務職員など施設の職員
２．施設の苦情受付窓口
３．市町村の介護保険担当窓口
４．知人・友人
５．誰に相談していいかわからない
６．その他（　　）
７．特に相談はしない

問６．あなたにとって、現在の介護保険施設サービスを受けてよかったと思うことは何ですか。（いくつでも）

１．精神的に楽になった
２．家族の負担が減った
３．外出などで外の社会とふれあう機会が増えた
４．人と話す機会が増えた
５．自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた
６．自分で身の回りのことができるようになった
７．体調が良くなった
８．必要な時にすぐに介護が受けられる
９．レクリエーションなどの楽しみが増えた
10．その他（　　）
11．良かったと思うことは特にない

第７　介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

1．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
2．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
3．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
4．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
5．その他（　　）
6．わからない

問２．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

1．生きがい・社会参加への支援
2．働く機会への支援
3．ボランティアや地域活動の充実
4．介護予防・健康づくりの推進
5．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6．多様な生活支援サービスの充実
7．介護保険サービスの充実
8．入所施設の整備
9．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実
11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）
13．わからない

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案、新型コロナウイルス感染症による生活への影響など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで　に返送してください。

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【サービス未利用者】

■記入方法

・既に介護保険サービスを利用されている場合は、次ページの「はじめに」に利用開始年月を記入し、そのまま返信用封筒に入れて、切手を貼らず返送してください（回答はしなくてかまいません）。
・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。
・なるべく、宛名のご本人またはご家族が記入してください。
・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
　設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
　「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

はじめに　介護保険サービスの利用について

既に介護保険サービスを利用している方は、利用開始年月をご記入ください。

令和（　　）年（　　）月にサービス利用開始

※既に介護保険サービスを利用している場合は、これでこの調査は終了です。同封した返信用封筒にこの調査票を入れ、返送してください。

介護保険サービスを利用していない方は、以下の設問にお答えください

第１　あなたのご家族や生活状況について

問１．このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

１．あて名のご本人　⇒　問２へ
２．あて名のご本人が回答してご家族の方などが代筆　⇒　問２へ
３．ご家族の方などが本人にかわって回答　⇒　問１－１へ

問１－１．（問１で「３」と回答した方のみ）　ご本人とのご関係をお聞きします。

１．配偶者　２．子ども　３．子ども以外の親族
４．その他（　　）

※代理で回答される方へのお願い
設問中の「あなた」とは、介護認定を受けられた方ご本人を指します。
ご本人が、質問の内容がわからなかったり、答えることができない場合には、ご本人の立場に立ってお答えください。

問２．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　２．女性

問３．令和５年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．４０～４９歳　２．５０～５９歳　３．６０～６４歳　４．６５～６９歳
５．７０～７４歳　６．７５～７９歳　７．８０～８４歳　８．８５歳以上

問４．現在のあなたの要介護度は、次のどれですか。

１．要支援１　２．要支援２　３．要介護１　４．要介護２
５．要介護３　６．要介護４　７．要介護５

問５．現在、どちらにお住まいですか。町名等を○印で記入してください。	
１．江別地区	１条、２条、３条、４条、５条、６条、７条、８条、緑町西、緑町東 萩ヶ岡、王子、大川通、東光町、一番町、弥生町、高砂町、向ヶ丘 上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、ゆめみ野東町 ゆめみ野南町、若草町、元町、牧場町、元江別、見晴台、元江別本町 いずみ野、朝日町、あけぼの町、江別太、萌えぎ野中央、萌えぎ野西 萌えぎ野東、美原、篠津、中島、八幡、工栄町、対雁、角山、豊幌 豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町
２．野幌地区	錦町、幸町、野幌町、東野幌本町、野幌若葉町、元野幌、新栄台 野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、中央町、野幌松並町、野幌末広町 野幌住吉町、野幌代々木町、東野幌、東野幌町、野幌東町、西野幌 緑ヶ丘、あさひが丘
３．大麻地区	文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町、大麻、大麻桜木町 大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町 大麻高町、大麻中町、大麻宮町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町 大麻泉町、大麻栄町、大麻新町、大麻北町、大麻元町

問６．家族構成をお教えください。

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者６５歳以上）
３．夫婦２人暮らし（配偶者６４歳以下）　　４．息子・娘との２世帯
５．その他（　　）

問７．あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

１．持家（一戸建て）　　２．持家（集合住宅）
３．公営の賃貸住宅　　４．民間の賃貸住宅（一戸建て）
５．民間の賃貸住宅（集合住宅）　　６．民間の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）
７．社宅・間借り　　８．その他（　　）

問８．あなたは、どこで生活を続けたいですか。

１．可能な限り、自宅で生活を続けたい
２．介護保険施設へ入所したい
３．ケア付きの高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き住宅など）に入居したい
４．その他（　　）
５．わからない

第２　食べることについて

問１．身長・体重　（記入例　身長 １６０ cm　体重 ５０ kg）

身長 　　cm　　体重 　　kg

問２．６か月間で２～３kg以上の体重の増減がありましたか。

１．はい　　⇒　増加　・　減少　（どちらかに○をつけてください。）
２．いいえ
３．わからない

問３．半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

１．はい　　２．いいえ

問４．歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）。

１．自分の歯は２０本以上、かつ入れ歯を利用
２．自分の歯は２０本以上、入れ歯の利用なし
３．自分の歯は１９本以下、かつ入れ歯を利用
４．自分の歯は１９本以下、入れ歯の利用なし

問５．どなたかと食事をともにする機会はありますか。

１．毎日ある　　２．週に何度かある　　３．月に何度かある
４．年に何度かある　　５．ほとんどない

第３　毎日の生活について

問１．物忘れが多いと感じますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

第４　たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問１．あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　　２．同居の子ども　　３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　　５．近隣　　６．友人
７．その他（　　）　　８．そのような人はいない

問２．反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者	２．同居の子ども	３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫	５．近隣	６．友人
７．その他（　　）	８．そのような人はいない	

問３．あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

１．配偶者	２．同居の子ども	３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫	５．近隣	６．友人
７．その他（　　）	８．そのような人はいない	

問４．反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

１．配偶者	２．同居の子ども	３．別居の子ども
４．兄弟姉妹・親戚・親・孫	５．近隣	６．友人
７．その他（　　）	８．そのような人はいない	

問５．家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）

１．自治会	２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー	４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・市役所	６．その他（　　）
７．そのような人はいない	

問６．この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
ただし、同じ人には何度会っても１人と数えることとします。

１．０人（いない）	２．１～２人	３．３～５人
４．６～９人	５．１０人以上	

第５　健康について

問１．現在のあなたの健康状態はいかがですか。

１．とてもよい	２．まあよい	３．あまりよくない	４．よくない

問２．あなたは、健康づくりに対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問３．あなたは、現在どの程度幸せですか。
（「とても不幸」０点、「とても幸せ」を１０点として、○印をご記入ください）

とても不幸										とても幸せ
０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	１０点

問４．あなたは、介護予防に対して興味・関心はありますか。

１．興味・関心があり、取り組んでいる
２．興味・関心はあるが、取り組んでいない
３．興味・関心はないが、取り組んでいる
４．興味・関心がなく、取り組んでいない

問５．あなたは健診を受けていますか。

１．定期的に受けている	⇒　問６へ
２．ときどき受けている	⇒　問６へ
３．受けてない	⇒　問５－１へ

問５－１．（問５で「３」と回答した方のみ）
健診を受けていない方はその理由を教えてください。（いくつでも）

１．忙しくて行けなかった	２．健診の内容や受診の方法等がわからない	
３．健診費用がかかる	４．健康なので必要性を感じない	
５．既に医療機関で治療中である	６．面倒だから	
７．結果を知るのがこわい	８．検査に伴う苦痛などに不安がある	
９．その他（　　）	10．特に理由はない	

問６．あなたは、通院によって、医師にどのくらいの頻度でみてもらっていますか。

１．週に４回以上	２．週に２・３回	
３．週に１回	４．月に２回	
５．月に１回	６．通院していない	

問７．自力で通院出来なくなった場合、どのような方法で医師にみてもらいたいですか。
（いくつでも）

１．訪問診療（往診）	２．介護タクシーで通院	
３．家族の付き添いで通院	４．ヘルパーの付き添いで通院	
５．ボランティアの付き添いで通院	６．その他（　　）	

問８．あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気楽に相談できる「かかりつけ医（主治医）」がいますか。

１．いる	２．いない

問９．あなたは「かかりつけ医（主治医）」の必要性を、どうお考えですか。

１．常に必要である
２．継続して治療を要する病気になったら必要とする
３．必要でない
４．どちらともいえない
５．その他（　　）

問 10．訪問診療（歯科含む）を受けていますか。

１．受けている　⇒　問 10－１へ　　２．受けてない　⇒　第６の問１へ

問 10－１．（問 10 で「１」と回答した方のみ）どちらの訪問診療を利用されていますか。

１．江別市内　　２．江別市外　　３．どちらも

問 10－２．（問 10 で「１」と回答した方のみ）訪問診療を１ヶ月に何回受けていますか。

１．１回　　２．２回　　３．３回　　４．４回　　５．５回以上

第６　認知症について

問１．認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

１．はい　　２．いいえ

問２．認知症に関する相談窓口を知っていますか。

１．はい　　２．いいえ

問３．あなたは、認知症に対して、どのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを１つだけお答えください。

１．認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
２．認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
３．認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
４．認知症になると、「幻覚」・「妄想」や「ひとり歩き」などにより、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
５．認知症になると、症状が進行してゆき、今までできていたことができなくなってしまう
６．その他（　　）
７．わからない

問４．もし、あなたの家族が認知症になった場合、周囲のどの範囲まで家族が認知症であることを打ち明けますか。（いくつでも）

１．親族　　２．地域包括支援センター
３．市役所　　４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　６．社会福祉協議会
７．民生委員　　８．自治会
９．友人　　10．その他（　　）
11．周囲には打ち明けない

問５．認知症に対して不安に思いますか。

１．不安に思う　　２．今は大丈夫だが将来不安　　３．心配ない

問６．認知症について相談できるところはありますか。（いくつでも）

１．親族　　２．地域包括支援センター
３．市役所　　４．かかりつけ医（主治医）・病院
５．ケアマネジャー・介護サービス事業所　　６．社会福祉協議会
７．民生委員　　８．自治会
９．友人　　10．その他（　　）
11．特にない

問７．市では、地域の皆さんを対象として「認知症サポーター」（認知症について正しい理解を持ち、認知症の人の応援者としてご本人や家族を暖かく見守る人）になるための講座を開催しています。
あなたは「認知症サポーター」をご存知ですか。

１．知っている　　２．聞いたことはある　　３．知らない

問８．あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

１．受講したい　⇒　８ページ第７の問１へ　　２．受講したくない　⇒　問８－１へ
３．すでに受講した　⇒　８ページ第７の問１へ

問８－１．（問８で「２」と回答した方のみ）受講したくない理由を教えてください。

１．仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
２．時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
３．興味がないから
４．その他（　　）

第７　主に介護している方について

問１．家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

1．ない　⇒　９ページ第８の問１へ
2．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない　⇒　問２へ
3．週に１～２日ある　⇒　問２へ
4．週に３～４日ある　⇒　問２へ
5．ほぼ毎日ある　⇒　問２へ

問２．あなたの介護は、主にどなたが行っていますか。（介護サービス事業所以外）

1．配偶者（夫・妻）　2．息子　3．娘　4．子の配偶者
5．孫　6．兄弟・姉妹　7．その他（　　）

問３．その方の性別をお答えください。

1．男性　2．女性

問４．その方とは同居していますか、別居していますか。

1．同居　2．別居

問５．その方の年齢をお答えください。

1．４０歳未満　2．４０歳代　3．５０歳代
4．６０歳代　5．７０歳代　6．８０歳以上

問６．その方は、働いていますか。

1．フルタイムで働いている　⇒　問６－１へ
2．パートタイムで働いている　⇒　問６－１へ
3．働いていない　⇒　９ページ第８の問１へ

問６－１．（問６で「１」または「２」と回答した方のみ）
その方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

1．問題なく、続けていける　2．問題はあるが、何とか続けていける
3．続けていくのはやや難しい　4．続けていくのは、かなり難しい

第８　介護保険サービスの利用について

問１．要支援や要介護の認定を受けるために申請をした理由は何ですか。（いくつでも）

1．すぐには使わないが、将来的に介護サービスを利用したい
2．何かあったとき困らないように、今のうち認定を受けておきたい
3．病院（診療所）に入院中のため、退院後に介護サービスを使いたい
4．医師や看護師などから申請するよう勧められた
5．介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設）に入所（入院）するため
6．その他（　　）

問２．現在、どちらで生活していますか。

1．自宅　⇒　問２－１へ
2．病院（診療所）
3．養護老人ホーム
4．ケアハウス
5．サービス付き高齢者向け住宅
6．有料老人ホーム（５．を除く）
7．その他（　　）

2～7　⇒　10 ページ問３へ

問２－１．（問２で「１」と回答した方のみ）
介護サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも）

1．これからは介護サービスを利用しようと思っている　⇒　10 ページ問３へ
2．認定はされたが、まだ自分で何とかできるため
3．家族などに介護してもらうため
4．家族以外の人に介護してもらうことには抵抗がある
5．施設への入所を希望したが、定員に空きがなかった
6．利用したい介護サービスがない
7．介護サービスの利用方法や内容がよくわからない
8．利用するときの自己負担が大きい
9．その他　※理由を下のカッコ内に具体的に記入してください

2～9　⇒　10 ページ問４へ

（　　）

問３．あなたは現在、特別養護老人ホームの入所を検討していますか。

１．検討していない　⇒　問４へ　　２．検討している　⇒　問４へ
３．既に入所申込をしている　⇒　問３－１へ

問３－１．（問３で「３」と回答した方のみ）
それは市内・市外のどちらにありますか。（いくつでも）

１．市内　　２．市外（道内）　　３．道外

問３－２．（問３で「３」と回答した方のみ）
もし申込先の施設から入所の連絡がきた場合、どうしますか。

１．すぐに入所したい
２．複数の施設に申し込んでおり、第１希望の施設であれば入所したい
３．その他（　　）
４．まだ自宅で暮らせるため、お断りしたい

問４．あなたが、自宅で生活を続けていく上で、受けたい支援内容はありますか。
（いくつでも）

１．安否確認の声かけ　　２．ちょっとした買い物やゴミ出し
３．食事づくりや掃除・洗濯の手伝い　　４．食事の提供（会食・配食など）
５．通院や外出の手助け　　６．電球交換や簡単な大工仕事
７．話し相手や相談相手　　８．冬期間の除雪
９．災害時の手助け　　10．その他（　　）
11．特にない

第９　高齢者の健康と福祉へ望むこと

問１．健康についてどのようなことが知りたいですか。（いくつでも）

１．がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について
２．望ましい食生活の工夫について　　３．運動の方法について
４．検診の内容や受け方について　　５．寝たきり予防について
６．歯・口腔の健康について　　７．認知症の予防について
８．心の健康保持について　　９．その他（　　）
10．特にない

問２．地域包括支援センターを知っていますか。

１．知っている　　２．聞いたことはあるが何をするところかは知らない
３．知らない

※ 地域包括支援センターとは、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が配置され、高齢者の総合的な支援窓口としての役割を担う機関です。

問３．地域包括支援センターに、あなたが特に期待するのはどれですか。（３つまで）

１．地域での介護予防の普及や教室の開催
２．介護保険制度や福祉制度の総合相談窓口
３．様々な困りごとの相談窓口
４．認知症の早期発見や予防に関する情報の発信
５．介護技術や様々な介護に関する情報の発信
６．高齢者虐待・悪徳商法などから高齢者を守る活動
７．成年後見制度の案内や利用支援
８．自治会・民生委員などとの福祉のネットワークの構築
９．病院など医療関係者とのネットワークの構築
10．地域の高齢者を見守る中心的存在
11．ケアプランの作成
12．その他（　　）
13．特に期待することはない

※ 成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方が、財産管理、身の回りの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結などを行う場合に、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

第 10　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。

１．現在利用している　⇒　13 ページ問３へ
２．今後利用したい　⇒　13 ページ問３へ
３．利用は考えていない　⇒　問２－１へ
４．わからない　⇒　問２－１へ

問２－１．（問２で「３」または「４」と回答した方のみ）
成年後見制度を利用しない理由として、どのようなものがありますか。（いくつでも）

１．どうやって手続きしたらよいかわからない
２．利用すると、どんな効果があるかわからない
３．成年後見人への報酬など費用の負担が心配
４．誰が成年後見人になるか不安
５．家族との違いがわからない
６．不正が怖い
７．その他（　　）

問３．成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

１．金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
２．入院・入所時等の契約行為
３．医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
４．衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
５．手術等の医療行為に関する同意
６．体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
７．通院の介助
８．死亡時の遺体・遺品の引き取り
９．死亡届の提出
10．火葬・埋葬の契約
11．その他（　　）
12．わからない

問４．あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（いくつでも）

１．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）
２．身の回りのことができなくなってきたこと
３．自分自身の将来
４．財産の管理や家（土地）等の処分
５．借金問題
６．悪徳商法等に騙されること
７．身体的（病気等）なこと
８．契約（施設入所等）ができないこと
９．親亡き後の子どもの将来（生活等）
10．相続や遺言について
11. その他（　　）
12．不安に思っていることはない

問５．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
江別市成年後見支援センターを知っていますか。

1．知っていて、利用したことがある
2．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
3．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
4．知らない

問６．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

1．市役所
2．江別市成年後見支援センター
3．地域包括支援センター
4．障がい者支援センター
5．法テラス
6．家庭裁判所
7．専門職（弁護士・司法書士等）
8．消費者協会（消費生活センター）
9．どの機関に相談してよいかわからない
10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

第 11 介護保険制度について

介護保険料は介護サービスの総費用に対し計算される仕組みであり、サービス利用量が多くなると保険料もそれに応じて上昇することになります。

問１．介護サービスと保険料の在り方について、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

1．保険料の負担が増えても、介護保険サービスを更に充実させた方がよい
2．介護保険サービスを現状程度とするには、保険料の負担が多少増えるのは仕方ない
3．介護保険サービスの質や量は問わず、保険料の負担を下げた方がよい
4．介護保険サービスを充実させるために必要な費用は、保険料の負担を増やすのではなく、利用者の自己負担を増やした方がよい
5．その他（　　）
6．わからない

問２．地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。
（３つまで）

1．生きがい・社会参加への支援
2．働く機会への支援
3．ボランティアや地域活動の充実
4．介護予防・健康づくりの推進
5．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6．多様な生活支援サービスの充実
7．介護保険サービスの充実
8．入所施設の整備
9．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実
11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）
13．わからない

意見 さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉に対する新たなサービスの提案、新型コロナウイルス感染症による生活への影響など、ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで に返送してください。

６．介護保険サービス事業所

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【介護保険サービス事業所】

■記入方法

・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。

・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

・貴事業所単独では回答の難しい設問については、貴事業所の運営主体である法人と調整の上、お答えください。

・ご記入にあたって、貴事業所で該当する設問にのみ、お答えください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

＜該当する選択肢の番号に○や該当箇所に文字や数字を記入してください＞

第１　貴事業所について

問１．円滑な事業運営を進めて行くうえで、現在、特に困難を感じることがありますか。あるとすればどのようなことですか。（３つまで）

1. 従事者の確保が難しい
2. 利用者の確保が難しい
3. 事務作業が多い
4. 施設・設備の改善が難しい
5. 必要な情報の入手に支障がある
6. 従事者の資質向上を図ることが難しい
7. 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない
8. 市（自治体）との連携を図ることが難しい
9. その他（　　）
10. 特に困難を感じることはない

問２．特に連携が必要だと思う関係機関等はどちらですか。（３つまで）

1. 医療機関	2. 他の介護事業者
3. 保険者	4. 地域包括支援センター
5. 高齢者クラブ	6. 民生委員
7. 社会福祉協議会	8. 自治会
9. 介護・福祉関連のＮＰＯ・団体	10. その他（　　）
11. 特にない	

問３．《居宅介護支援事業所以外の事業所の方におうかがいします》
貴事業所において、ケアマネジャーとの連携はいかがですか。

1. 連携はとれている	2. おおむね連携はとれている
3. あまり連携はとれていない	4. 連携はとれていない

問４．貴事業所からみて、江別市内の在宅医療・介護連携はどのように見えますか。

1. 連携はとれている	2. おおむね連携はとれている
3. あまり連携はとれていない	4. 連携はとれていない
5. わからない	

問５．貴事業所からみて、江別市内の在宅医療・介護連携を進めるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（いくつでも）

1．地域の医療・介護サービス資源の把握
2．在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
3．切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
4．医療・介護関係者の情報共有の支援
5．在宅医療・介護関係者に関する相談支援
6．医療・介護関係者の研修
7．地域住民への普及啓発
8．その他（　　）
9．わからない

問６．関係機関との連携に際し、現在、特に困難を感じることがありましたらご自由にお書きください。

問７．患者情報の共有のために、多職種でＩＣＴ（情報通信技術）を活用することについて、どのように思いますか。

1．活用したいと思う　　2．活用したいとは思わない
3．その他（　　）　　4．わからない

問８．《施設系サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設、特定施設、グループホーム）を運営している事業所の方におうかがいします》
貴施設では看取りを行っていますか。

1．はい　→　（　　）回／年　　2．いいえ

問９．《施設系サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設、特定施設、グループホーム）を運営している事業所の方におうかがいします》
貴施設で看取りをする場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。

1．施設として明確な方針を有していること
2．本人・家族・関係者の意思統一がされていること
3．職員の理解と協力があること
4．看取り対応のマニュアル等が整備されていること
5．医療機関との連携がとれていること
6．その他（　　）

問 10．その他の取り組みについて、貴事業所で介護サービスの質を向上させるために特に取り組んでいることがありましたら記入してください。

問 11．介護ボランティアを行う動きが全国的に広がっていますが、事業所としてボランティアを受け入れることは可能ですか。

1．できる　　⇒　問 11-1 へ
2．できない　　⇒　４ページ問 11-2 へ

問 11-1．（問 11 で「１」に回答した方のみ）
ボランティアに任せられると思う業務は何ですか。（いくつでも）

1．配膳や洗濯物たたみなどの軽易かつ補助的な作業
2．喫茶コーナーなどの補助
3．利用者の話し相手
4．レクリエーションやゲームの手伝い
5．楽器の演奏などの慰問
6．その他（　　）

問 11-2.　（問 11 で「２」に回答した方のみ）
受け入れができない理由は何ですか。（いくつでも）

１．人員は足りているから
２．介護に携わったことのない人では業務に対応できないから
３．ボランティアの教育で時間がとられるから
４．その他（　　）

問 12.　貴事業所では、この１年間における人材の確保の状況はどうでしたか。

１．確保できている　　２．おおむね確保できている
３．あまり確保できていない　　４．確保できていない

問 12-1.　昨年１年間（令和４年１月１日～令和４年１２月３１日）の離職者

１．いない　⇒　５ページ問 13 へ
２．いる　⇒　問 12-2 へ

問 12-2.　（問 12-1 で「２」に回答した方のみ）
退職の理由は何だと考えますか。（３つまで）

１．給与が安い
２．仕事がきつい
３．事業所と退職者とのミスマッチ
４．職場の人間関係
５．他に条件のいい職場がある（介護関係）
６．他に条件のいい職場がある（介護関係以外）
７．育児等の一身上の都合
８．その他（　　）
９．わからない

問 13.　貴事業所で、不足している職種はありますか。（いくつでも）

１．訪問介護員　　２．サービス提供責任者
３．看護職員　　４．介護職員
５．生活相談員　　６．ケアマネジャー
７．機能訓練指導員　　８．リハビリテーション専門職（ＰＴ、ＯＴ、ＳＴ等）
９．その他（　　）　10．特にない　⇒　問 14 へ

問 13-1.　（問 13 で「１」～「９」のいずれかに回答した方のみ）
どのくらいの人員が不足していますか。

（　　）人

問 14.　貴事業所では、新規人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。
（３つまで、効果的だと考える順序で記載してください）

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

１．定期的に求人誌への掲載などを行っている
２．就職説明会への参加を行っている
３．福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
４．ハローワークとの連携を図っている
５．人材派遣会社との連携を図っている
６．無資格でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
７．採用時に給与を他社より好条件に設定している
８．採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
９．育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
10．採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
11．インターンシップ制度を導入している
12．その他（　　）
13．特に何も行っていない

問 15. 貴事業所では、人材の定着・育成（離職防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（３つまで、効果的だと考える順序で記載してください）

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1．近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している
2．永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
3．能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
4．非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
5．外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
6．新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
7．育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
8．休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
9．上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
10．職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている
11．インターンシップ制度を導入している
12．その他（　　）
13．特に何も行っていない

問 16. 介護人材の確保・定着に関して、今後特にどのようなことに力を入れることが効果的と考えますか。（３つまで、効果的だと考える順序で記載してください）

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1．中高生等の若い世代への啓発
2．入門的研修等の実施による人材の掘り起し
3．職員の資格取得への財政的支援
4．新規雇用者に対する就労支援金等の財政的支援
5．潜在的有資格者の復職支援
6．外国人人材の活用
7．その他（　　）
8．わからない

問 17. 国では「元気高齢者や子育てを終えた女性等（以下「元気高齢者等」）」を、介護の周辺業務を担う介護助手として活用することを想定していますが、元気高齢者等の活用についてどのように考えていますか。

1．すでに活用している　⇒　問 17-1 へ
2．今後活用したい　⇒　問 17-1 へ
3．現時点では考えていない　⇒　問 18 へ
4．その他　⇒　問 17-1 へ
（　　）

問 17-1.（問 17 で「１」「２」「４」のいずれかに回答した方のみ）
元気高齢者等の未経験者について、受け入れた場合に研修等の体制は整っていますか。

1．整っている
2．将来的に整備する予定
3．将来的に整備したいが、現時点においては整備の予定はない

問 18. 貴事業所で雇用している介護従事者のうち、無資格者の数は何人いますか。（訪問系以外）

総数（　　）人　⇒　内、無資格者（　　）人

問 18-1.（問 18 で「無資格者」の人数に記載のある方のみ）
無資格者について初任者研修等の資格取得を検討していますか。

1．法人内で取得に関する補助制度を設置している
2．法人として補助制度はないが、財政的な支援制度があれば取得させたい
3．資格取得は勧めるが、具体的な補助制度はない
4．具体的な補助制度はなく、個人の取得に任せている
5．その他（　　）

問 19. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

１．生きがい・社会参加への支援	２．働く機会への支援
３．ボランティアや地域活動の充実	４．介護予防・健康づくりの推進
５．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動	
６．多様な生活支援サービスの充実	７．介護保険サービスの充実
８．入所施設の整備	９．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実	11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）	13．わからない

問 20. 令和５年１月１日（基準日）の貴事業所で提供しているサービス種類についてお答えください。

（１）【居宅サービス（予防を含む）及び施設サービス】（該当するものすべてに○）

１．訪問介護	２．訪問入浴介護
３．訪問看護	４．訪問リハビリテーション
５．居宅療養管理指導	６．通所介護
７．通所リハビリテーション	８．特定施設入居者生活介護
９．福祉用具貸与	10．特定福祉用具購入
11．住宅改修	12．居宅介護支援
13．短期入所生活介護	14．短期入所療養介護
15．介護老人福祉施設	16．介護老人保健施設
17．介護医療院・介護療養型医療施設	18．その他（　　）

（２）【地域密着型サービス】（該当するものすべてに○）

１．夜間対応型訪問介護	２．地域密着型通所介護
３．認知症対応型通所介護	４．小規模多機能型居宅介護
５．定期巡回・随時対応型訪問介護看護	６．認知症対応型共同生活介護
７．地域密着型特定施設入居者生活介護	８．地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
９．看護小規模多機能型居宅介護	

第２　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

１．金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
２．入院・入所時等の契約行為
３．医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
４．衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
５．手術等の医療行為に関する同意
６．体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
７．通院の介助
８．死亡時の遺体・遺品の引き取り
９．死亡届の提出
10．火葬・埋葬の契約
11．その他（　　）
12．わからない

問３．現在、支援している方の中で、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。

１．いる　（　　人）　⇒　問３－１へ
２．いない　⇒　10 ページ問４へ

問３－１．（問３で「１」と回答した方のみ）　なぜ必要と思われますか。（いくつでも）

１．親族等の支援が見込めないため
２．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため
３．預貯金の管理・解約等の手続きのため
４．不動産処分の手続きのため
５．契約（施設入所等）のため
６．相続の手続きのため
７．その他（　　）

問４．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
　江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所
２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター
４．障がい者支援センター
５．法テラス
６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）
８．消費者協会（消費生活センター）
９．どの機関に相談してよいかわからない
10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

問６．成年後見制度に関する課題がありましたらお聞かせください。

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉について、新たなサービスの提案等がございましたらご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで　に返送してください。

７．高齢者向け住宅事業者

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【高齢者向け住宅事業者】

■記入方法

・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。

・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

＜調査実施主体＞
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

＜該当する選択肢の番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください＞

第１　貴事業所について

問１．令和５年１月１日（基準日）の貴施設についてお答えください。

（１）所在地区	１．江別　　２．野幌　　３．大麻
（２）経営主体	１．社会福祉法人 ２．医療法人（公益社団・一般社団・公益財団・一般財団） ３．民法法人（公益社団・一般社団・公益財団・一般財団） ４．営利法人（有限・株式会社等） ５．特定非営利活動法人（ＮＰＯ） ６．非法人（個人経営） ７．その他（　　）
（３）施設種類	１．住宅型有料老人ホーム　　２．サービス付高齢者向け住宅 ３．その他（　　）
（４）入居定員	（　　）名

問２．入居状況及び待機状況（令和５年１月１日現在）についてお答えください。

入居者　（　　名）　待機者　（　　名）

問３．入居者の内訳についてお答えください。

１．独居　（　　室）　２．夫婦世帯　（　　室）
３．その他　（　　室　※内訳：　　）

問４．入居者の年齢についてお答えください。

１．６０歳未満　（　　名）　２．６０歳以上６５歳未満（　　名）
３．６５歳以上７０歳未満（　　名）　４．７０歳以上７５歳未満（　　名）
５．７５歳以上８０歳未満（　　名）　６．８０歳以上８５歳未満（　　名）
７．８５歳以上９０歳未満（　　名）　８．９０歳以上　（　　名）

問５．入居者の入居年数についてお答えください。

１．１年未満　（　　名）　２．１年以上３年未満　（　　名）
３．３年以上５年未満　（　　名）　４．５年以上　（　　名）

問６．貴施設が実施しているサービスの内容についてお答えください。（いくつでも）

１．安否確認	２．生活相談
３．食事	４．その他（　　）

問７．建物に併設しているサービス施設がありますか。

１．あり　⇒　問７-１へ	２．なし　⇒　問８へ

問７-１．（問７で「１」と回答した方のみ）　そのサービスは何ですか。（いくつでも）

１．通所介護	２．地域密着型通所介護
３．認知症対応型通所介護	４．小規模多機能型居宅介護
５．訪問介護	６．診療所
７．訪問看護	８．定期巡回・随時対応型訪問介護看護
９．居宅介護支援事業所	10．その他（　　）

問８．（１）連携病院及び（２）連携介護事業所の有無についてお答えください。

（１）連携病院

１．あり	２．なし

（２）連携介護事業所

１．あり	２．なし

問９．入居者の介護サービス利用状況についてお答えください。（いくつでも）

１．訪問介護	２．訪問入浴介護
３．訪問看護	４．訪問リハビリテーション
５．居宅療養管理指導	６．通所介護
７．通所リハビリテーション	８．短期入所生活介護
９．福祉用具貸与	10．認知症対応型通所介護
11．小規模多機能型居宅介護	12．地域密着型通所介護
13．定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14．看護小規模多機能型居宅介護
15．その他（　　）	

問 10．入居者の医療サービス状況についてお答えください。（いくつでも）

１．訪問看護	２．訪問診療
３．訪問歯科	４．その他（　　）

問 11．貴施設では看取りを行っていますか。

１．はい　⇒　（　　）回／年	２．いいえ

問 12．貴施設で看取りをする場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。

１．施設として明確な方針を有していること
２．本人・家族・関係者の意思統一がされていること
３．職員の理解と協力があること
４．看取り対応のマニュアル等が整備されていること
５．医療機関との連携がとれていること
６．その他（　　）

問 13．その他のサービスを実施したいですか。（いくつでも）

１．配食サービス	２．除雪サービス
３．安否確認	４．家事援助サービス
５．生活相談	６．買い物代行
７．介護タクシー	８．その他（　　）
９．特にない	

問 14．今後展開予定の事業があればお答えください。（いくつでも）

１．介護付有料老人ホーム	２．住宅型有料老人ホーム
３．サービス付高齢者向け住宅	４．その他（　　）

問 15．貴施設では、この１年間における人材の確保の状況はどうでしたか。

１．確保できている	２．おおむね確保できている
３．あまり確保できていない	４．確保できていない

問 16. 貴施設では、新規人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。（３つまで）

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1. 定期的に求人誌への掲載などを行っている
2. 就職説明会への参加を行っている
3. 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
4. ハローワークとの連携を図っている
5. 人材派遣会社との連携を図っている
6. 無資格でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
7. 採用時に給与を他社より好条件に設定している
8. 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
9. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
10. 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（　　）
13. 特に何も行っていない

問 17. 貴施設では、人材の定着・育成（離職防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（３つまで）

１番目（　　）	２番目（　　）	３番目（　　）

1. 近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している
2. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
3. 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
4. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
5. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
6. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
7. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
8. 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
9. 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
10. 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（　　）
13. 特に何も行っていない

問 18. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

1. 生きがい・社会参加への支援
2. 働く機会への支援
3. ボランティアや地域活動の充実
4. 介護予防・健康づくりの推進
5. １人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6. 多様な生活支援サービスの充実
7. 介護保険サービスの充実
8. 入所施設の整備
9. 認知症高齢者とその家族への支援
10. 地域包括支援センターの充実
11. 住まいに関する情報提供の充実
12. その他（　　）
13. わからない

第２　成年後見制度について

問１. あなたは成年後見制度を知っていますか。

1. 制度の内容や手続方法を知っている
2. 制度の内容を大まかに知っている
3. 名前だけ知っている
4. よく知らない

問２. 成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

1. 金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
2. 入院・入所時等の契約行為
3. 医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
4. 衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
5. 手術等の医療行為に関する同意
6. 体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
7. 通院の介助
8. 死亡時の遺体・遺品の引き取り
9. 死亡届の提出
10. 火葬・埋葬の契約
11. その他（　　）
12. わからない

問３．現在、支援している方の中で、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。

１．いる　（　　人）　⇒　問３－１へ

２．いない　⇒　問４へ

問３－１．（問３で「１」と回答した方のみ）　なぜ必要と思われますか。（いくつでも）

１．親族等の支援が見込めないため
２．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため
３．預貯金の管理・解約等の手続きのため
４．不動産処分の手続きのため
５．契約（施設入所等）のため
６．相続の手続きのため
７．その他（　　）

問４．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所　２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター　４．障がい者支援センター
５．法テラス　６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）　８．消費者協会（消費生活センター）
９．どの機関に相談してよいかわからない　10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

問６．成年後見制度に関する課題がありましたらお聞かせください。

意見　さいごに（自由意見）

高齢者向け住宅事業者から見た、介護保険制度についてのご意見・ご要望等がございましたらご自由にお書きください。

＜　差し支えなければ、施設名称をご記入ください：任意記載　＞

【事業所名】

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで　に返送してください。

江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査
【ケアマネジャー】

■記入方法

・この調査は、令和５年１月１日現在の状況についてお答えください。

・回答は、原則として「いくつでも」や「３つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字１つに○をつけてください。
設問によっては、数字を直接記入する場合もあります。
「その他」を選んだ場合は、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>
江別市健康福祉部介護保険課
ＴＥＬ　３８１－１０６７

＜該当する選択肢の番号に○をつけてください＞

第１　ケアマネジャー調査

問１．あなたの性別についてお答えください。

１．男性　　２．女性

問２．令和５年１月１日現在のあなたの年齢をお答えください。

１．２０～２９歳　２．３０～３９歳　３．４０～４９歳　４．５０～５９歳
５．６０～６９歳　６．７０歳以上

問３．勤務形態はどちらですか。

１．常勤　　２．非常勤

問４．あなたが所属する事業所の組織（法人格）はどれですか。

１．株式会社　　２．合名・合資会社
３．社団法人　　４．社会福祉法人
５．財団法人　　６．医療法人
７．特定非営利活動法人　　８．その他（　　）

問５．あなたの所属する事業所は、居宅介護支援事業の他に介護保険サービス事業を運営していますか。なお、同じ所在地内に限ります。

１．居宅介護支援事業所だけを運営している
２．他の介護保険サービス事業も運営している

問６．ケアマネジャーの経験年数はどれくらいですか。

１．１年未満　　２．１年以上３年未満
３．３年以上５年未満　　４．５年以上１０年未満
５．１０年以上

問７．介護支援専門員以外に、お持ちの資格はどれですか。（いくつでも）

１．社会福祉士　　２．介護福祉士
３．精神保健福祉士　　４．医師
５．歯科医師　　６．保健師
７．看護師　　８．准看護師
９．歯科衛生士　　10．理学療法士
11．作業療法士　　12．栄養士
13．あん摩マッサージ指圧師　　14．はり師・きゅう師
15．柔道整復師　　16．薬剤師
17．その他（　　）　　18．持っていない

1

問８．あなたが担当している利用者数は何人ですか。（介護予防を含む）	
１．１５人未満	２．１５人以上２０人未満
３．２０人以上２５人未満	４．２５人以上３０人未満
５．３０人以上３５人未満	６．３５人以上

問９．あなたにとって、ケアマネジメントで負担になっている業務はどれですか。（いくつでも）	
１．利用者への面接	２．居宅介護支援業務の説明や契約締結
３．介護保険制度の説明	４．アセスメントの実施
５．ケアプランの作成	６．ケアプランの説明と交付
７．サービス担当者会議の開催	８．サービス事業者への連絡・調整
９．保険外サービスの連絡・調整	10．主治医との連携
11．利用者宅の訪問	12．利用者からの相談・連絡
13．家族からの相談・連絡	14．モニタリング
15．居宅介護支援経過の記録	16．給付管理
17．入所・入院先の相談・手配	18．保険者への問い合わせ
19．その他（　　）	20．負担になっている業務はない

問 10．要介護者等が自宅で暮らし続けるために特に必要なことは、何だと思いますか。（３つまで）
１．安心して住み続けられる住まいがある
２．近所の人の見守りや手助けがある
３．必要時に随時、訪問してくれる介護・看護サービスがある（２４時間３６５日）
４．日中に自宅から出て、他の高齢者とともに活動したり、交流したりする場所がある
５．介護状態の改善や悪化を防ぐリハビリのサービスがある
６．一時的に自宅から離れて、短期間生活できるサービスがある
７．必要に応じて、通ったり、宿泊したりできるような施設がある
８．いつでも入所できる介護施設がある
９．往診してくれる医療機関がある
10．弁当など食事を宅配してくれるサービスがある
11．調理、洗濯、掃除等の家事を行うサービスがある
12．健康・介護・生活相談が出来る体制がある
13．近所の人や民生委員などによる、定期的な訪問や声かけがある
14．水道や電気、ガスの使用状況により、生活状況（安否など）を外部からチェックしてくれる仕組みがある
15．緊急時にボタンを押せば関係機関に通報される仕組みがある（２４時間３６５日）
16．介護者の負担を軽減する仕組みがある
17．低所得者の経済的な負担を軽減する仕組みがある
18．その他（　　）
19．わからない

問 11．担当医等との連携が必要だと思うケースでは、実際に連携が図られていると思いますか。
１．十分に連携が図られている
２．おおむね連携が図られている
３．ほとんど連携が図られていない
４．全く連携が図られていない
５．その他（　　）

問 12. 担当医等との連携はどのような方法で行っていますか。（３つまで）

1．事前に時間調整を行い、担当医等（病院・診療所）を訪問して面談している
2．ほとんどの場合、質問内容をＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している
3．電話・ＦＡＸ等で連絡を取り、面談はしていない
4．診療情報提供書・連携パス等の書類等で連絡を取っており、面談はしていない
5．サービス担当者会議等に参加して連携をとっている
6．利用者・家族を通じて話を聞いている
7．その他（　　）
8．連携していない

問 13. 利用者が入院した時、在宅での生活状況やケアプランなどの情報を病院に提供していますか。

1．病院からの要請に関わらず、提供している
2．病院から要請があった場合に必要に応じ提供している
3．直接は提供していないが、家族を通じてのみ提供している
4．その他（　　）
⇒ 問 13-1 へ

5．提供していない　⇒ 問 14 へ

問 13-1.（問 13 で「１」～「４」のいずれかに回答した方のみ）
どのようにして病院に提供していますか。（いくつでも）

1．担当医等に面談して、利用者の生活状況やケアプランを提供している
2．ほとんどの場合ＦＡＸ等でやり取りし、必要がある場合に面談している
3．電話・ＦＡＸ等でやり取りし、面談はしていない
4．その他（　　）

問 14. あなたは、退院が決まった高齢者、退院直後の高齢者等の医療の継続のためにどのように対応していますか。（いくつでも）

1．病院の地域連携室等と連携している
2．協力関係にある診療所・訪問看護ステーションと連携している
3．利用者の住居近くの訪問看護ステーションと連携している
4．利用者の住居近くの診療所と連携している
5．地域包括支援センターと連携している
6．医療については、病院の方針にゆだねている
7．保健所と連携している
8．その他（　　）
9．特にない

問 15.「カンファレンス」への参加について、利用者が入院している時（退院時含む）、病院から参加の要請を受けたことがありますか。

1．要請を受けたことがある　⇒ 問 15-1 へ
2．要請を受けたことがない　⇒ 問 16 へ

問 15-1.（問 15 で「１」に回答した方のみ）
要請を受けた場合、カンファレンスに参加していますか。

1．ほとんど参加している　⇒ 問 16 へ
2．必要に応じて参加している　⇒ 問 16 へ
3．ほとんど参加していない　⇒ 問 15-2 へ
4．全く参加したことがない　⇒ 問 15-2 へ

問 15-2.（問 15-1 で「３」または「４」と回答した方のみ）
参加していない理由は、次のどれですか。（いくつでも）

1．参加しても必要な情報が得られない
2．個別に必要な情報は得ているため、カンファレンスに参加する必要がない
3．参加したいが、忙しくて参加できない
4．病院のスタッフが多いので参加しにくい（病院の敷居が高い）
5．その他（　　）

問 16. 医療機関とは、どのような方法で、情報伝達を図りたいですか。（いくつでも）

1．固定電話　2．携帯電話　3．ＦＡＸ
4．Ｅメール　5．直接の面談　6．その他（　　）

問 17. 医療機関から利用者の情報を得る際、「連携が図れない。連携が図りにくい。」と感じたことがありますか。

1．ある　⇒ 問 17-1 へ　2．ない　⇒ ６ページ問 18 へ

問 17-1.（問 17 で「１」と回答した方のみ）
それはどのようなことですか。（いくつでも）

1．医療機関に連絡することに抵抗がある（敷居が高く感じられる）
2．連絡の方法がわからない（いつ、どういうふうに連絡していいのか。また、病院側の担当窓口が分からず誰に連絡すればよいかわからない）
3．担当医等が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある（担当医等が総合病院の医師であるため会うことが困難）
4．担当医等が遠方で会うことが困難
5．個人情報を理由に答えてくれないことがある（利用者の同意書を求められた。患者、利用者・家族を通じてしか答えない。担当の介護支援専門員である証明を求められた）
6．情報提供料等を請求されることがあった
7．治療内容などを話してもわからない、情報提供の必要がないと言われた
8．その他（　　）

問 18. あなたには、認知症に関して相談のできる医療機関がありますか。

1．はい　⇒　問 18-1 へ　　2．いいえ　⇒　問 19 へ

問 18-1.（問 18 で「1」と回答した方のみ）
相談している医療機関は、次のうちどれですか。（いくつでも）

1．診療所等の担当医
2．老年科・もの忘れ外来など認知症の専門外来がある病院
3．病院の内科、神経内科、精神科など
4．精神科・神経科専門の病院・診療所
5．認知症疾患医療センター
6．その他（　　）

問 19. あなたは過去 1 年間で看取りに立ち会ったケースはありますか。
※「1．はい」の場合は年間の回数をご記入ください。

1．はい　⇒　（　　）回／年　　2．いいえ

問 20. あなたが看取りをサポートする側に立った場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。（いくつでも）

1．施設として明確な方針を有していること
2．本人・家族・関係者の意思統一がされていること
3．職員の理解と協力があること
4．看取り対応のマニュアル等が整備されていること
5．医療機関との連携がとれていること
6．その他（　　）

問 21. ケアマネジャーのスキルアップでどのようなことを望みますか。（いくつでも）

1．ケアプランの作成・評価　　2．介護に関する知識
3．介護予防に関する知識　　4．リハビリテーションに関する知識
5．医療に関する知識　　6．困難事例の検討
7．災害時の備えや対応　　8．住宅・住環境に関する知識
9．福祉用具に関する知識　　10．認知症の方への対応
11．虐待への対応　　12．成年後見制度などの知識
13．その他（　　）

問 22. ケアマネジャーの仕事について、どのようにお考えですか。
①～⑩にお答えください。

① やりがいがあると思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

② 人の役に立てる仕事だと思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

③ 専門知識・技能の必要な仕事だと思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

④ 業務量が過大な仕事だと思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑤ 精神的ストレスの大きい仕事だと思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑥ 社会的評価は高いと思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑦ 報酬は業務に見合っていると思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑧ 介護福祉士や社会福祉士のような国家資格化は必要だと思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑨ ケアマネジャーの独立性・中立性・公平性は保たれていると思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

⑩ 今後も続けていきたいと思いますか。
1．そう思う　2．まあそう思う　3．あまりそうは思わない　4．そうは思わない

問 23. ケアマネジャーからみて、江別市内の在宅医療と在宅介護の連携はとれていると思われますか。

1．連携はとれている　　2．おおむね連携はとれている
3．あまり連携はとれていない　　4．連携はとれていない

問 24. 上記の連携状況について、具体的な事項があれば、ご自由にお書きください。

問 25. ケアマネジャーからみて、江別市内の在宅医療・介護連携を進めるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（いくつでも）

1．地域の医療・介護サービス資源の把握
2．在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
3．切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
4．医療・介護関係者の情報共有の支援
5．在宅医療・介護関係者に関する相談支援
6．医療・介護関係者の研修
7．地域住民への普及啓発
8．その他（　　）
9．わからない

問 26. 上記の力を入れる点について、具体的な提案があれば、ご自由にお書きください。

問 27. 患者情報の共有のために、多職種でＩＣＴ（情報通信技術）を活用することについて、どのように思いますか。

1．活用したいと思う　　2．活用したいとは思わない
3．その他（　　）　　4．わからない

問 28. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。（３つまで）

1．生きがい・社会参加への支援
2．働く機会への支援
3．ボランティアや地域活動の充実
4．介護予防・健康づくりの推進
5．１人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動
6．多様な生活支援サービスの充実
7．介護保険サービスの充実
8．入所施設の整備
9．認知症高齢者とその家族への支援
10．地域包括支援センターの充実
11．住まいに関する情報提供の充実
12．その他（　　）
13．わからない

問 29. ケアマネジャーの立場から保険者である江別市に対して、何を望みますか。（いくつでも）

1．介護保険に関する情報提供
2．質の向上のための研修
3．不正な事業所の指導
4．利用者への適正なサービス利用の啓発
5．適正化についての情報提供
6．医療機関・訪問看護ステーションとの連携への支援
7．その他（　　）
8．特にない

第２　成年後見制度について

問１．あなたは成年後見制度を知っていますか。

１．制度の内容や手続方法を知っている
２．制度の内容を大まかに知っている
３．名前だけ知っている
４．よく知らない

問２．成年後見人ができることはどれだと思いますか。（いくつでも）

１．金銭の管理や医療費・利用料等の支払い等、財産の管理
２．入院・入所時等の契約行為
３．医療費・利用料等の支払いが滞った際の保証
４．衣類や食料品等の日用品の購入、提供、持ち運び
５．手術等の医療行為に関する同意
６．体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
７．通院の介助
８．死亡時の遺体・遺品の引き取り
９．死亡届の提出
10．火葬・埋葬の契約
11．その他（　　）
12．わからない

問３．現在、支援している方の中で、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。

１．いる　（　　人）　⇒　問３－１へ
２．いない　⇒　11 ページの問４へ

問３－１．（問３で「１」と回答した方のみ）　なぜ必要と思われますか。（いくつでも）

１．親族等の支援が見込めないため
２．日常の金銭管理（日常の買物、支払い等）ができないため
３．預貯金の管理・解約等の手続きのため
４．不動産処分の手続きのため
５．契約（施設入所等）のため
６．相続の手続きのため
７．その他（　　）

問４．江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成 29 年 11 月に江別市成年後見支援センターを開設しました。
　江別市成年後見支援センターを知っていますか。

１．知っていて、利用したことがある
２．利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
３．名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
４．知らない

問５．成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。（いくつでも）

１．市役所　　２．江別市成年後見支援センター
３．地域包括支援センター　　４．障がい者支援センター
５．法テラス　　６．家庭裁判所
７．専門職（弁護士・司法書士等）　　８．消費者協会（消費生活センター）
９．どの機関に相談してよいかわからない　　10．相談をする必要がない
11．その他（　　）

問６．成年後見制度に関する課題がありましたらお聞かせください。

意見　さいごに（自由意見）

介護保険や高齢者保健福祉について、新たなサービスの提案等がございましたらご自由にご意見・ご要望などをお書きください。

協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票は３つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、
令和５年１月２３日（月）まで　に返送してください。

江別市高齢者総合計画の策定に
関する実態調査報告書

令和５年３月

発　行　　江　別　市
編　集　　江別市　健康福祉部
〒067-8674　北海道江別市高砂町６番地
介護保険課　電話０１１－３８１－１０６７
FAX０１１－３８１－１０７３
ホームページ：http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/